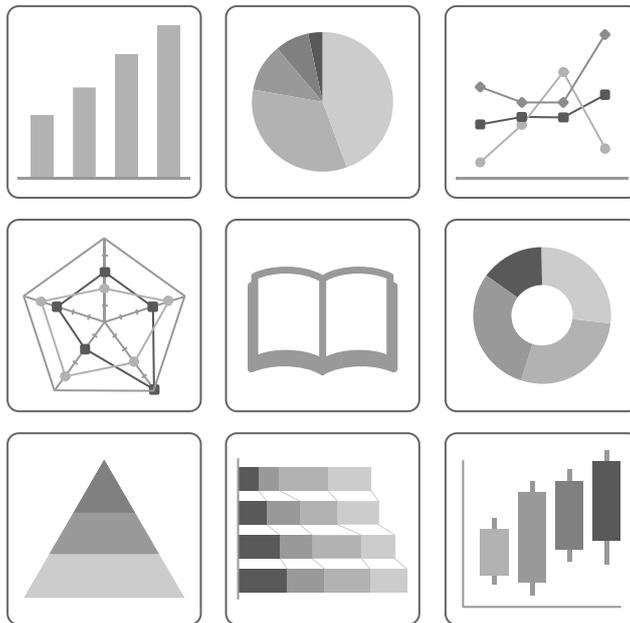


可児市
市民アンケート調査
調査結果報告書



令和3年7月

可 児 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果	2
1	全世代.....	2
	(1) 回答者属性.....	2
	(2) 可児市への居住理由について.....	13
	(3) 施策の重要度と満足度について.....	26
	(4) 可児市のイメージについて.....	93
	(5) 余暇の過ごし方について.....	115
	(6) 子育て環境について.....	121
	(7) 運動の推進について.....	127
	(8) 教育や学習に関する施策について.....	132
2	若年層.....	137
	(1) 回答者属性.....	137
	(2) 可児市への居住理由について.....	148
	(3) 施策の重要度と満足度について.....	160
	(4) 可児市のイメージについて.....	220
	(5) 余暇の過ごし方について.....	242
	(6) 子育て環境について.....	248
	(7) 運動の推進について.....	254
	(8) 教育や学習に関する施策について.....	259

Ⅲ 調査票.....	264
1 全世代.....	264
2 若年層.....	272

I 調査の概要

1 調査の目的

令和2年10月に策定した「可児市総合戦略」の施策の評価のための指標とするとともに、市政に対しての市民の皆さんの考えをお聞かせいただくために実施するものです。

2 調査対象

可児市在住の16歳以上を無作為抽出

3 調査期間

令和3年4月28日から令和3年5月19日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
①16歳以上の市民	2,000通	919通	46.0%
②①以外の16歳～39歳までの市民	1,000通	297通	29.7%

※本文中の若年層は、①のうちの16歳～39歳（121通）と②を合算して分析しています。

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

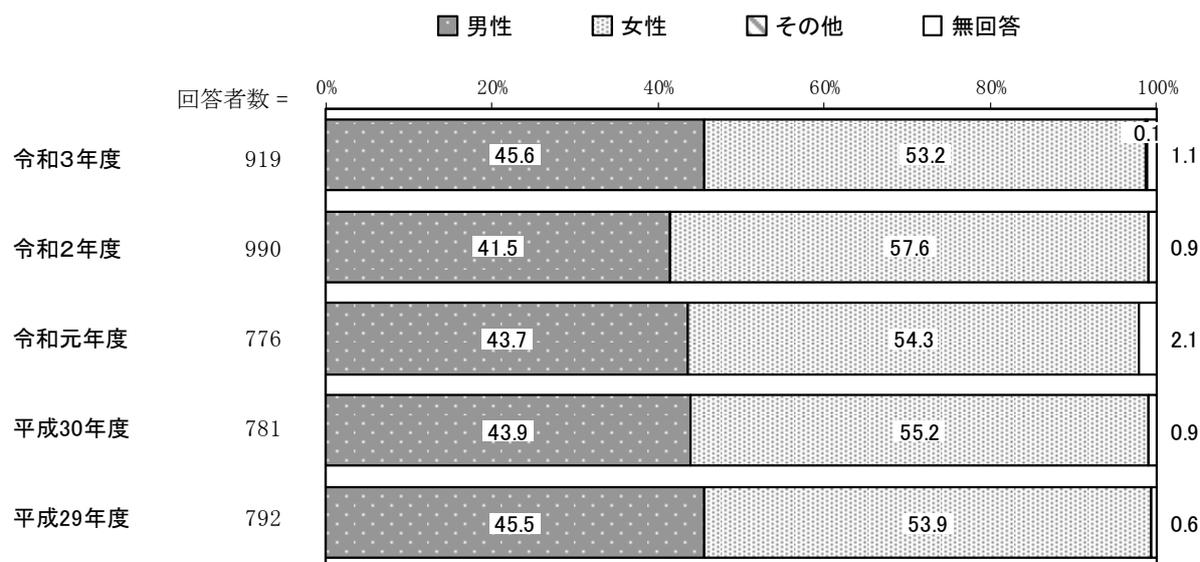
II 調査結果

1 全世代

(1) 回答者属性

問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つだけ)

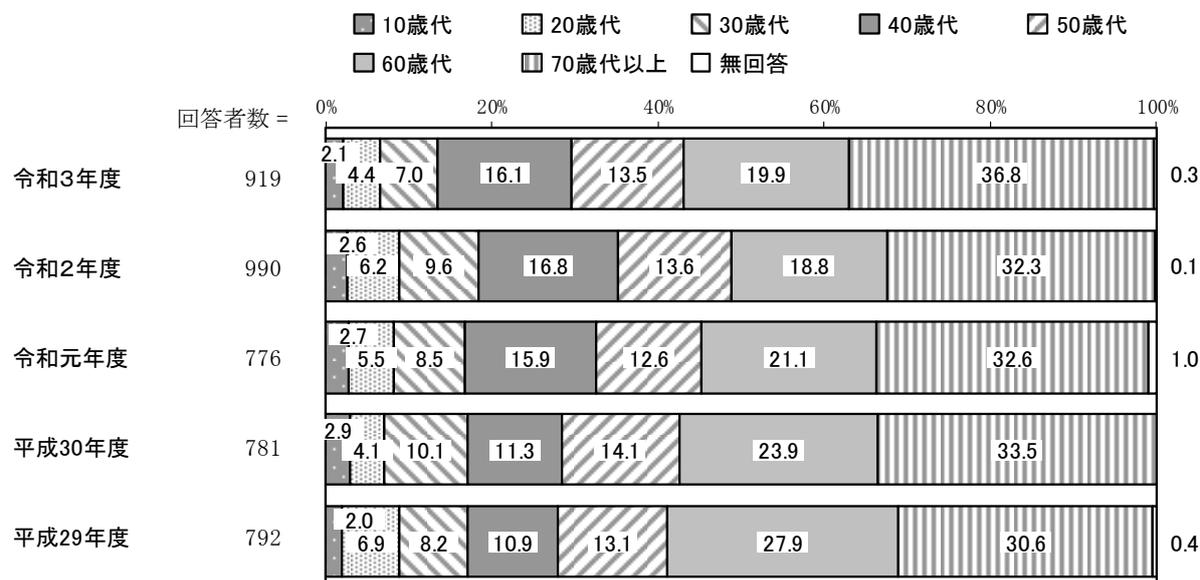
「男性」の割合が、45.6%、「女性」の割合が53.2%となっています。
令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

「70歳代以上」の割合が36.8%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が、19.9%、「40歳代」の割合が16.1%となっています。

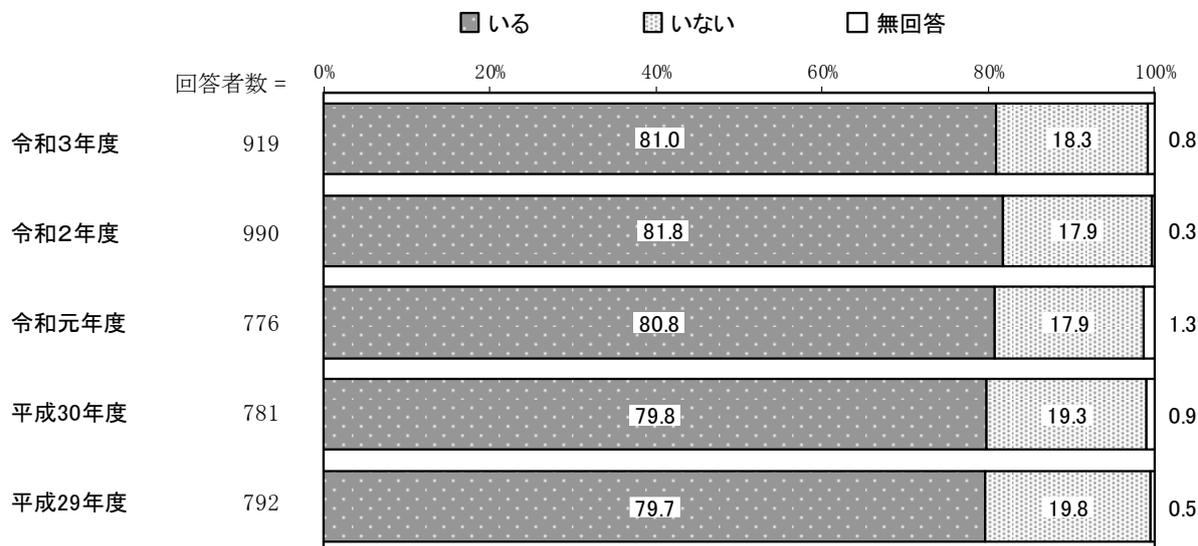
令和2年度以前の調査と比較すると、「30歳代」の割合が減少し、「70歳代以上」の割合が増加する傾向がみられます。



問3 あなたには、子どもはいますか。（いる場合は子どもの世代も選択して下さい。）

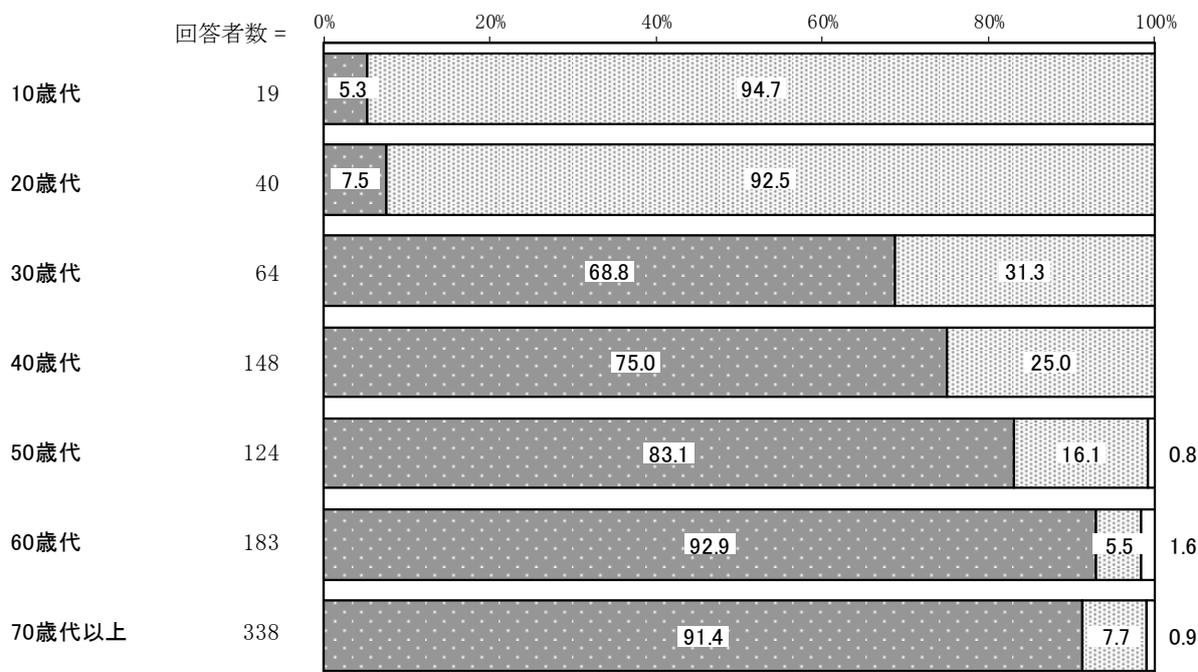
「いる」の割合が81.0%、「いない」の割合が18.3%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、緩やかではあるものの「いる」の割合が増加する傾向がみられていましたが、令和3年度は、若干の減少がみられます。



【年代別】

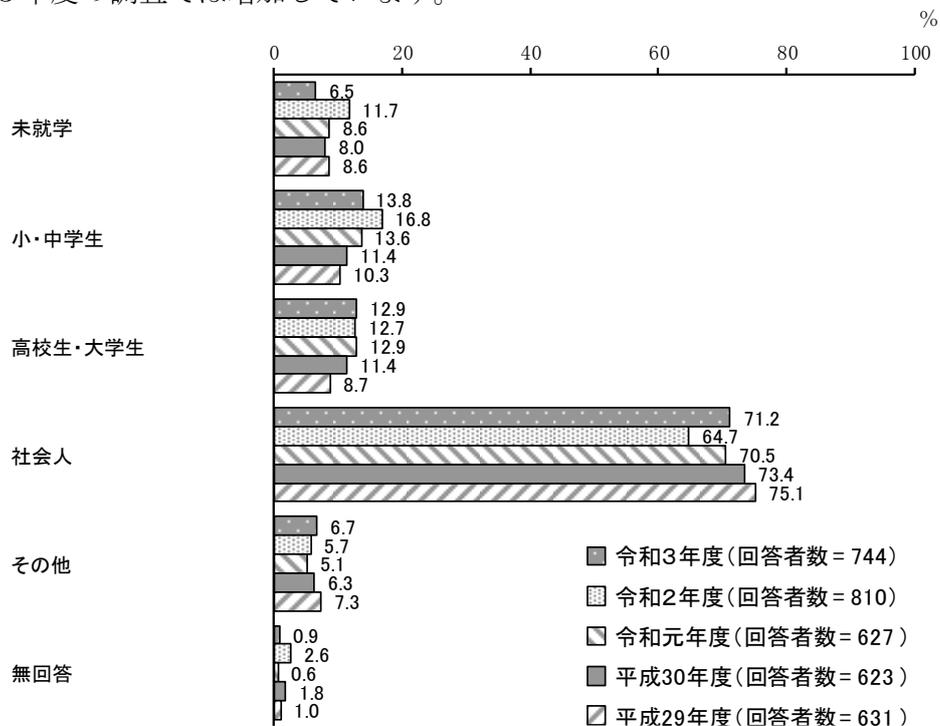
年代別で見ると、年代が高くなるにつれ「いる」の割合が高くなっており、60歳代、70歳代以上で9割を超えています。



子どもの世代

「社会人」の割合が71.2%と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が13.8%、「高校生・大学生」の割合が12.9%となっています。

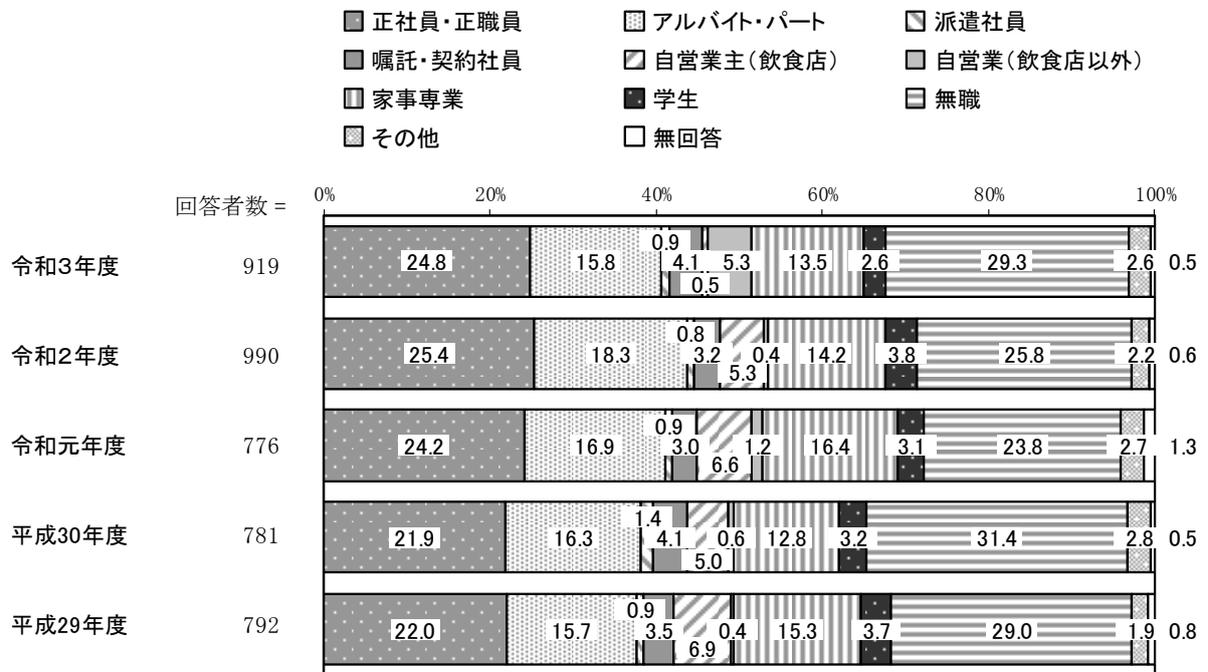
令和2年度以前の調査と比較すると、平成29年度以降「社会人」の割合が減少していましたが、令和3年度の調査では増加しています。



問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

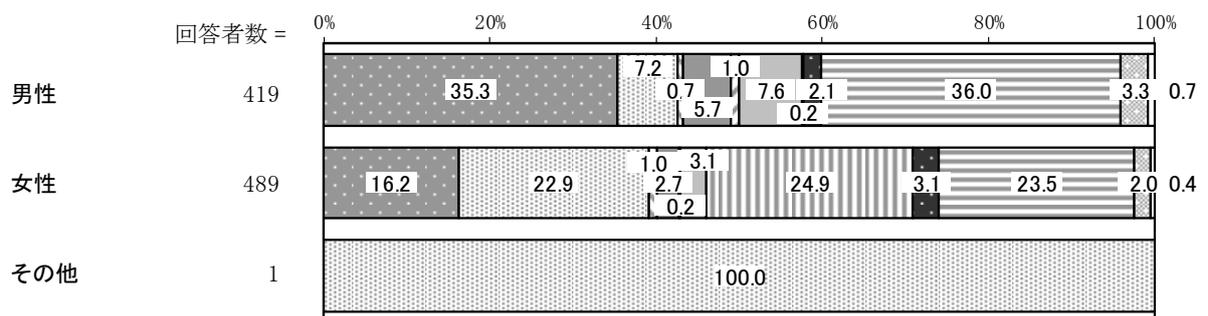
「無職」の割合が29.3%と最も高く、次いで「正社員・正職員」の割合が24.8%、「アルバイト・パート」の割合が15.8%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、平成30年度以前に比べ、令和元年度調査では「無職」の割合が減少しましたが、増加する傾向がみられます。



【性別】

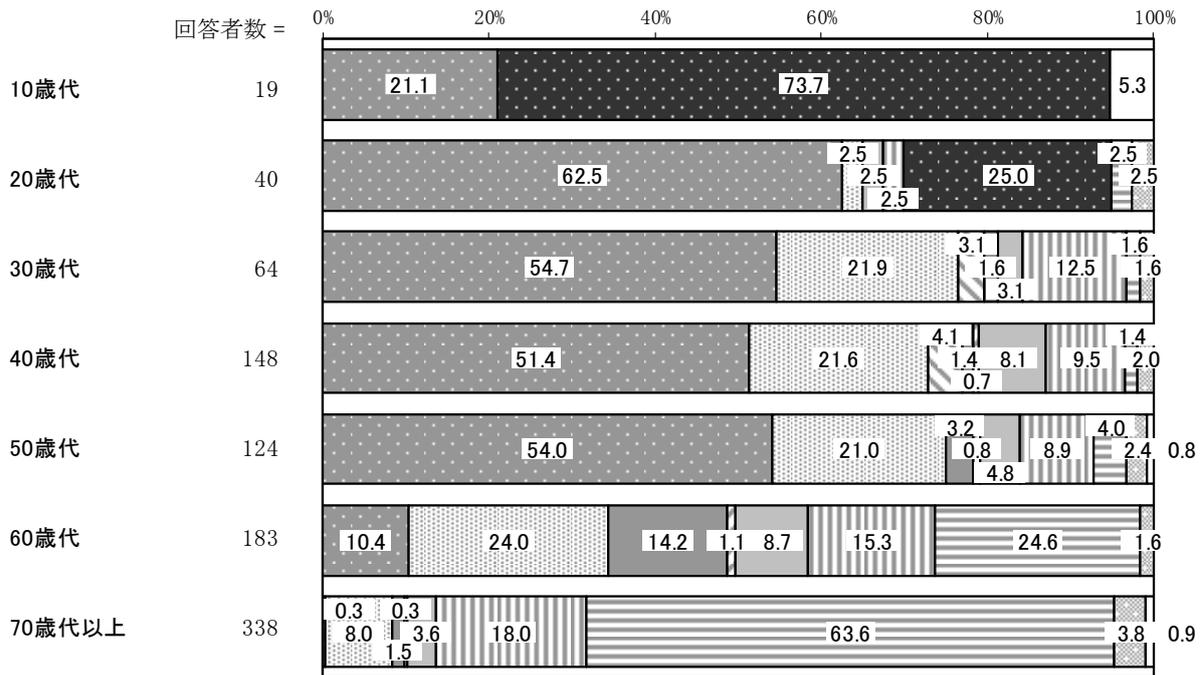
性別で見ると、女性に比べ、男性で「正社員・正職員」「無職」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代から50歳代で「正社員・正職員」の割合が高く、特に20歳代で6割を超えています。また、70歳代以上で「無職」の割合が、30歳代から60歳代で「アルバイト・パート」の割合が、70歳代以上で「家事専業」の割合が高くなっています。

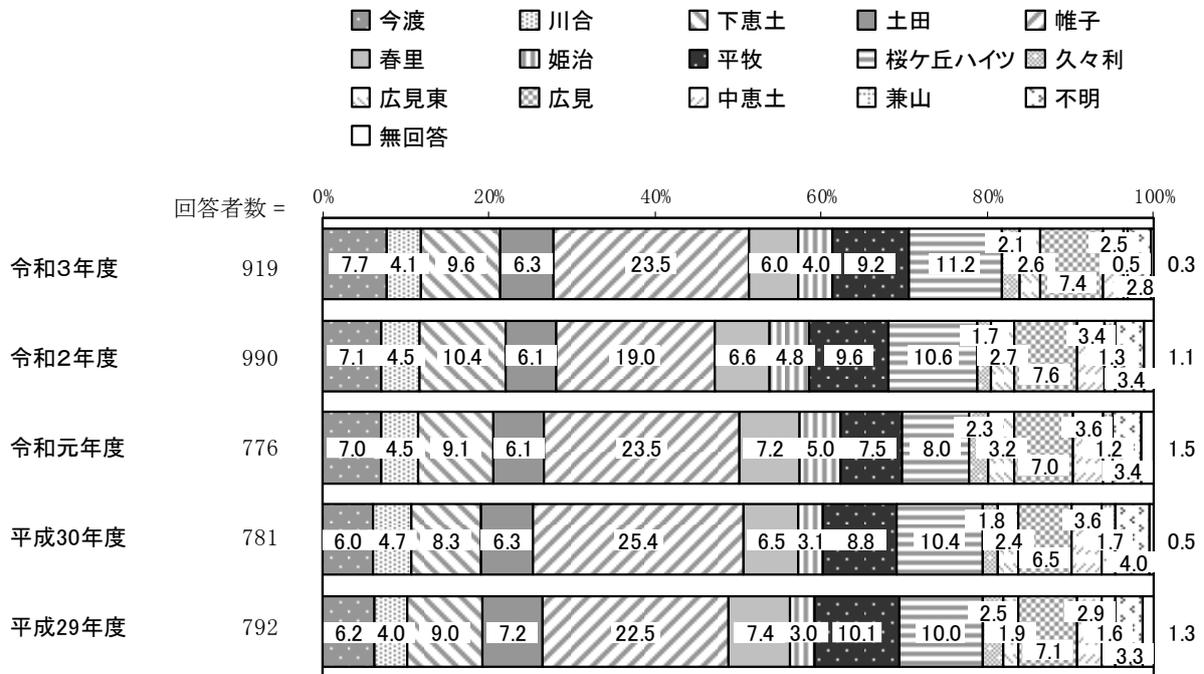
- 正社員・正職員
- 嘱託・契約社員
- 家事専業
- その他
- アルバイト・パート
- 自営業主(飲食店)
- 学生
- 無回答
- 派遣社員
- 自営業(飲食店以外)
- 無職



問5 あなたは、どちらにお住まいですか。(自治連合会単位)

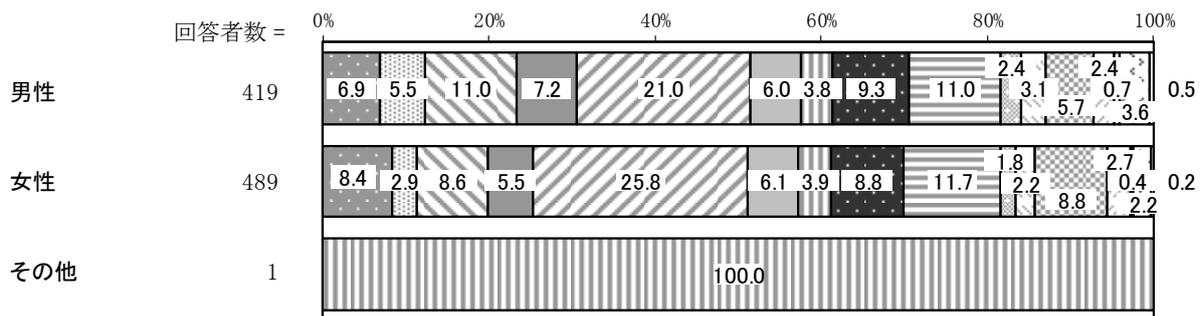
「帷子」の割合が23.5%と最も高く、次いで「桜ヶ丘ハイツ」の割合が11.2%、「下恵土」の割合が9.6%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



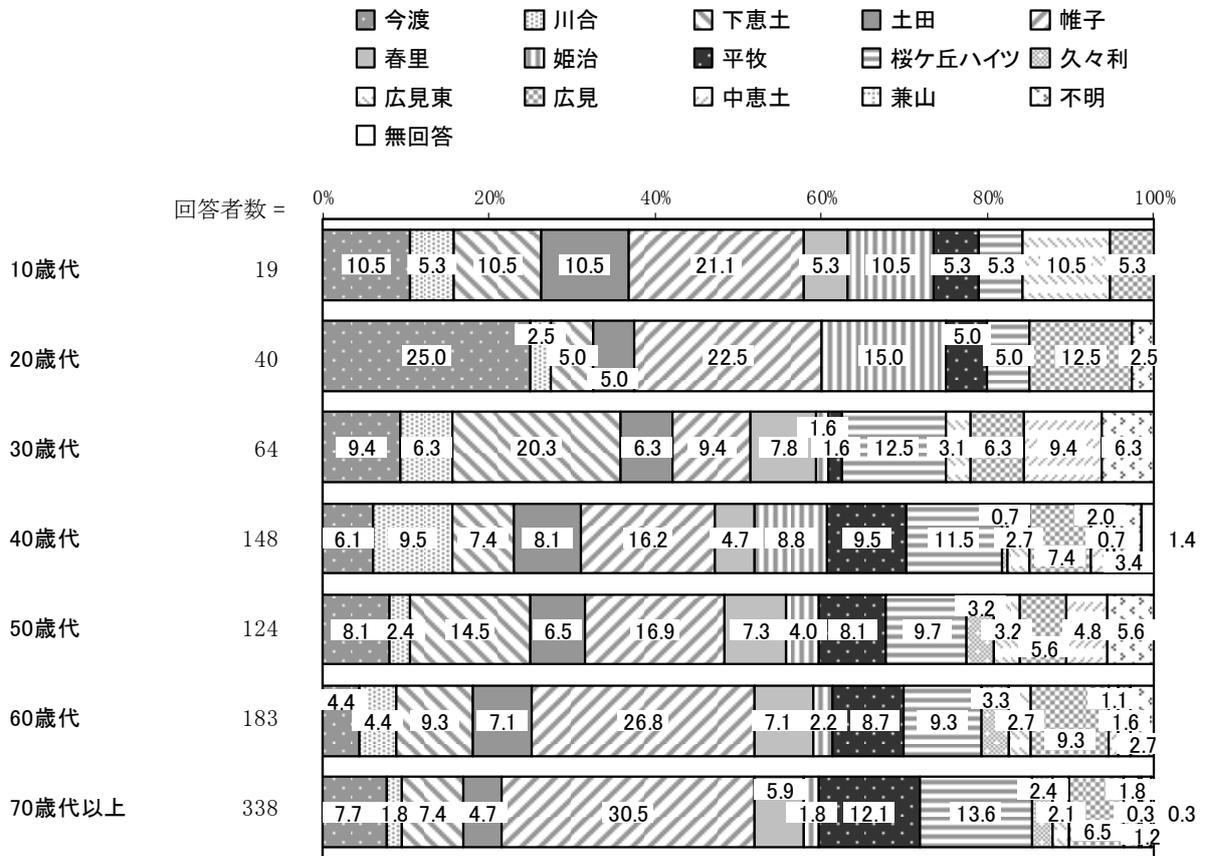
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



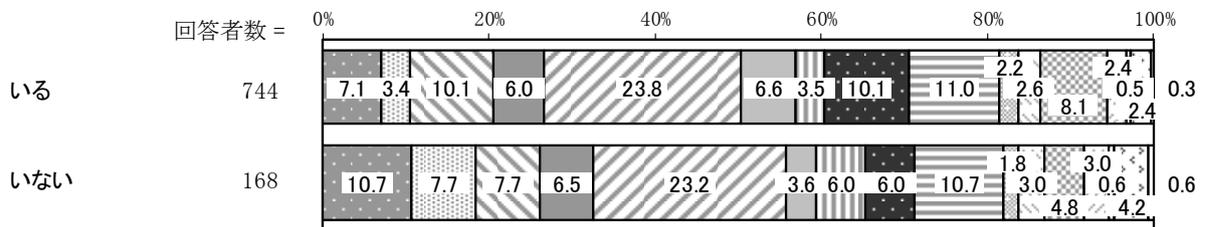
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で「今渡」の割合が、30歳代で「下恵土」の割合が高くなっています。また、60歳代から70歳代以上で「帷子」の割合が高くなっています。



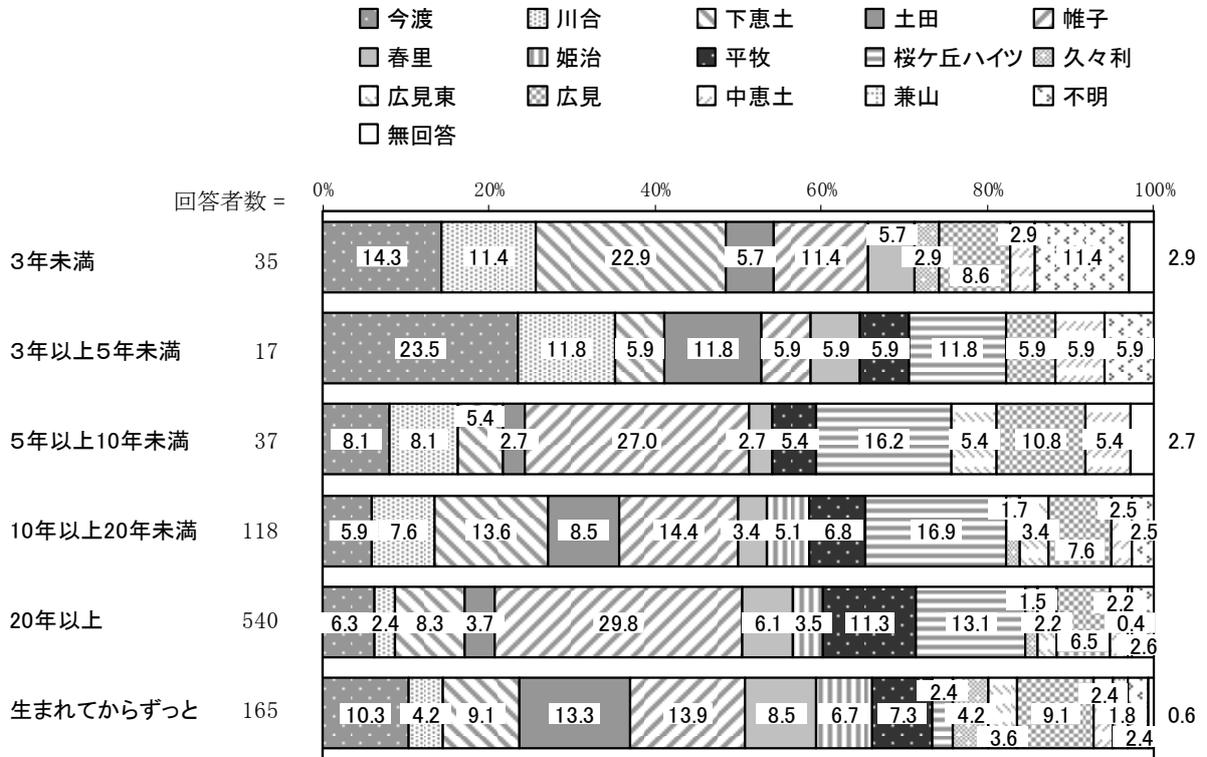
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「平牧」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「今渡」の割合が高くなっています。



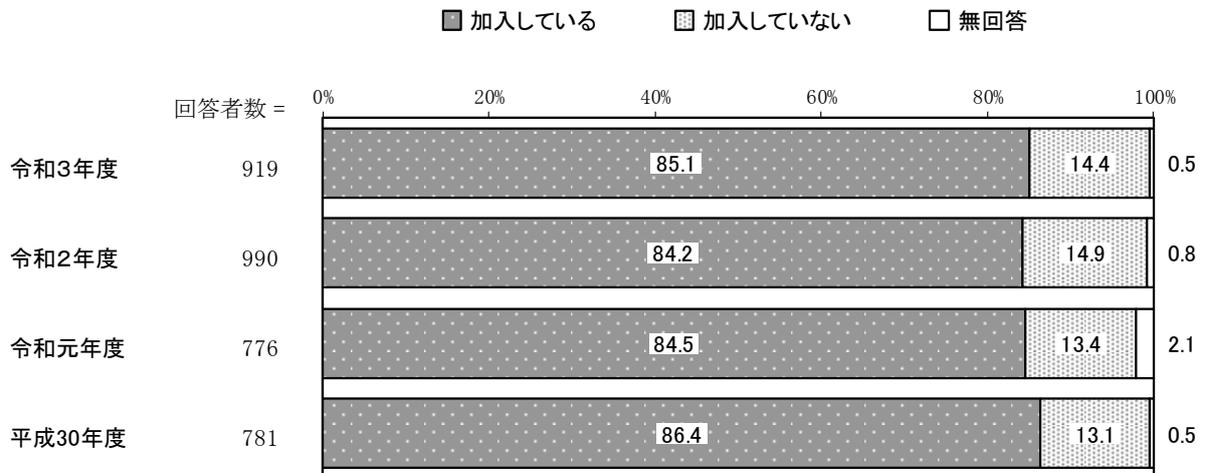
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で「下恵土」の割合が、3年以上5年未満で「今渡」の割合が、5年以上10年未満、20年以上で「帷子」の割合が高く、2割台となっています。



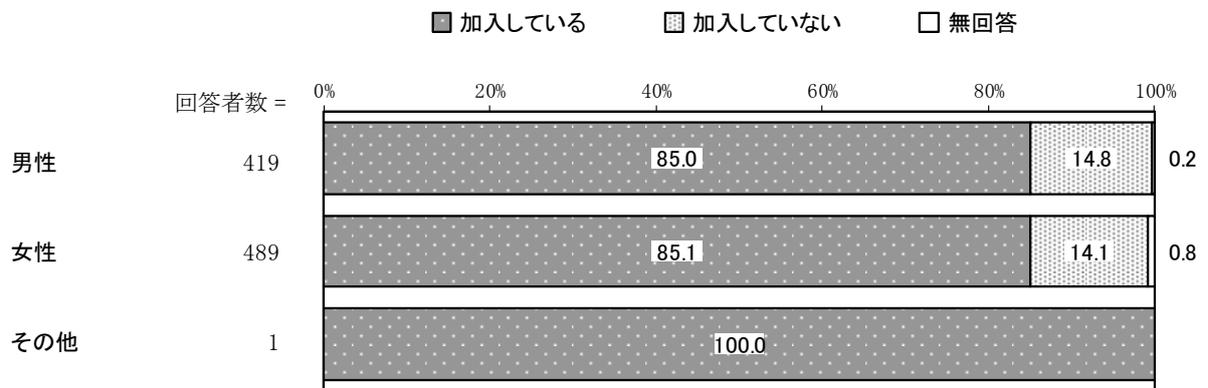
問6 あなたは、お住まいの地区の自治会に加入していますか。

「加入している」の割合が85.1%、「加入していない」の割合が14.4%となっています。令和2年度以前の調査と比較すると、大きな差異はみられません。



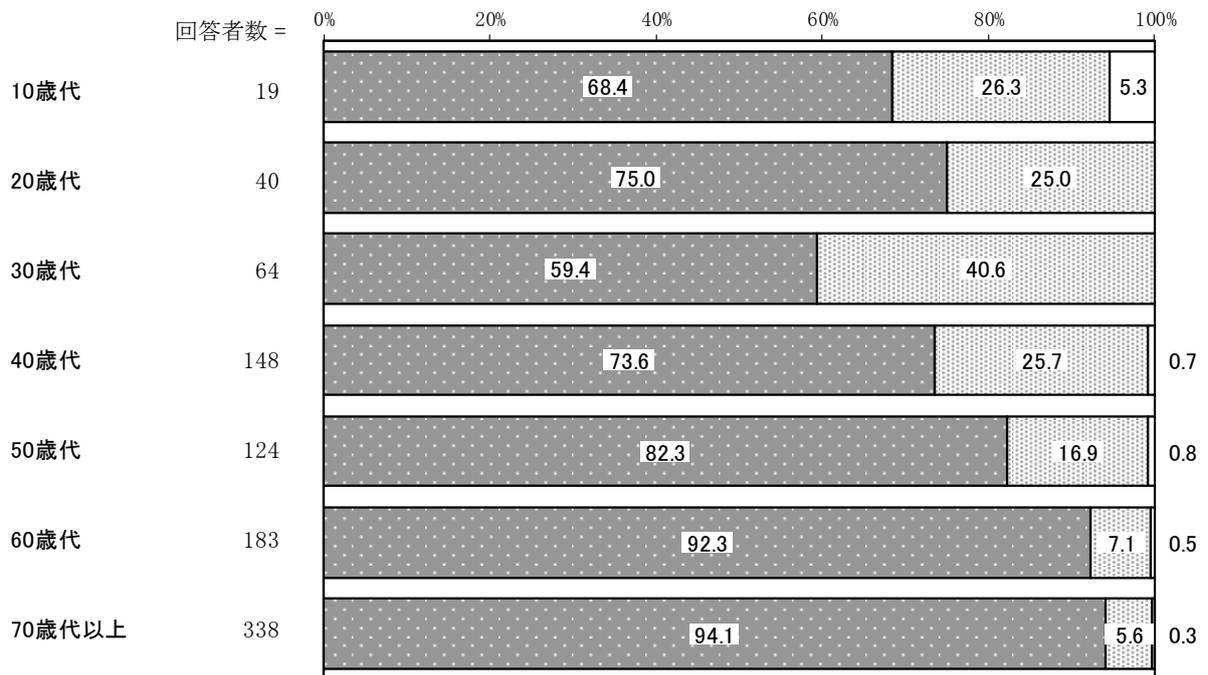
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



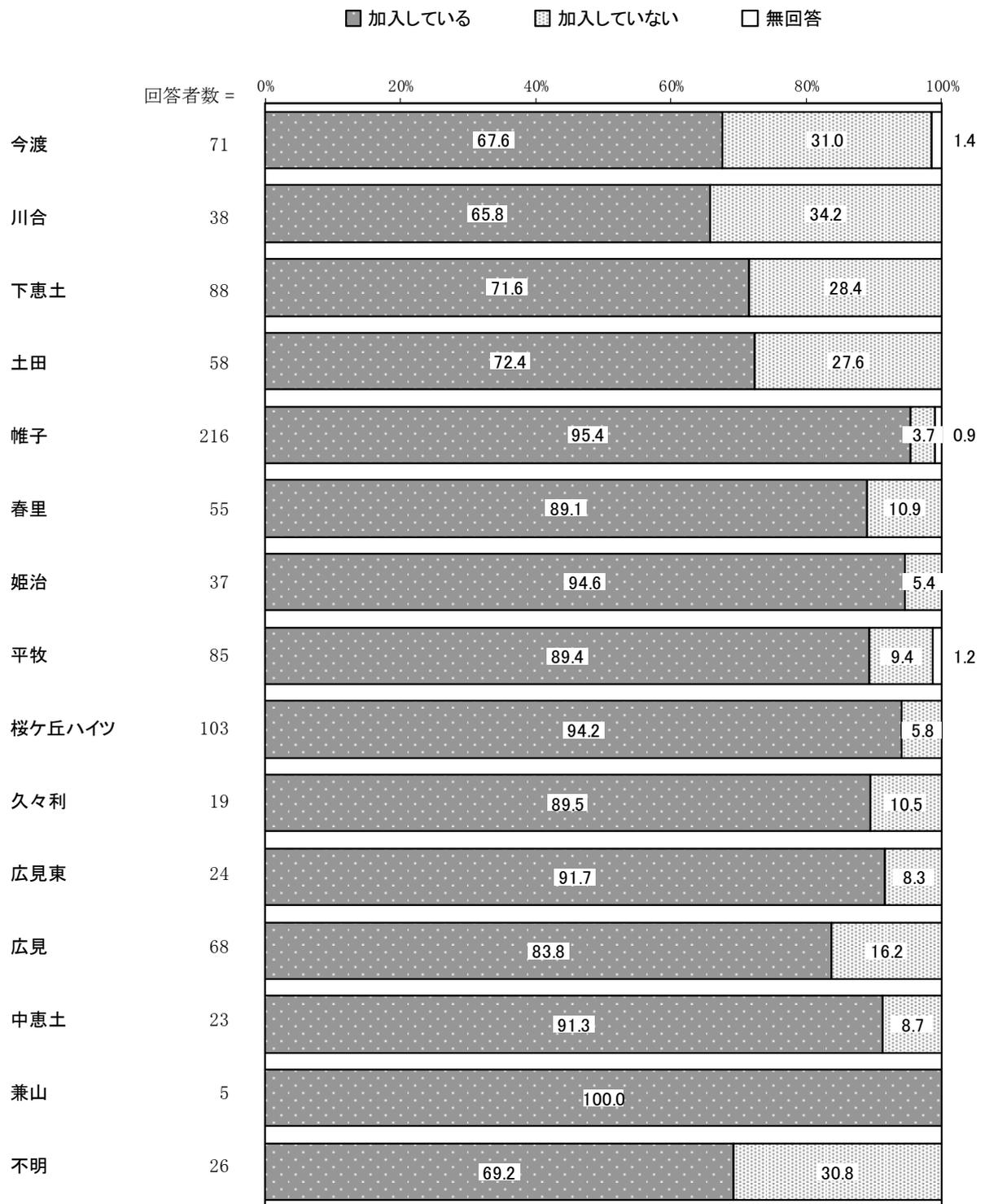
【年代別】

年代別でみると、30歳代以上で年齢が高くなるにつれ「加入している」の割合が高くなっており、60歳代、70歳代以上で約9割を超えています。また、他の年代に比べ、30歳代で「加入していない」の割合が高く、約4割となっています。



【居住地区別】

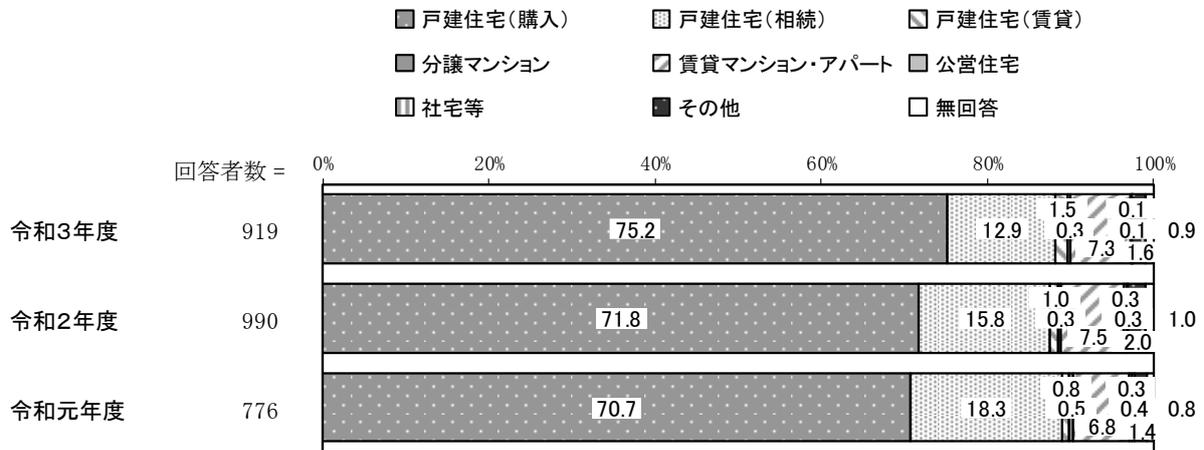
居住地区別でみると、他の地区に比べ、帷子、姫治、桜ヶ丘ハイツで「加入している」の割合が高く、9割台半ばとなっています。また、川合で「加入していない」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

「戸建住宅（購入）」の割合が75.2%と最も高く、次いで「戸建住宅（相続）」の割合が12.9%となっています。

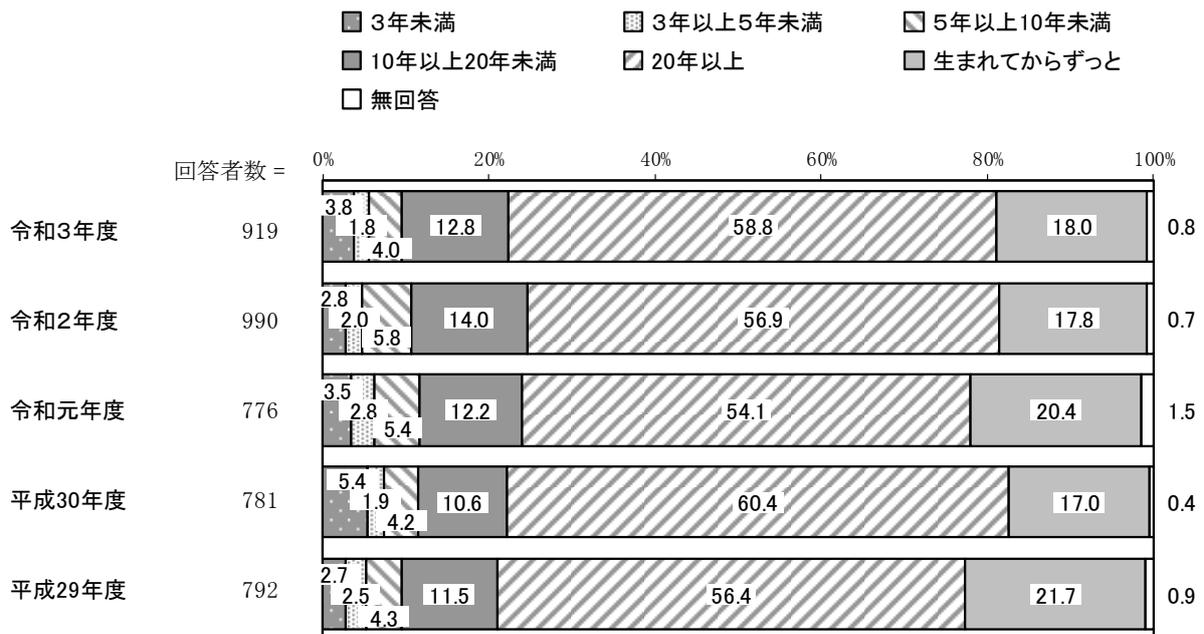
令和2年度調査と比較すると、「戸建住宅（相続）」の割合が減少する傾向がみられます。



問8 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。

「20年以上」の割合が58.8%と最も高く、次いで「生まれてからずっと」の割合が18.0%、「10年以上20年未満」の割合が12.8%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、「20年以上」の割合が、令和元年では減少の傾向がみられましたが、令和2年度以降は、増加しています。



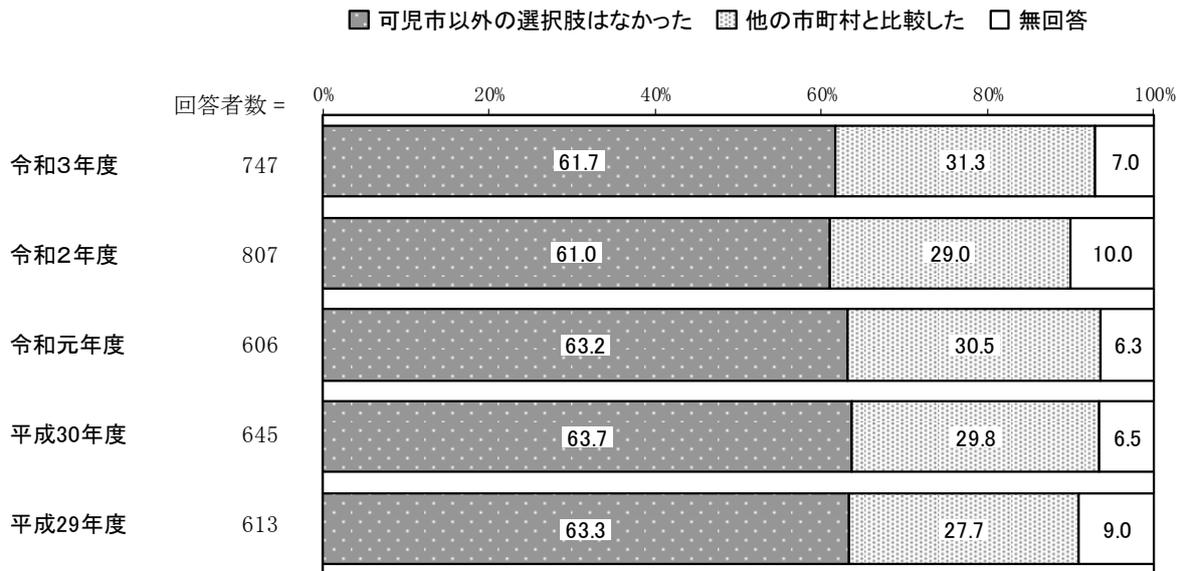
(2) 可児市への居住理由について

【問8で「3年未満」～「20年以上」を選択された方に伺います】

問9 どのように可児市を転居先には選ばれましたか。(○は1つだけ)

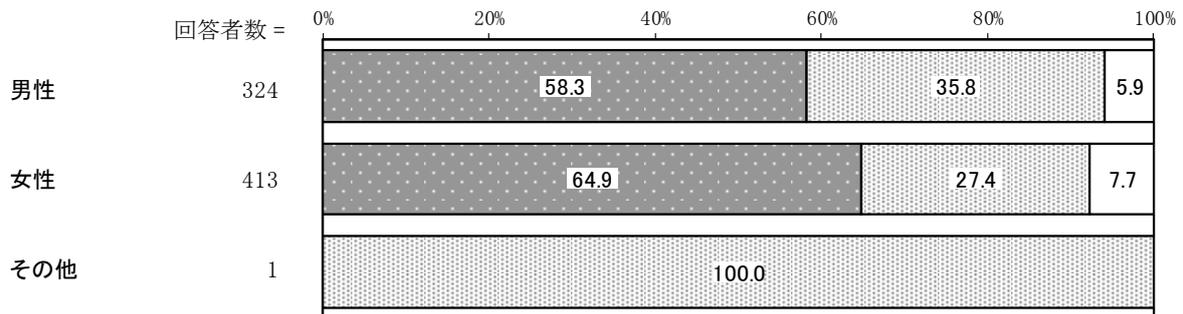
「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が61.7%、「他の市町村と比較した」の割合が31.3%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



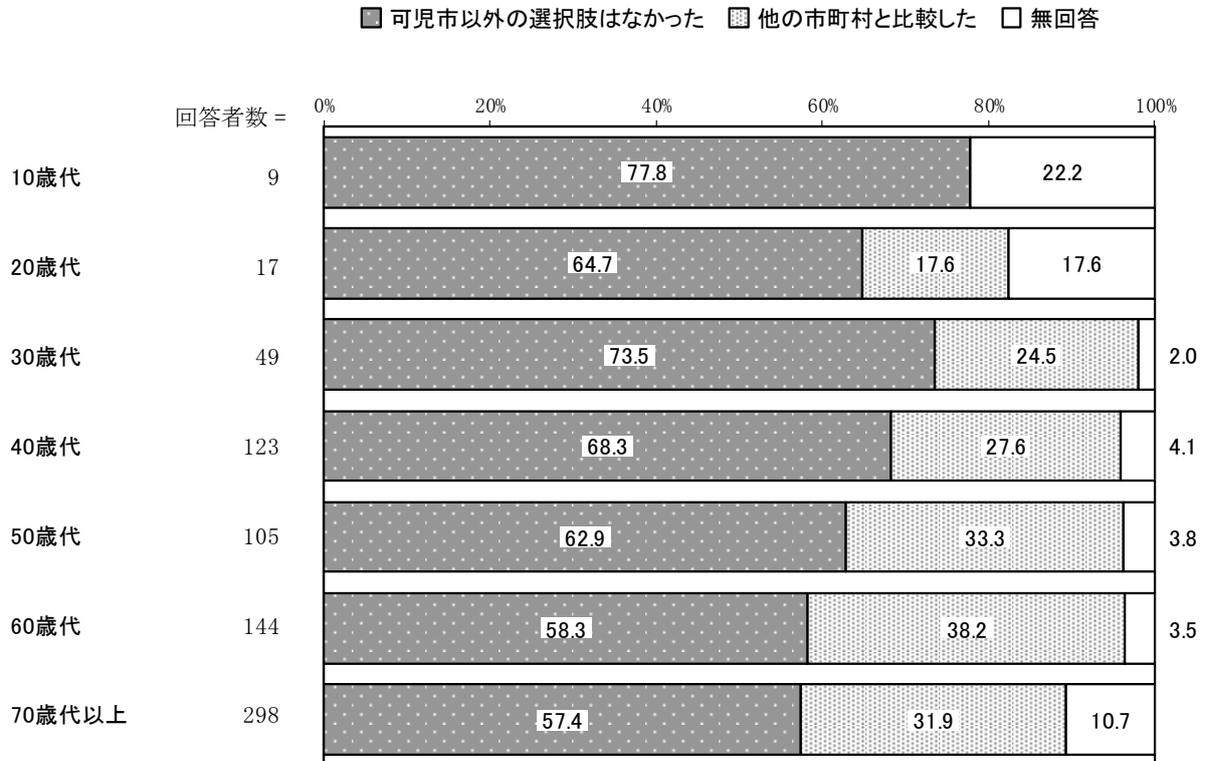
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が高く、6割台半ばとなっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「可見市以外の選択肢はなかった」の割合が高くなる傾向がみられ、10歳代で8割近くとなっています。また、60歳代で「他の市町村と比較した」の割合が高く、4割近くとなっています。

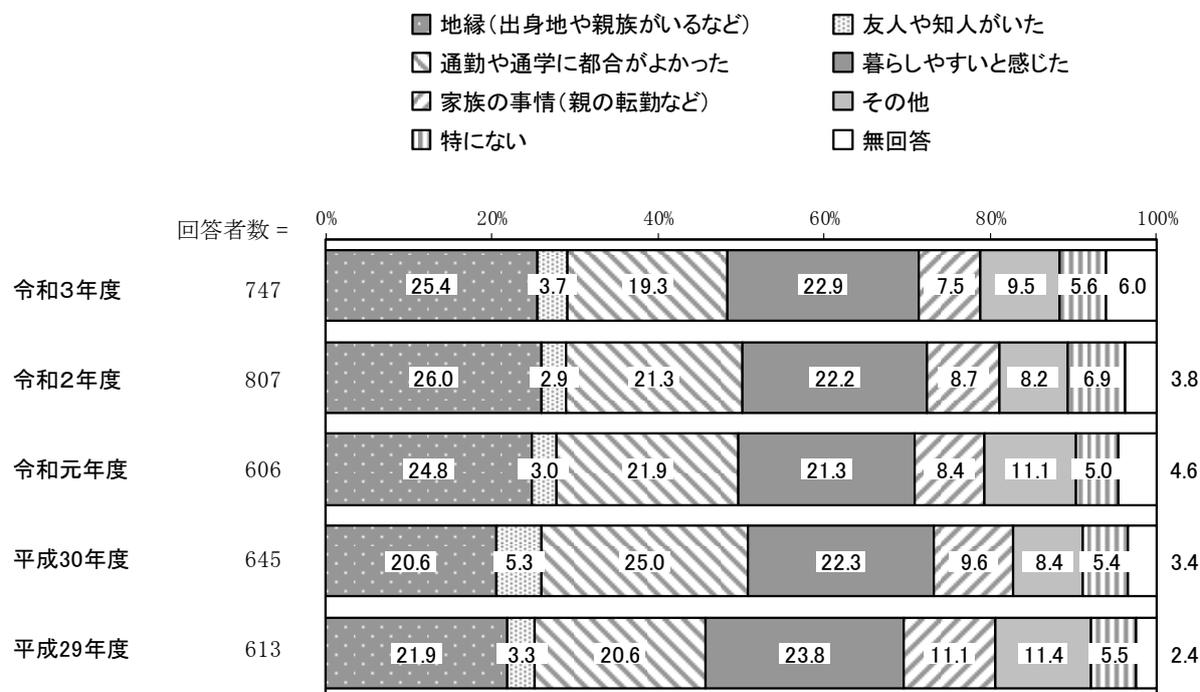


【問8で「3年未満」～「20年以上」を選択された方に伺います】

問10 可児市を選んだ理由は何ですか。(〇は1つだけ)

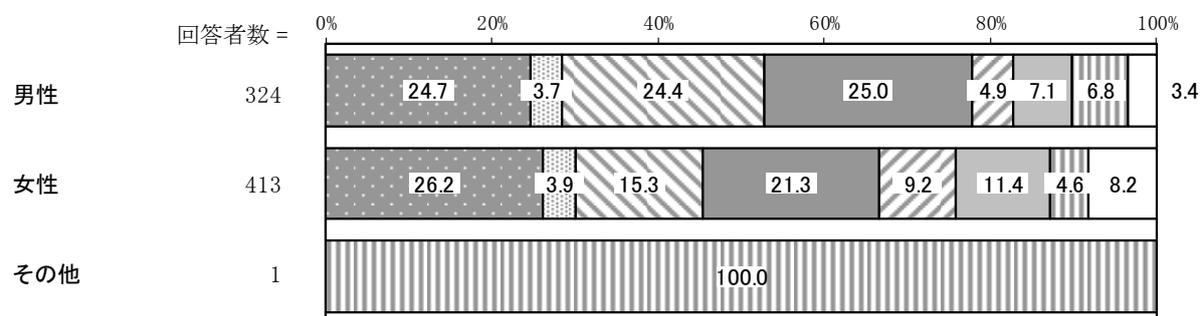
「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が25.4%と最も高く、次いで「暮らしやすいと感じた」の割合が22.9%、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が19.3%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、「家族の事情（親の転勤など）」の割合が減少する傾向がみられます。



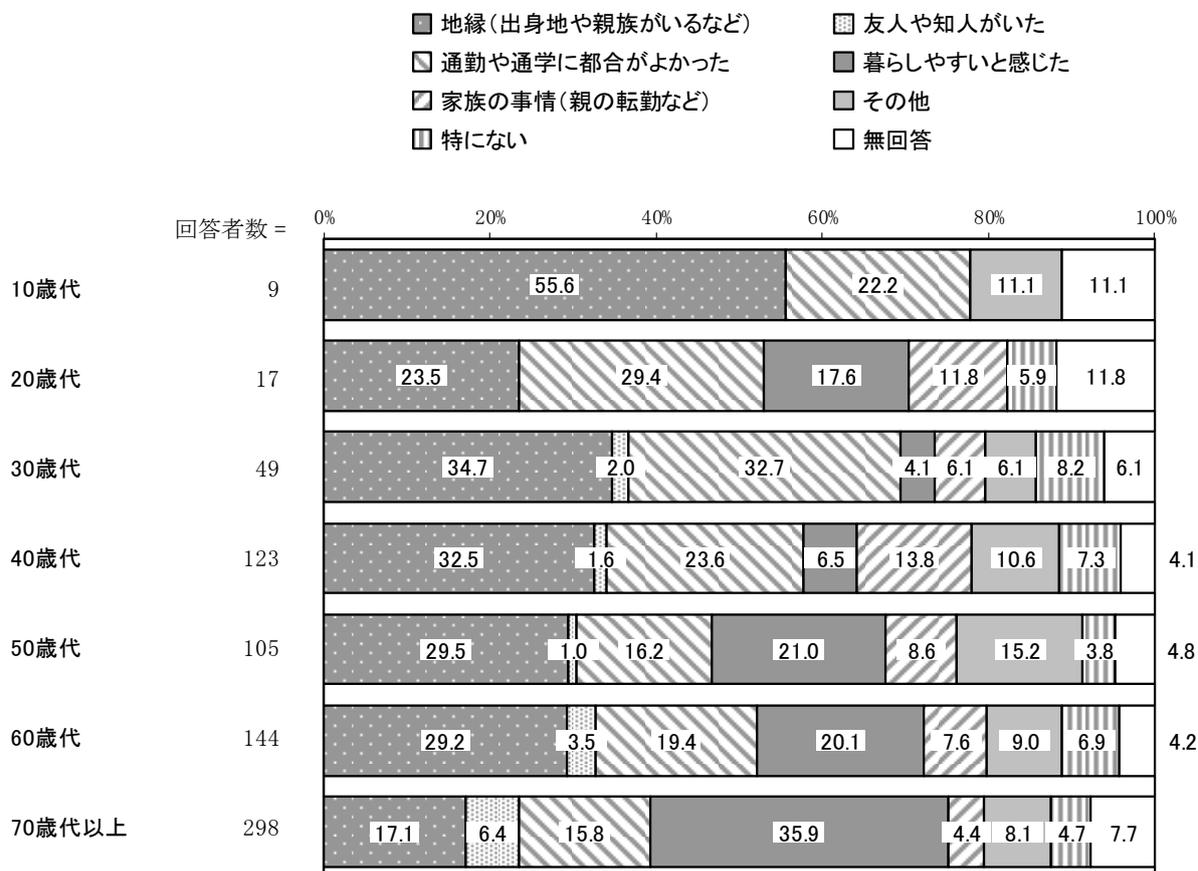
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



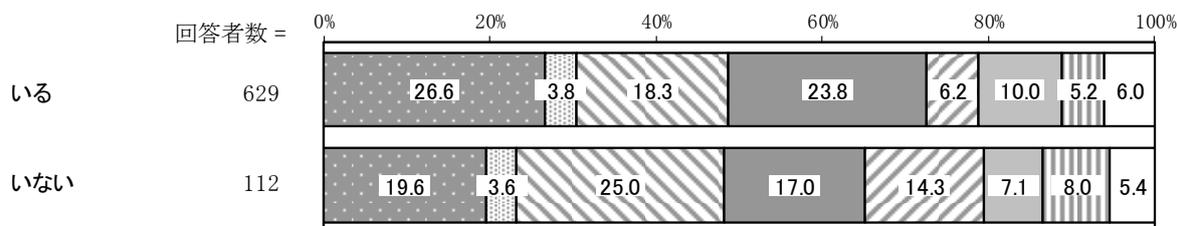
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、70歳代以上で「暮らしやすいと感じた」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



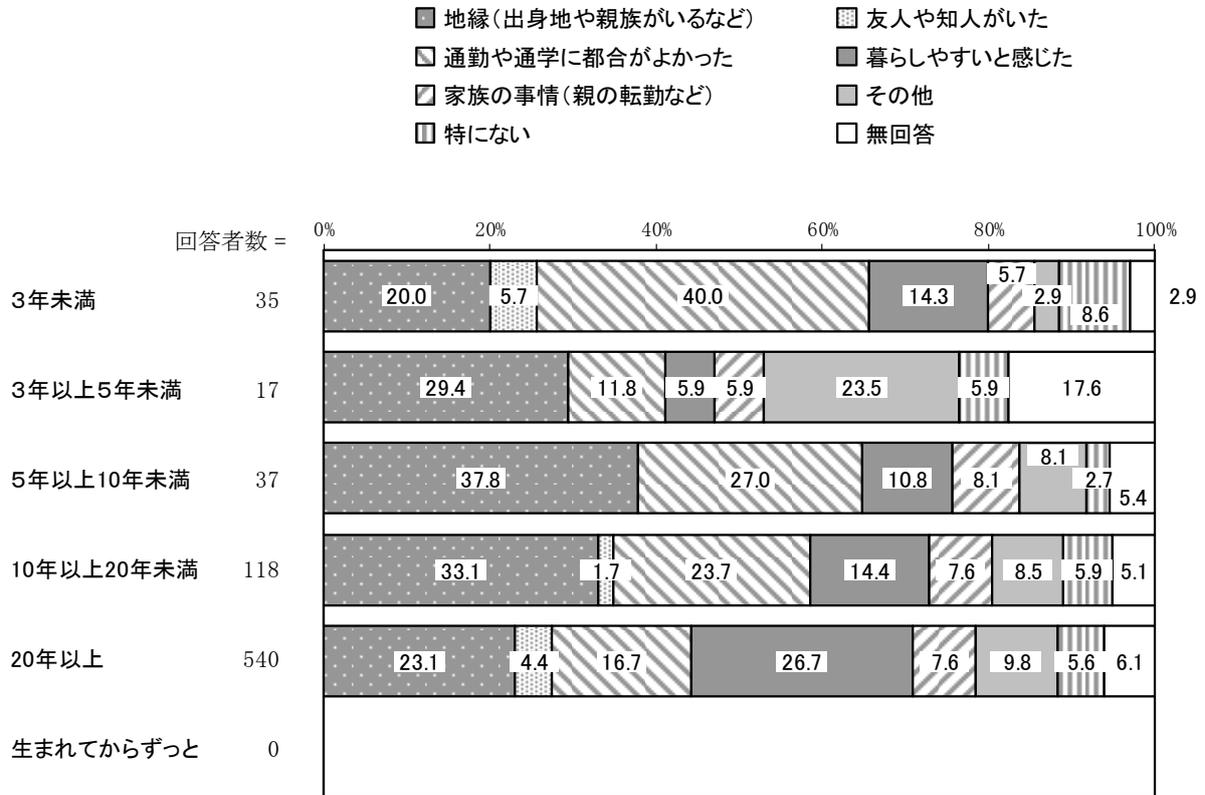
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「暮らしやすいと感じた」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高く、1割台半ばとなっています。



【居住年数別】

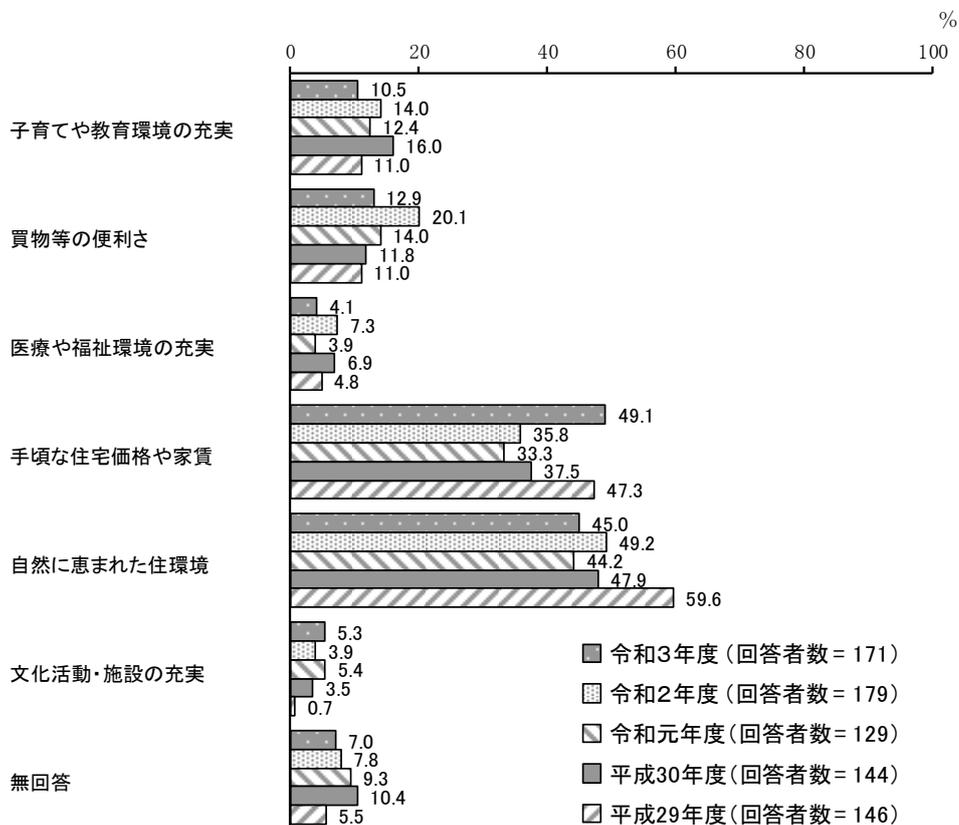
居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が、5年以上10年未満で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高くなっています。



暮らしやすいと感じた理由

「手頃な住宅価格や家賃」の割合が49.1%と最も高く、次いで「自然に恵まれた環境」の割合が45.0%、「買物等の便利さ」の割合が12.9%となっています。

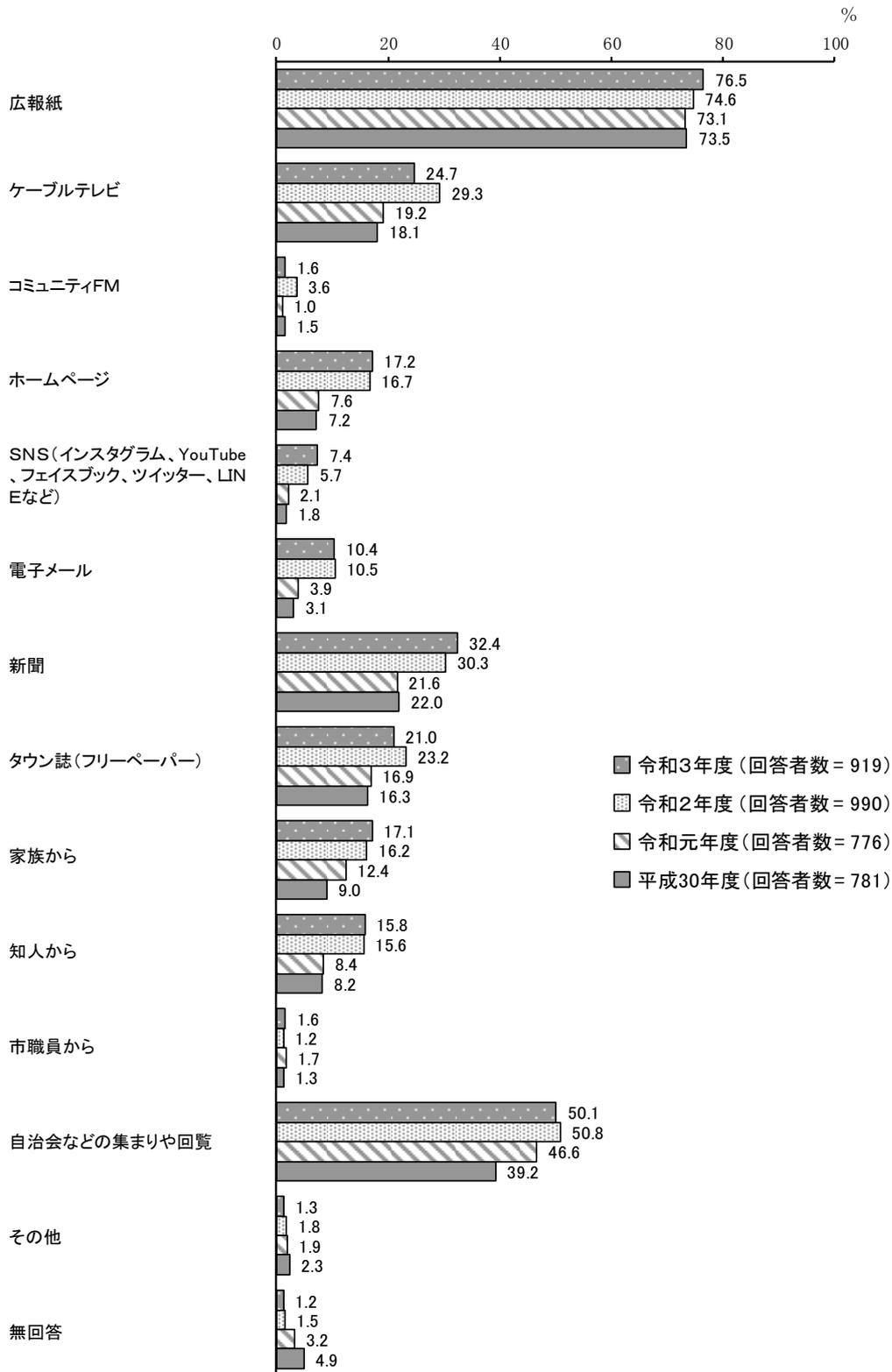
令和2年度以前の調査と比較すると、「手頃な住宅価格や家賃」の割合は減少傾向がみられましたが、令和3年度は増加しています。



問11 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。(回答複数可)

「広報紙」の割合が76.5%と最も高く、次いで「自治会などの集まりや回覧」の割合が50.1%、「新聞」の割合が32.4%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、「ホームページ」「新聞」「家族から」「知人から」の割合が増加する傾向がみられます。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「タウン誌（フリーペーパー）」「知人から」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS（インスタグラム、YouTube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
男性	419	76.1	24.6	2.4	19.1	5.7	8.1	32.5	16.2	19.1	13.8	2.1	49.6	1.2	1.2
女性	489	76.7	24.9	1.0	15.3	9.0	12.7	32.5	25.4	15.5	17.2	1.2	50.1	1.4	1.2
その他	1	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—

【年代別】

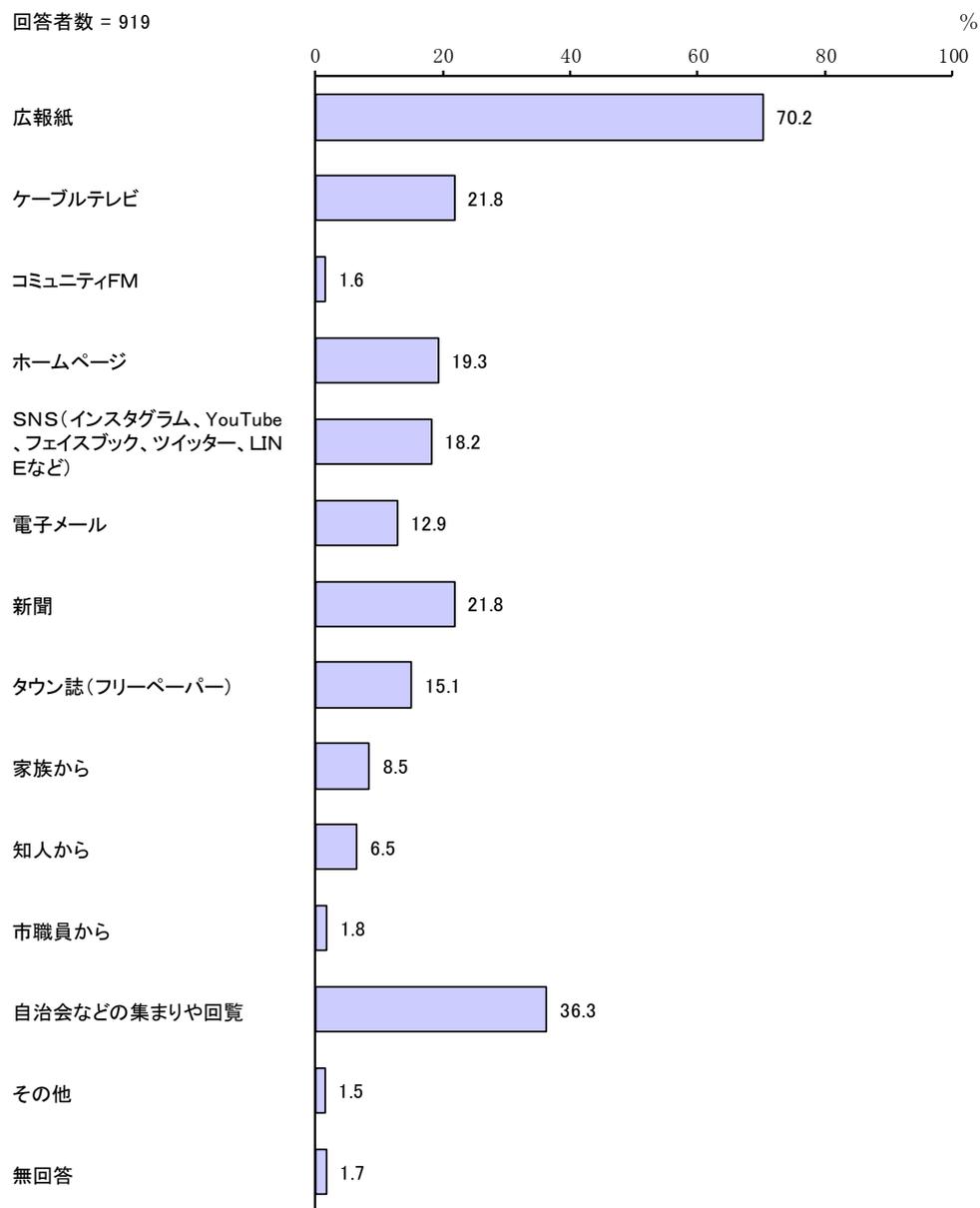
年代別でみると、年齢が高くなるにつれ「広報紙」「自治会などの集まりや回覧」の割合が、年齢が低くなるにつれ「SNS（インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど）」「家族から」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：％

区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS（インスタグラム、YouTube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
10歳代	19	36.8	10.5	—	10.5	5.3	10.5	5.3	5.3	57.9	10.5	—	15.8	5.3	—
20歳代	40	32.5	10.0	—	17.5	10.0	7.5	5.0	12.5	47.5	15.0	2.5	12.5	—	—
30歳代	64	56.3	12.5	—	23.4	21.9	15.6	9.4	23.4	31.3	29.7	—	23.4	3.1	3.1
40歳代	148	62.8	18.9	2.0	31.1	12.2	25.7	16.2	31.8	18.2	12.2	0.7	35.8	2.0	1.4
50歳代	124	87.1	23.4	1.6	20.2	7.3	13.7	22.6	26.6	13.7	12.9	0.8	46.8	0.8	0.8
60歳代	183	84.7	36.1	3.3	20.2	7.1	7.7	37.2	26.8	11.5	14.2	3.3	59.0	1.1	1.1
70歳代以上	338	85.5	25.7	1.2	7.4	2.7	3.6	49.7	12.4	12.4	17.2	1.8	64.5	0.9	1.2

問 12 あなたは、市の情報をどのように受け取りたいですか。(回答複数可)

「広報紙」の割合が70.2%と最も高く、次いで「自治会などの集まりや回覧」の割合が36.3%、「ケーブルテレビ」、「新聞」の割合が21.8%となっています。



【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「タウン誌（フリーペーパー）」の割合が高く、約2割となっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS（インスタグラム、YouTube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
男性	419	69.2	21.0	1.4	21.0	16.5	11.5	20.8	11.9	8.6	5.5	2.6	37.2	1.9	1.7
女性	489	71.0	22.5	1.8	17.6	19.8	14.5	22.7	18.0	8.4	7.4	1.0	35.0	1.2	1.8
その他	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	100.0	—	—

【年代別】

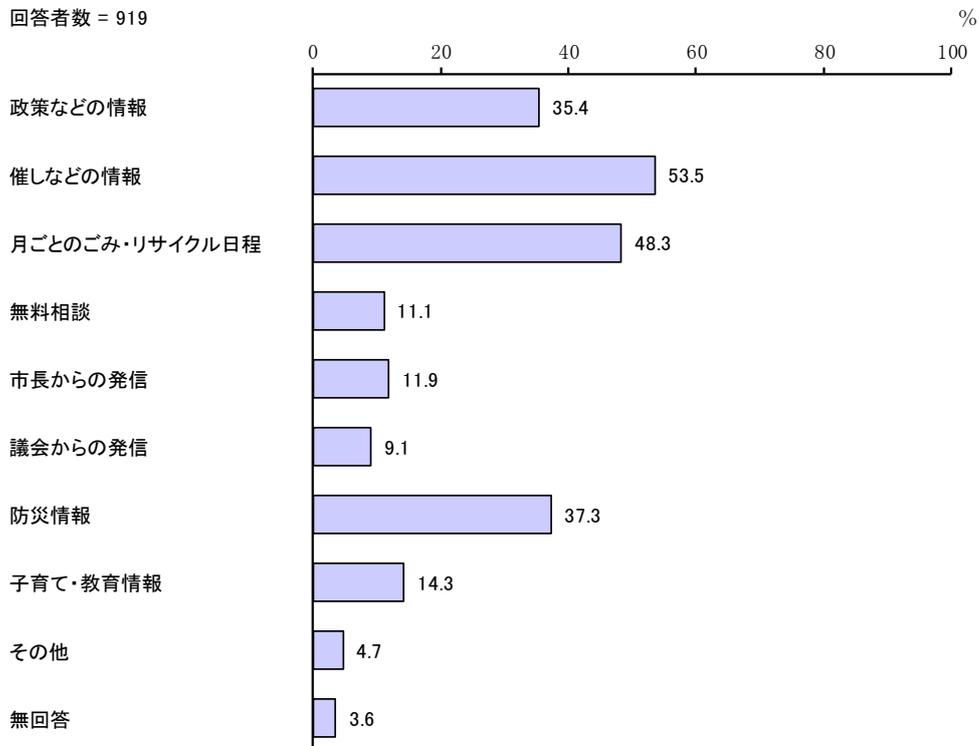
年代別でみると、年齢が高くなるにつれ「広報紙」「自治会などの集まりや回覧」の割合が、年齢が低くなるにつれ「家族から」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、20歳代で「SNS（インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS(インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど)	電子メール	新聞	タウン誌(フリーペーパー)	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
10歳代	19	42.1	10.5	—	15.8	31.6	10.5	5.3	5.3	26.3	5.3	—	5.3	5.3	—
20歳代	40	35.0	7.5	—	17.5	40.0	5.0	5.0	12.5	12.5	7.5	2.5	7.5	2.5	—
30歳代	64	46.9	7.8	1.6	21.9	37.5	12.5	3.1	21.9	14.1	9.4	—	15.6	—	4.7
40歳代	148	52.7	16.9	2.0	31.1	27.0	28.4	8.8	20.3	6.8	6.1	1.4	19.6	0.7	1.4
50歳代	124	73.4	20.2	2.4	25.0	23.4	19.4	14.5	18.5	6.5	3.2	0.8	33.1	0.8	1.6
60歳代	183	78.1	32.2	1.6	23.0	14.2	9.8	26.2	19.7	4.4	4.4	1.6	40.4	2.2	0.5
70歳代以上	338	82.5	23.1	1.5	9.8	7.7	6.8	34.3	8.6	9.8	8.6	3.0	52.1	1.8	2.4

問 13 あなたは、次のうちどのようなものに興味がありますか。(回答複数可)

「催しなどの情報」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「月ごとのごみ・リサイクル日程」の割合が 48.3%、「防災情報」の割合が 37.3%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「政策などの情報」「議会からの発信」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「催しなどの情報」「月ごとのごみ収集・リサイクル日程」「子育て・教育情報」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	政策などの情報	催しなどの情報	月ごとのごみ・リサイクル日程	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育て・教育情報	その他	無回答
男性	419	46.3	49.2	42.2	10.5	13.8	13.1	34.8	11.7	4.8	4.1
女性	489	26.4	57.1	53.6	11.0	10.4	5.5	39.5	16.6	4.7	3.3
その他	1	—	100.0	—	100.0	—	100.0	—	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代から40歳代で「子育て・教育情報」の割合が高く、特に30歳代で5割台半ばとなっています。また、40歳代から60歳代で「月ごとのごみ・リサイクル日程」の割合が、50歳代以上で「政策などの情報」の割合が高くなっています。

単位：％

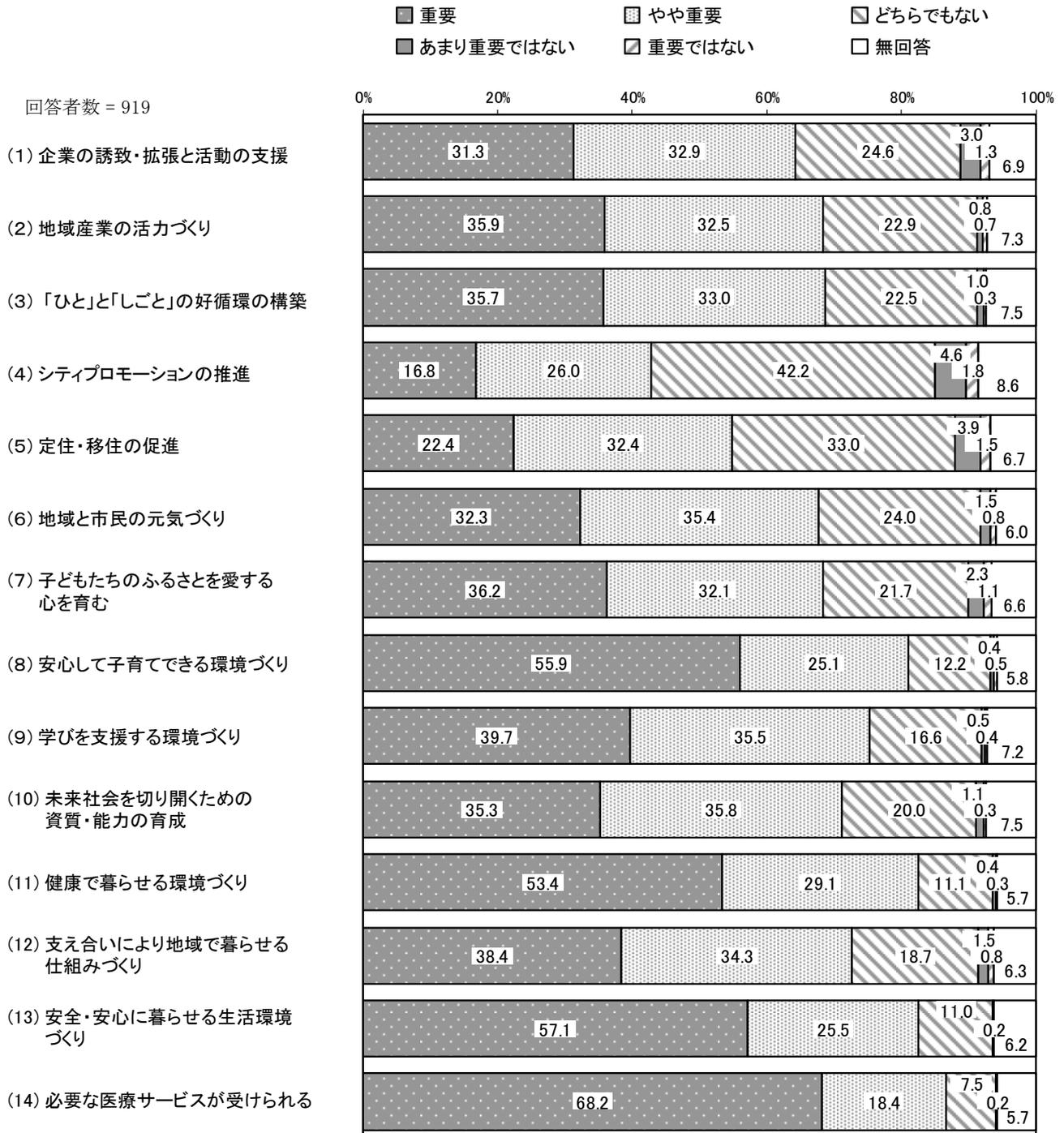
区分	有効回答数 (件)	政策などの情報	催しなどの情報	月ごとのごみ・ リサイクル日程	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育て・ 教育情報	その他	無回答
10歳代	19	21.1	36.8	10.5	10.5	—	—	31.6	15.8	15.8	5.3
20歳代	40	27.5	40.0	22.5	5.0	10.0	5.0	25.0	20.0	7.5	—
30歳代	64	23.4	53.1	43.8	9.4	3.1	3.1	25.0	56.3	—	6.3
40歳代	148	26.4	45.9	56.1	16.9	11.5	6.8	39.9	35.1	4.1	1.4
50歳代	124	39.5	58.1	55.6	11.3	8.9	5.6	46.8	9.7	6.5	2.4
60歳代	183	39.3	55.2	50.3	16.9	10.4	9.3	41.0	6.6	5.5	2.2
70歳代以上	338	39.9	56.8	47.0	6.5	16.6	13.6	34.9	2.4	3.8	5.6

(3) 施策の重要度と満足度について

問 14 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。
5点満点で評価し、該当する数字を1つずつ○で囲んでください。

①重要度

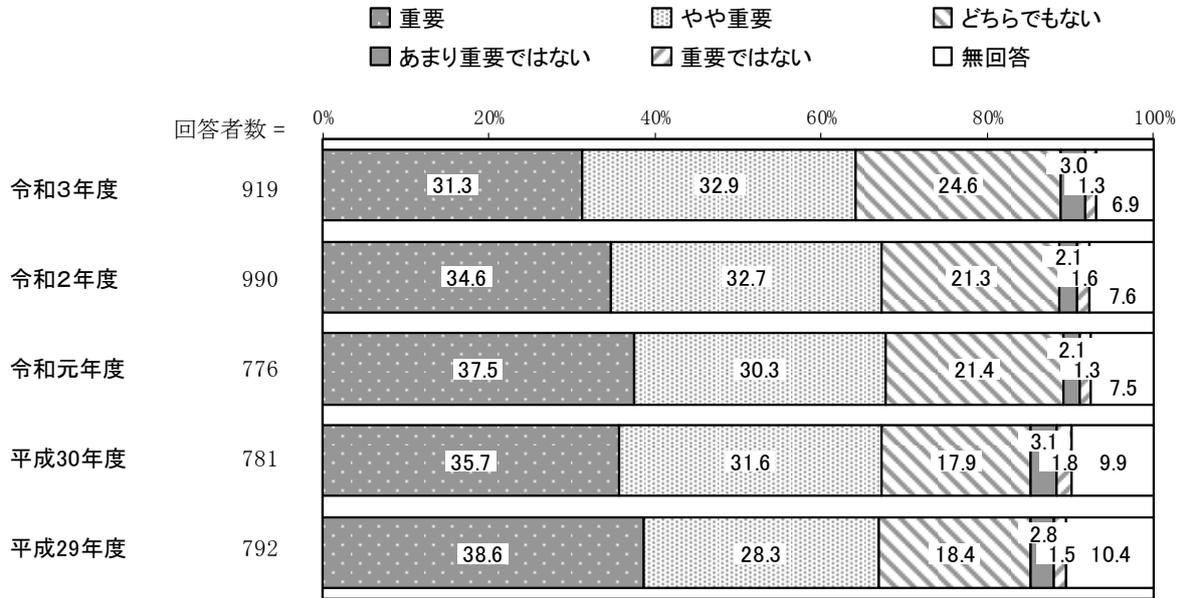
『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(13)安全・安心に暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』で「重要」と「やや重要」をあわせた“重要”の割合が高く、8割を超えています。



(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

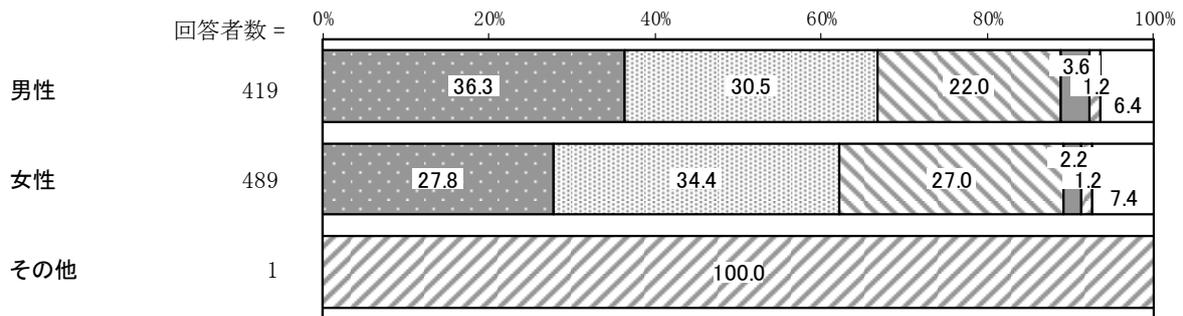
「重要」と「やや重要」をあわせた“重要”の割合が64.2%、「どちらでもない」の割合が24.6%、「あまり重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合が4.3%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



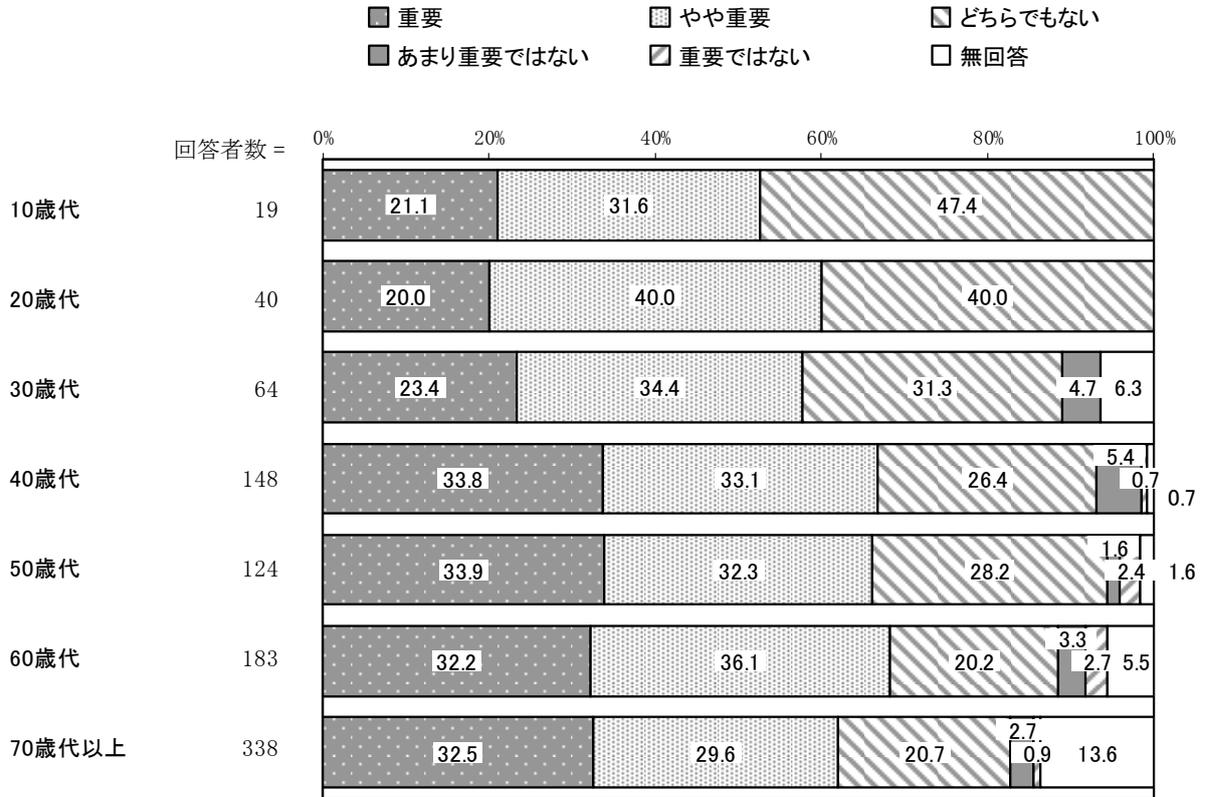
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



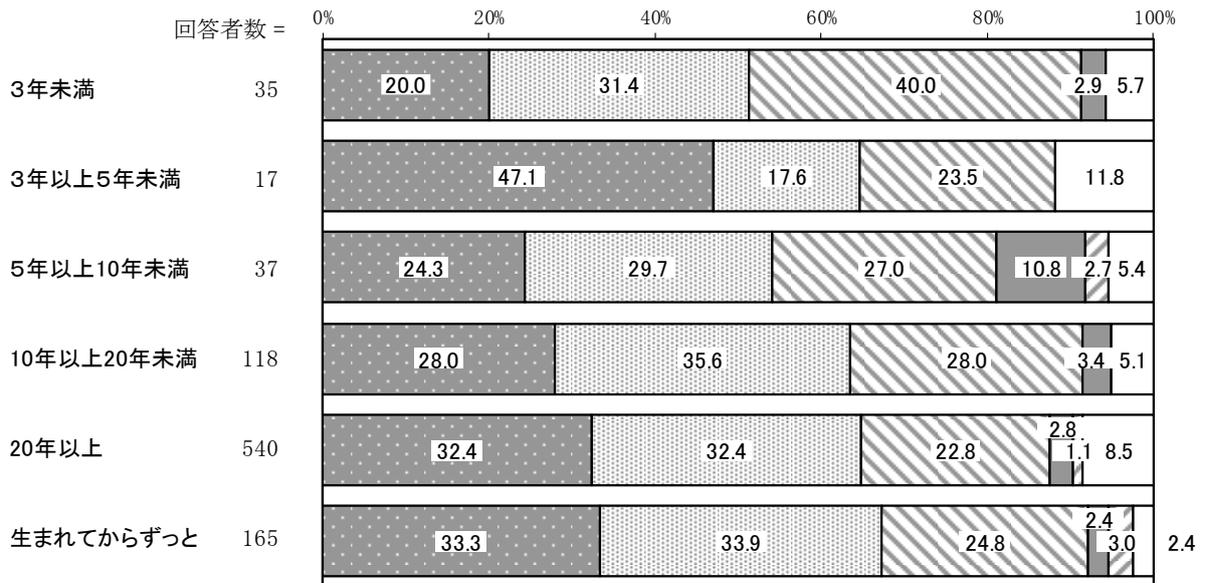
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、60歳代で“重要”の割合が高く、7割近くとなっています。



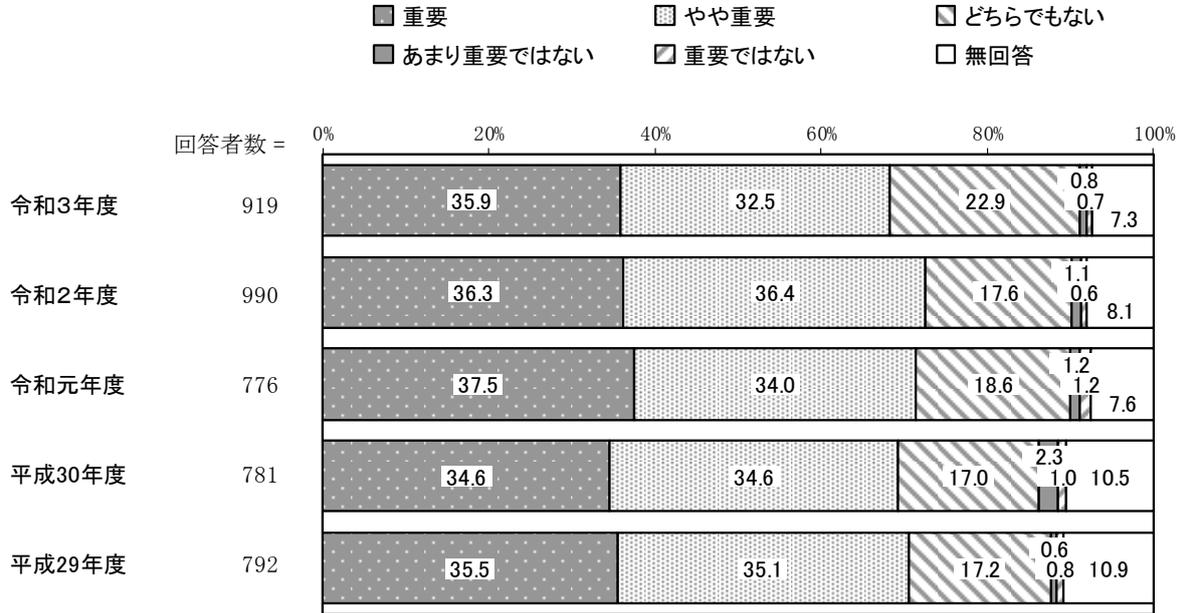
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が低く、約5割となっています。



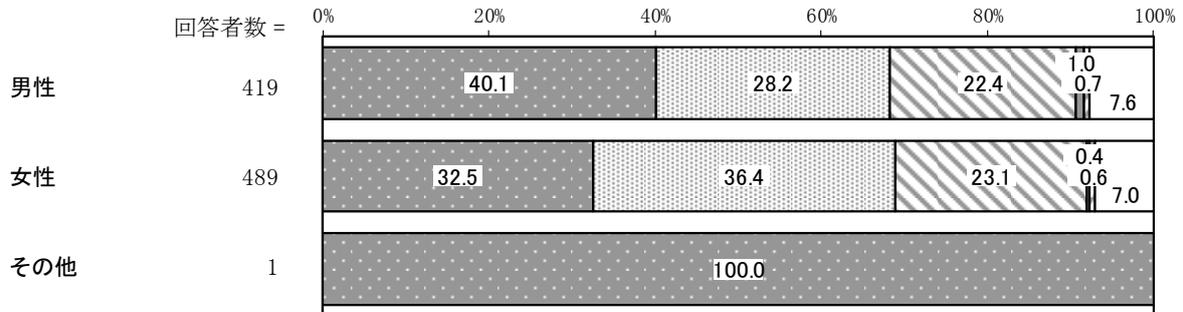
(2) 地域産業の活力づくり

“重要”の割合が68.4%、“重要ではない”の割合が1.5%となっています。
 令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



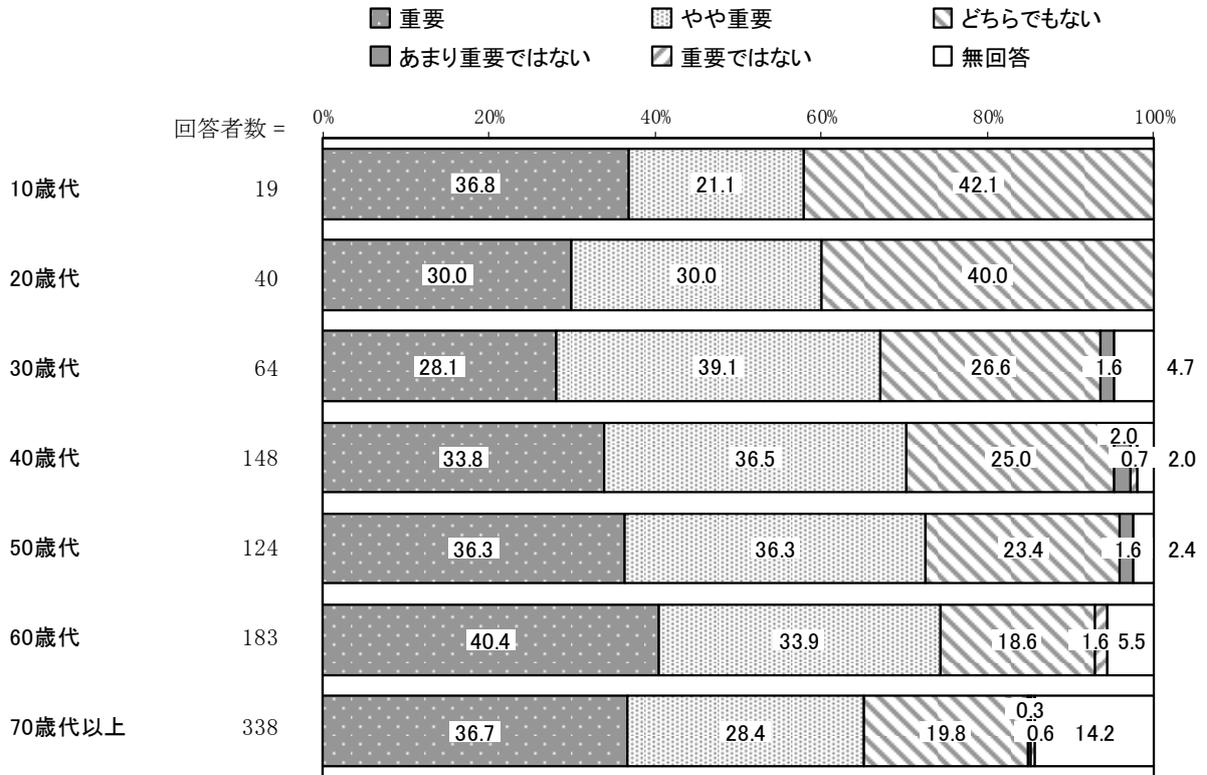
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



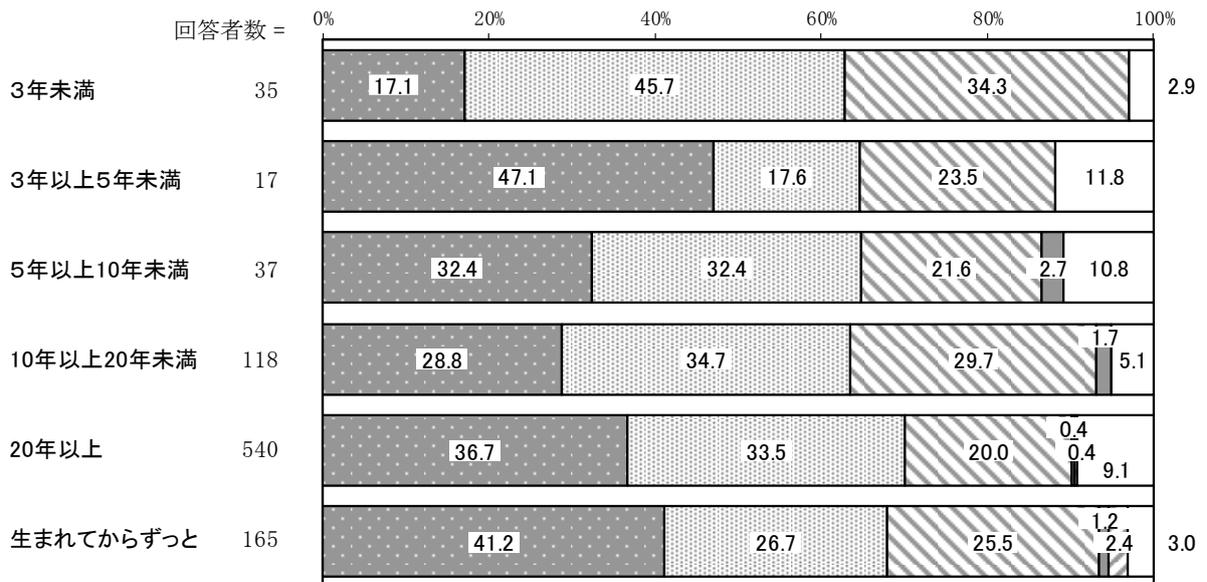
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、7割を超えています。



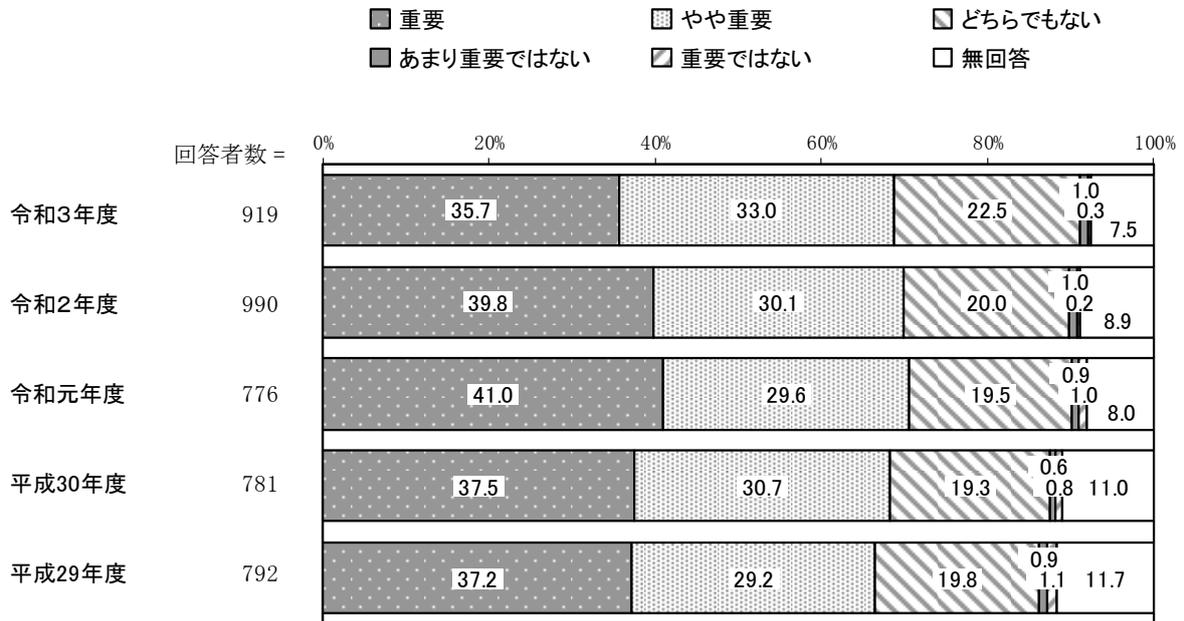
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



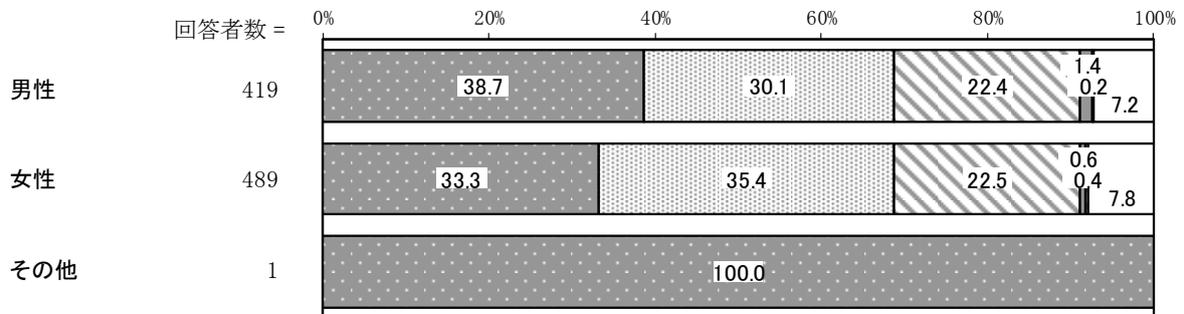
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

“重要”の割合が68.7%、“重要ではない”の割合が1.3%となっています。
 令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



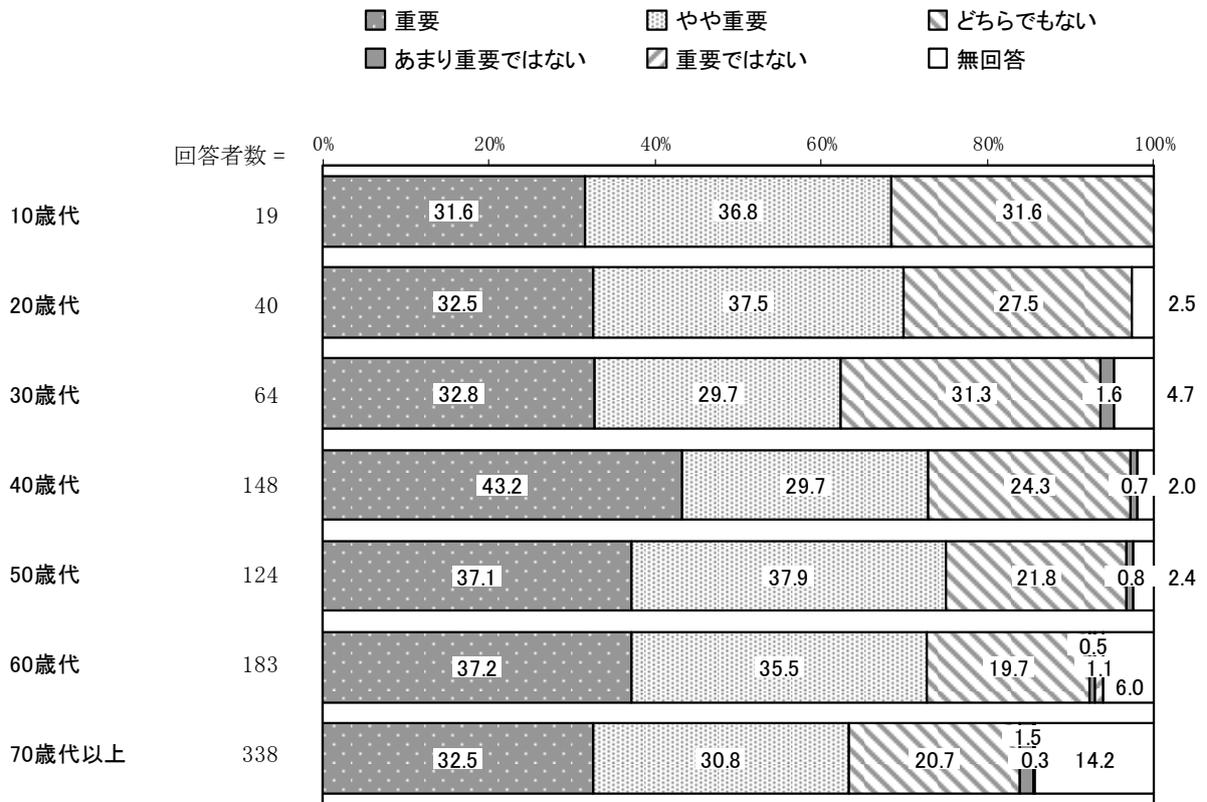
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



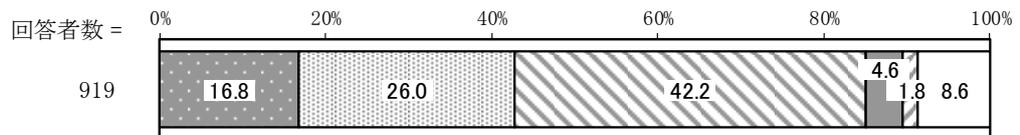
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代で“重要”の割合が高く、7割半ばとなっています。



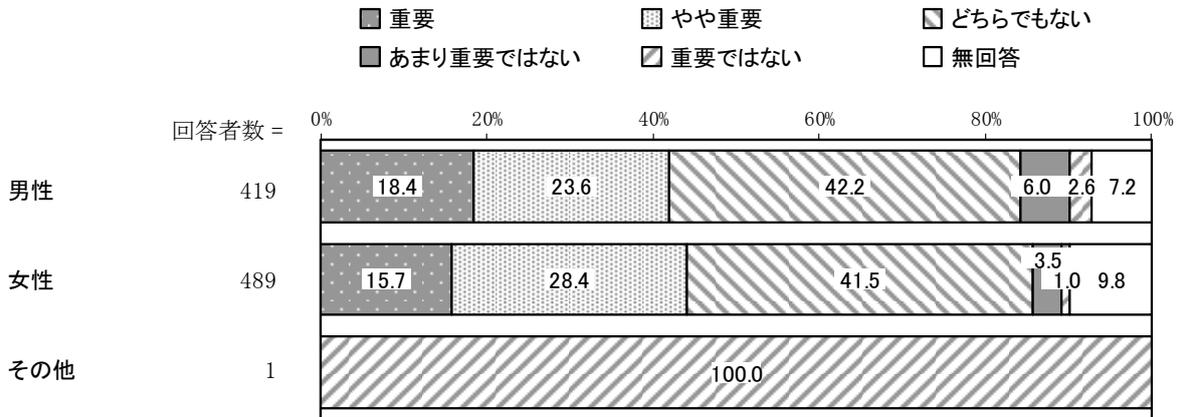
(4) シティプロモーションの推進

“重要”の割合が42.8%、“重要ではない”の割合が6.4%となっています。



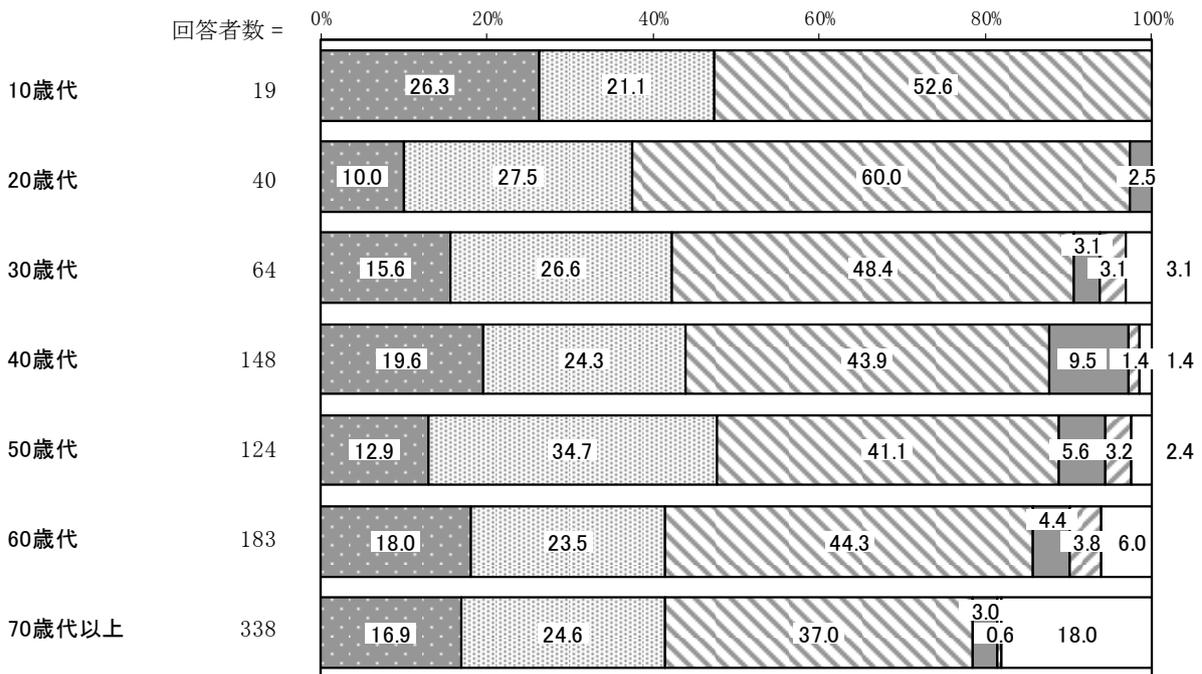
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



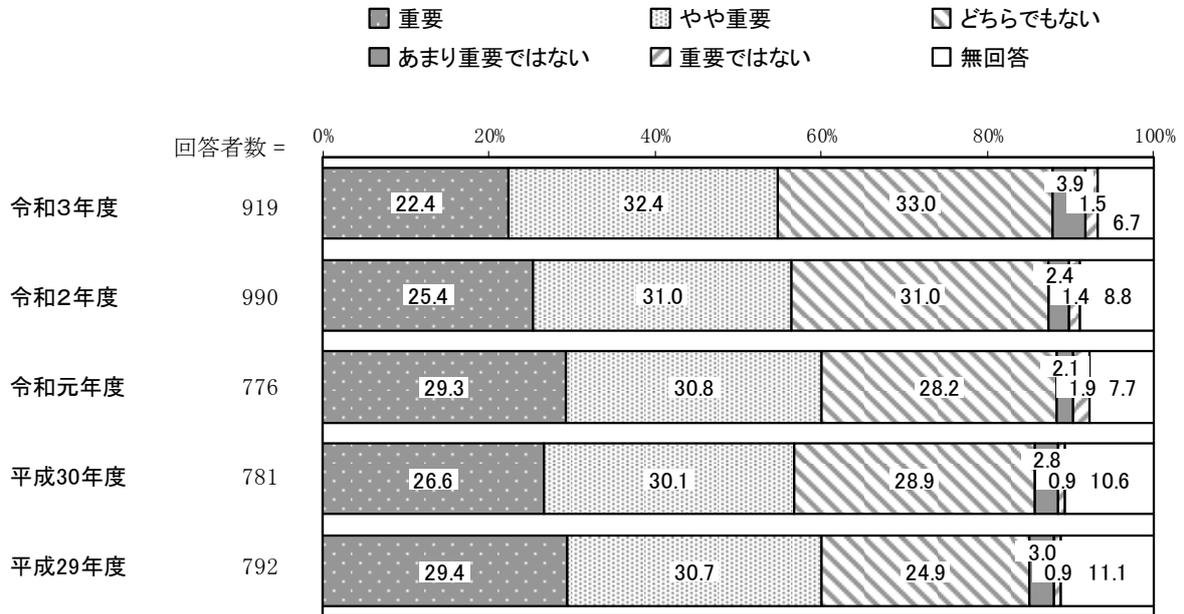
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



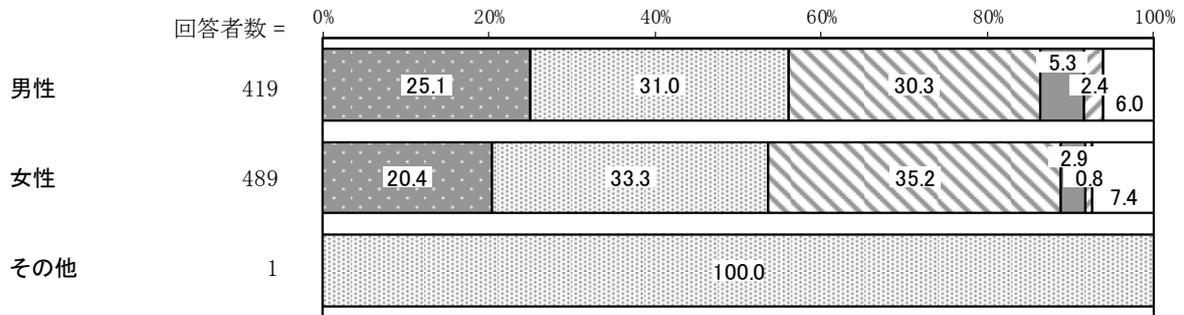
(5) 定住・移住の促進

“重要”の割合が54.8%、“重要ではない”の割合が5.4%となっています。
 令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



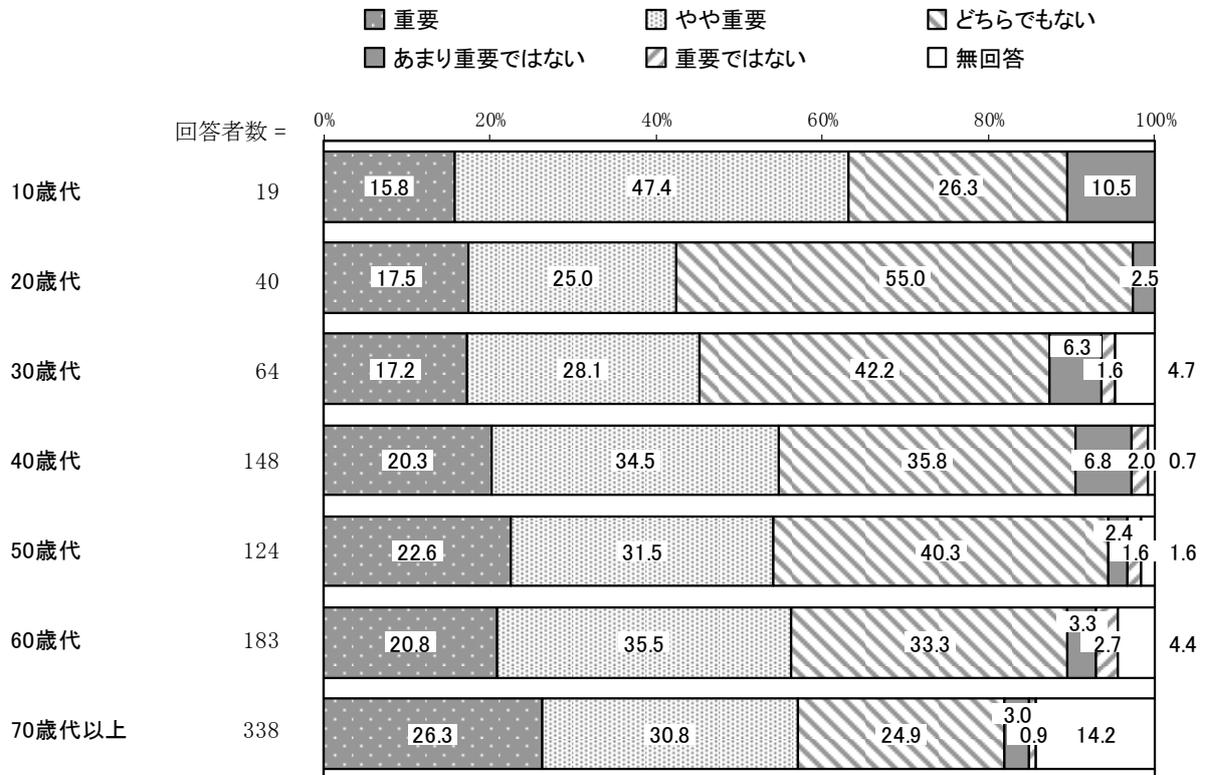
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



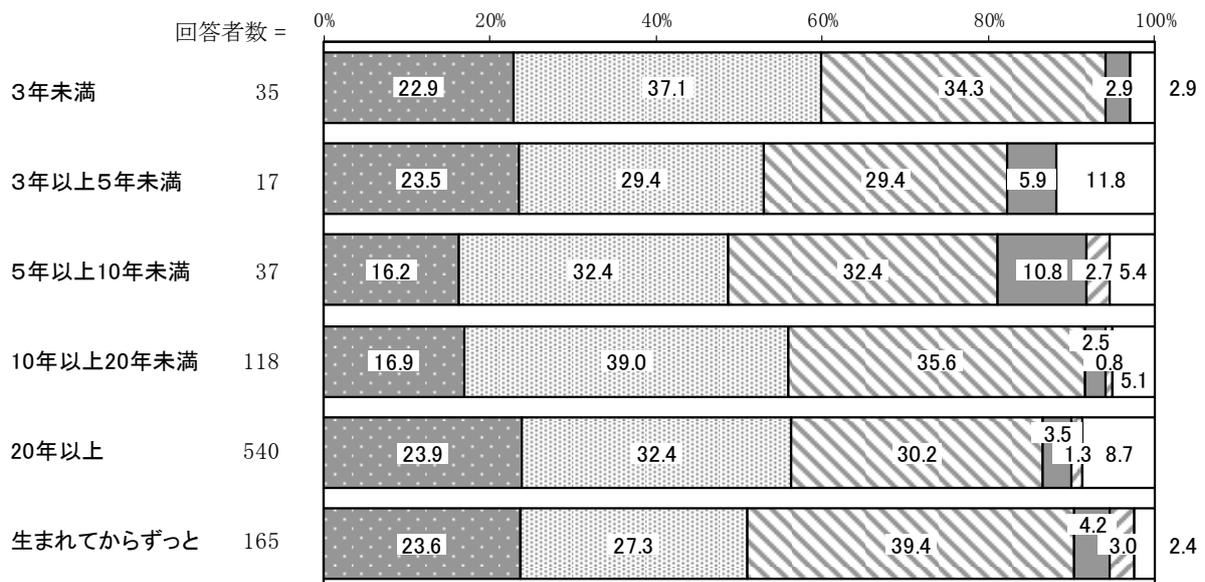
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



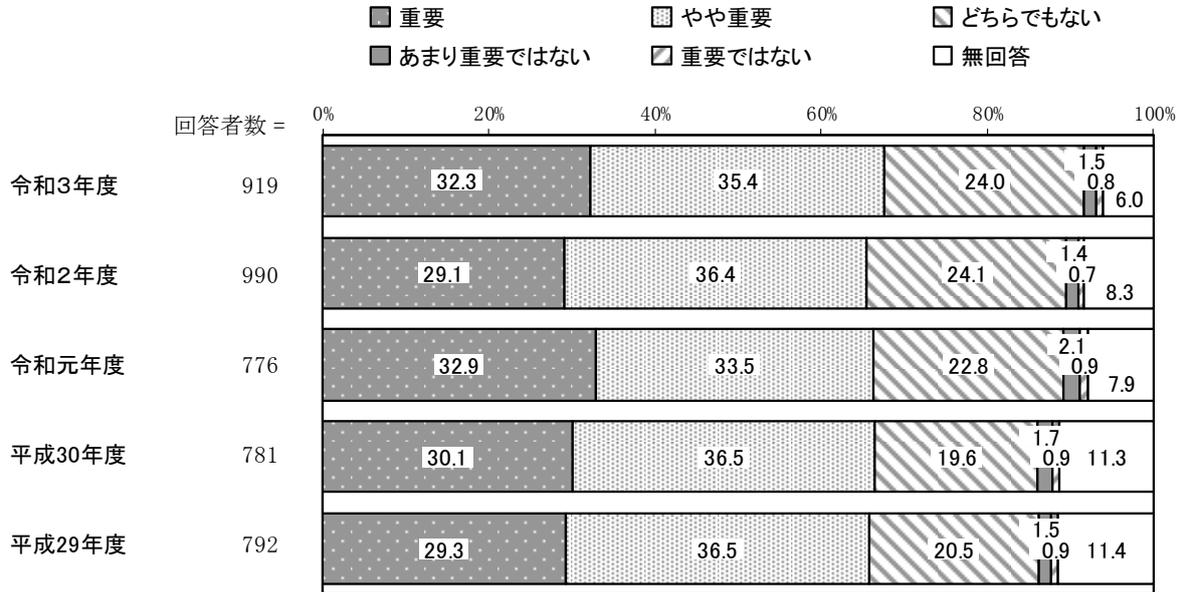
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が高く、6割となっています。



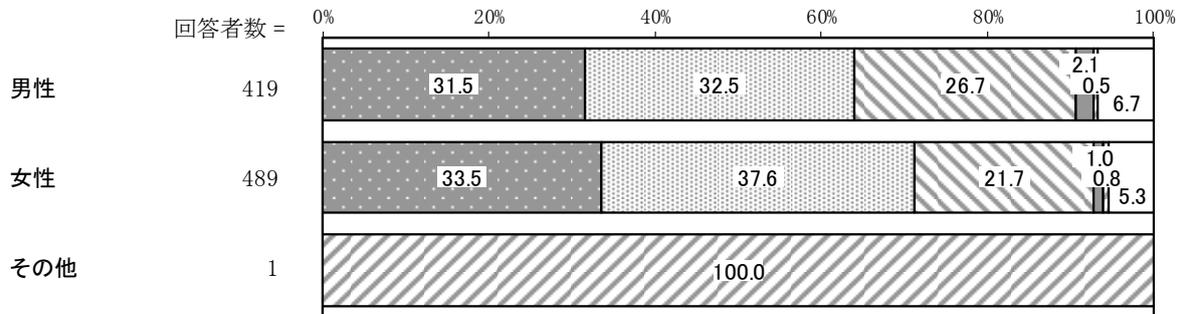
(6) 地域と市民の元気づくり

“重要”の割合が67.7%、“重要ではない”の割合が2.3%となっています。
 令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



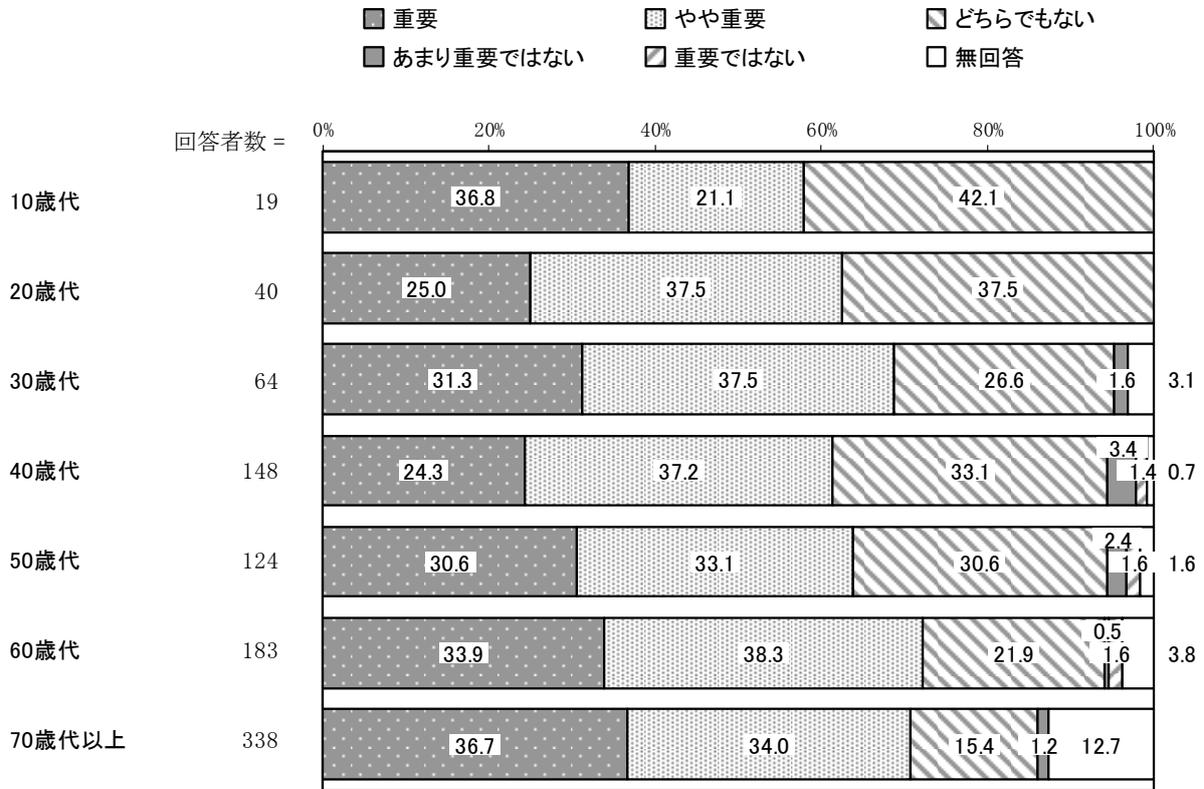
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



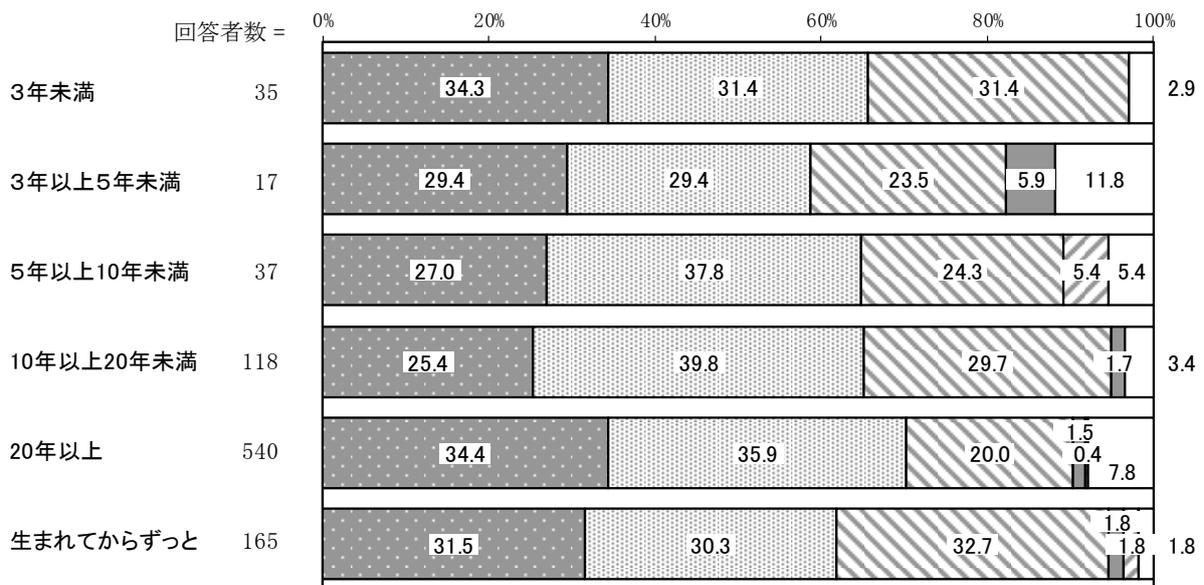
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、60歳代、70歳代以上で“重要”の割合が高く、7割を超えています。



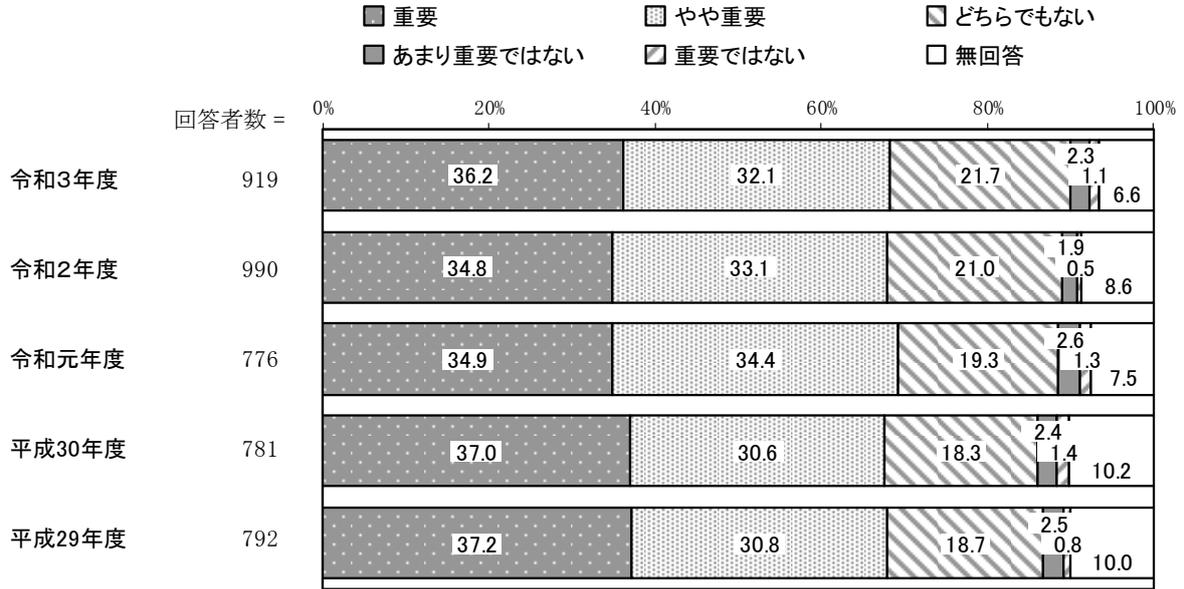
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



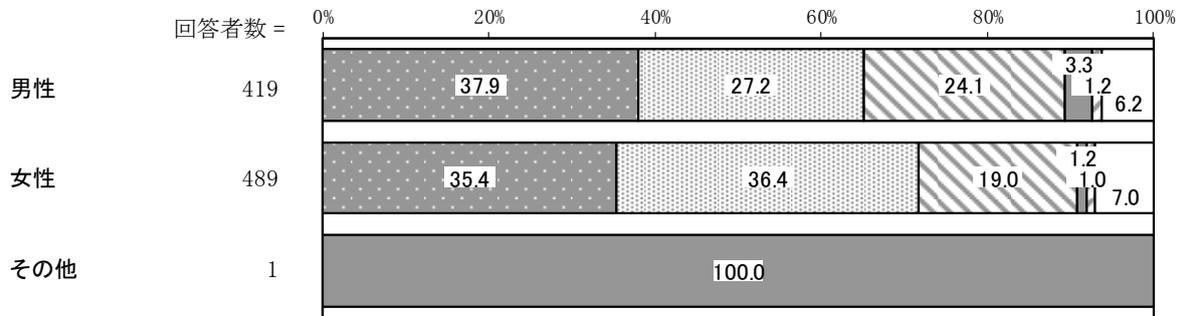
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

“重要”の割合が68.3%、“重要ではない”の割合が3.4%となっています。
 令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



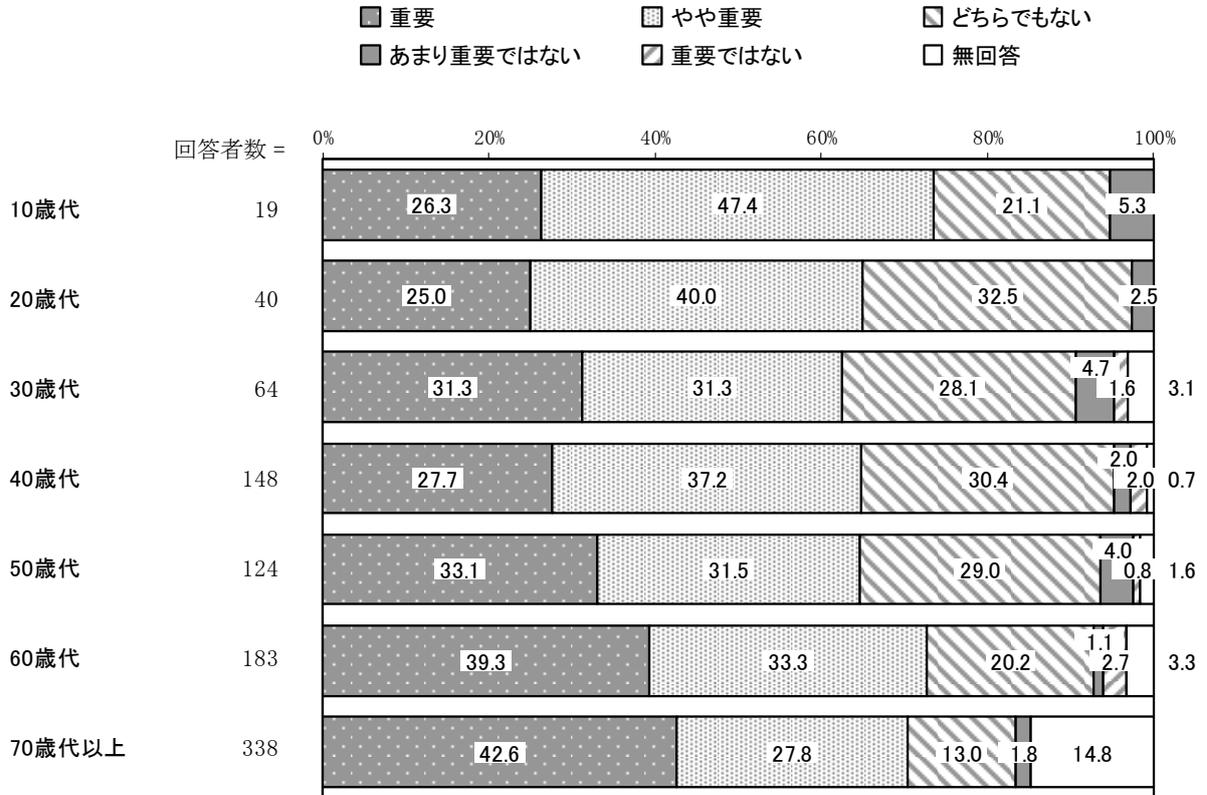
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



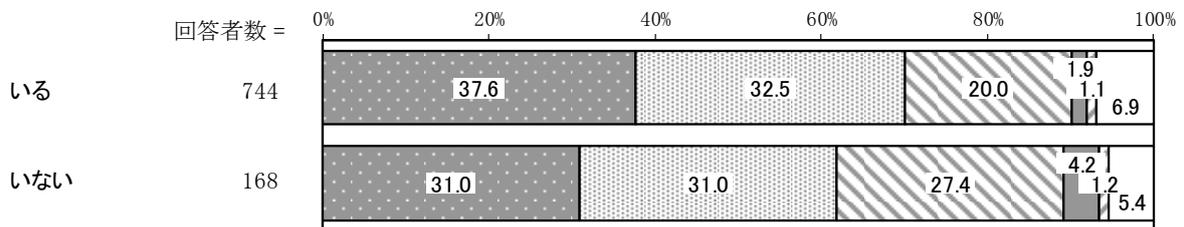
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、7割を超えています。また、30歳代で“重要ではない”の割合が高くなっています。



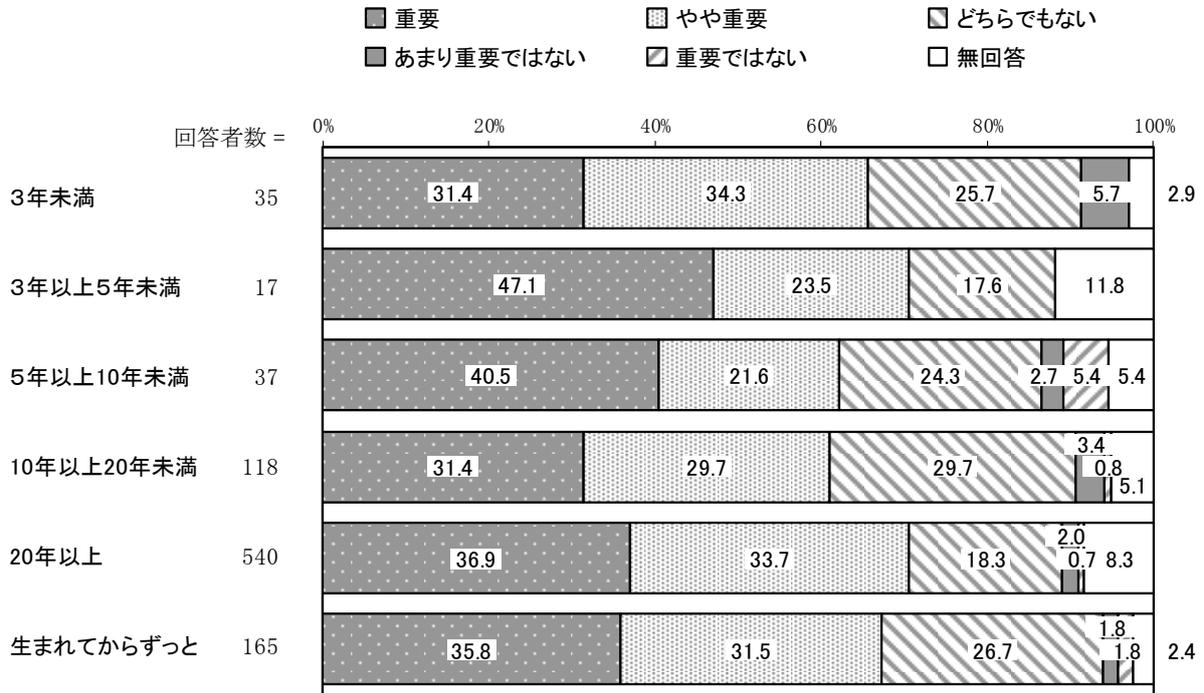
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



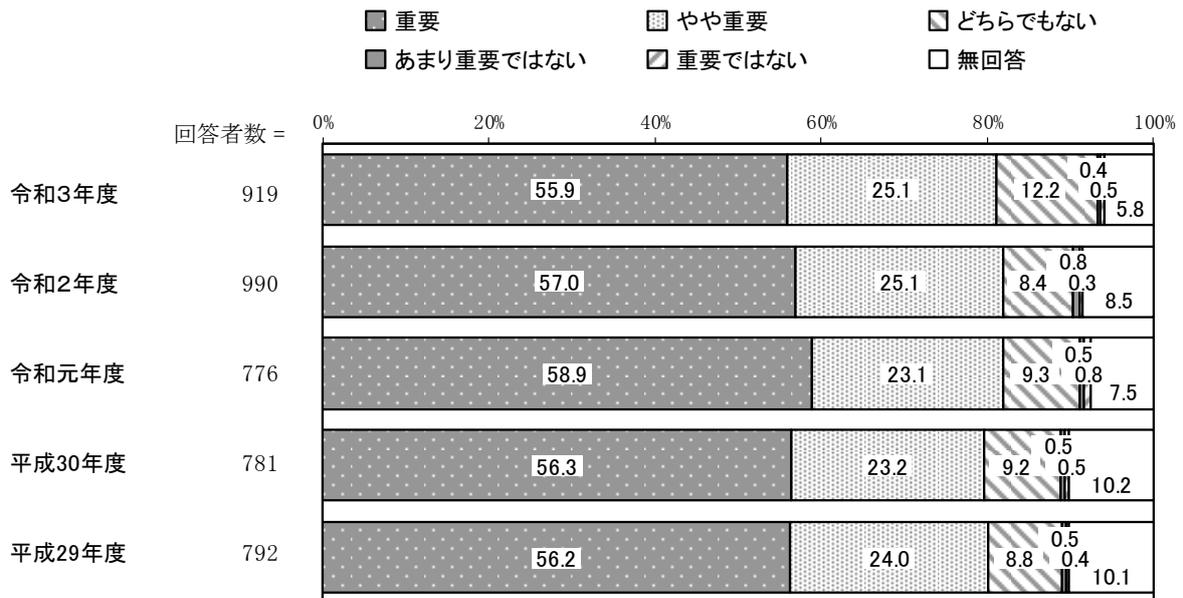
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、20年以上で“重要”の割合が高く、7割を超えています。



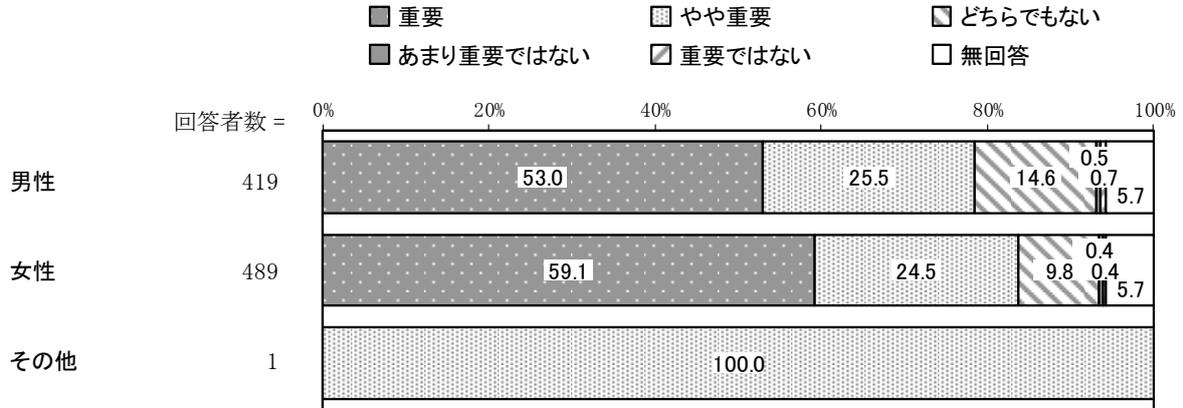
(8) 安心して子育てできる環境づくり

“重要”の割合が81%、“重要ではない”の割合が0.9%となっています。
令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



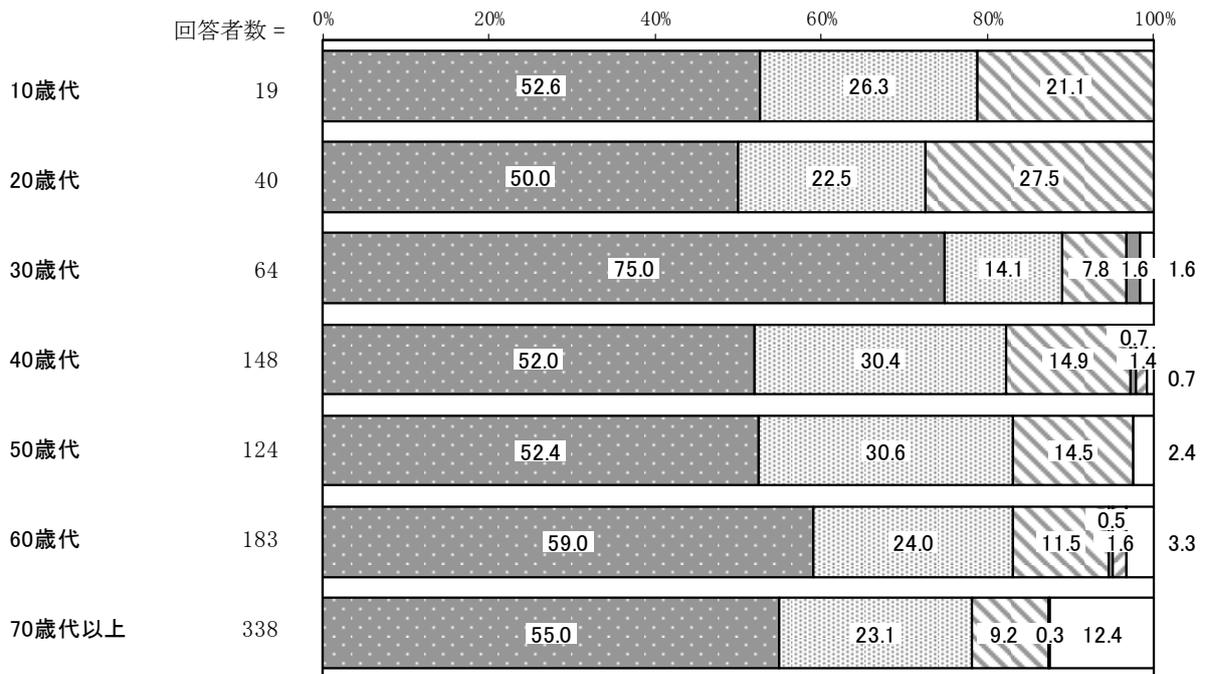
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



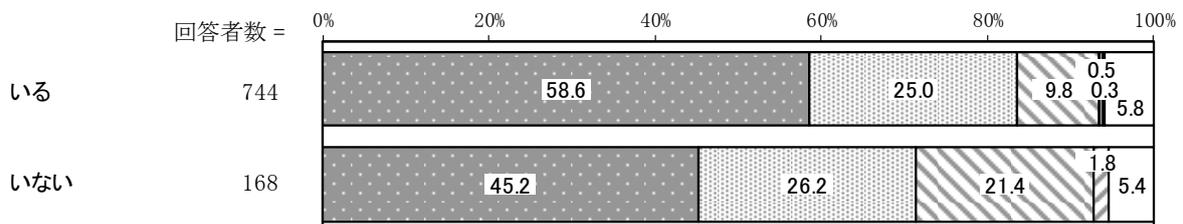
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



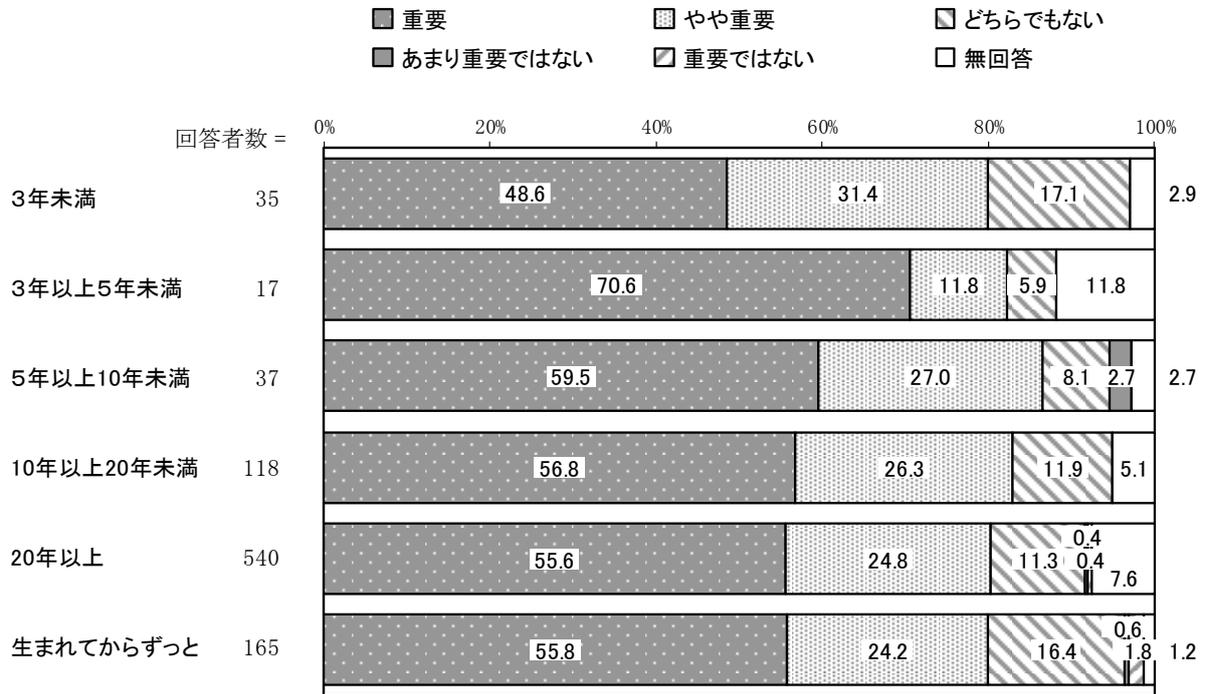
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、8割を超えています。



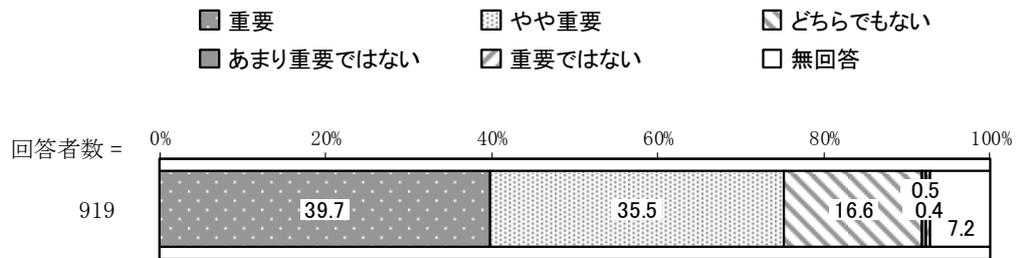
【居住年数別】

居住年数別でみると、大きな差異はみられません。



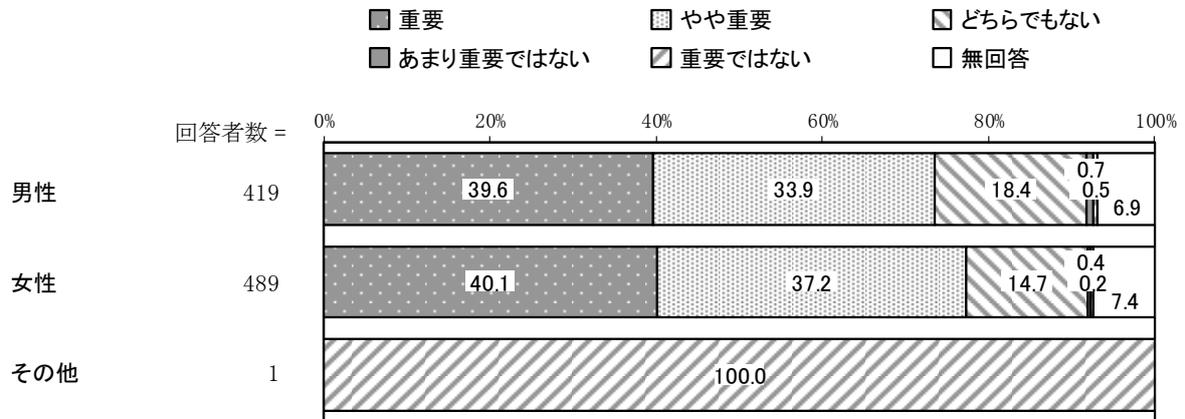
(9) 学びを支援する環境づくり

“重要”の割合が75.2%、“重要ではない”の割合が0.9%となっています。



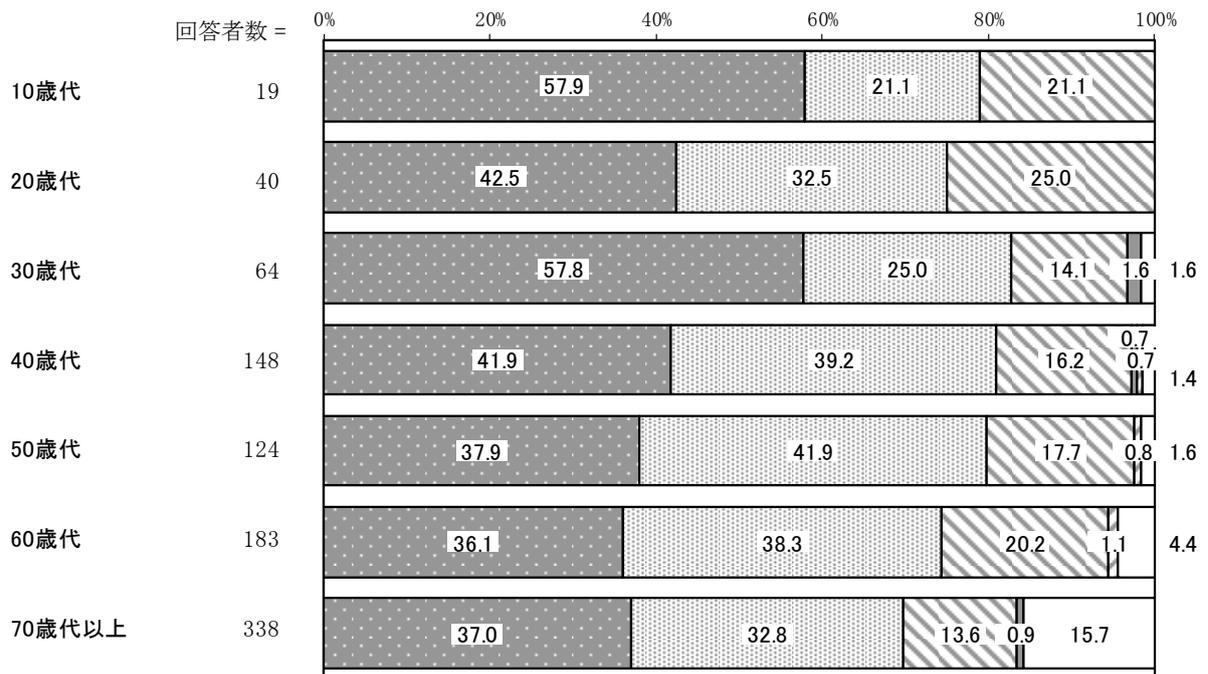
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



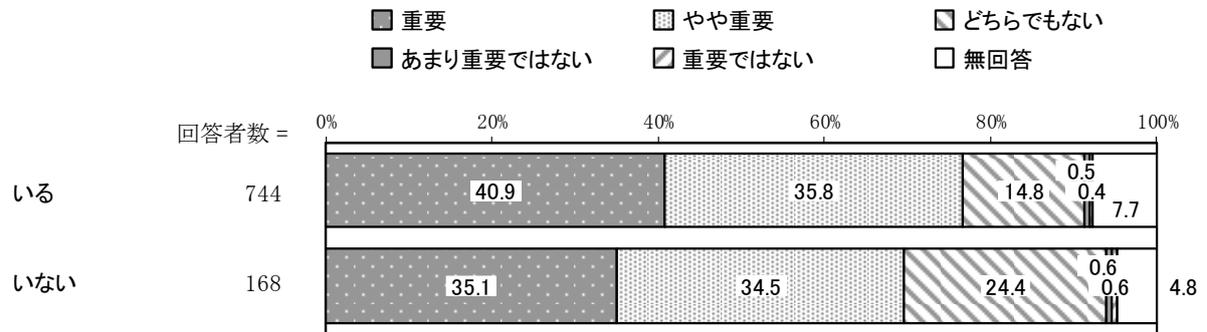
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代、40歳代で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



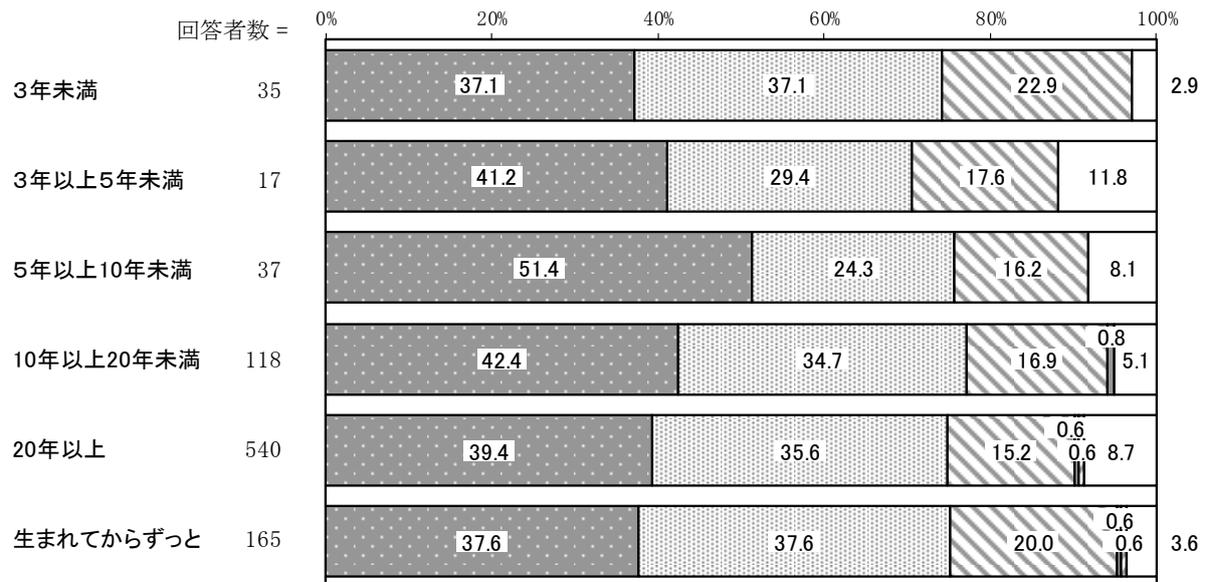
【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、8割近くとなっています。



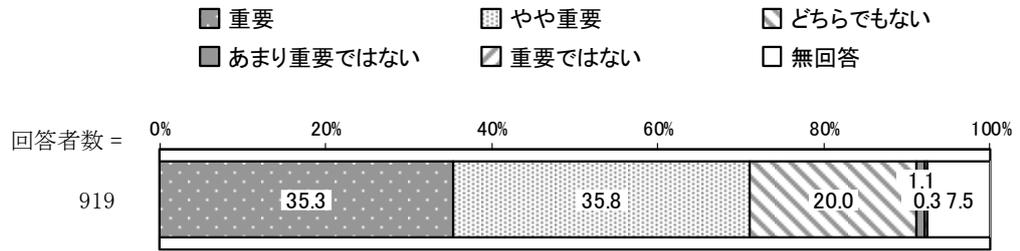
【居住年数別】

居住年数別で見ると、大きな差異はみられません。



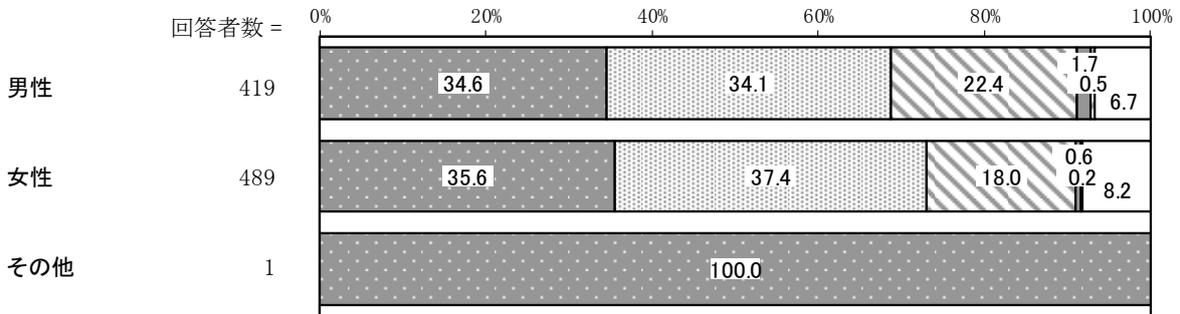
(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成

“重要”の割合が71.1%、“重要ではない”の割合が1.4%となっています。



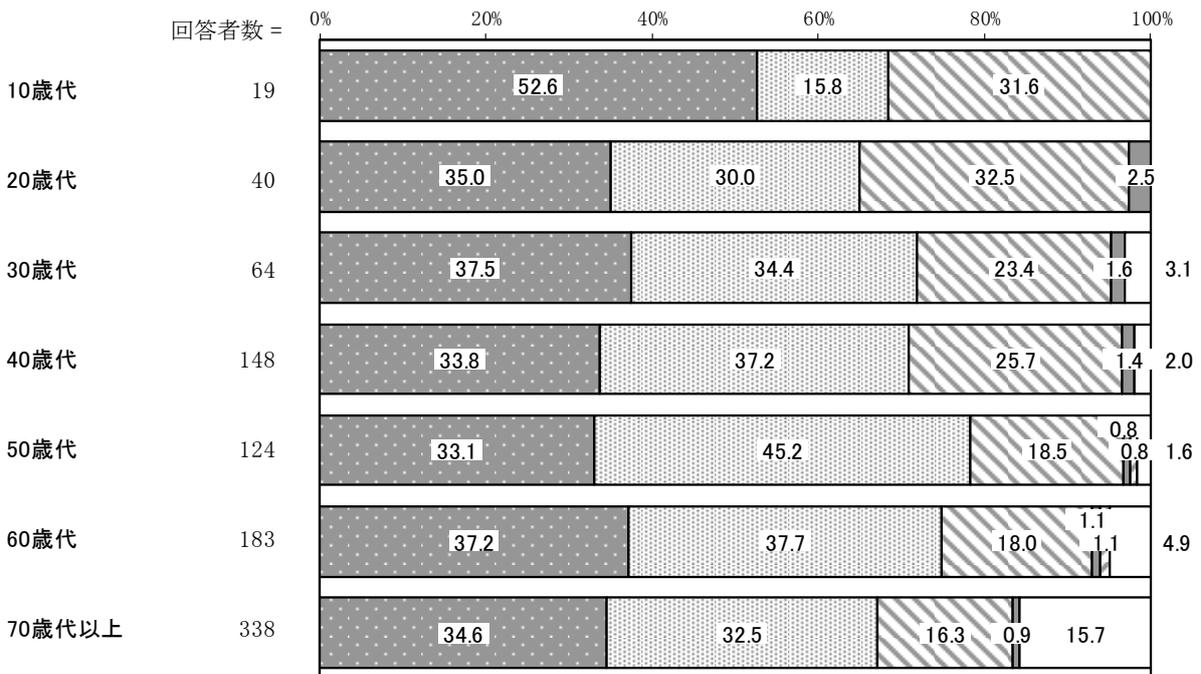
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



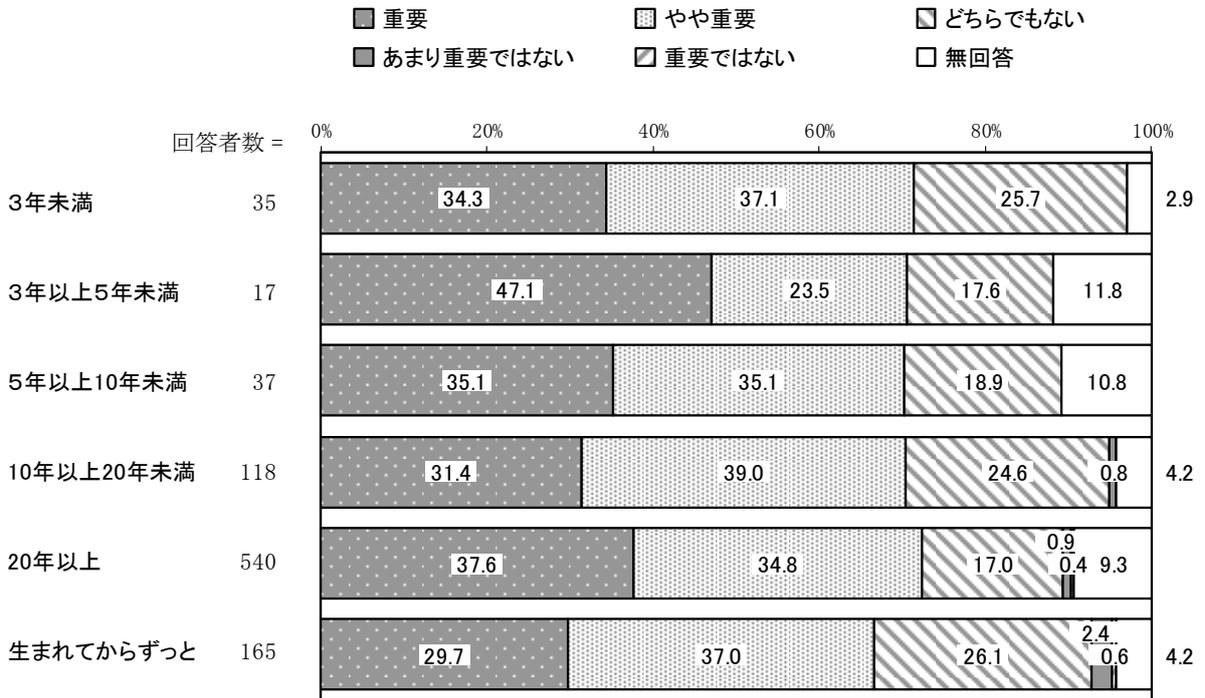
【年代別】

年代別でみると、50歳代で“重要”の割合が高く、8割近くとなっています。



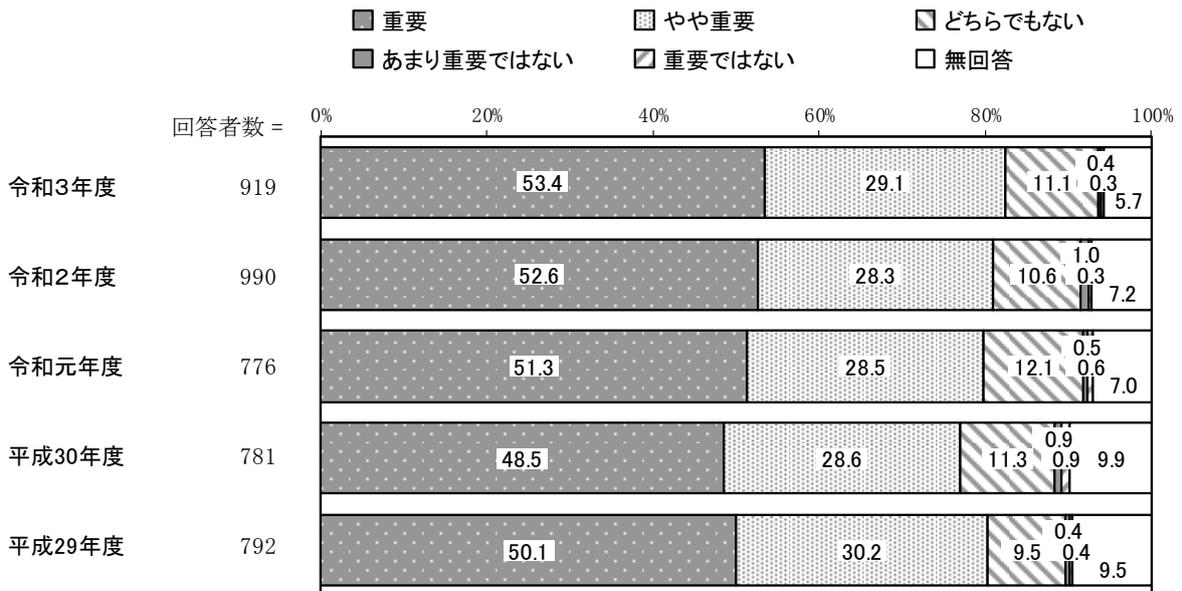
【居住年数別】

居住年数別でみると、大きな差異はみられません。



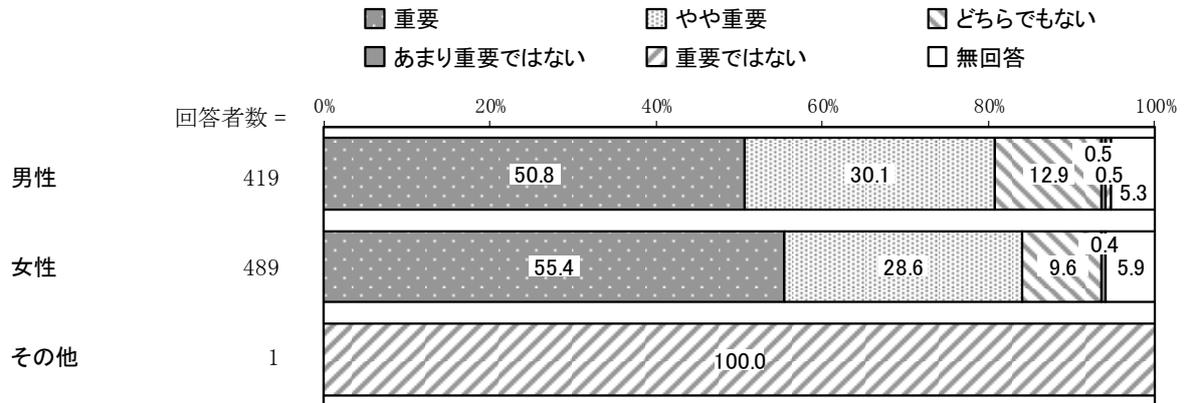
(11) 健康で暮らせる環境づくり

“重要”の割合が82.5%、“重要ではない”の割合が0.7%となっています。
令和2年度以前の調査と比較すると、「重要」の割合が増加する傾向がみられます。



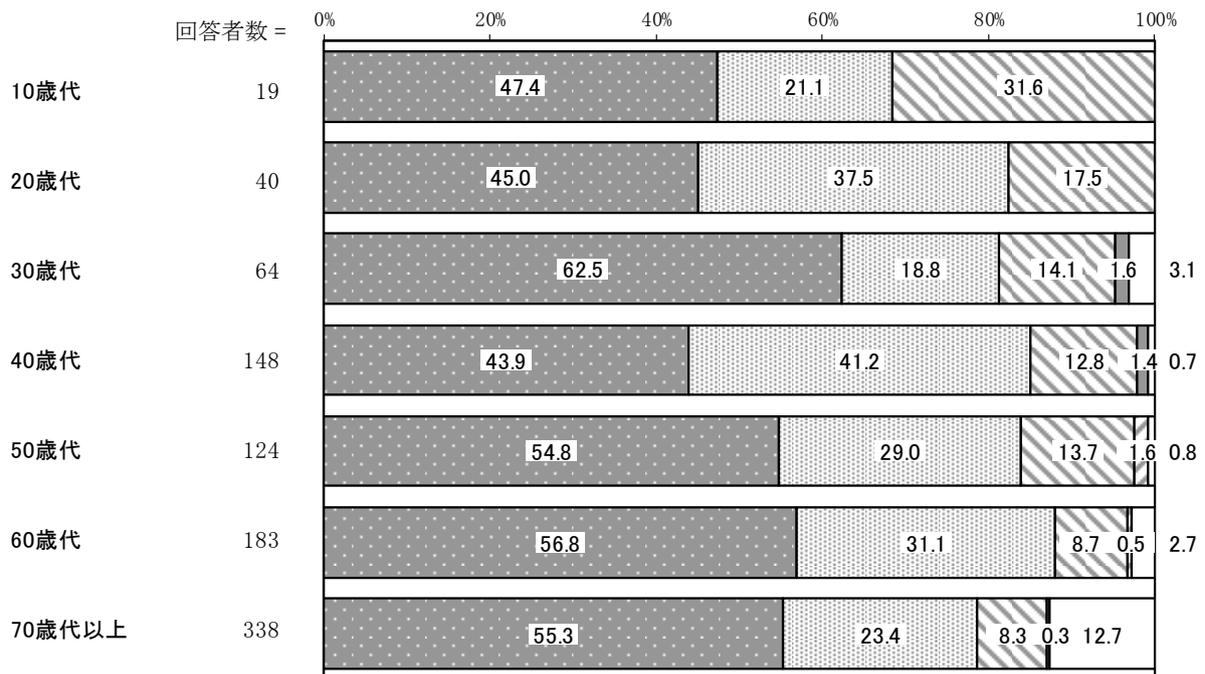
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



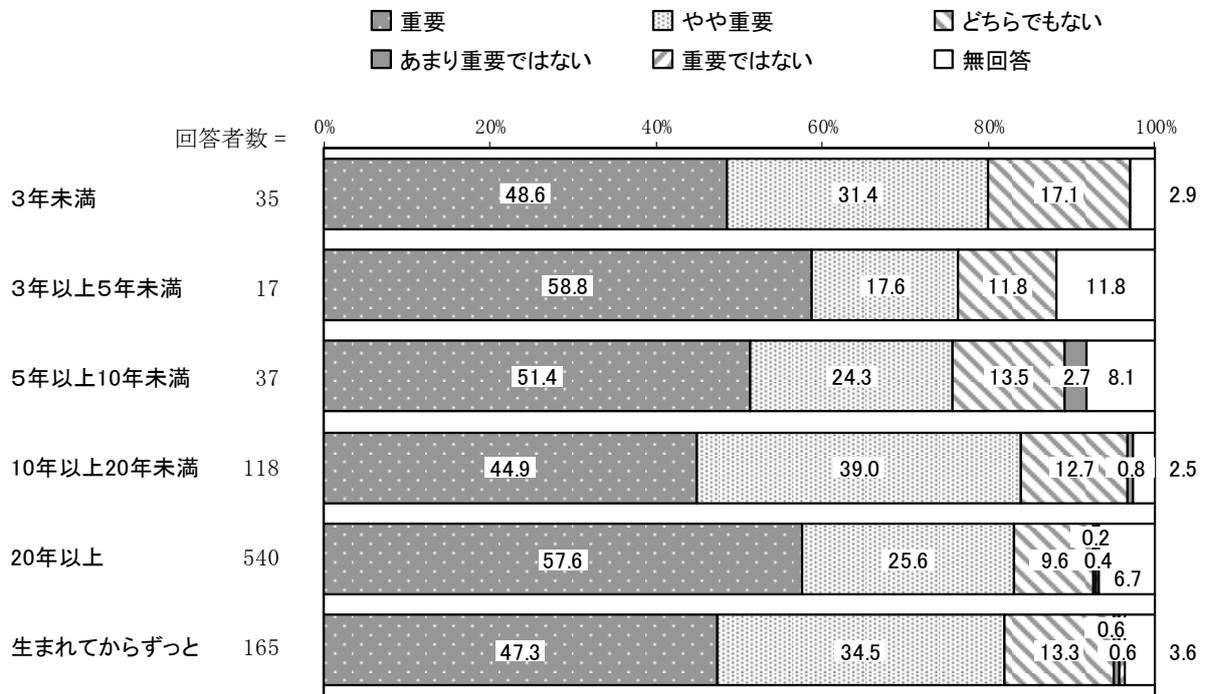
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代から60歳代で“重要”の割合が高く、9割近くとなっています。



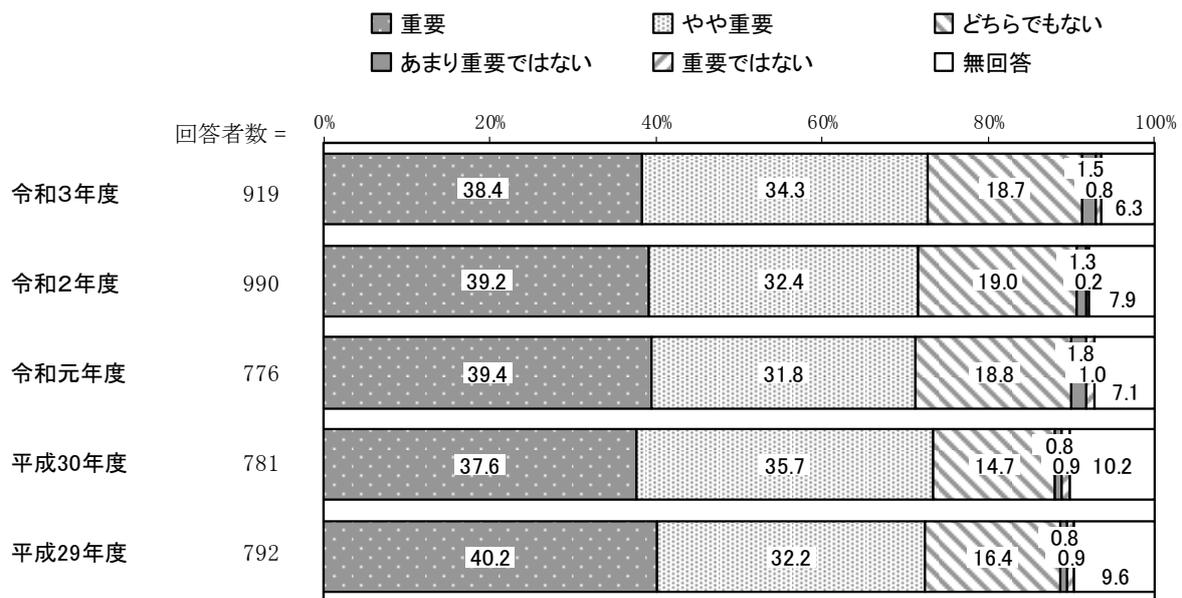
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、10年以上、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、8割を超えています。



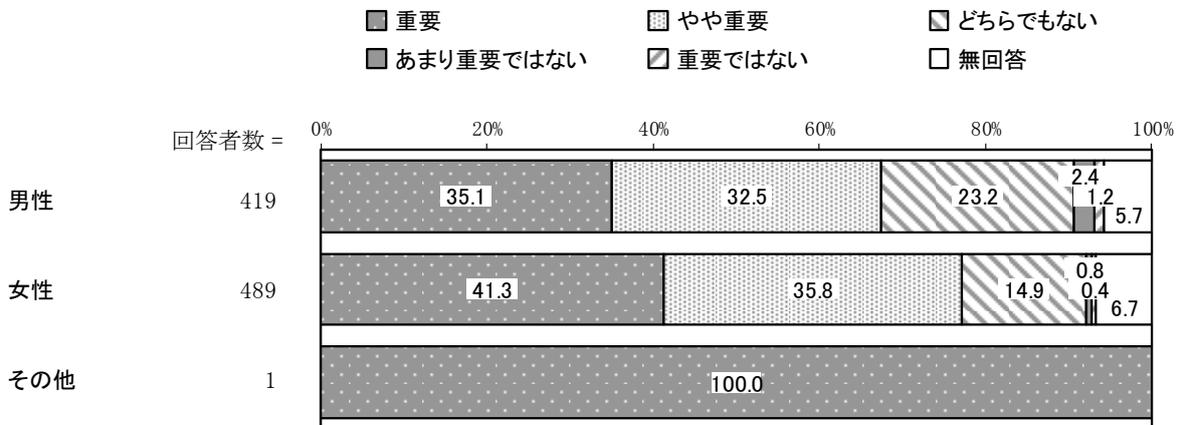
(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

“重要”の割合が72.7%、“重要ではない”の割合が2.3%となっています。
令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



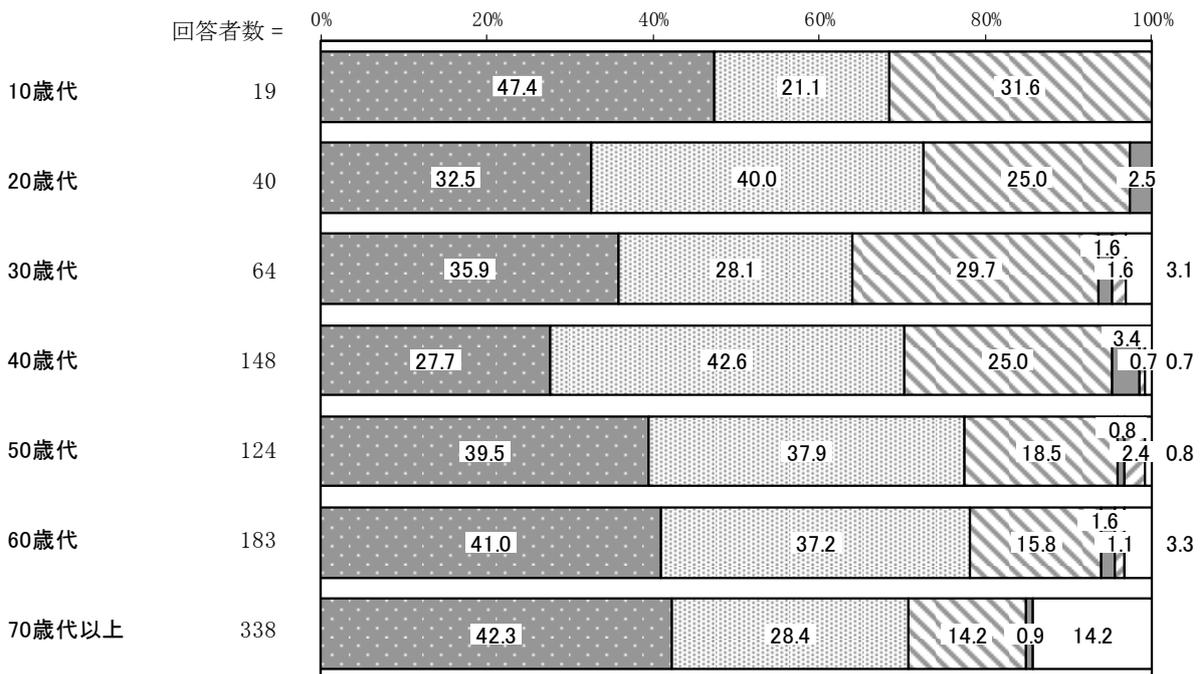
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、8割近くとなっています。



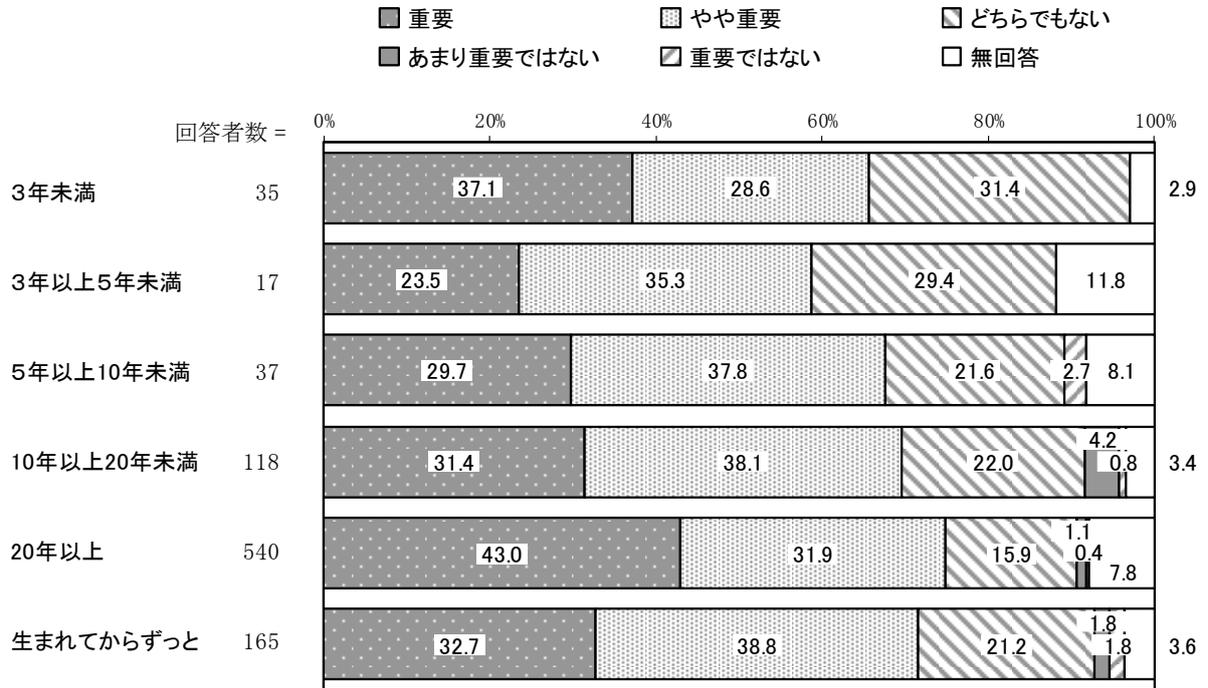
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、8割近くとなっています。



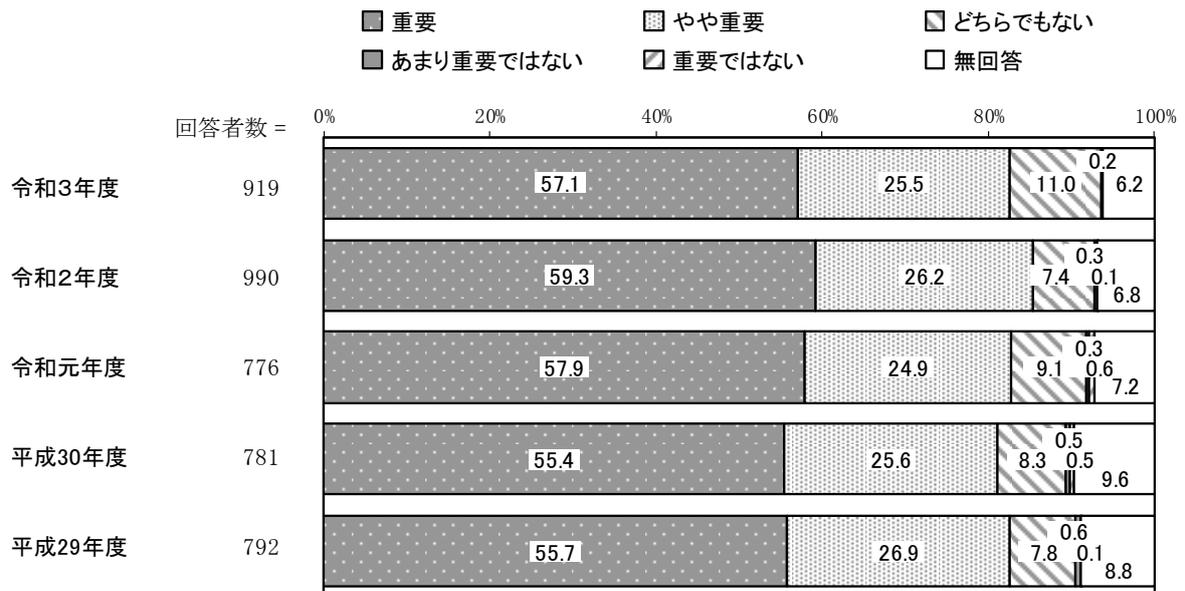
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“重要”の割合が低く、6割近くとなっています。



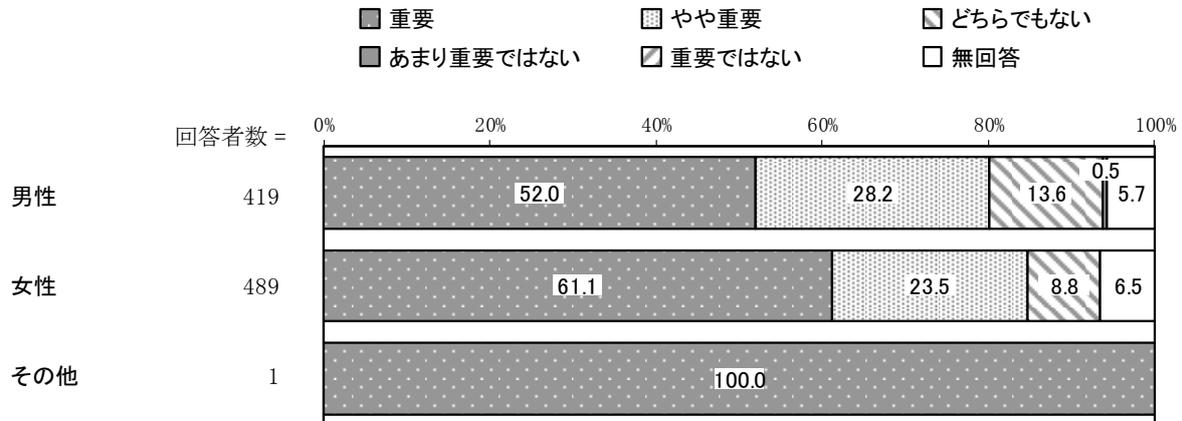
(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり

“重要”の割合が82.6%、“重要ではない”の割合が0.2%となっています。令和2年度以前の調査と比較すると、大きな差異はみられません。



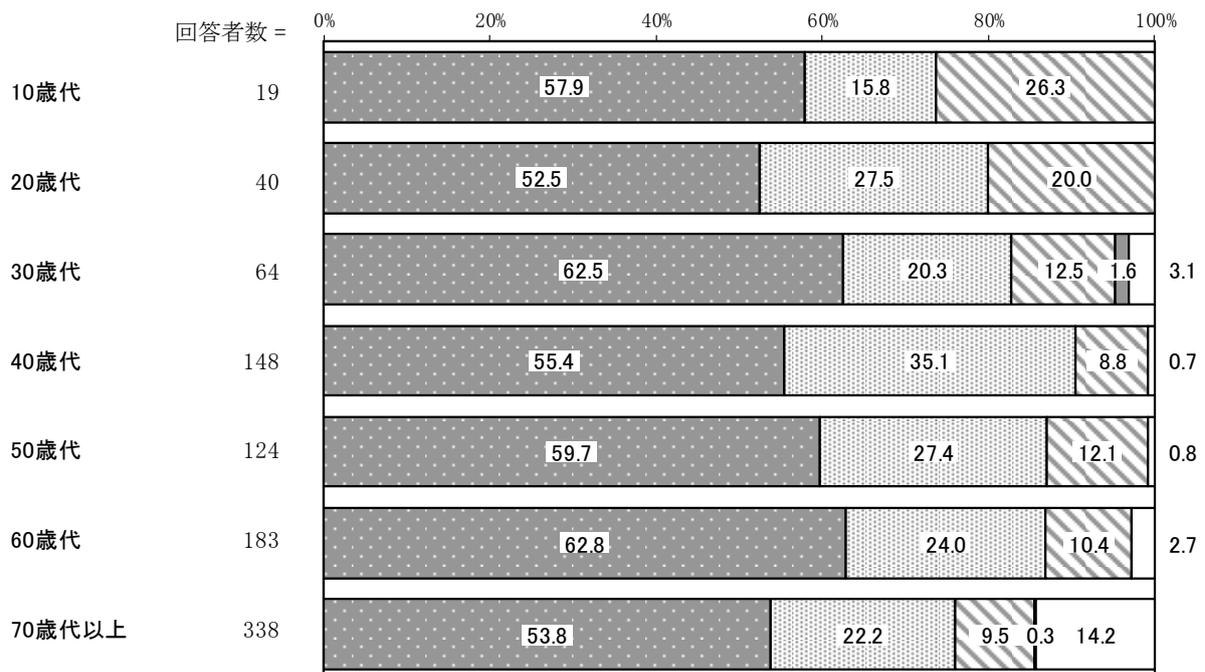
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



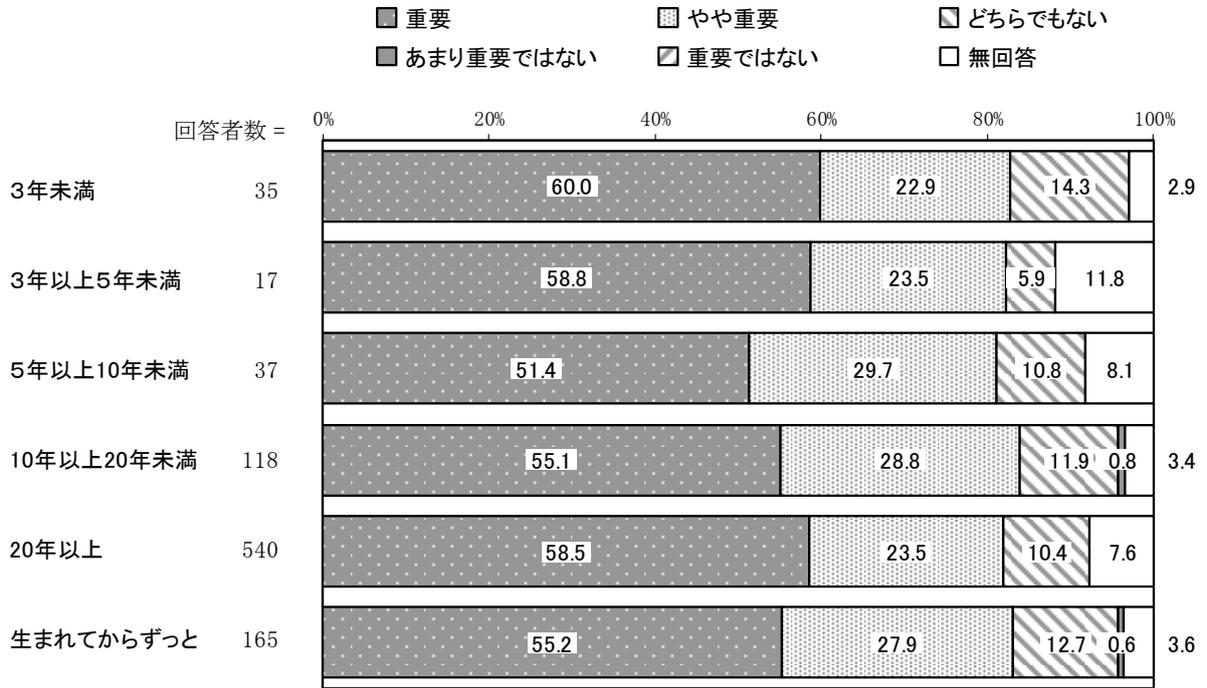
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



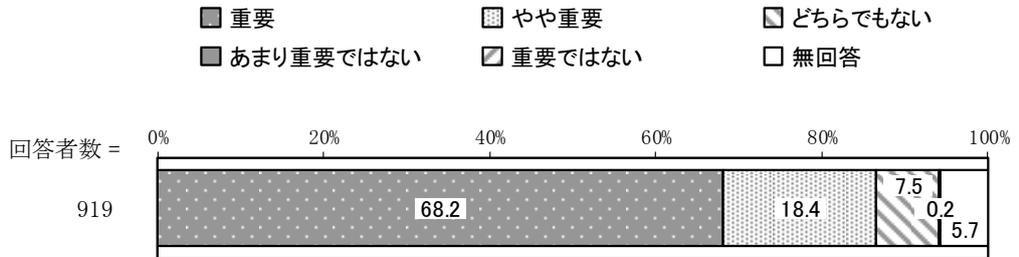
【居住年数別】

居住年数別でみると、大きな差異はみられません。



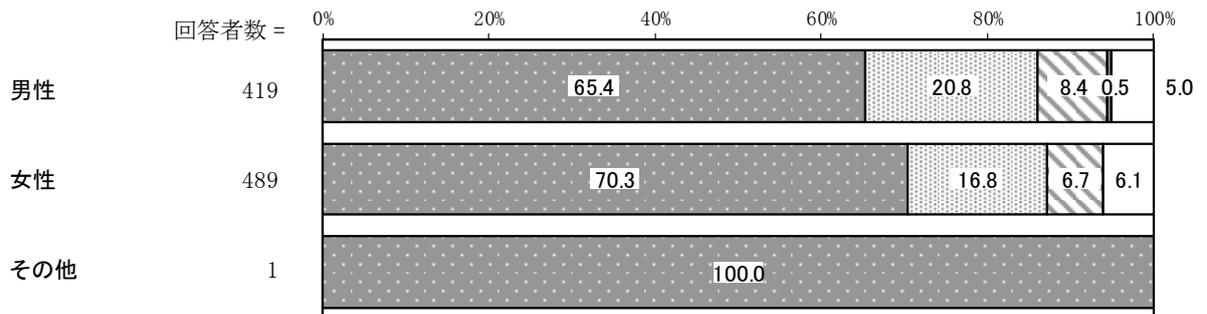
(14) 必要な医療サービスが受けられる

“重要”の割合が86.6%、“重要ではない”の割合が0.2%となっています。



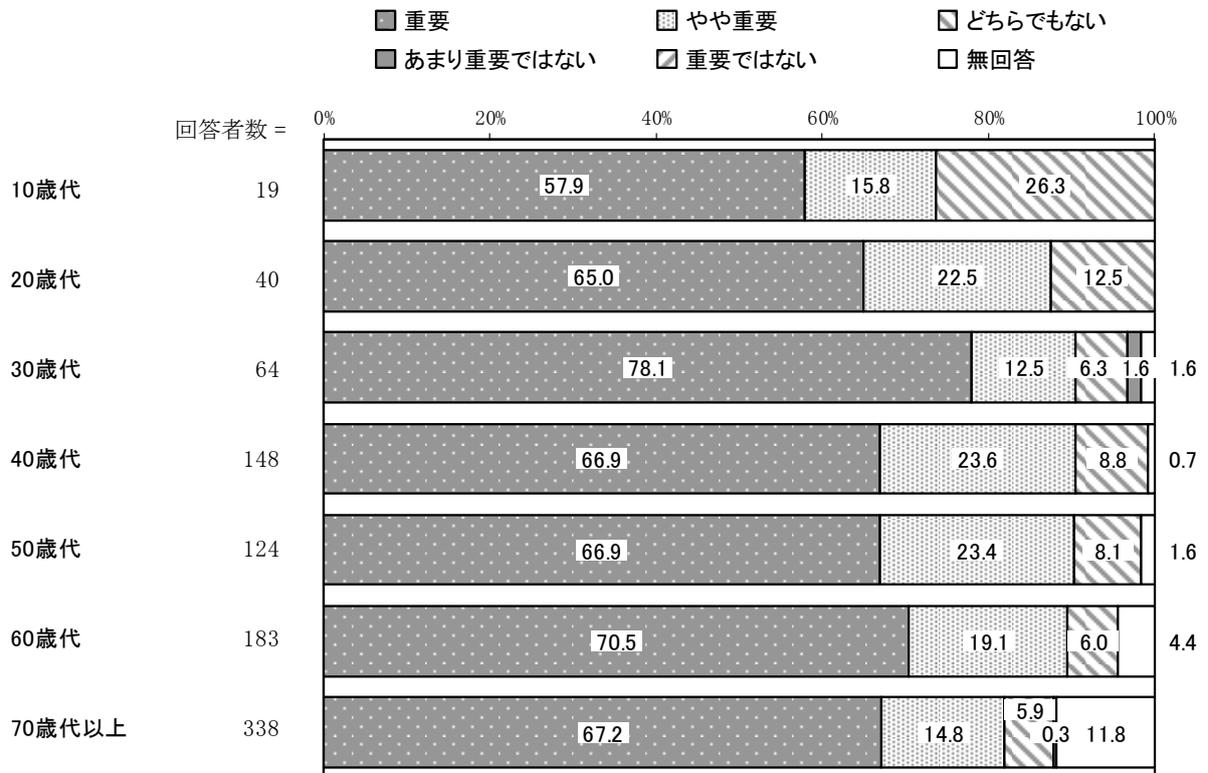
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



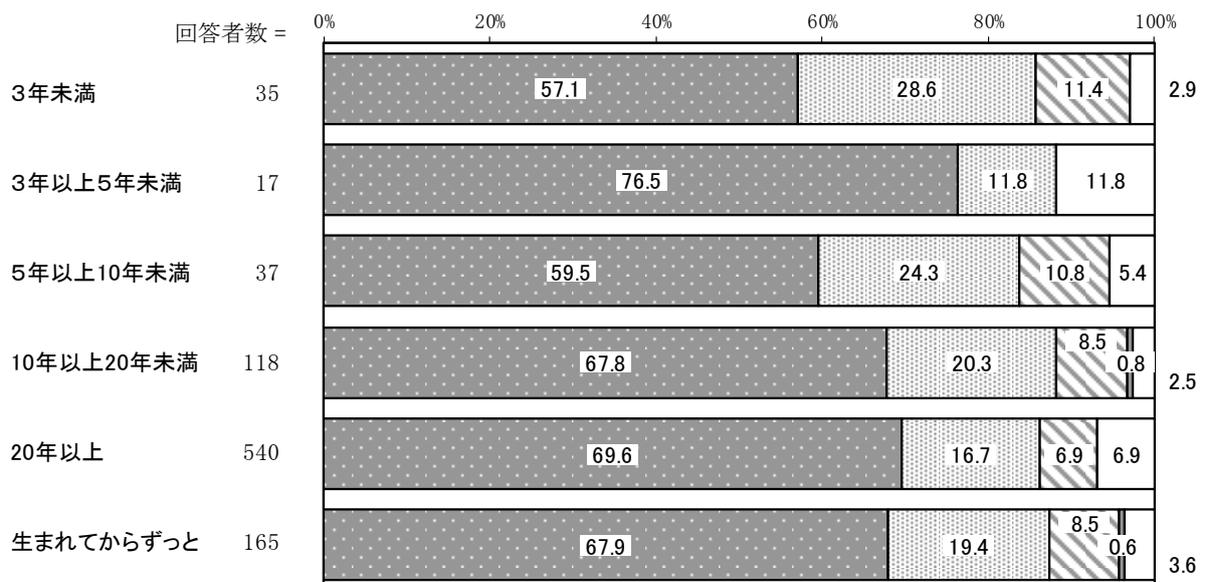
【年代別】

年代別でみると、10歳代でやや減少するものの、全体的に“重要”の割合が高くなっています。



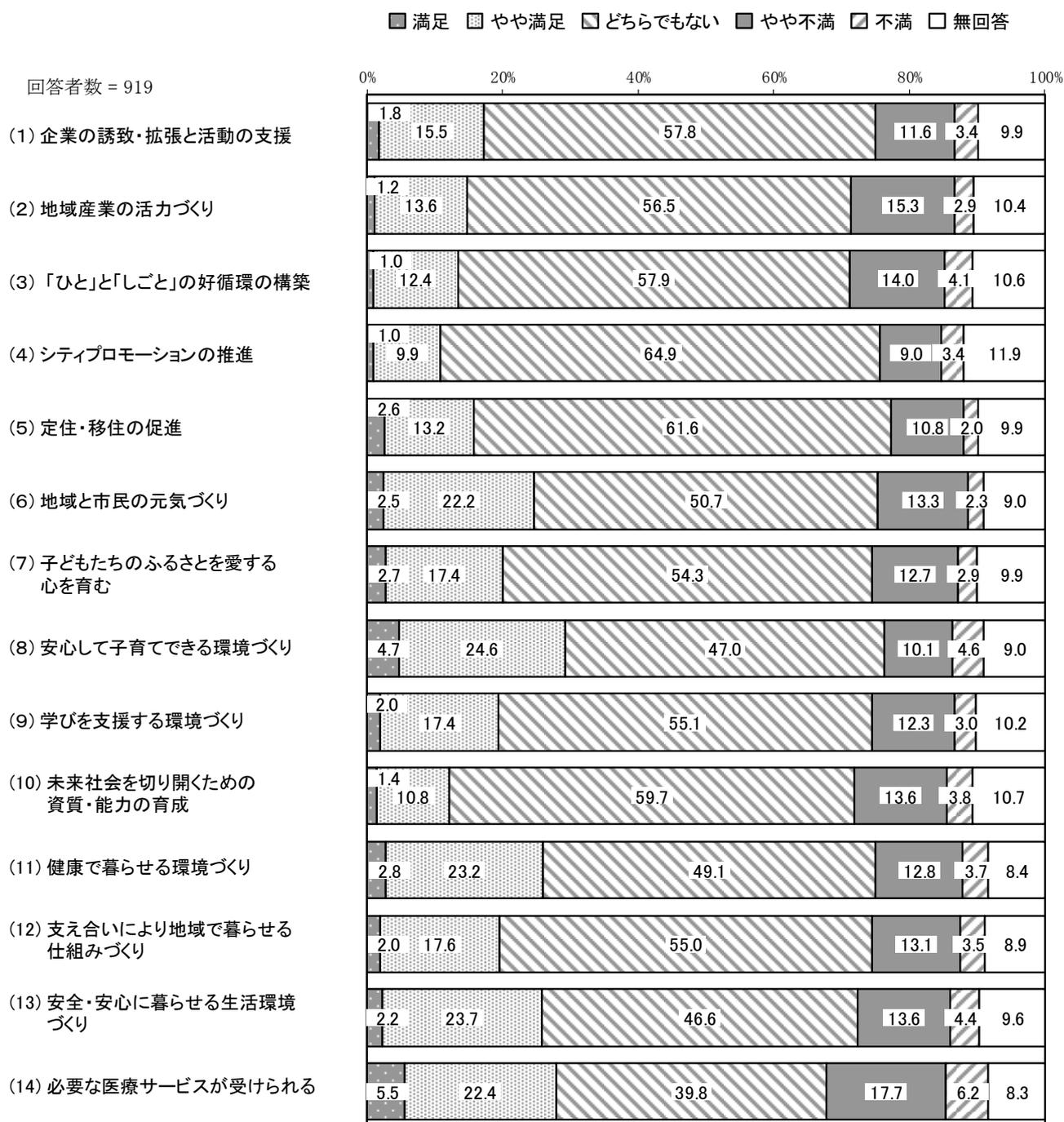
【居住年数別】

居住年数別でみると、全体的に“重要”の割合が高くなっています。



②満足度

『(8)安心して子育てできる環境づくり』で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高く、約3割となっています。一方、『(14)必要な医療サービスが受けられる』で「やや不満」と「不満」をあわせた“不満”の割合が高く、2割を超えています。



(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

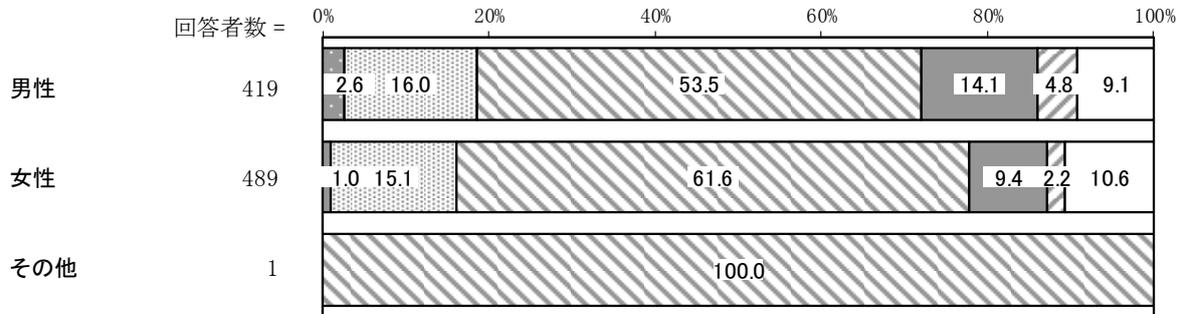
“満足”の割合が17.3%、“不満”の割合が15.0%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、“不満”の割合が減少する傾向がみられます。



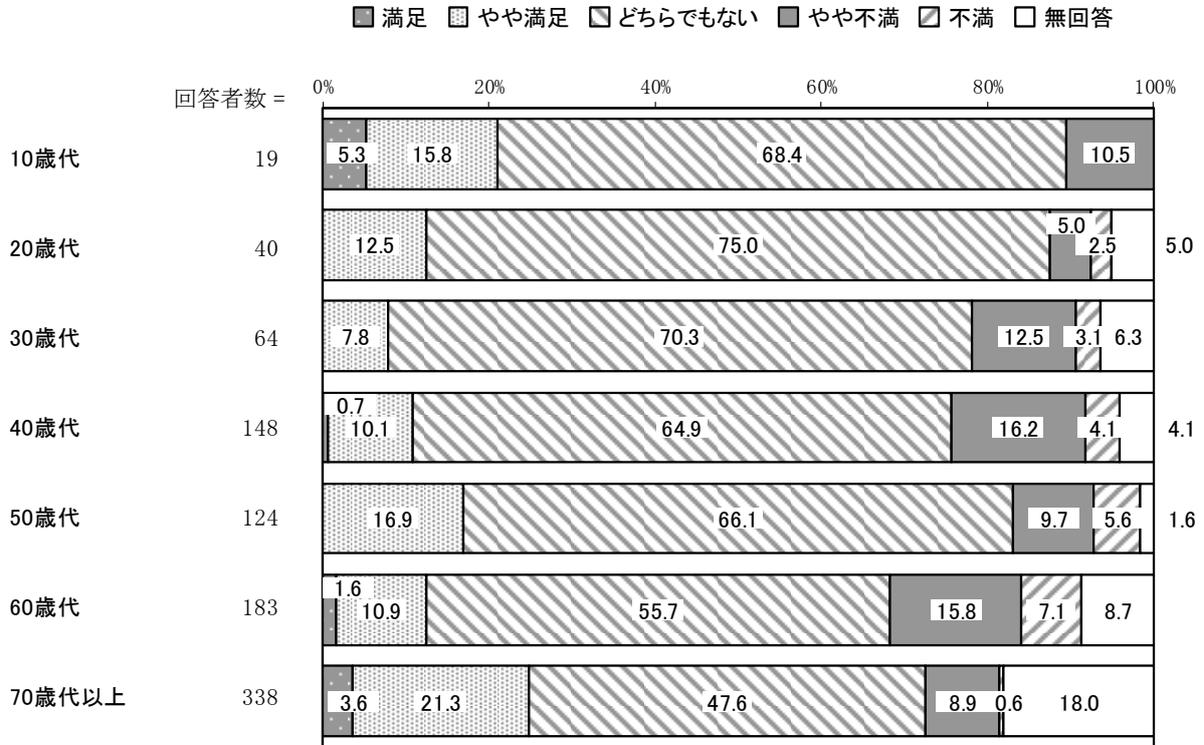
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



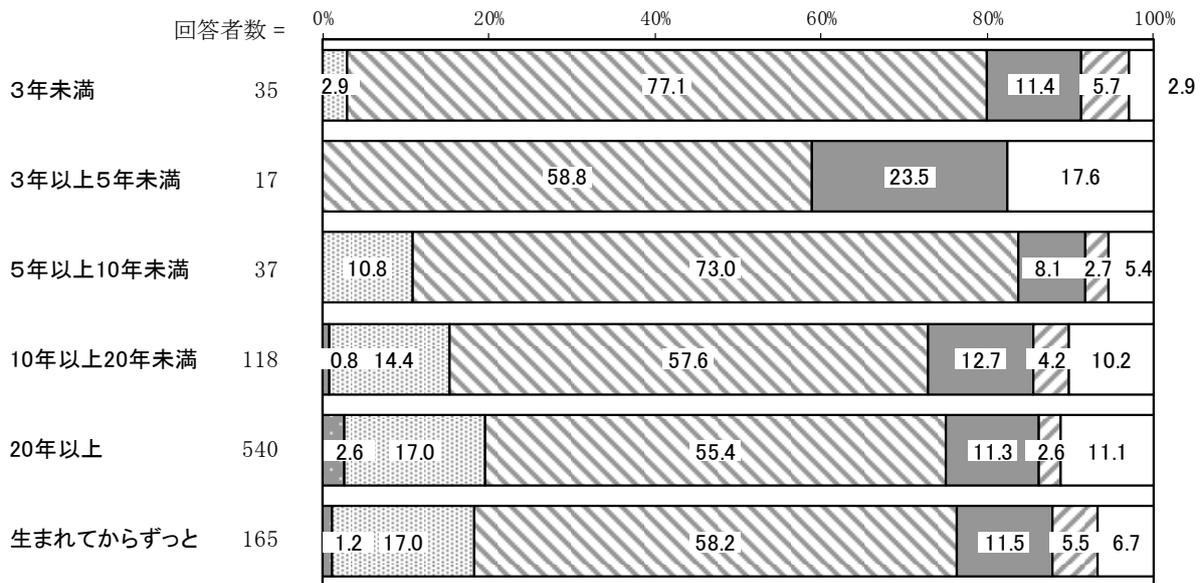
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代、70歳代以上で“満足”の割合が高く、2割台となっています。また、40歳代、60歳代で“不満”の割合が高く、2割台となっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約2割となっています。また、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



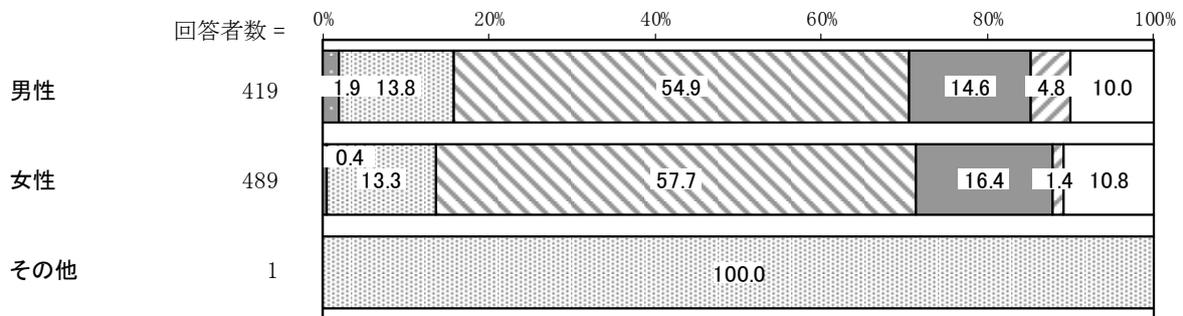
(2) 地域産業の活力づくり

“満足”の割合が14.8%、“不満”の割合が18.2%となっています。
 令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



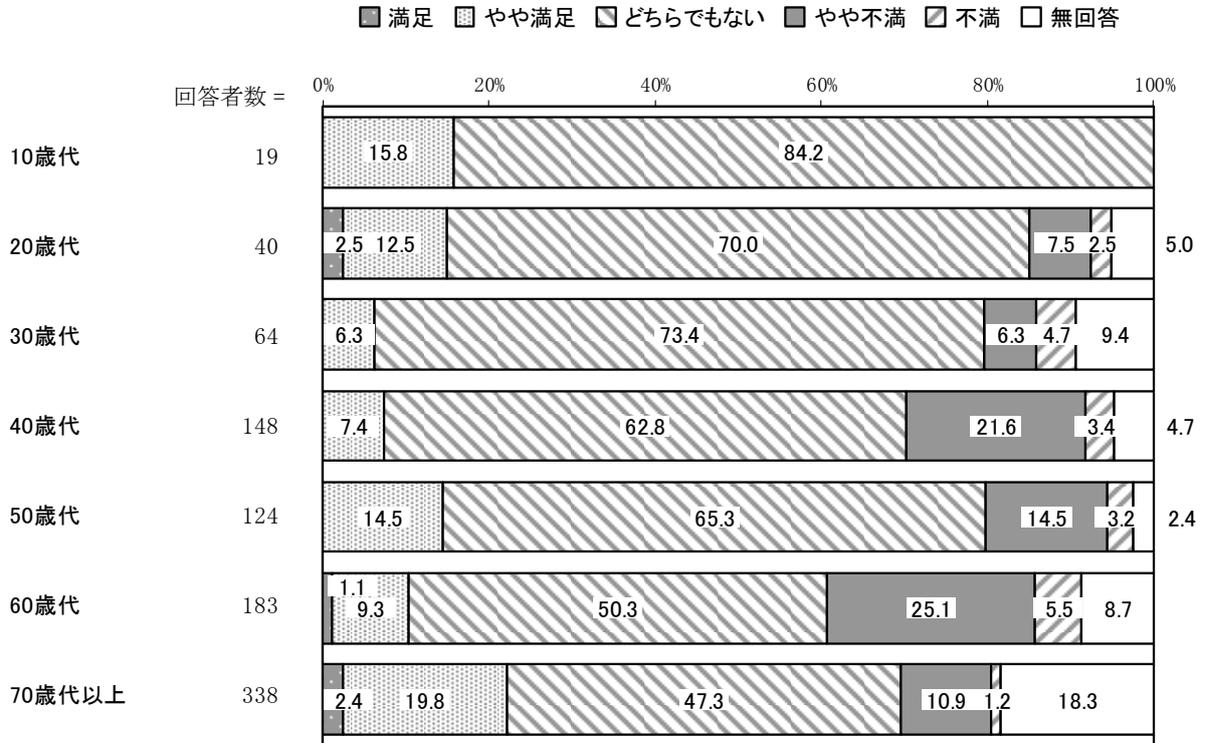
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



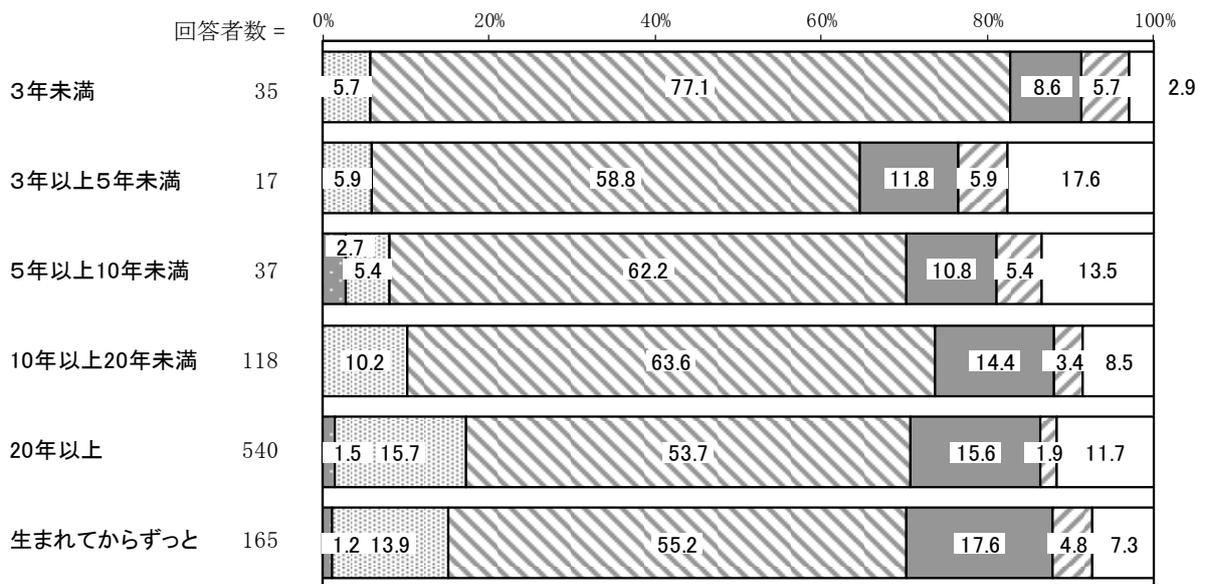
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で“満足”の割合が高く、2割を超えています。また、60歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



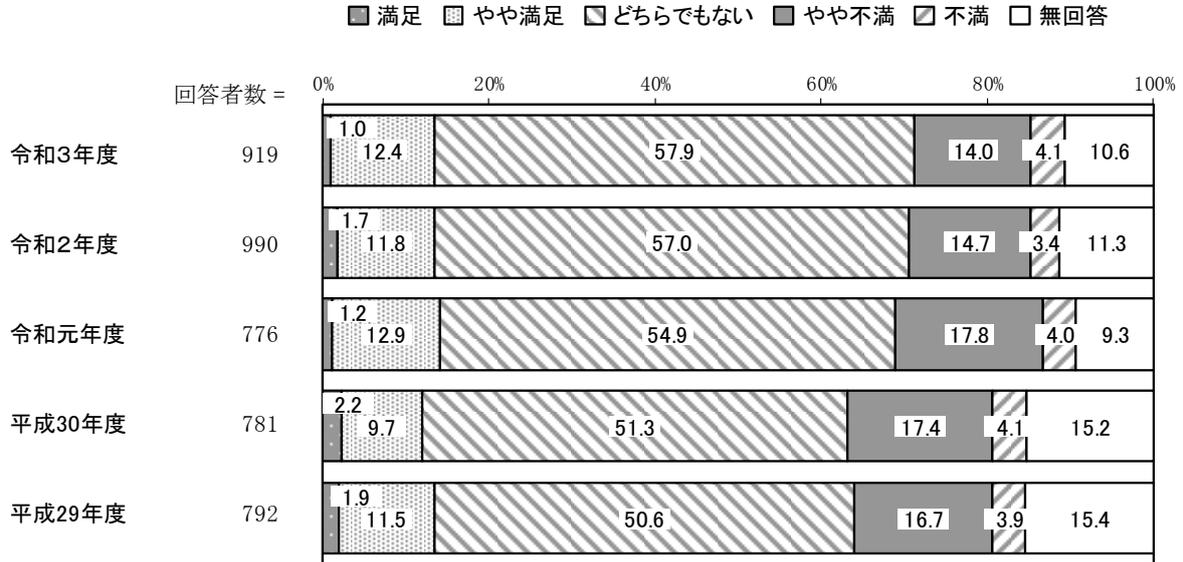
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで“満足”の割合が高くなっています。また、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、2割を超えています。



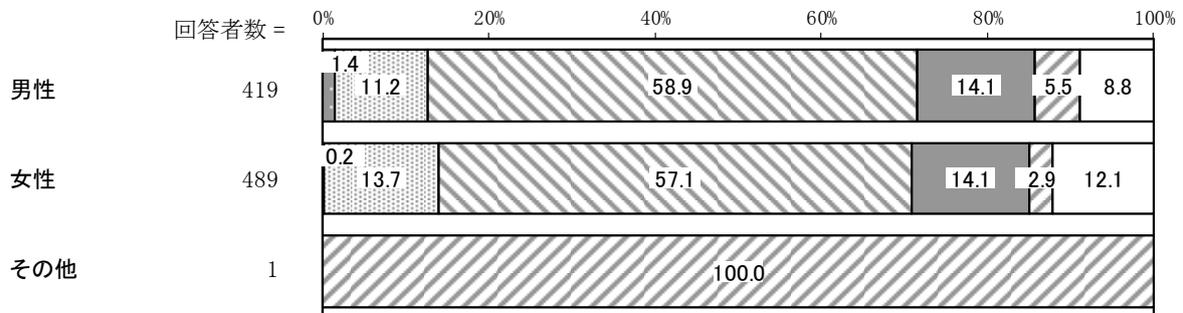
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

“満足”の割合が13.4%、“不満”の割合が18.1%となっています。
 令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



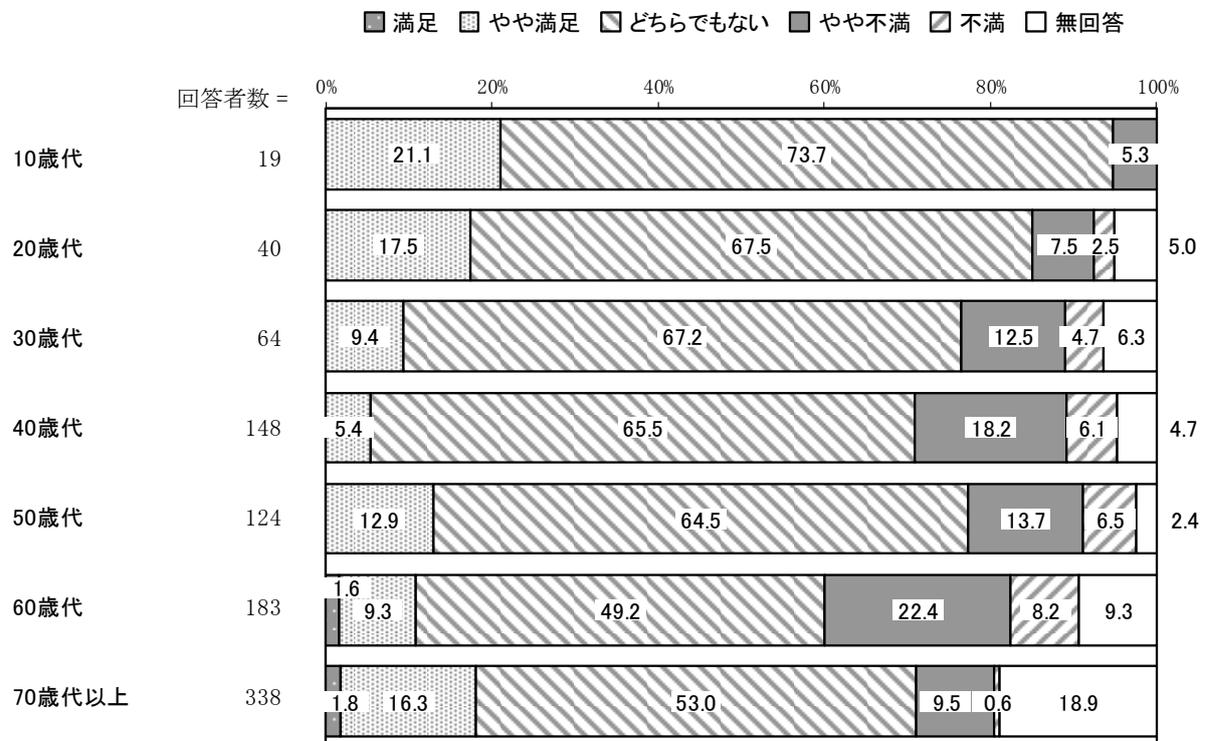
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



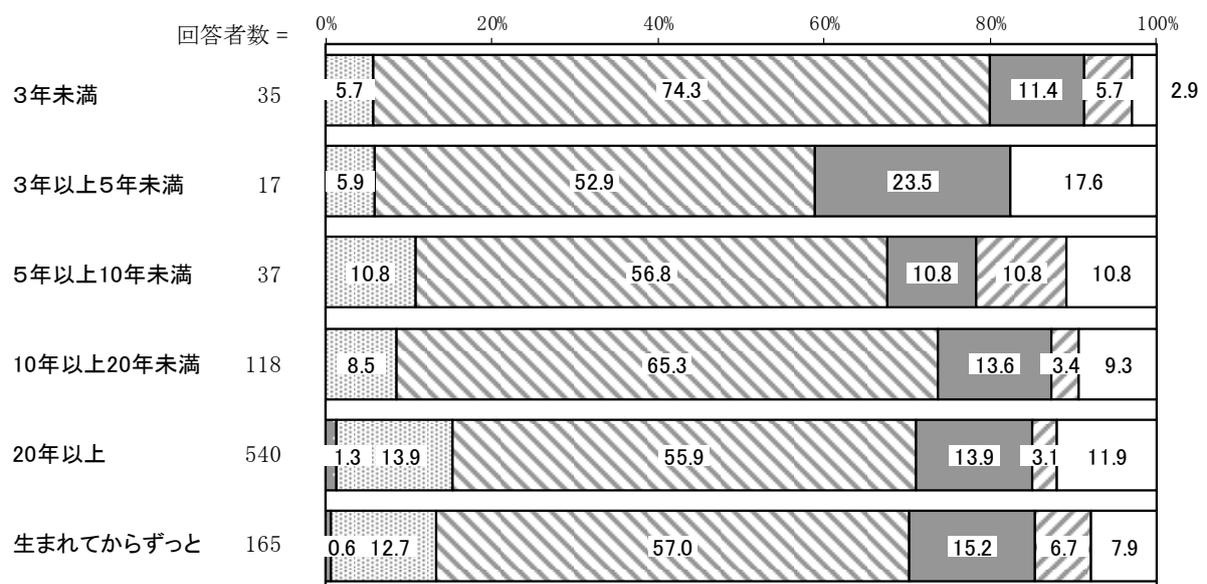
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、約2割となっています。また、60歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



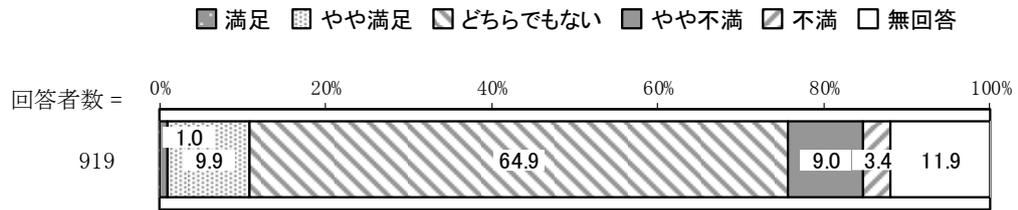
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で“満足”の割合が高く、1割半ばとなっています。また、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



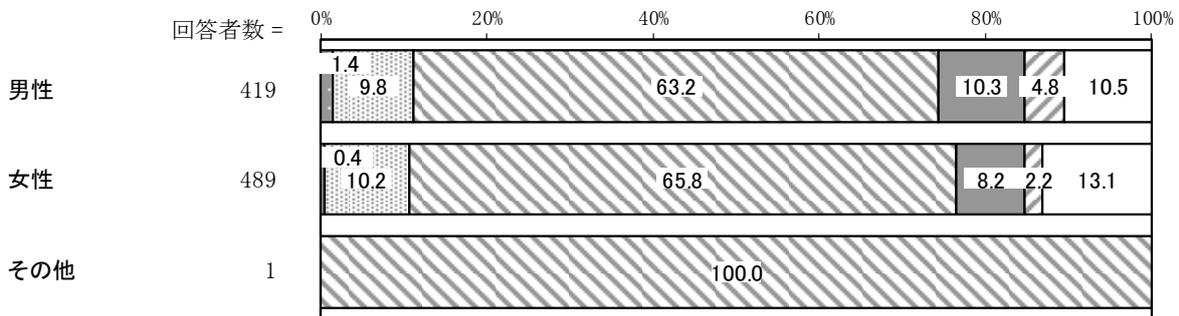
(4) シティプロモーションの推進

“満足”の割合が10.9%、“不満”の割合が12.4%となっています。



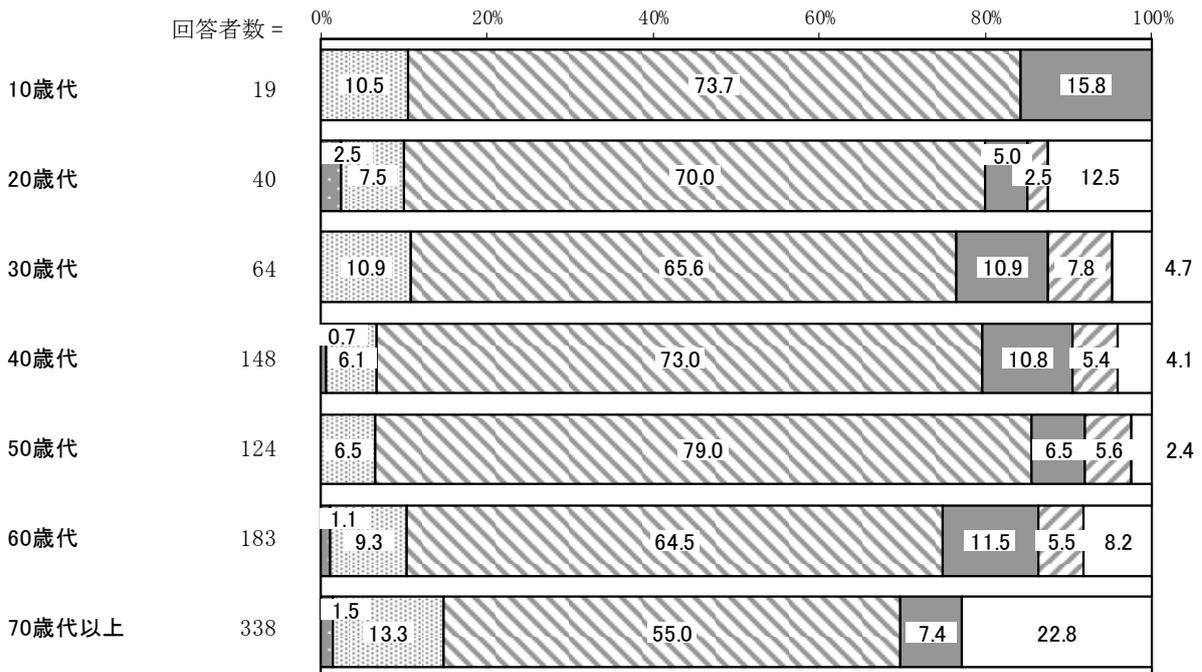
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



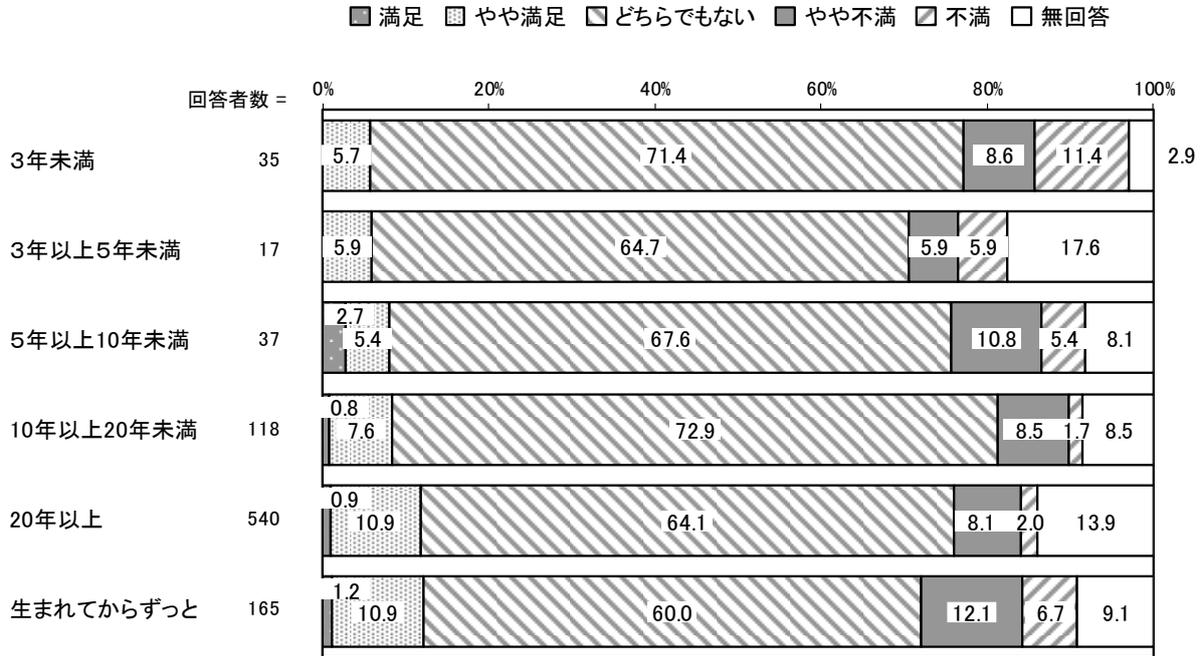
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で“満足”の割合が高く、1割台半ばとなっています。また、30歳代で“不満”の割合が高く、2割近くとなっています。



【居住年数別】

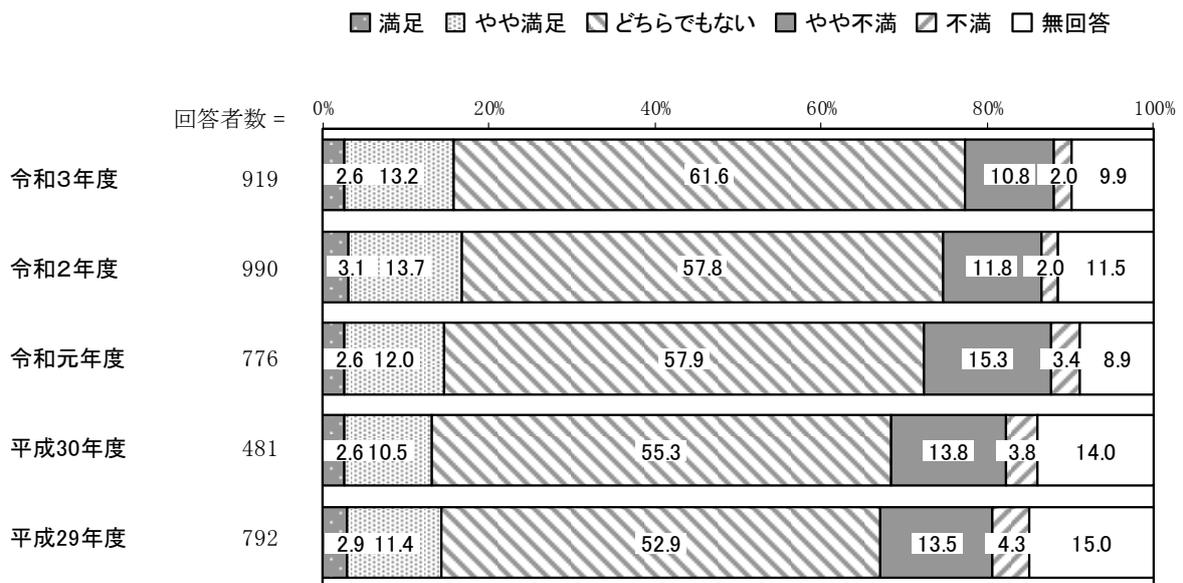
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約1割となっています。また、3年未満で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



(5) 定住・移住の促進

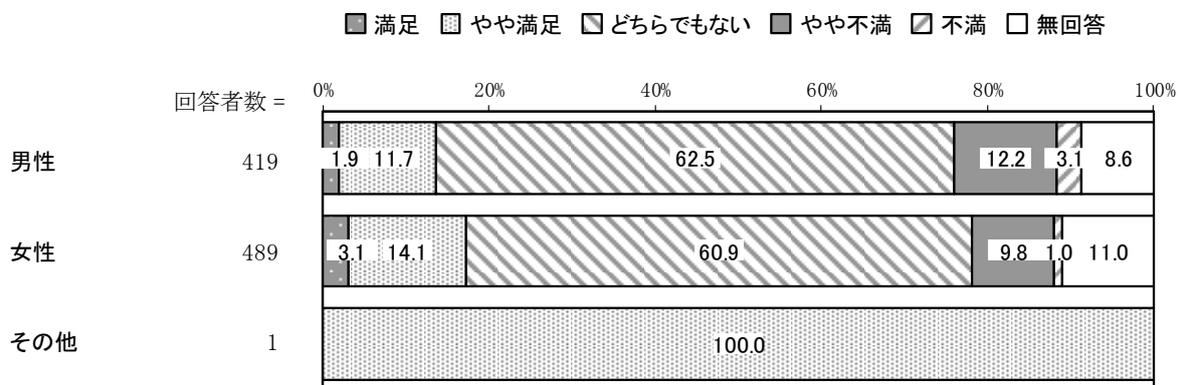
“満足”の割合が15.8%、“不満”の割合が12.8%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、令和元年度以降“不満”の割合が減少する傾向がみられます。



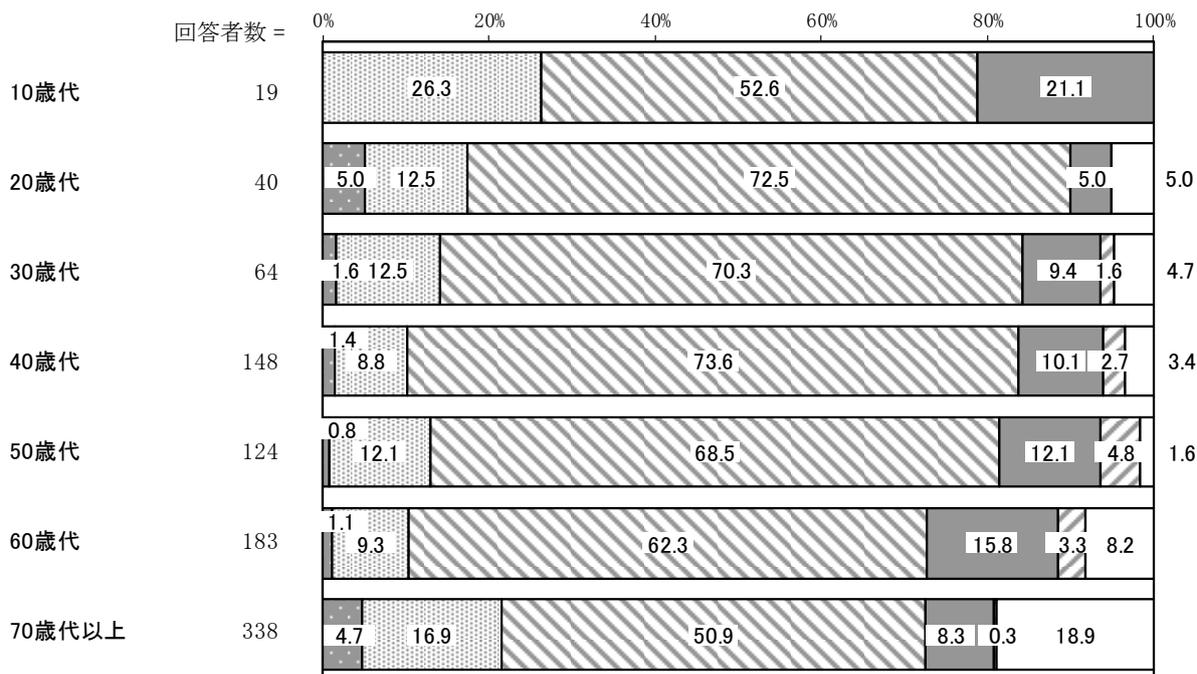
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



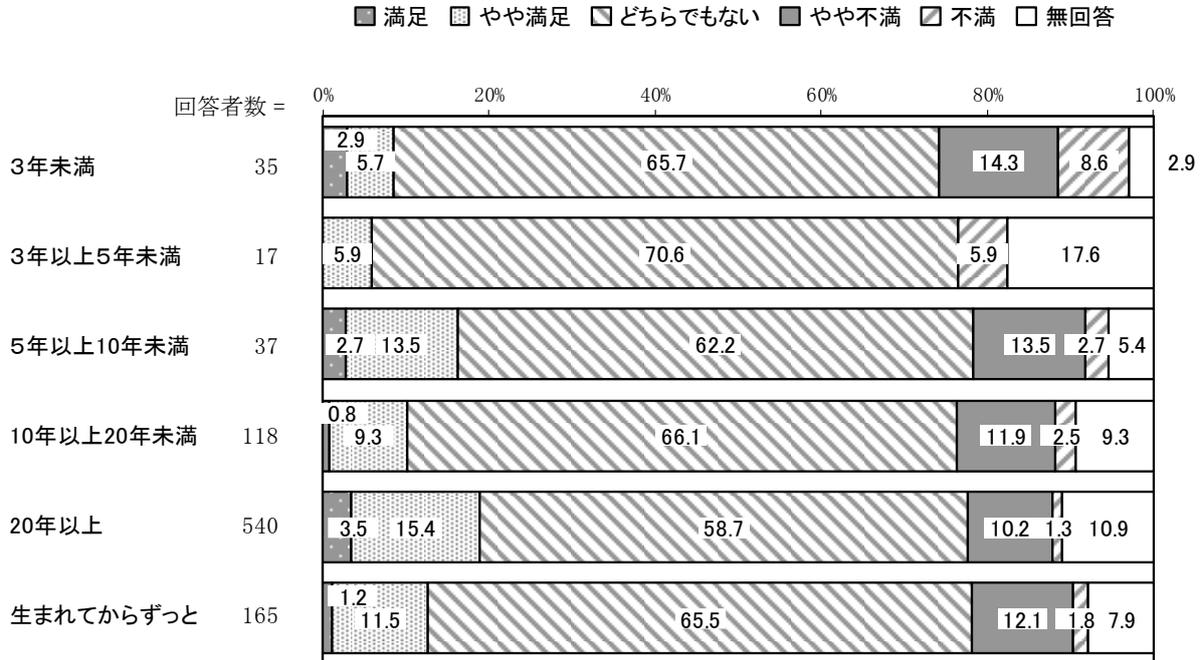
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で“満足”の割合が高く、2割近くとなっています。また、3年未満で“不満”の割合が高く、約2割を超えています。



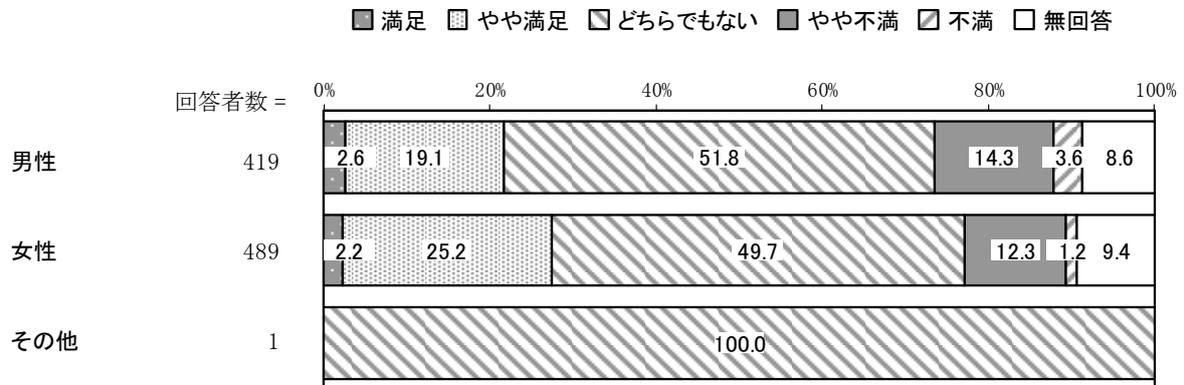
(6) 地域と市民の元気づくり

“満足”の割合が24.7%、“不満”の割合が15.6%となっています。令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



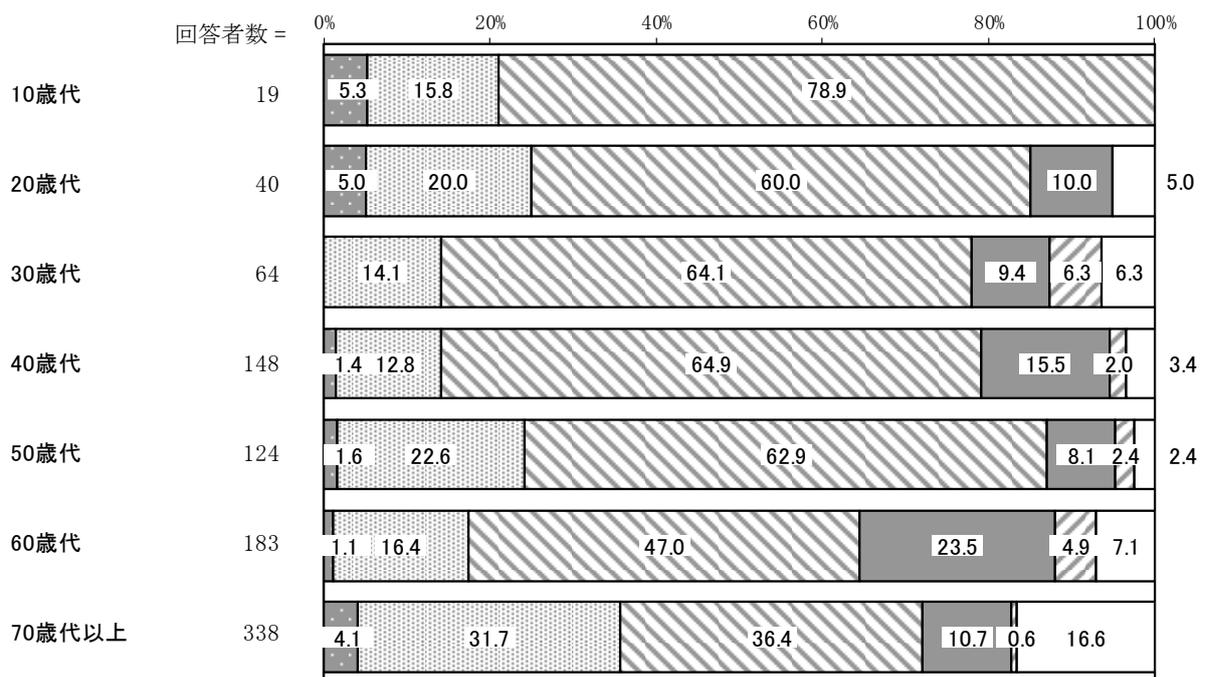
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



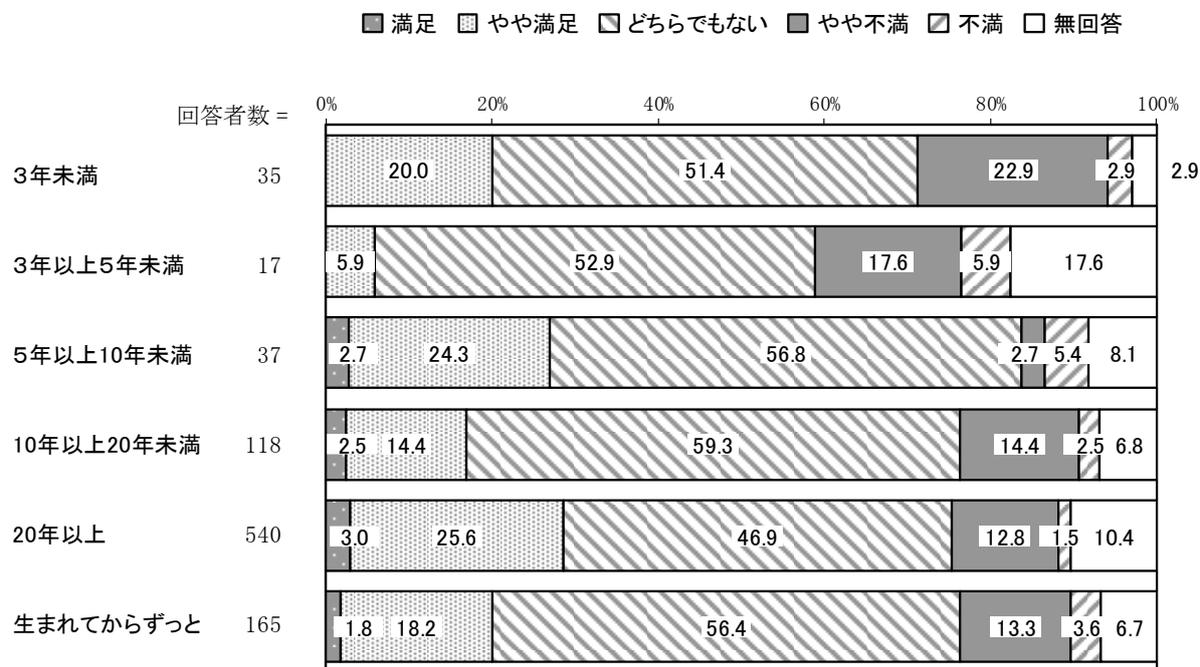
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で“満足”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



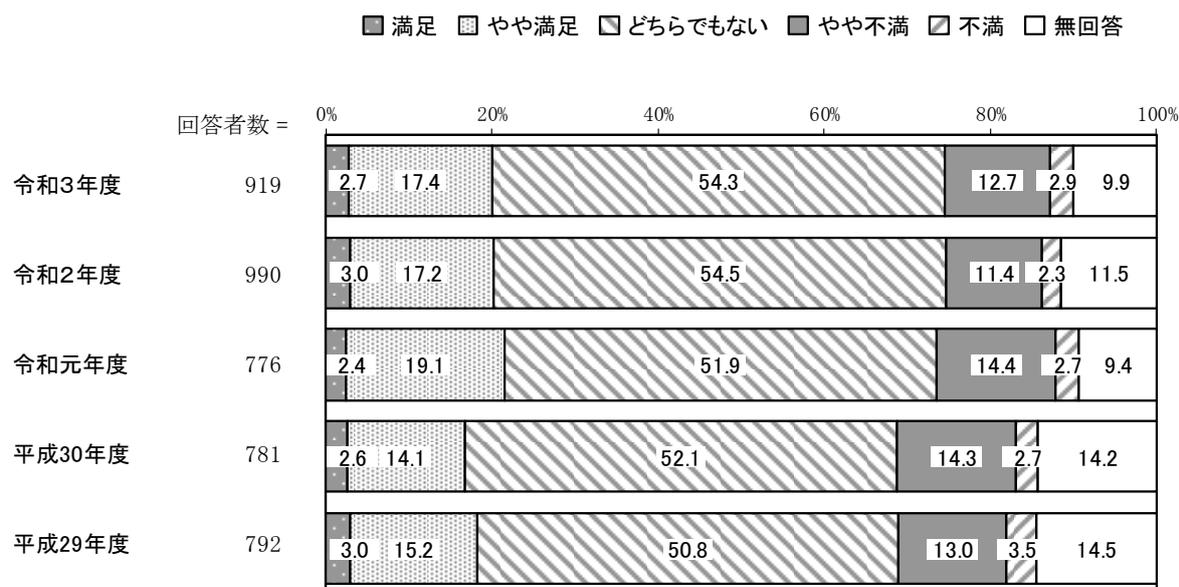
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満、20年以上で“満足”の割合が高く、3割近くとなっています。



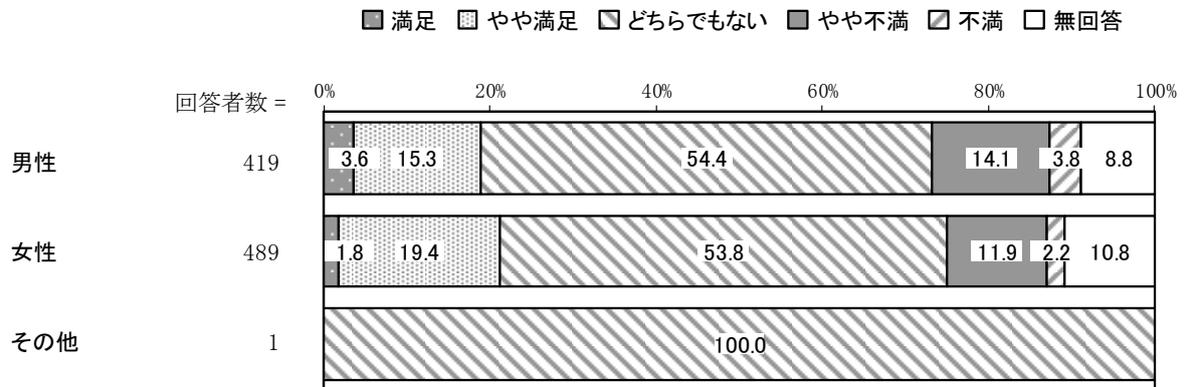
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

“満足”の割合が20.1%、“不満”の割合が15.6%となっています。
令和2年度以前の調査と比較すると、大きな差異はみられません。



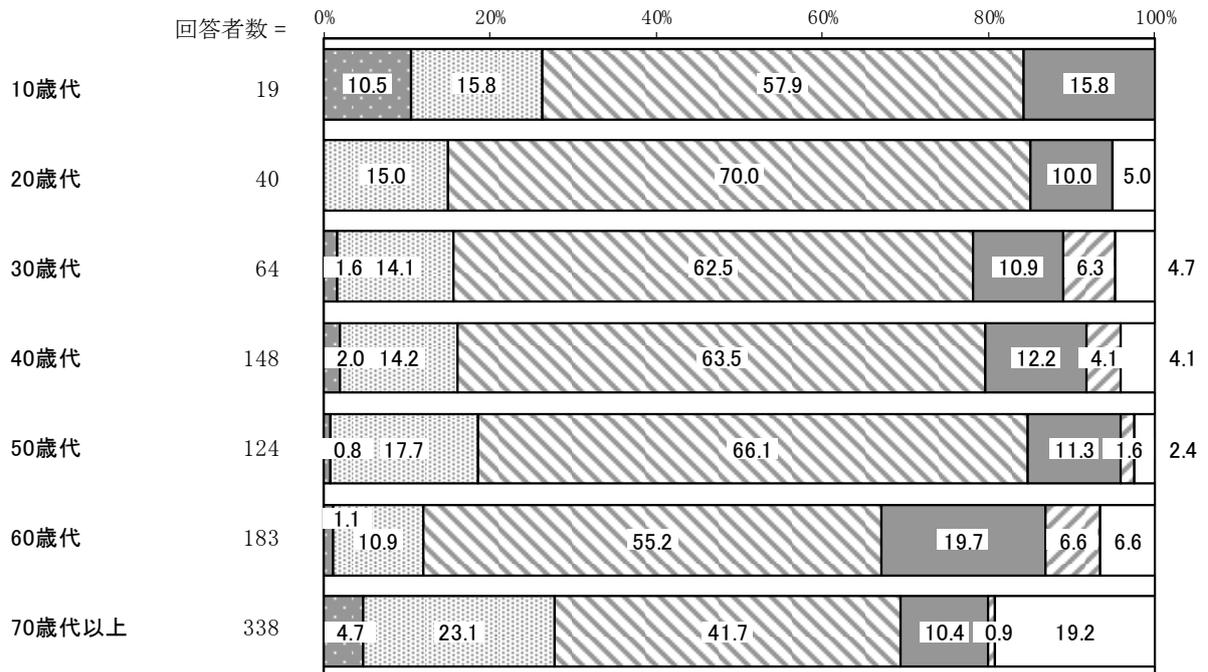
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



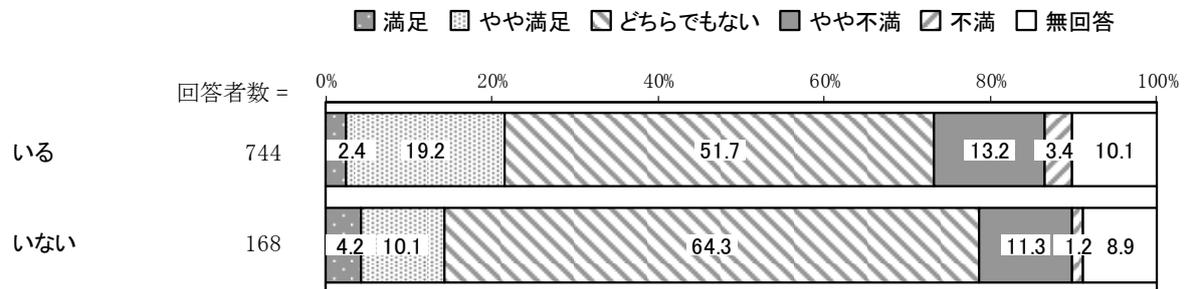
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代、70歳代以上で“満足”の割合が高く、約3割となっています。



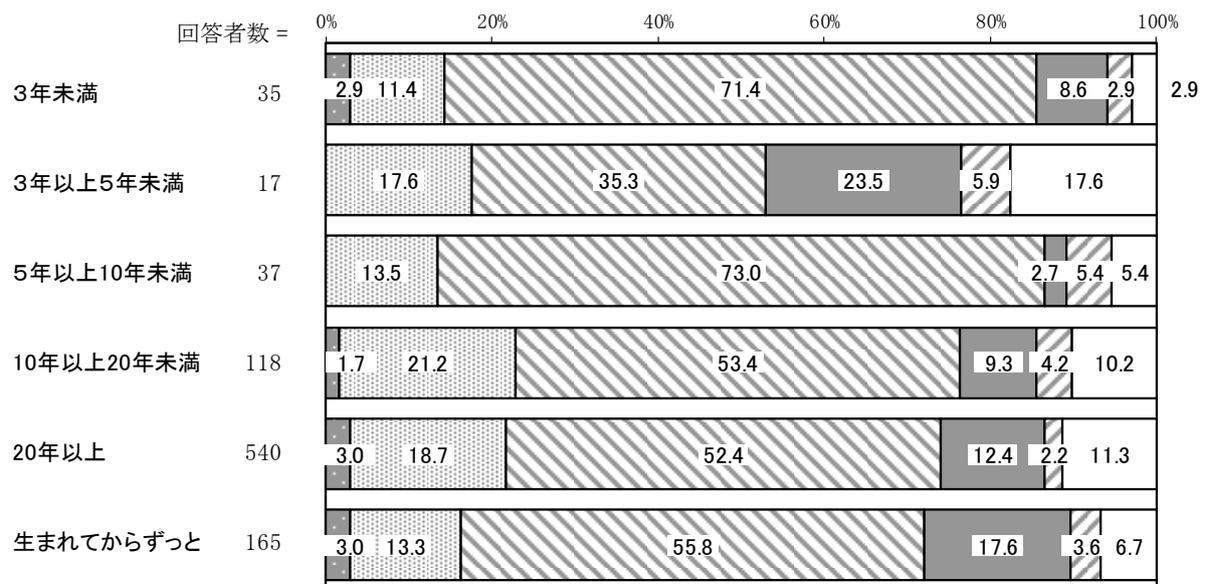
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



【居住年数別】

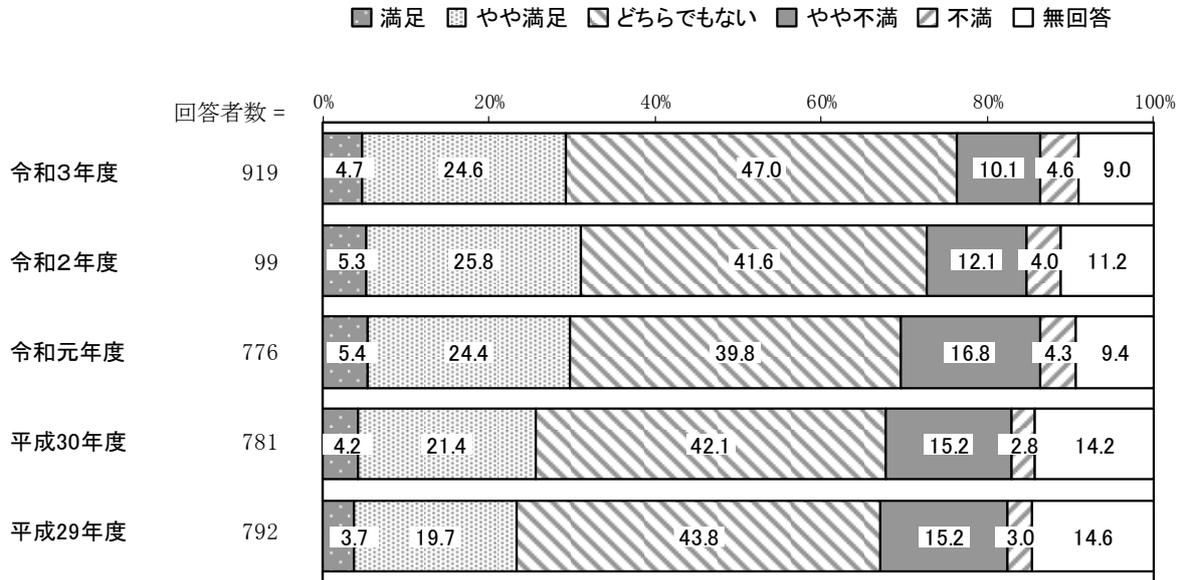
居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満、20年以上で“満足”の割合が高く、2割を超えています。また、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

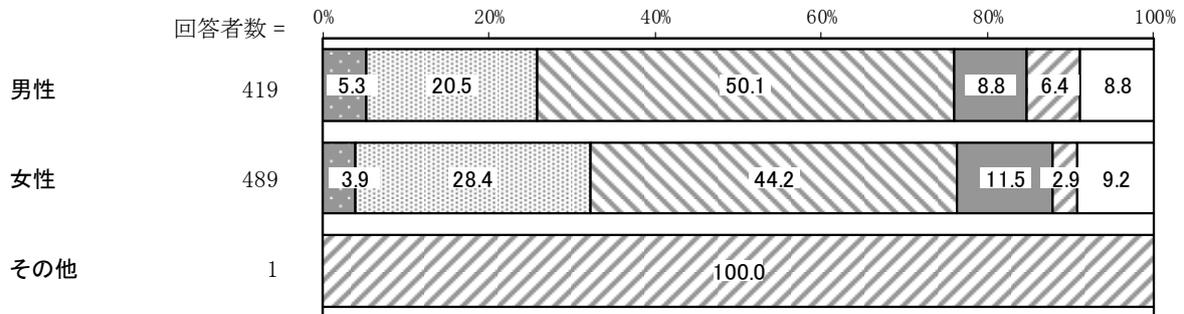
“満足”の割合が29.3%、“不満”の割合が14.7%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、“満足”の割合が増加傾向となっています。



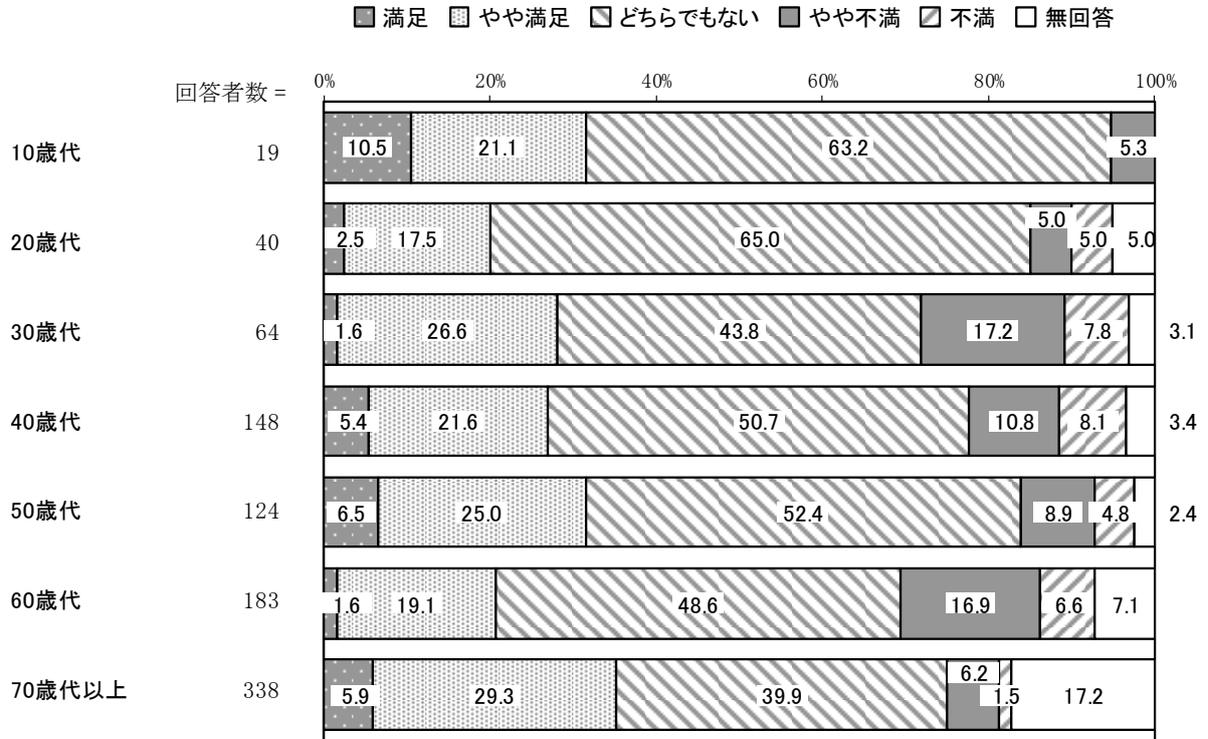
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



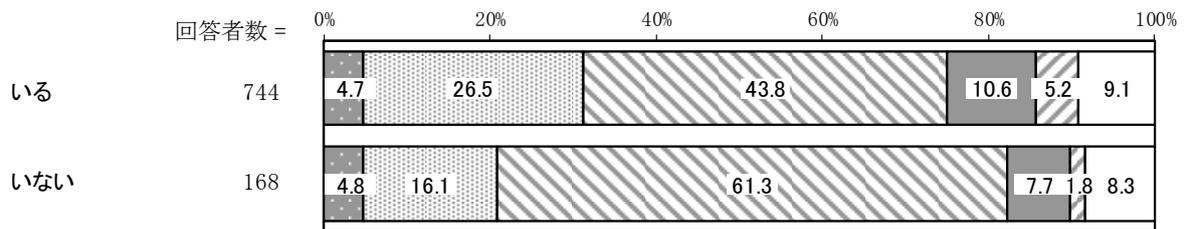
【年代別】

年代別でみると、30歳代で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、他の年代に比べ、70歳代以上で“満足”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



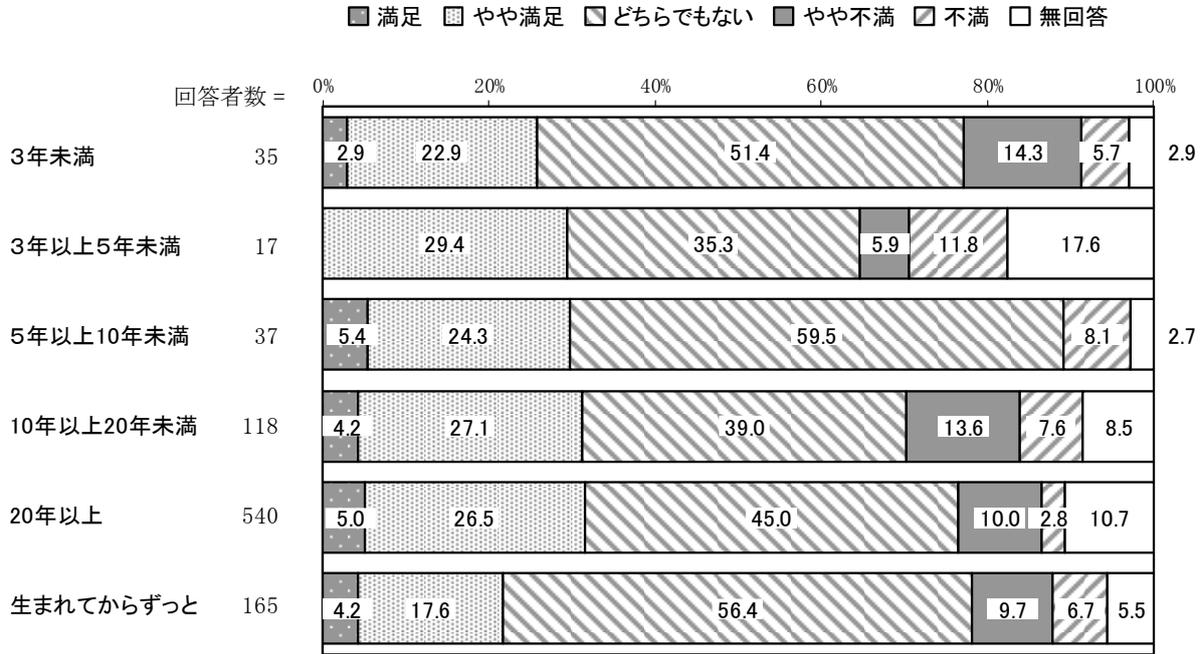
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“満足”“不満”の割合がともに高くなっています。



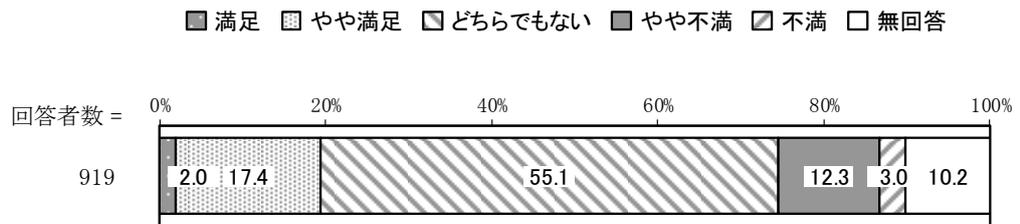
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満、20年以上で“満足”の割合が高く、3割を超えています。また、10年以上20年未満で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



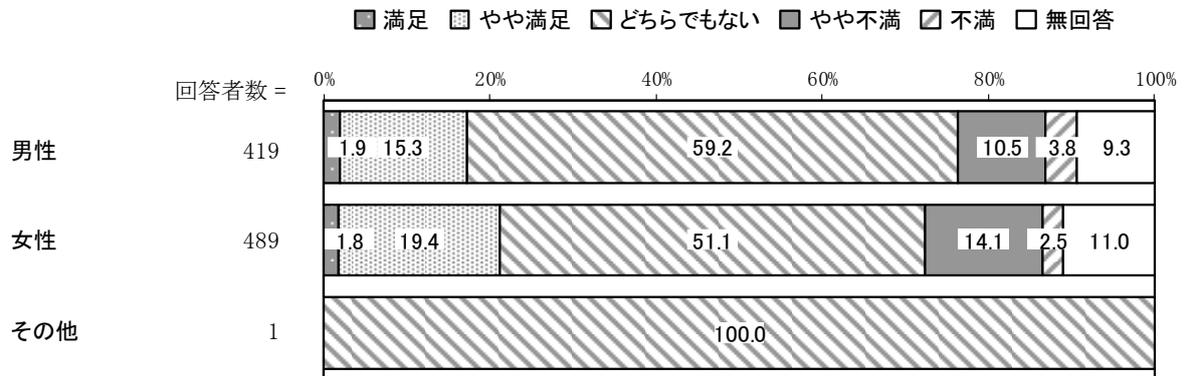
(9) 学びを支援する環境づくり

“満足”の割合が19.4%、“不満”の割合が15.3%となっています。



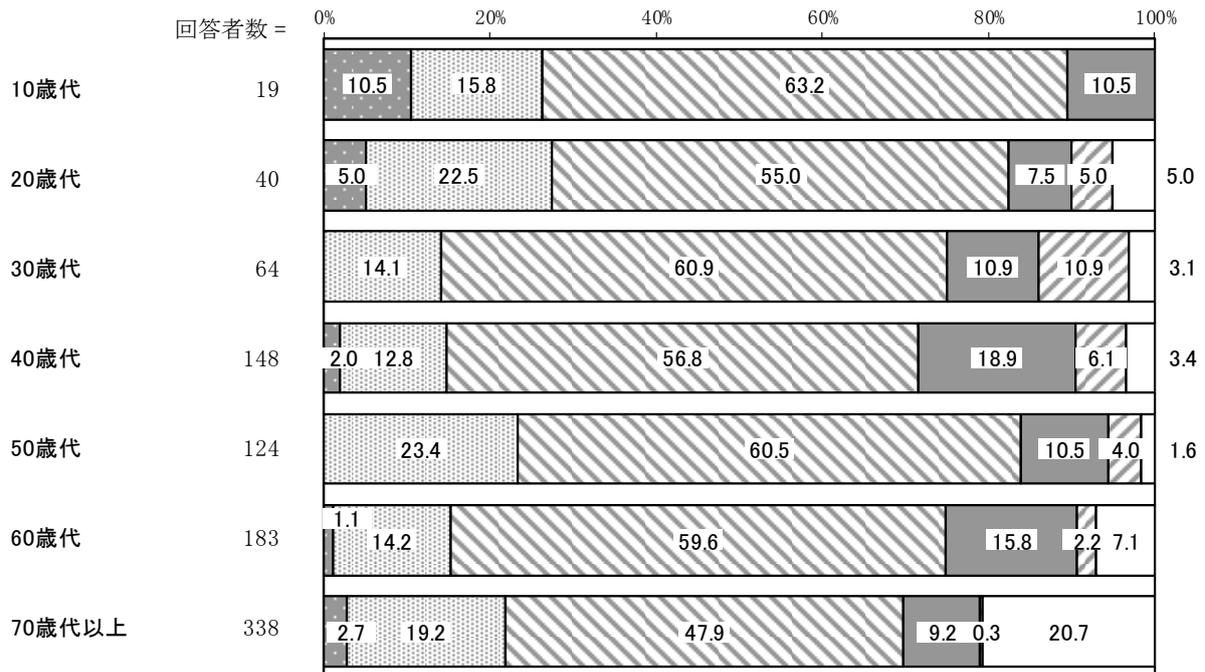
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



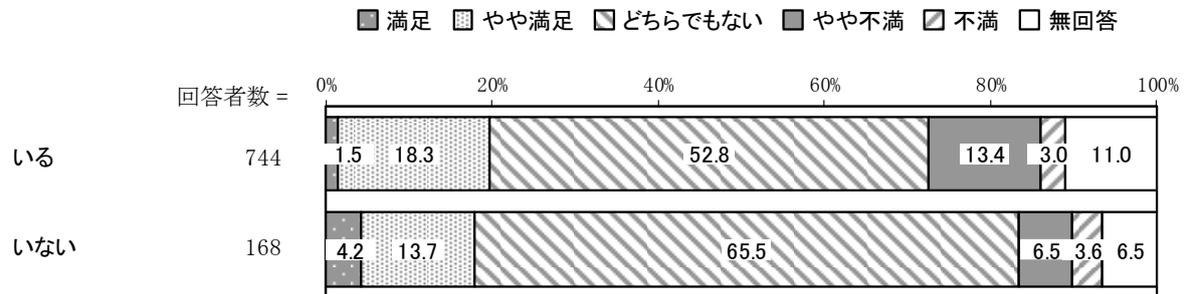
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“満足”の割合が高く、3割近くとなっています。また、40歳代で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



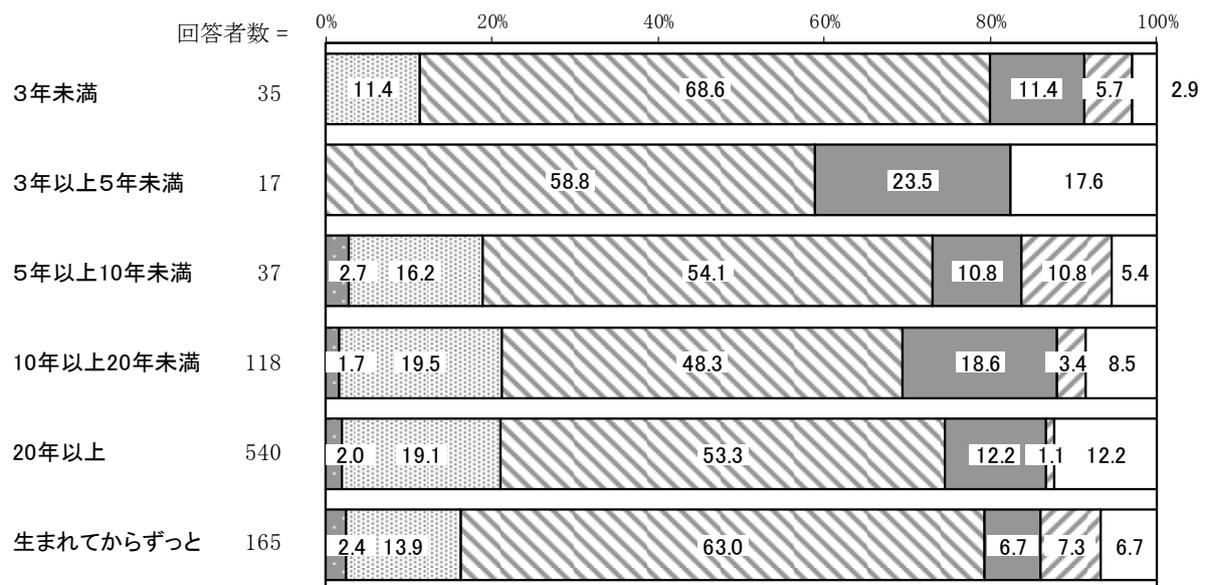
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“不満”の割合が、高く、1割台半ばとなっています。



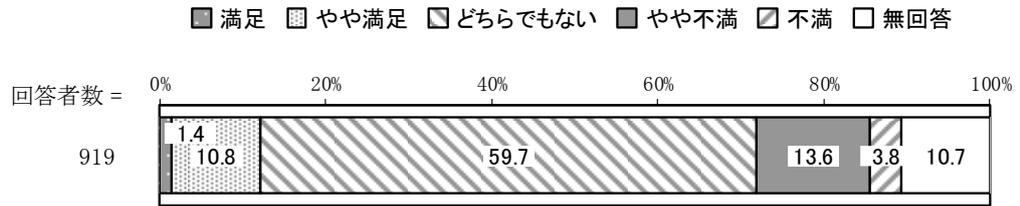
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上20年未満で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



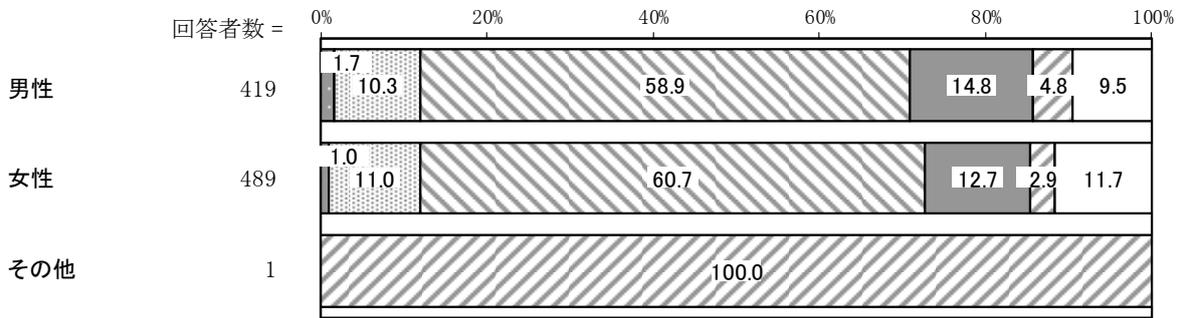
(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成

“満足”の割合が12.2%、“不満”の割合が17.4%となっています。



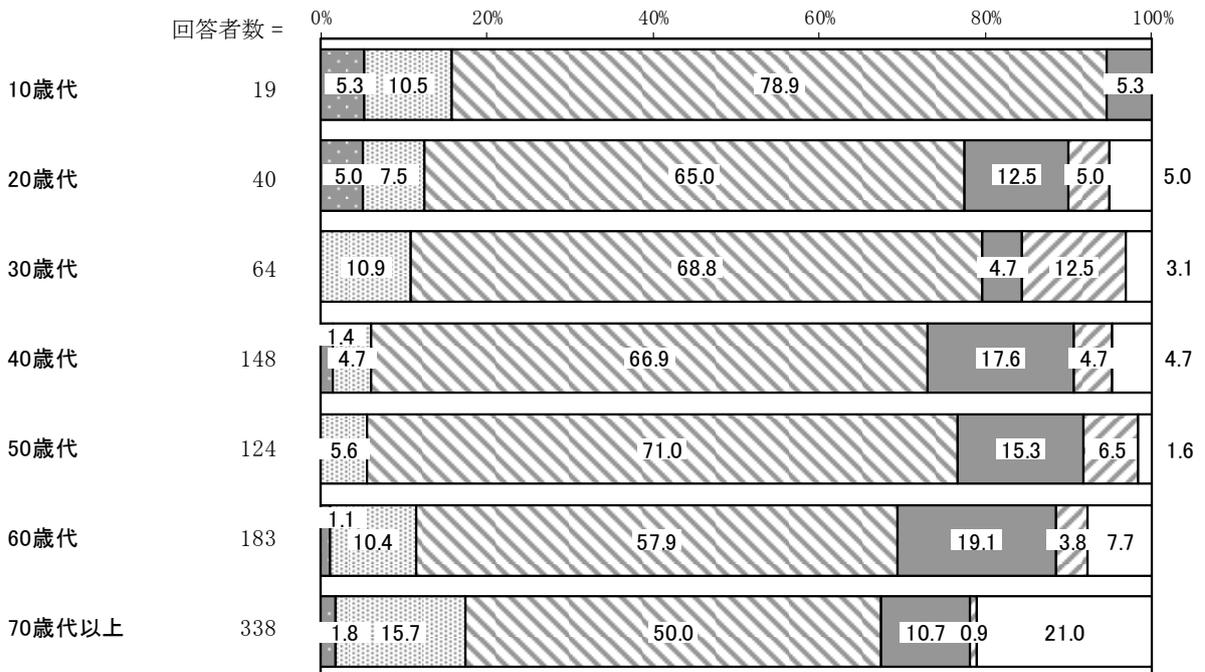
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



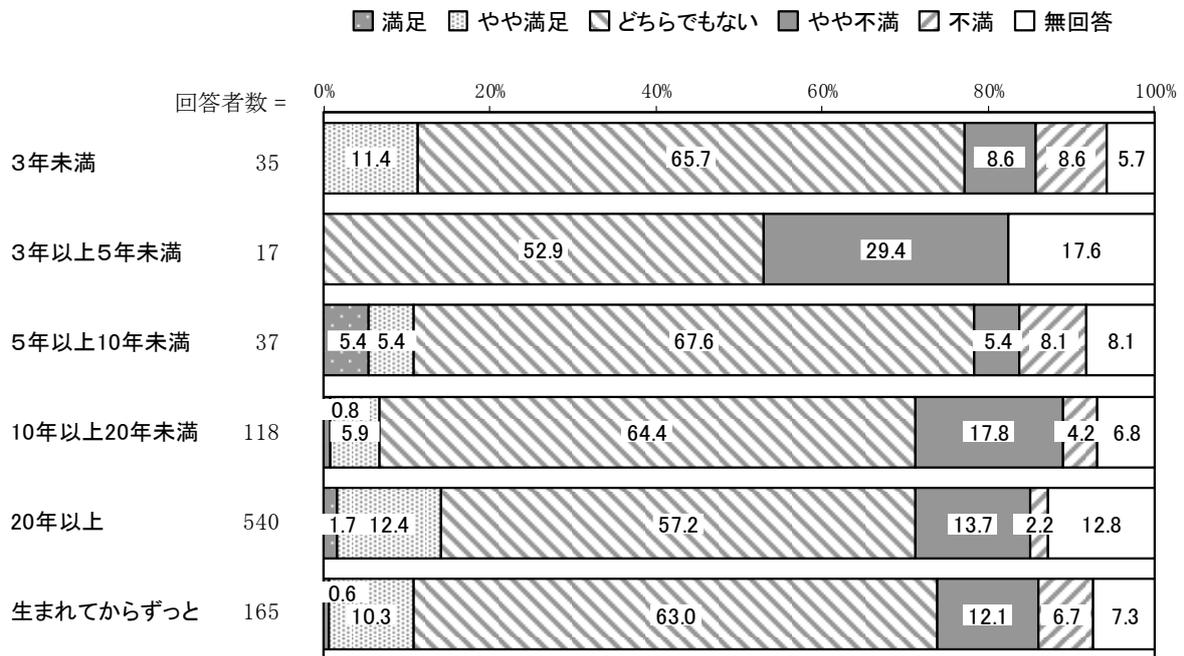
【年代別】

年代別でみると、40歳代から60歳代以上で“不満”の割合が高く、2割を超えています。



【居住年数別】

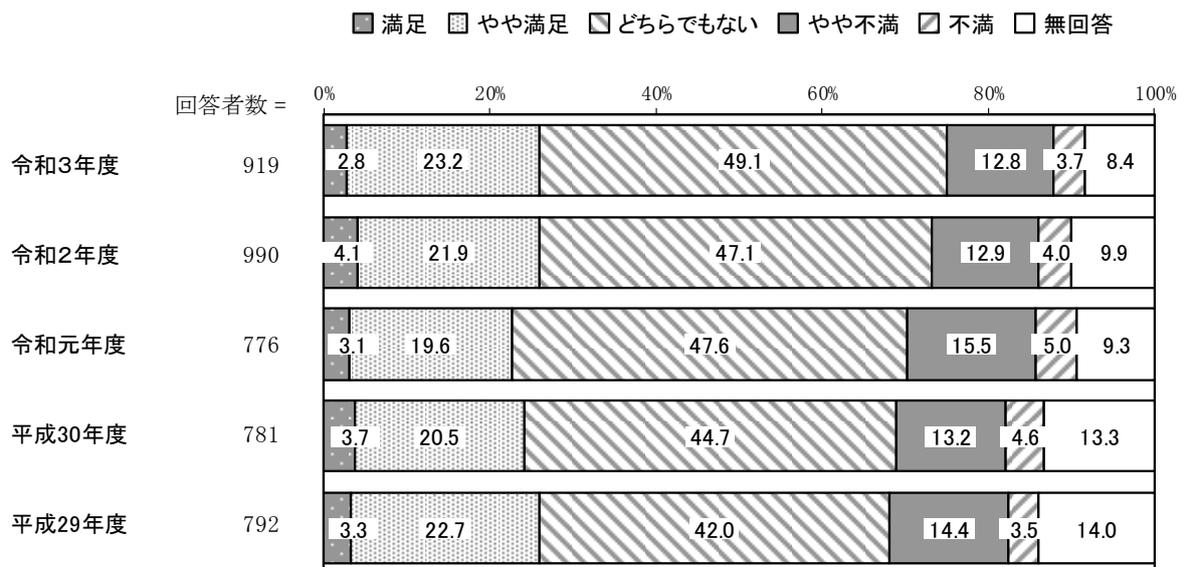
居住年数別でみると、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

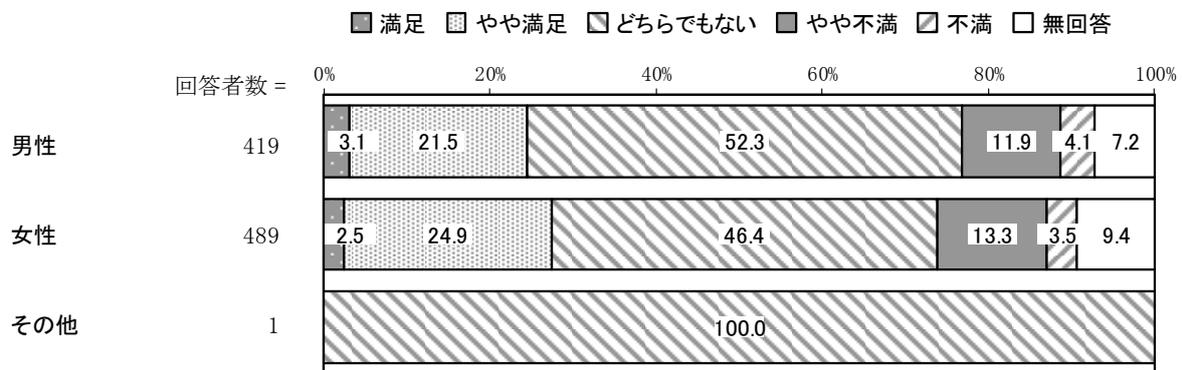
“満足”の割合が26.0%、“不満”の割合が16.5%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、“不満”の割合に減少の傾向がみられます。



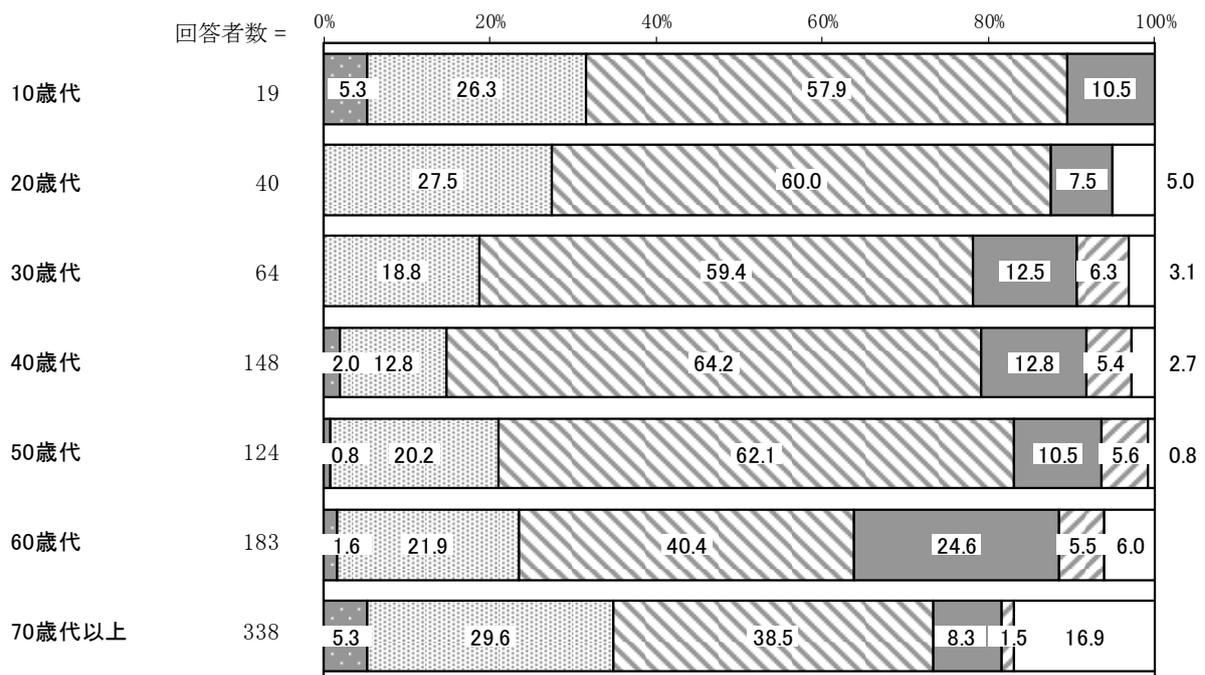
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



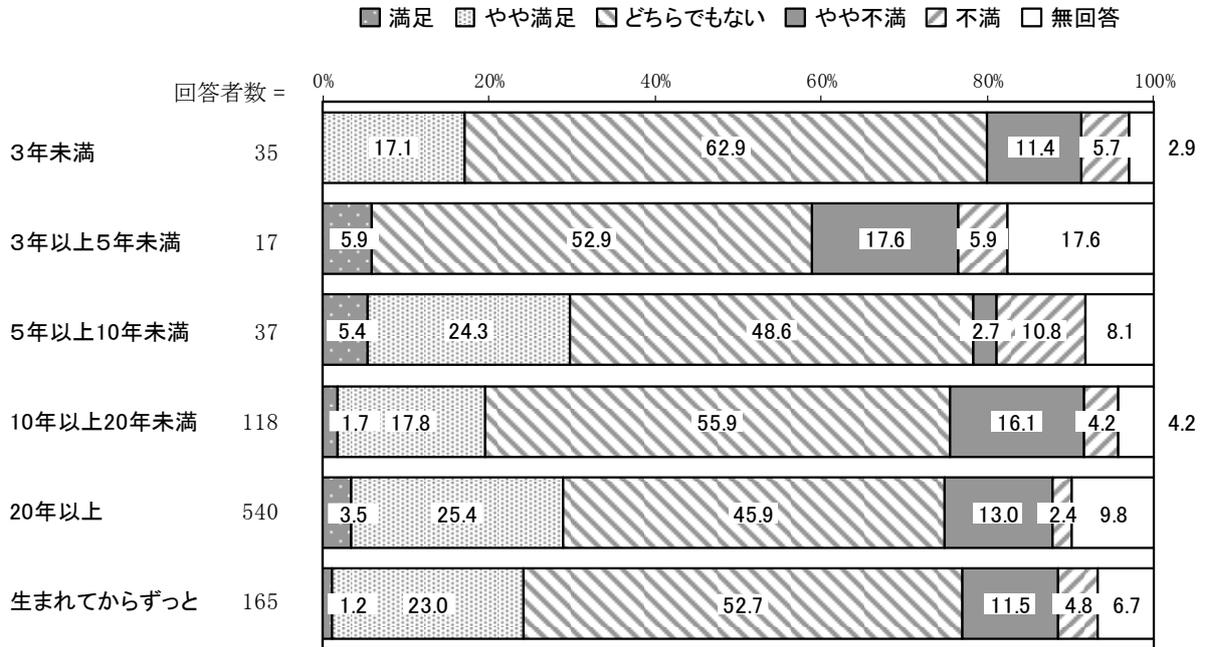
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で“満足”の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、60歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“満足”の割合が高く、約3割となっています。また、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



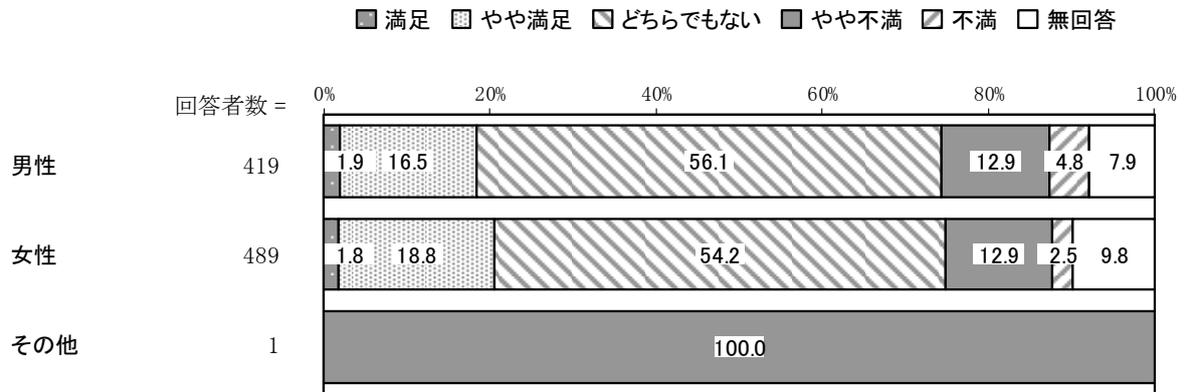
(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

“満足”の割合が19.6%、“不満”の割合が16.6%となっています。令和2年度以前の調査と比較すると、大きな差異はみられません。



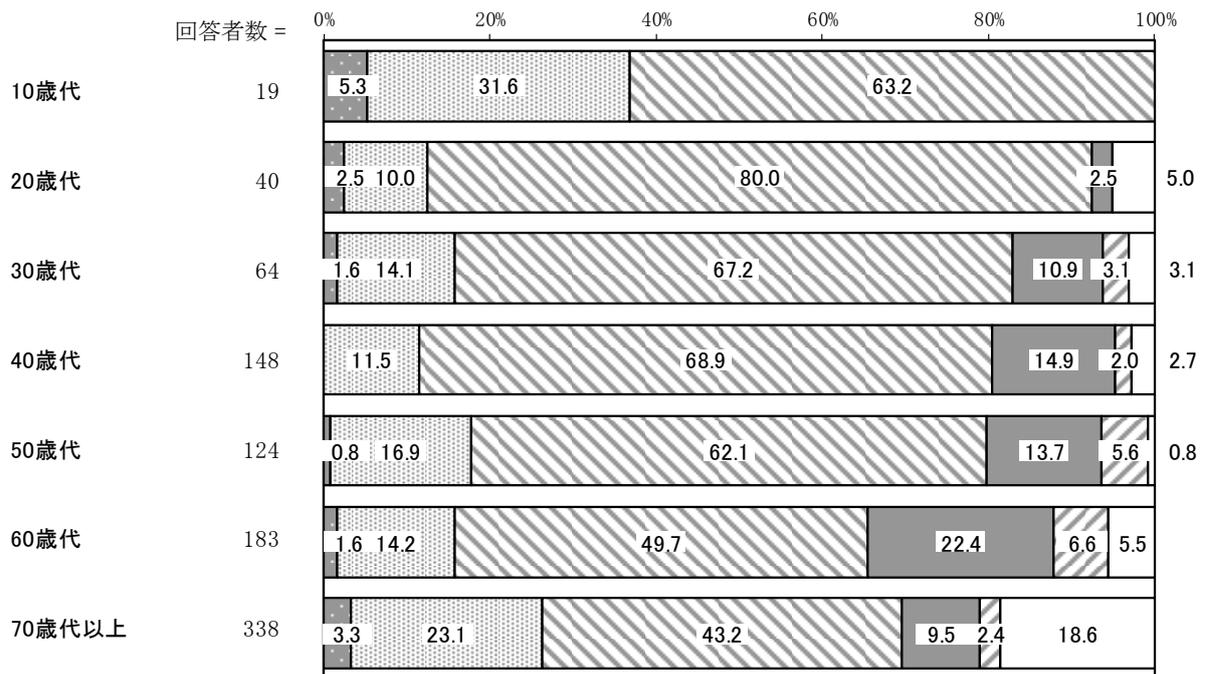
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



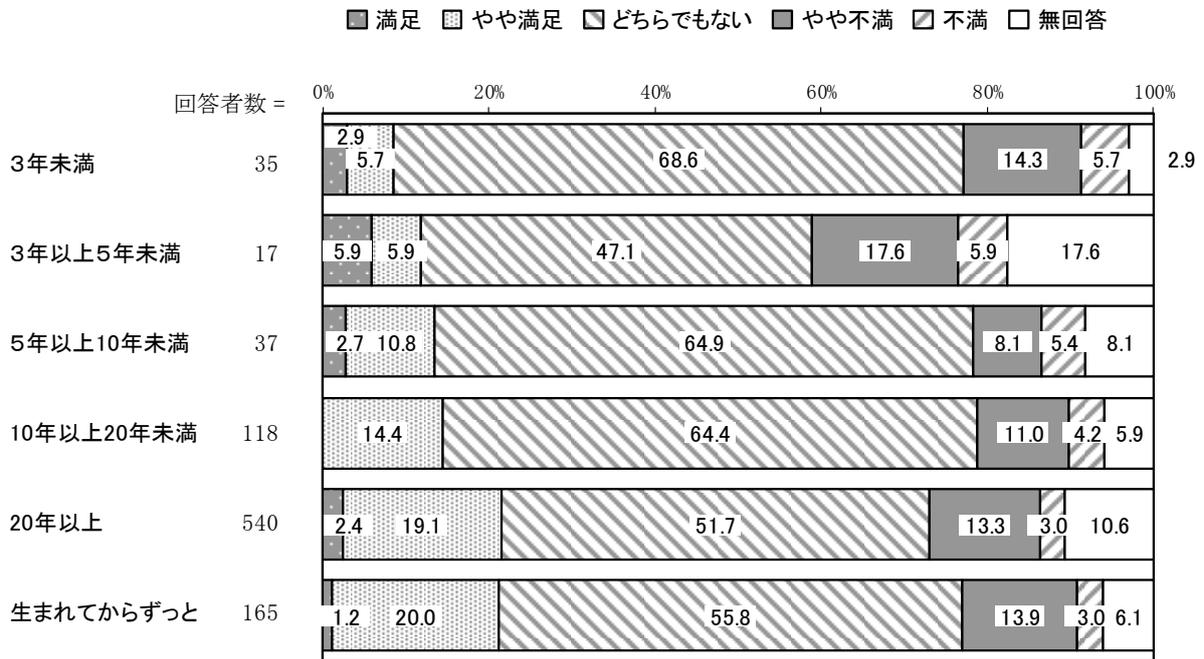
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、60歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



【居住年数別】

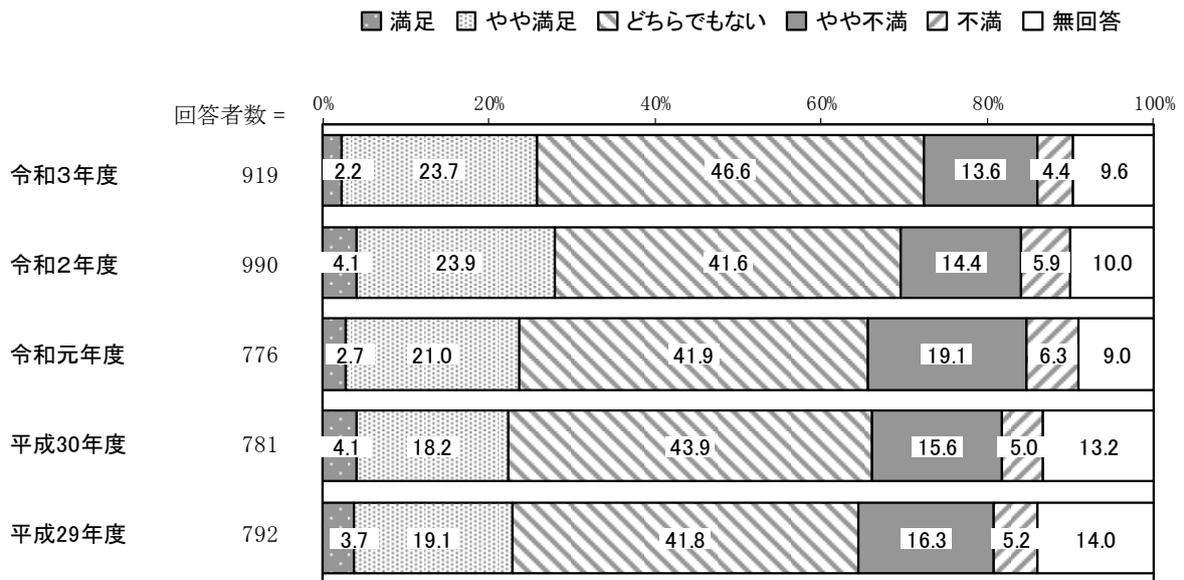
居住年数別でみると、居住年数が下がるにつれ“満足”の割合が減少する傾向がみられる。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

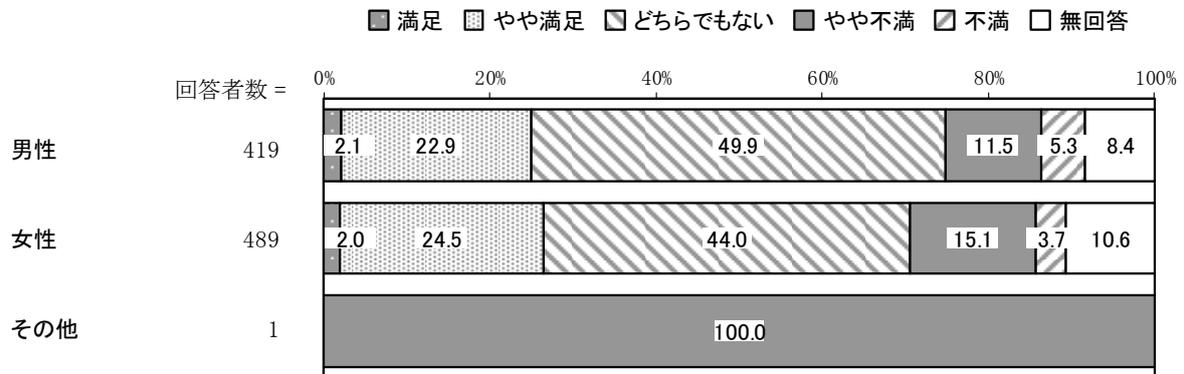
“満足”の割合が25.9%、“不満”の割合が18%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、“満足”の割合が増加傾向でしたが、令和3年度では減少しています。



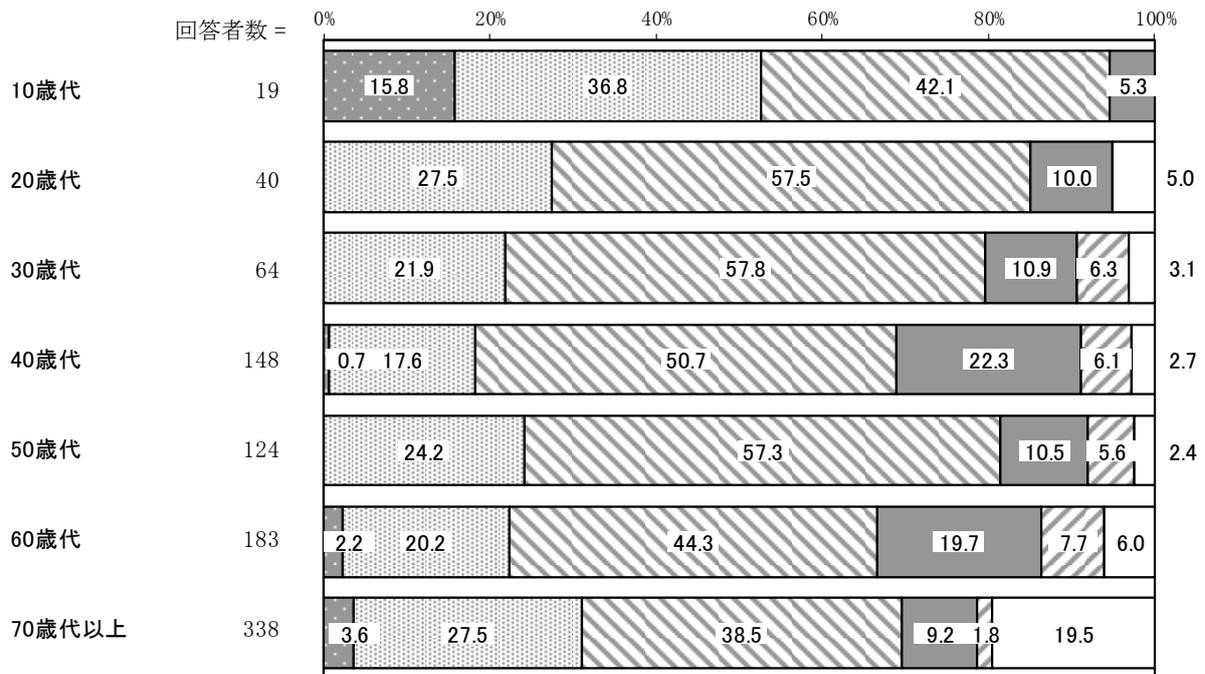
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



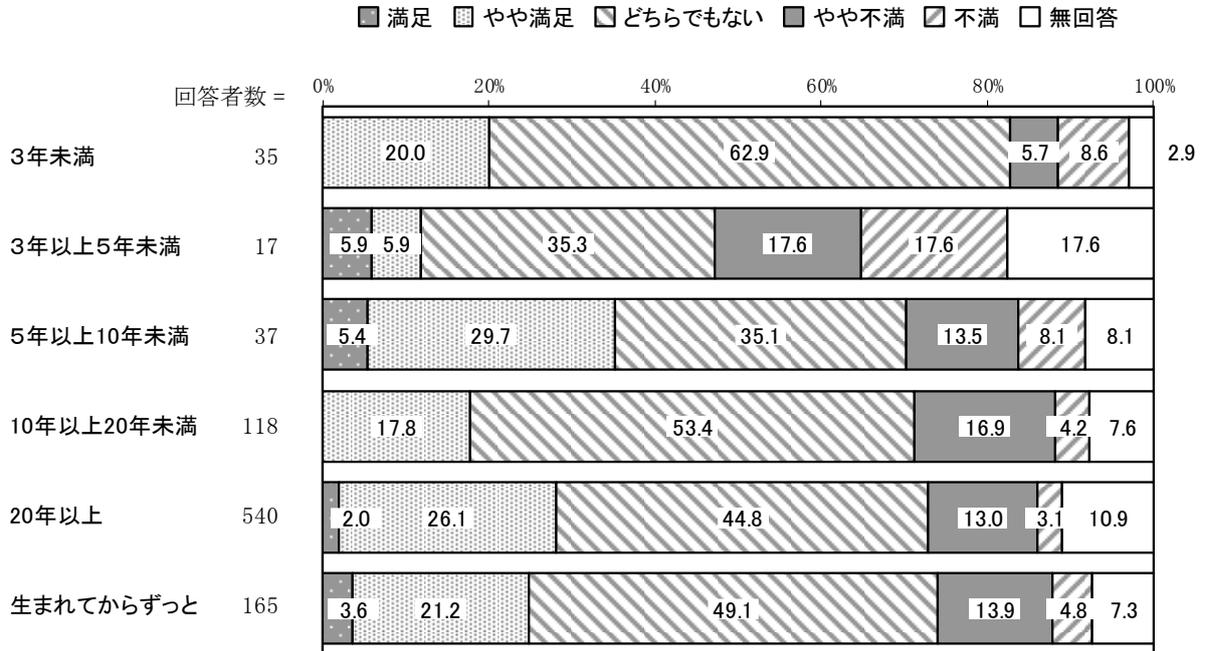
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、5割を超えています。



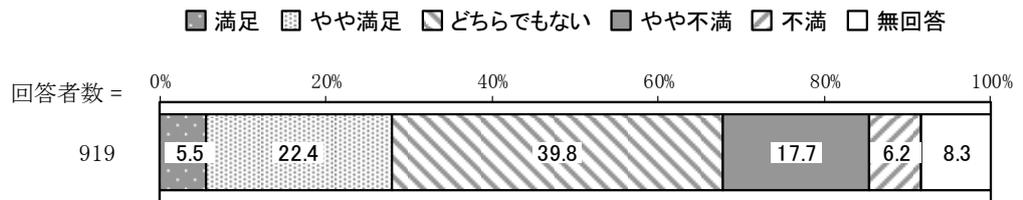
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“満足”の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



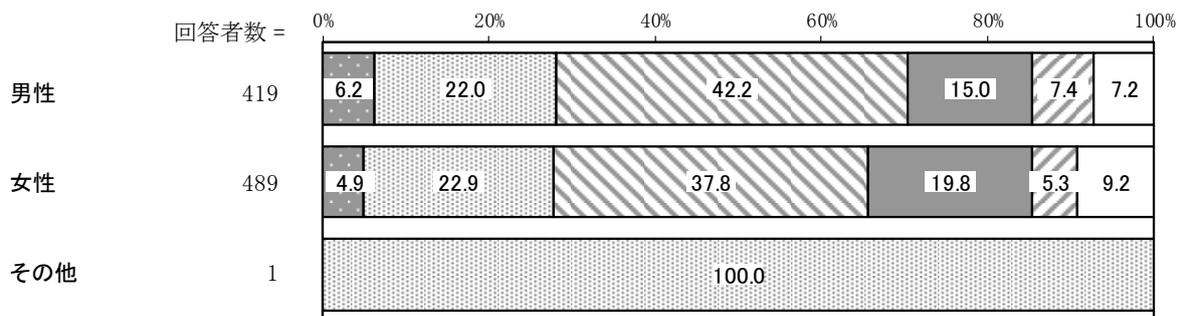
(14) 必要な医療サービスが受けられる

“満足”の割合が27.9%、“不満”の割合が23.9%となっています。



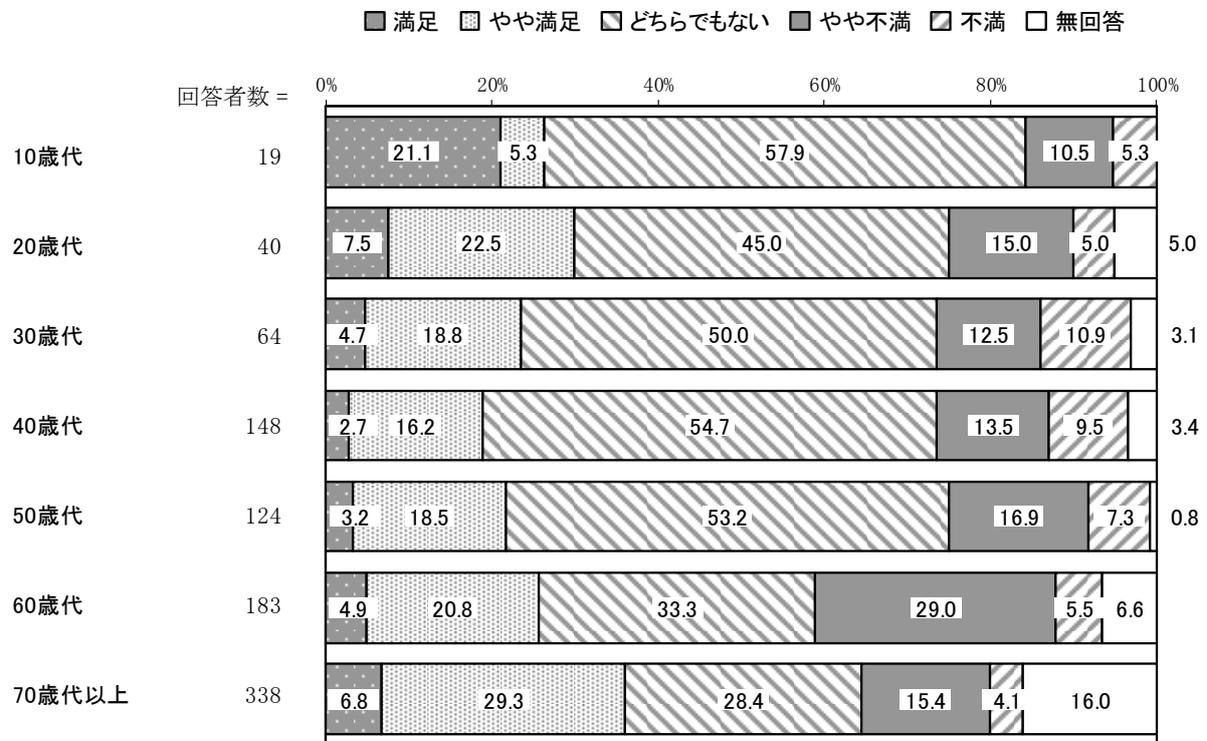
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



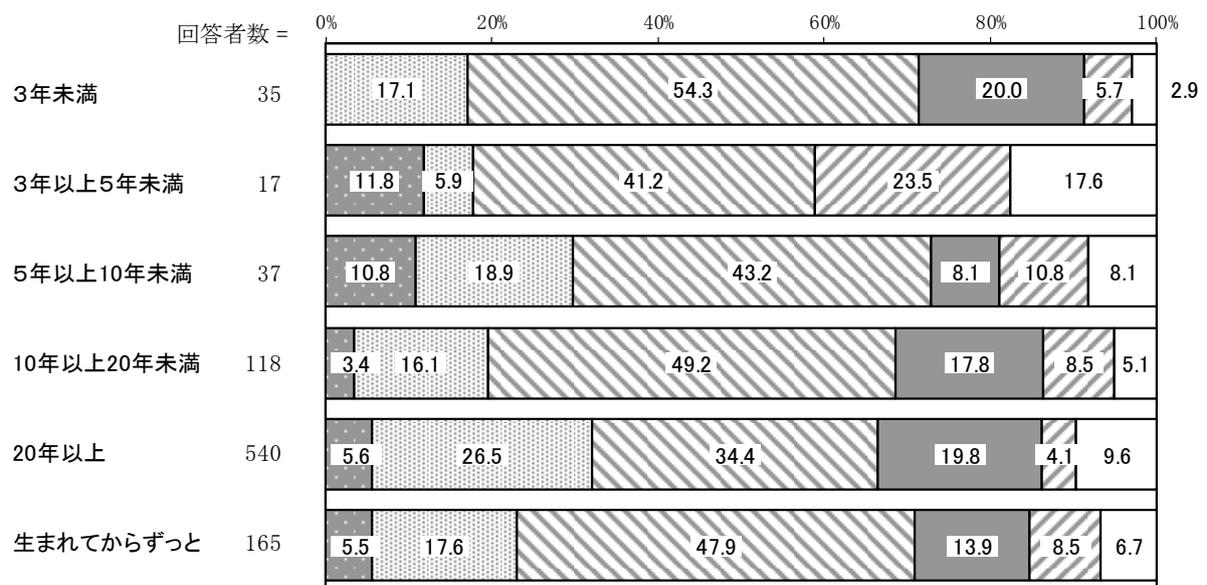
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で“満足”の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、60歳代で“不満”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で“満足”の割合が高く、3割を超えています。また、3年未満、10年以上20年未満で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・今後の重要性の得点化

14 項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を5つの選択肢の中から回答してもらい、

下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・今後の重要性の得点化の手順■

満足度	得点	重要度	得点
不満	→ -2 点	重要ではない	→ -2 点
やや不満	→ -1 点	あまり重要ではない	→ -1 点
どちらでもない	→ 0 点	どちらでもない	→ 0 点
やや満足	→ 1 点	やや重要	→ 1 点
満足	→ 2 点	重要	→ 2 点
無回答	→ 計算対象外	無回答	→ 計算対象外

■得点の算出式■

$ \begin{aligned} & 2点 \times 「満足(重要)」の回答数 \\ & + 1点 \times 「やや満足(やや重要)」の回答数 \\ & + 0点 \times 「どちらでもない」の回答数 \\ & - 1点 \times 「やや不満(あまり重要ではない)」の回答数 \\ & - 2点 \times 「不満(重要ではない)」の回答数 / 無回答を除く回答数 \end{aligned} $
--

算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

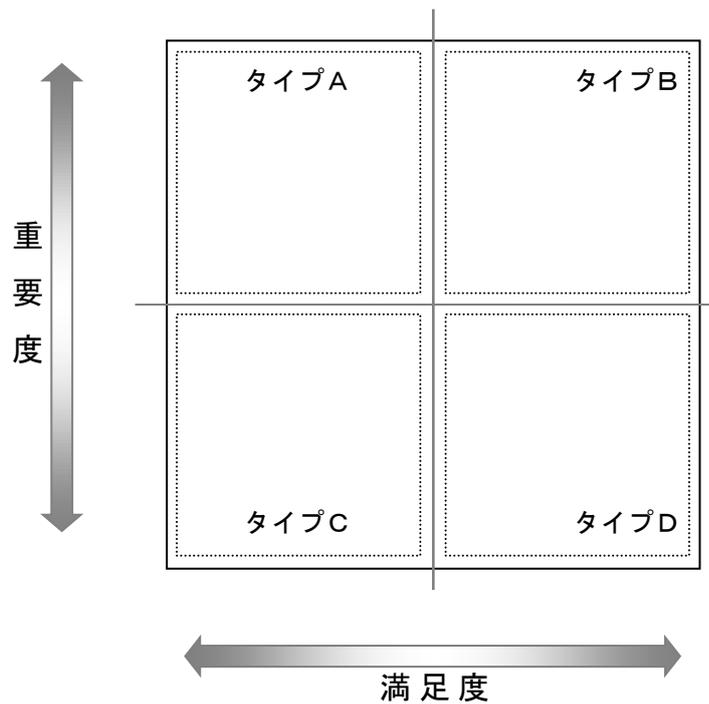
■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満足度	得点	順位	得点	重要度
施策名				施策名
(8) 安心して子育てできる環境づくり	0.16	第1位	1.64	(14) 必要な医療サービスが受けられる
(6) 地域と市民の元気づくり	0.10	第2位	1.49	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(11) 健康で暮らせる環境づくり	0.09	第3位	1.44	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	-0.06	第12位	0.96	(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	-0.09	第13位	0.75	(5) 定住・移住の促進
(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成	-0.09	最下位	0.56	(4) シティプロモーションの推進

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



◆タイプA

満足度は低いが、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB

満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

◆タイプC

満足度は低く、重要度も低い

→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

◆タイプD

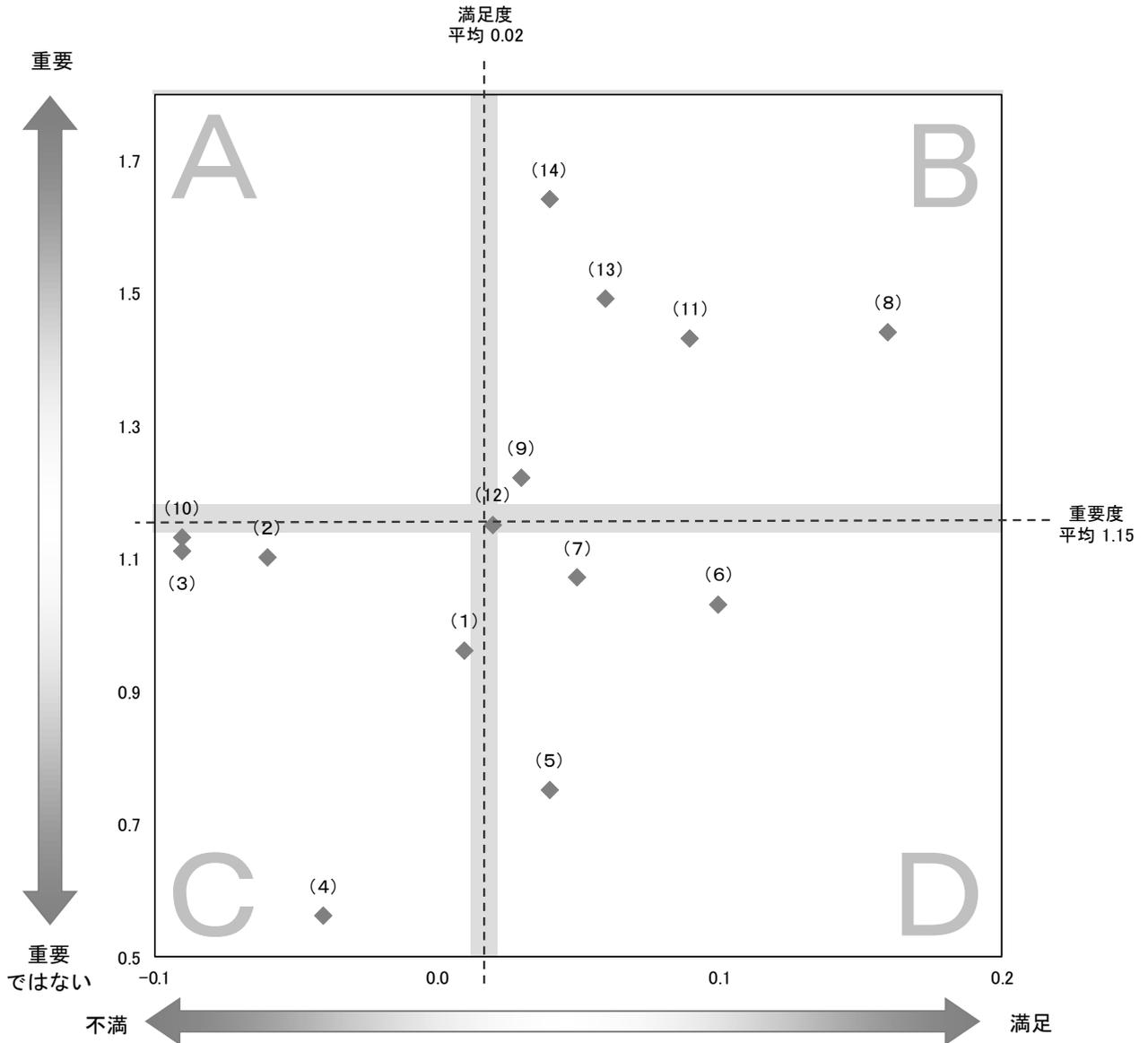
満足度は高いが、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析（回答者数 = 919）

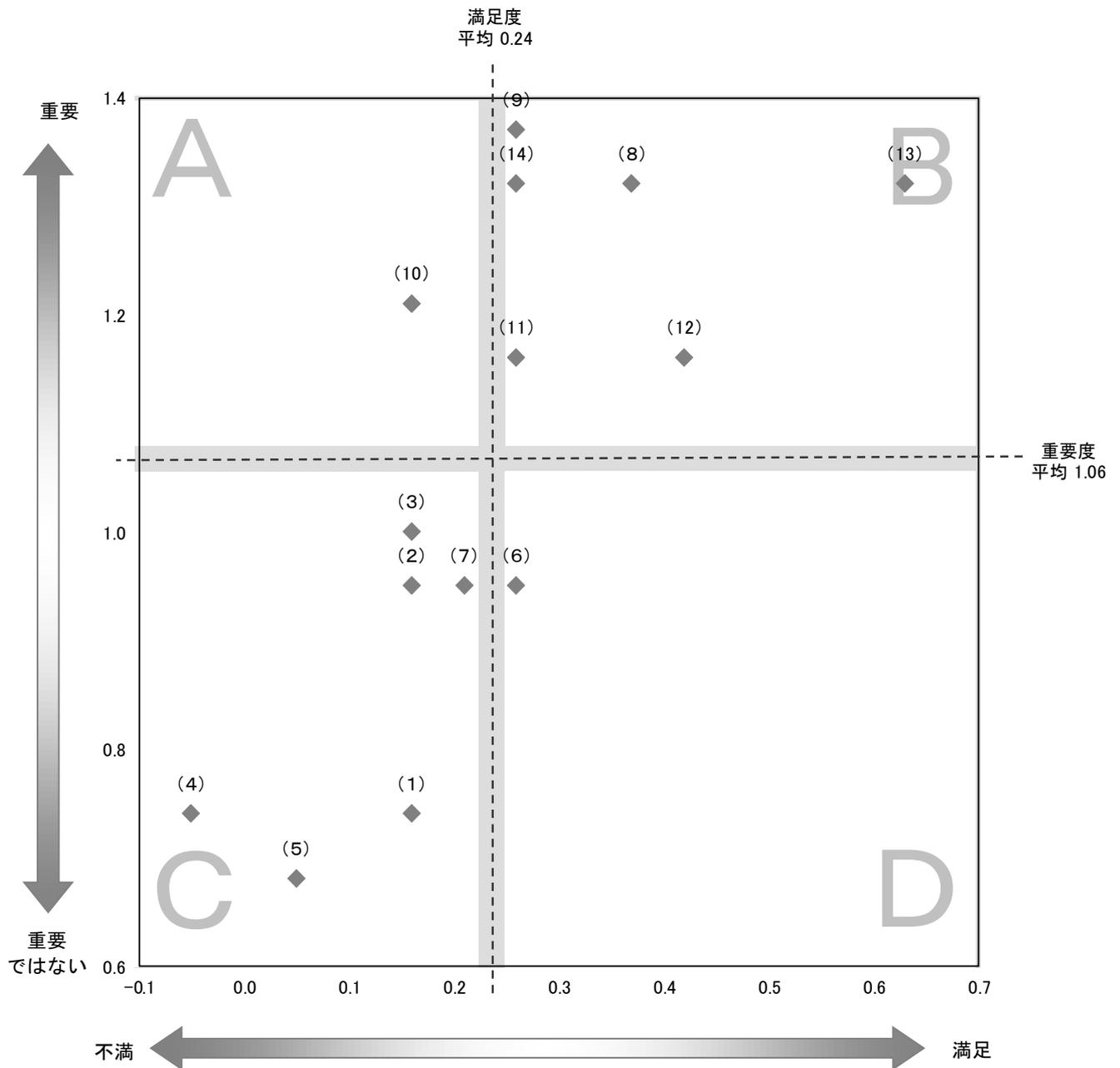
満足度が高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(9)学びを支援する環境づくり』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり』『(13)安全・安心に暮らせる生活環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』となっています。

各年代のポートフォリオからみると、可見市は必要な医療サービスを満足に受けられ、健康に暮らせる環境であり、安心して子供を育てられる環境であると全世代が感じています。そのため、幼少期にこどもの心に寄り添い個々の力を引き出す教育環境が求められています。また、大人になったときに働く環境を確立するため、地域産業の活性化が求められています。



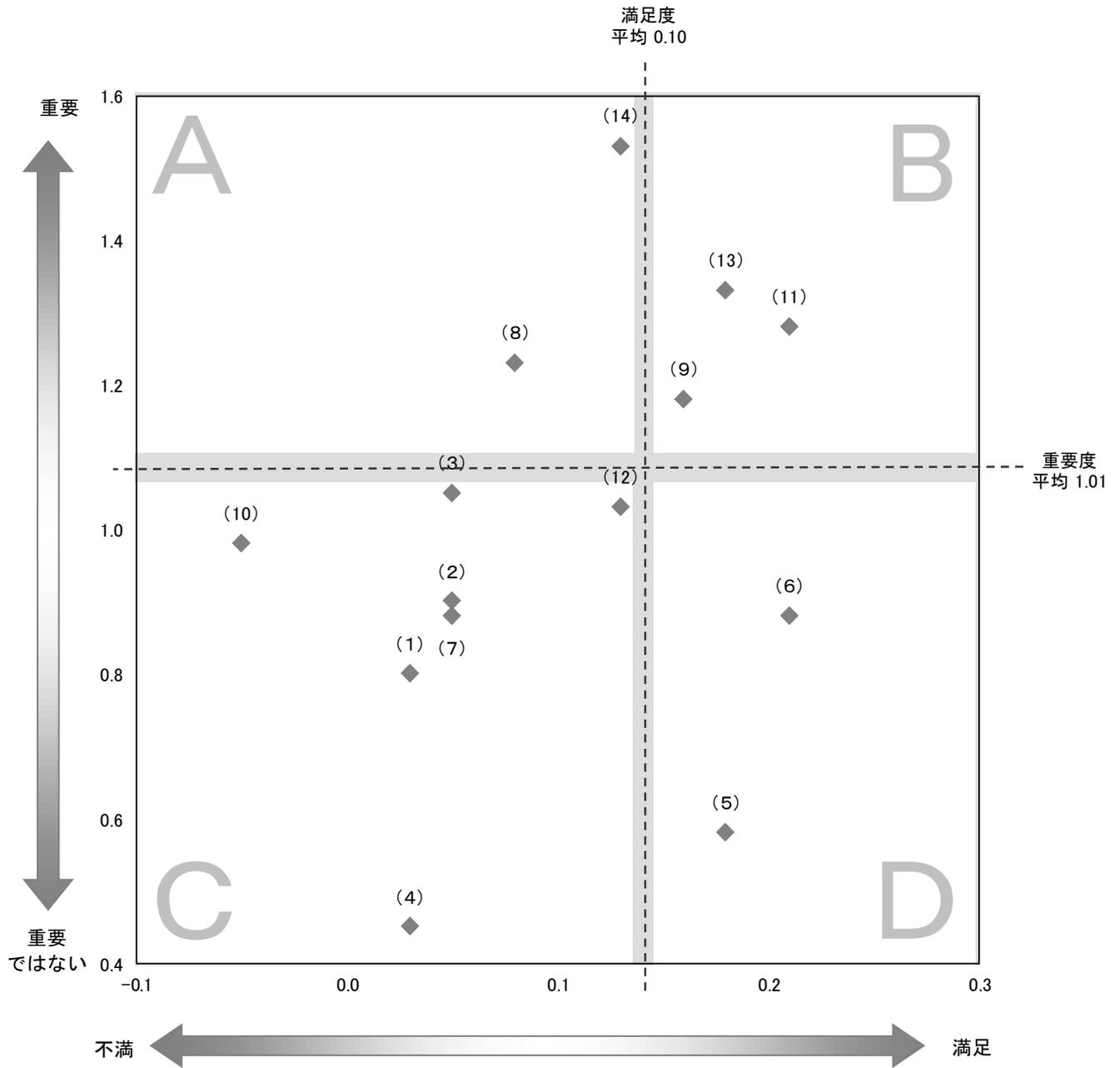
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

●施策のポートフォリオ分析（10歳代 回答者数 = 19）



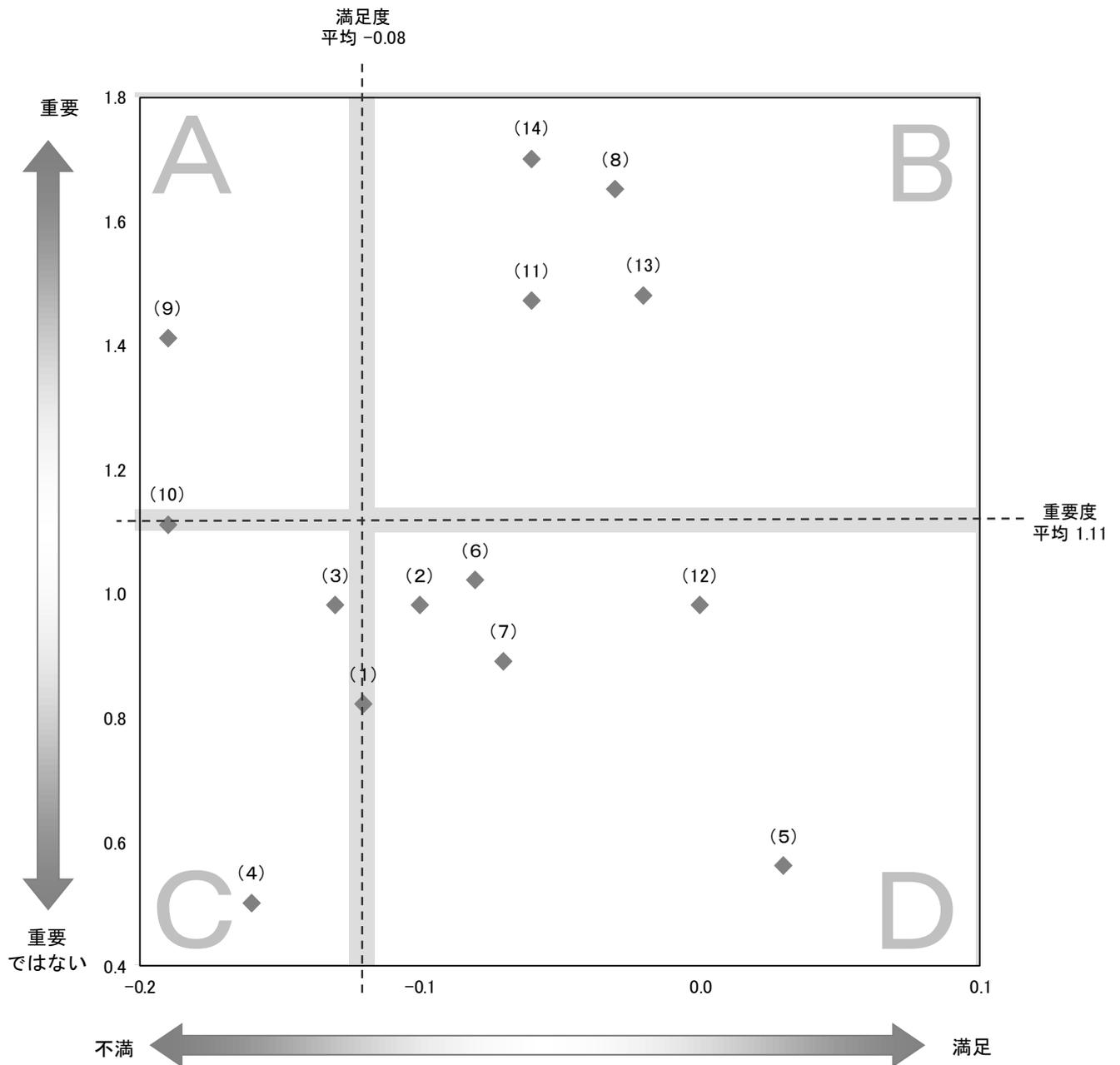
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

●施策のポートフォリオ分析（20歳代 回答者数 = 40）



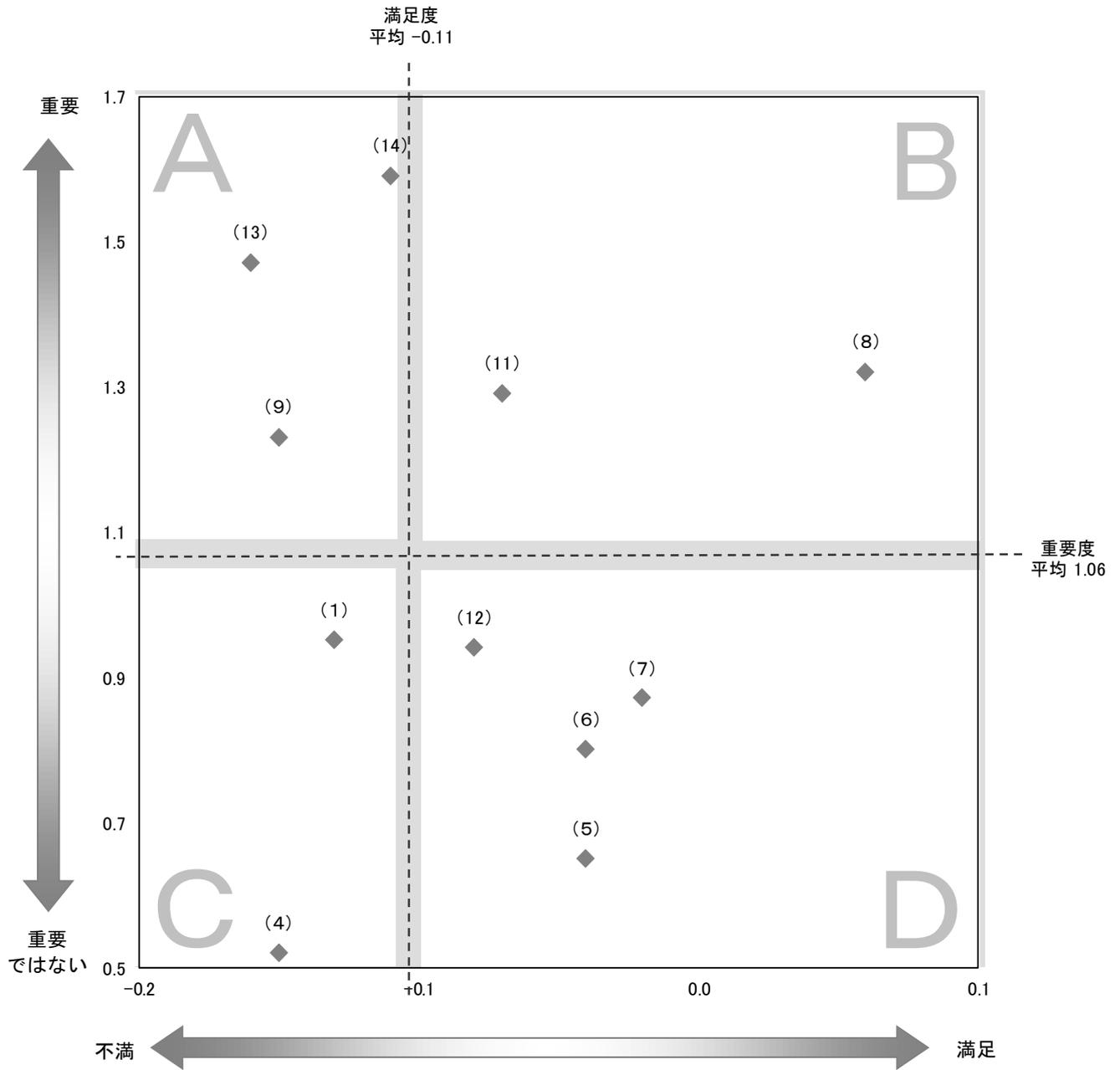
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

●施策のポर्टフォリオ分析 (30歳代 回答者数 = 64)



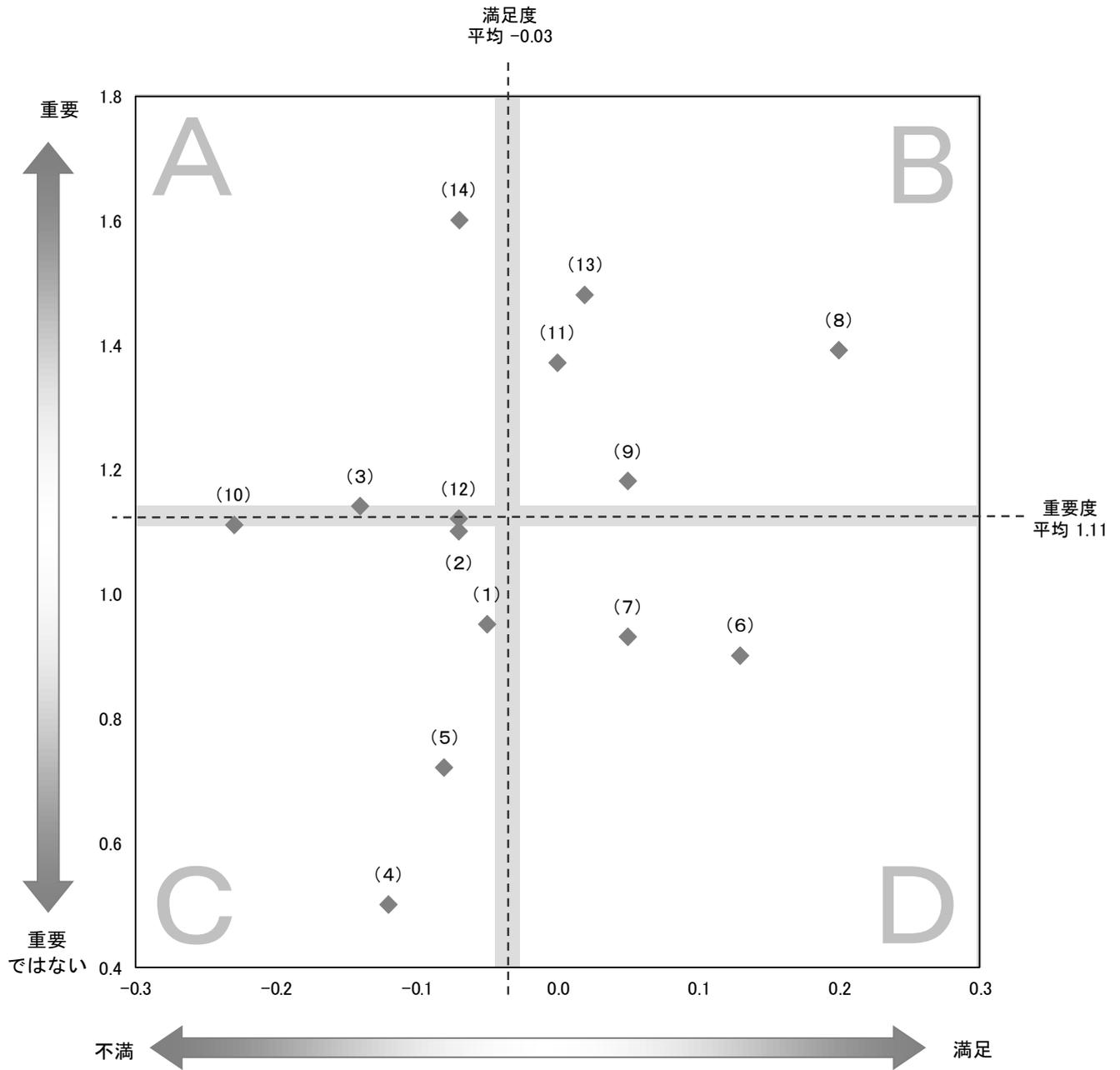
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

●施策のポर्टフォリオ分析（40歳代 回答者数 = 148）



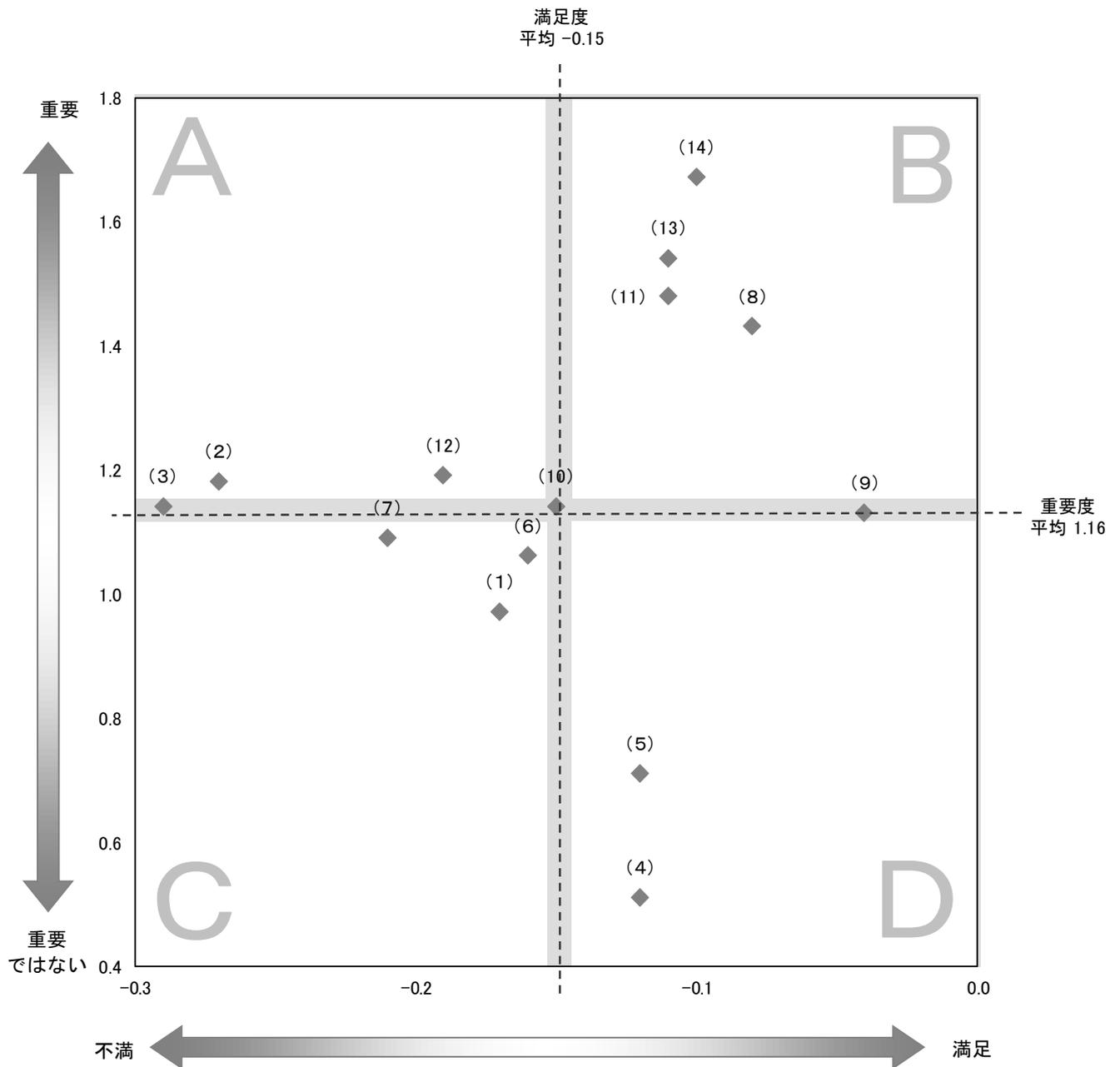
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

●施策のポर्टフォリオ分析（50歳代 回答者数 = 124）



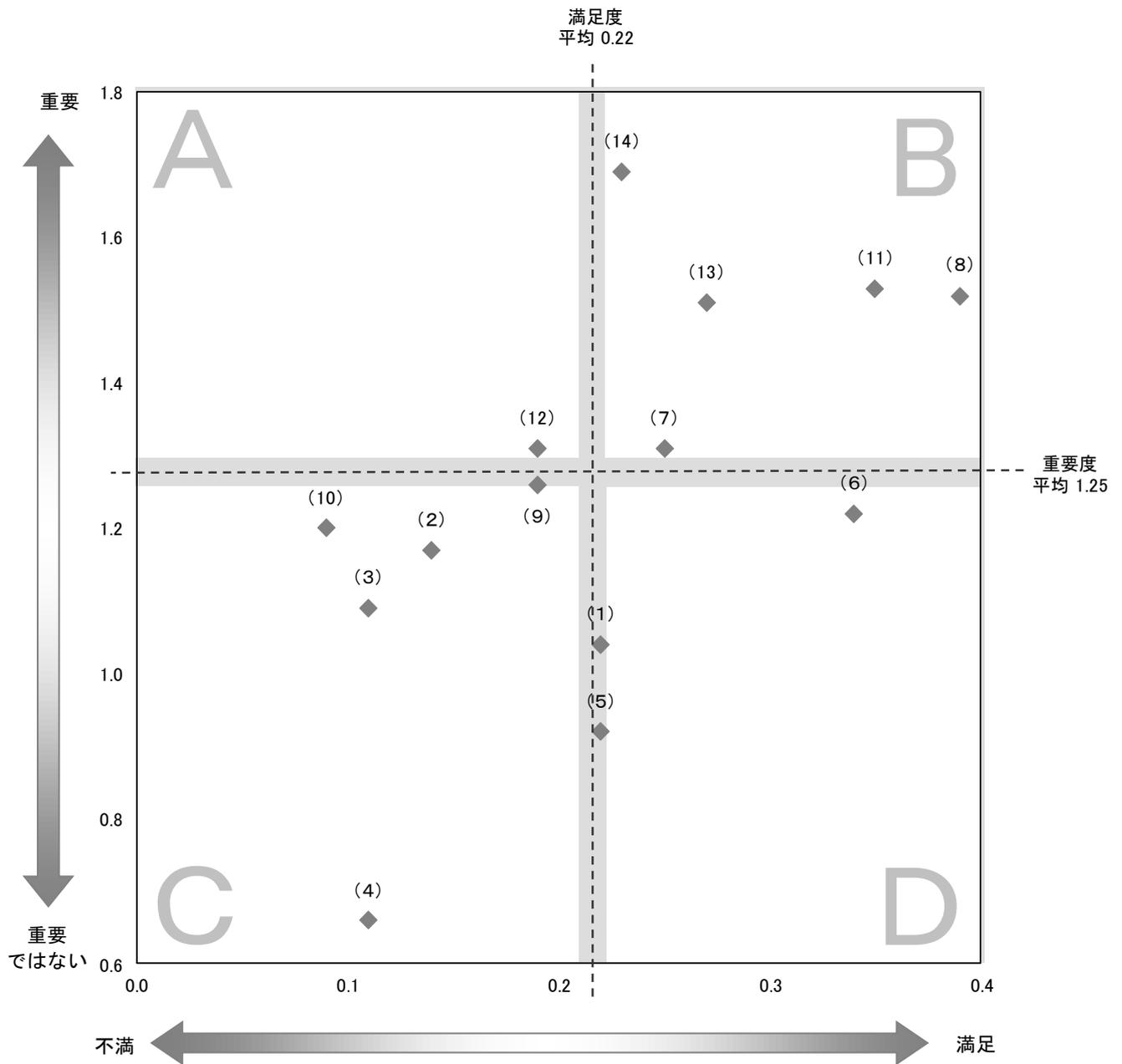
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

●施策のポर्टフォリオ分析（60歳代 回答者数 = 183）



項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

●施策のポートフォリオ分析（70歳以上 回答者数 = 338）



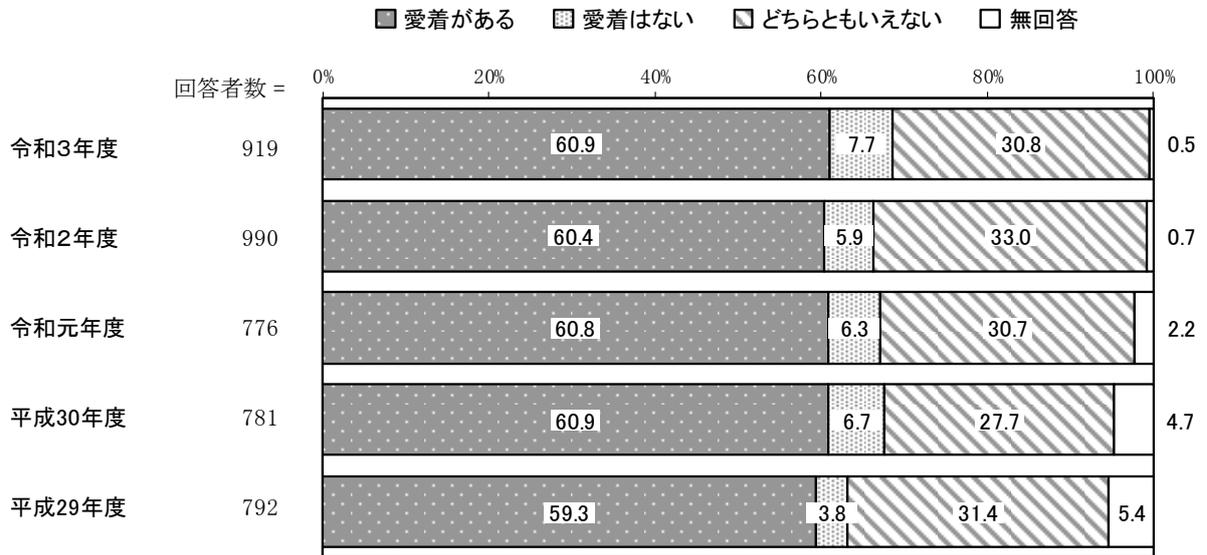
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

(4) 可児市のイメージについて

問 15 可児市に愛着はありますか。(〇は1つだけ)

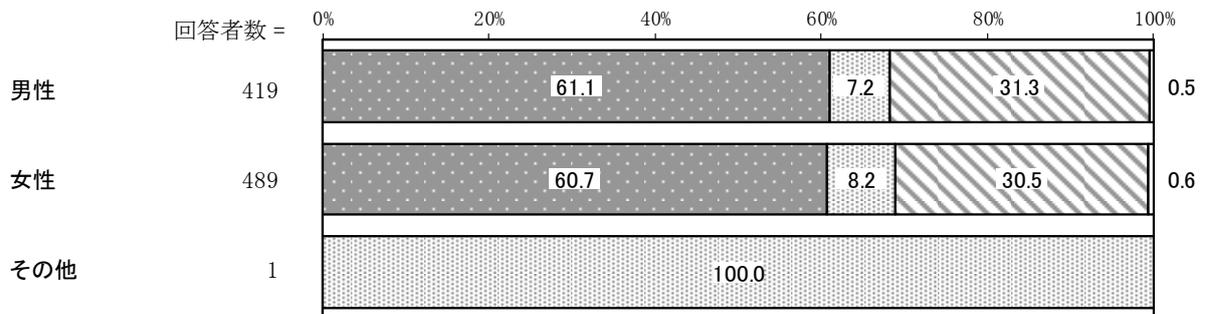
「愛着がある」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 30.8%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



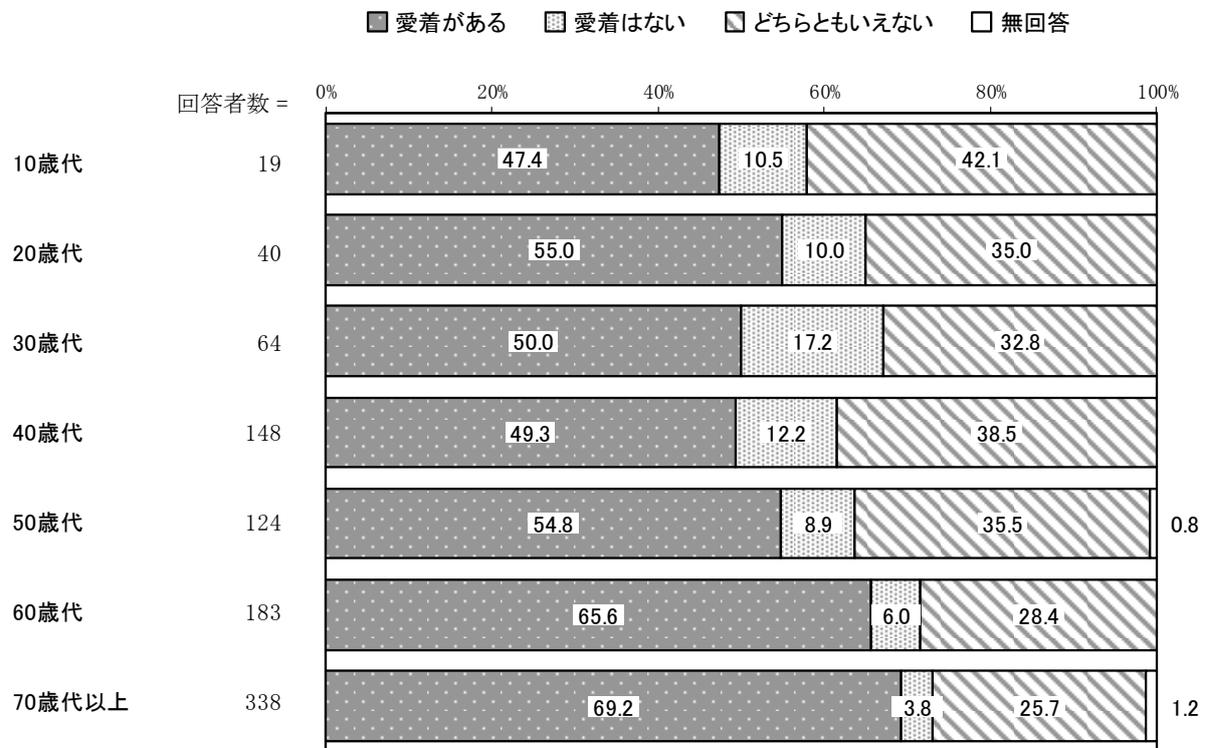
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



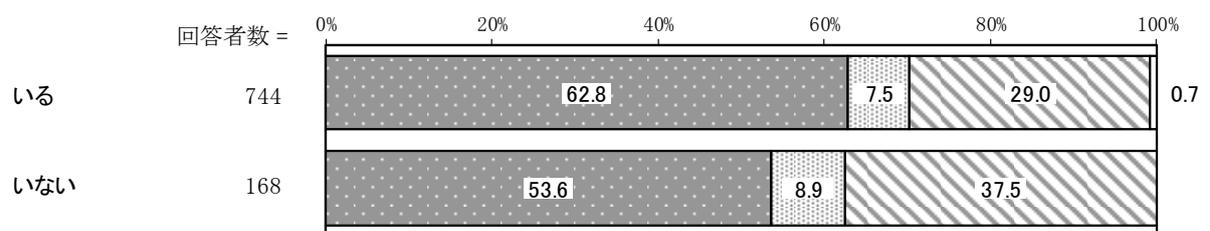
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「愛着がある」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳代以上で約7割となっています。



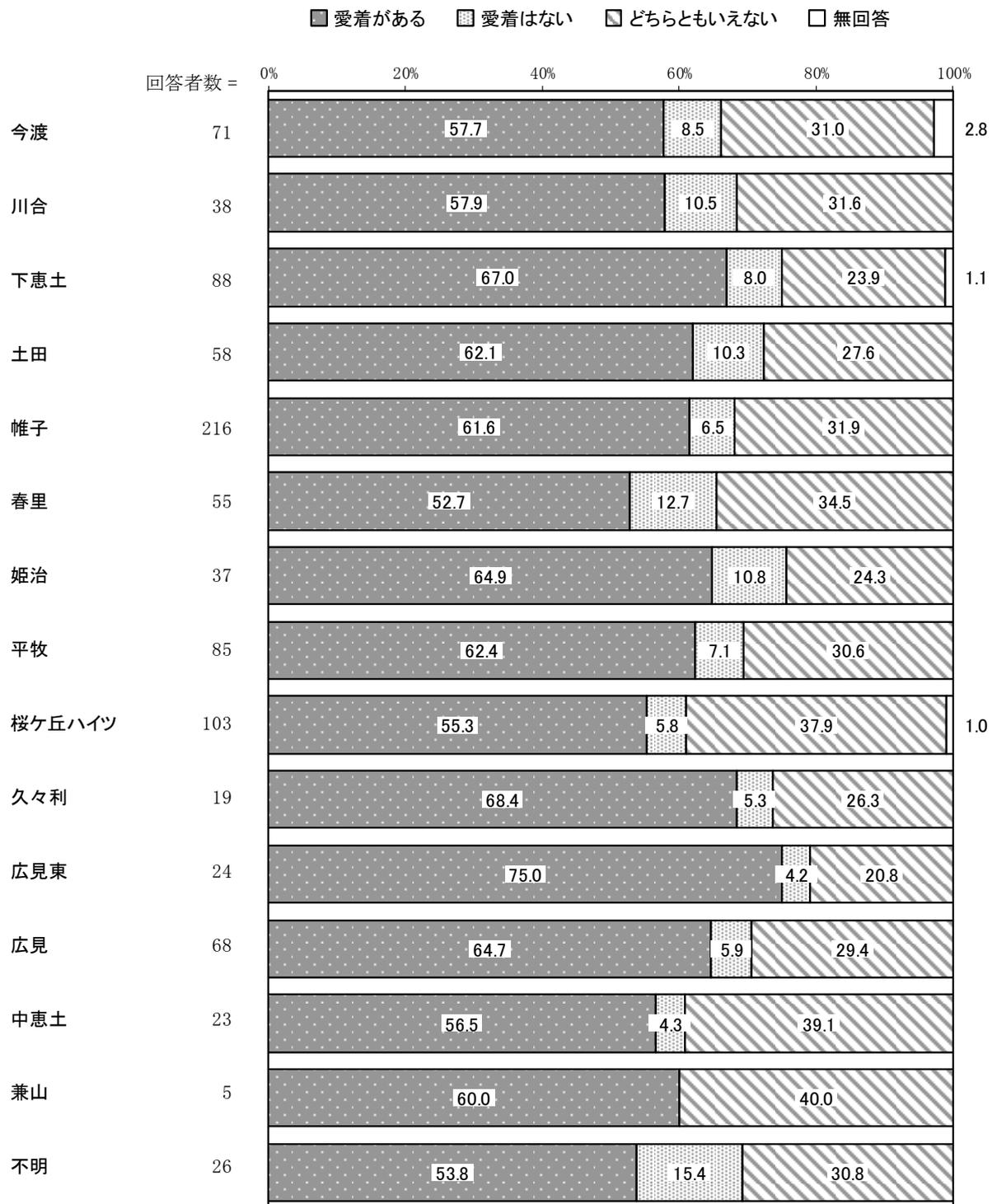
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「愛着がある」の割合が高く、6割を超えています。



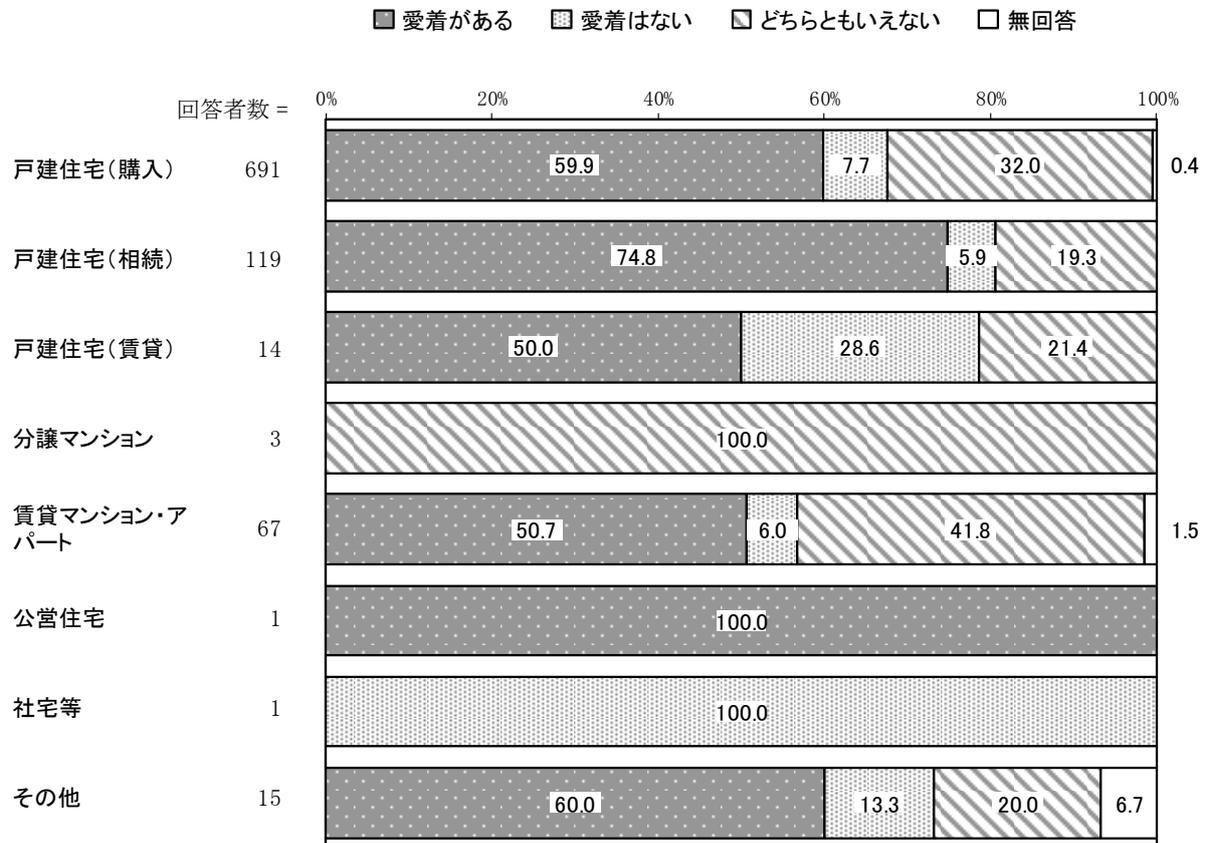
【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、広見東で「愛着がある」の割合が高く、7割台半ばとなっています。



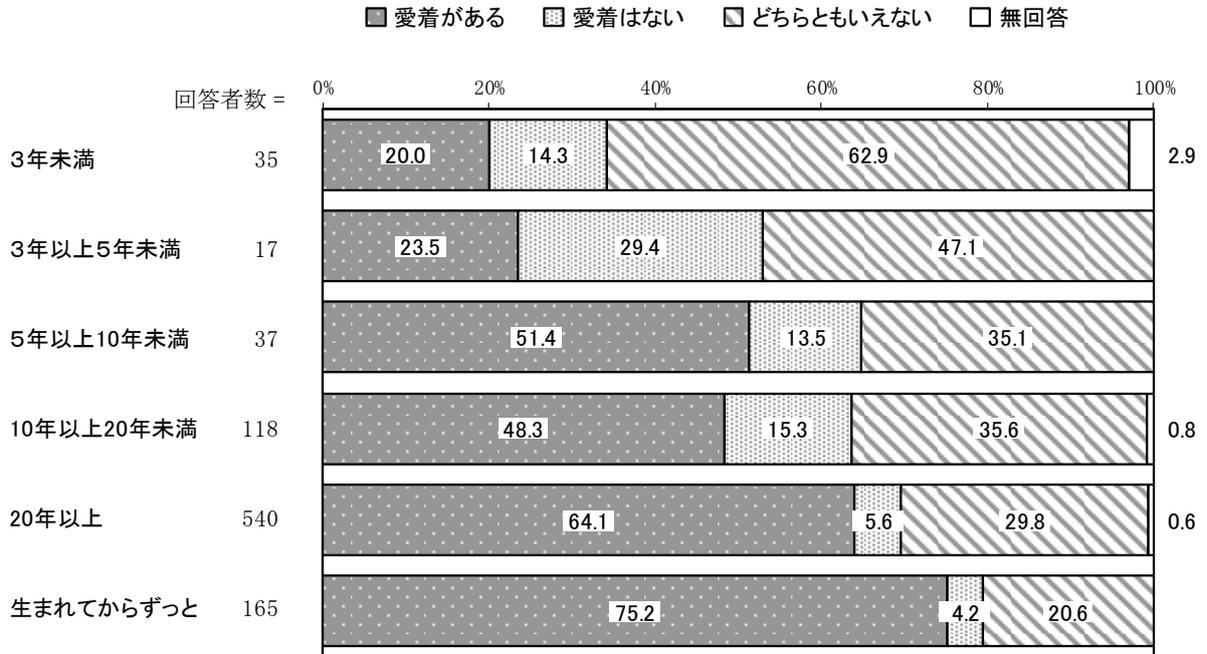
【住まいの形態別】

住まいの形態別で見ると、他に比べ、戸建住宅（相続）で「愛着がある」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、戸建住宅（賃貸）で「愛着はない」の割合が高く、3割近くとなっています。



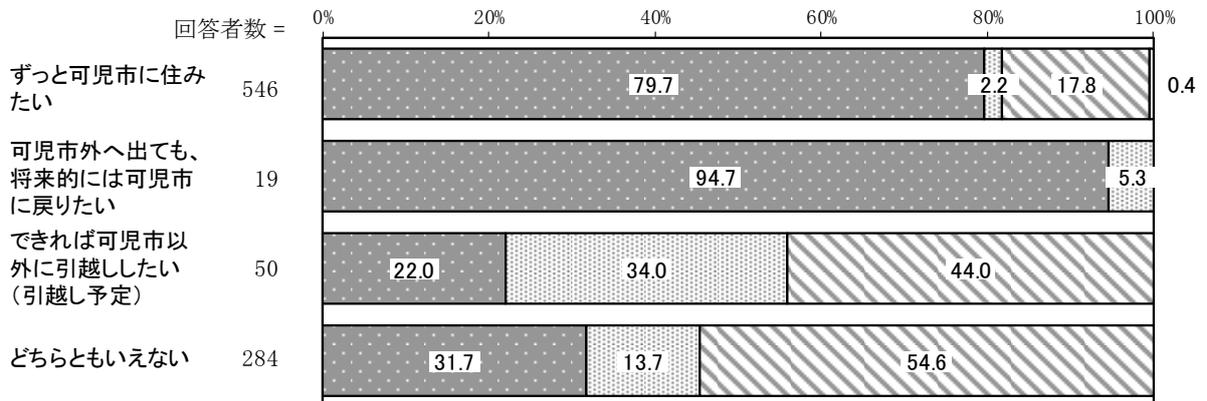
【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ「愛着がある」の割合が高くなる傾向がみられ、生まれてからずっとで7割台半ばとなっています。また、3年以上5年未満で「愛着はない」の割合が高く、約3割となっています。



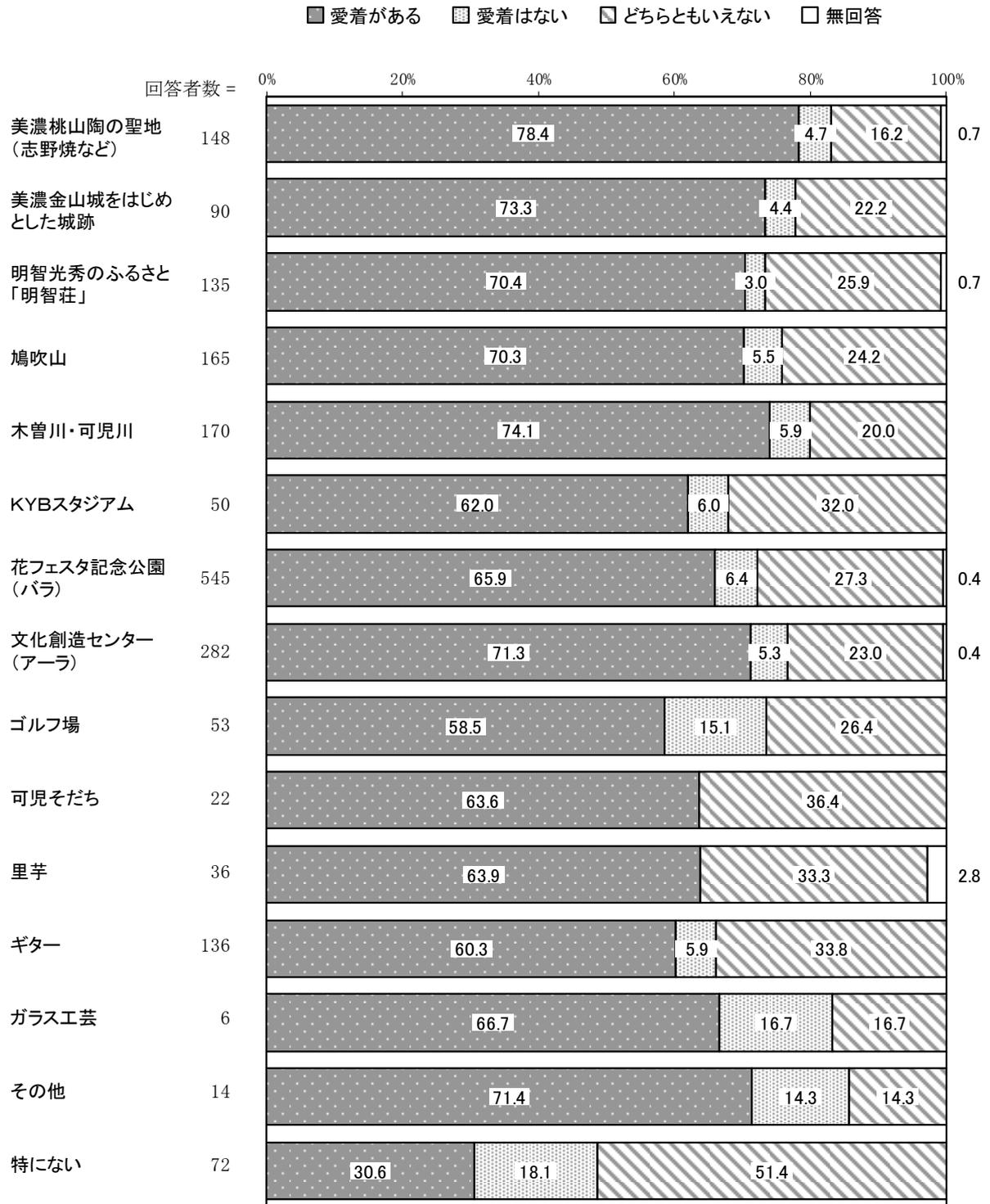
【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別でみると、他に比べ、可児市外へ出て、将来的には可児市に戻りたいで「愛着がある」の割合が高く、9割台半ばとなっています。また、できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）で「愛着はない」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



【自慢できる観光資源別】

自慢できる観光資源別でみると、他に比べ、美濃桃山陶の聖地（志野焼など）で「愛着がある」の割合が高く、8割近くとなっています。また、特にないで「愛着はない」の割合が高く、2割近くとなっています。

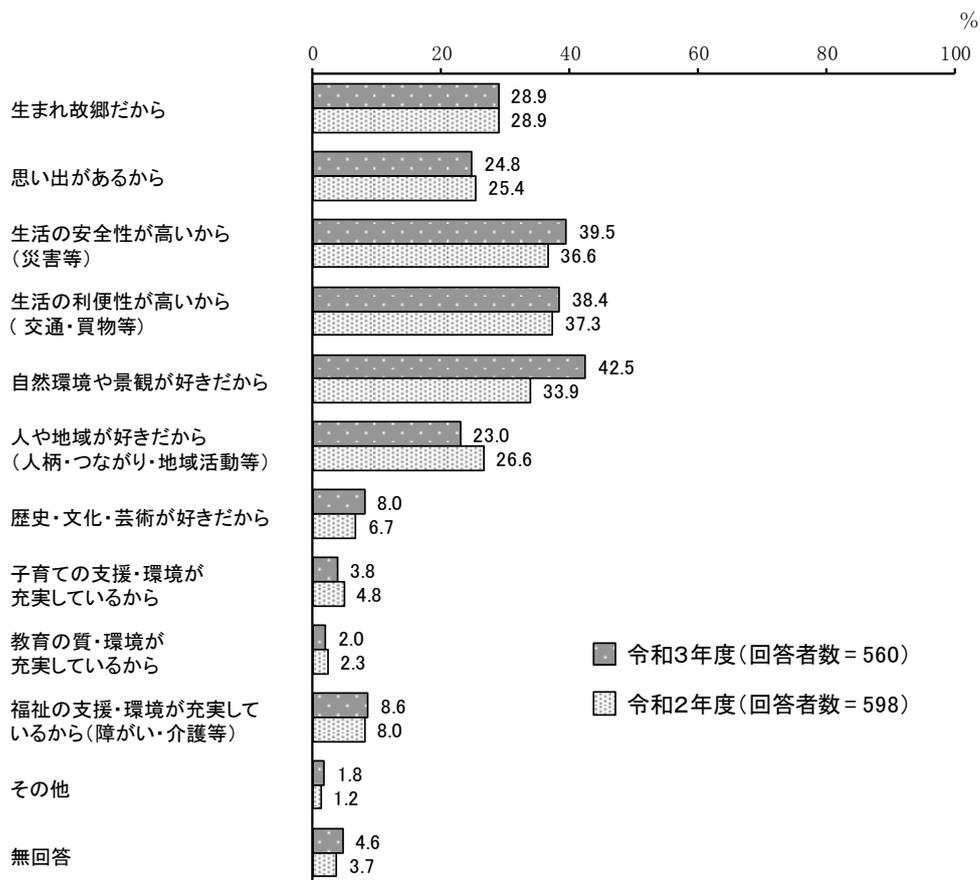


【問 15 で「愛着がある」を選択された方に伺います】

問 16 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

「自然環境や景観が好きだから」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「生活の安全性が高いから(災害等)」の割合が 39.5%、「生活の利便性が高いから(交通・買物等)」の割合が 38.4%となっています。

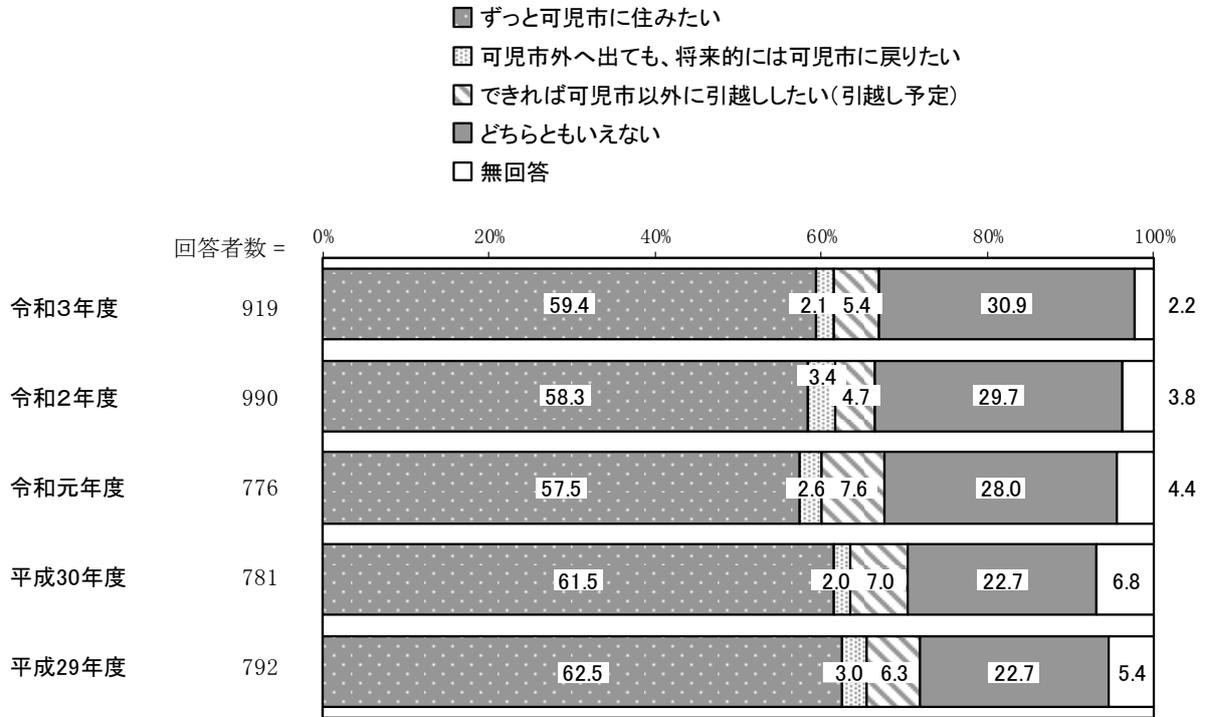
令和2年度調査と比較すると、「自然環境や景観が好きだから」の割合が増加し、「人や地域が好きだから(人柄・つながり・地域活動)」の割合が減少しています。



問 17 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

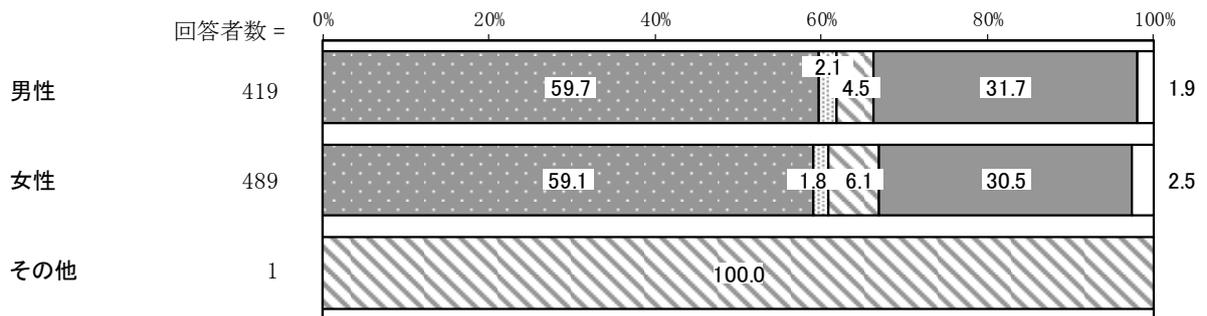
「ずっと可児市に住みたい」の割合が59.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が30.9%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



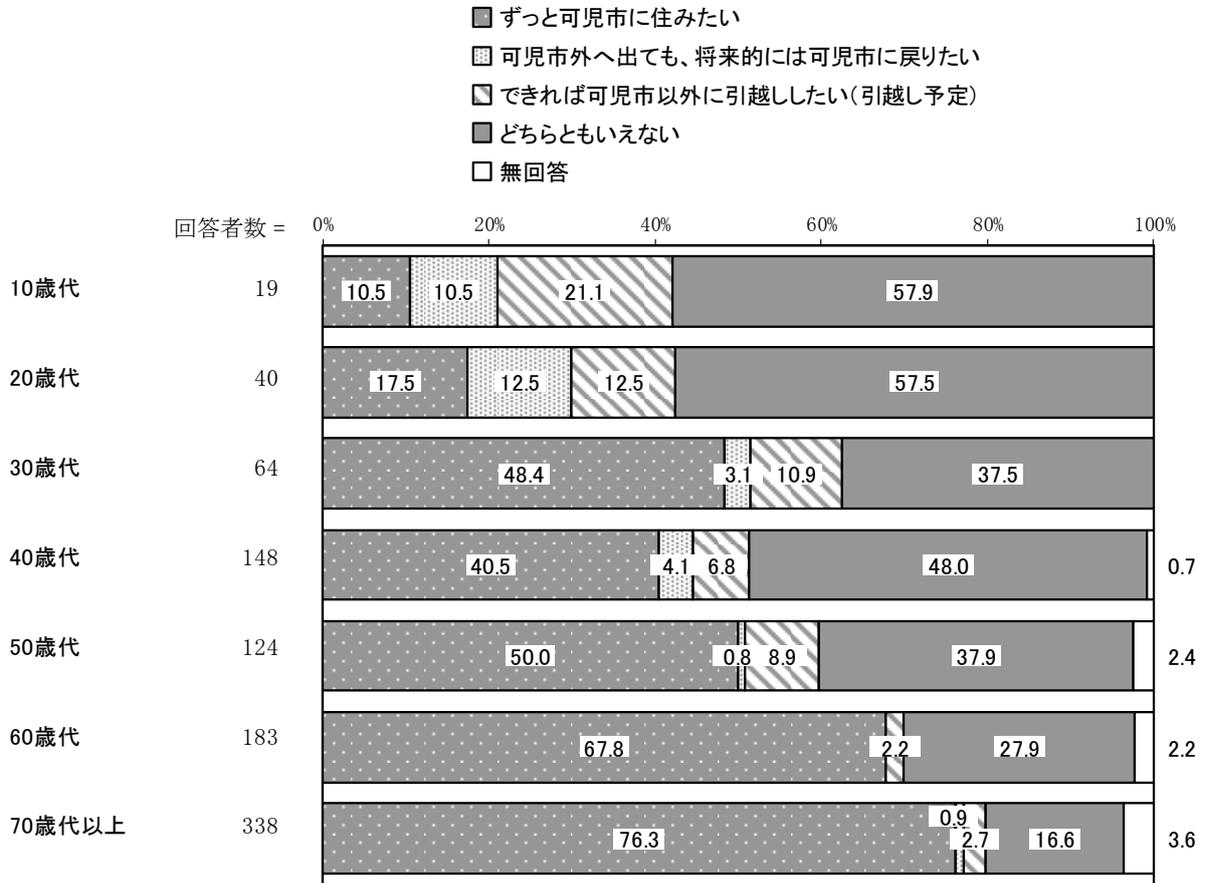
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



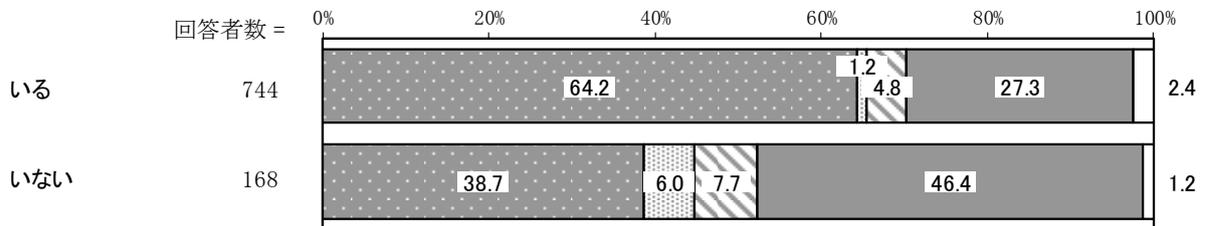
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「ずっと可児市に住みたい」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳代以上で7割台半ばとなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）」の割合が高くなっています。



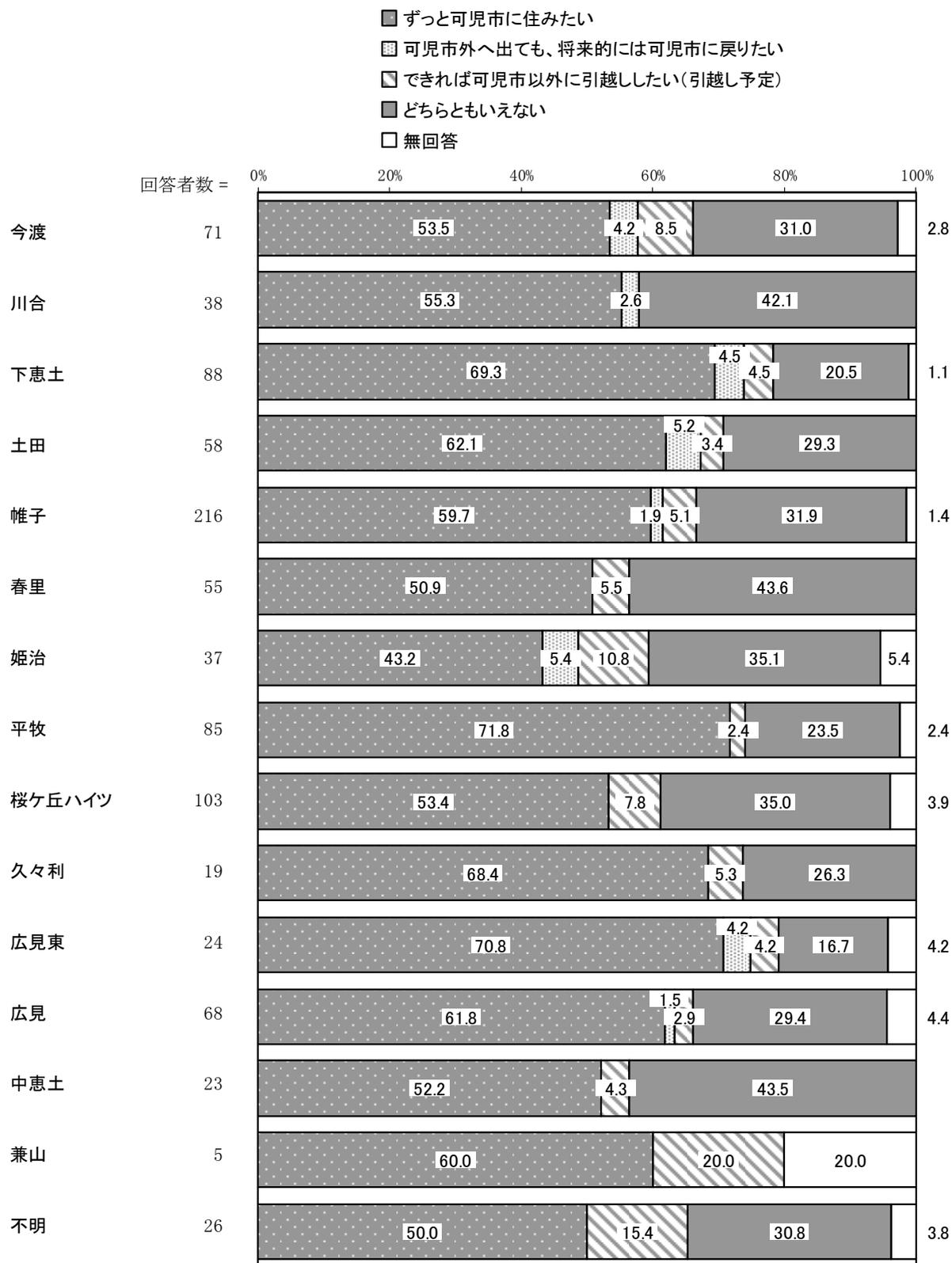
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、6割台半ばとなっています。



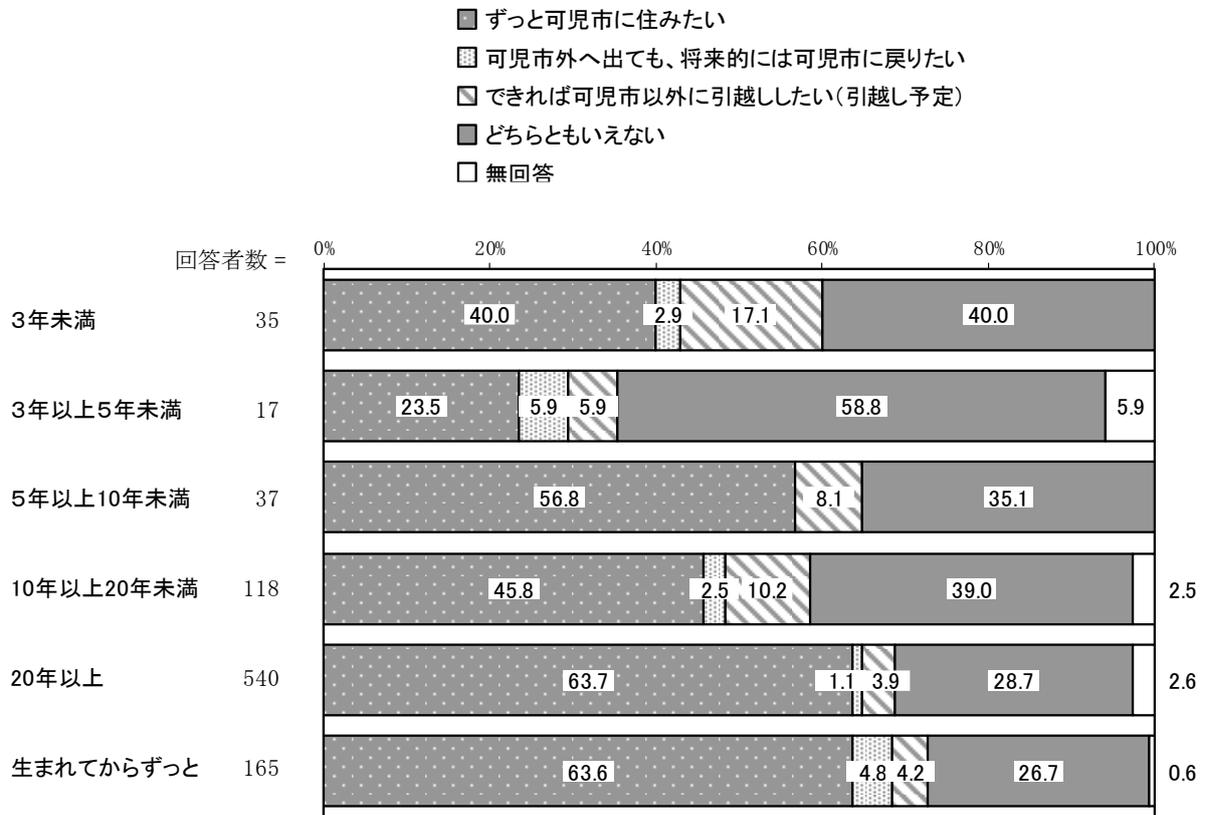
【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、平牧、広見東で「ずっと可見市に住みたい」の割合が高く、7割を超えています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、6割を超えています。また、3年未満で「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が高く、2割近くとなっています。

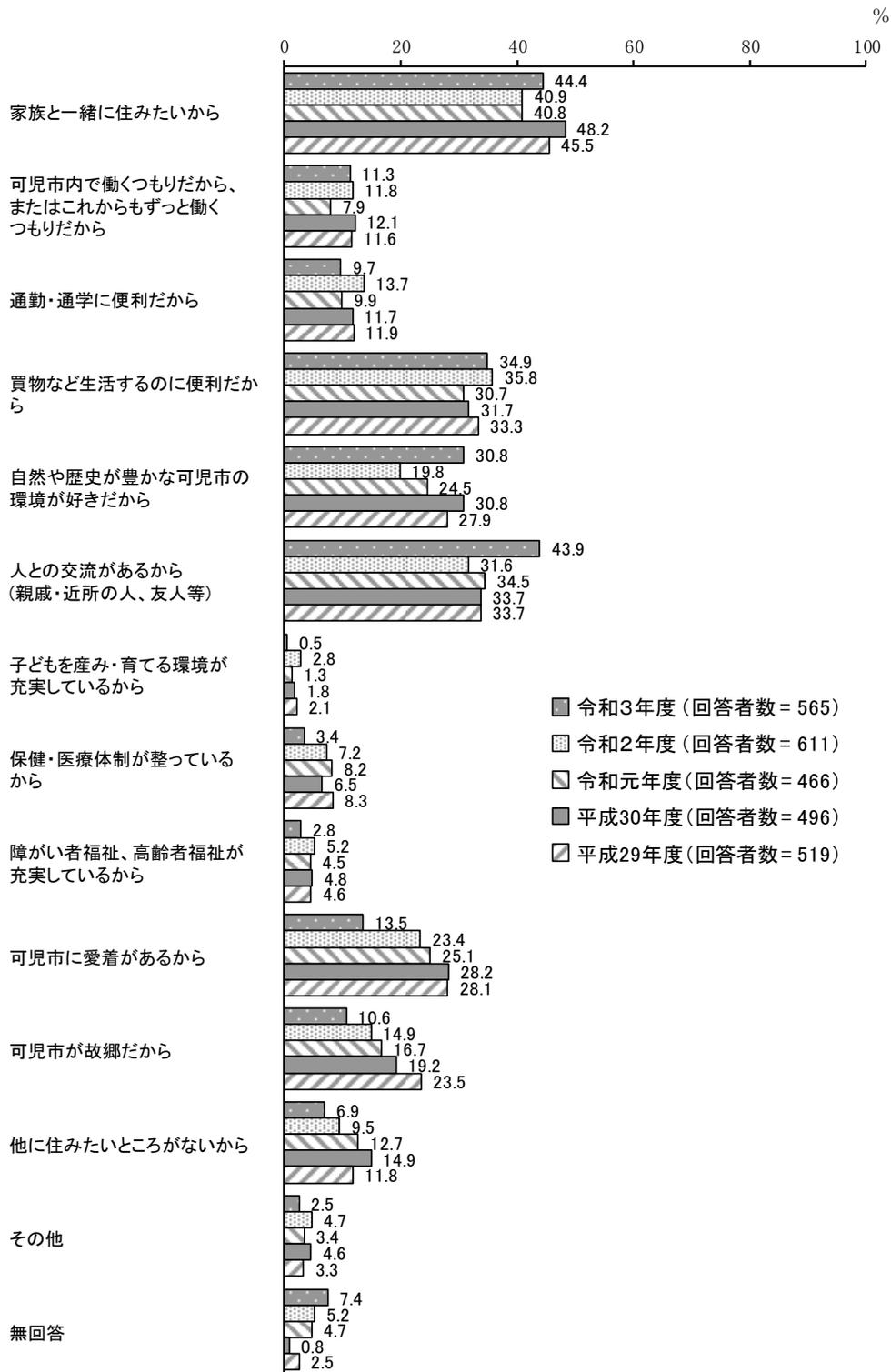


【問 17 で 1 または 2 (ずっと可児市に住みたい・可児市外へ出て、将来的には可児市に戻りたい) を選択された方に伺います】

問 18 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

「家族と一緒に住みたいから」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が 43.9%、「買い物など生活するのに便利だから」の割合が 34.9%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、「家族と一緒に住みたいから」「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が増加し、「可児市に愛着があるから」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が高く、5割近くとなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
男性	259	44.0	10.8	10.8	34.0	33.2	39.8	0.4	2.7	2.7	15.4	12.0	6.6	3.1	5.8	
女性	298	45.3	12.1	8.7	35.6	28.2	47.7	0.7	3.7	3.0	11.4	9.7	7.0	2.0	8.7	
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」の割合が高く、5割となっています。また、10歳代、20歳代、70歳代以上で「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
10歳代	4	25.0	50.0	—	25.0	25.0	50.0	—	—	25.0	—	25.0	—	—	—	
20歳代	12	50.0	16.7	—	33.3	25.0	50.0	—	—	—	41.7	—	8.3	—	8.3	
30歳代	33	48.5	15.2	33.3	27.3	6.1	33.3	3.0	—	—	12.1	12.1	6.1	6.1	12.1	
40歳代	66	48.5	24.2	30.3	27.3	22.7	34.8	—	3.0	3.0	6.1	7.6	6.1	3.0	7.6	
50歳代	63	39.7	27.0	14.3	39.7	27.0	25.4	1.6	1.6	1.6	11.1	4.8	3.2	4.8	7.9	
60歳代	124	51.6	12.1	4.8	31.5	31.5	45.2	—	2.4	1.6	16.9	16.9	7.3	0.8	4.0	
70歳代以上	261	40.2	2.3	3.4	37.9	36.8	51.3	0.4	5.0	3.8	13.4	10.0	8.0	2.3	8.4	

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「家族と一緒に住みたいから」「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「通勤・通学に便利だから」「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内でも働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから 自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等) 人との交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
いる	487	45.8	10.5	8.6	34.5	32.0	45.4	0.6	3.5	3.1	12.9	10.5	7.4	2.3	8.0
いない	75	34.7	16.0	17.3	37.3	22.7	36.0	—	2.7	1.3	17.3	12.0	4.0	4.0	4.0

【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、春里で「人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）」の割合が高く、6割近くとなっています。また、土田で「可児市が故郷だから」の割合が高く、約3割となっています。

単位：%

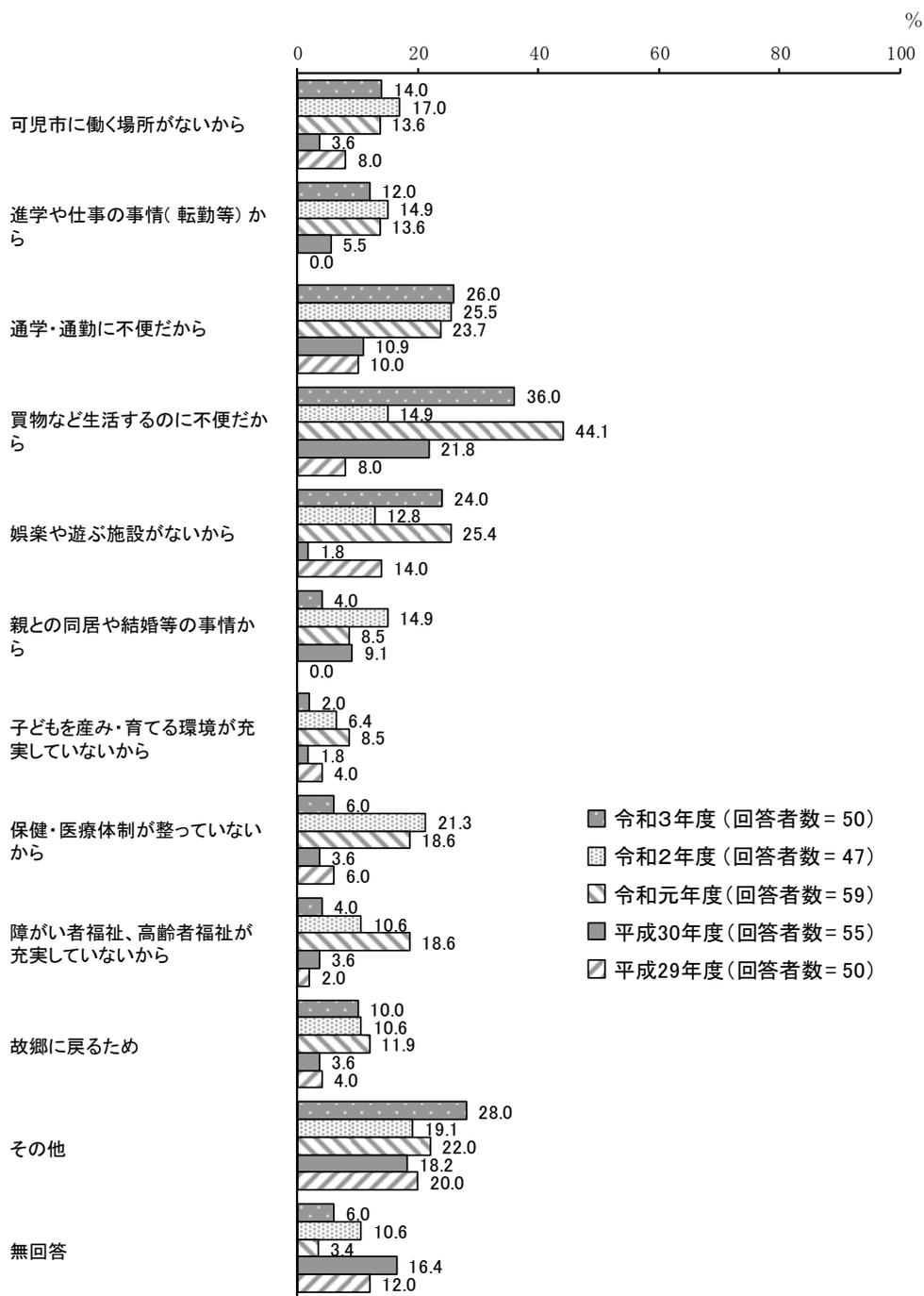
区分	有効回答数（件）	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから 自然や歴史が豊かな可児市の環境が	人との交流があるから （親戚・近所の人、友人等）	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
今渡	41	34.1	7.3	12.2	48.8	19.5	46.3	—	—	2.4	4.9	14.6	4.9	—	14.6
川合	22	22.7	9.1	18.2	36.4	22.7	54.5	—	9.1	9.1	18.2	18.2	9.1	9.1	4.5
下恵土	65	46.2	15.4	12.3	47.7	18.5	40.0	1.5	3.1	4.6	10.8	10.8	1.5	3.1	10.8
土田	39	51.3	23.1	7.7	28.2	23.1	43.6	—	7.7	—	12.8	30.8	7.7	2.6	5.1
帷子	133	42.1	5.3	9.8	34.6	44.4	44.4	0.8	1.5	3.8	19.5	4.5	9.0	3.8	6.0
春里	28	53.6	17.9	14.3	28.6	17.9	57.1	—	—	7.1	—	21.4	—	3.6	3.6
姫治	18	38.9	27.8	16.7	27.8	22.2	38.9	—	—	—	33.3	11.1	11.1	5.6	11.1
平牧	61	45.9	11.5	6.6	34.4	32.8	49.2	—	6.6	3.3	11.5	8.2	4.9	—	4.9
桜ヶ丘ハイツ	55	38.2	5.5	10.9	21.8	47.3	34.5	—	5.5	1.8	7.3	1.8	12.7	1.8	7.3
久々利	13	38.5	7.7	—	—	46.2	53.8	—	—	—	—	15.4	7.7	—	15.4
広見東	18	61.1	5.6	5.6	44.4	44.4	38.9	—	5.6	—	5.6	16.7	5.6	—	5.6
広見	43	58.1	18.6	4.7	39.5	16.3	51.2	—	4.7	—	14.0	9.3	7.0	2.3	4.7
中恵土	12	50.0	16.7	—	50.0	8.3	33.3	—	—	—	25.0	—	8.3	—	—
兼山	3	100.0	—	—	—	33.3	66.7	—	—	—	33.3	66.7	—	—	—
不明	13	30.8	7.7	15.4	30.8	23.1	7.7	7.7	—	—	30.8	—	7.7	—	23.1

【問17で3（できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)）を選択された方に伺います】

問19 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

「買い物など生活するのに不便だから」の割合が36.0%と最も高く、次いで「通勤・通学に不便だから」の割合が26.0%、「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が24.0%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「買い物など生活するのに不便だから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が増加し、「親との同居や結婚等の事情から」「保険・医療体制が整っていないから」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「可見市に働く場所がないから」「買物など生活するのに不便だから」「保健・医療体制が整っていないから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「進学や仕事の事情(転勤等)から」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	可見市に働く場所がないから	進学や仕事の事情(転勤等)から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
男性	19	26.3	5.3	31.6	47.4	26.3	5.3	5.3	10.5	5.3	—	31.6	—
女性	30	3.3	16.7	20.0	26.7	23.3	3.3	—	3.3	3.3	16.7	26.7	10.0
その他	1	100.0	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

年代別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

単位：％

区分	有効回答数(件)	可見市に働く場所がないから	進学や仕事の事情(転勤等)から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
10歳代	4	25.0	25.0	50.0	25.0	75.0	—	—	—	—	—	—	—
20歳代	5	40.0	20.0	20.0	—	20.0	20.0	—	—	—	20.0	—	—
30歳代	7	—	28.6	28.6	42.9	14.3	—	14.3	—	—	14.3	28.6	—
40歳代	10	20.0	10.0	40.0	30.0	60.0	—	—	—	—	10.0	40.0	20.0
50歳代	11	9.1	9.1	9.1	54.5	—	—	—	—	9.1	18.2	45.5	—
60歳代	4	25.0	—	50.0	25.0	25.0	25.0	—	25.0	25.0	—	—	—
70歳代以上	9	—	—	11.1	44.4	—	—	—	22.2	—	—	33.3	11.1

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「買物など生活するのに不便だから」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市に働く場所がないから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	可児市に働く場所がないから	進学や仕事の事情(転勤等)から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
いる	36	11.1	11.1	30.6	41.7	16.7	2.8	2.8	8.3	2.8	11.1	33.3	5.6
いない	13	23.1	15.4	15.4	23.1	46.2	7.7	—	—	7.7	7.7	7.7	7.7

【居住地区別】

居住地区別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

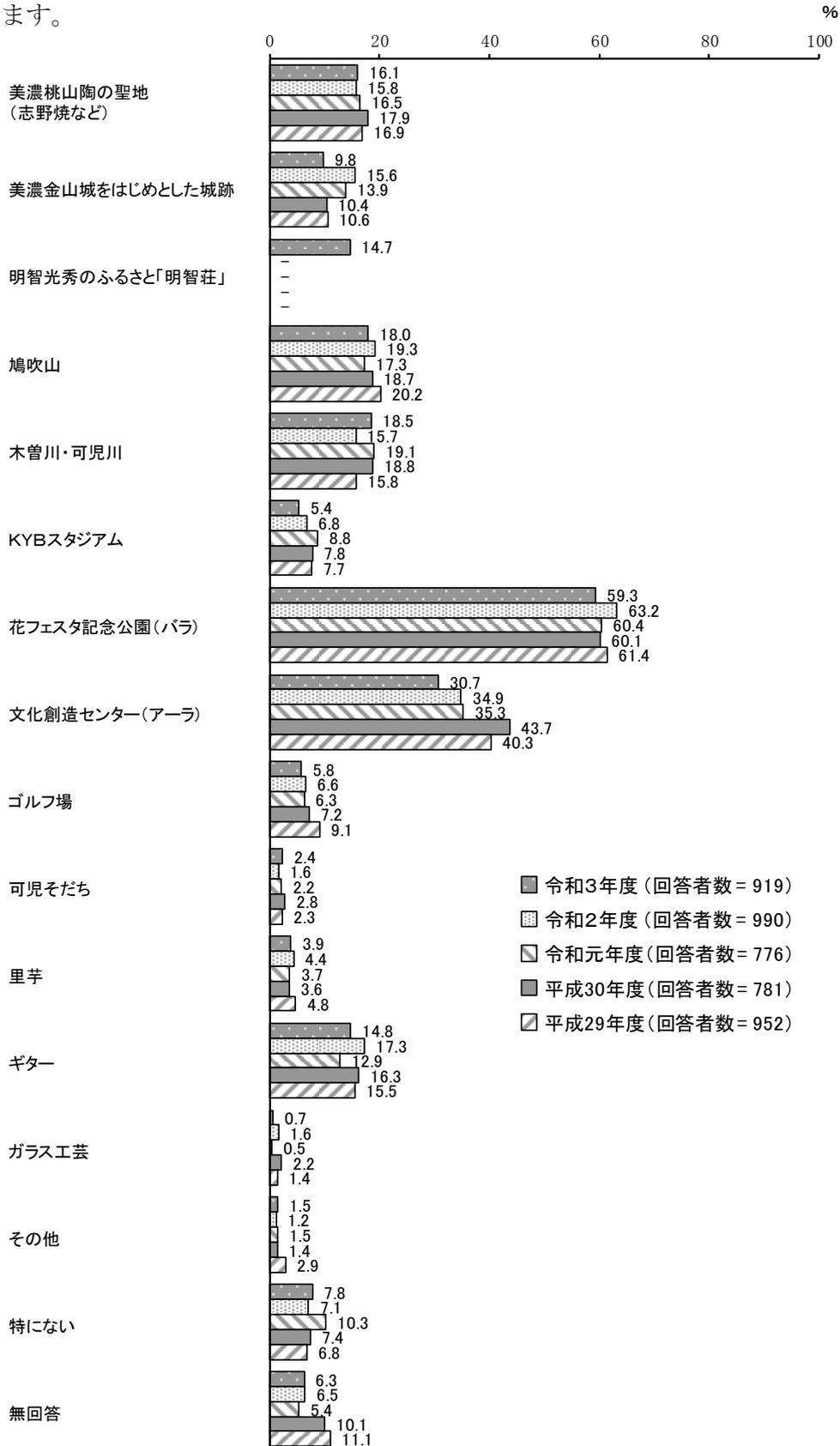
単位：％

区分	有効回答数(件)	可児市に働く場所がないから	進学や仕事の事情(転勤等)から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
今渡	6	16.7	16.7	16.7	—	33.3	—	—	—	—	16.7	50.0	—
川合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
下恵土	4	25.0	—	25.0	25.0	50.0	25.0	—	—	—	—	25.0	—
土田	2	—	50.0	—	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—	—
帷子	11	—	18.2	27.3	45.5	27.3	9.1	—	18.2	9.1	9.1	9.1	—
春里	3	33.3	—	66.7	66.7	—	—	—	—	—	—	33.3	—
姫治	4	50.0	—	50.0	75.0	25.0	—	—	—	—	—	25.0	—
平牧	2	50.0	—	50.0	50.0	—	—	—	50.0	50.0	—	—	—
桜ヶ丘ハイツ	8	—	25.0	12.5	25.0	25.0	—	—	—	—	—	37.5	—
久々利	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
広見東	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
広見	2	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—	50.0	50.0	50.0
中恵土	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
兼山	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
不明	4	25.0	—	50.0	50.0	50.0	—	—	—	—	25.0	50.0	—

問 20 可児市の自慢できる地域資源（観光施設・特産品など）はどれだと思いますか。
（〇は3つまで）

「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が59.3%と最も高く、次いで「文化創造センター（ア－ラ）」の割合が30.7%、「鳩吹山」の割合が18.0%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、「文化創造センター（ア－ラ）」の割合が減少する傾向がみられます。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「木曾川・可児川」「ゴルフ場」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと「明智荘」	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園（バラ）	文化創造センター（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
男性	419	16.2	10.0	15.0	15.8	21.7	6.7	53.5	27.0	8.6	2.6	2.9	13.4	0.7	2.1	9.8	5.7
女性	489	15.7	9.4	14.3	19.8	15.7	4.5	63.8	33.7	3.3	2.2	4.9	16.2	0.6	1.0	6.3	7.0
その他	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高く、7割近くとなっています。また、20歳代で「文化創造センター（アーラ）」の割合が高く、4割近くとなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと「明智荘」	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園（バラ）	文化創造センター（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
10歳代	19	5.3	—	21.1	15.8	15.8	5.3	68.4	31.6	—	—	5.3	15.8	—	—	10.5	—
20歳代	40	7.5	10.0	17.5	12.5	12.5	7.5	65.0	37.5	7.5	2.5	5.0	22.5	2.5	2.5	5.0	—
30歳代	64	4.7	1.6	10.9	10.9	9.4	7.8	62.5	25.0	1.6	1.6	—	18.8	1.6	3.1	12.5	4.7
40歳代	148	10.8	6.8	20.3	16.9	13.5	12.2	54.7	30.4	8.1	1.4	3.4	25.7	0.7	1.4	6.1	5.4
50歳代	124	7.3	6.5	15.3	14.5	16.9	4.0	58.1	26.6	6.5	2.4	4.0	22.6	—	1.6	9.7	7.3
60歳代	183	20.8	12.6	11.5	20.8	20.2	3.3	57.9	23.5	6.6	3.8	4.4	10.9	1.1	1.6	7.1	7.1
70歳代以上	338	23.1	13.0	13.6	20.1	22.2	3.6	60.7	36.4	5.0	2.4	4.4	7.7	0.3	1.2	7.7	7.4

【居住地区別】

居住地区別で見ると、他の地区に比べ、兼山で「美濃金山城をはじめとした城跡」の割合が高く、8割となっています。また、広見で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が、今渡、姫治で「文化創造センター（アーラ）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと「明智荘」	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園（バラ）	文化創造センター（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
今渡	71	8.5	7.0	12.7	21.1	31.0	4.2	43.7	40.8	5.6	—	7.0	12.7	—	1.4	11.3	8.5
川合	38	15.8	5.3	13.2	15.8	23.7	7.9	55.3	15.8	13.2	—	7.9	13.2	—	2.6	10.5	5.3
下恵土	88	12.5	14.8	13.6	10.2	23.9	4.5	61.4	39.8	9.1	3.4	4.5	10.2	—	—	5.7	4.5
土田	58	6.9	5.2	13.8	29.3	29.3	3.4	44.8	20.7	3.4	6.9	5.2	13.8	1.7	—	13.8	5.2
帷子	216	16.2	10.6	12.5	31.0	18.5	5.1	61.6	34.3	3.7	1.4	3.7	19.9	1.4	1.9	5.6	6.5
春里	55	12.7	9.1	16.4	29.1	18.2	10.9	47.3	20.0	5.5	9.1	1.8	9.1	1.8	1.8	10.9	7.3
姫治	37	10.8	5.4	16.2	18.9	16.2	13.5	67.6	40.5	8.1	—	—	18.9	2.7	—	5.4	—
平牧	85	18.8	9.4	21.2	7.1	10.6	4.7	60.0	29.4	5.9	2.4	5.9	10.6	—	—	9.4	8.2
桜ヶ丘ハイツ	103	23.3	11.7	10.7	9.7	10.7	3.9	68.0	26.2	4.9	—	3.9	13.6	—	1.9	4.9	8.7
久々利	19	36.8	26.3	5.3	5.3	—	—	63.2	36.8	21.1	10.5	—	10.5	—	15.8	5.3	5.3
広見東	24	16.7	12.5	37.5	12.5	16.7	4.2	70.8	20.8	—	—	—	16.7	—	—	8.3	—
広見	68	25.0	4.4	16.2	4.4	17.6	4.4	73.5	33.8	5.9	2.9	1.5	14.7	—	2.9	7.4	4.4
中恵土	23	17.4	4.3	8.7	4.3	8.7	13.0	43.5	21.7	4.3	4.3	4.3	13.0	—	—	13.0	13.0
兼山	5	20.0	80.0	60.0	—	20.0	—	40.0	20.0	—	—	—	20.0	—	—	—	—
不明	26	7.7	3.8	15.4	15.4	23.1	3.8	61.5	26.9	3.8	—	3.8	23.1	—	—	7.7	3.8

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高く、6割を超えています。また、「文化創造センター（アーラ）」の割合が高く、4割を超えています。

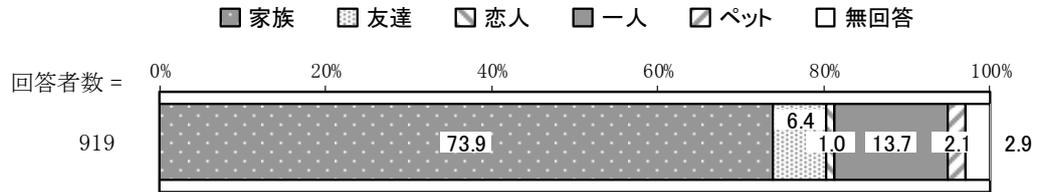
単位：%

区分	有効回答数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと「明智荘」	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園 (バラ)	文化創造センター (アーラ)	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
3年未満	35	2.9	8.6	17.1	14.3	14.3	5.7	54.3	8.6	8.6	2.9	2.9	11.4	2.9	2.9	11.4	8.6
3年以上 5年未満	17	11.8	11.8	11.8	11.8	11.8	5.9	47.1	17.6	11.8	5.9	—	23.5	—	5.9	11.8	—
5年以上 10年未満	37	10.8	5.4	16.2	8.1	13.5	18.9	62.2	43.2	—	—	—	24.3	—	—	8.1	2.7
10年以上 20年未満	118	10.2	5.9	18.6	17.8	15.3	5.1	55.9	30.5	3.4	0.8	3.4	16.1	1.7	—	10.2	8.5
20年以上	540	18.9	11.1	14.3	18.7	19.8	4.1	61.5	32.2	6.1	2.6	4.3	13.5	0.4	1.3	7.2	7.0
生まれてか らずっと	165	15.8	9.1	12.7	19.4	19.4	7.3	56.4	27.9	6.1	2.4	4.2	15.8	0.6	3.0	7.3	3.6

(5) 余暇の過ごし方について

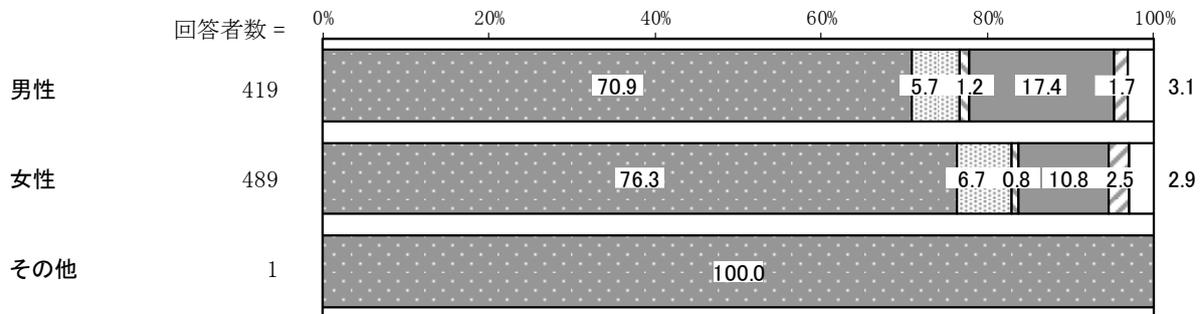
問 21 あなたは、休日（余暇）を誰と過ごすことが多いですか。（○は1つだけ）

「家族」の割合が73.9%と最も高く、次いで「一人」の割合が13.7%となっています。



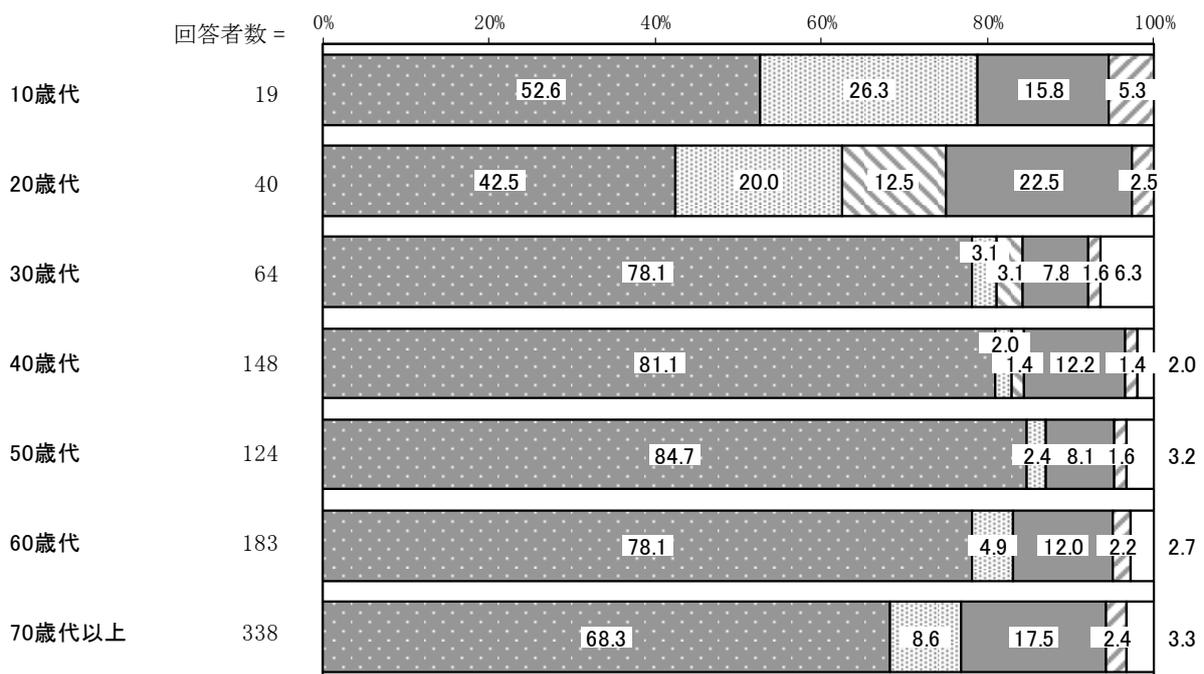
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「一人」の割合が高く、2割近くとなっています。また、男性に比べ、女性で「家族」の割合が高く、7割台半ばとなっています。



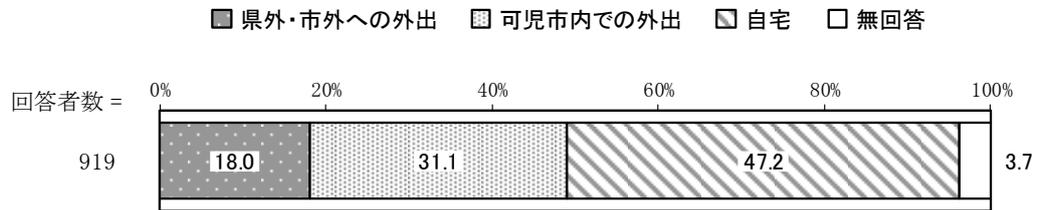
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代で「家族」の割合が高く、8割台半ばとなっています。また、20歳代で「一人」の割合が高く、2割を超えています。



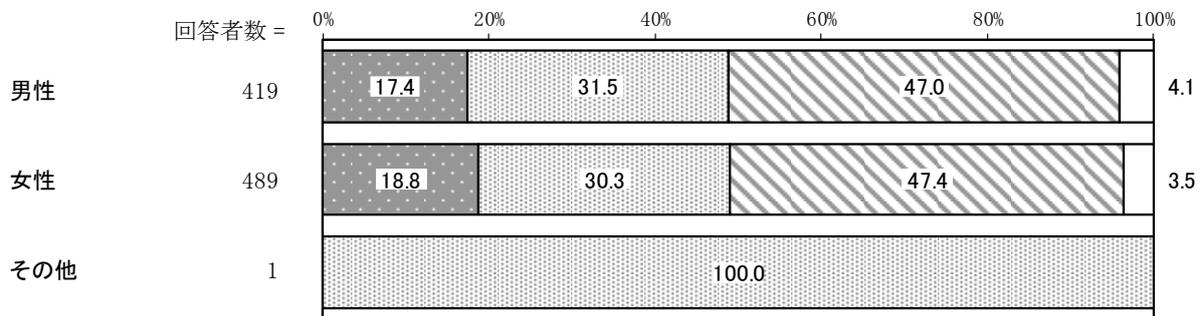
問 22 あなたは、休日（余暇）をどこで過ごすことが多いですか。（○は1つだけ）

「自宅」の割合が47.2%と最も高く、次いで「可児市内での外出」の割合が31.1%、「県外・市外への外出」の割合が18.0%となっています。



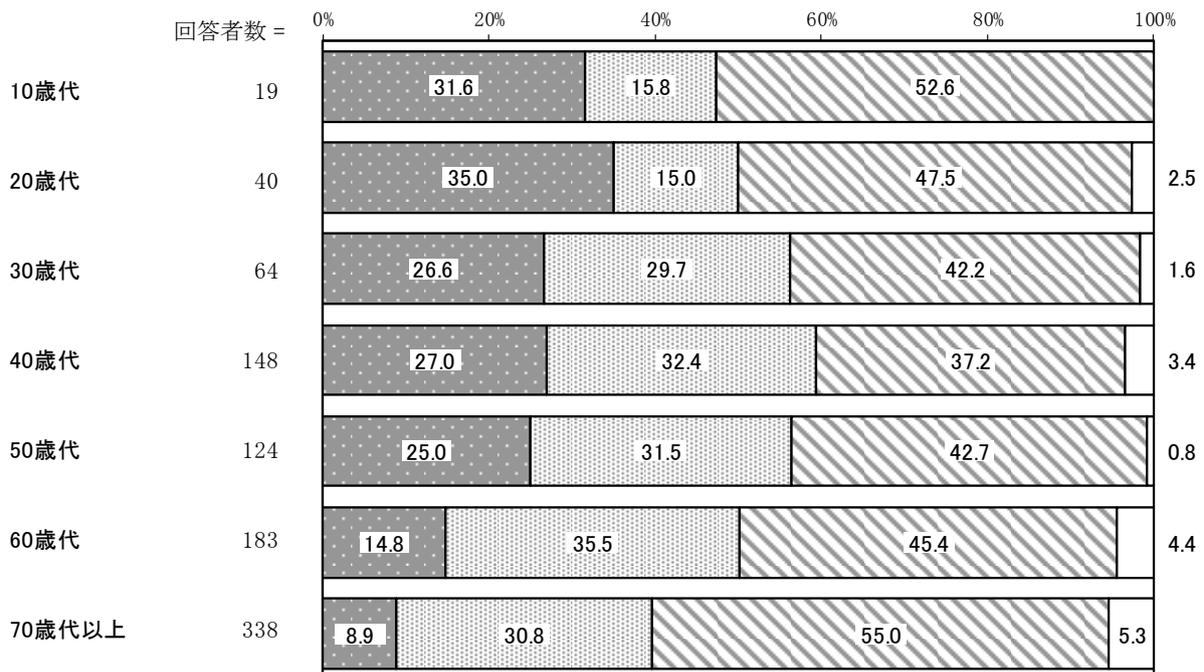
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



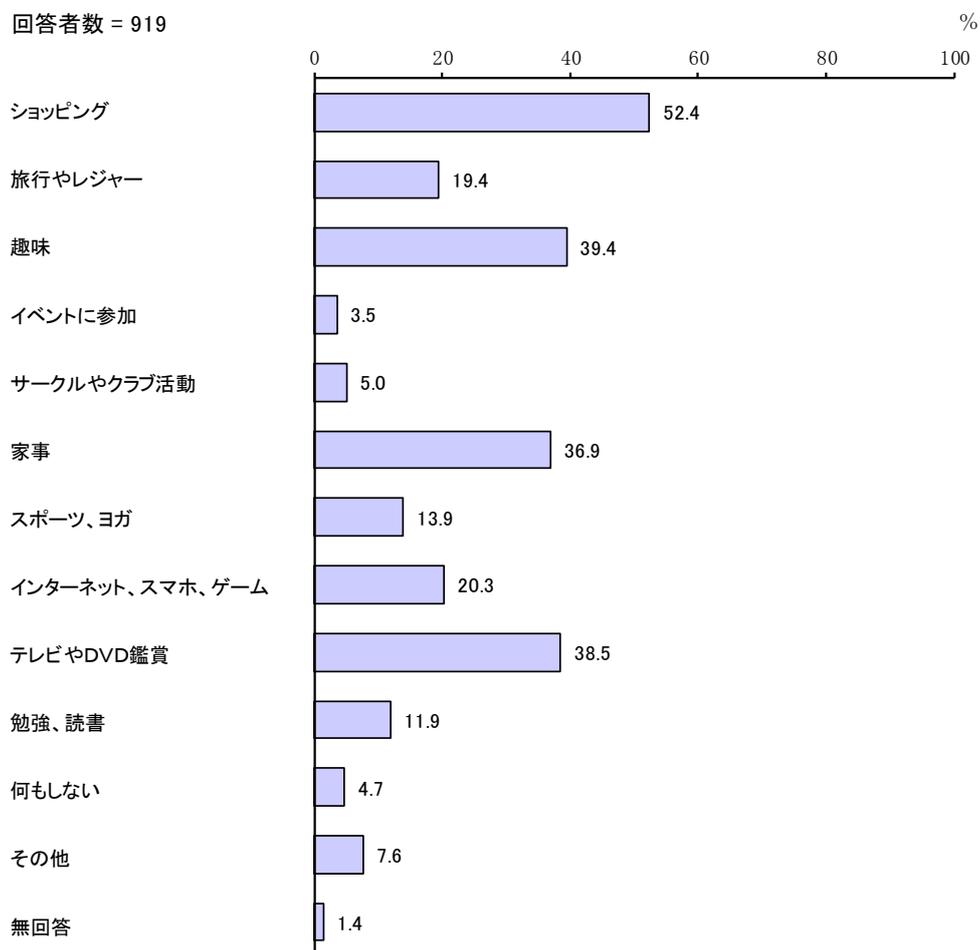
【年代別】

年代別でみると、10歳代、20歳代で「県外・市外への外出」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳代で3割台半ばとなっています。また、他の年代に比べ、10歳代、70歳以上で「自宅」の割合が高くなっています。



問 23 あなたは、休日（余暇）に何をして過ごしますか。（回答複数可）

「ショッピング」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「趣味」の割合が 39.4%、「テレビやDVD鑑賞」の割合が 38.5%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「インターネット、スマホ、ゲーム」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「ショッピング」「家事」「テレビやDVD鑑賞」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	ショッピング	旅行やレジャー	趣味	イベントに参加	サークルやクラブ活動	家事	スポーツ、ヨガ	インターネット、スマホ、ゲーム	テレビやDVD鑑賞	勉強、読書	何もしない	その他	無回答
男性	419	44.2	19.1	41.8	2.6	5.7	17.9	18.4	23.2	34.8	13.4	5.5	8.8	2.1
女性	489	59.5	19.6	37.2	4.3	4.5	53.2	10.0	18.2	41.3	10.6	3.9	6.5	0.8
その他	1	100.0	100.0	—	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—

【年代別】

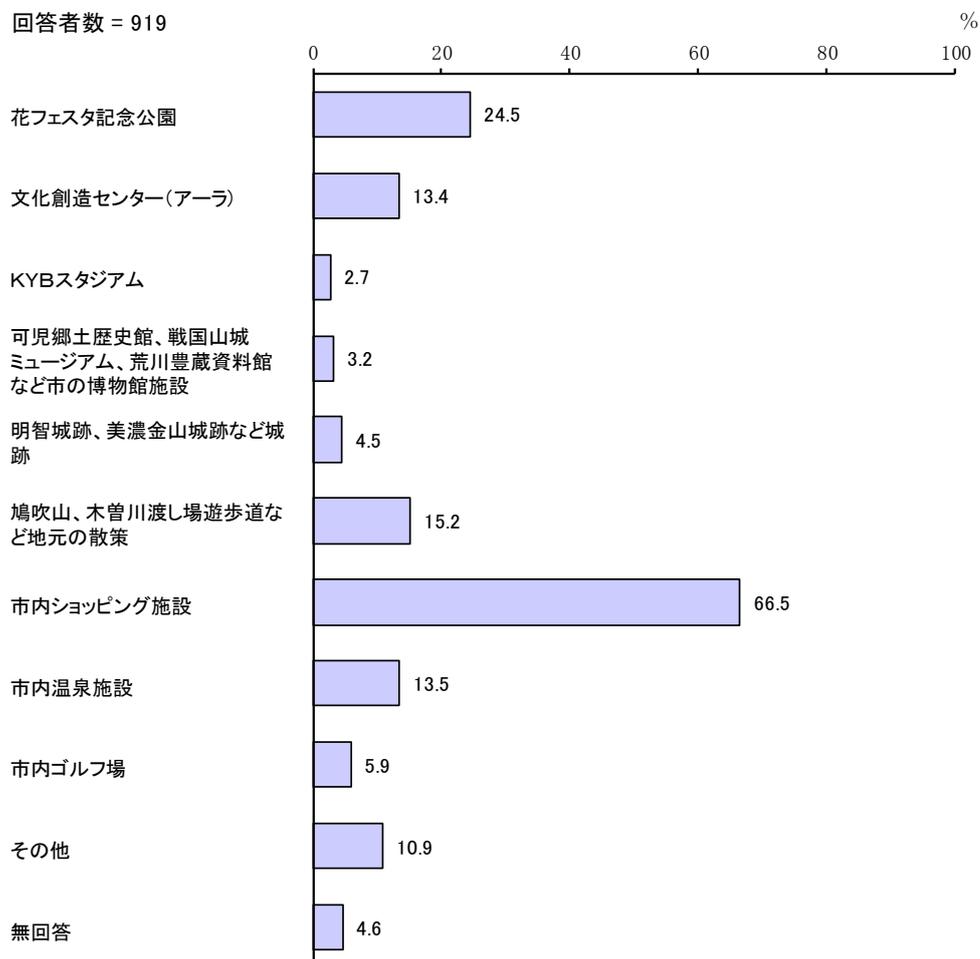
年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代以上で「ショッピング」の割合が高く、約7割となっています。また、30歳代で「家事」の割合が、20歳代で「インターネット、スマホ、ゲーム」の割合が、70歳代以上で「テレビやDVD鑑賞」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	ショッピング	旅行やレジャー	趣味	イベントに参加	サークルやクラブ活動	家事	スポーツ、ヨガ	インターネット、スマホ、ゲーム	テレビやDVD鑑賞	勉強、読書	何もしない	その他	無回答
10歳代	19	47.4	5.3	36.8	—	15.8	5.3	10.5	47.4	10.5	42.1	—	15.8	5.3
20歳代	40	57.5	30.0	42.5	10.0	—	10.0	2.5	57.5	42.5	15.0	5.0	10.0	—
30歳代	64	54.7	31.3	31.3	6.3	4.7	57.8	9.4	26.6	34.4	6.3	7.8	10.9	—
40歳代	148	57.4	20.3	33.8	4.7	2.0	42.6	17.6	39.2	38.5	9.5	3.4	6.1	—
50歳代	124	71.0	22.6	33.9	1.6	1.6	48.4	12.9	22.6	37.9	8.9	4.0	5.6	—
60歳代	183	60.7	20.2	44.3	2.2	6.0	37.2	16.9	16.9	33.3	13.1	3.8	6.0	—
70歳代以上	338	37.9	14.5	42.9	3.3	7.1	30.8	13.6	5.9	43.5	11.8	5.6	8.6	3.6

問 24 あなたは、市内での外出の場合どこに行きますか。(回答複数可)

「市内ショッピング施設」の割合が66.5%と最も高く、次いで「花フェスタ記念公園」の割合が24.5%、「鳩吹山、木曽川渡し場遊歩道など地元の散策」の割合が15.2%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「市内ゴルフ場」の割合が高く、約1割となっています。また、男性に比べ、女性で「市内ショッピング施設」の割合が高く、約7割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	花フェスタ記念公園	文化創造センター(アーラ)	KYBスタジアム	可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、荒川豊蔵資料館など市の博物館施設	明智城跡、美濃金山城跡など城跡	鳩吹山、木曾川渡し場遊歩道など地元の散策	市内ショッピング施設	市内温泉施設	市内ゴルフ場	その他	無回答
男性	419	23.9	13.4	3.3	4.1	5.5	15.0	61.3	15.0	10.5	13.6	4.5
女性	489	24.7	13.1	2.2	2.5	3.7	15.3	70.8	12.5	2.0	8.8	4.5
その他	1	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、60歳代で「市内ショッピング施設」の割合が高く、8割近くとなっています。また、70歳代以上で「花フェスタ記念公園」「文化創造センターアール」の割合が高くなっています。

単位：％

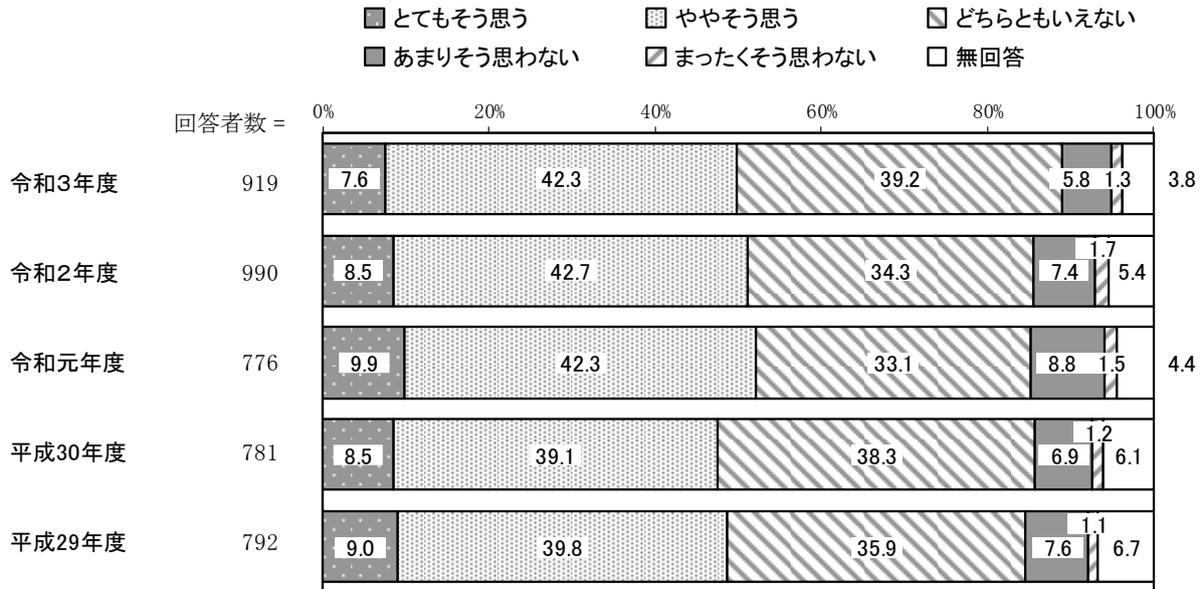
区分	有効回答数(件)	花フェスタ記念公園	文化創造センター(アール)	KYBスタジアム	可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、荒川豊蔵資料館など市の博物館施設	明智城跡、美濃金山城跡など城跡	鳩吹山、木曾川渡し場遊歩道など地元の散策	市内ショッピング施設	市内温泉施設	市内ゴルフ場	その他	無回答
10歳代	19	15.8	5.3	5.3	—	—	—	31.6	21.1	—	31.6	5.3
20歳代	40	25.0	10.0	5.0	—	2.5	10.0	42.5	17.5	7.5	7.5	7.5
30歳代	64	37.5	6.3	1.6	—	3.1	14.1	43.8	20.3	1.6	25.0	1.6
40歳代	148	17.6	4.1	5.4	2.0	2.0	13.5	62.8	8.8	2.0	14.2	5.4
50歳代	124	17.7	12.1	2.4	1.6	4.8	12.9	76.6	21.0	3.2	4.8	3.2
60歳代	183	23.5	8.7	0.5	4.4	5.5	18.0	78.7	11.5	8.7	7.7	2.7
70歳代以上	338	28.1	22.8	2.7	4.7	5.6	16.9	66.9	11.8	8.0	10.1	5.9

(6) 子育て環境について

問 25 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(〇は1つだけ)

「とてもそう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が49.9%、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が7.1%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



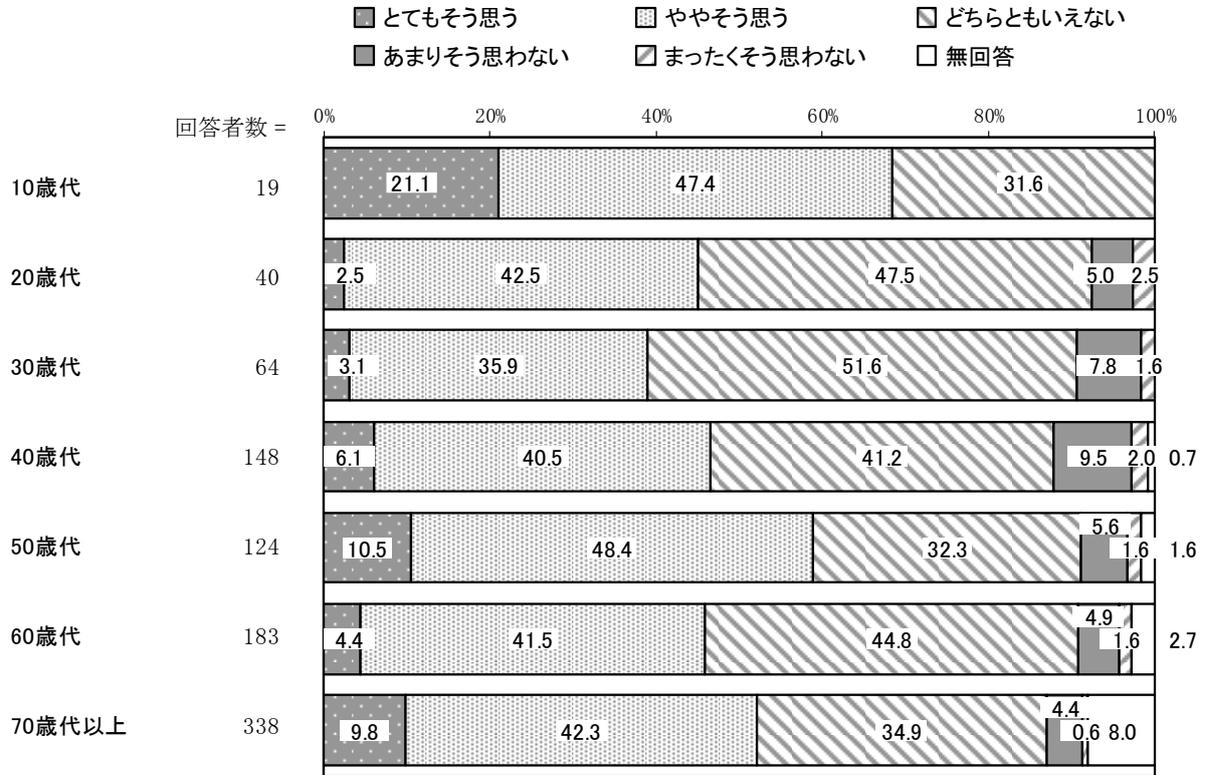
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



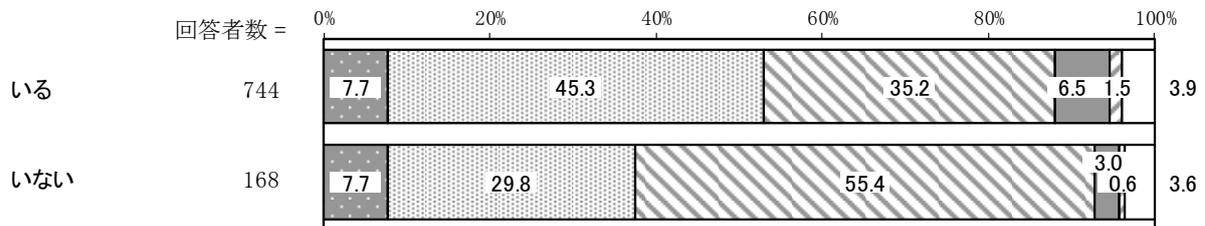
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“そう思う”の割合が高く、7割近くとなっています。また、40歳代で“そう思わない”の割合が高く、1割を超えています。



【子どもの有無別】

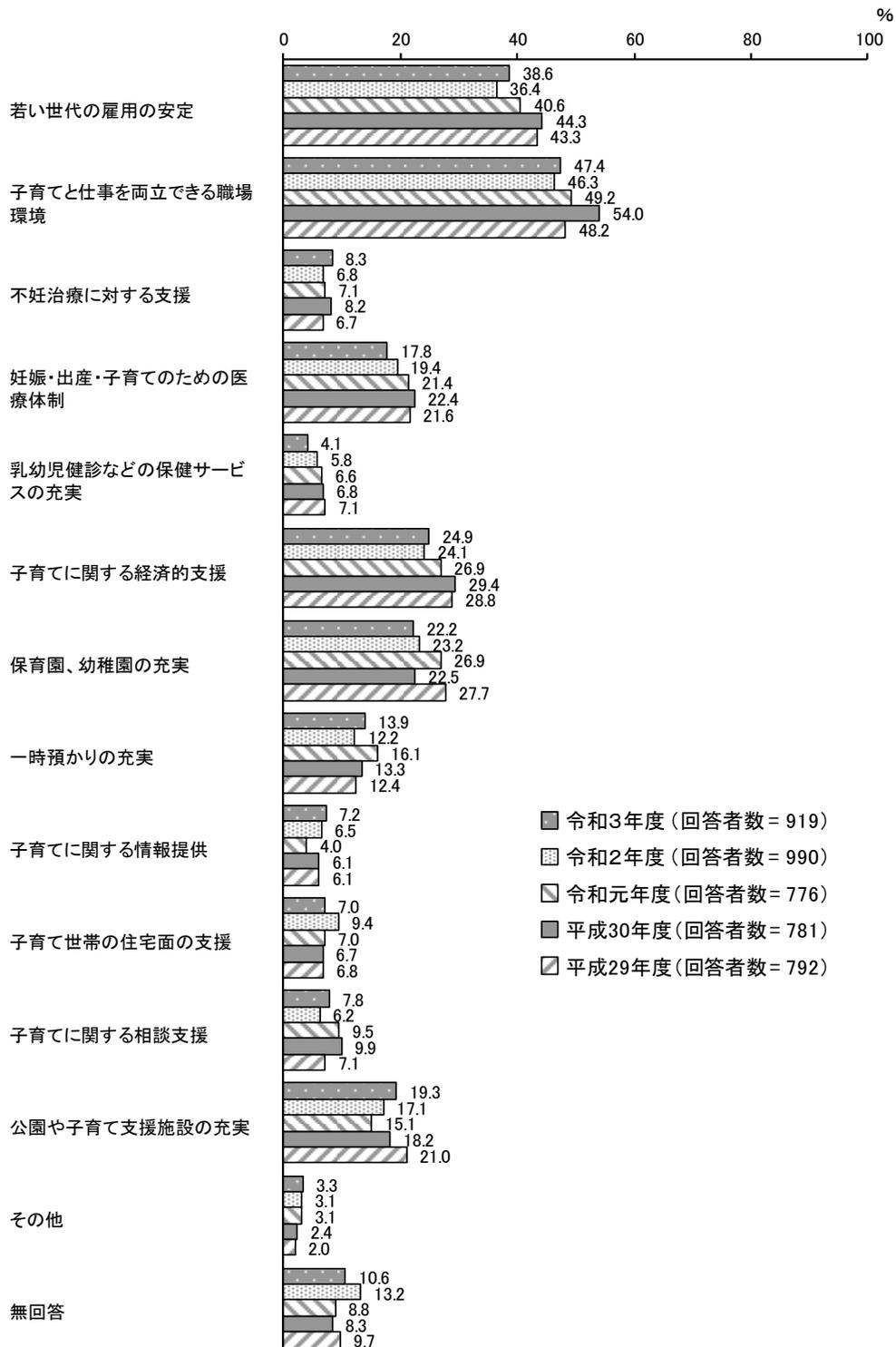
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“そう思う”の割合が高く、5割を超えています。



問 26 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が47.4%と最も高く、次いで「若い世代の雇用の安定」の割合が38.6%、「子育てに関する経済的支援」の割合が24.9%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降「妊娠・出産・子育てのための医療体制」「乳幼児健診などの保健サービスの充実」「保育園、幼稚園の充実」の割合が減少する傾向がみられます。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「若い世代の雇用の安定」「子育てに関する経済的支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
男性	419	47.5	43.4	5.3	17.4	2.1	30.8	24.3	10.3	6.0	7.2	6.2	16.0	2.4	10.5
女性	489	30.5	50.7	11.0	18.4	5.5	19.8	20.2	17.0	8.4	6.7	9.2	22.3	3.9	10.8
その他	1	100.0	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、20歳代以上で年代が下がるにつれ「子育てに関する経済的支援」の割合が高くなる傾向がみられ、20歳代で5割となっています。また、70歳代以上で「若い世代の雇用の安定」の割合が、20歳代で「子育てと仕事を両立できる職場環境」「子育てに関する経済的支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
10歳代	19	15.8	36.8	5.3	31.6	10.5	21.1	31.6	15.8	5.3	10.5	5.3	21.1	10.5	10.5
20歳代	40	20.0	50.0	10.0	15.0	—	50.0	32.5	7.5	15.0	10.0	12.5	15.0	2.5	5.0
30歳代	64	15.6	46.9	18.8	25.0	6.3	45.3	17.2	12.5	7.8	21.9	3.1	20.3	—	12.5
40歳代	148	24.3	42.6	10.8	16.9	4.7	33.1	23.0	15.5	8.1	11.5	6.8	24.3	9.5	4.1
50歳代	124	37.1	47.6	5.6	20.2	6.5	17.7	22.6	18.5	8.1	8.9	12.1	21.0	2.4	8.1
60歳代	183	47.0	50.3	9.3	16.9	3.3	18.6	20.2	18.6	8.2	1.6	8.2	20.2	2.2	8.2
70歳代以上	338	49.1	48.2	5.6	16.3	3.3	20.7	21.9	10.1	5.0	3.8	6.8	16.0	1.8	15.7

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「子育てと仕事を両立できる職場環境」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、いない人で「子育てに関する経済的支援」「保育園、幼稚園の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
いる	744	39.2	48.5	8.9	18.0	3.8	23.9	21.4	14.1	7.1	6.9	7.0	21.6	2.3	11.3
いない	168	35.1	43.5	6.0	17.3	5.4	29.8	26.2	12.5	7.7	7.7	11.9	8.9	7.1	7.7

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、自営業主（飲食店）で「若い世代の雇用の安定」「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が高く、8割となっています。また、嘱託・契約社員で「妊娠・出産・子育てのための医療体制」の割合が高くなっています。

単位：％

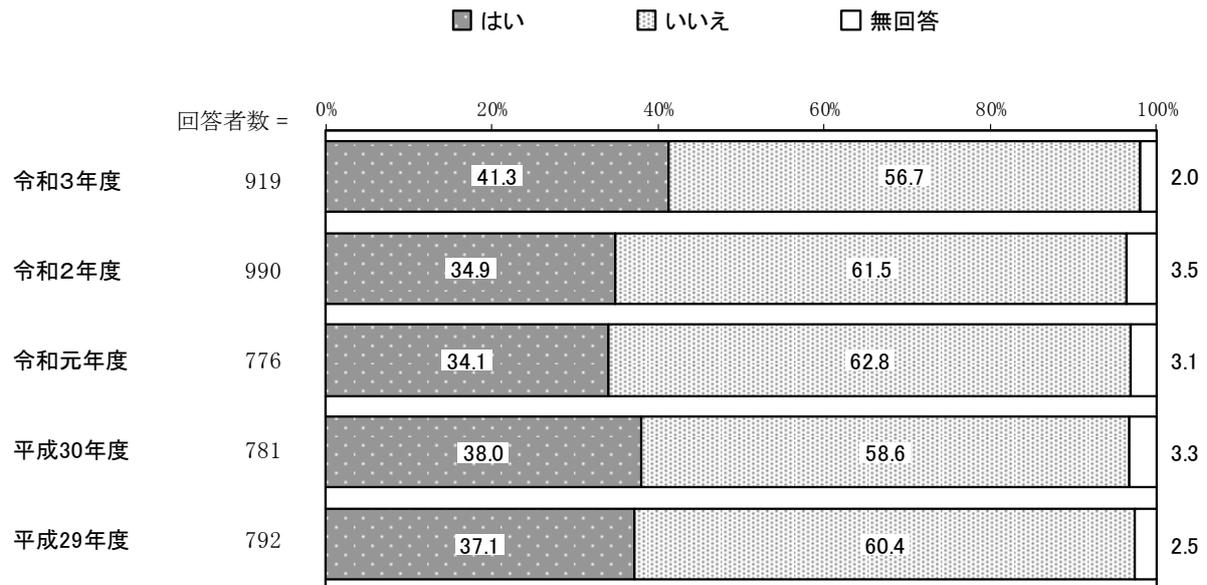
区分	有効回答数（件）	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
正社員・正職員	228	27.6	43.4	8.8	20.2	4.4	31.6	25.0	16.7	8.8	12.3	7.5	18.0	3.9	8.3
アルバイト・パート	145	37.2	55.2	9.0	17.9	4.1	22.8	17.2	13.1	8.3	10.3	6.9	27.6	4.1	8.3
派遣社員	8	62.5	75.0	—	—	—	37.5	25.0	25.0	—	12.5	12.5	—	12.5	—
嘱託・契約社員	38	39.5	36.8	7.9	34.2	—	28.9	31.6	15.8	7.9	—	21.1	10.5	—	5.3
自営業主（飲食店）	5	80.0	80.0	—	20.0	—	40.0	20.0	20.0	—	—	—	—	—	—
自営業（飲食店以外）	49	46.9	40.8	12.2	10.2	8.2	26.5	14.3	8.2	12.2	10.2	6.1	12.2	8.2	10.2
家事専業	124	36.3	53.2	13.7	21.0	4.0	20.2	23.4	21.8	11.3	4.8	6.5	29.0	0.8	4.8
学生	24	16.7	54.2	8.3	20.8	8.3	25.0	33.3	12.5	8.3	4.2	8.3	33.3	8.3	—
無職	269	48.3	45.0	4.5	15.6	3.0	20.4	22.7	8.9	3.0	2.2	6.7	13.8	2.2	17.8
その他	24	41.7	45.8	12.5	—	12.5	25.0	8.3	16.7	4.2	4.2	16.7	16.7	4.2	16.7

(7) 運動の推進について

問 27 可児市では、1回30分週2回のウォーキングを推奨する『歩こう可児302運動』や1人の市民が少なくとも1つのスポーツに親しむ『一市民スポーツ』を推進しています。あなたは、30分以上の運動を週2回以上、1年以上続けていますか。

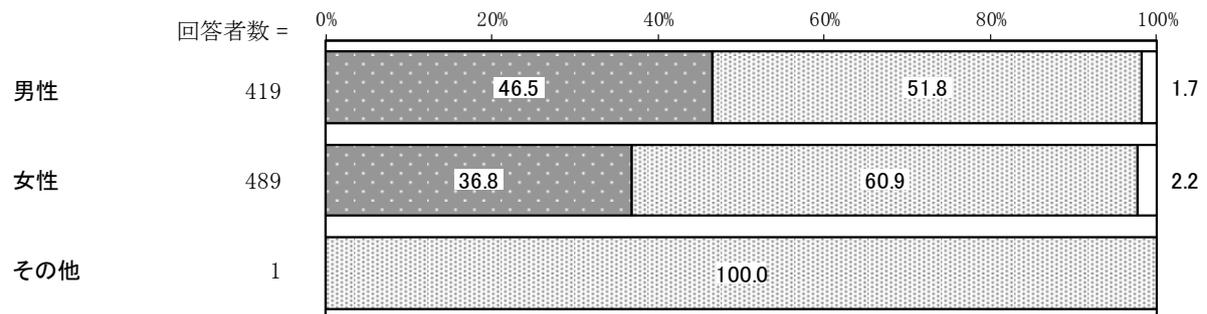
「はい」の割合が41.3%、「いいえ」の割合が56.7%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、令和元年度から令和3年度にかけて、「はい」の割合が増加しています。



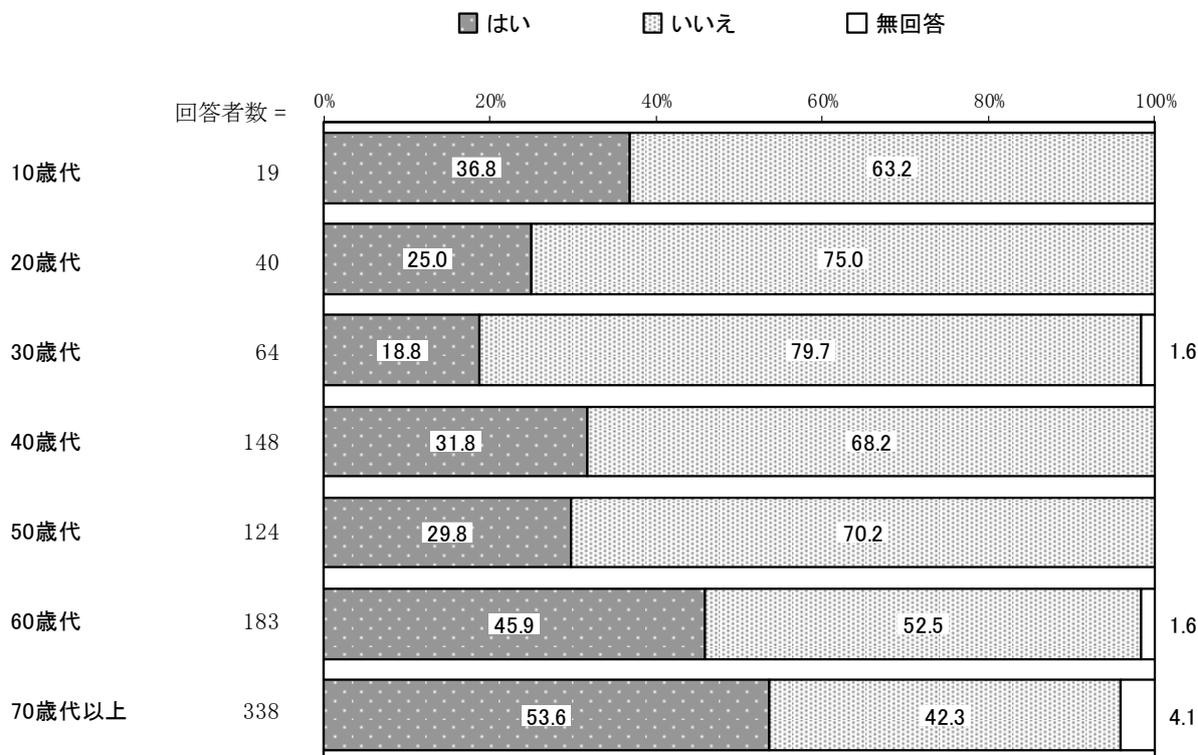
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



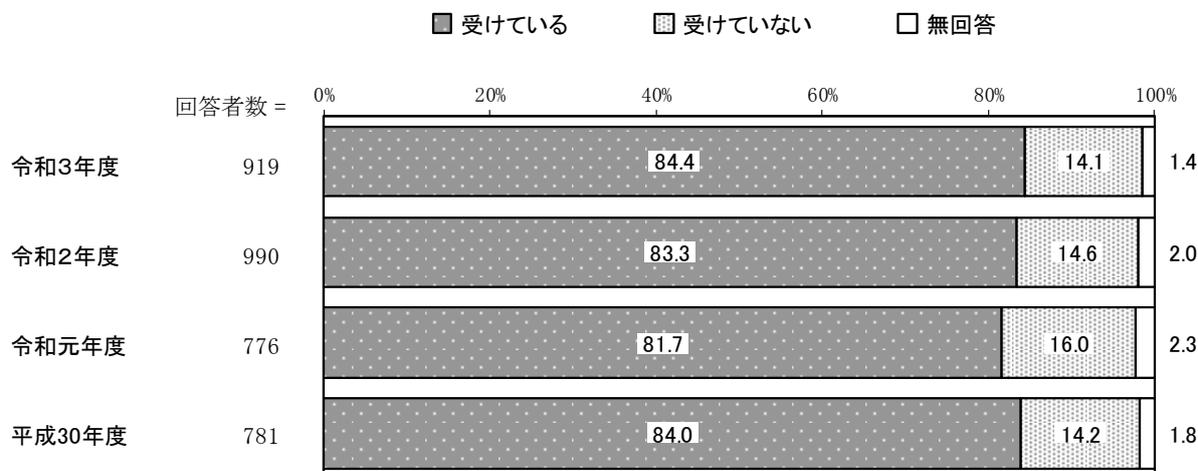
【年代別】

年代別でみると、20歳代以上で年代が下がるにつれ「いいえ」の割合が高くなる傾向がみられ、30歳代で約8割となっています。



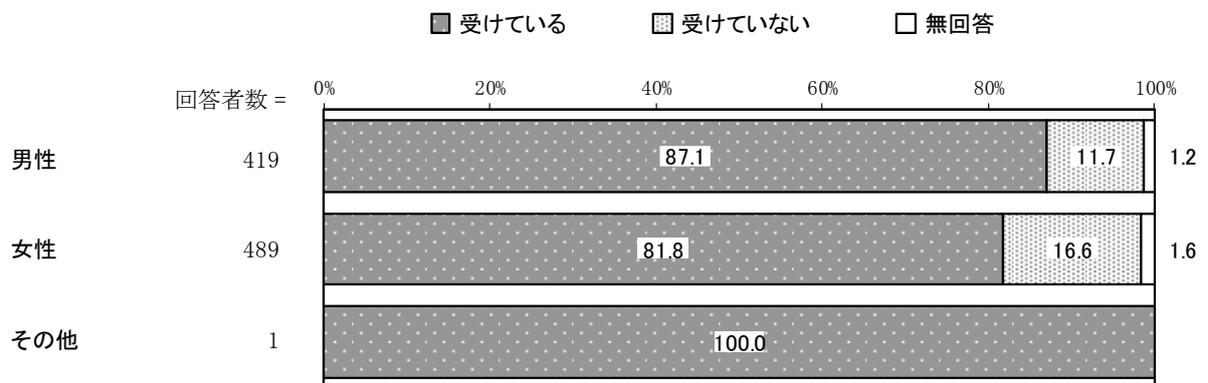
問 28 あなたは、定期的に健康診査を受けていますか。

「受けている」の割合が84.4%、「受けていない」の割合が14.1%となっています。令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



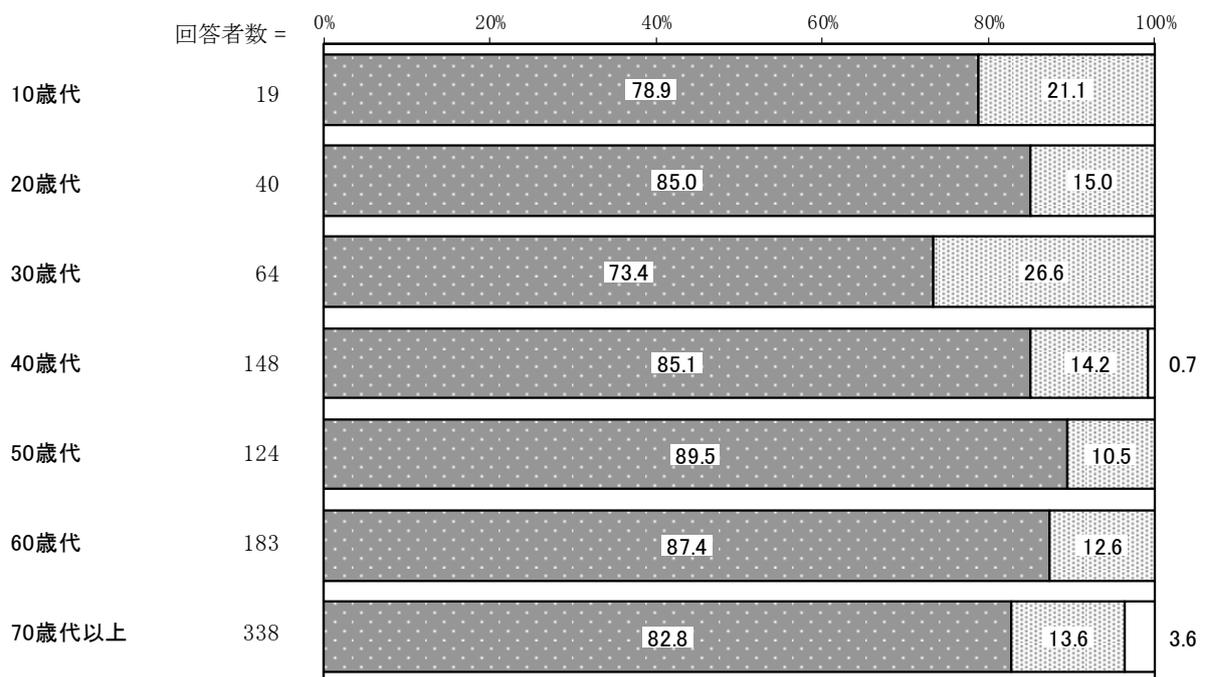
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「受けている」の割合が高く、9割近くとなっています。



【年代別】

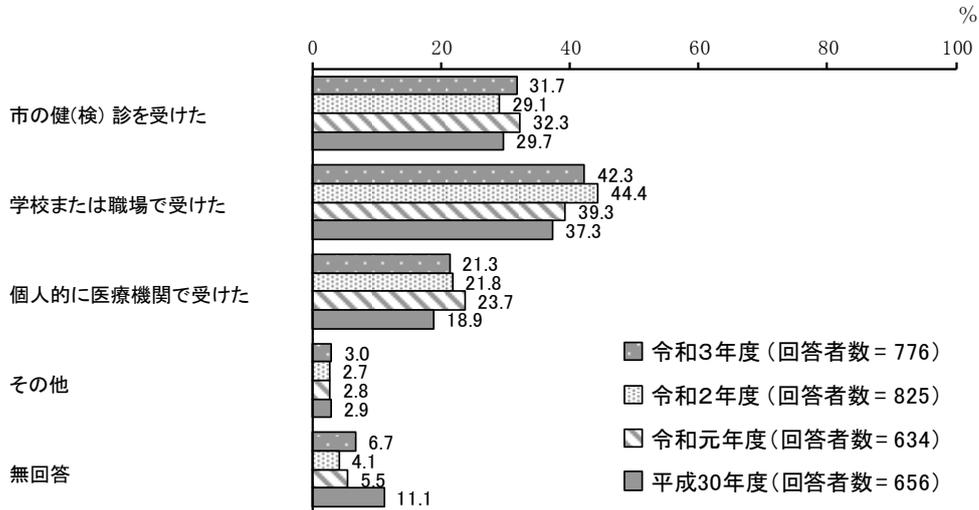
年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代で「受けている」の割合が高く、約9割となっています。また、30歳代で「受けていない」の割合が高く、3割近くとなっています。



受診場所

「学校または職場で受けた」の割合が42.3%と最も高く、次いで「市の健(検)診を受けた」の割合が31.7%、「個人的に医療機関で受けた」の割合が21.3%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、令和2年度以前に比べ、令和3年度で「市の健(検)診を受けた」の割合がやや増加し、「学校または職場で受けた」の割合がやや減少しています。



※平成30年度調査では単数回答でした。

【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「学校または職場で受けた」の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「市の健(検)診を受けた」「個人的に医療機関で受けた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	市の健(検)診を受けた	学校または職場で受けた	個人的に医療機関で受けた	その他	無回答
男性	365	28.2	45.8	18.9	3.0	7.1
女性	400	34.8	39.3	23.8	2.8	6.3
その他	1	—	100.0	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「市の健(検)診を受けた」「個人的に医療機関で受けた」の割合が高くなる傾向がみられます。また、年代が下がるにつれ「学校または職場で受けた」の割合が高くなる傾向がみられます。

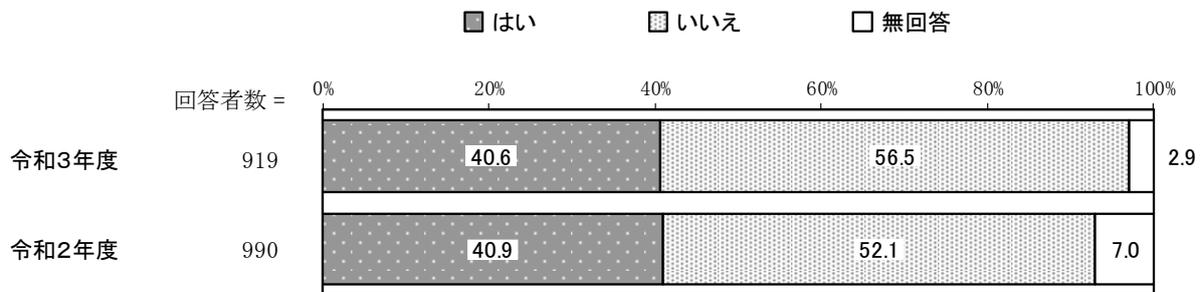
単位：％

区分	有効回答数 (件)	市の健(検)診を受けた	学校または職場で受けた	個人的に医療機関で受けた	その他	無回答
10 歳代	15	—	100.0	—	—	—
20 歳代	34	5.9	82.4	—	2.9	8.8
30 歳代	47	8.5	83.0	2.1	—	6.4
40 歳代	126	21.4	65.9	7.9	4.0	6.3
50 歳代	111	16.2	72.1	11.7	1.8	3.6
60 歳代	160	33.8	40.6	25.6	2.5	4.4
70 歳代以上	280	49.6	6.1	35.4	3.9	9.6

(8) 教育や学習に関する施策について

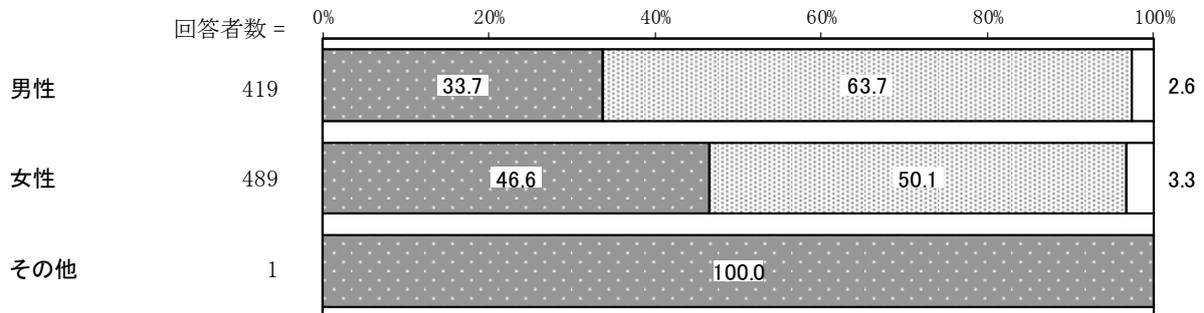
問 29 可児市では、子どものいじめの防止やいじめ問題の解消に重点的に取り組んでいます。あなたは、学校以外にも子どものいじめに関して相談することができる次のような市の窓口があることを知っていますか。

「はい」の割合が40.6%、「いいえ」の割合が56.5%となっています。
令和2年度調査と比較すると、大きな差異はみられません。



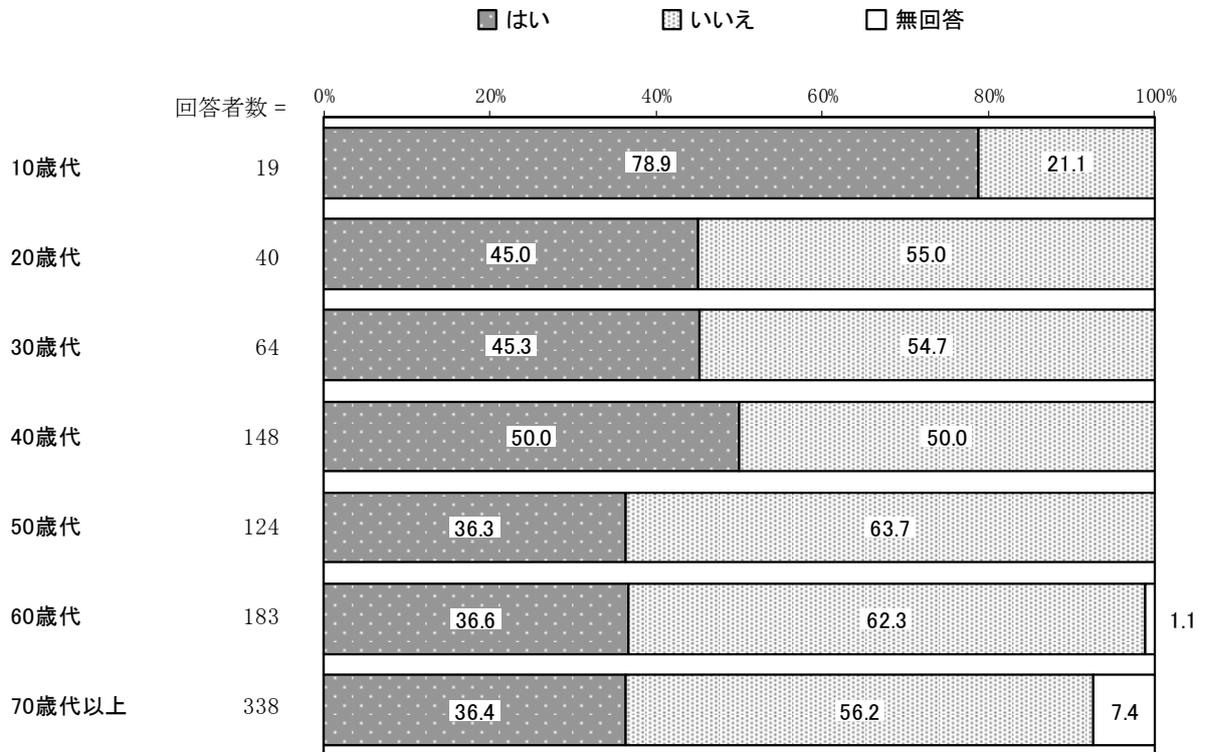
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「いいえ」の割合が高く、6割を超えています。



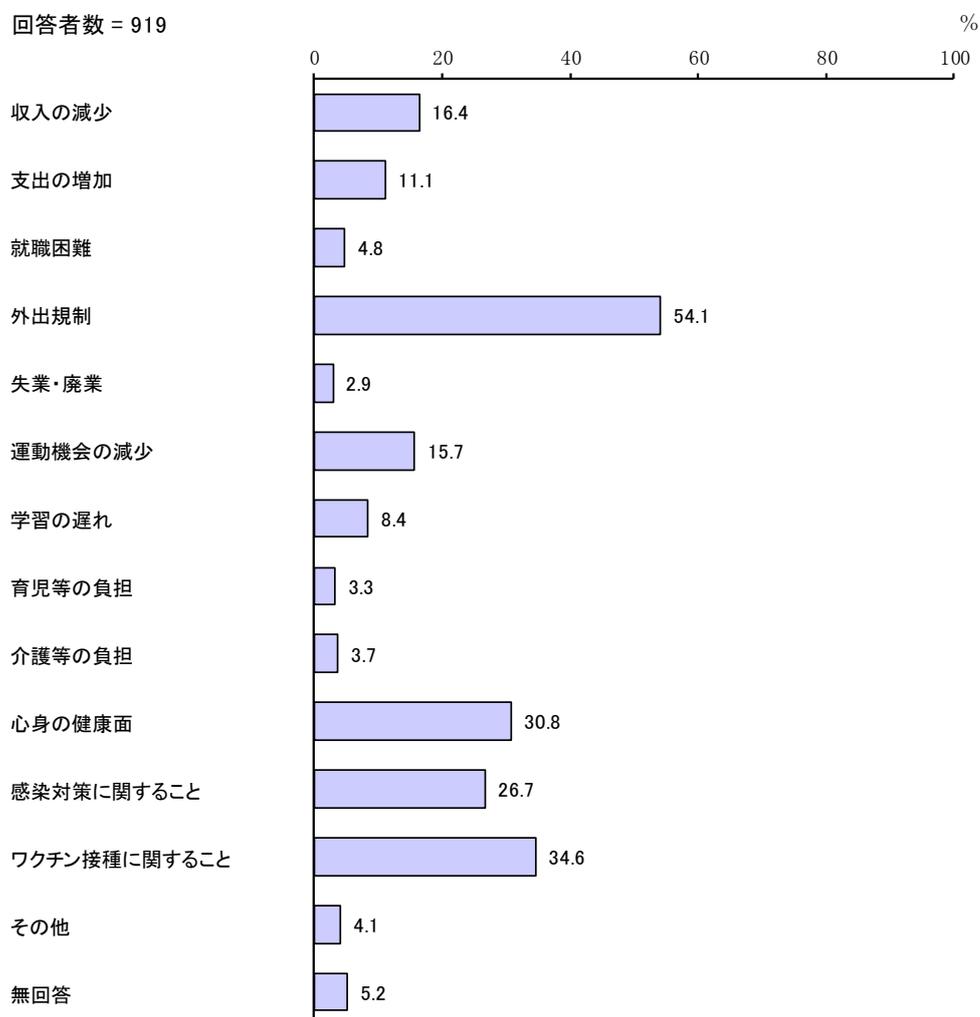
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「はい」の割合が高く、8割近くになっています。また、50歳代、60歳代で「いいえ」の割合が高く、6割を超えています。



問 30 新型コロナウイルス感染症に関する困りごとは何ですか。(回答複数可)

「外出規制」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「ワクチン接種に関すること」の割合が 34.6%、「心身の健康面」の割合が 30.8%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「収入の減少」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「心身の健康面」の割合が高く、3割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関する こと	ワクチン接種に 関すること	その他	無回答
男性	419	18.9	10.5	6.2	52.5	2.6	16.0	5.5	2.9	2.1	27.7	25.8	35.3	4.3	5.3
女性	489	13.9	11.5	3.3	55.4	3.1	15.1	11.0	3.7	4.7	33.5	27.6	34.6	4.1	5.3
その他	1	100.0	100.0	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で「収入の減少」「外出規制」の割合が高くなっています。また、60歳代、70歳代以上で「ワクチン接種に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関する こと	ワクチン接種に 関すること	その他	無回答
10歳代	19	21.1	10.5	10.5	57.9	—	10.5	26.3	—	—	21.1	26.3	31.6	10.5	—
20歳代	40	15.0	5.0	12.5	65.0	5.0	10.0	10.0	—	2.5	20.0	25.0	27.5	2.5	5.0
30歳代	64	39.1	25.0	4.7	73.4	6.3	10.9	14.1	31.3	3.1	37.5	23.4	21.9	3.1	3.1
40歳代	148	31.8	23.0	12.8	52.0	8.1	20.3	25.0	4.7	2.0	35.8	29.1	25.0	4.7	0.7
50歳代	124	17.7	8.9	6.5	58.1	1.6	15.3	3.2	—	6.5	35.5	27.4	31.5	3.2	4.0
60歳代	183	13.1	8.7	2.7	53.0	3.3	13.7	6.0	1.1	6.0	31.1	26.2	38.8	5.5	3.3
70歳代以上	338	6.8	6.2	0.6	48.8	0.3	16.6	2.1	0.3	2.7	27.2	26.3	41.1	3.6	9.5

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、派遣社員、自営業（飲食店以外）で「収入減少」の割合が、自営業主（飲食店）で「心身の健康面」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関する こと	ワクチン接種に 関すること	その他	無回答
正社員・ 正職員	228	19.7	14.5	7.5	63.6	3.9	16.7	10.1	7.0	2.6	29.4	28.1	31.1	4.8	1.8
アルバイト・ パート	145	24.8	14.5	5.5	58.6	4.8	13.8	17.2	4.8	5.5	31.0	31.0	34.5	6.2	4.1
派遣社員	8	75.0	50.0	25.0	37.5	37.5	—	25.0	—	—	62.5	12.5	25.0	—	—
嘱託・ 契約社員	38	18.4	5.3	—	50.0	2.6	10.5	—	—	2.6	21.1	26.3	26.3	7.9	7.9
自営業主 (飲食店)	5	40.0	40.0	—	60.0	20.0	—	—	—	—	60.0	20.0	—	—	—
自営業 (飲食店以外)	49	51.0	12.2	2.0	40.8	6.1	14.3	4.1	4.1	6.1	18.4	16.3	24.5	2.0	8.2
家事専業	124	8.9	10.5	3.2	55.6	2.4	20.2	10.5	3.2	7.3	42.7	29.0	41.1	1.6	4.0
学生	24	20.8	8.3	20.8	54.2	—	12.5	29.2	—	—	20.8	25.0	25.0	4.2	4.2
無職	269	3.7	7.1	1.9	47.6	—	14.9	1.1	0.4	2.6	28.3	24.5	39.8	2.6	8.6
その他	24	12.5	—	4.2	45.8	—	25.0	8.3	—	—	45.8	33.3	37.5	12.5	4.2

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で「支出の増加」の割合が高く、約3割となっています。また、3年未満で「収入の減少」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関する こと	ワクチン接種に 関すること	その他	無回答
3年未満	35	34.3	17.1	5.7	65.7	2.9	20.0	2.9	14.3	—	37.1	25.7	40.0	8.6	5.7
3年以上 5年未満	17	23.5	29.4	17.6	58.8	5.9	17.6	11.8	17.6	5.9	29.4	35.3	23.5	5.9	—
5年以上 10年未満	37	18.9	21.6	10.8	64.9	8.1	24.3	13.5	18.9	—	37.8	32.4	16.2	5.4	2.7
10年以上 20年未満	118	26.3	15.3	10.2	52.5	2.5	20.3	23.7	5.1	3.4	36.4	20.3	25.4	5.9	1.7
20年以上	540	10.6	7.6	2.0	53.1	2.6	14.8	4.3	0.9	4.3	30.4	27.8	37.2	4.1	6.3
生まれてか らずっと	165	23.0	14.5	7.3	52.7	3.0	12.1	10.9	2.4	3.6	24.8	24.8	36.4	1.8	4.8

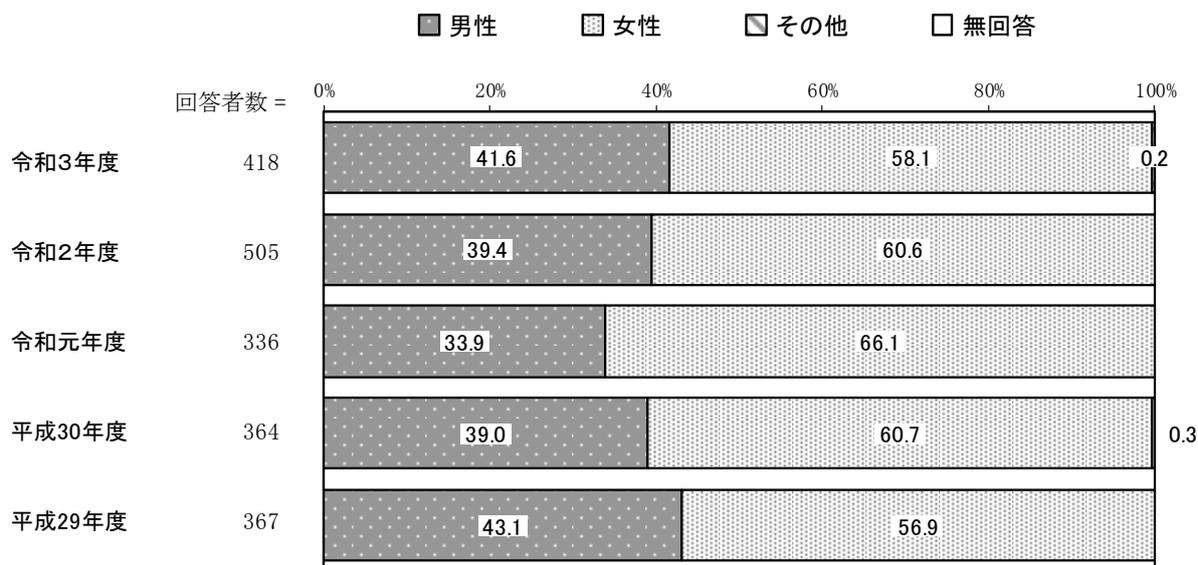
2 若年層

(1) 回答者属性

問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つだけ)

「男性」の割合が41.6%、「女性」の割合が58.1%となっています。

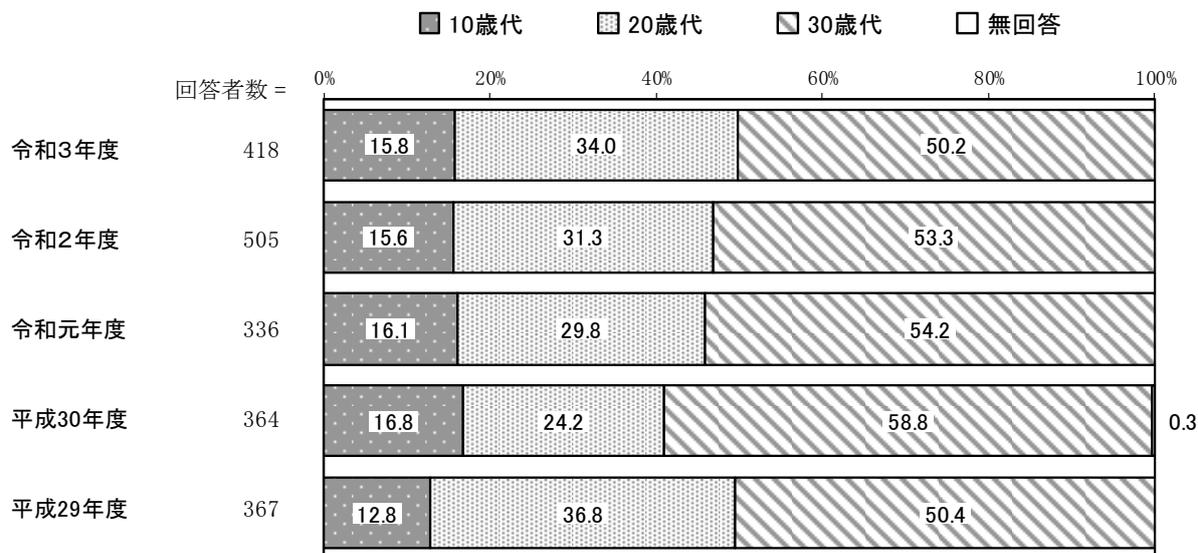
令和2年度以前の調査と比較すると、増減はあるものの「男性」に比べ「女性」の割合が高い傾向が続いています。



問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

「30歳代」の割合が50.2%と最も高く、次いで「20歳代」の割合が34.0%、「10歳代」の割合が15.8%となっています。

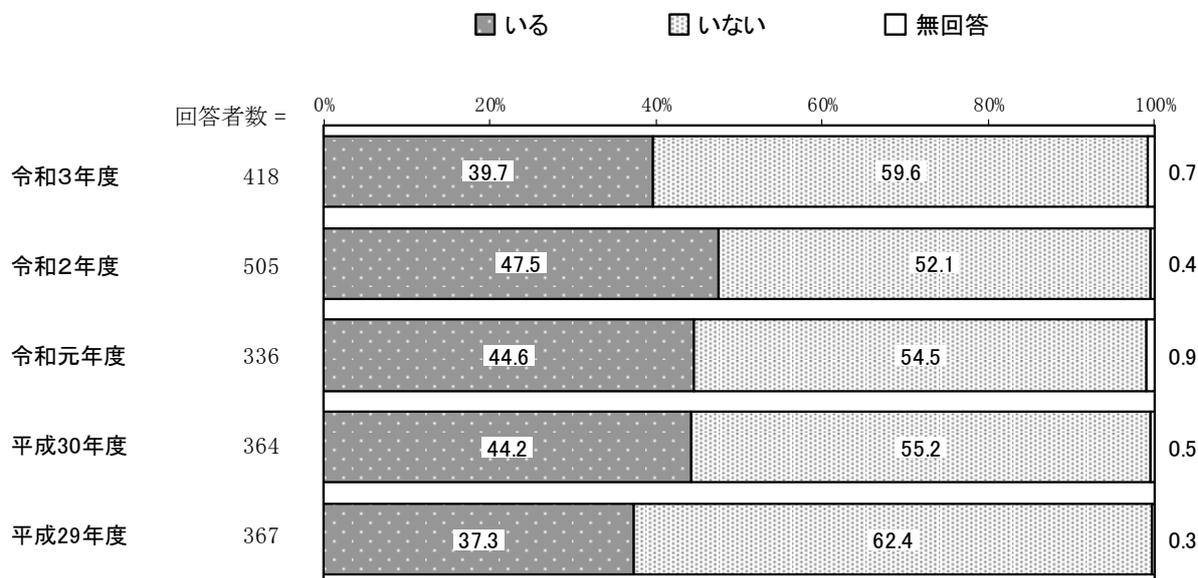
令和2年度以前の調査と比較すると、増減はあるものの「30歳代」の割合が最も高い傾向が続いています。



問3 あなたには、子どもはいますか。

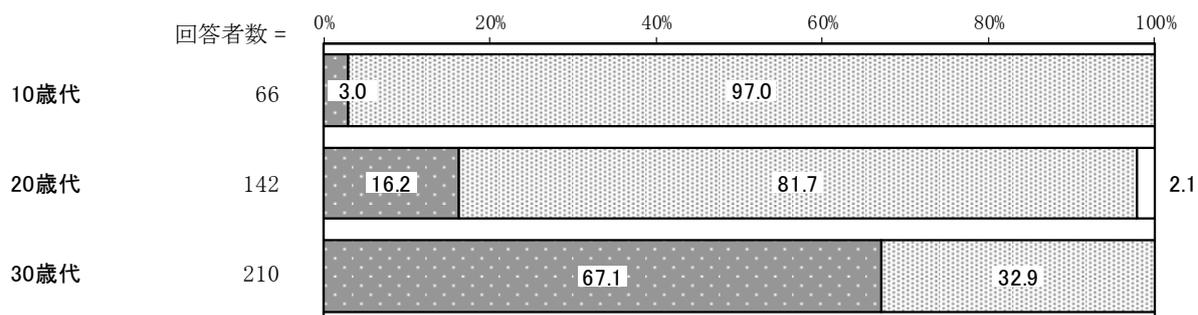
「いる」の割合が39.7%、「いない」の割合が59.6%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、平成29年度以降「いる」の割合が増加する傾向がみられましたが、令和3年度では減少しています。



【年代別】

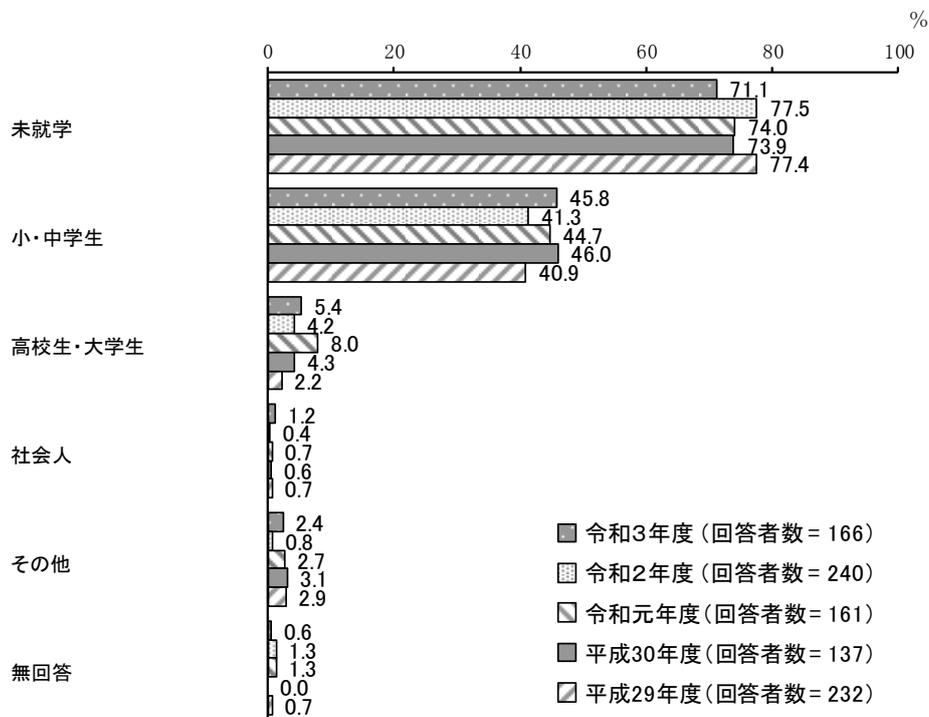
年代別でみると、年代が高くなるにつれ「いる」の割合が高くなっており、30歳代で7割近くとなっています。



子どもの世代

「未就学」の割合が71.1%と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が45.8%となっています。

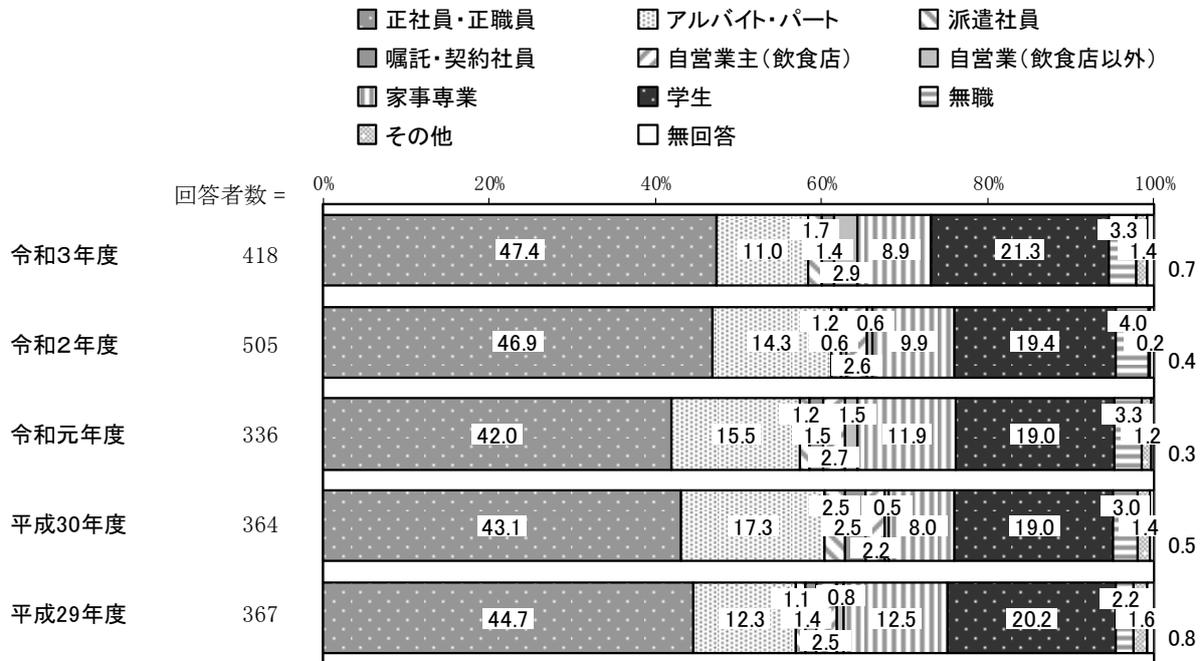
令和2年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降「小・中学生」の割合が減少していましたが、令和3年度では増加しています。



問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

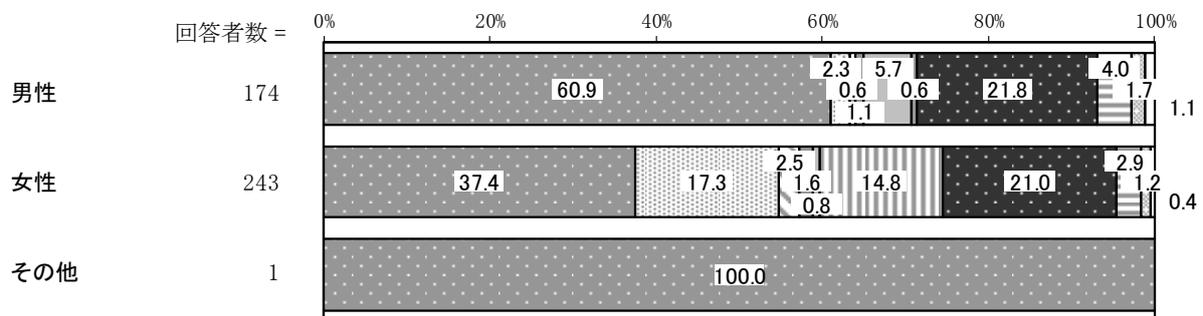
「正社員・正職員」の割合が47.4%と最も高く、次いで「学生」の割合が21.3%、「アルバイト・パート」の割合が11.0%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、令和元年度から令和3年度にかけて「家事専業」の割合が減少する傾向がみられます。



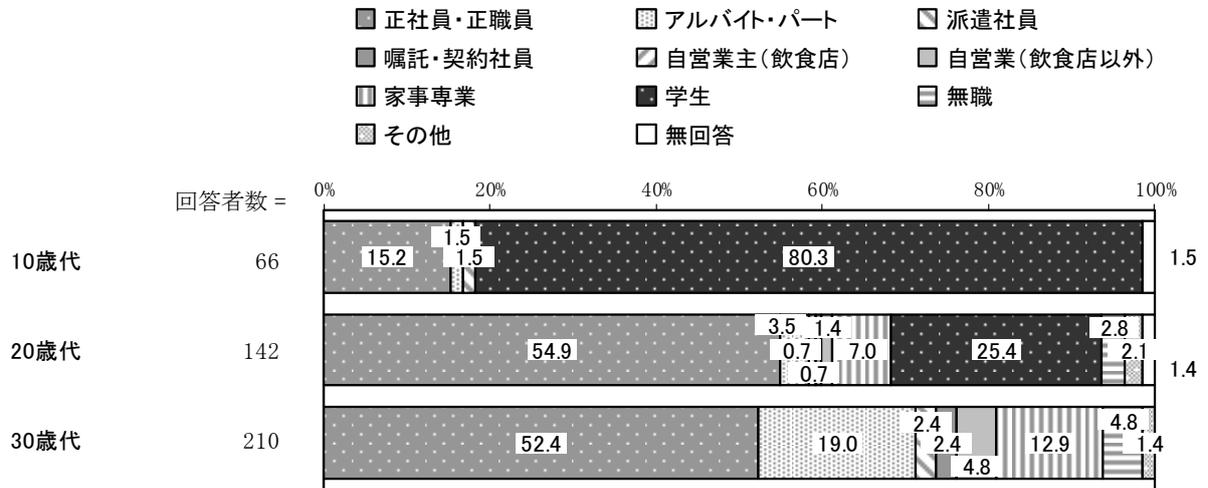
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「正社員・正職員」「学生」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高くなっています。



【年代別】

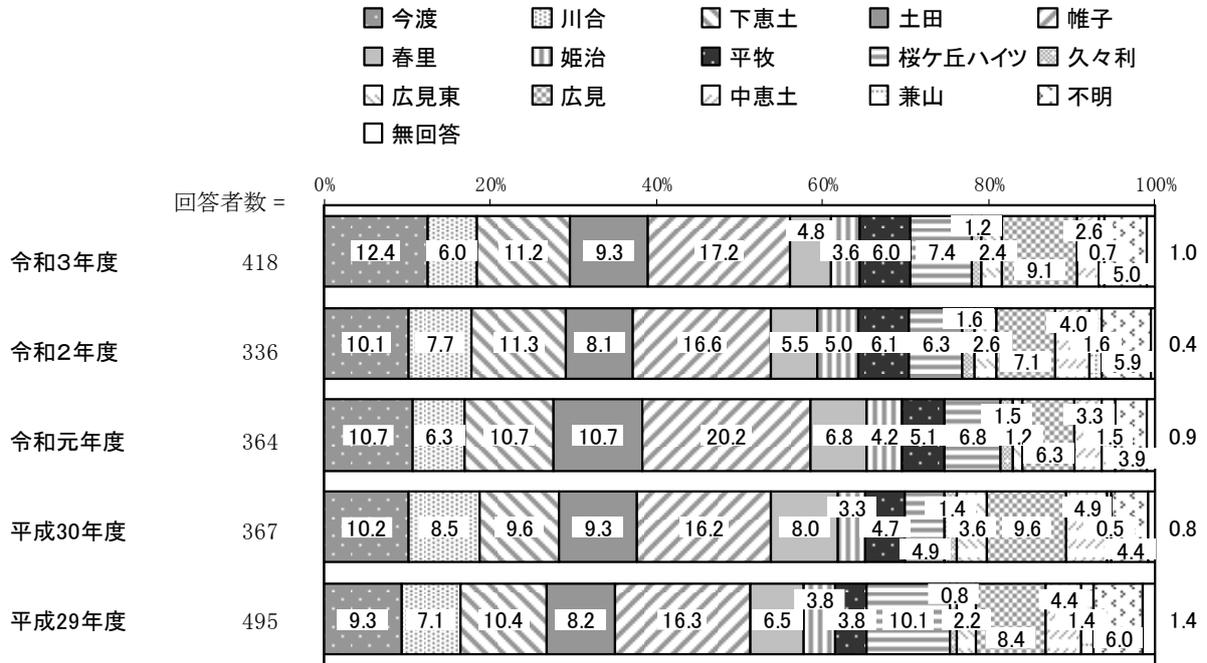
年代別でみると、10歳代に比べ、20歳代、30歳代で「正社員・正職員」の割合が高く、5割を超えています。また、30歳代で「アルバイト・パート」の割合が高く、約2割となっています。



問5 あなたは、どちらにお住まいですか。(自治連合会単位)

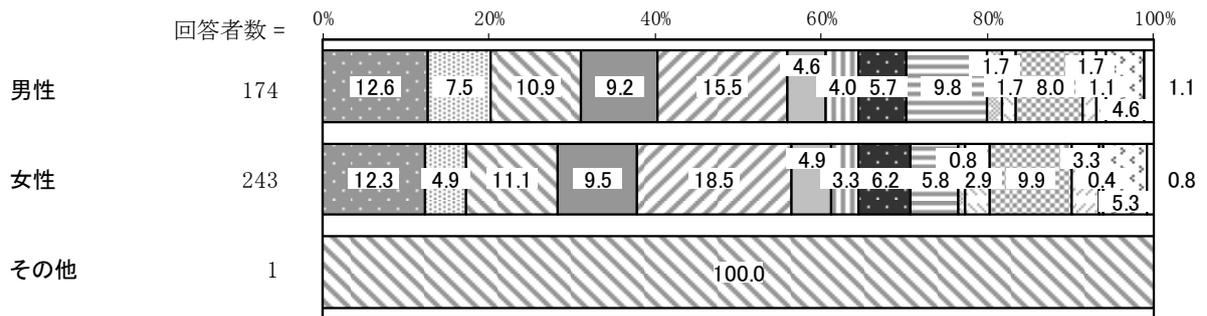
「帷子」の割合が17.2%と最も高く、次いで「今渡」の割合が12.4%、「下恵土」の割合が11.2%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



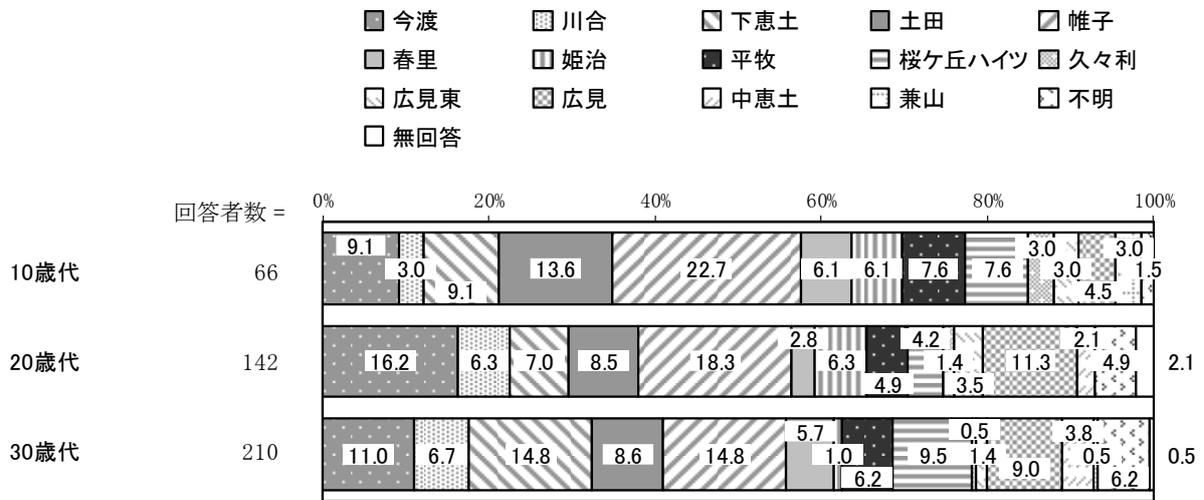
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



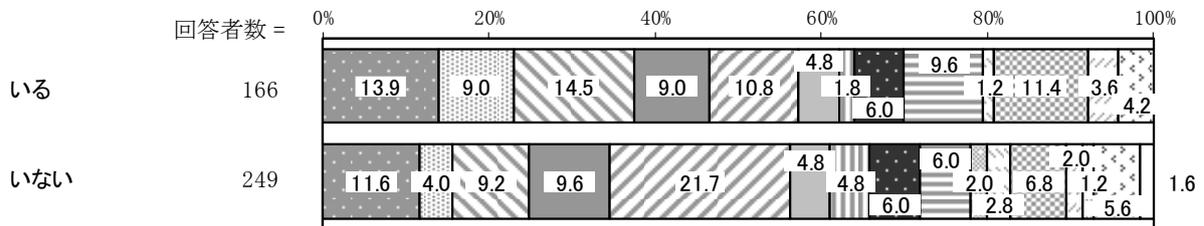
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「土田」「帷子」の割合が高く、20歳代で「今渡」の割合が高く、30歳代で「下恵土」の割合が高くなっています。



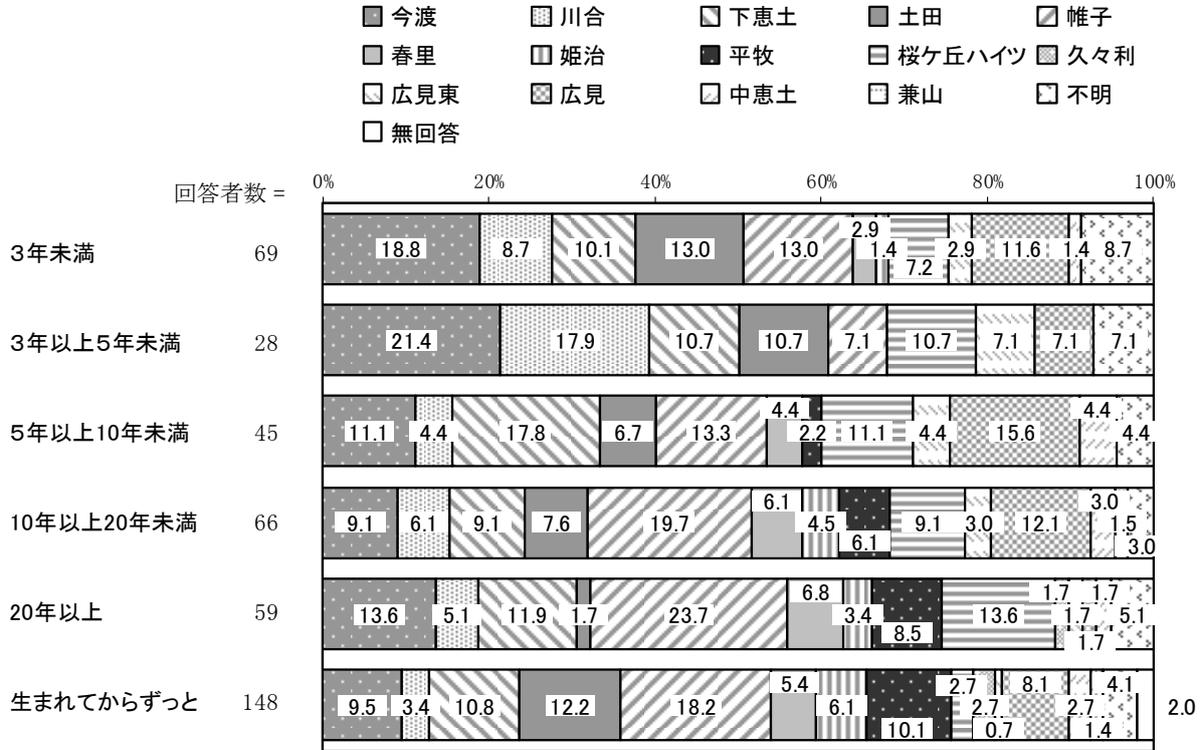
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、「いない」と答えた人で「帷子」の割合が高く、2割を超えています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、3年以上5年未満で「今渡」の割合が高く、約2割となっています。また、10年以上20年未満、20年以上、生まれてからずっとで「帷子」の割合が高くなっています。



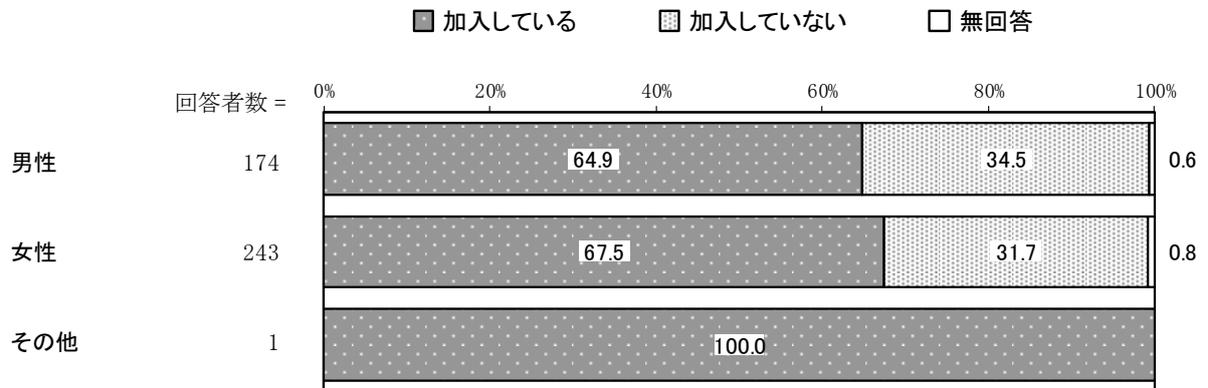
問6 あなたは、お住まいの地区の自治会に加入していますか。

「加入している」の割合が66.5%、「加入していない」の割合が32.8%となっています。令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



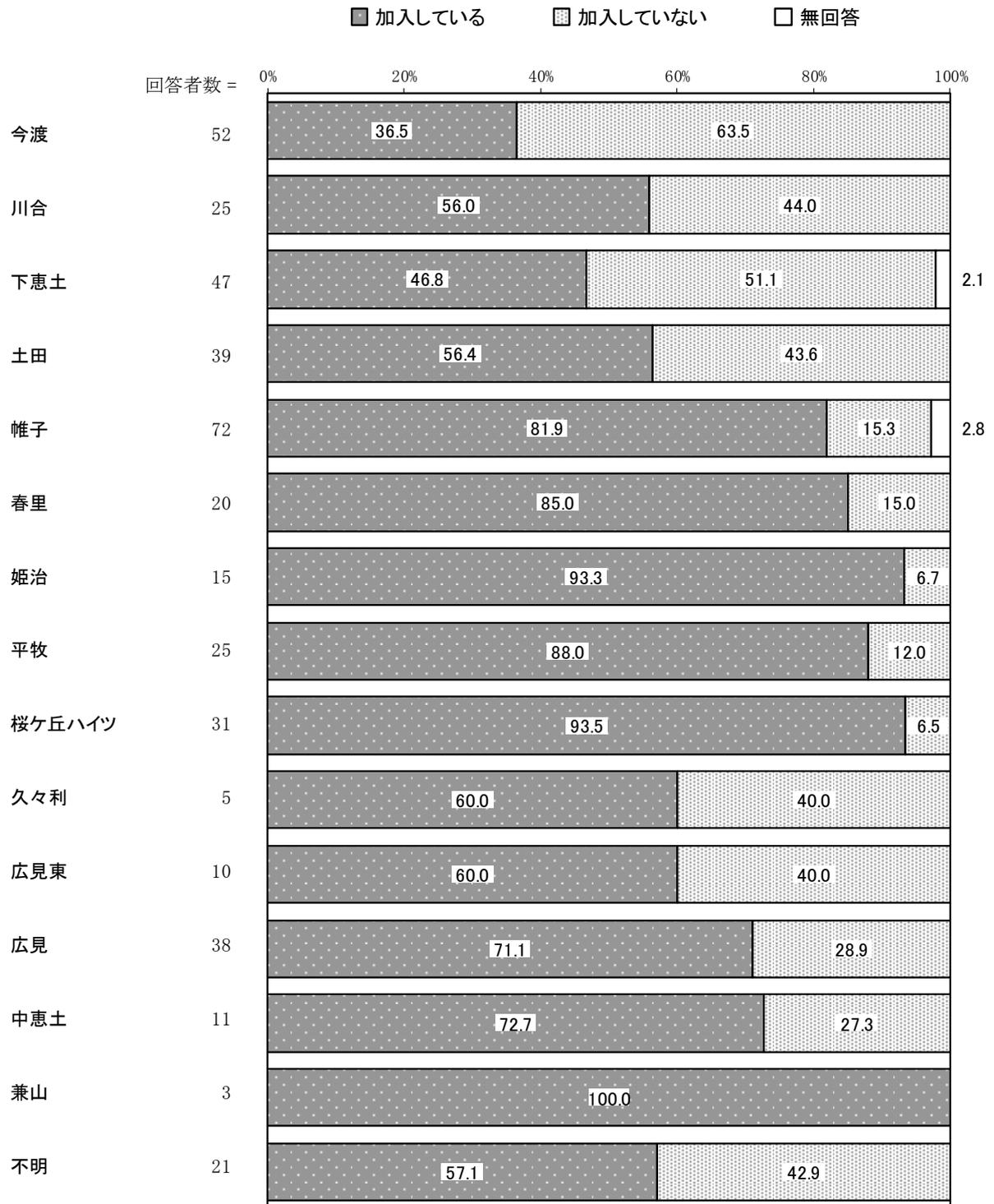
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「加入している」の割合が高く、約8割となっています。



【居住地区別】

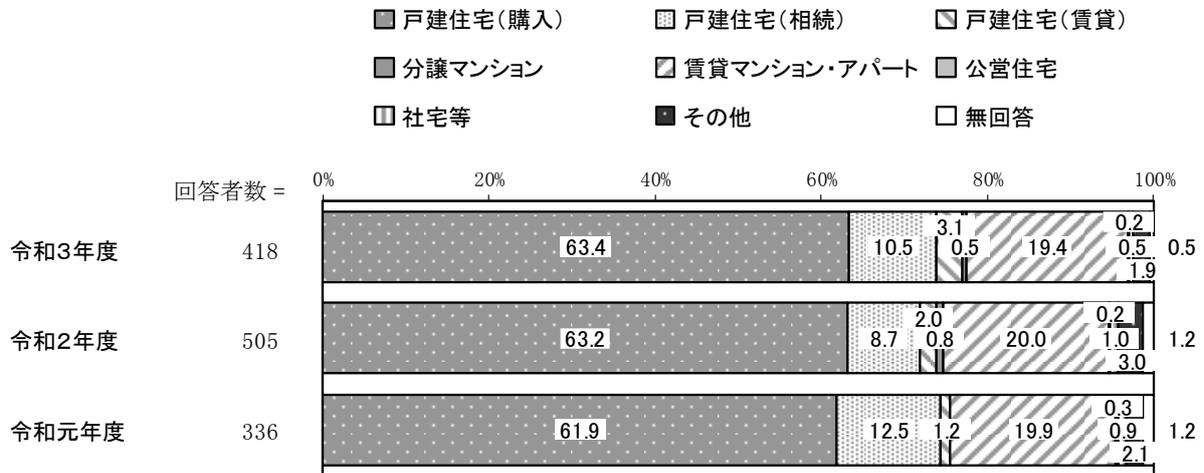
居住地区別でみると、他の地区に比べ、兼山で「加入している」の割合が高く、10割となっています。また、今渡で「加入していない」の割合が高く、6割を超えています。



問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

「戸建住宅（購入）」の割合が63.4%と最も高く、次いで「賃貸マンション・アパート」の割合が19.4%となっています。

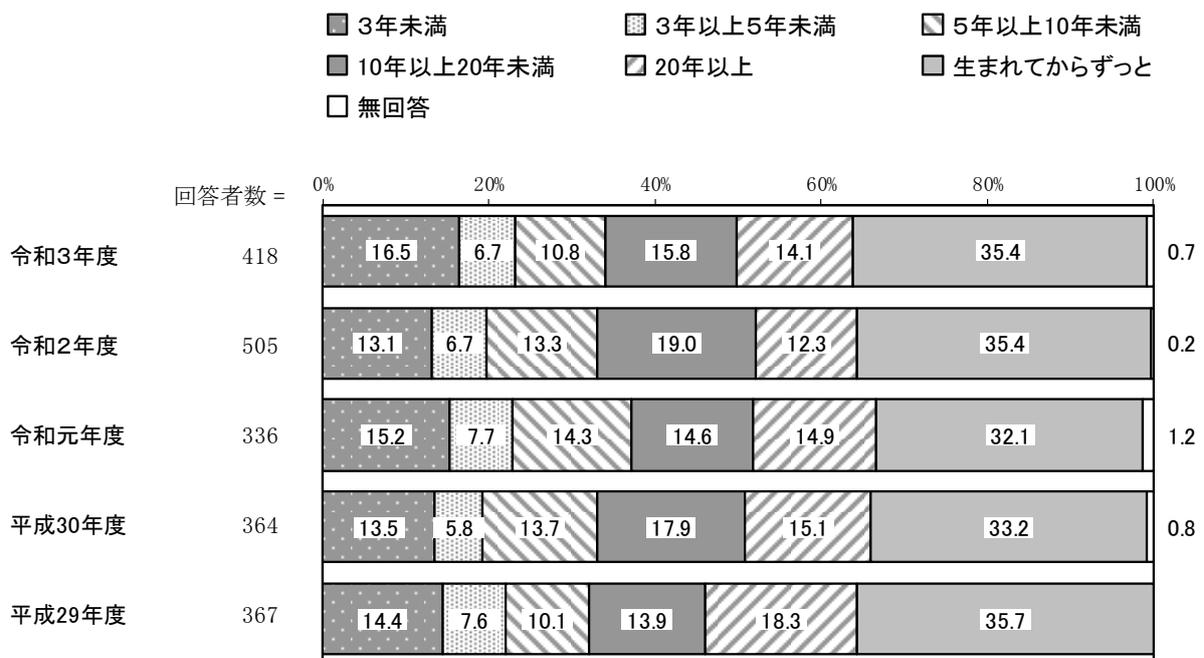
令和2年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問8 あなたは、可見市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。

「生まれてからずっと」の割合が35.4%と最も高く、次いで「3年未満」の割合が16.5%、「10年以上20年未満」の割合が15.8%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、令和元年度以降「3年以上5年未満」の割合が減少傾向となっています。



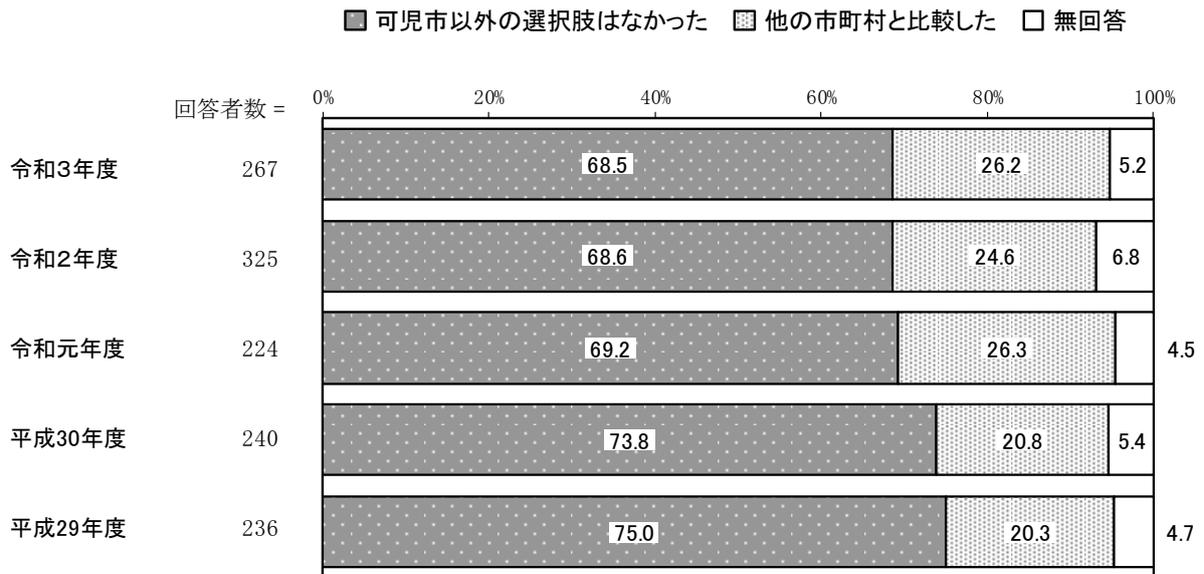
(2) 可児市への居住理由について

【問8で「3年未満」～「20年以上」を選択された方に伺います】

問9 どのように可児市を転居先には選ばれましたか。(○は1つだけ)

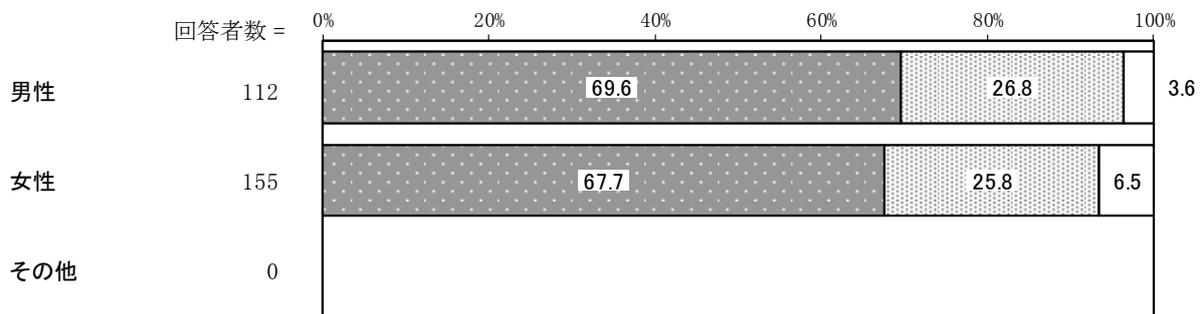
「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が68.5%、「他の市町村と比較した」の割合が26.2%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、平成29年度以降「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が減少する傾向がみられます。



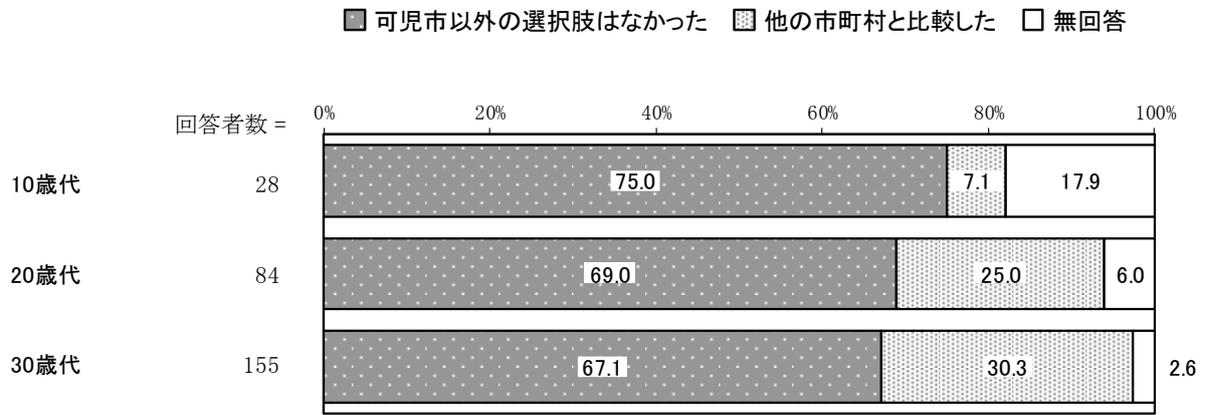
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



【年代別】

年代別で見ると、他の年代に比べ、10歳代で「可見市以外の選択肢はなかった」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、30歳代で「他の市町村と比較した」の割合が高く、約3割となっています。

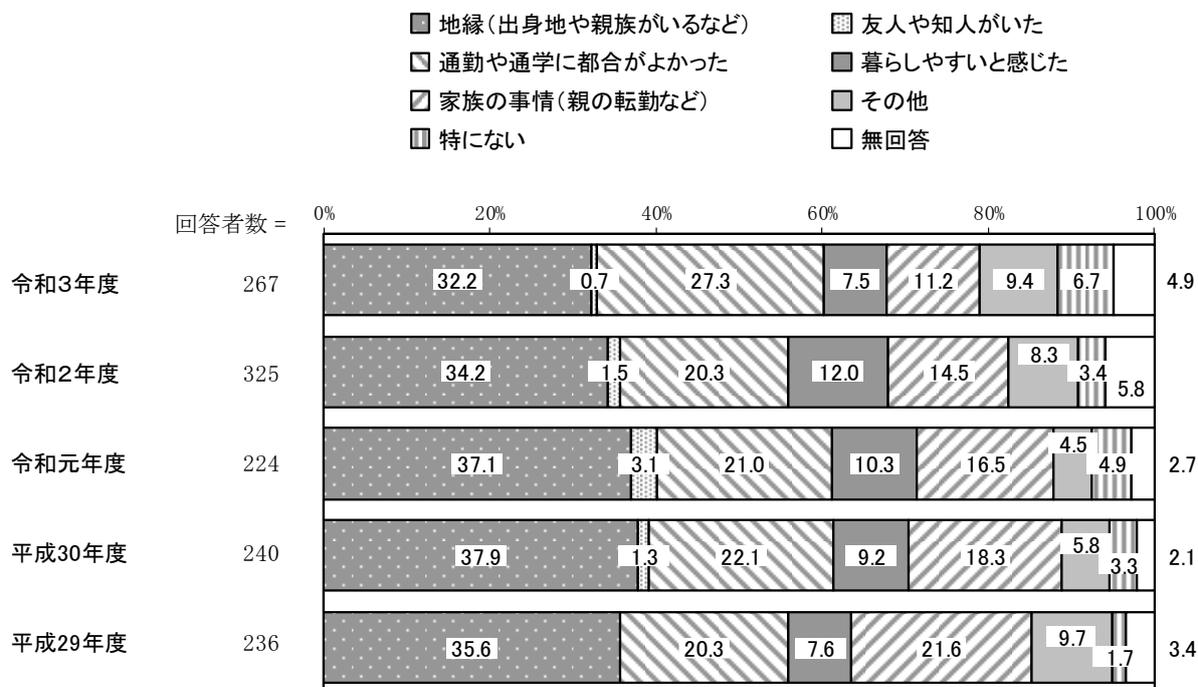


【問8で「3年未満」～「20年以上」を選択された方に伺います】

問10 可児市を選んだ理由は何ですか。(〇は1つだけ)

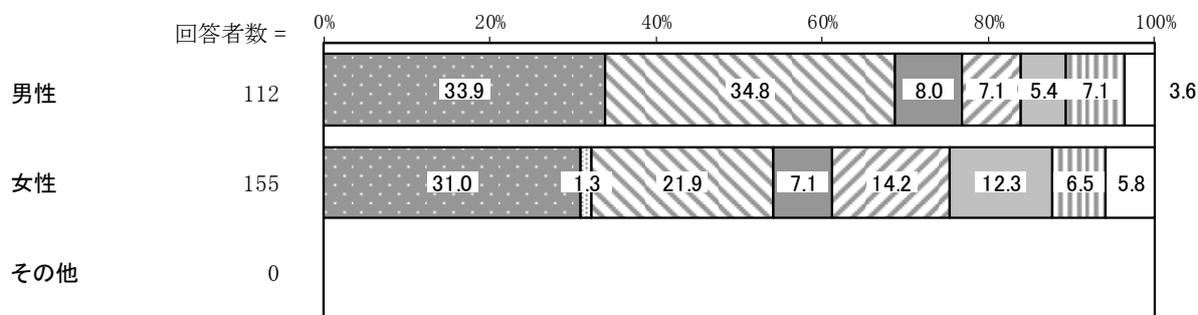
「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が32.2%と最も高く、次いで「通勤や通学に都合がよかった」の割合が27.3%、「家族の事情（親の転勤など）」の割合が11.2%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、「家族の事情（親の転勤など）」の割合が減少する傾向がみられます。



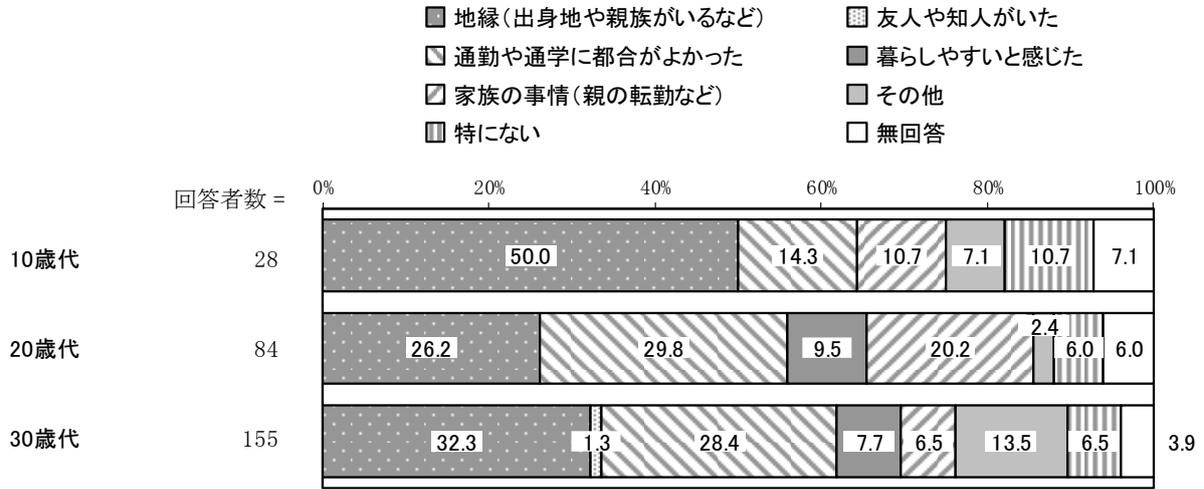
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高く、1割台半ばとなっています。



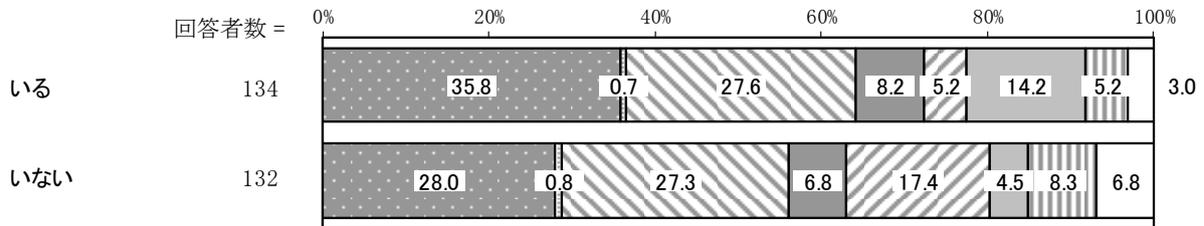
【年代別】

年代別でみると、10歳代で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高く、5割となっています。20歳代、30歳代で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高く、約3割となっています。



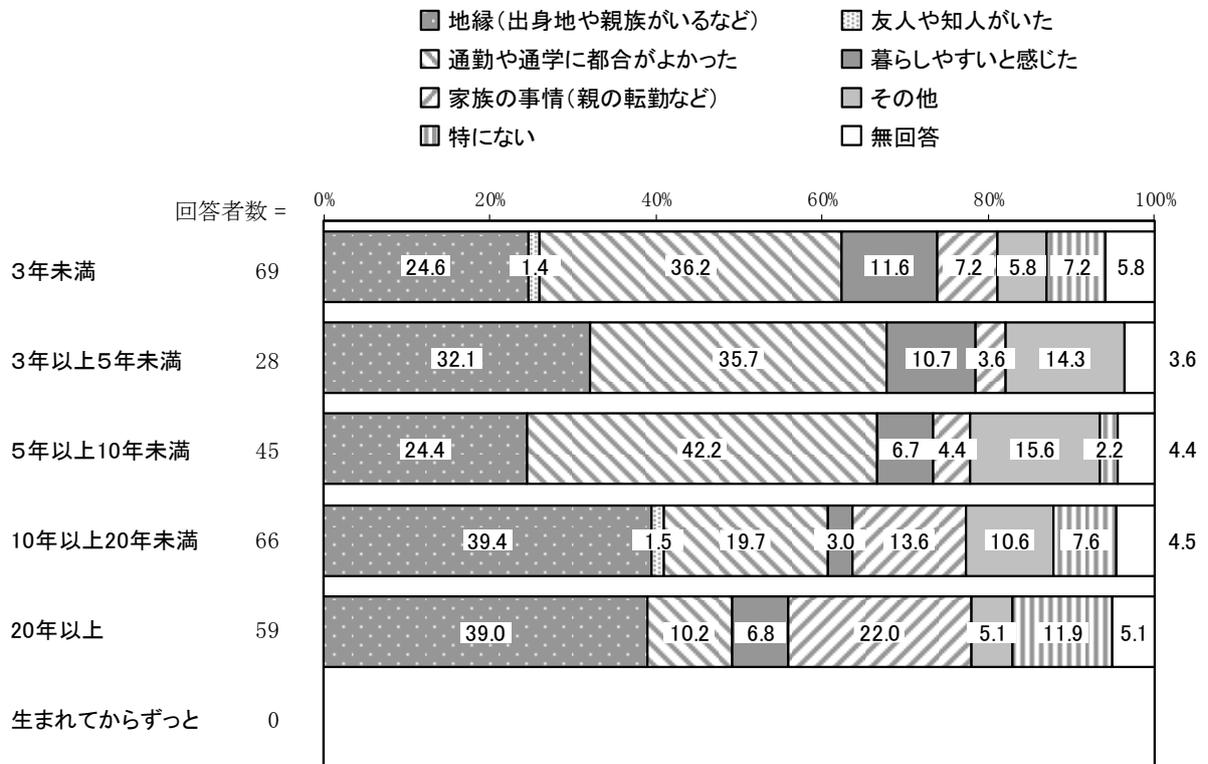
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、いない人で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

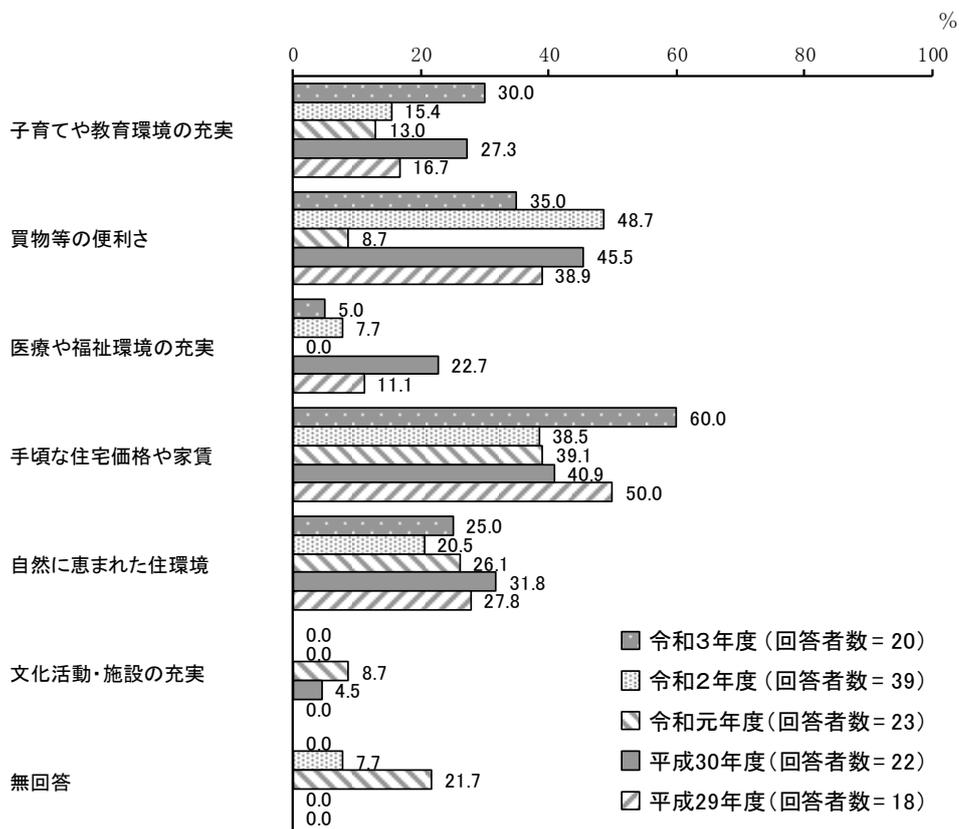
居住年数別でみると、他に比べ、居住年数が長くなるにつれ「家族の事情（親の転勤など）」の割合が増加する傾向があり、20年以上で約2割となっています。また、居住年数が短くなるにつれ「暮らしやすいと感じた」の割合が増加する傾向があります。



暮らしやすいと感じた理由

「手頃な住宅価格や家賃」の割合が60.0%と最も高く、次いで「買物等の便利さ」の割合が35.0%、「子育てや教育環境の充実」の割合が30.0%となっています。

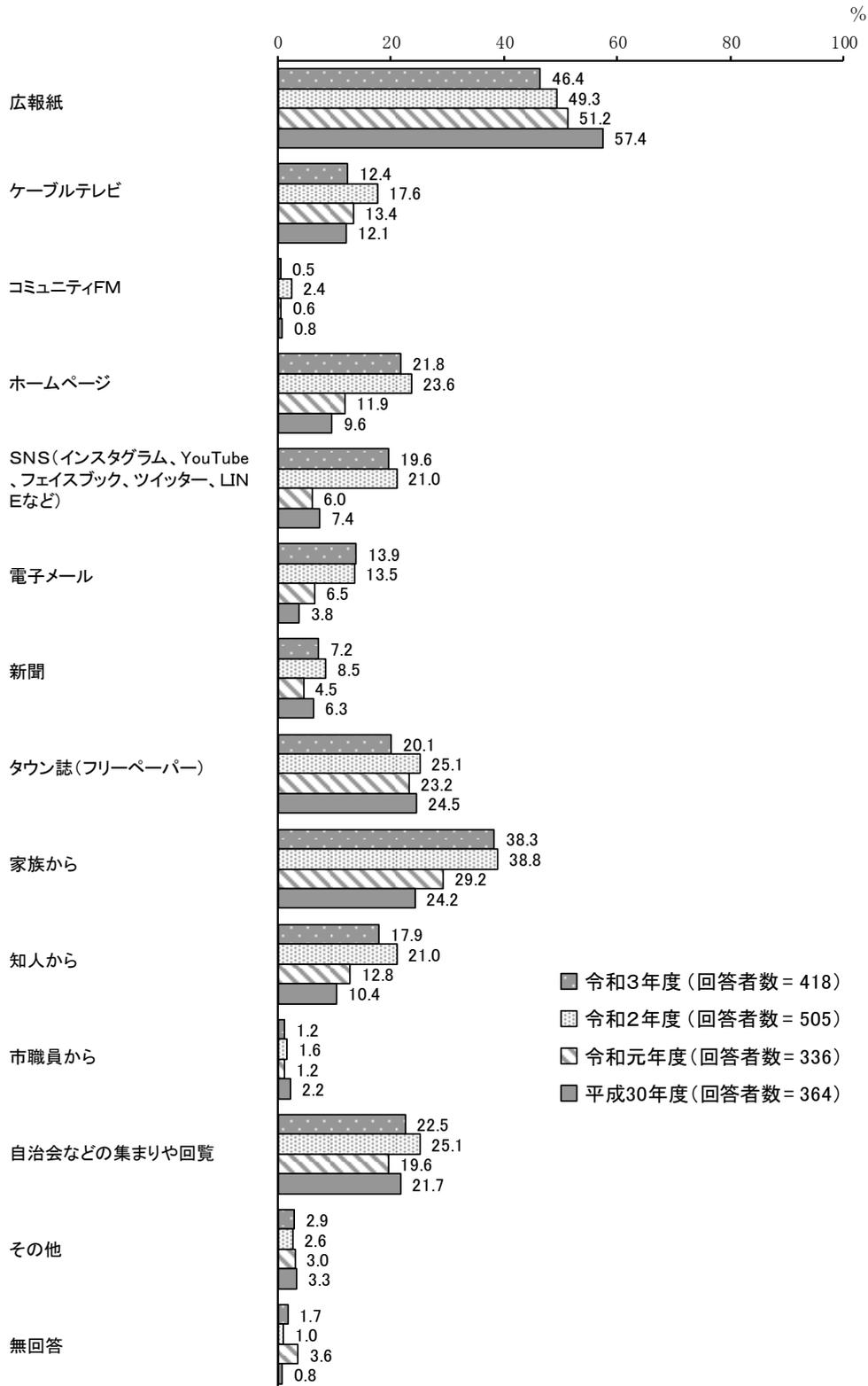
令和2年度以前の調査と比較すると、令和2年度から令和3年度にかけて「手頃な住宅価格や家賃」「子育てや教育環境の充実」の割合が増加しています。



問 11 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。(回答複数可)

「広報紙」の割合が46.4%と最も高く、次いで「家族から」の割合が38.3%、「自治会などの集まりや回覧」の割合が22.5%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、「広報紙」の割合が減少する傾向がみられます。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「ホームページ」「SNS（インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター）」「電子メール」「タウン誌（フリーペーパー）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS（インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
男性	174	46.6	12.1	1.1	15.5	16.1	6.3	10.3	16.7	42.5	19.5	1.1	21.3	2.3	1.7
女性	243	46.5	12.8	—	26.3	22.2	19.3	4.9	22.6	35.0	16.9	1.2	23.5	3.3	1.6
その他	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—

【年代別】

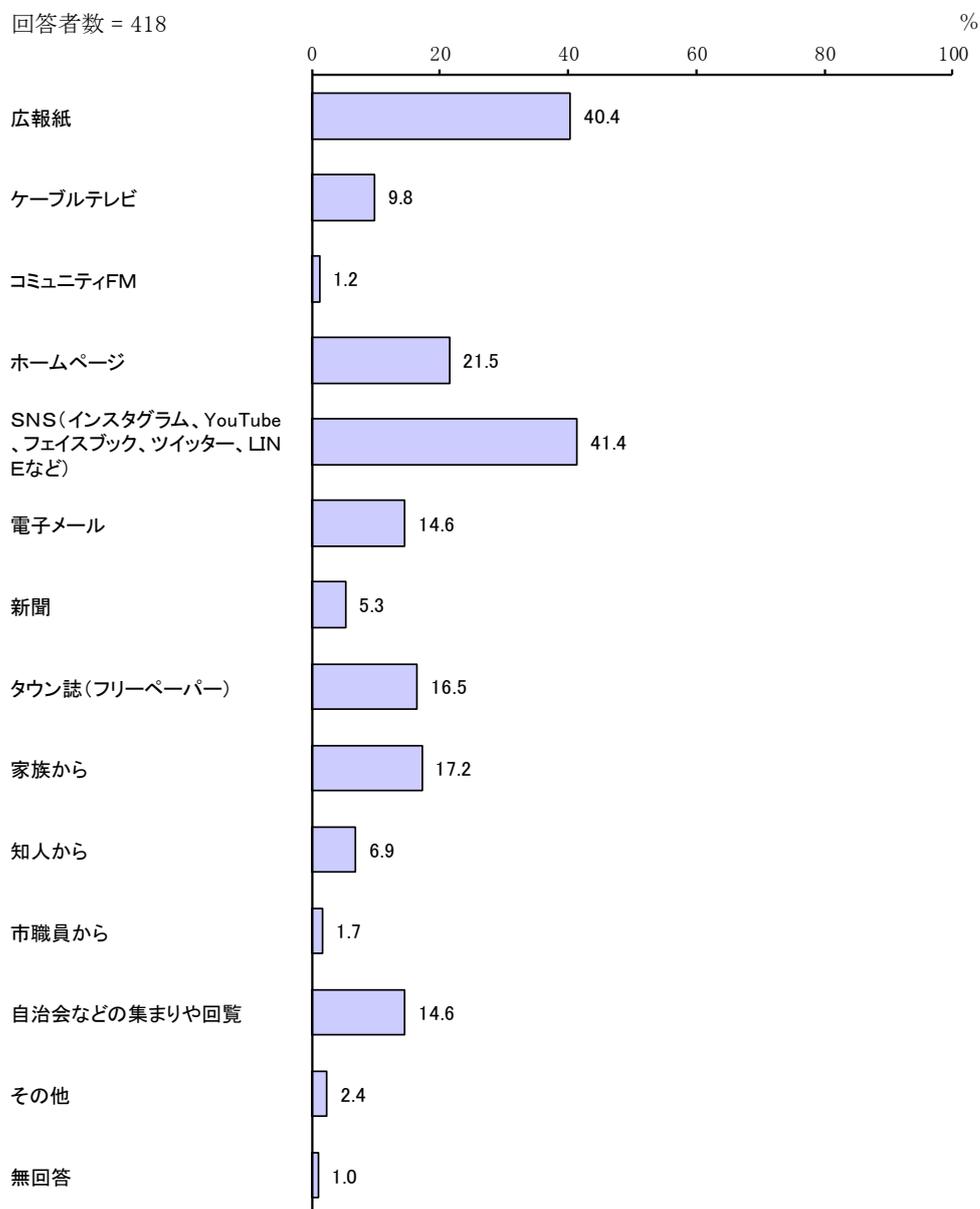
年代別でみると、年齢が上がるにつれ「広報紙」「ホームページ」「電子メール」「タウン誌（フリーペーパー）」「知人から」の割合が高くなっています。また、年齢が下がるにつれ「家族から」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS（インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど）	電子メール	新聞	タウン誌（フリーペーパー）	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
10歳代	66	34.8	15.2	—	12.1	9.1	7.6	12.1	6.1	51.5	13.6	—	21.2	6.1	—
20歳代	142	37.3	11.3	0.7	19.0	19.0	8.5	5.6	17.6	45.8	15.5	2.1	14.8	2.1	2.1
30歳代	210	56.2	12.4	0.5	26.7	23.3	19.5	6.7	26.2	29.0	21.0	1.0	28.1	2.4	1.9

問 12 あなたは、市の情報をどのように受け取りたいですか。(回答複数可)

「SNS (インスタグラム、YouTube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど)」の割合が41.4%と最も高く、次いで「広報紙」の割合が40.4%、「ホームページ」の割合が21.5%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「ホームページ」「SNS（インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど）」「電子メール」「タウン誌（フリーペーパー）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS(インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど)	電子メール	新聞	タウン誌(フリーペーパー)	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
男性	174	41.4	12.1	1.7	19.5	36.2	8.6	6.3	13.2	22.4	9.2	2.3	14.9	1.1	0.6
女性	243	39.9	8.2	0.8	23.0	44.9	18.9	4.5	18.9	13.6	5.3	1.2	14.4	3.3	1.2
その他	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

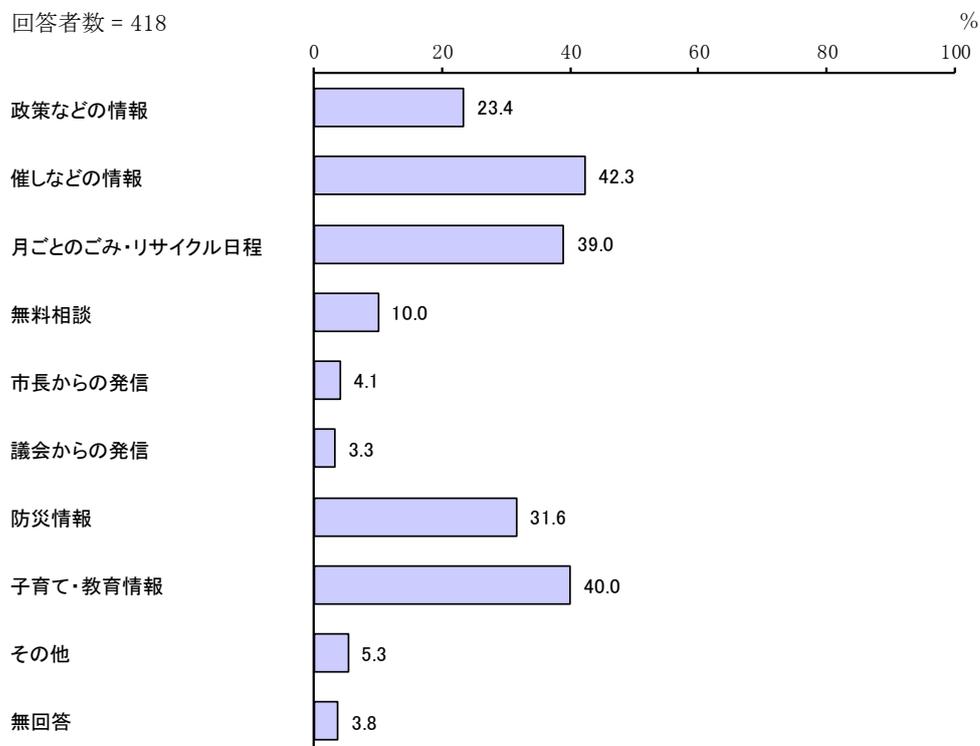
年代別でみると、年齢が高くなるにつれ「広報紙」「電子メール」の割合が、年齢が下がるにつれ「家族から」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、30歳代で「ホームページ」「タウン誌（フリーペーパー）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	広報紙	ケーブルテレビ	コミュニティFM	ホームページ	SNS(インスタグラム、Youtube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど)	電子メール	新聞	タウン誌(フリーペーパー)	家族から	知人から	市職員から	自治会などの集まりや回覧	その他	無回答
10歳代	66	33.3	10.6	1.5	13.6	43.9	9.1	9.1	4.5	28.8	4.5	—	10.6	4.5	—
20歳代	142	33.8	9.2	0.7	20.4	44.4	7.0	5.6	15.5	16.2	6.3	2.8	12.7	2.8	—
30歳代	210	47.1	10.0	1.4	24.8	38.6	21.4	3.8	21.0	14.3	8.1	1.4	17.1	1.4	1.9

問 13 あなたは、次のうちどのようなものに興味がありますか。(回答複数可)

「催しなどの情報」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「子育て・教育情報」の割合が 40.0%、「月ごとのごみ・リサイクル日程」の割合が 39.0%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「政策などの情報」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「月ごとのごみ・リサイクル日程」「防災情報」「子育て・教育情報」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	政策などの情報	催しなどの情報	月ごとのごみ・ リサイクル日程	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育て・ 教育情報	その他	無回答
男性	174	35.1	39.7	33.9	7.5	6.3	5.2	28.7	30.5	5.7	4.6
女性	243	15.2	44.0	42.8	11.9	2.5	2.1	33.7	46.9	4.9	3.3
その他	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「月ごとのごみ・リサイクル日程」「無料相談」「子育て・教育情報」の割合が高くなっています。

単位：％

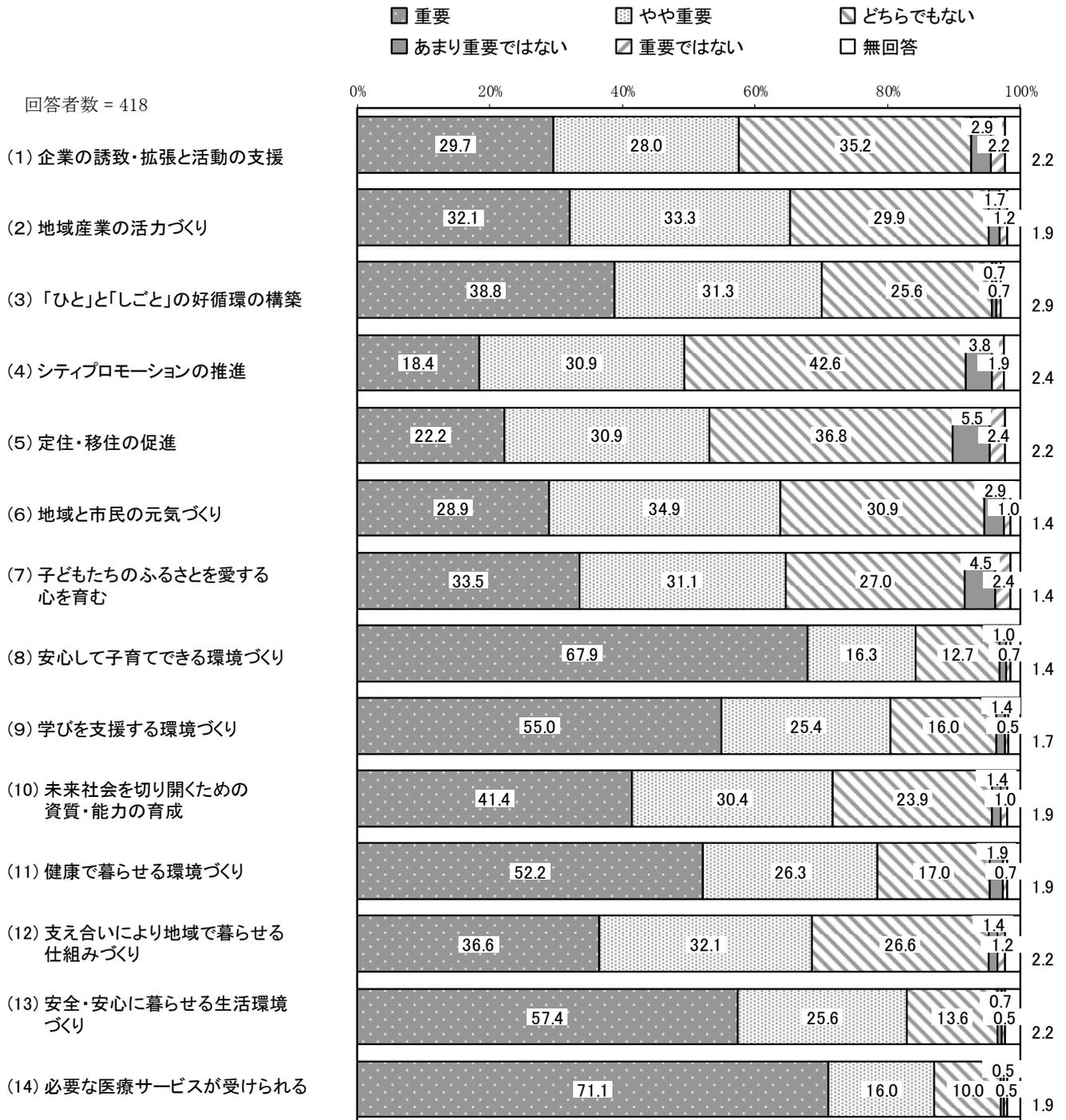
区分	有効回答数 (件)	政策などの情報	催しなどの情報	月ごとのごみ・ リサイクル日程	無料相談	市長からの発信	議会からの発信	防災情報	子育て・ 教育情報	その他	無回答
10 歳代	66	19.7	47.0	6.1	4.5	1.5	1.5	36.4	18.2	7.6	7.6
20 歳代	142	27.5	35.2	35.9	9.2	6.3	5.6	29.6	31.7	7.0	4.2
30 歳代	210	21.9	45.7	51.4	12.4	3.3	2.4	31.4	52.4	3.3	2.4

(3) 施策の重要度と満足度について

問 14 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。
5点満点で評価し、該当する数字を1つずつ○で囲んでください。

①重要度

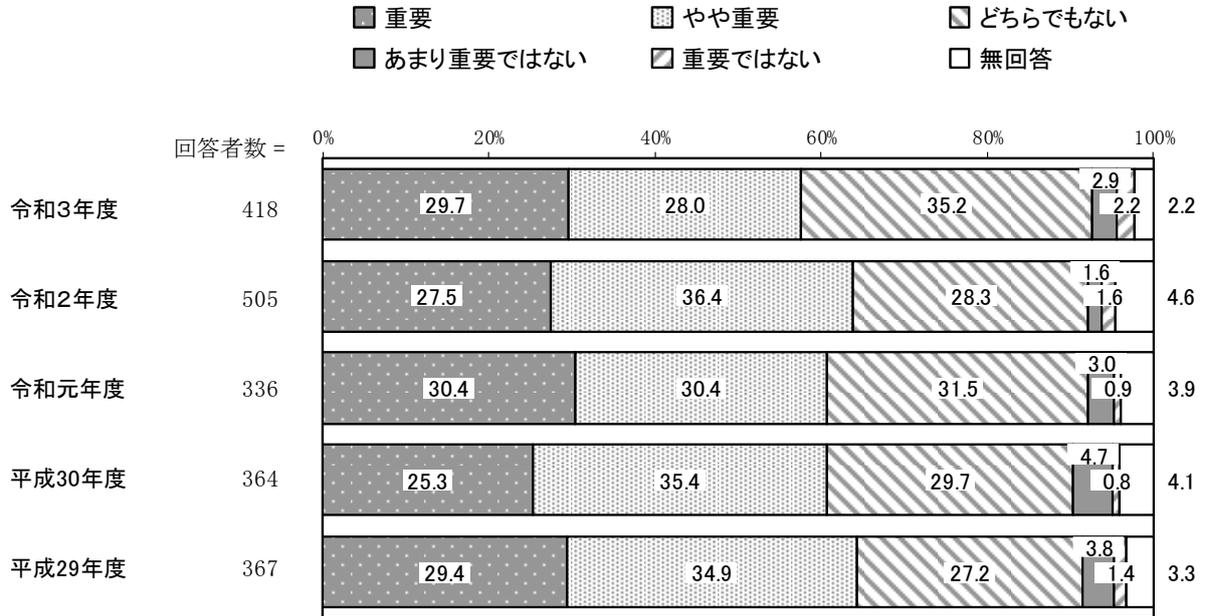
『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』で「重要」と「やや重要」をあわせた“重要”の割合が高くなっています。



(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

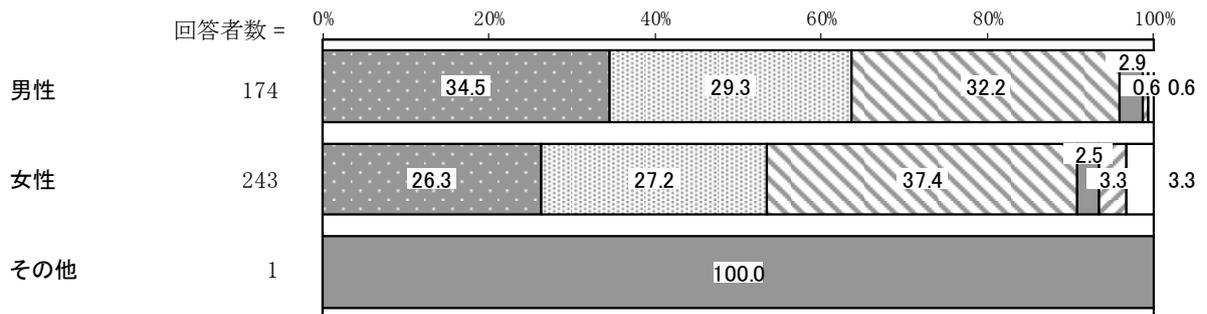
「重要」と「やや重要」をあわせた“重要”の割合が57.7%、「あまり重要ではない」と「重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合が5.1%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



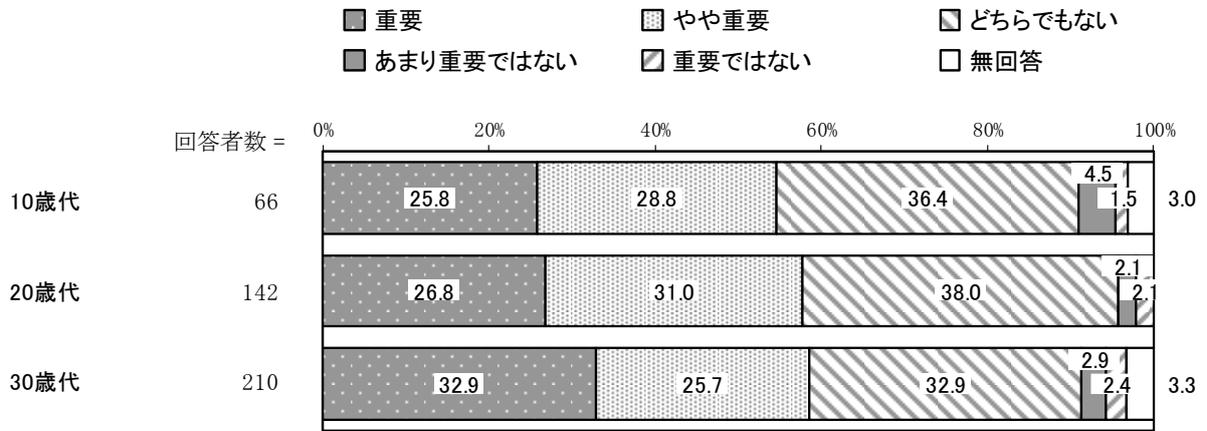
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



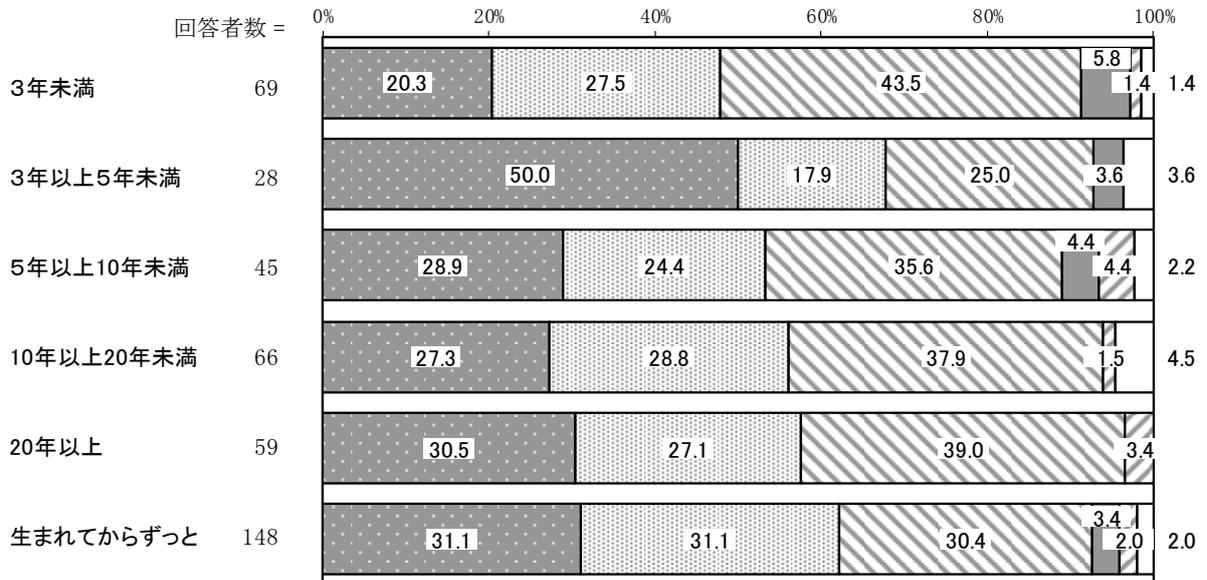
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

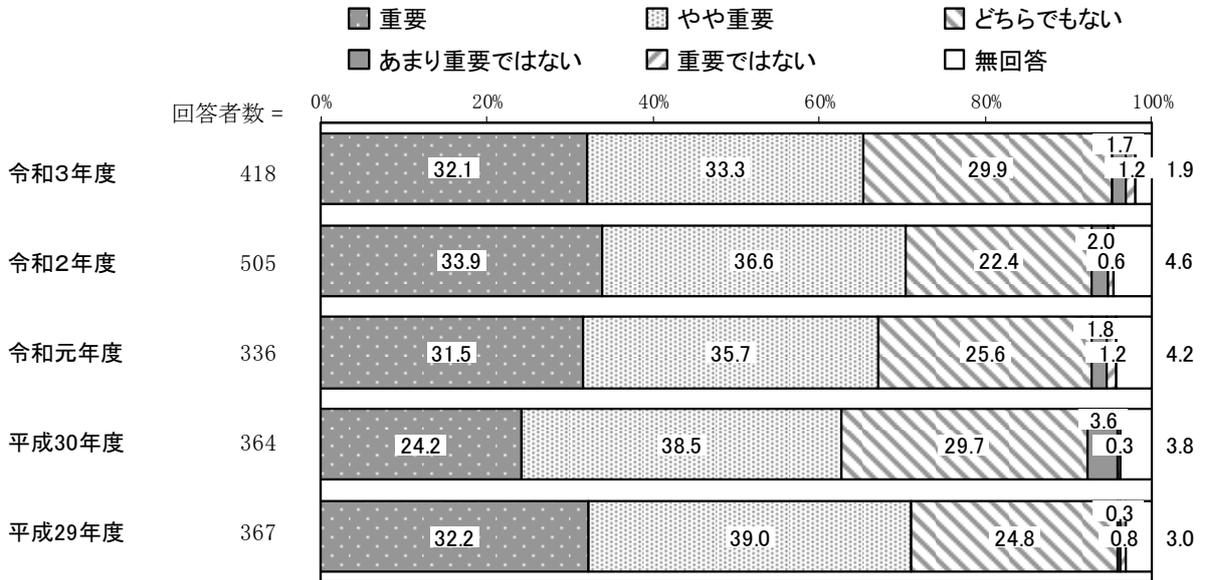
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“重要”の割合が高く、7割近くとなっています。



(2) 地域産業の活力づくり

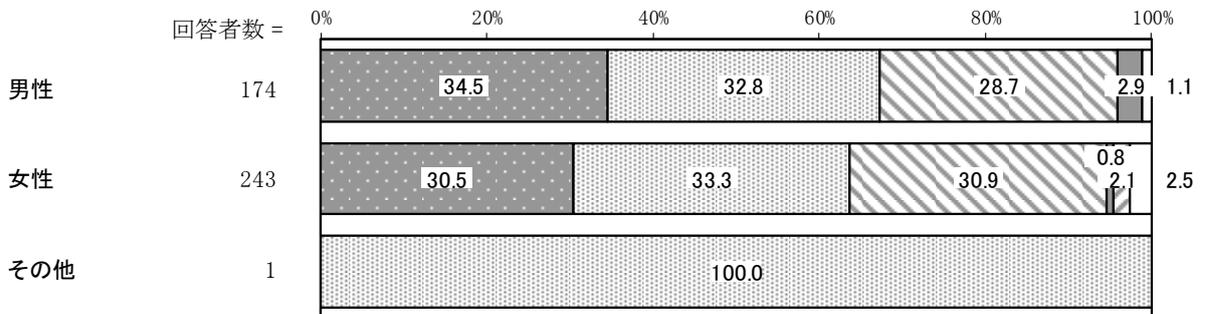
“重要”の割合が65.4%、“重要ではない”の割合が2.9%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降“重要”の割合が増加する傾向がみられましたが、令和3年度では減少しました。



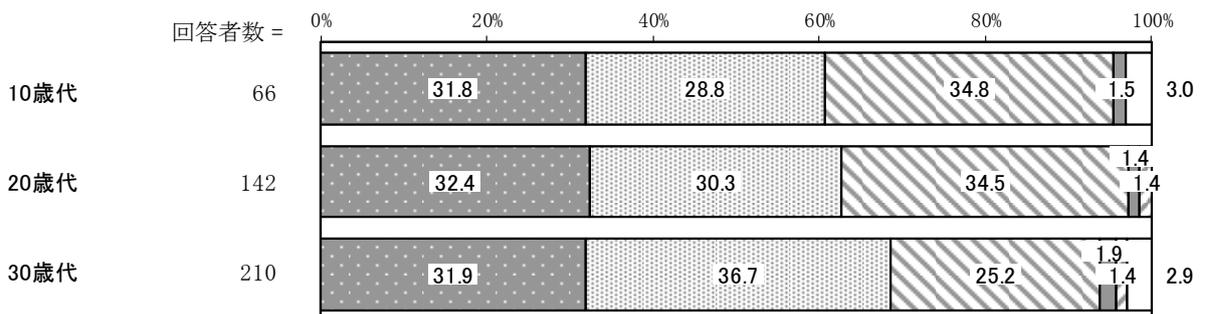
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



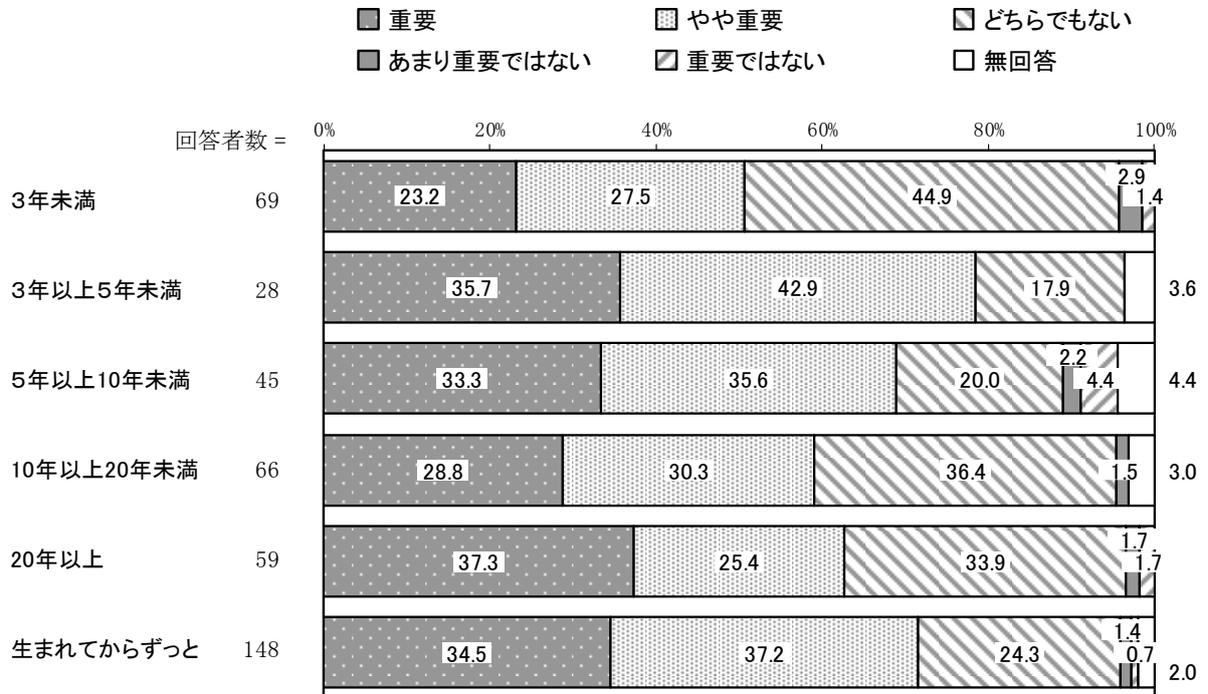
【年代別】

年代別でみると、30歳代で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



【居住年数別】

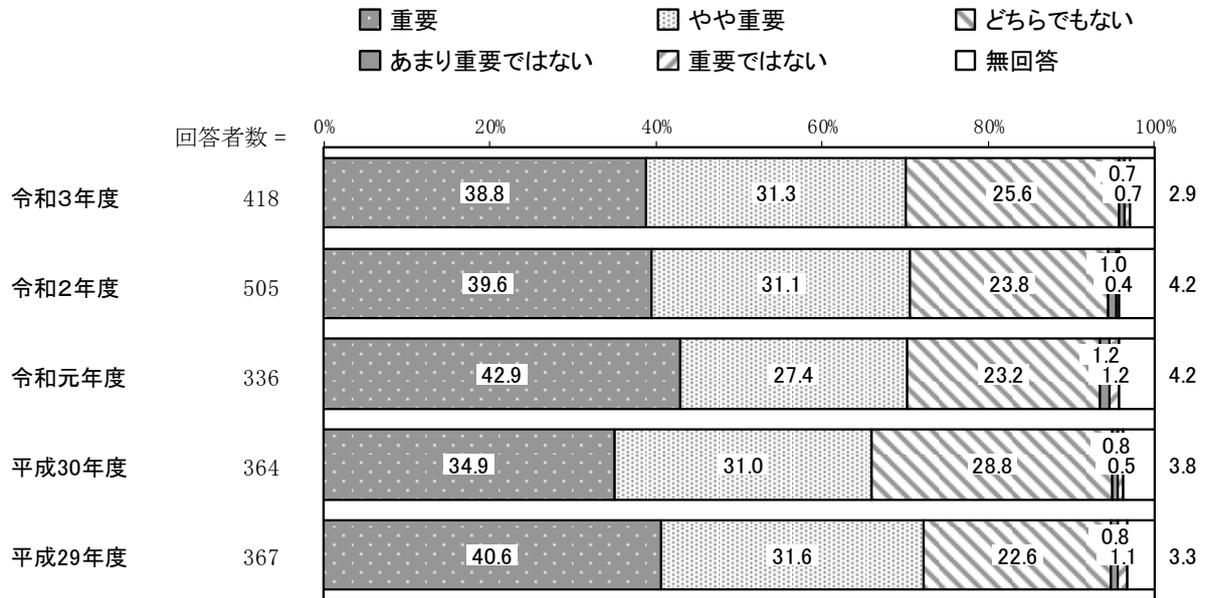
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“重要”の割合が高く、約8割となっています。また、5年以上10年未満で“重要ではない”の割合が高くなっています。



(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

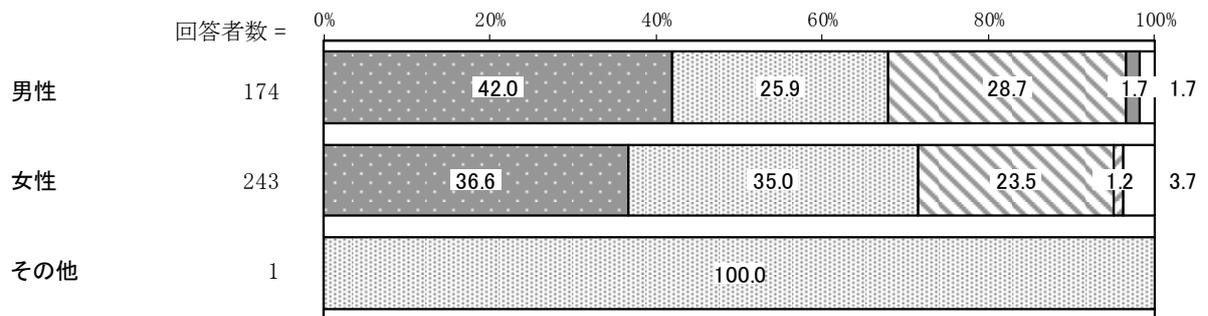
“重要”の割合が70.1%、“重要ではない”の割合が1.4%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、平成30年度に“重要”の割合が減少したものの、その後は約7割となっています。



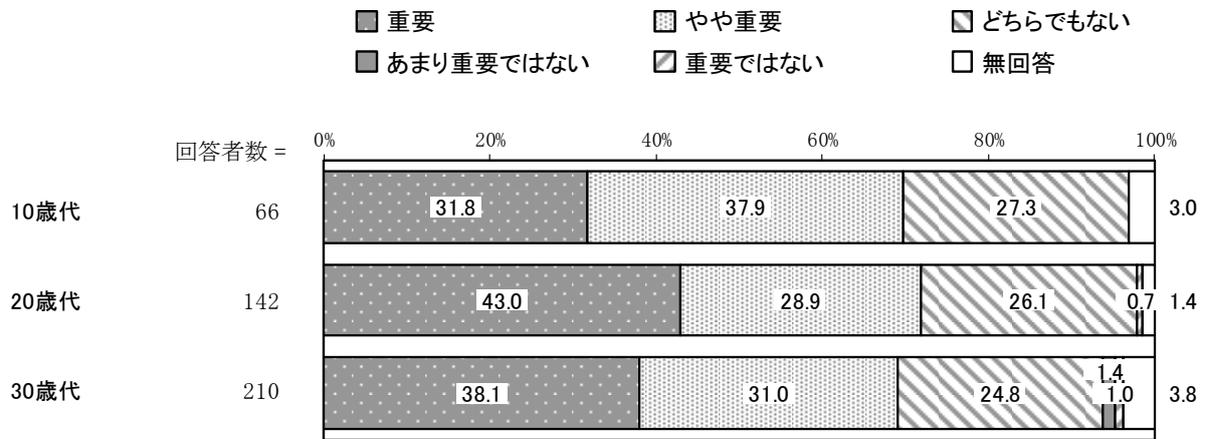
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



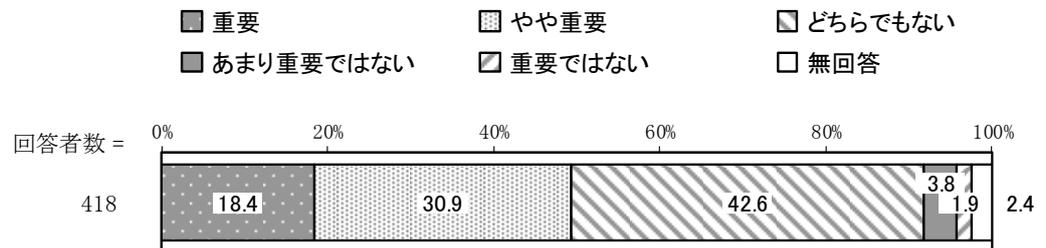
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



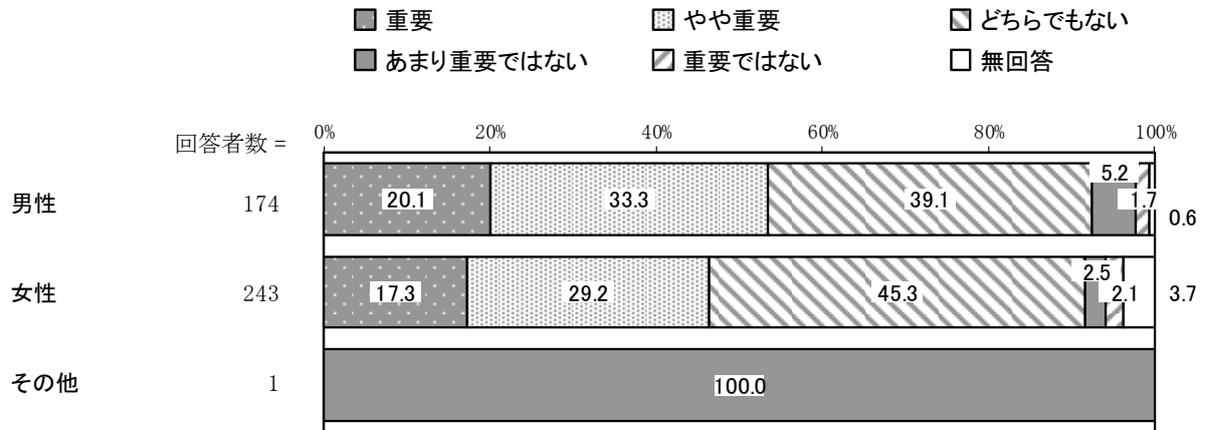
(4) シティプロモーションの推進

“重要”の割合が49.3%、“重要ではない”の割合が5.7%となっています。



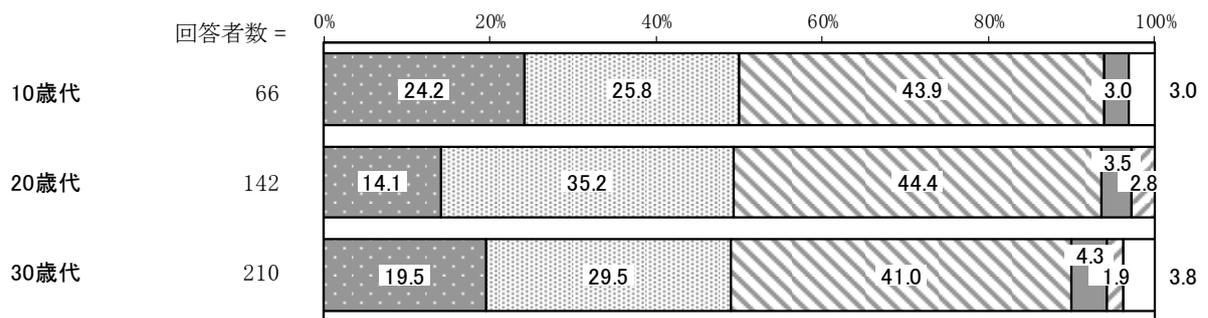
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高くなっています。



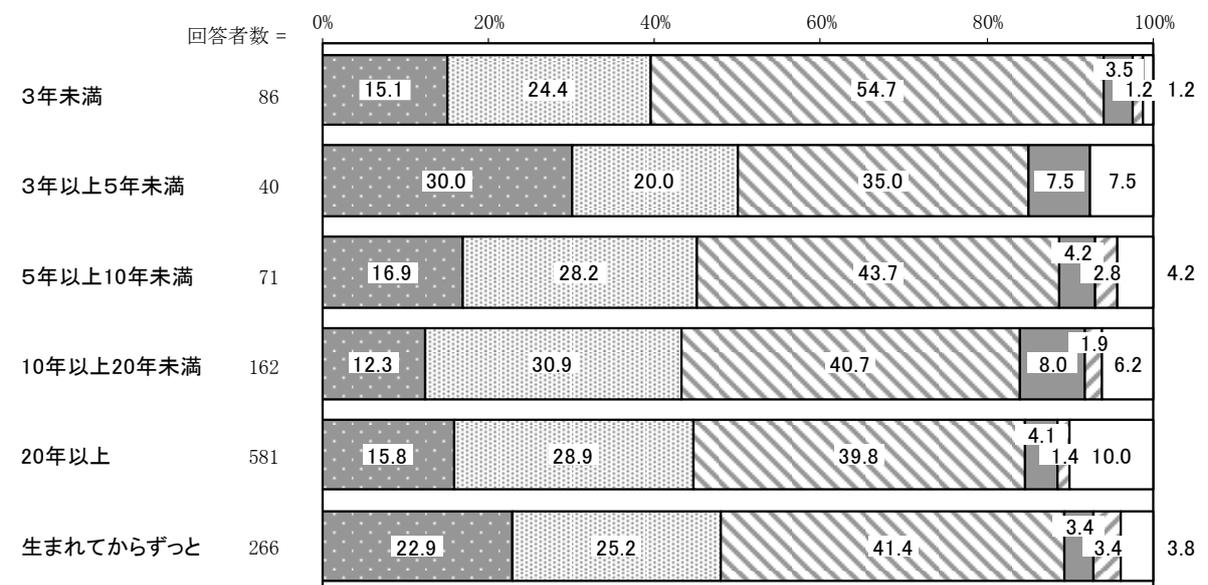
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



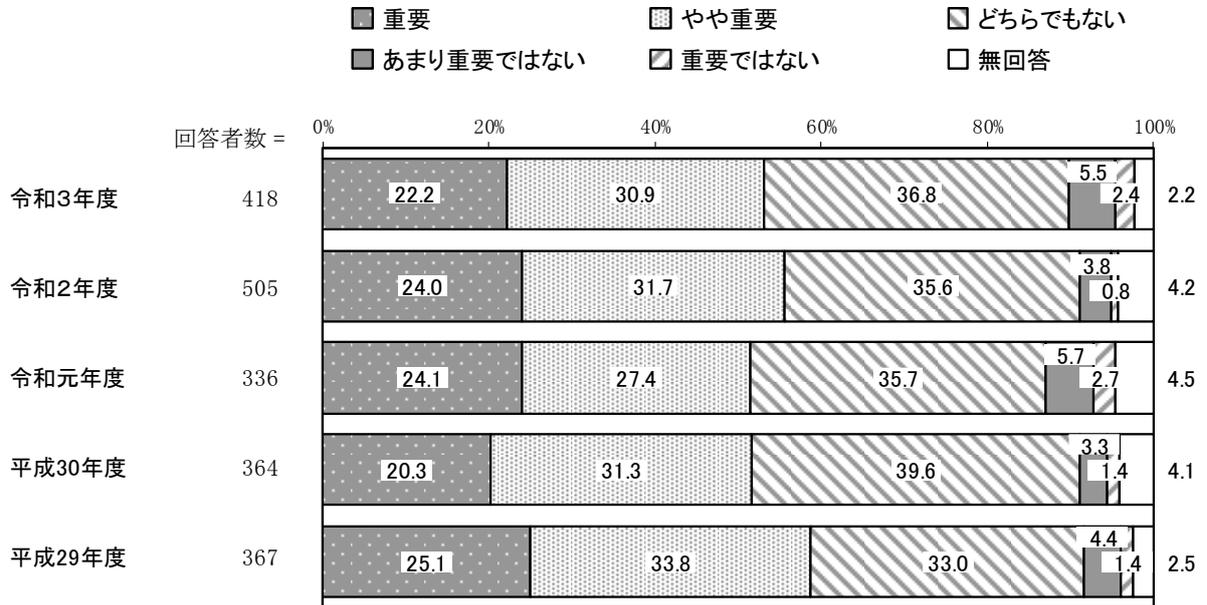
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が低く、約4割となっています。



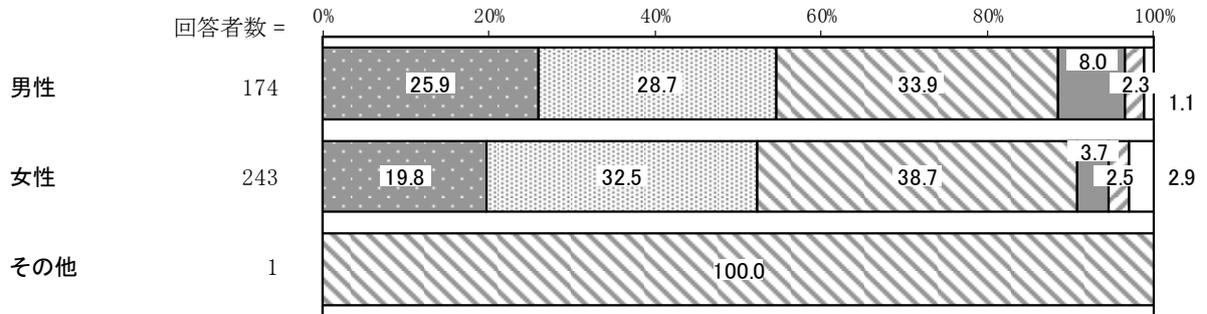
(5) 定住・移住の促進

“重要”の割合が53.1%、“重要ではない”の割合が7.9%となっています。
 令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



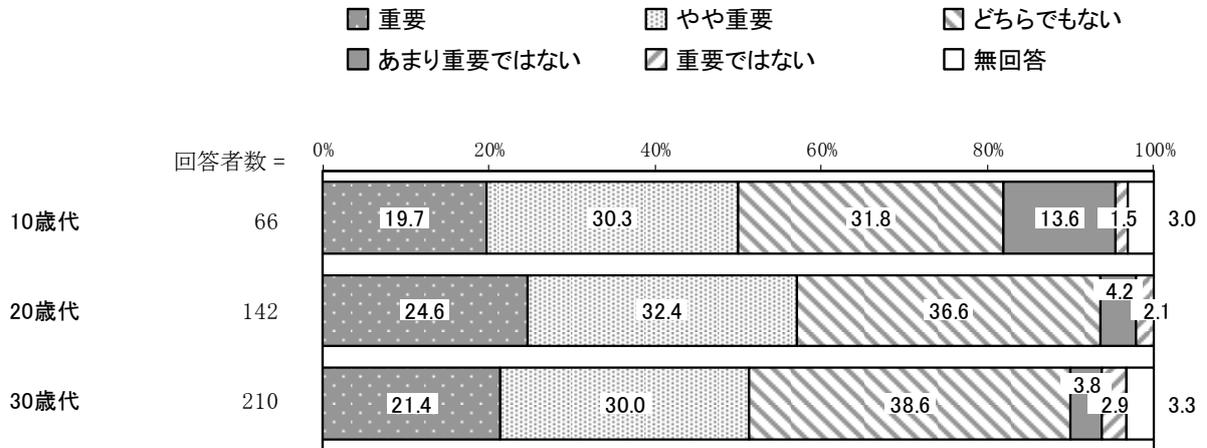
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



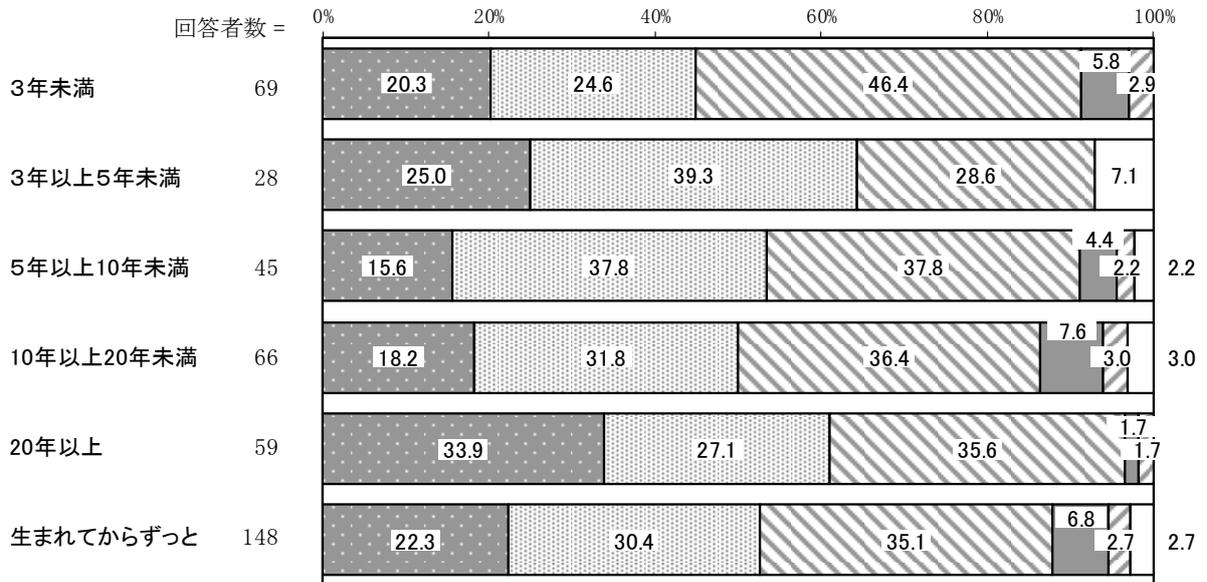
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が高く、5割台半ばとなっています。



【居住年数別】

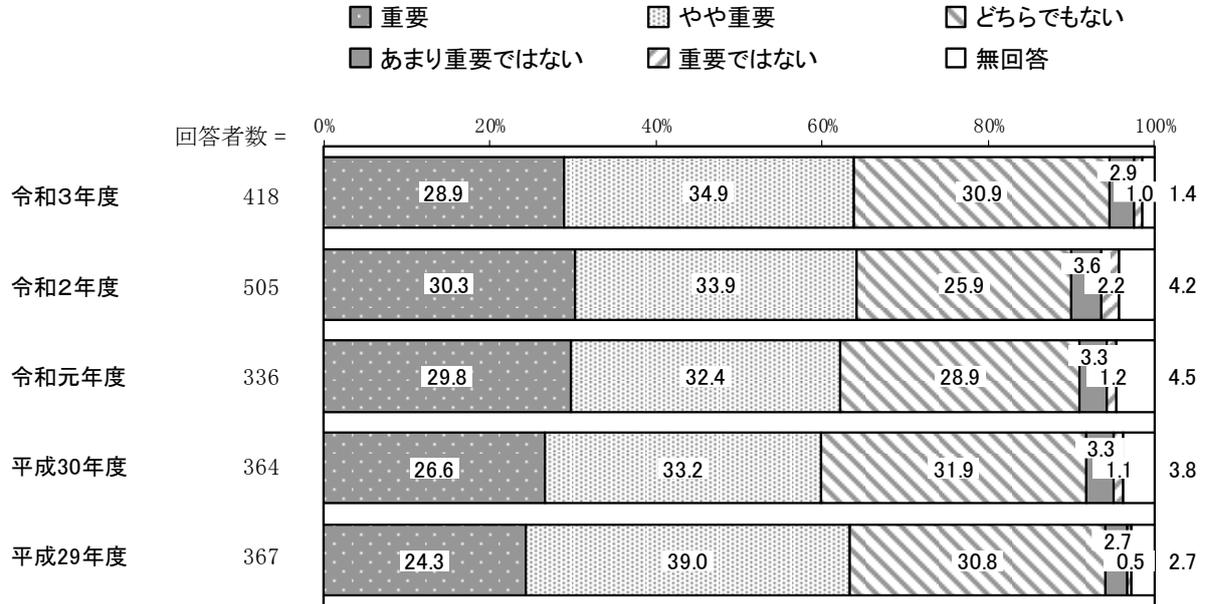
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



(6) 地域と市民の元気づくり

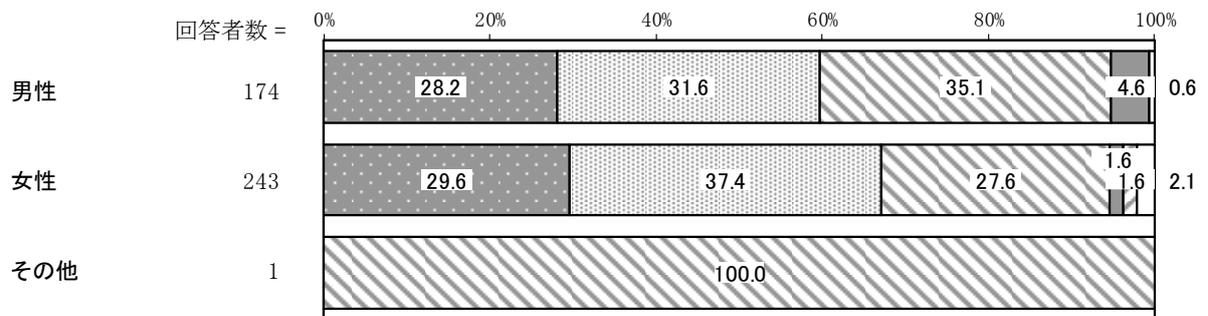
“重要”の割合が63.8%、“重要ではない”の割合が3.9%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降“重要”の割合が増加する傾向がみられます。



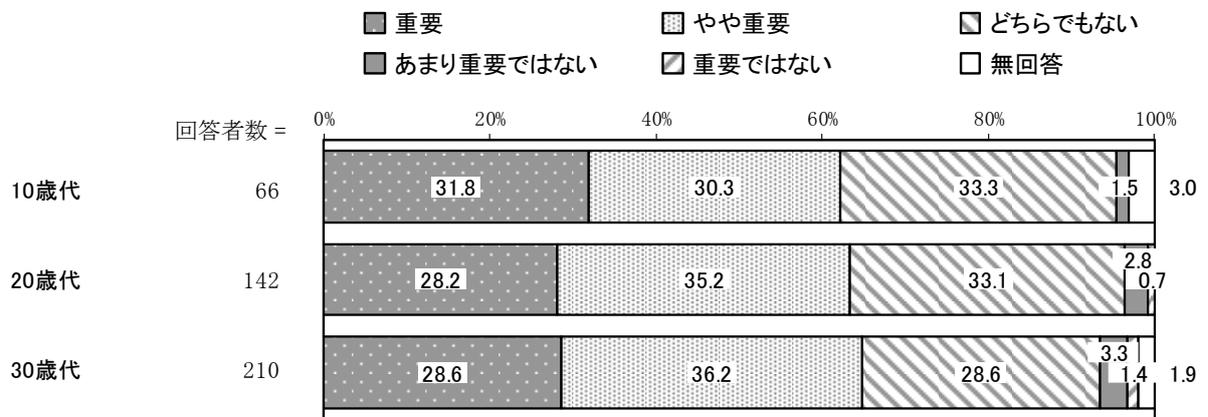
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高くなっています。



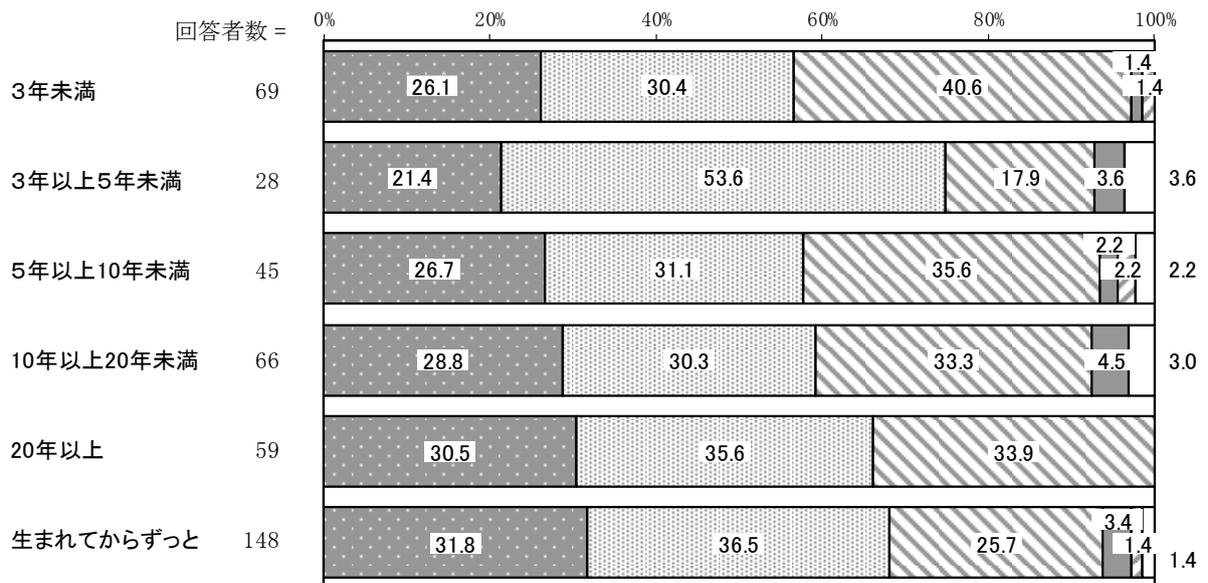
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

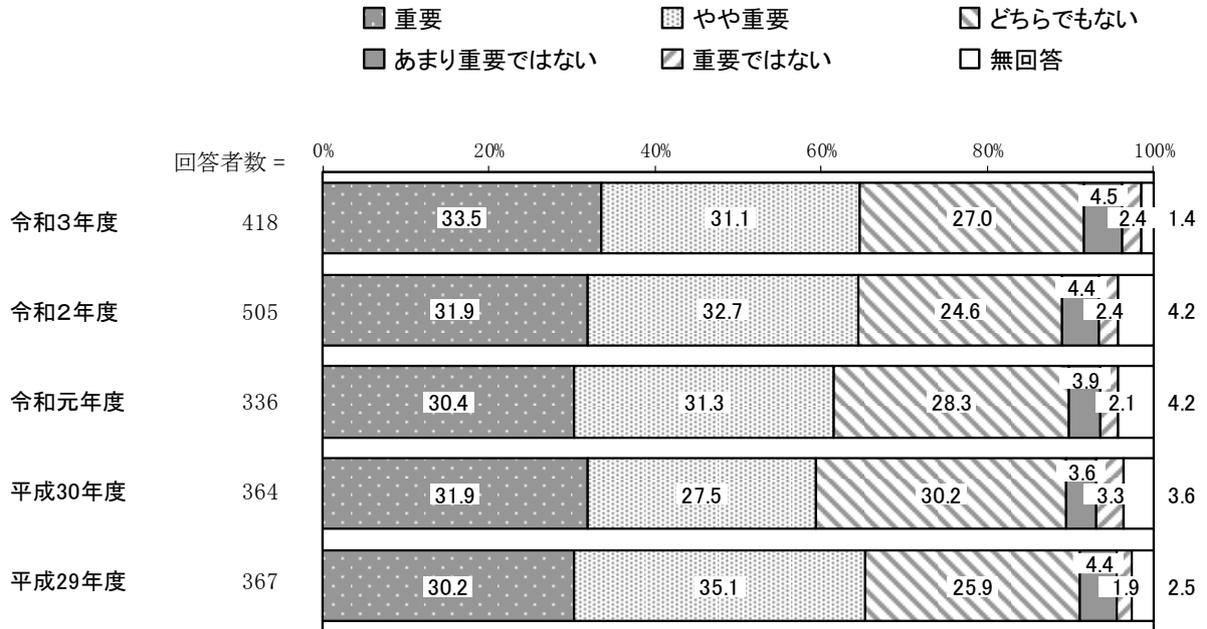
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

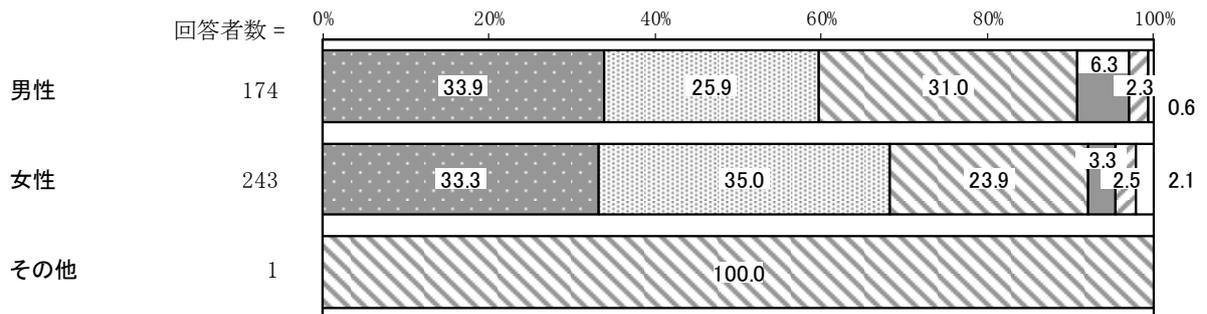
“重要”の割合が64.6%、“重要ではない”の割合が6.9%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、平成30年度まで“重要”の傾向が減少する傾向にありましたが、以降は増加する傾向がみられます。



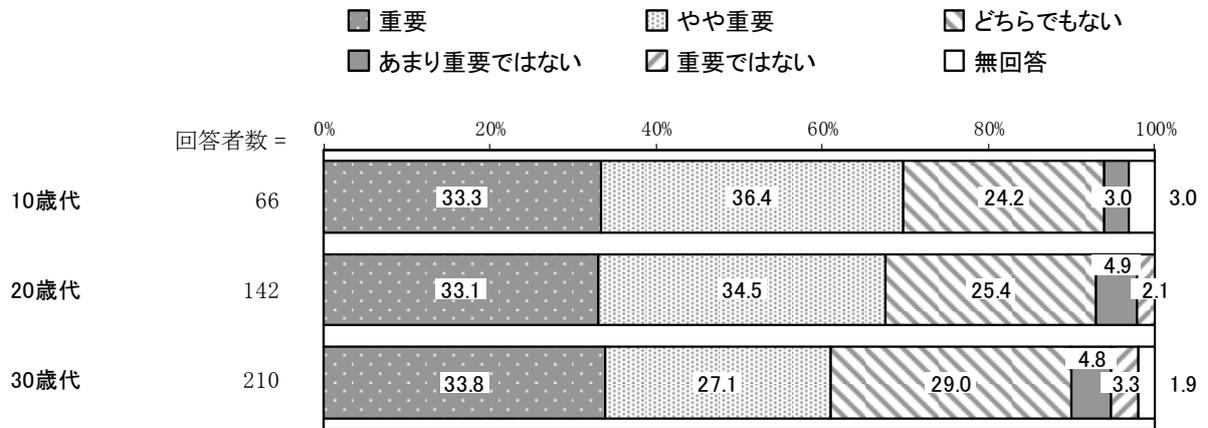
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



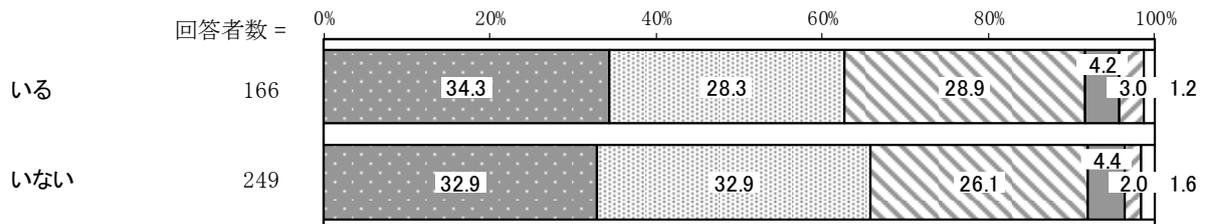
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ“重要”の割合が高くなっており、10歳代で約7割と
なっています。



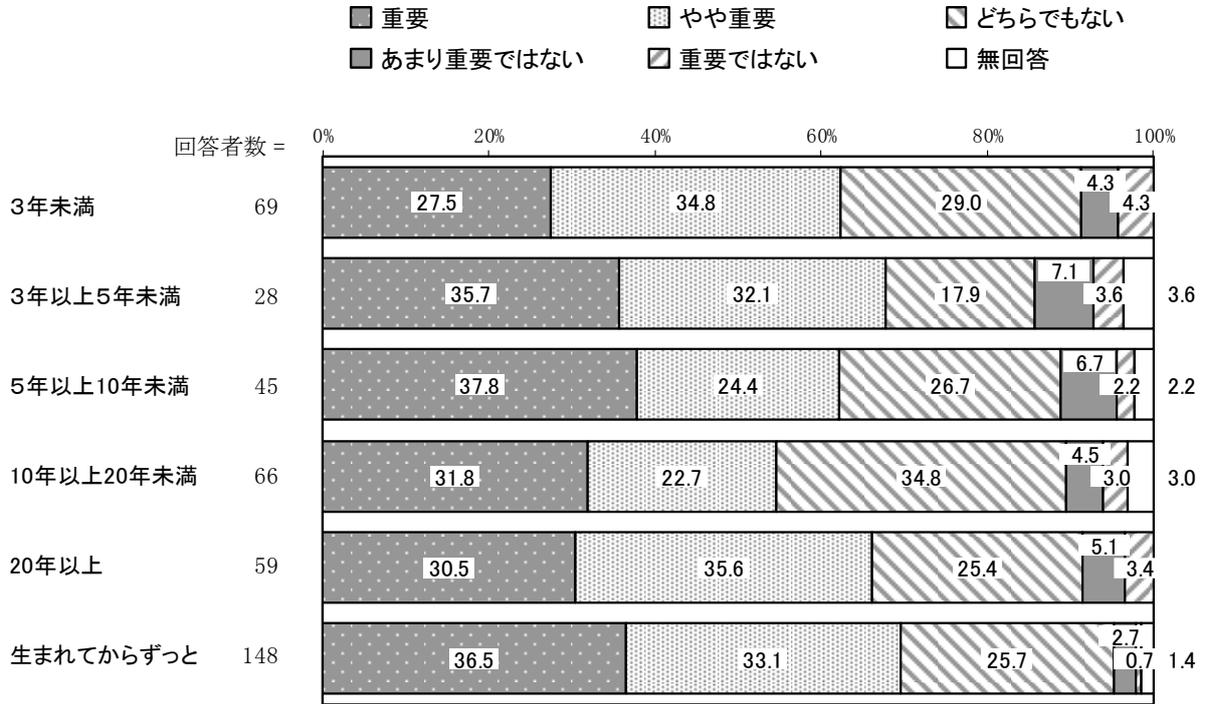
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

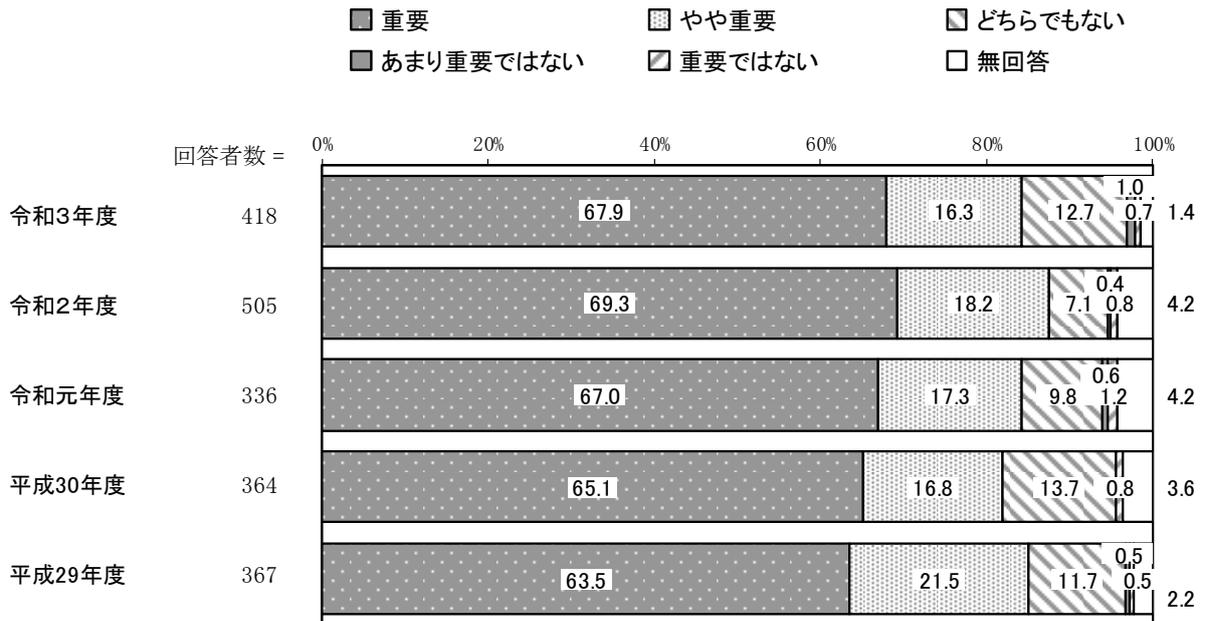
居住年数別でみると、他と比べ、生まれてからずっとで“重要ではない”の割合が低くなっています。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

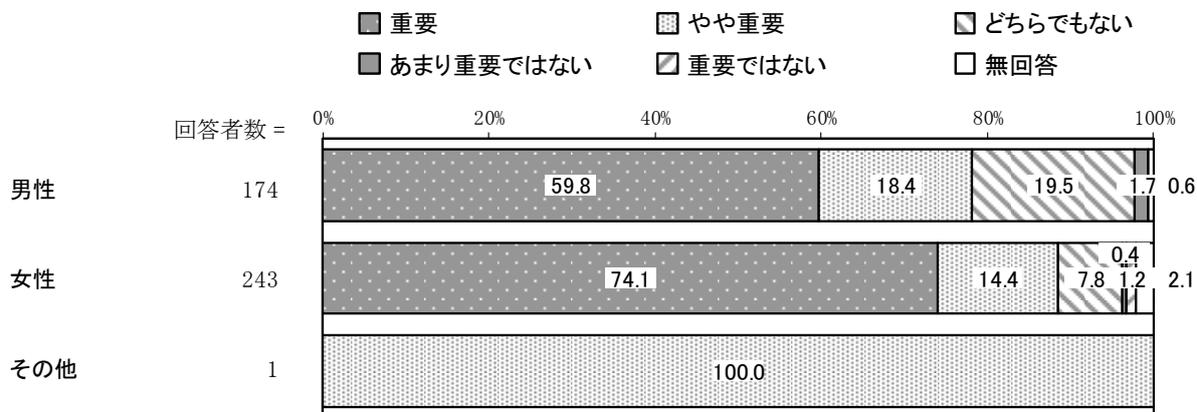
“重要”の割合が84.2%、“重要ではない”の割合が1.7%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降“重要”の割合が増加する傾向がみられましたが、令和3年度では減少しました。



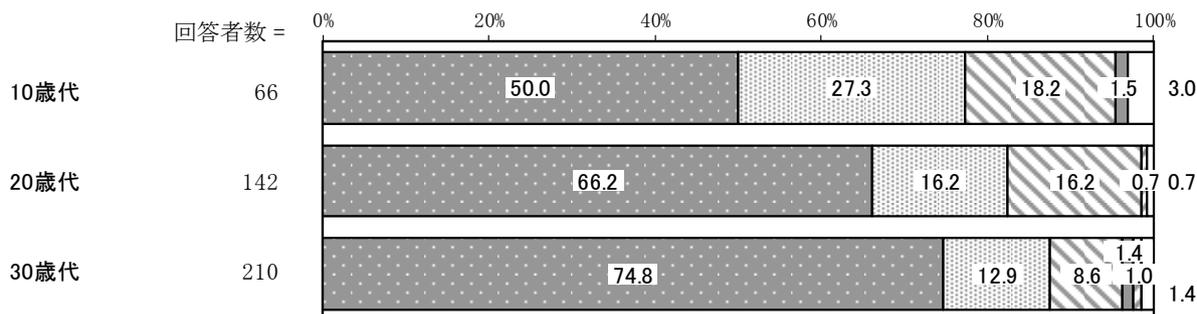
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



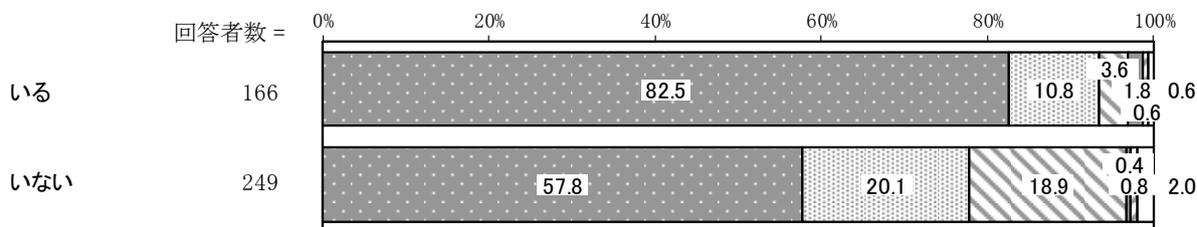
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ“重要”の割合が高くなっており、30歳代で9割近くとなっています。



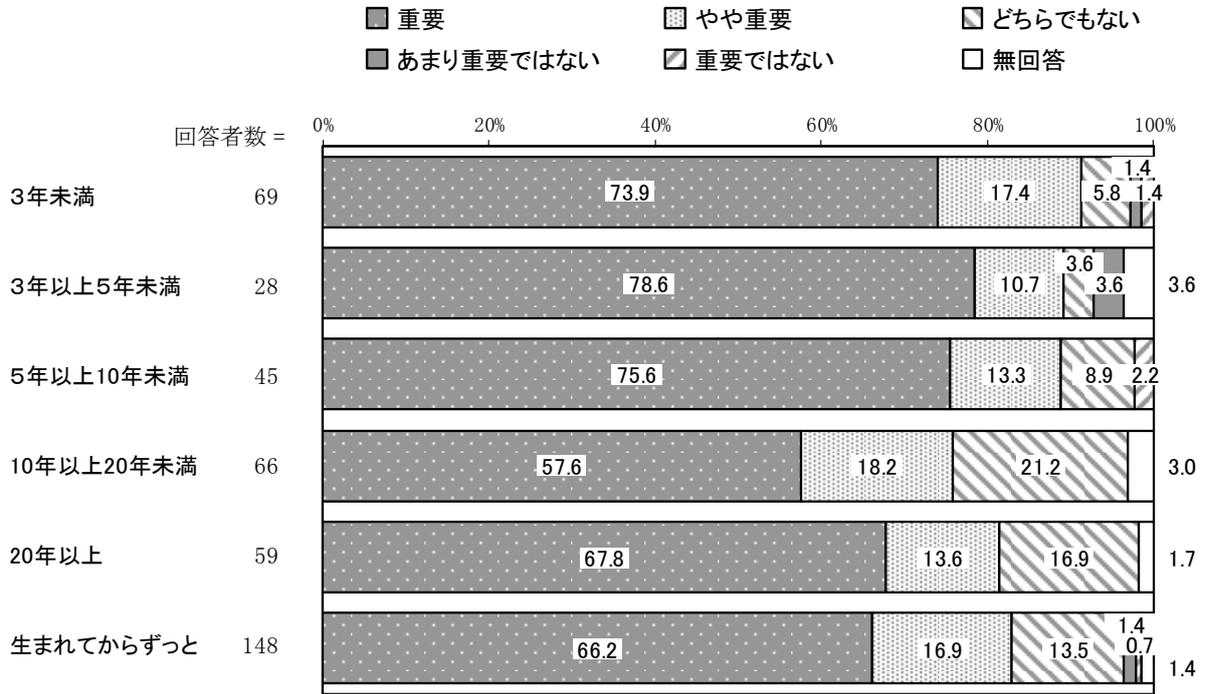
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、9割を超えています。



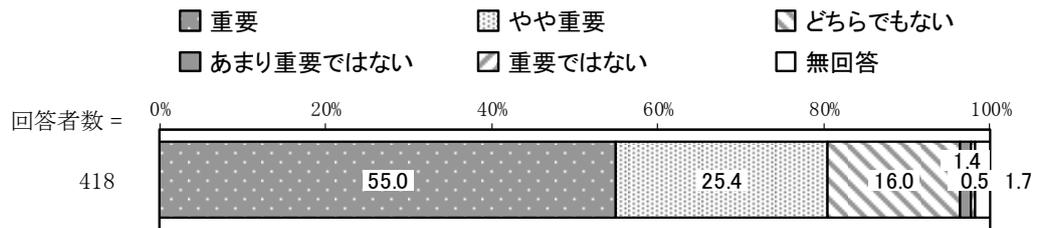
【居住年数別】

居住年数別でみると、10年以上に比べ、10年未満で“重要”の割合が高くなっています。



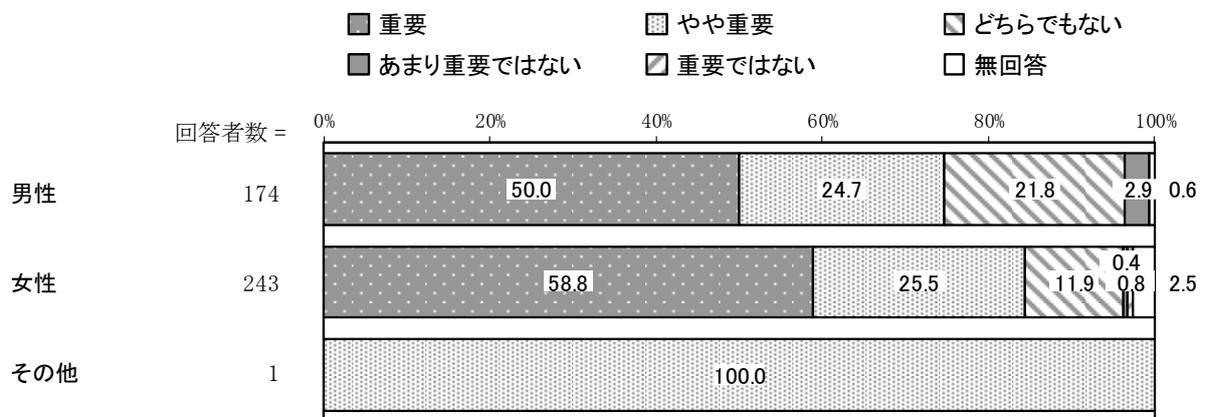
(9) 学びを支援する環境づくり

“重要”の割合が80.4%、“重要ではない”の割合が1.9%となっています。



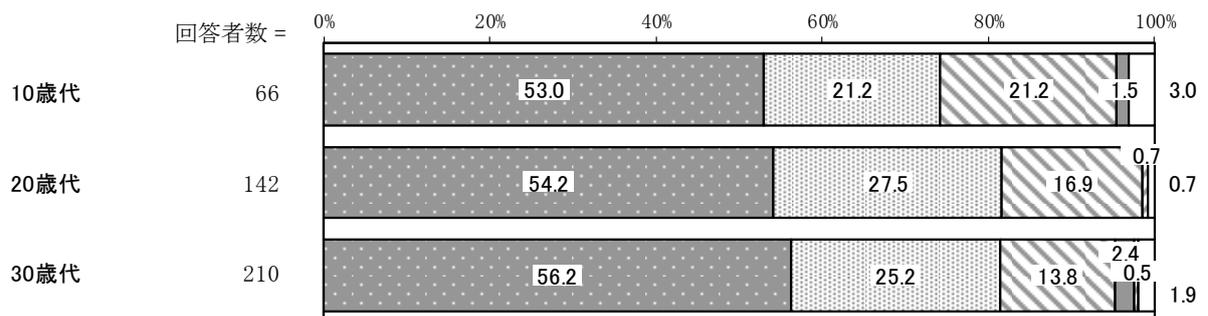
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



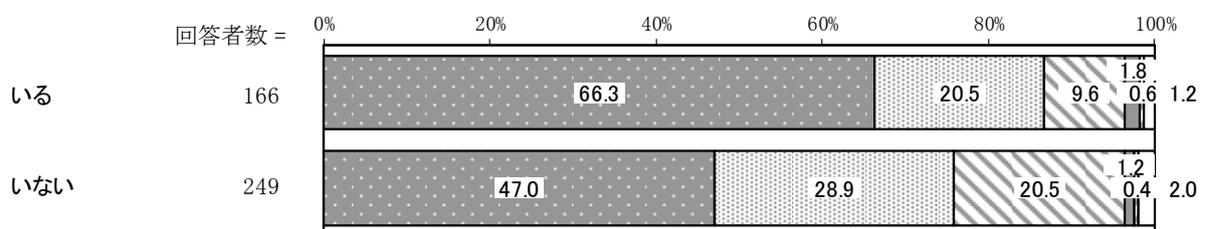
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、30歳代で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



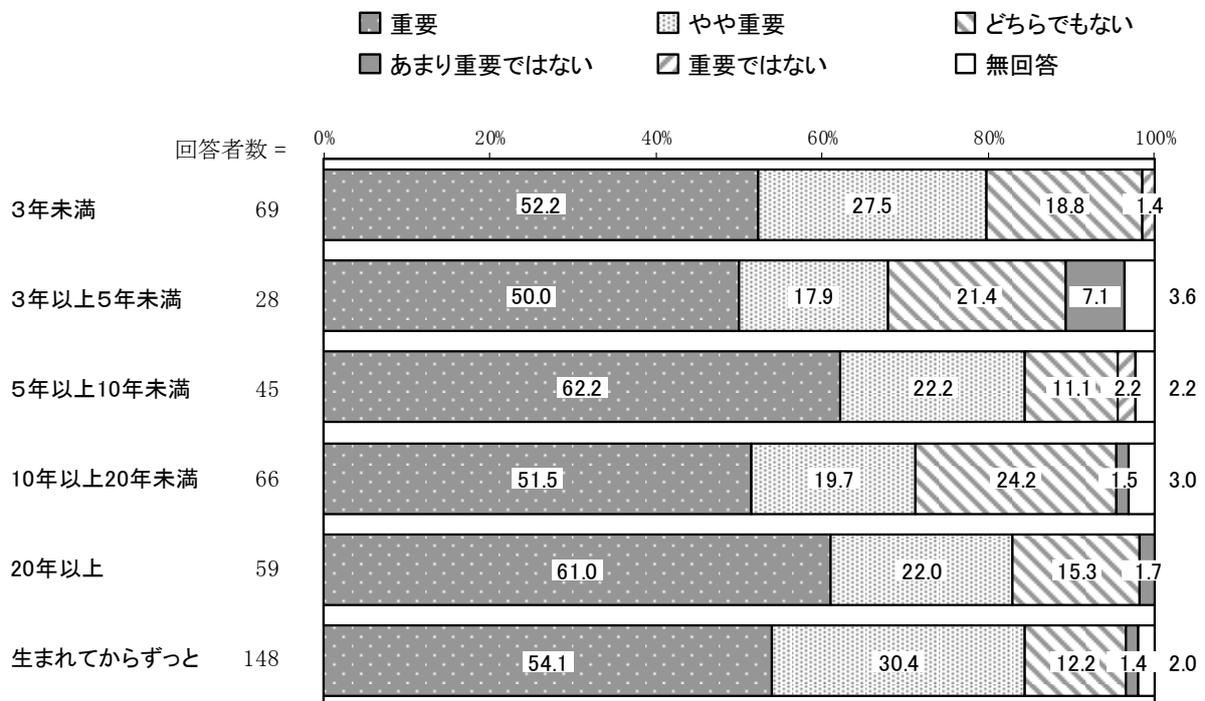
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、9割近くとなっています。



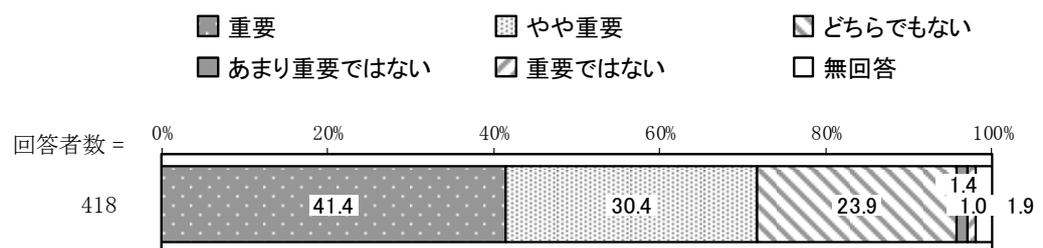
【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、5年以上10年未満、20年以上、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



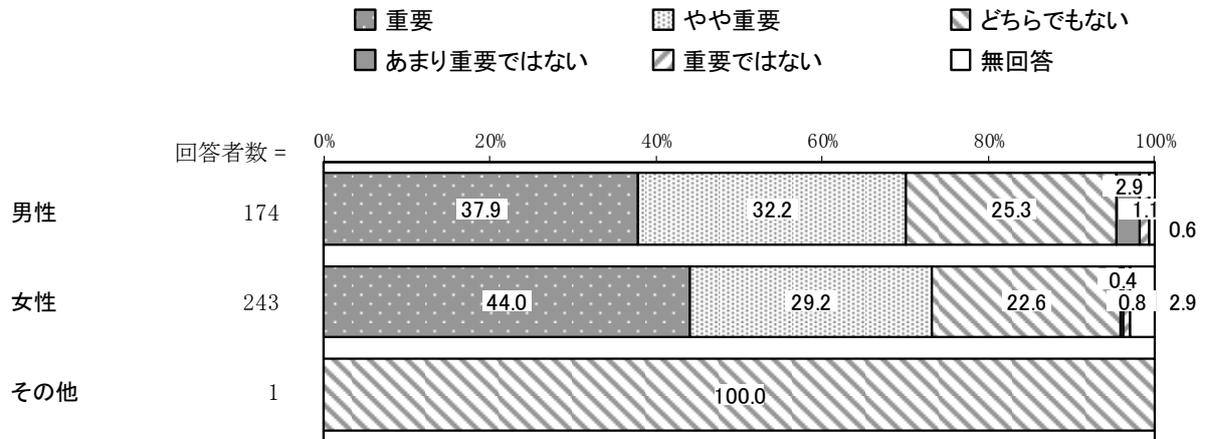
(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成

“重要”の割合が71.8%、“重要ではない”の割合が2.4%となっています。



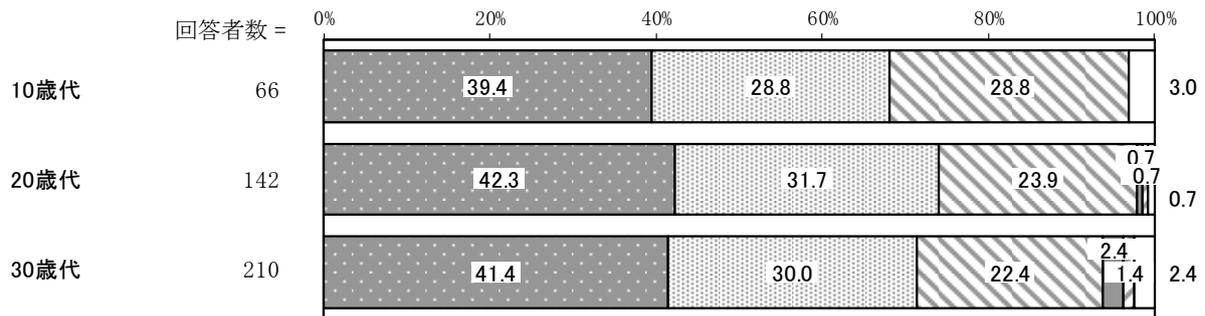
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



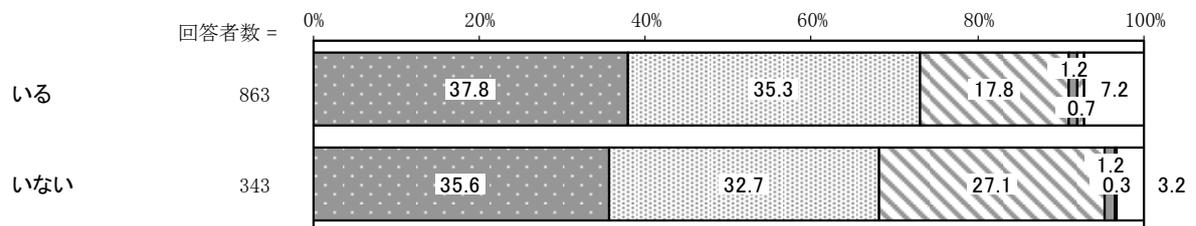
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



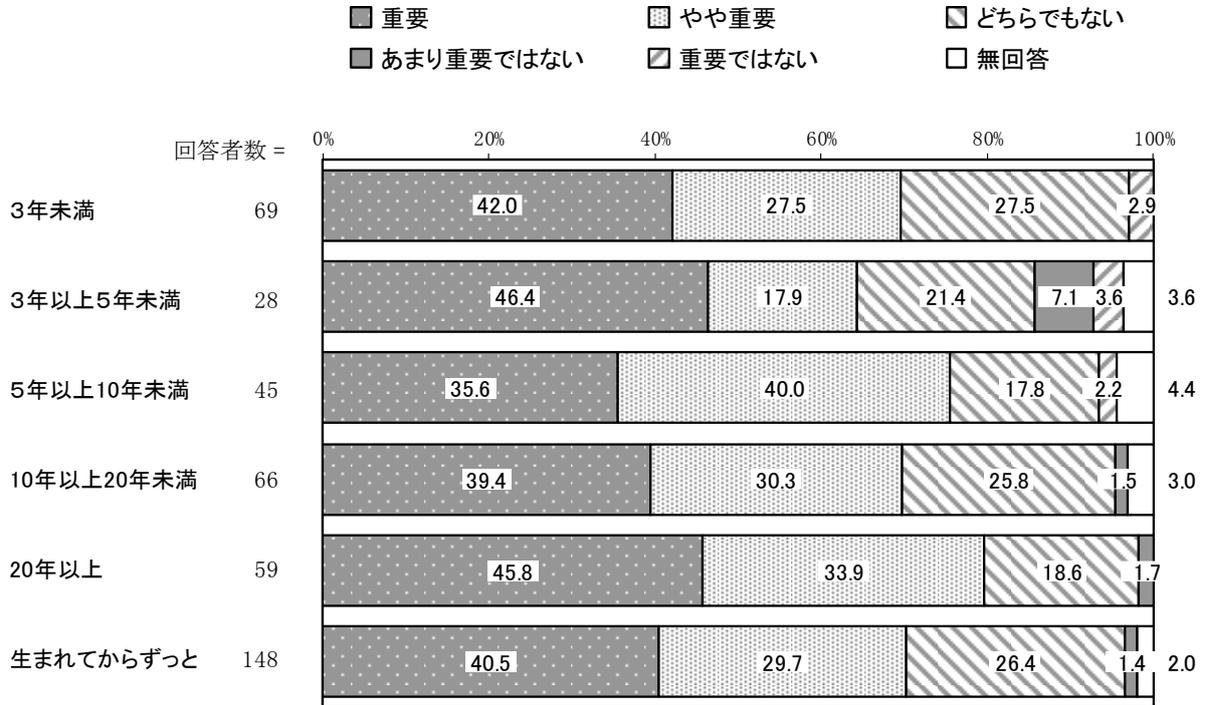
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

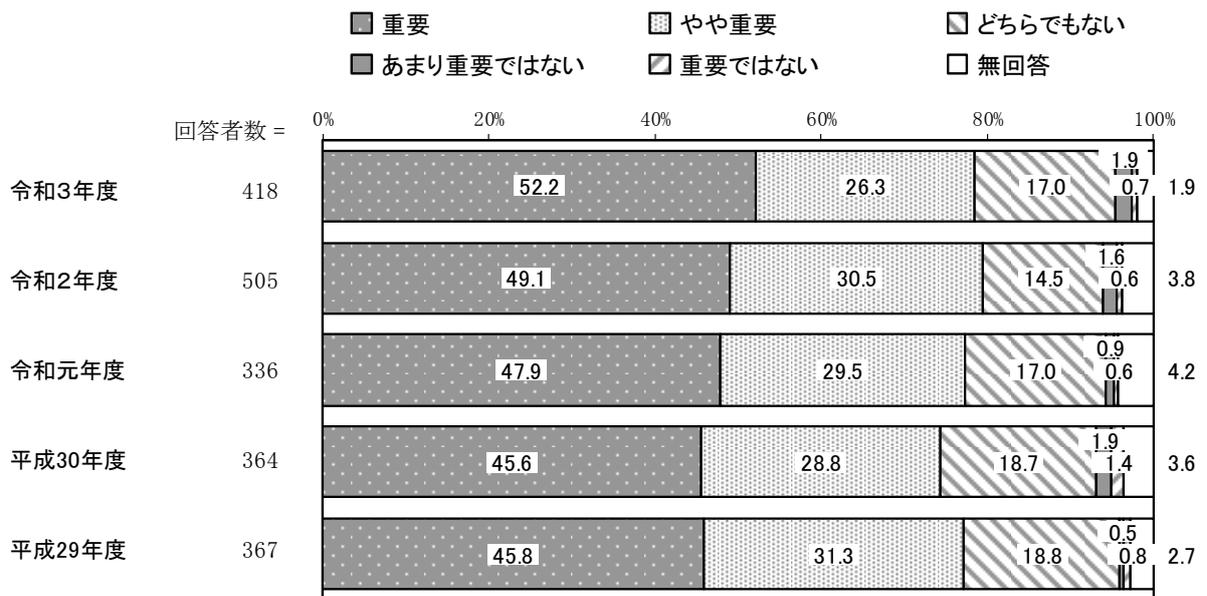
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で“重要”の割合が高く、約8割となっています。また、3年以上5年未満で“重要ではない”の割合が高く、約1割となっています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

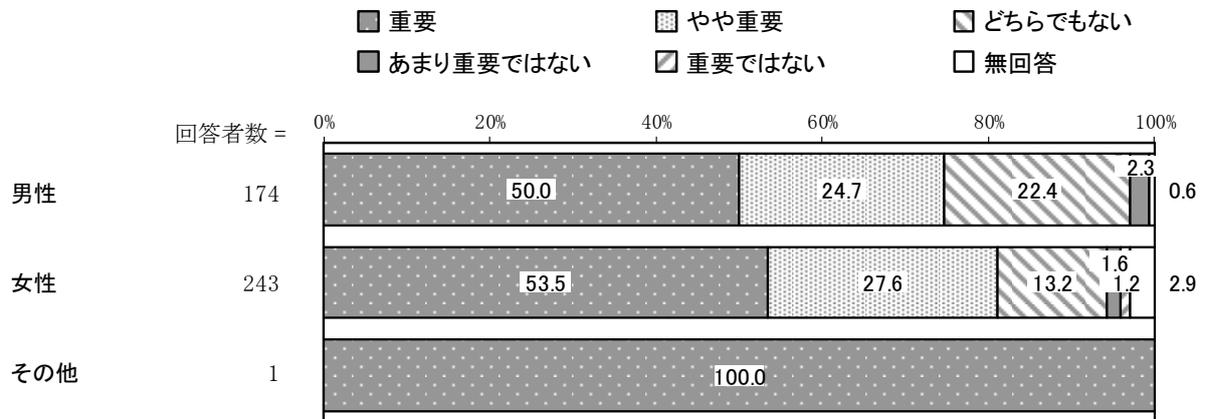
“重要”の割合が78.5%、“重要ではない”の割合が2.6%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、「重要」の割合が増加する傾向がみられます。



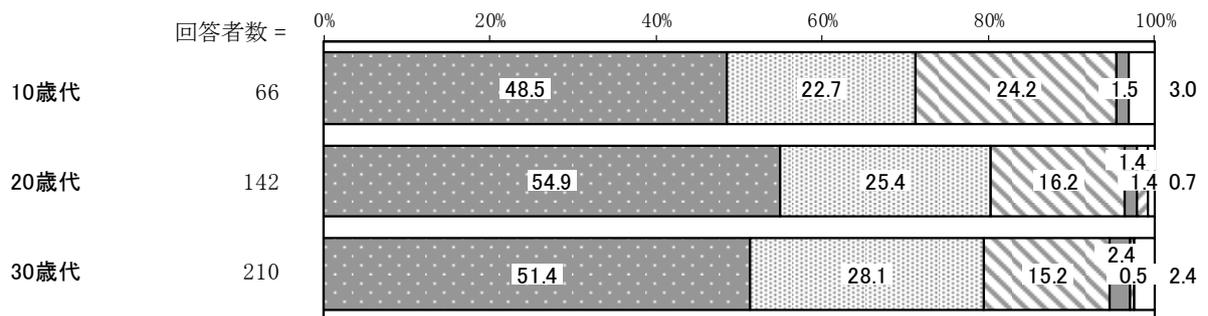
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



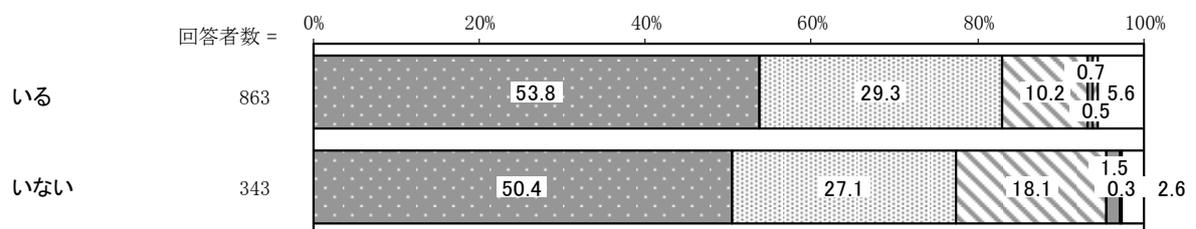
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、30歳代で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



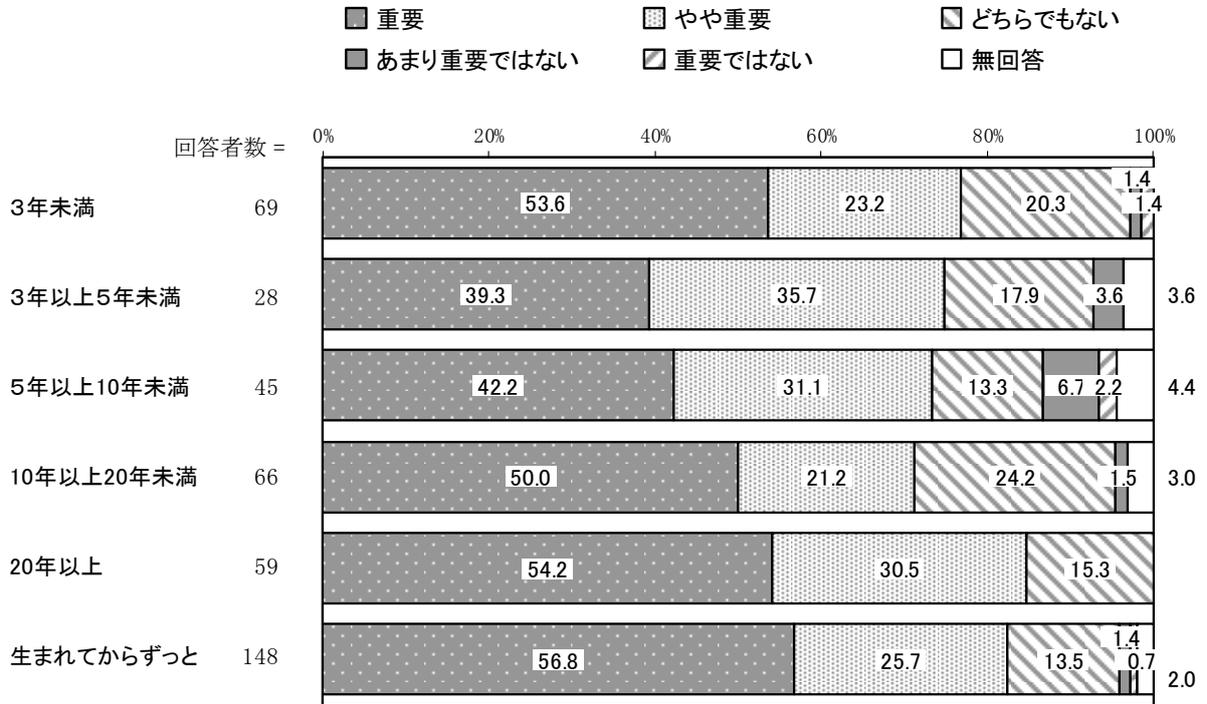
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、8割を超えています。



【居住年数別】

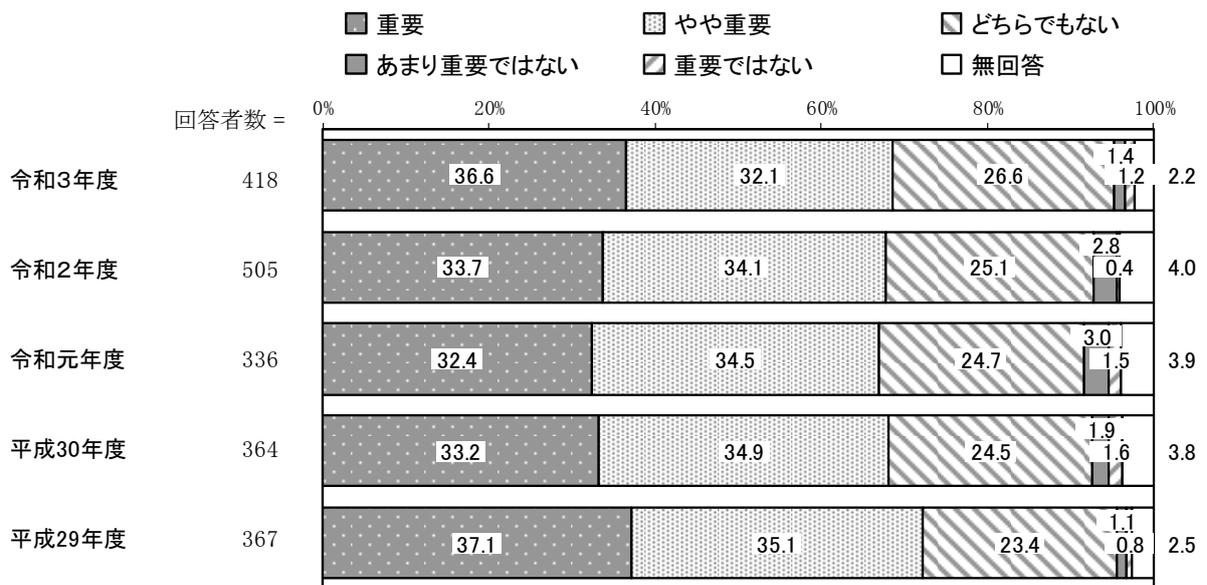
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

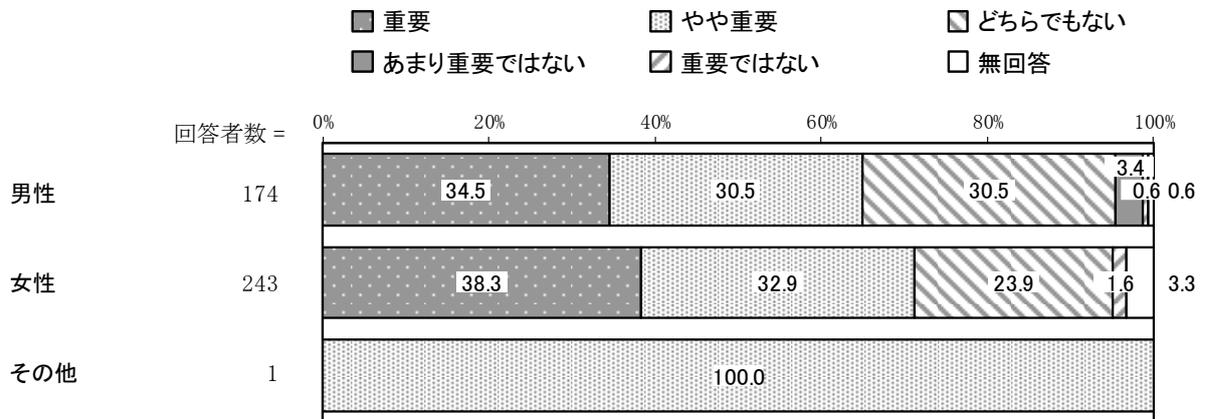
“重要”の割合が68.7%、“重要ではない”の割合が2.6%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



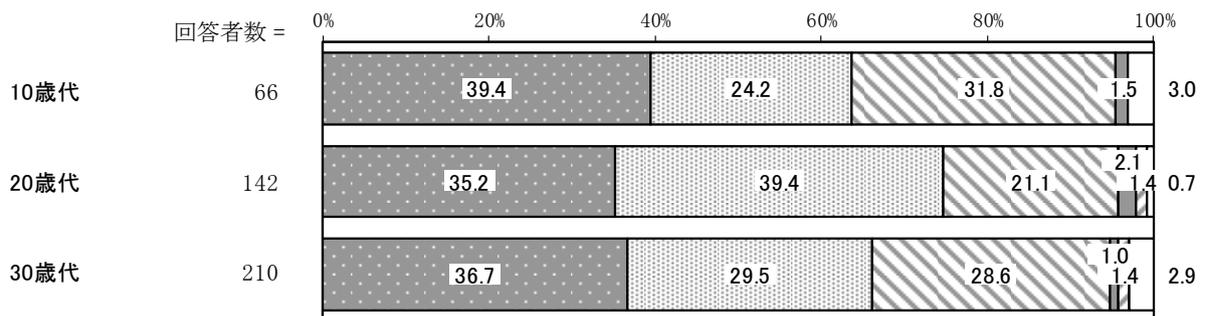
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



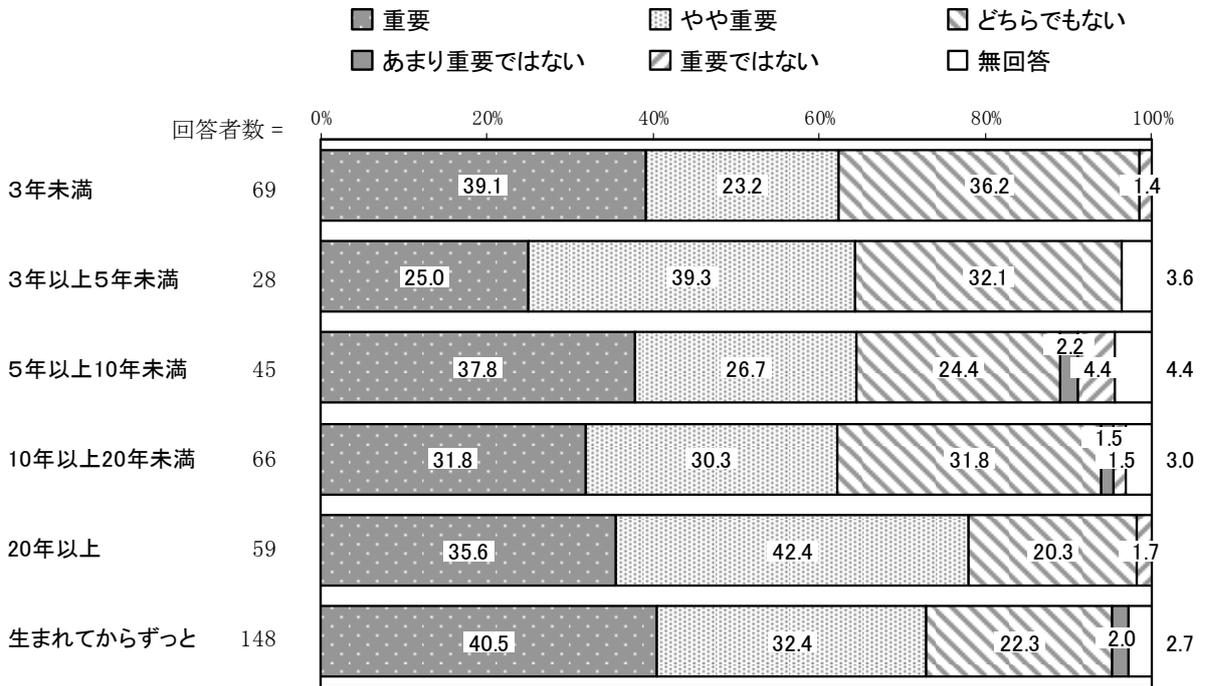
【年代別】

年代別でみると、20歳代で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



【居住年数別】

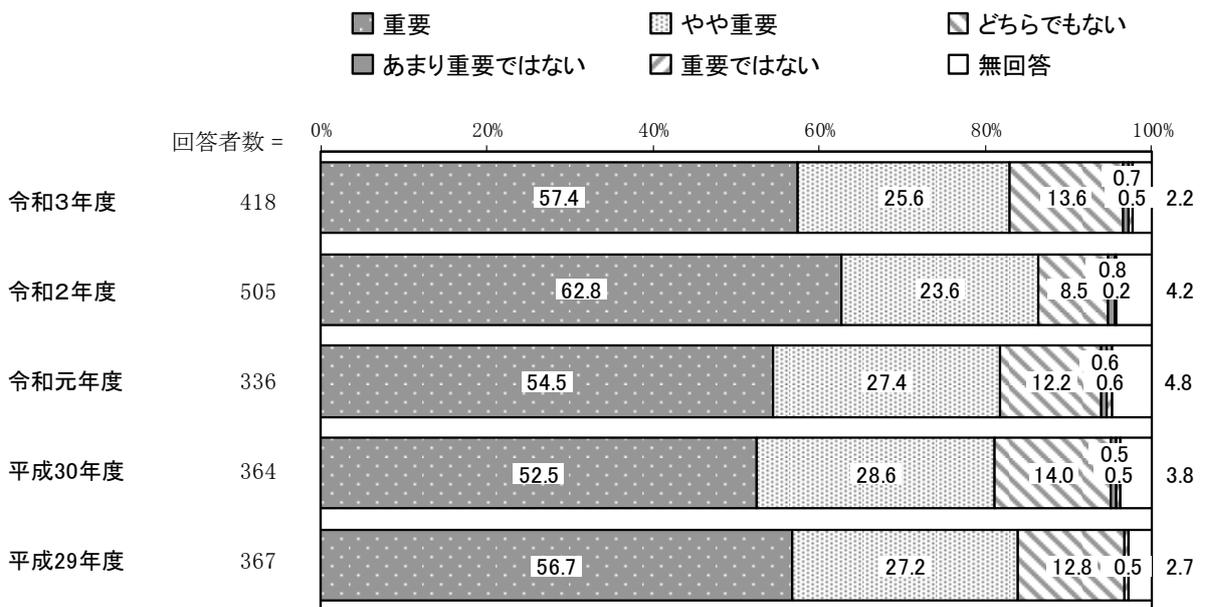
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり

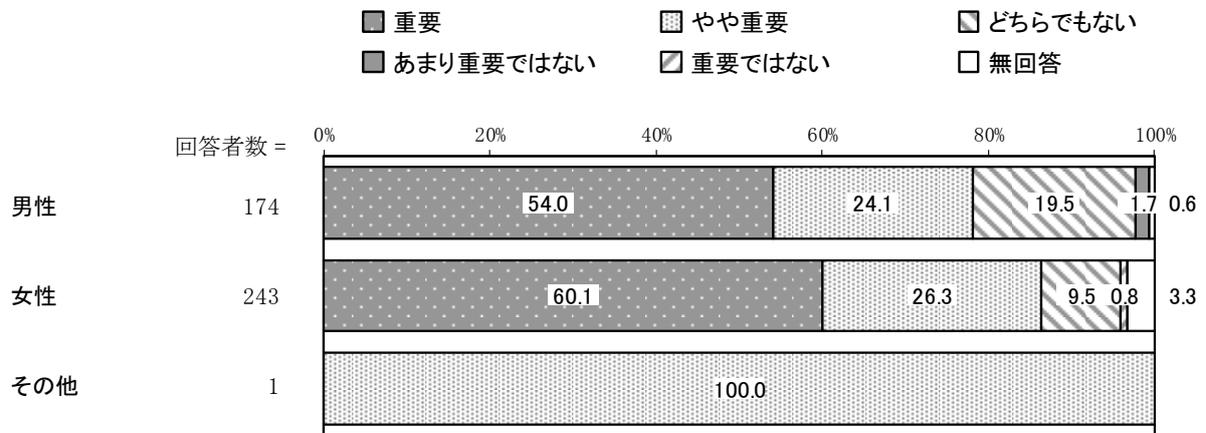
“重要”の割合が83.0%、“重要ではない”の割合が1.2%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降“重要”の割合が増加する傾向がみられますが、令和3年度では減少しています。



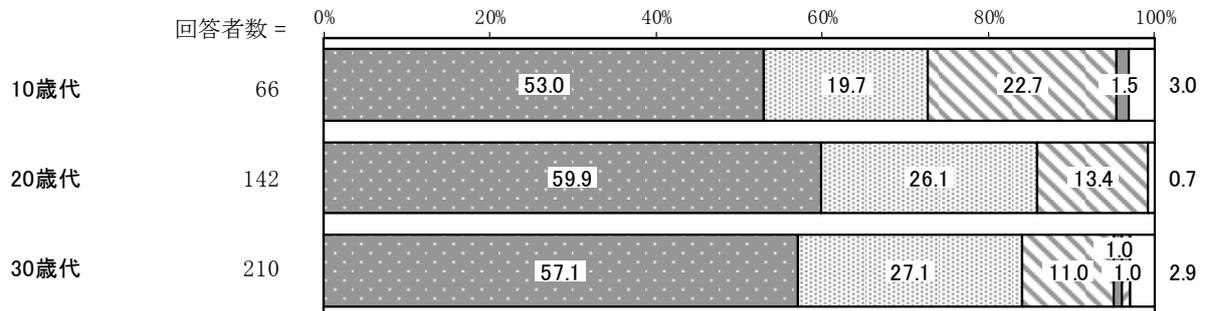
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



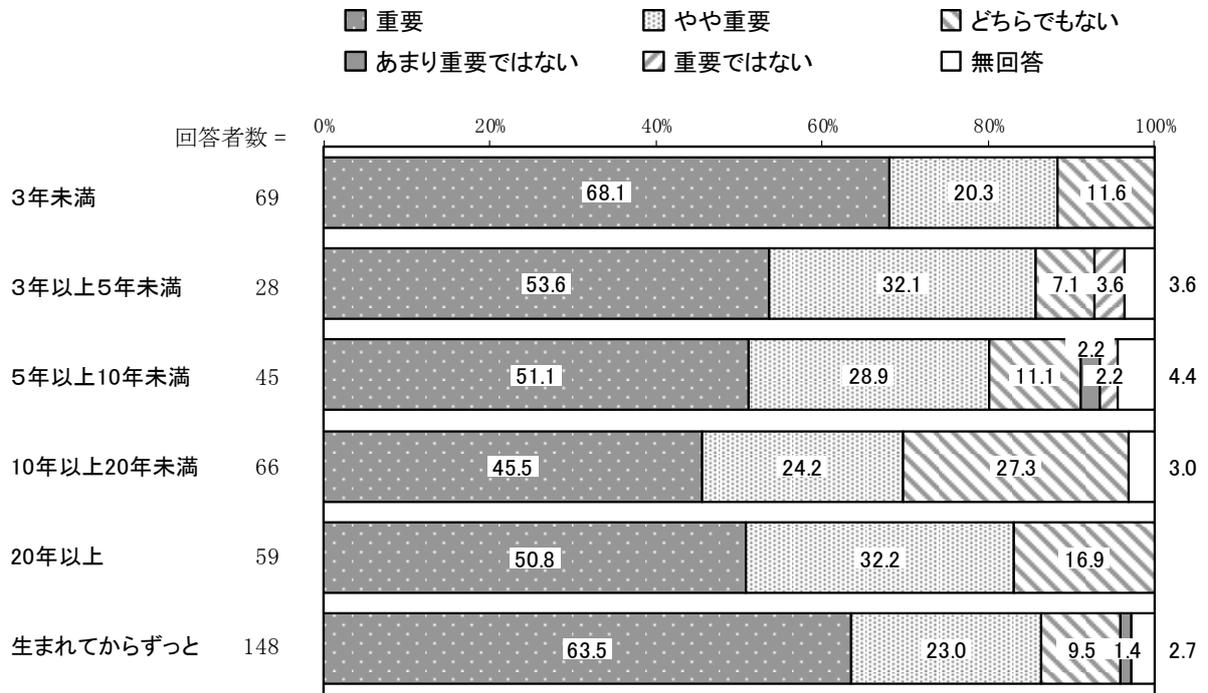
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、30歳代で“重要”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



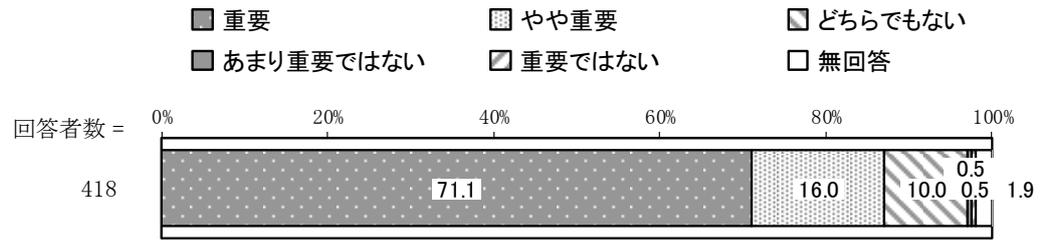
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、9割近くとなっています。



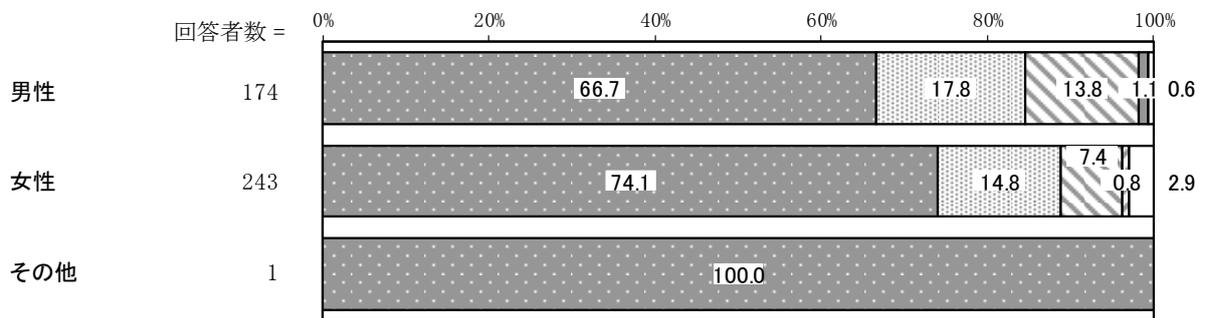
(14) 必要な医療サービスが受けられる

“重要”の割合が87.1%、“重要ではない”の割合が1.0%となっています。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



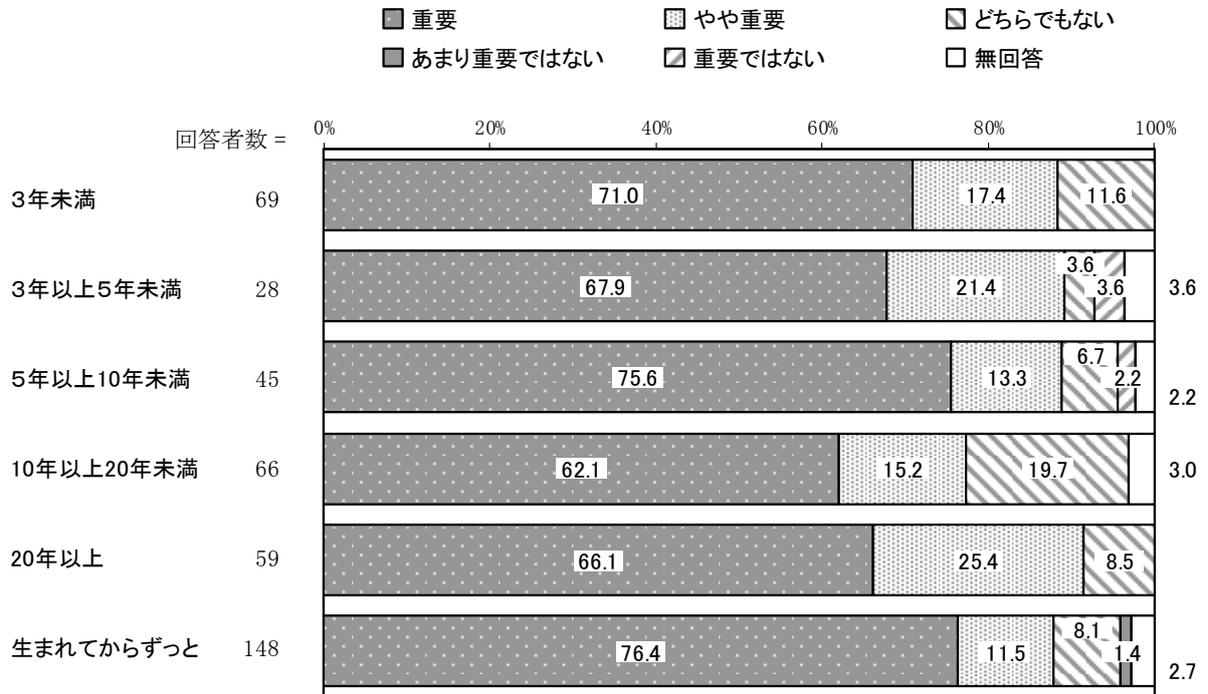
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、30歳代で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



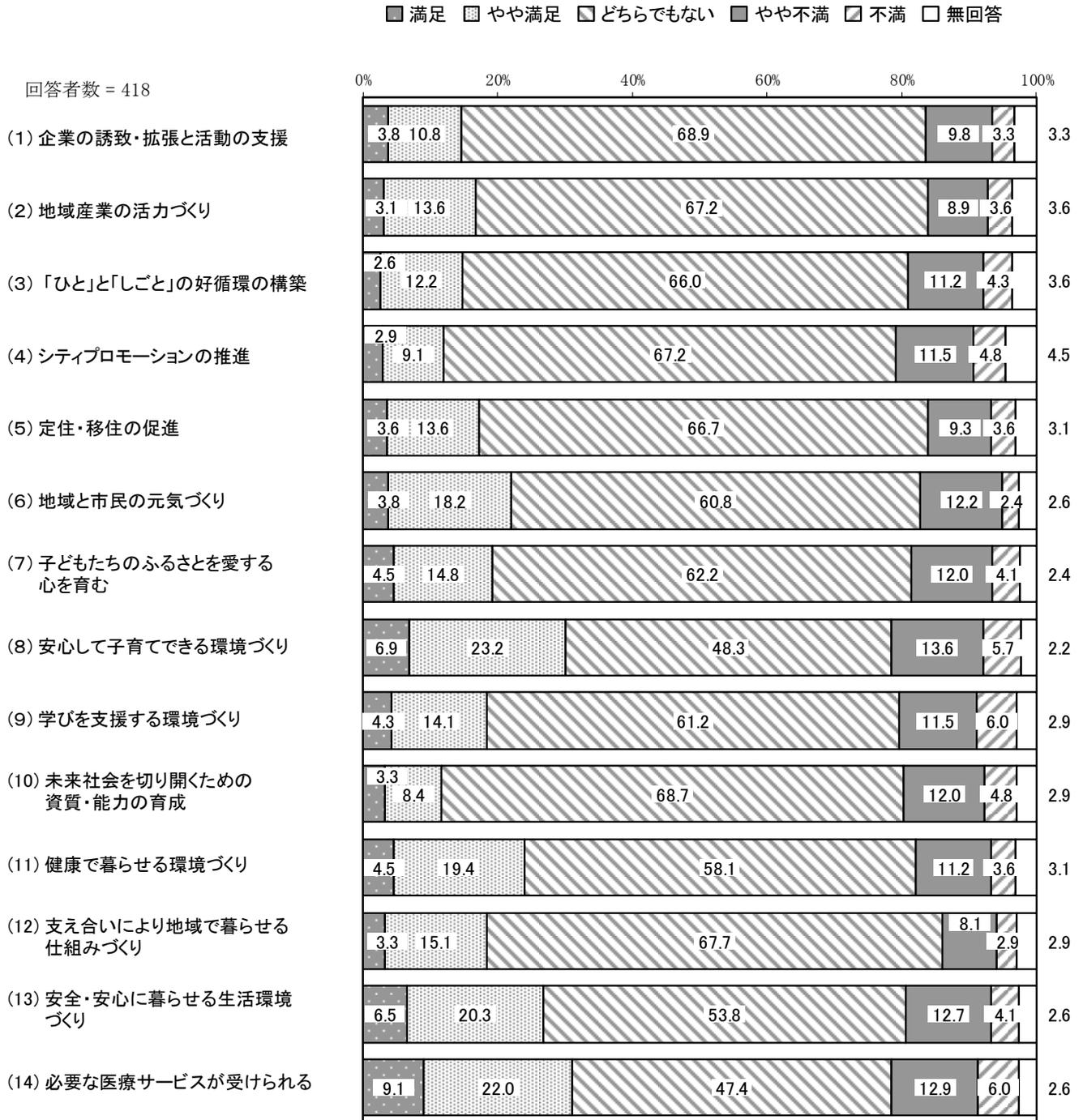
【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、10年以上20年未満で“重要”の割合がやや減少するものの、全体的に割合が高くなっています。



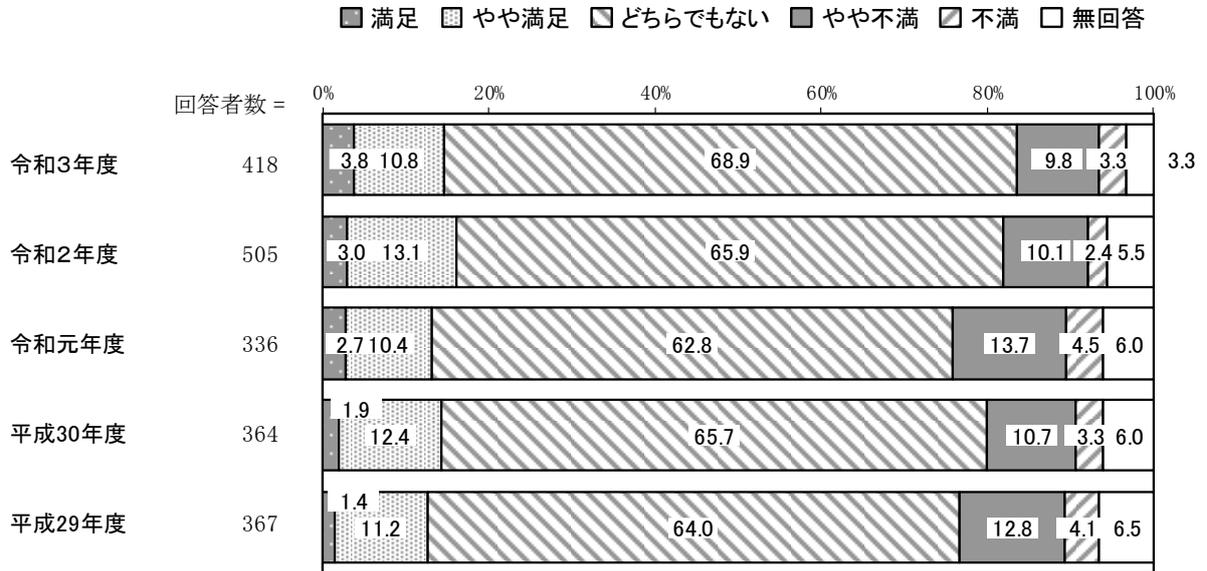
②満足度

『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(14)必要な医療サービスが受けられる』で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高く、『(8)安心して子育てできる環境づくり』では約3割、『(14)必要な医療サービスが受けられる』では3割を超えています。



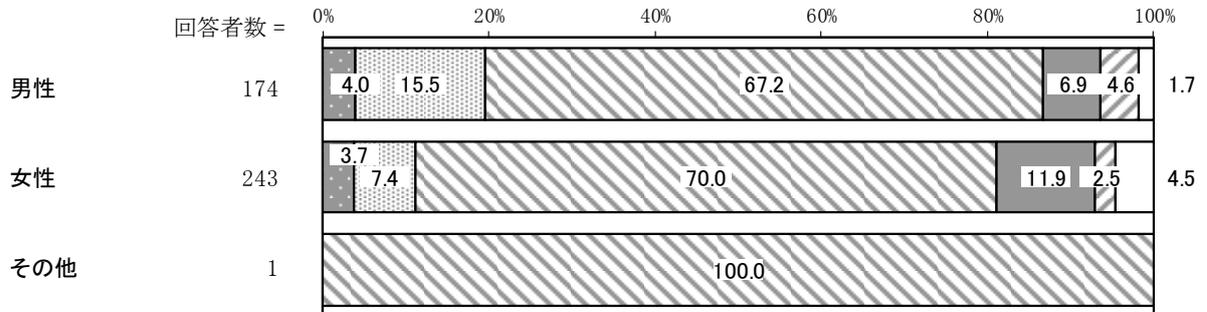
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

“満足”の割合が14.6%、“不満”の割合が13.1%となっています。
 令和2年度以前の調査と比較すると、大きな差異はみられません。



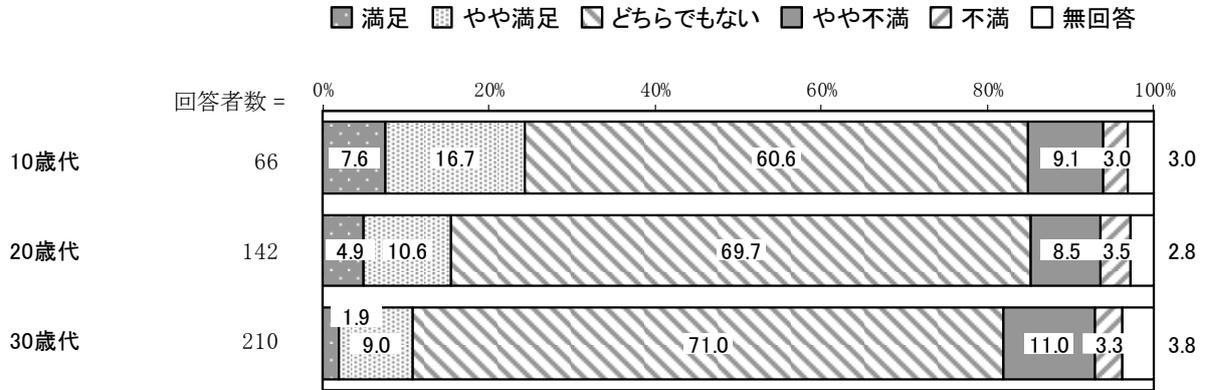
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



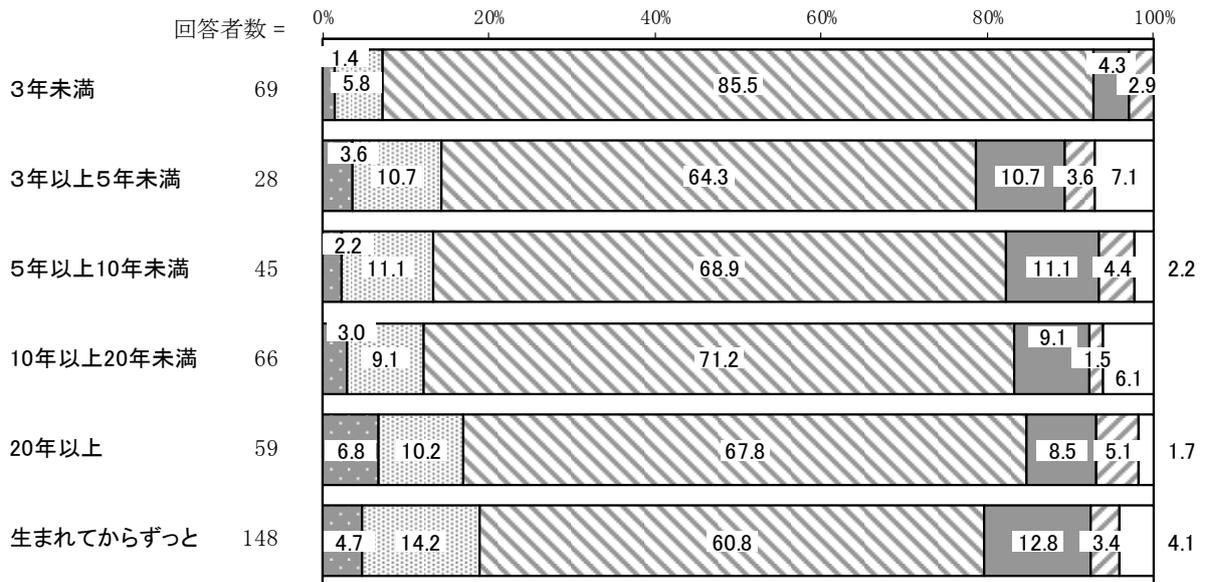
【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ“満足”の割合が高くなっており、10歳代で2割台半ばとなっています。



【居住年数別】

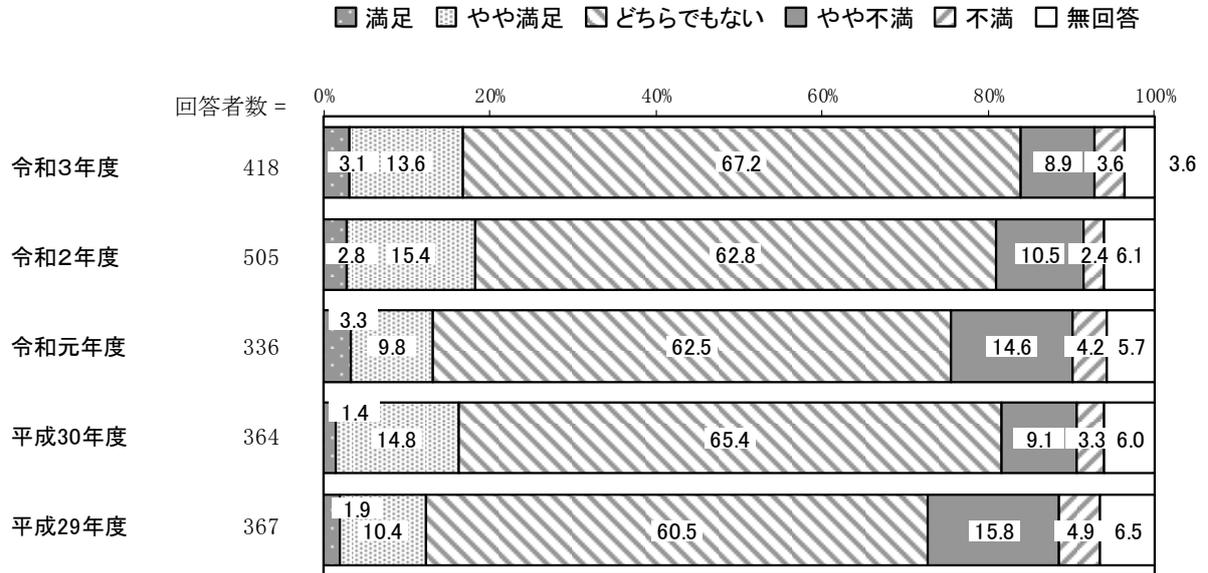
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“満足”、“不満”ともに割合が低くなっています。



(2) 地域産業の活力づくり

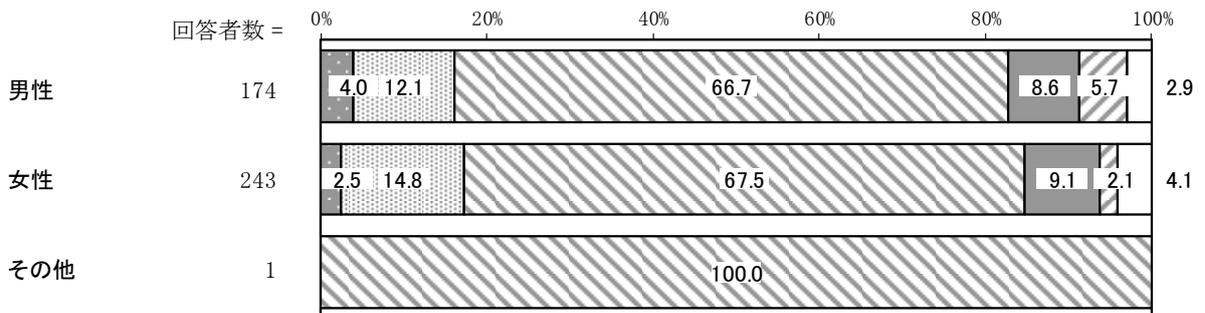
“満足”の割合が16.7%、“不満”の割合が12.5%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、増減はあるものの“満足”の割合が増加する傾向がみられます。



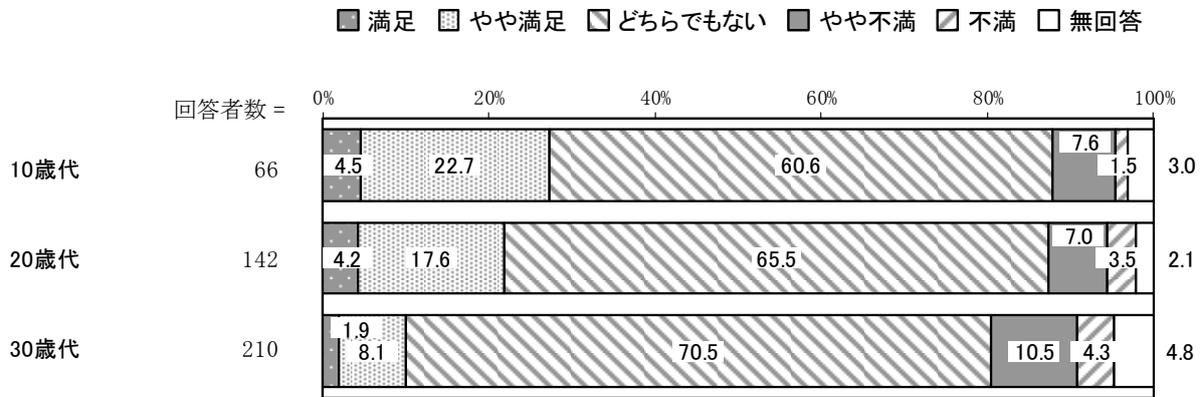
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



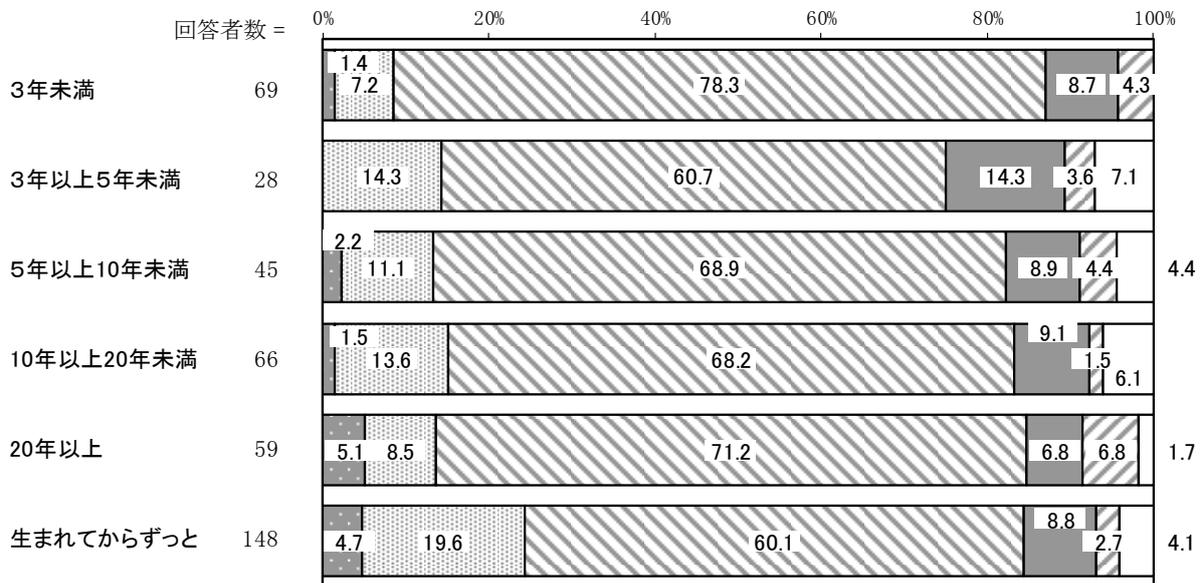
【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ“満足”の割合が高くなっており、10歳代で3割近くとなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、2割近くとなっています。



(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

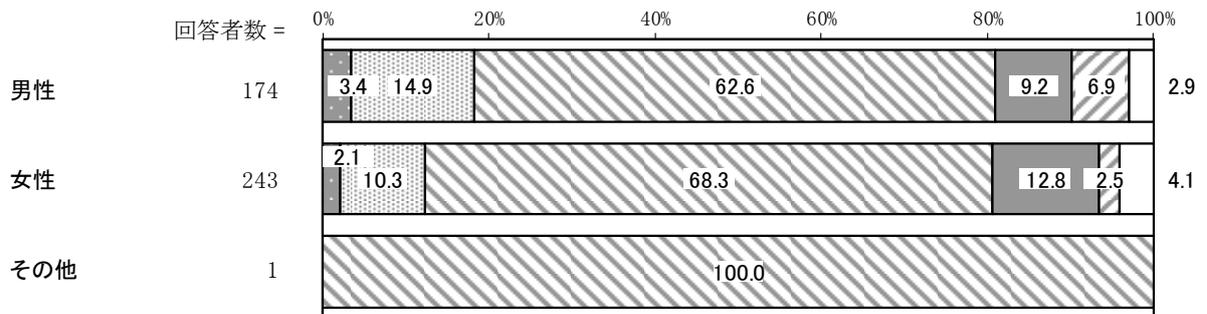
“満足”の割合が14.8%、“不満”の割合が15.5%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、平成29年度から令和3年度にかけて多少の増減はあるものの“満足”の割合が増加傾向に、“不満”の割合が減少傾向にあります。



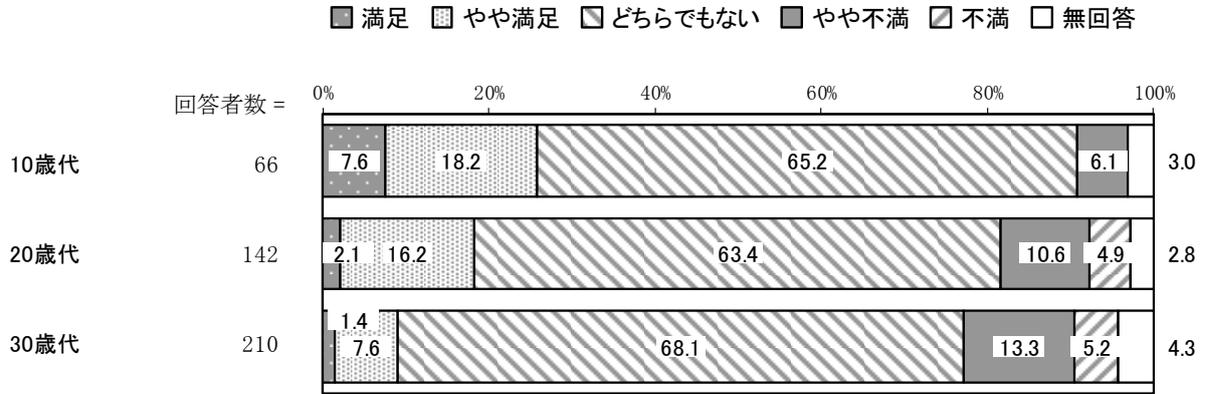
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で“満足”の割合が高く、2割近くとなっています。



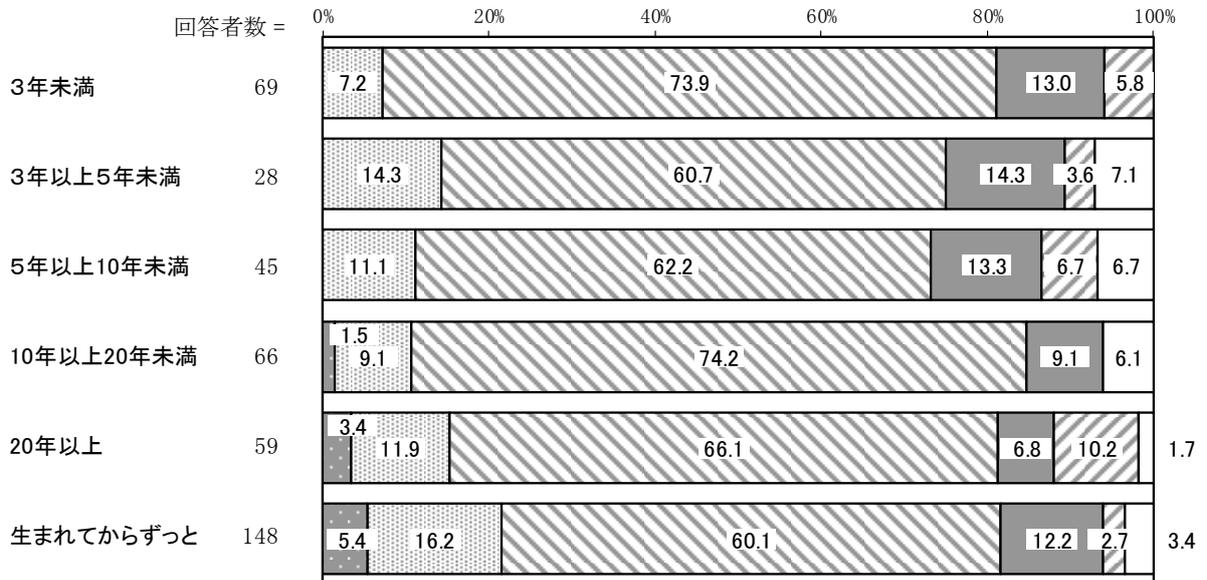
【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ“満足”の割合が高くなっており、10歳代で2割台半ばとなっています。



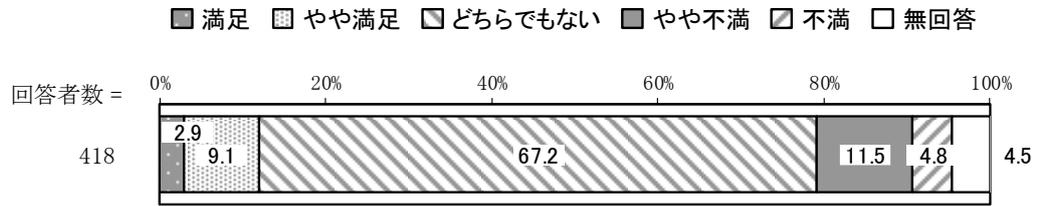
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、2割を超えています。



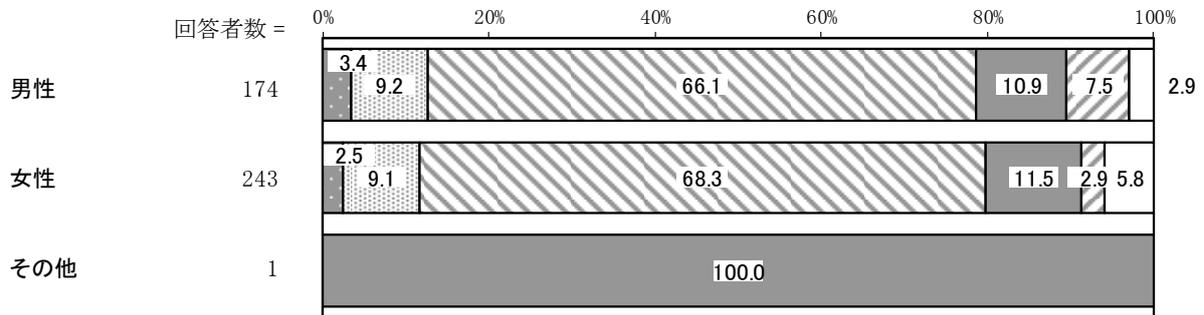
(4) シティプロモーションの推進

“満足”の割合が12.0%、“不満”の割合が16.3%となっています。



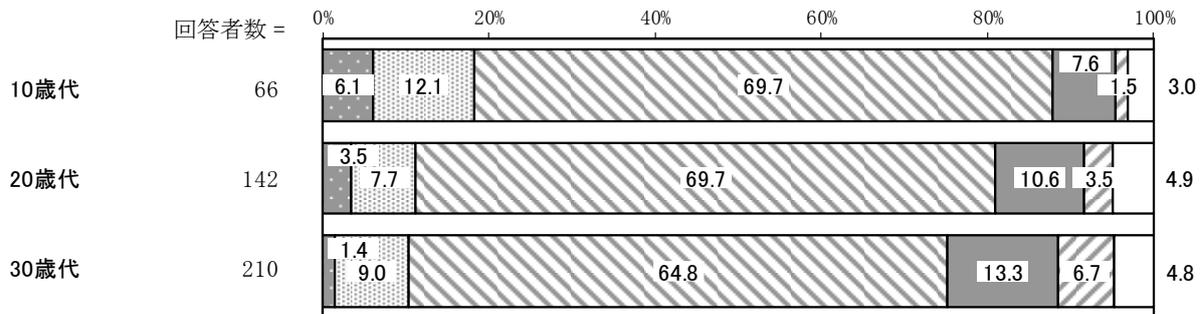
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



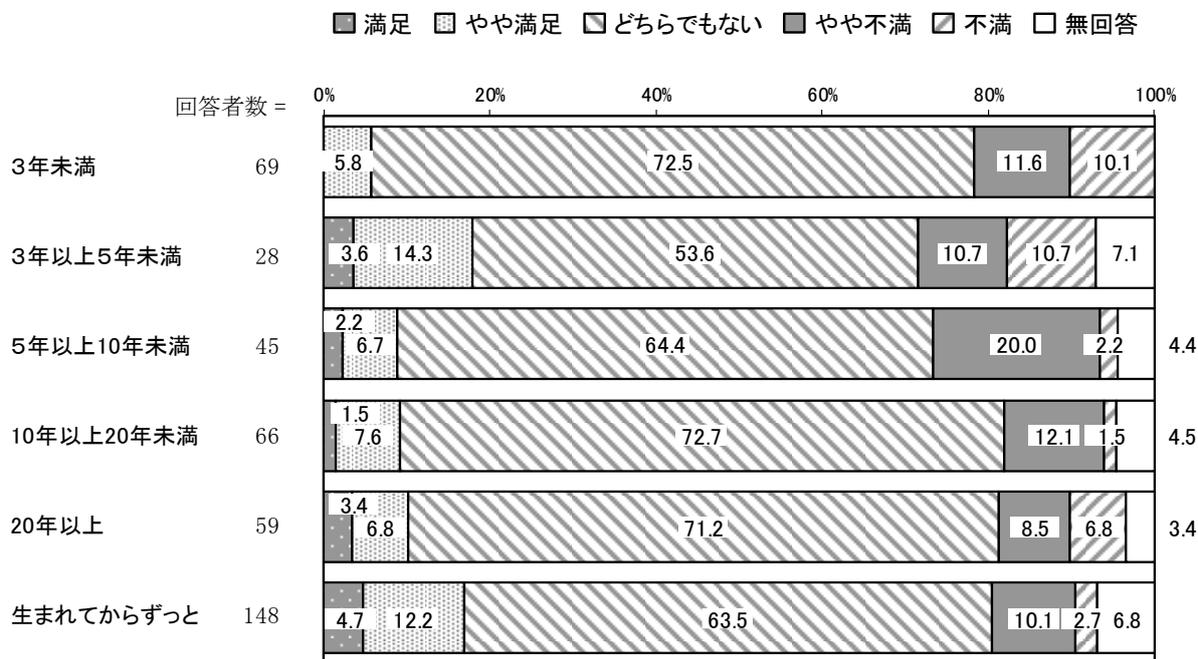
【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ“満足”の割合が高く、“不満”の割合が低くなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、2割近くとなっています。



(5) 定住・移住の促進

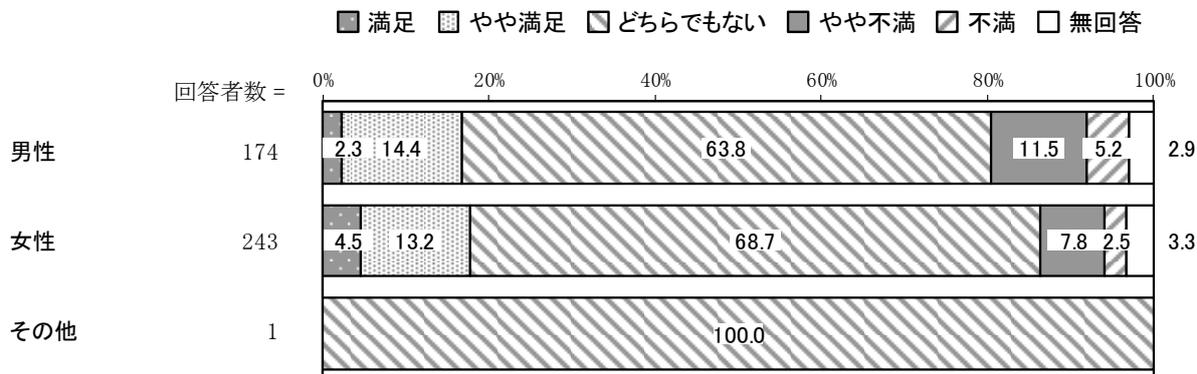
“満足”の割合が17.2%、“不満”の割合が12.9%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



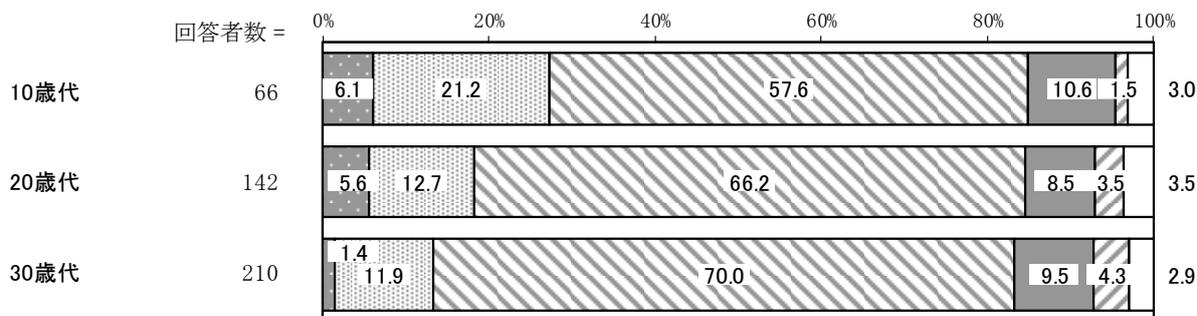
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



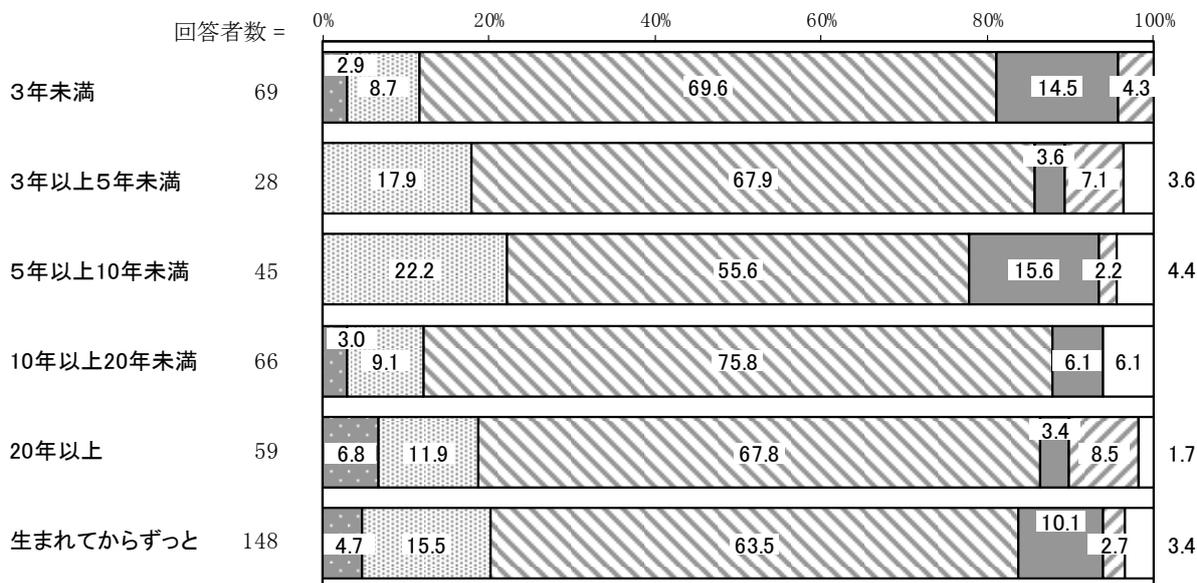
【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ“満足”の割合が高く、10歳代で3割近くとなっています。



【居住年数別】

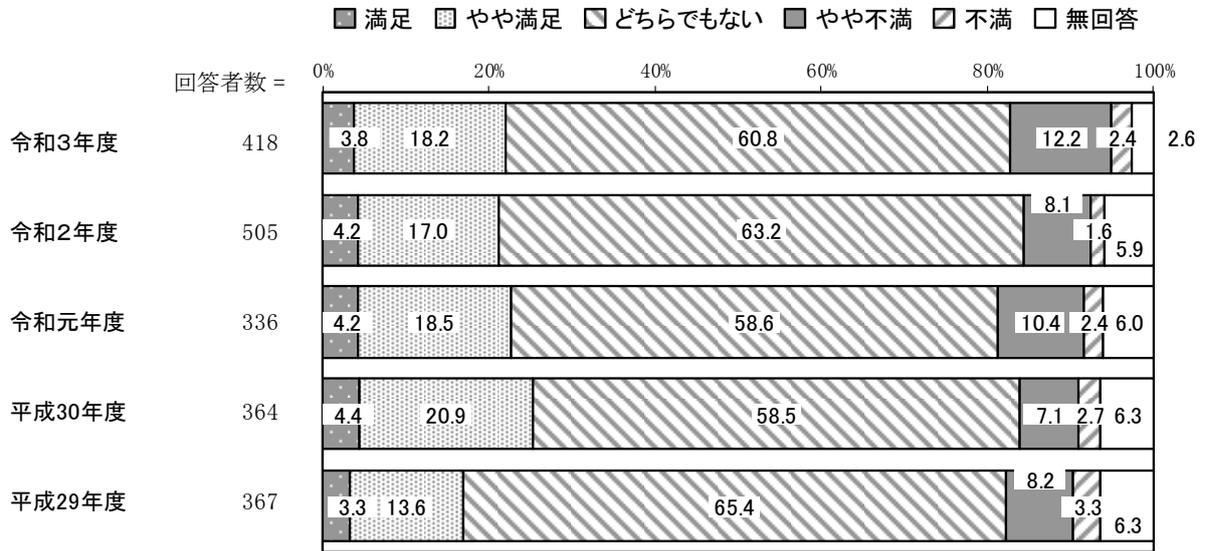
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“満足”の割合が高く、2割を超えています。また、3年未満、5年以上10年未満で“不満”の割合が高く、2割近くとなっています。



(6) 地域と市民の元気づくり

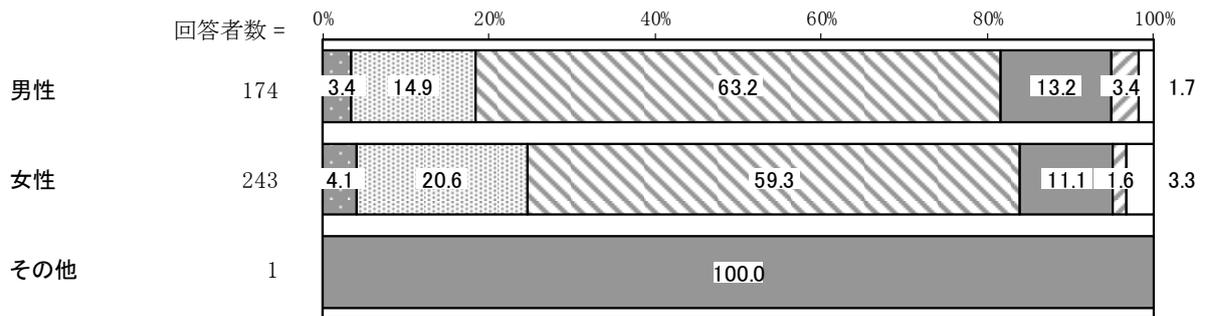
“満足”の割合が22.0%、“不満”の割合が14.6%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、“満足”の割合は平成30年度をピークに、以降減少する傾向がみられますが、令和3年度ではやや増加しています。



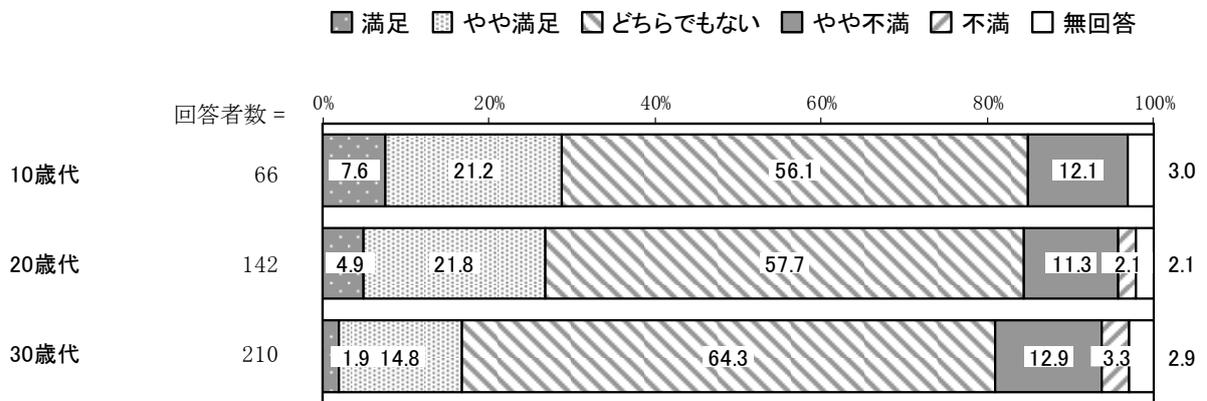
【年代別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



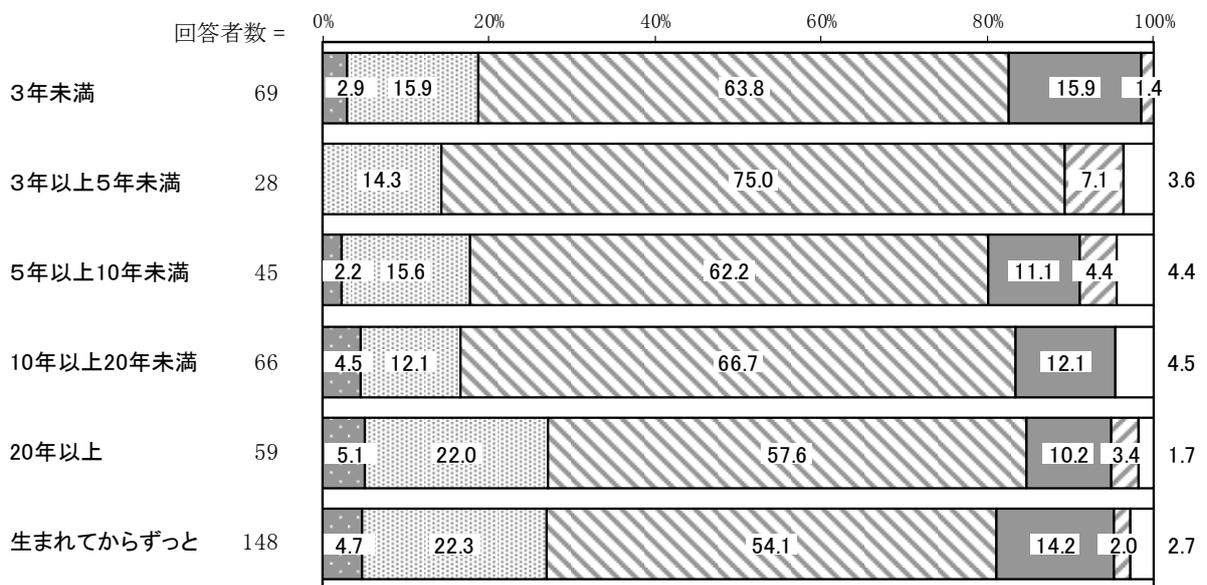
【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ“満足”の割合が高くなっており、10歳代、20歳代で3割近くとなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

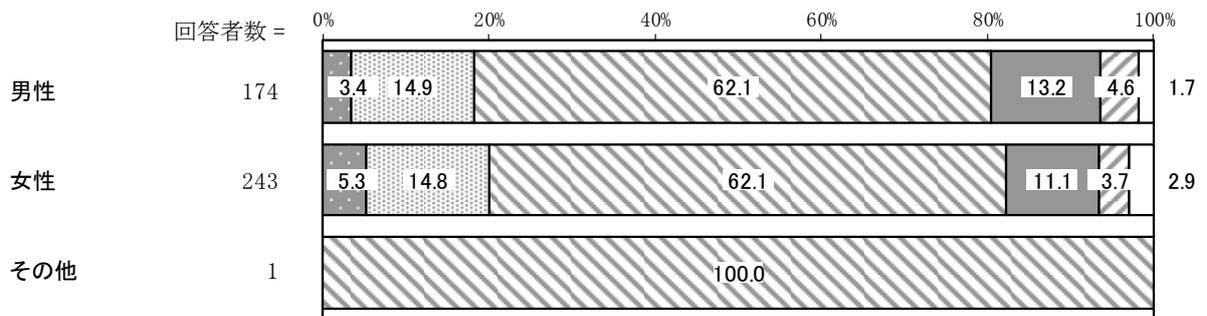
“満足”の割合が19.3%、“不満”の割合が16.1%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、“満足”の割合が増減はあるものの、増加傾向となっています。



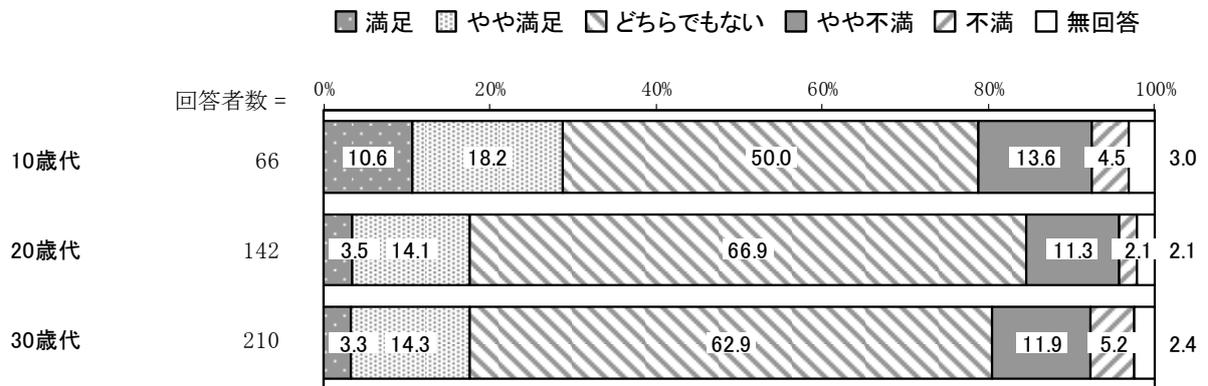
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



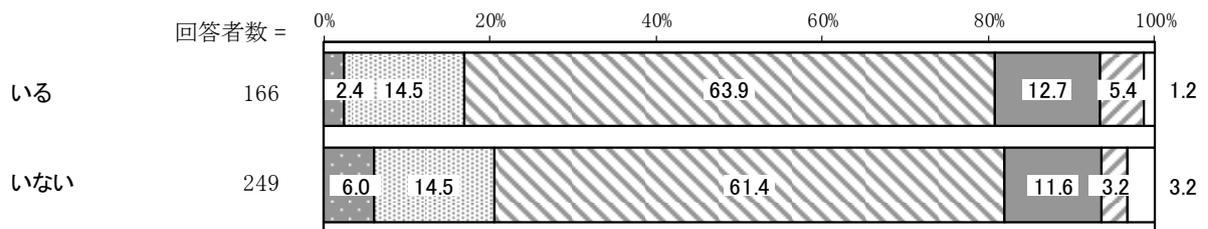
【年代別】

年代別でみると、10歳代で“満足”の割合が高く、3割近くとなっています。



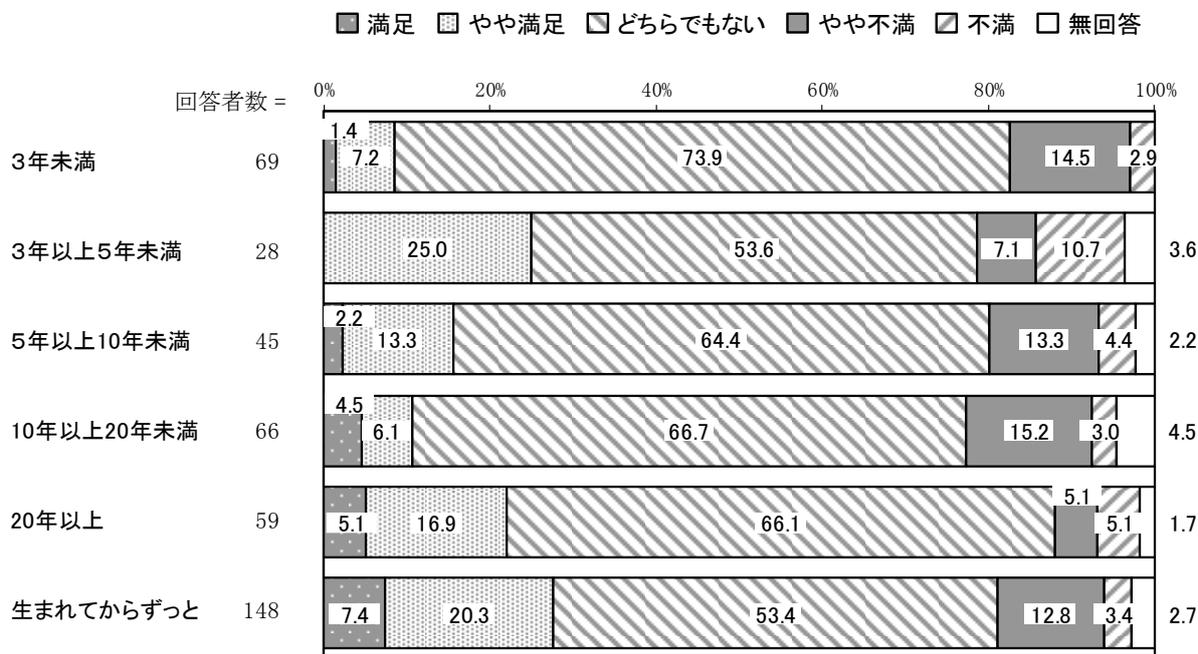
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

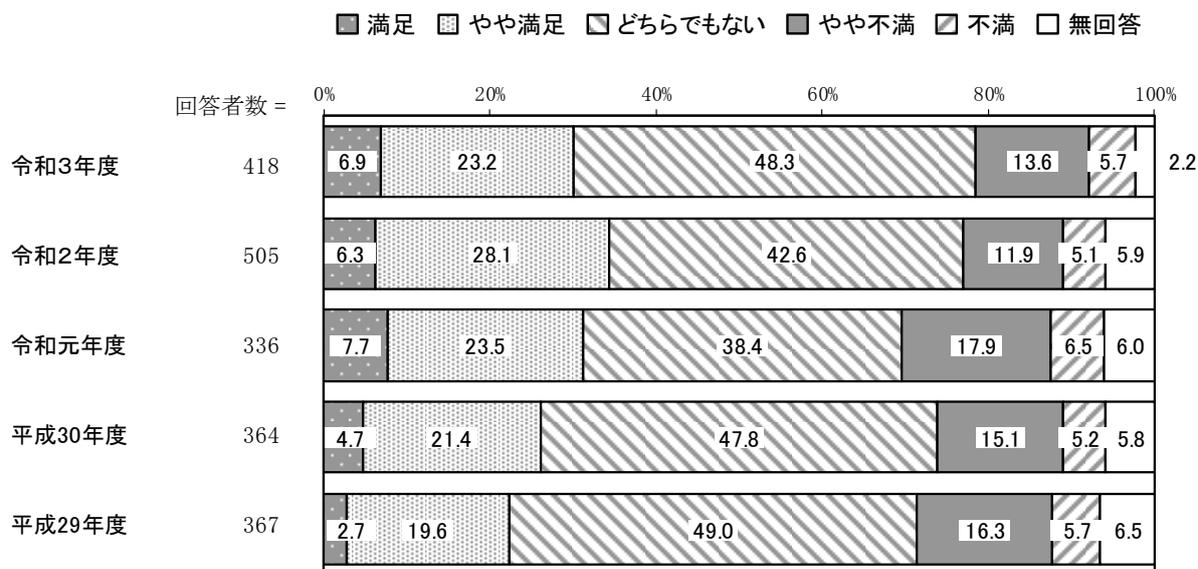
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

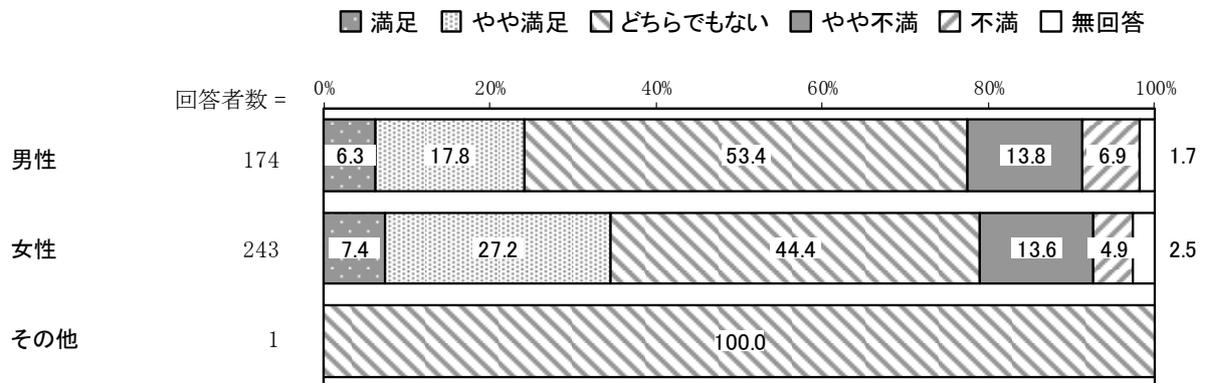
“満足”の割合が30.1%、“不満”の割合が19.3%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、平成29年度以降“満足”の割合が増加する傾向がみられますが、令和3年度ではやや減少しています。



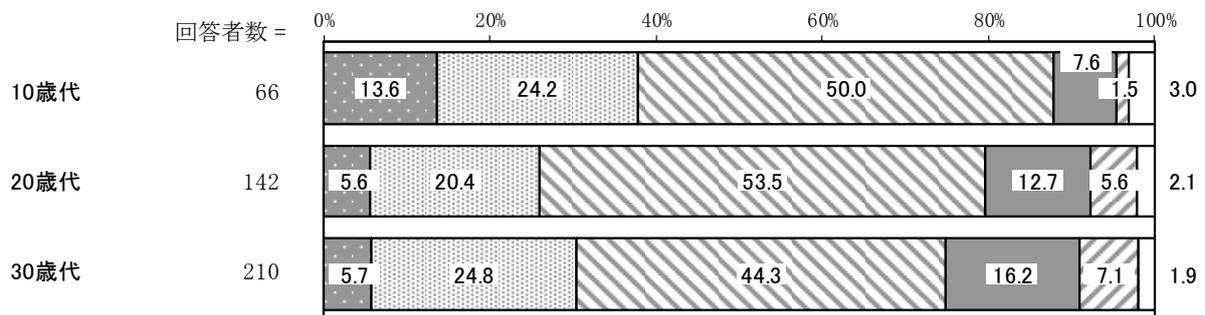
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



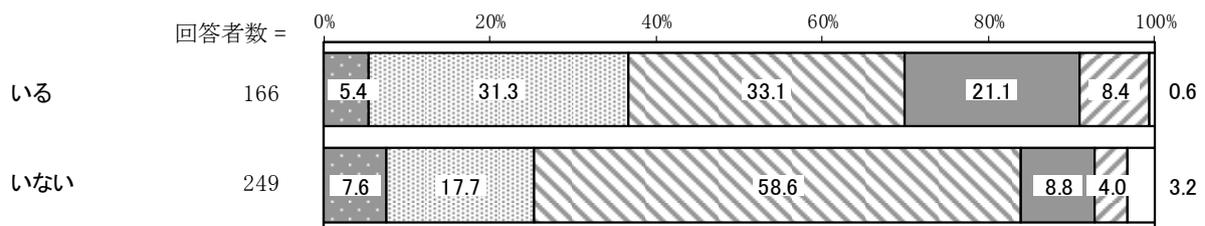
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ“不満”の割合が高くなっており、30歳代で2割台半ばとなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、4割近くとなっています。



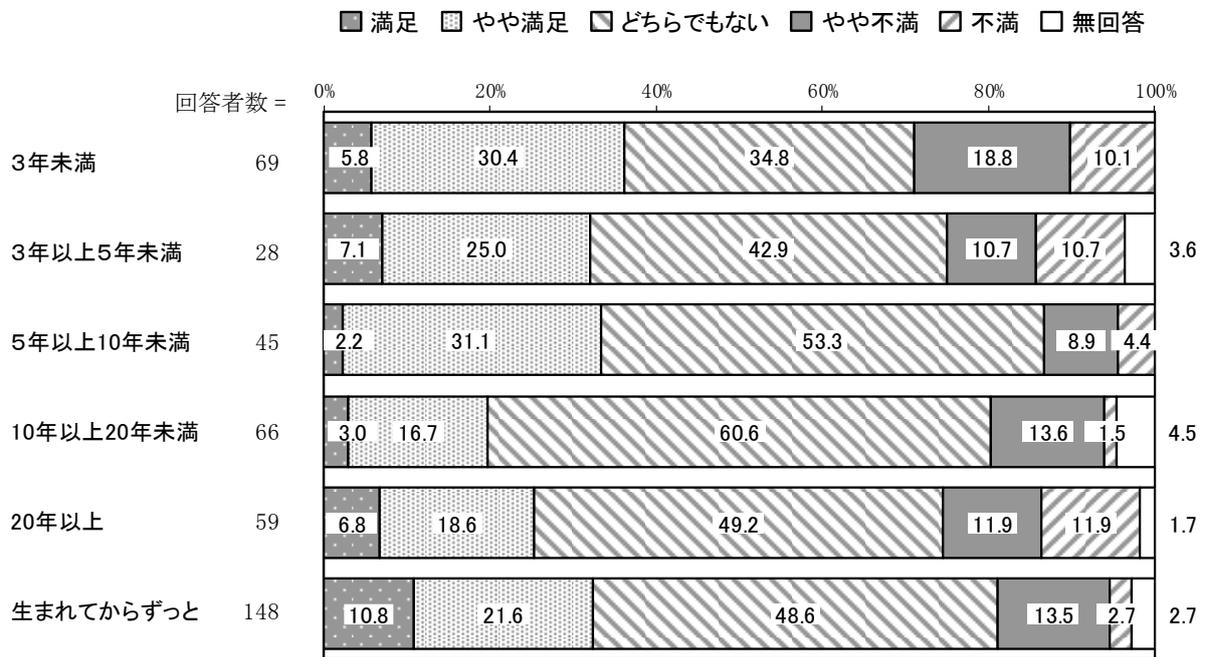
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“満足”“不満”の割合がともに高くなっています。



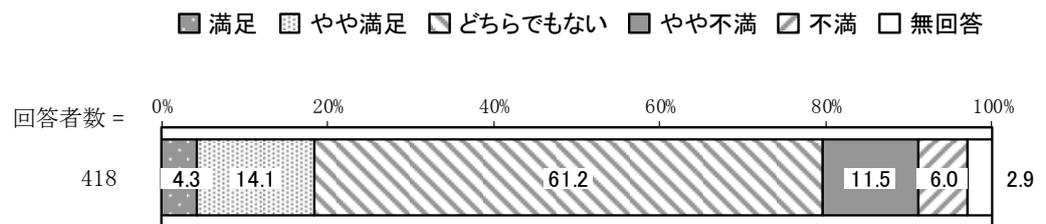
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“不満”の割合が高く、3割近くとなっています。



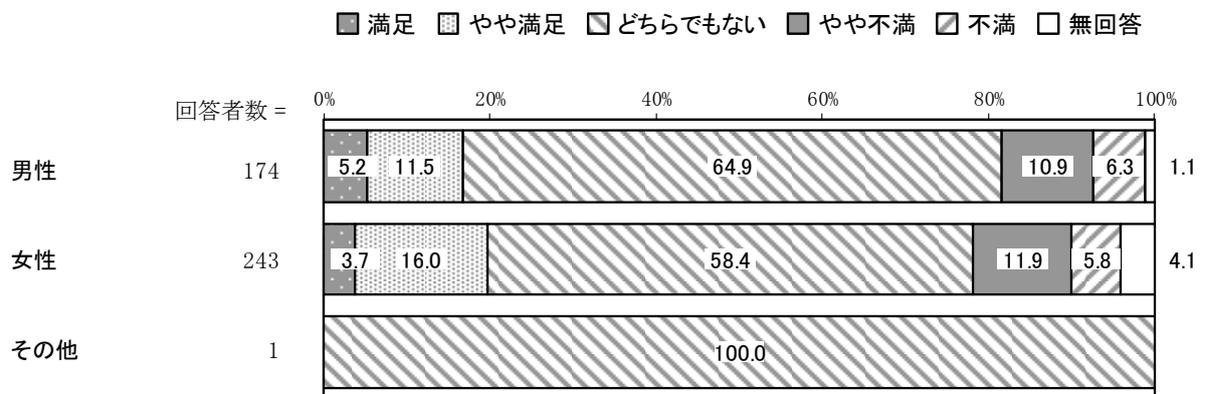
(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

“満足”の割合が18.4%、“不満”の割合が17.5%となっています。



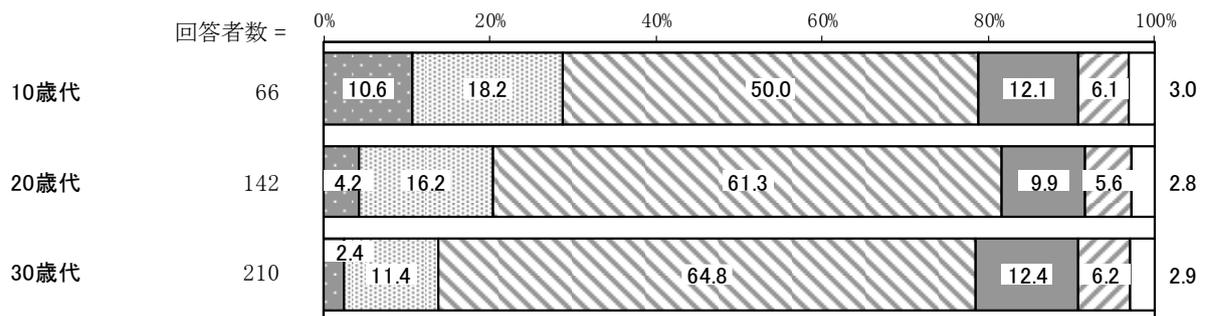
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



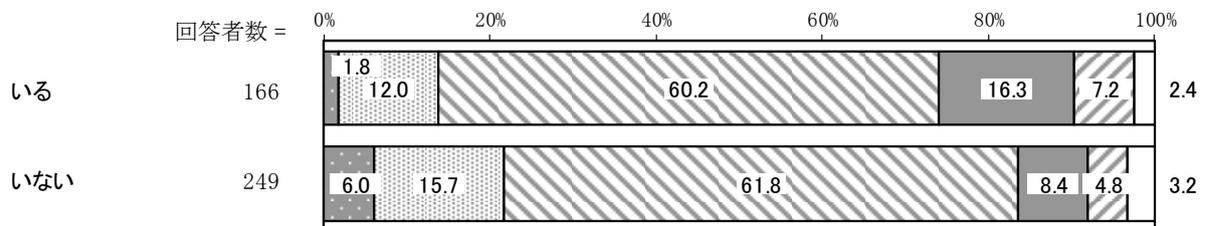
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、3割近くとなっています。



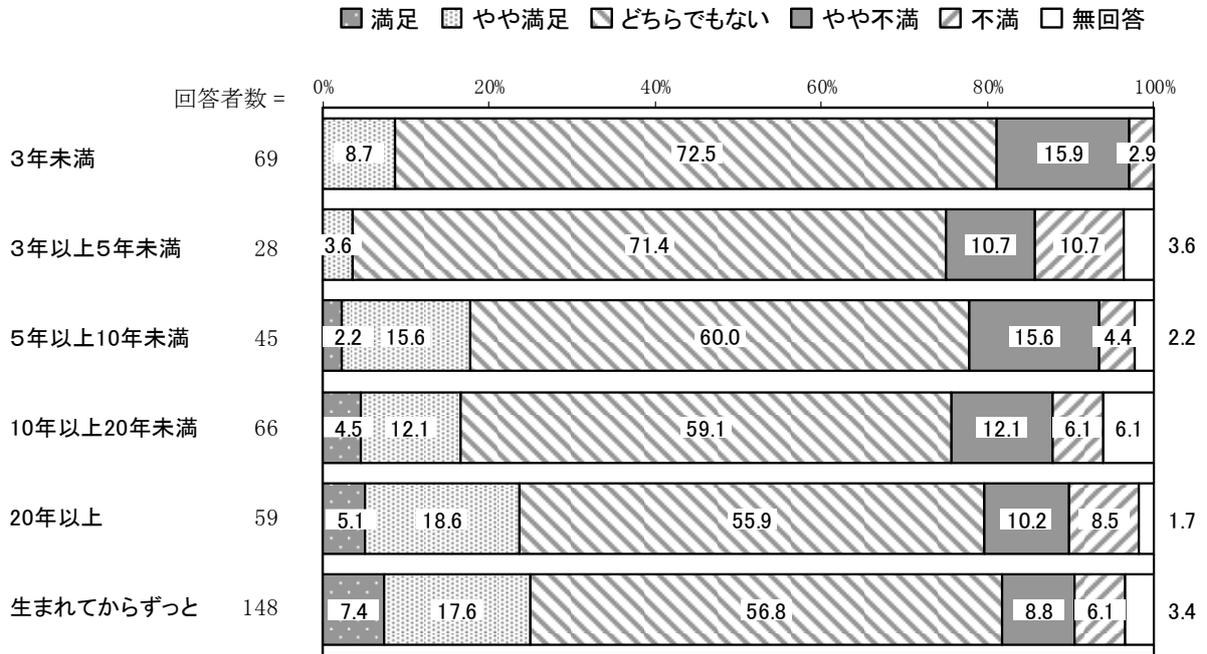
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子供がいる人に比べ、子供がいない人で“満足”の割合が高くなって、2割を超えています。



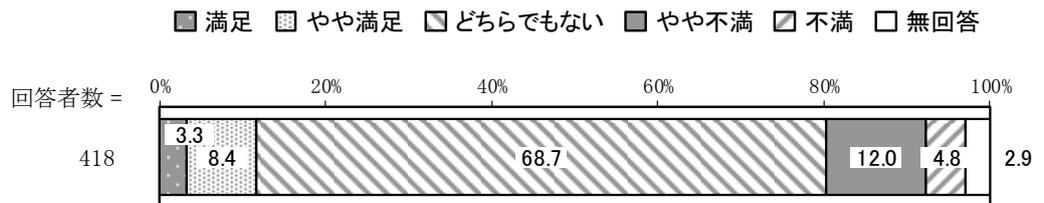
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



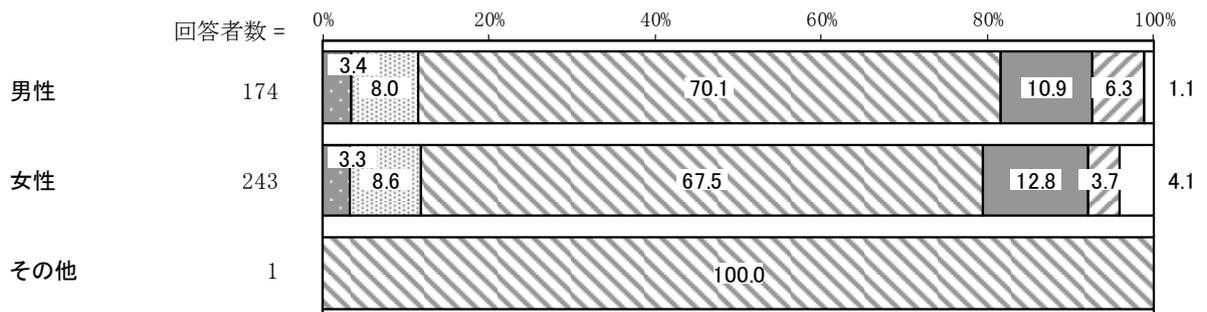
(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成

“満足”の割合が11.7%、“不満”の割合が16.8%となっています。



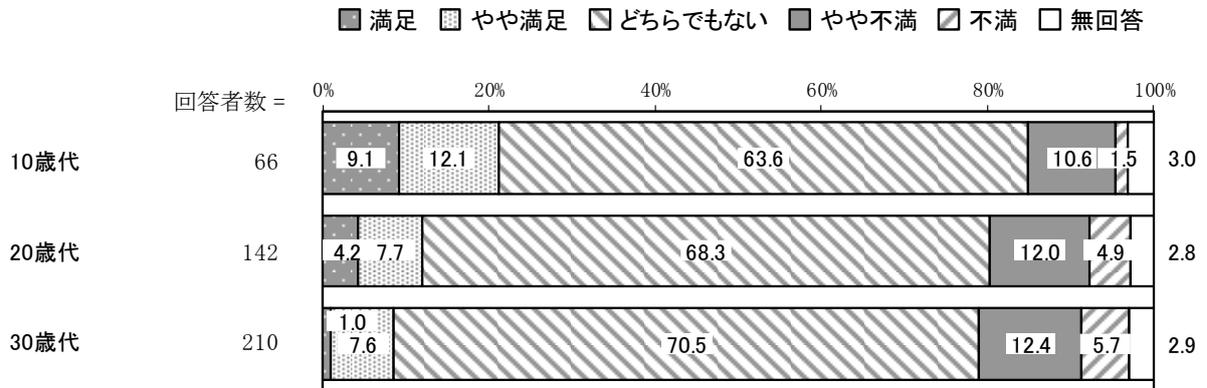
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



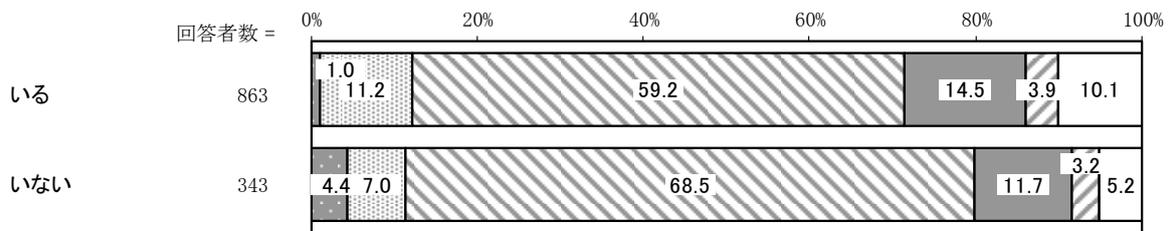
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、2割を超えています。



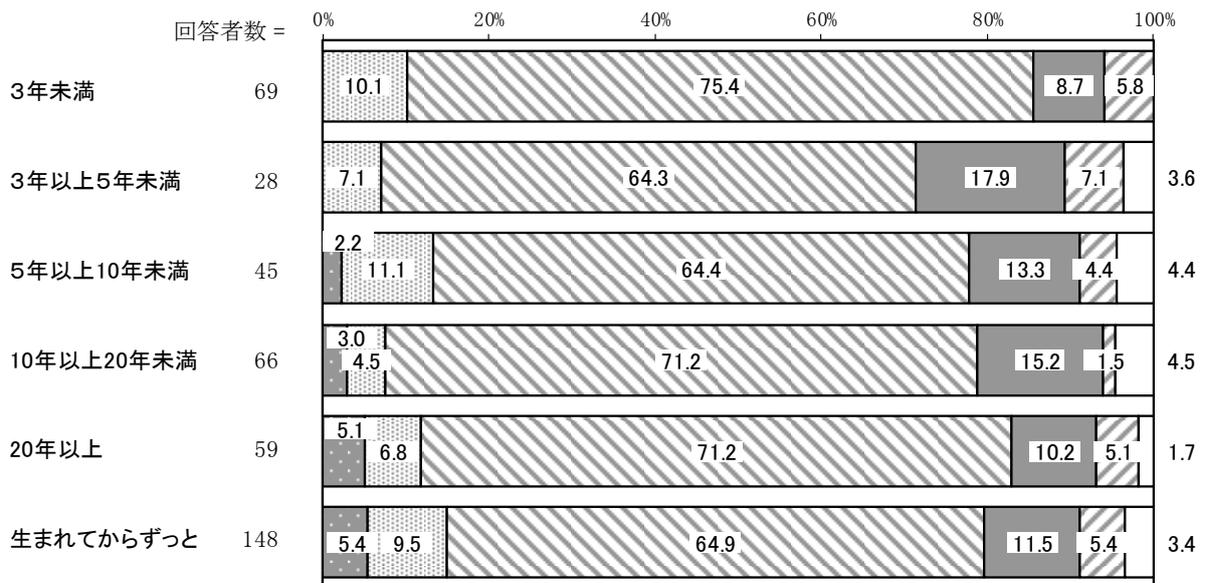
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

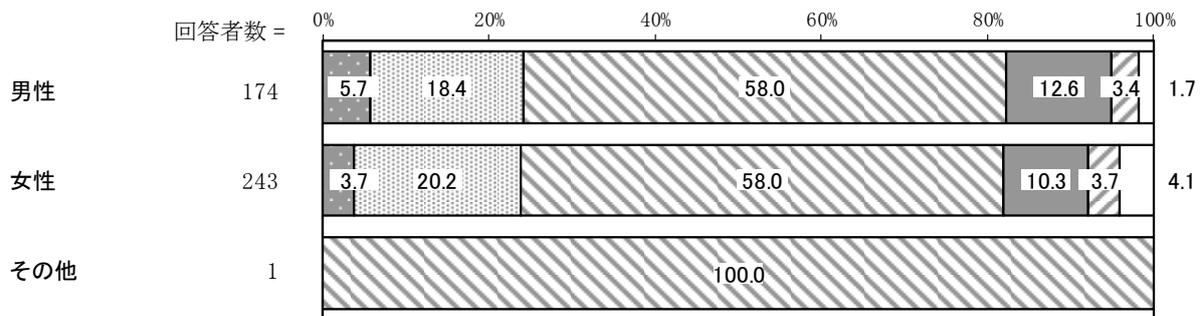
“満足”の割合が23.9%、“不満”の割合が14.8%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、増減はありますが“満足”の割合が増加傾向となっています。



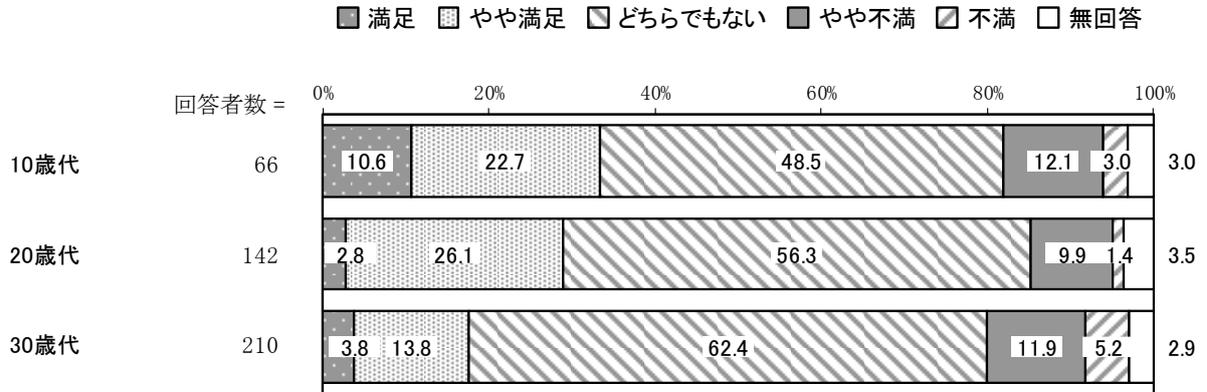
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



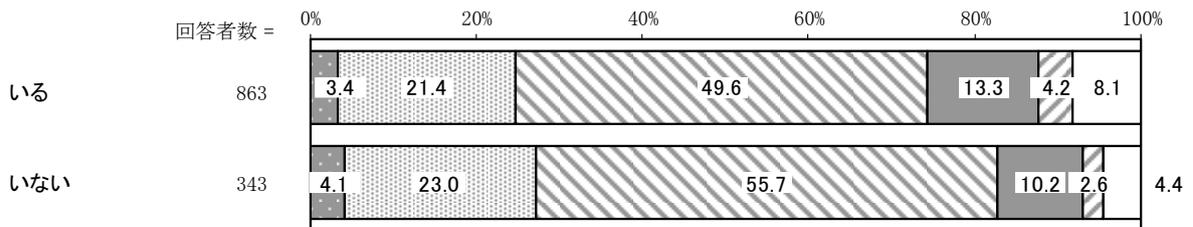
【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ“満足”の割合が高くなっており、10歳代で3割を超えています。



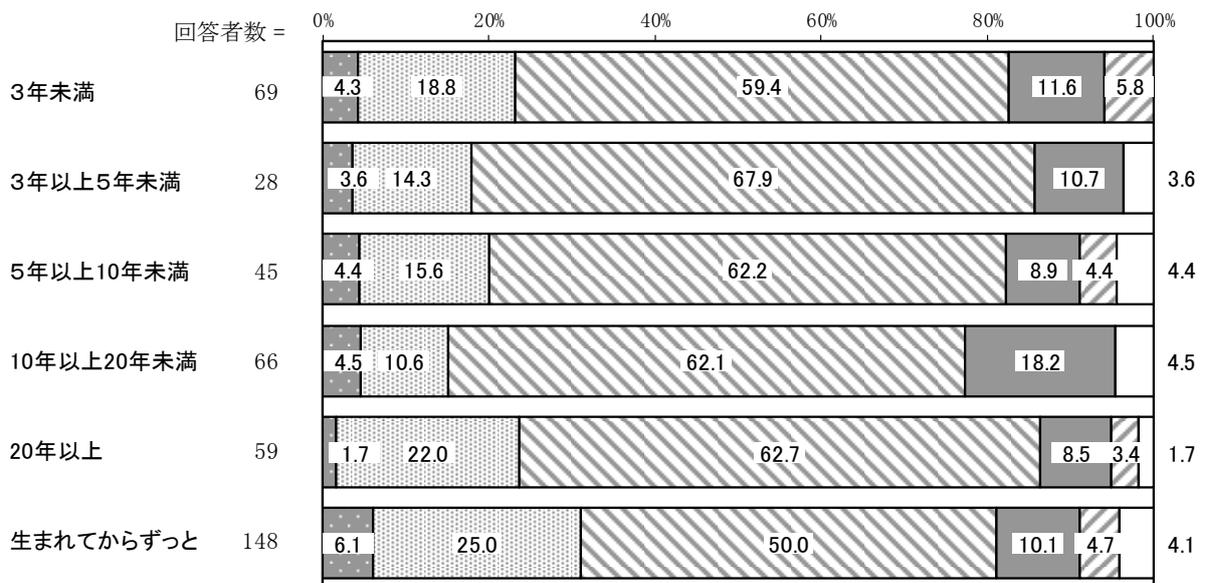
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約3割となっています。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

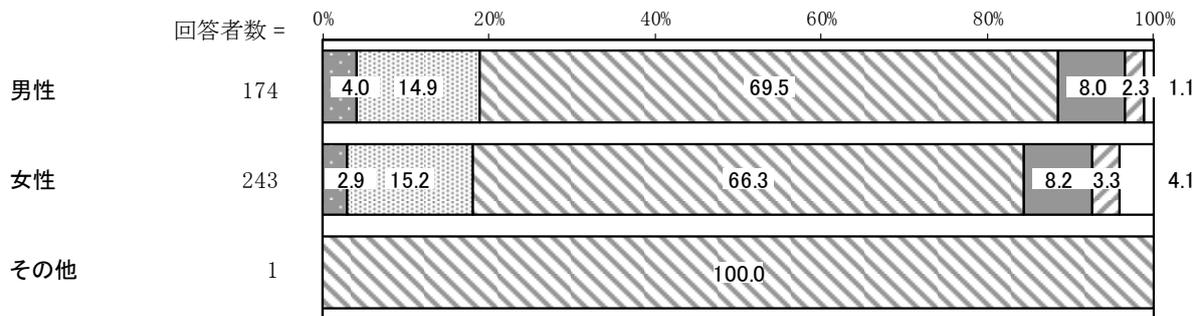
“満足”の割合が18.4%、“不満”の割合が11.0%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、増減はありますが“不満”の割合が減少傾向となっています。



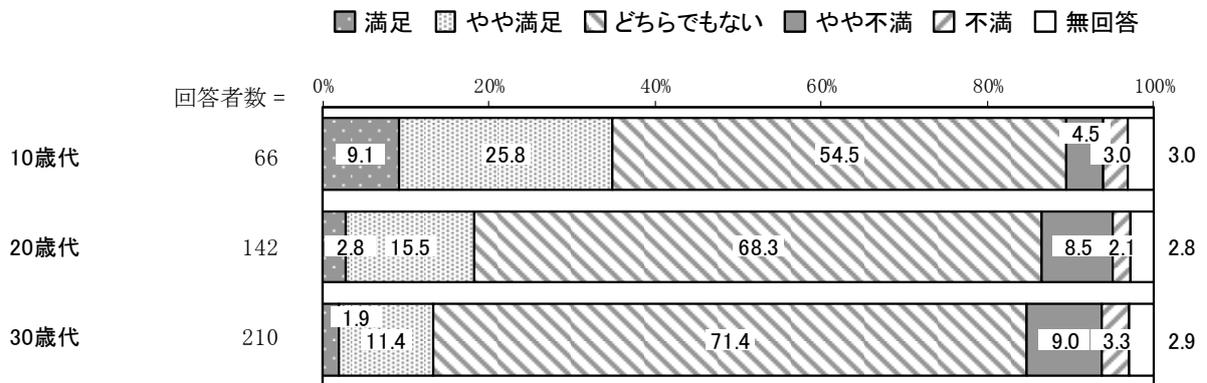
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



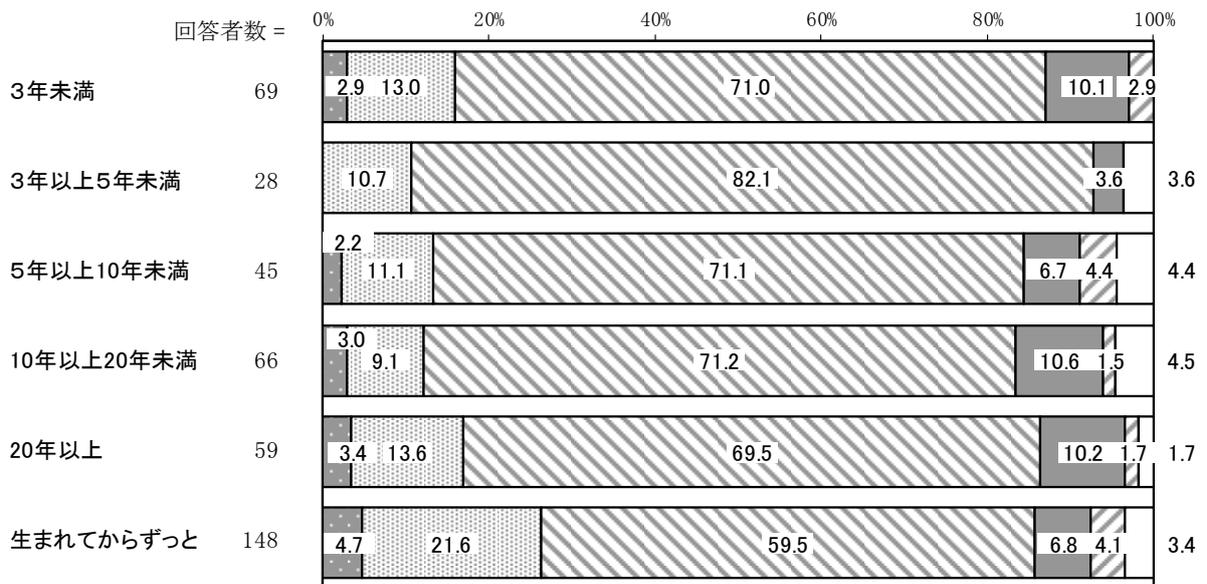
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



【居住年数別】

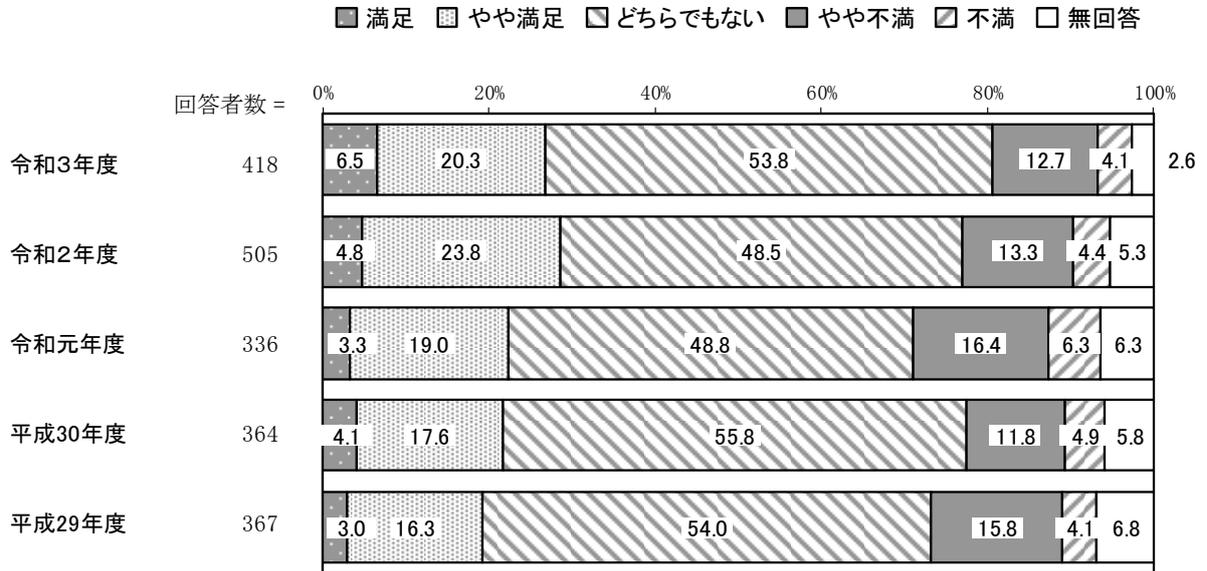
居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり

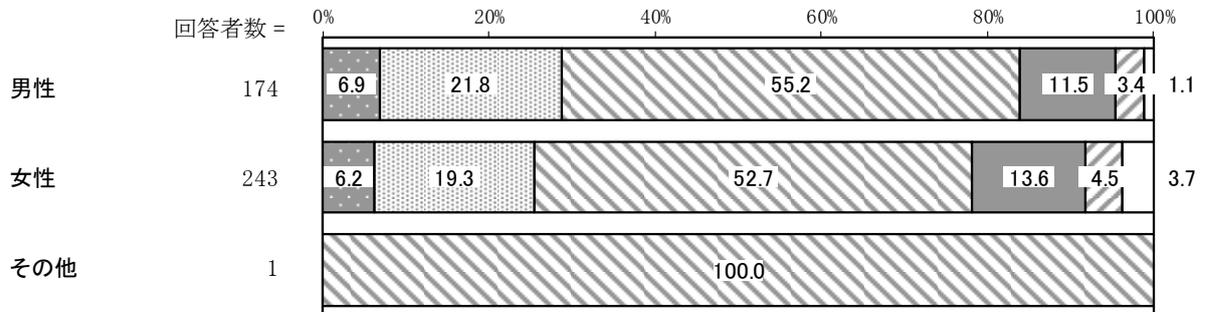
“満足”の割合が26.8%、“不満”の割合が16.8%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、増減はありますが“満足”の割合が増加する傾向がみられます。



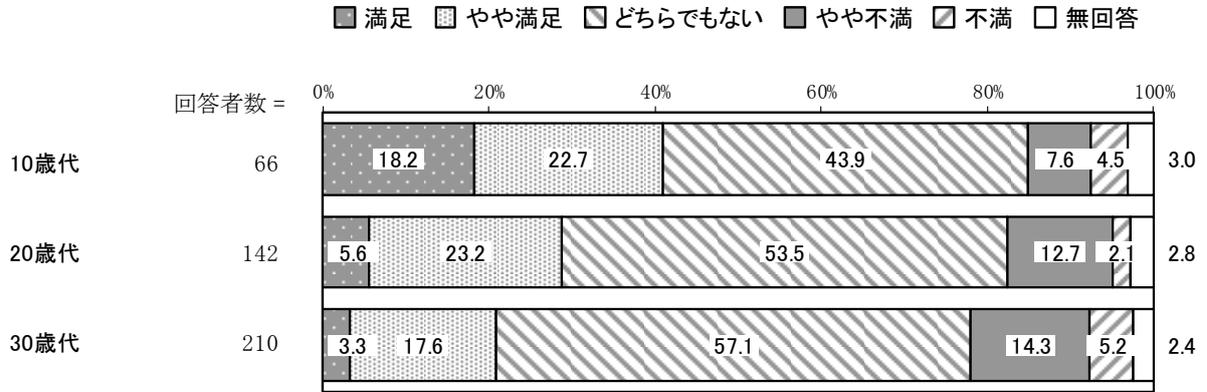
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



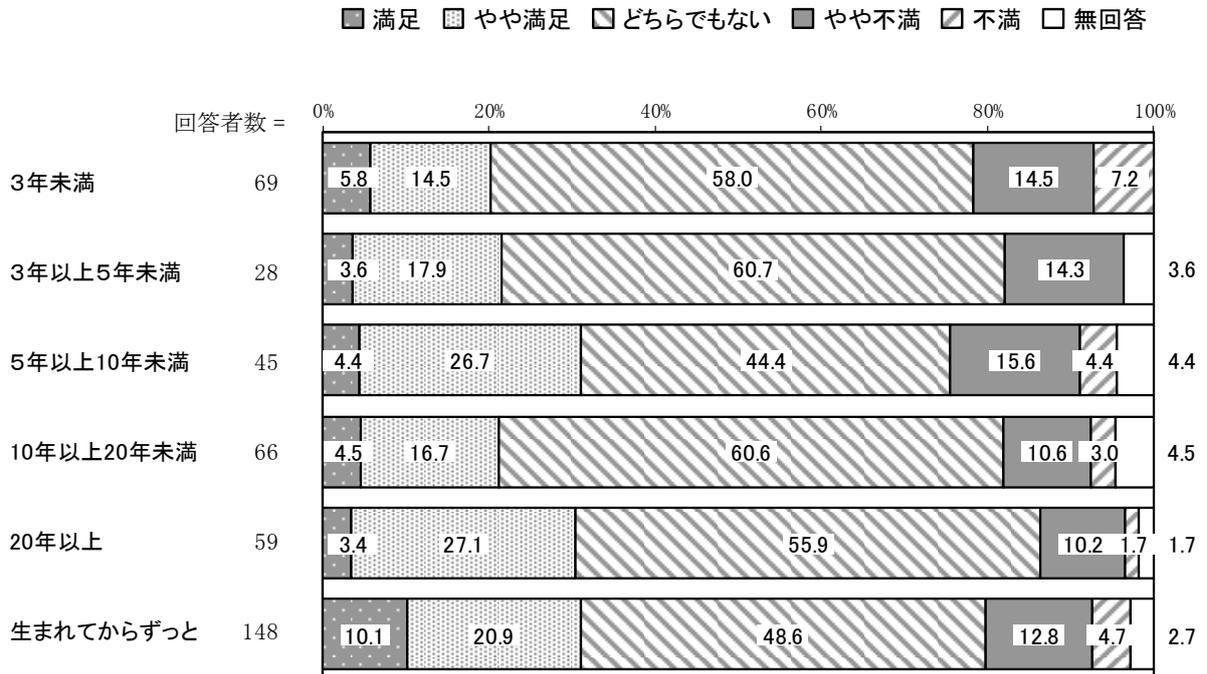
【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ“満足”の割合が、年代が上がるにつれ“不満”の割合が高くなっています。



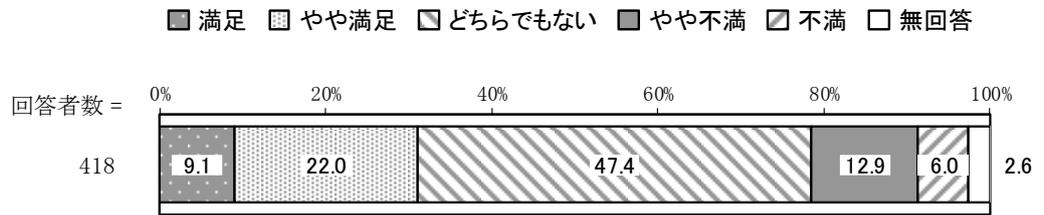
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満、20年以上、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約3割となっています。



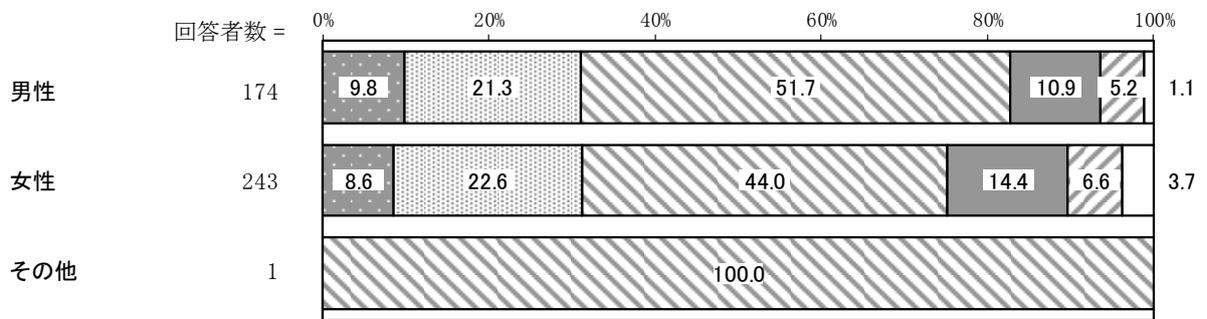
(14) 必要な医療サービスが受けられる

“満足”の割合が31.1%、“不満”の割合が18.9%となっています。



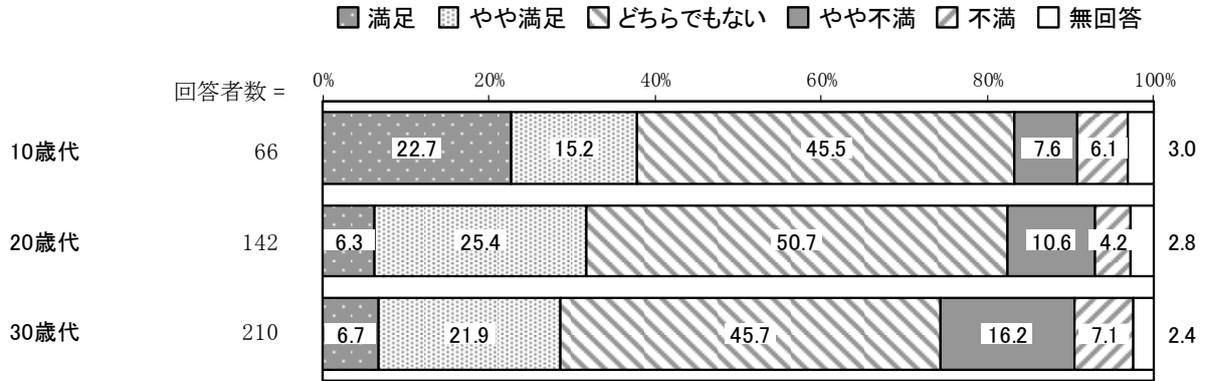
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



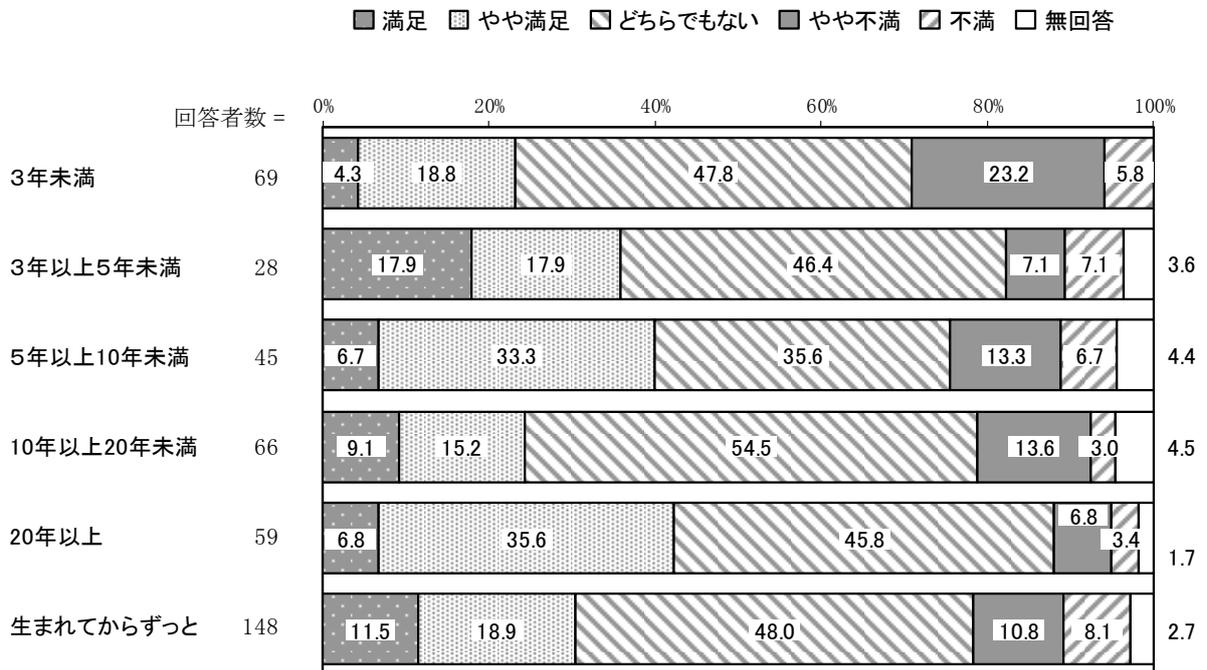
【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ“満足”の割合が、年代が上がるにつれ“不満”の割合が高くなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で“満足”の割合が高く、4割を超えています。また、3年未満で“不満”の割合が約3割となっています。



【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・今後の重要性の得点化

14 項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を 5 つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■ 満足度・今後の重要性の得点化の手順 ■

満足度	→	得点	重要度	→	得点
不満	→	-2 点	重要ではない	→	-2 点
やや不満	→	-1 点	あまり重要ではない	→	-1 点
どちらでもない	→	0 点	どちらでもない	→	0 点
やや満足	→	1 点	やや重要	→	1 点
満足	→	2 点	重要	→	2 点
無回答	→	計算対象外	無回答	→	計算対象外

■ 得点の算出式 ■

<p>2点 × 「満足(重要)」の回答数</p> <p>+1点 × 「やや満足(やや重要)」の回答数</p> <p>+0点 × 「どちらでもない」の回答数</p> <p>-1点 × 「やや不満(あまり重要ではない)」の回答数</p> <p>-2点 × 「不満(重要ではない)」の回答数 / 無回答を除く回答数</p>
--

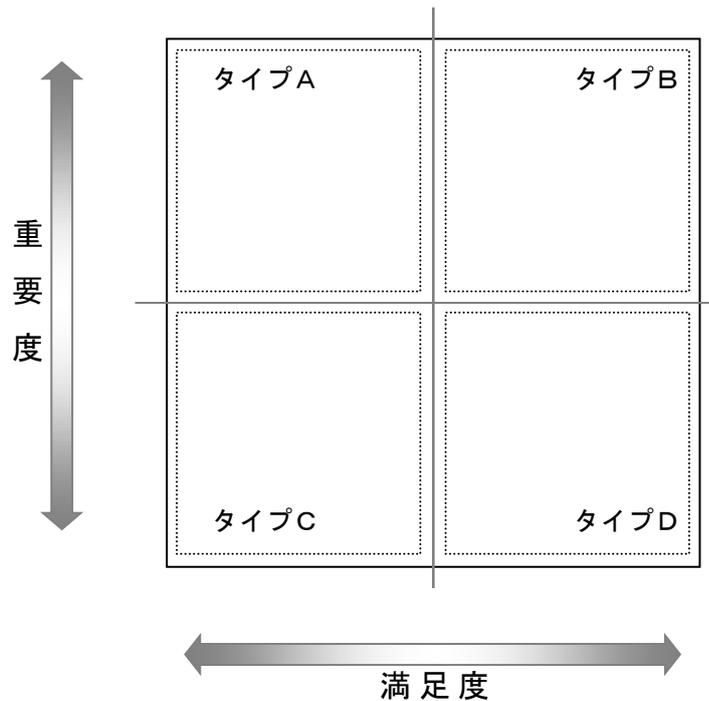
算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

■ 満足度・重要度のベスト3とワースト3 ■

満足度	得点	順位	得点	重要度
施策名				施策名
(14) 必要な医療サービスが受けられる	0.16	第1位	1.60	(14) 必要な医療サービスが受けられる
(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり	0.13	第2位	1.52	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(8) 安心して子育てできる環境づくり	0.12	第3位	1.42	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	-0.02	第12位	0.82	(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援
(4) シティプロモーションの推進	-0.07	第13位	0.67	(5) 定住・移住の促進
(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成	-0.07	最下位	0.62	(4) シティプロモーションの推進

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。



◆タイプA

満足度は低いが、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB

満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

◆タイプC

満足度は低く、重要度も低い

→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

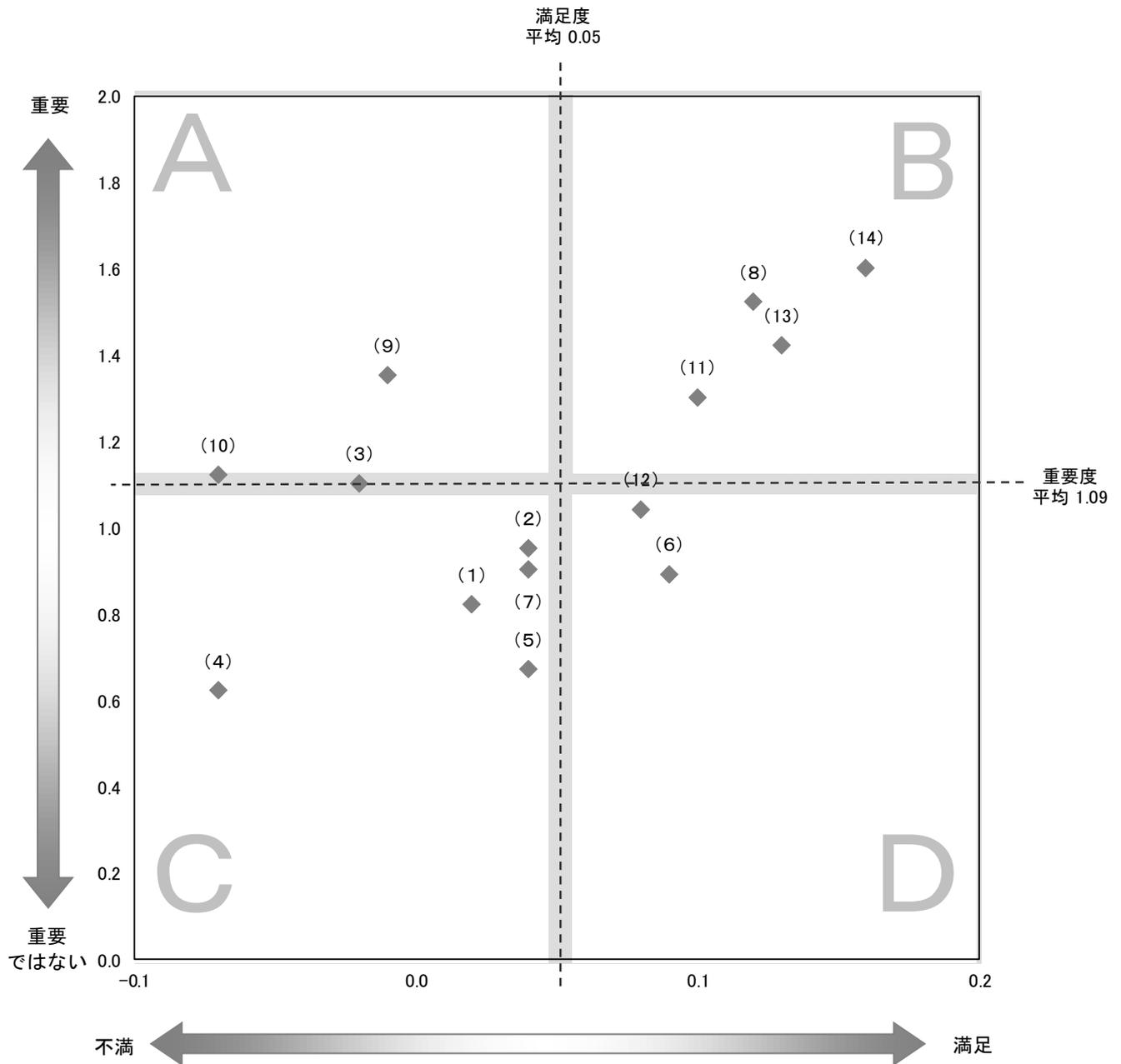
◆タイプD

満足度は高いが、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析（回答者数 = 418）

満足度が高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(8)安心して子育てできる環境づくり』『(11)健康で暮らせる環境づくり』『(13)安全・安心に暮らせる生活環境づくり』となっています。



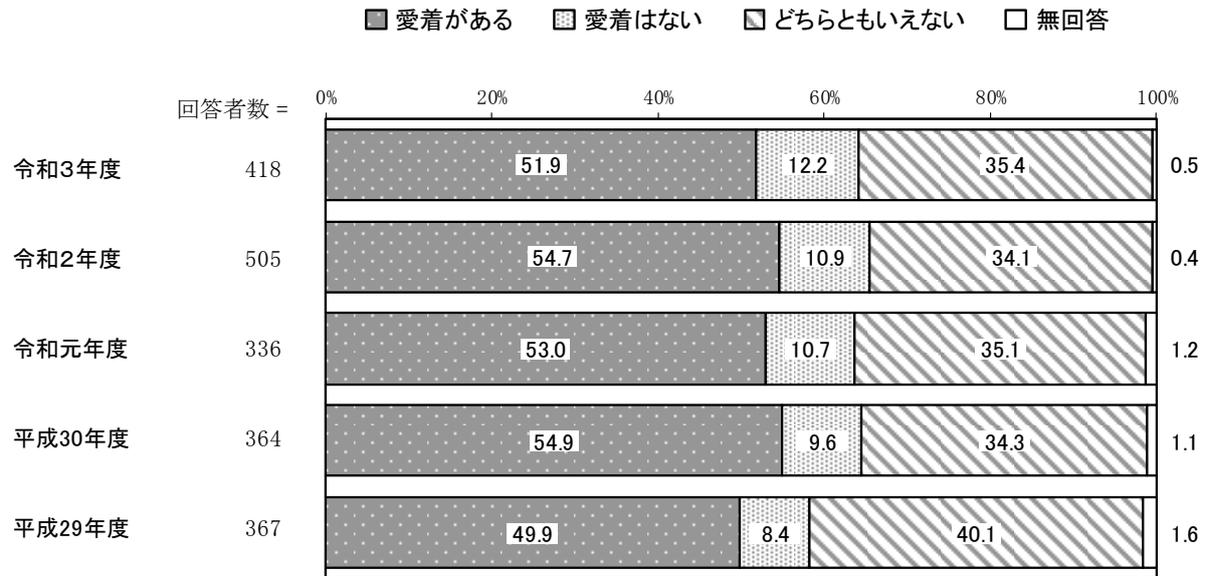
項目	
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	(9) 学びを支援する環境づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成
(4) シティプロモーションの推進	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(5) 定住・移住の促進	(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり
(6) 地域と市民の元気づくり	(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	(14) 必要な医療サービスが受けられる

(4) 可児市のイメージについて

問 15 可児市に愛着はありますか。

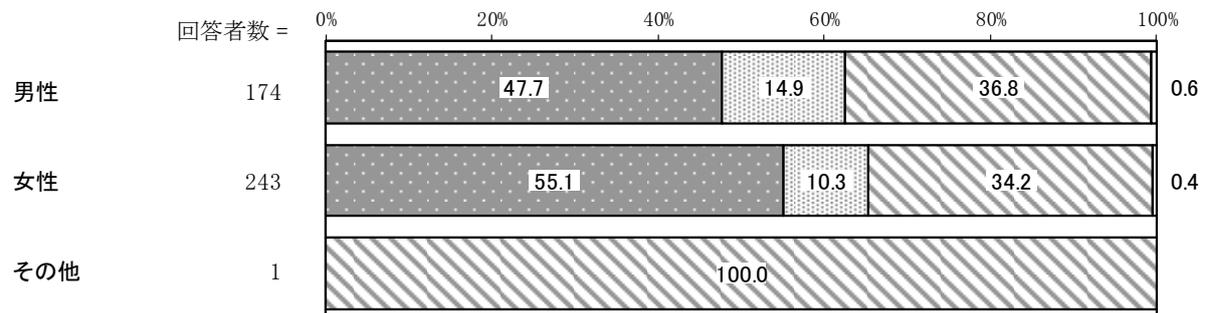
「愛着がある」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 35.4%、「愛着はない」の割合が 12.2%となっています。

令和 2 年度以前の調査と比較すると、平成 29 年度に「愛着がある」の割合が減少したものの、以降は 5 割超で推移しています。



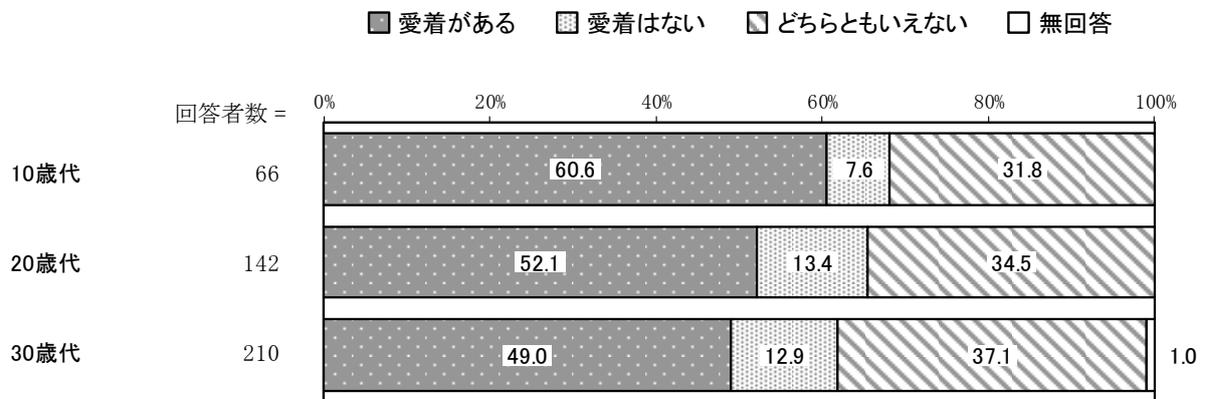
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「愛着はない」の割合が高く、1割台半ばとなっています。また、男性に比べ、女性で「愛着がある」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



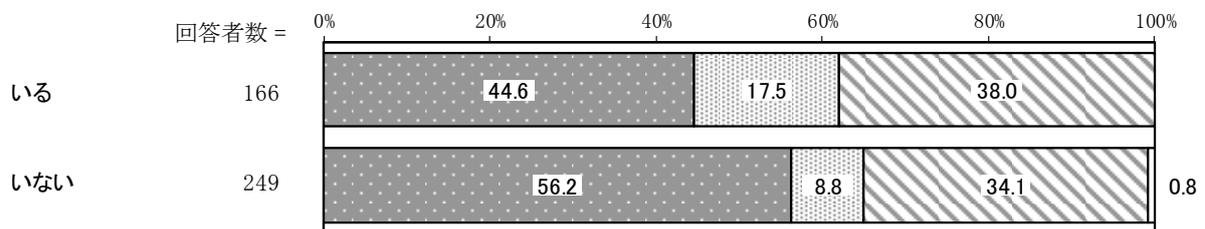
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「愛着がある」の割合が高く、約6割となっています。



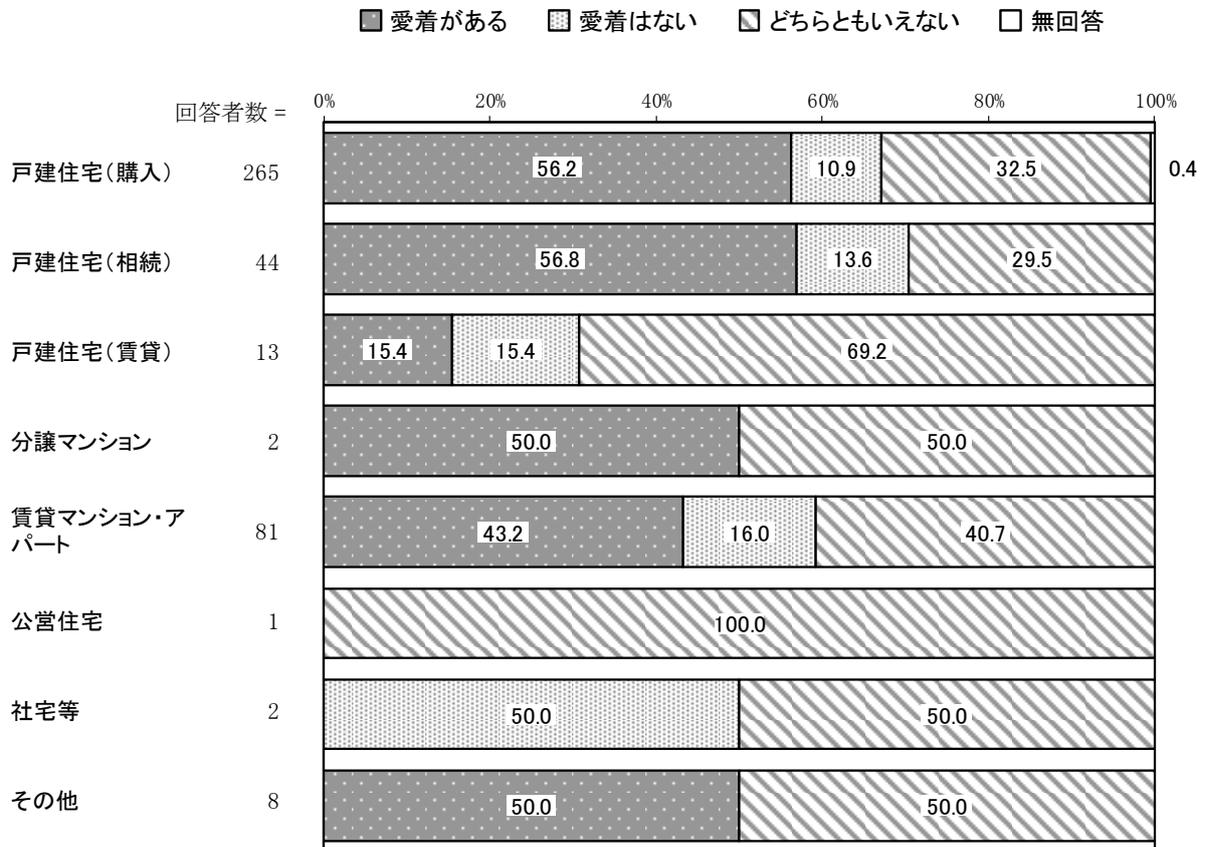
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子供がいる人に比べ、子供がいない人で「愛着がある」の割合が高く、5割半ばとなっています。



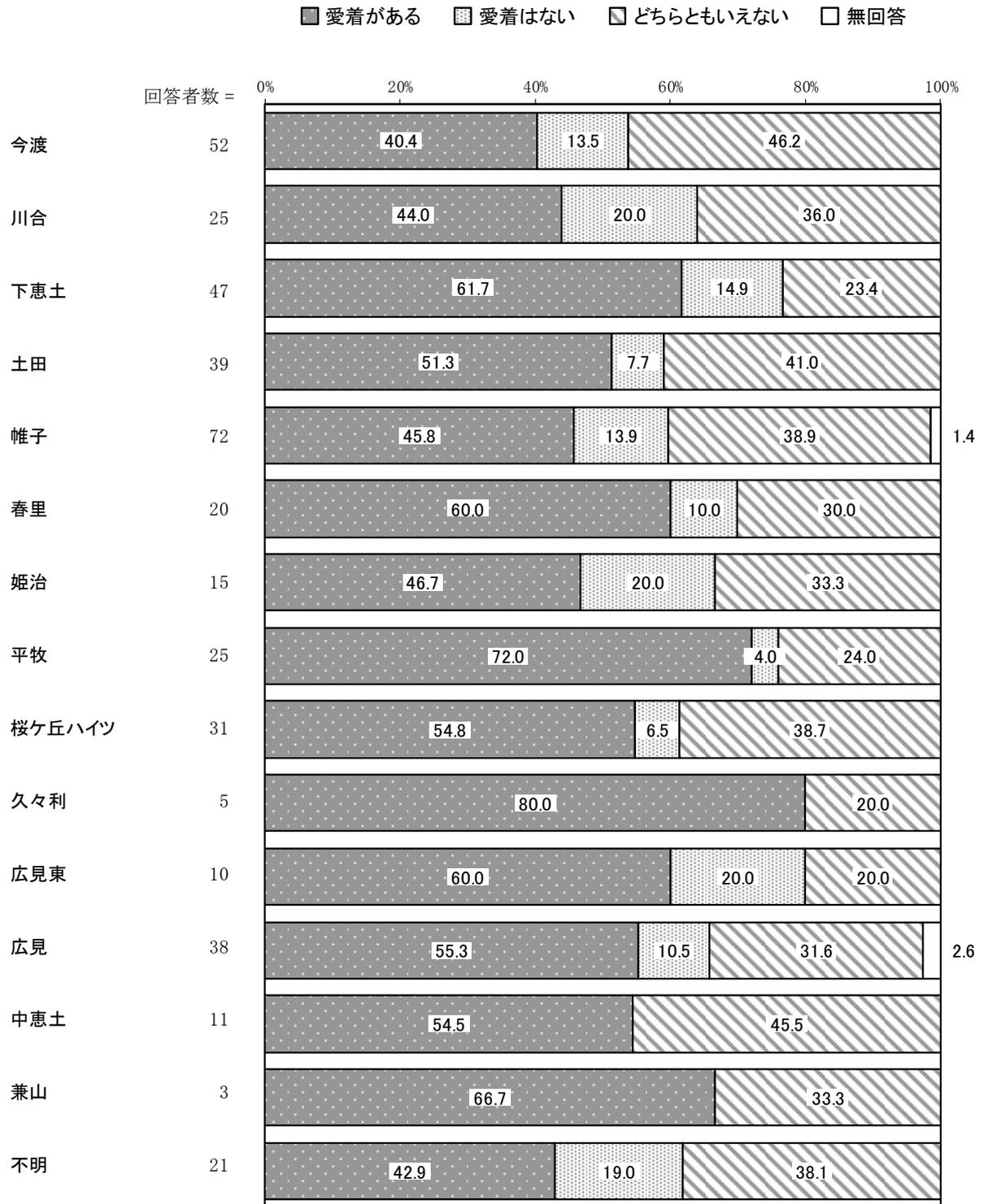
【住まいの形態別】

住まいの形態別で見ると、他に比べ、戸建住宅（購入）戸建住宅（相続）で「愛着がある」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



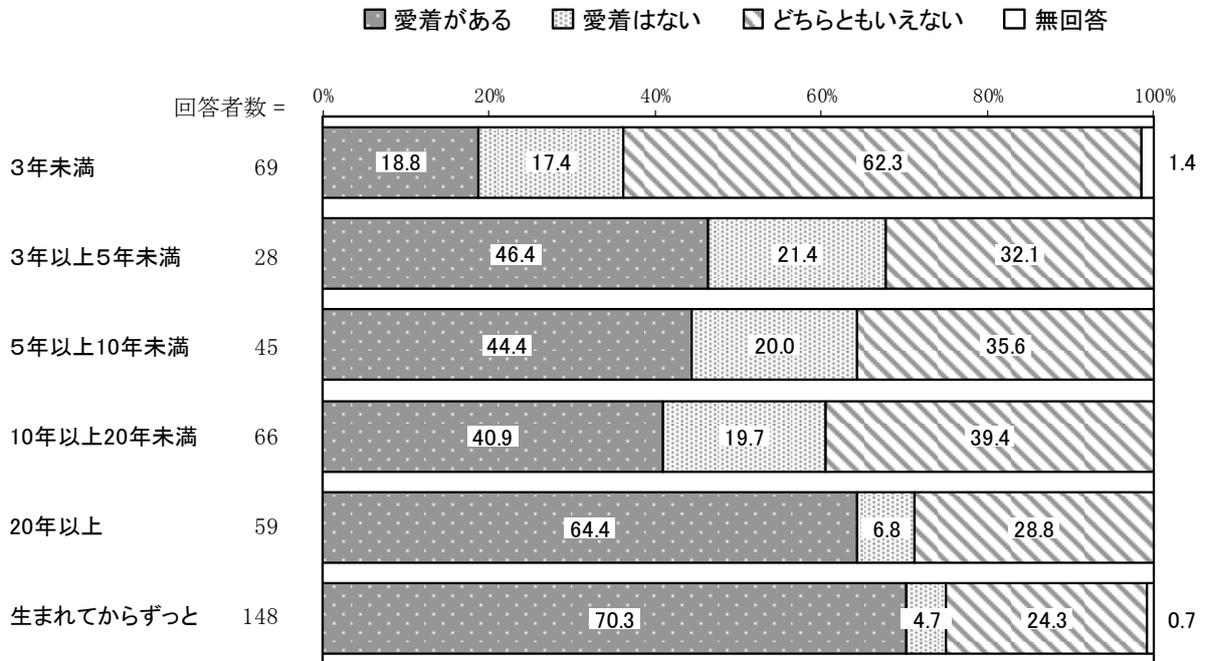
【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、久々利で「愛着がある」の割合が高く、8割となっています。また、川合、姫治、広見東で「愛着はない」の割合が高く、2割となっています。



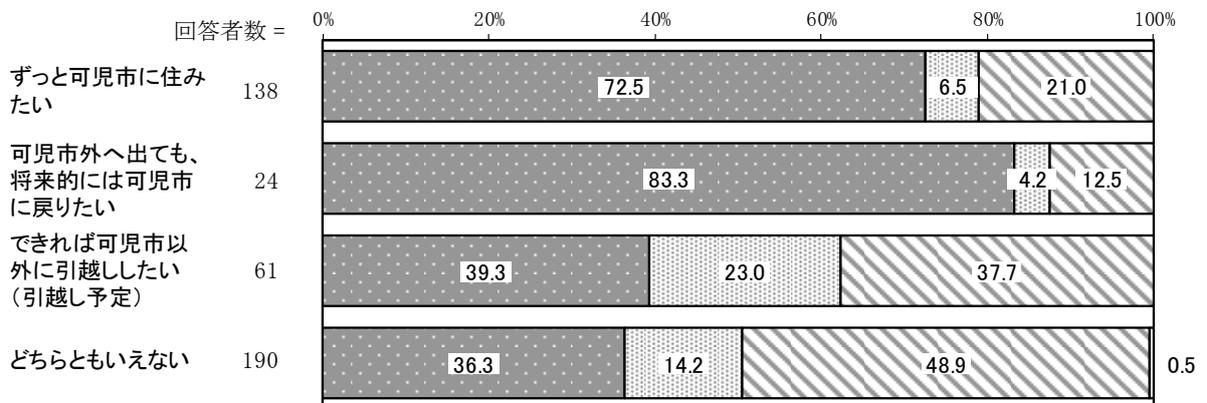
【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ「愛着がある」の割合が高くなる傾向がみられ、20年以上で6割台半ばとなっています。また、居住年数が短くなるにつれ「愛着はない」の割合が高くなる傾向となっています。



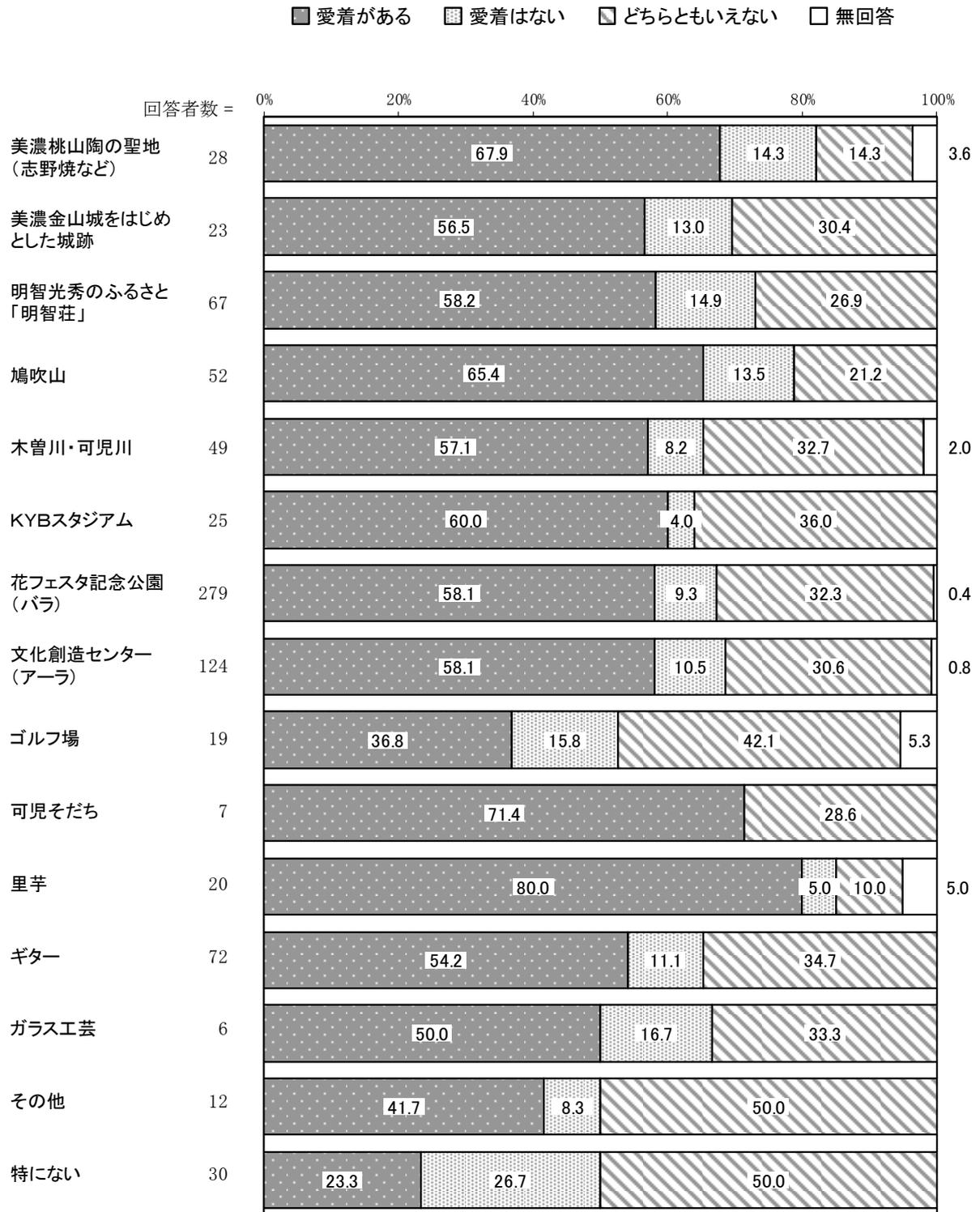
【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別でみると、他に比べ、可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたいで「愛着がある」の割合が高く8割を超えています。また、できれば可児市以外に引越したい（引越し予定）で「愛着はない」の割合が高く、2割を超えています。



【自慢できる観光資源別】

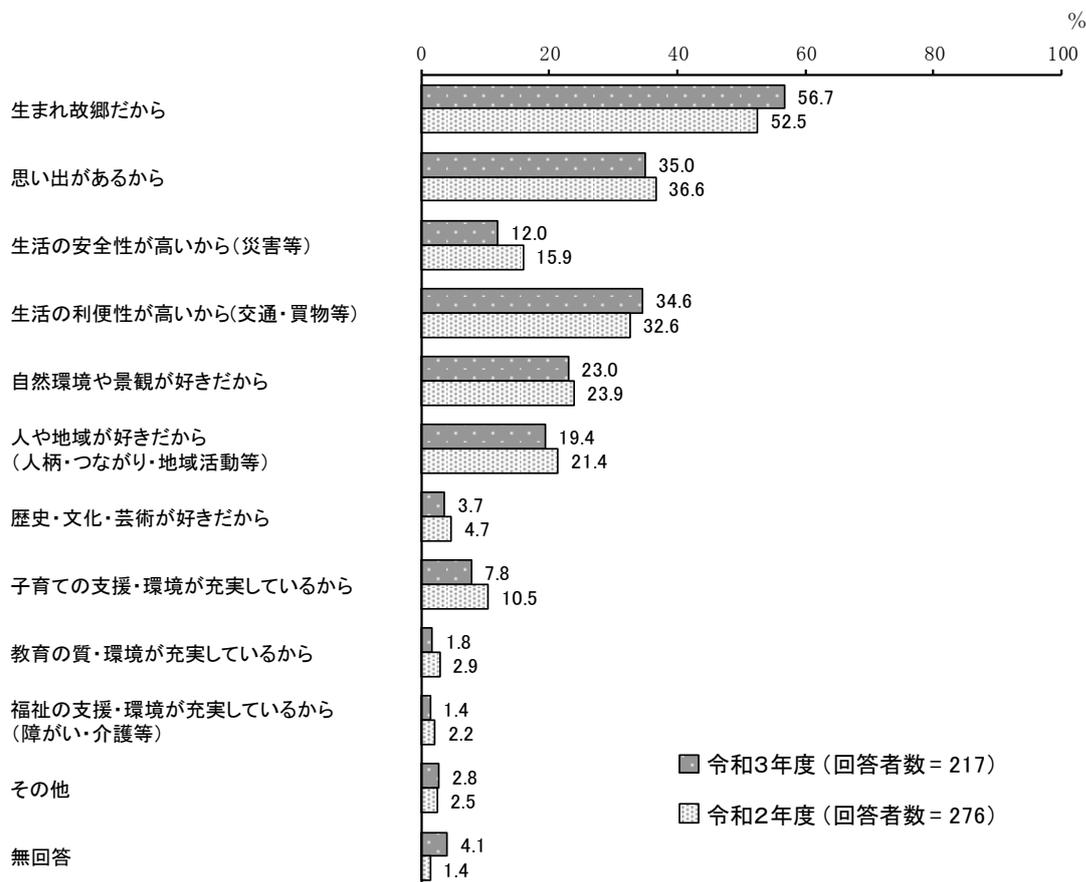
自慢できる観光資源別でみると、他に比べ、里芋で「愛着がある」の割合が高く、8割となっています。また、特にないで「愛着はない」の割合が高く、3割近くとなっています。



【問 15 で「愛着がある」を選択された方に伺います】

問 16 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

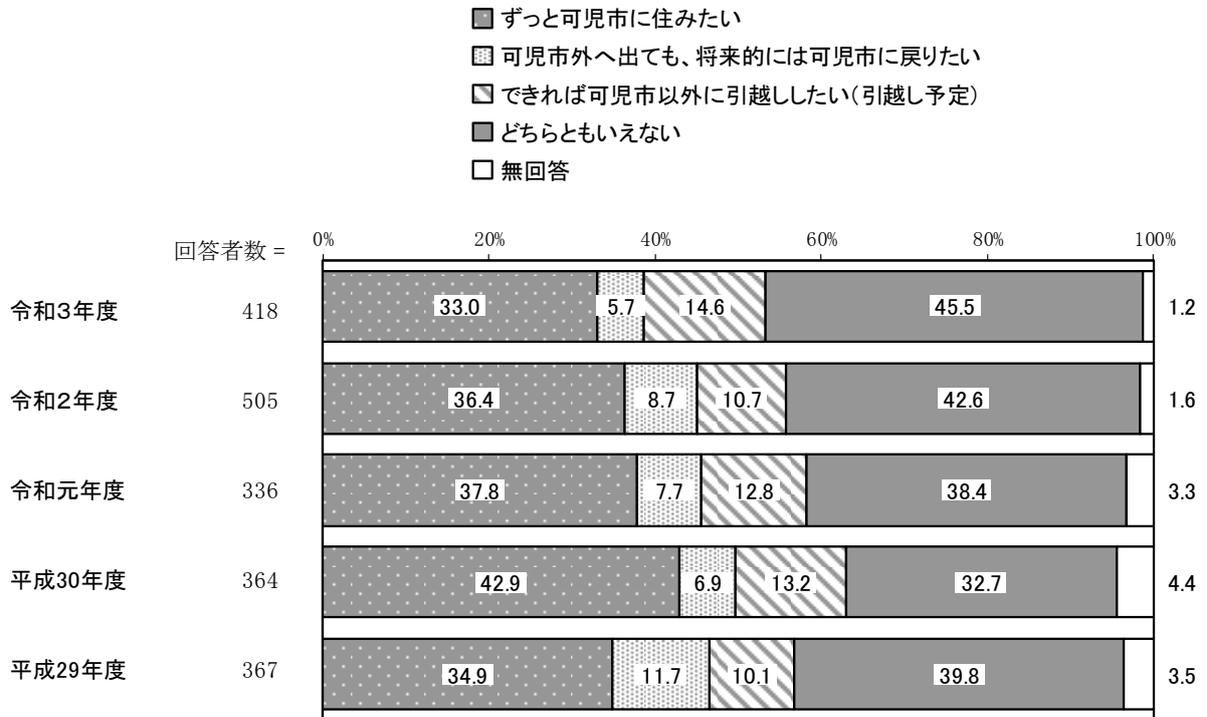
「生まれ故郷だから」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「思い出があるから」の割合が 35.0%、「生活の利便性が高いから(交通・買物等)」の割合が 34.6%となっています。
令和2年度の調査と比較すると、「生まれ故郷だから」の割合が増加しています。



問 17 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

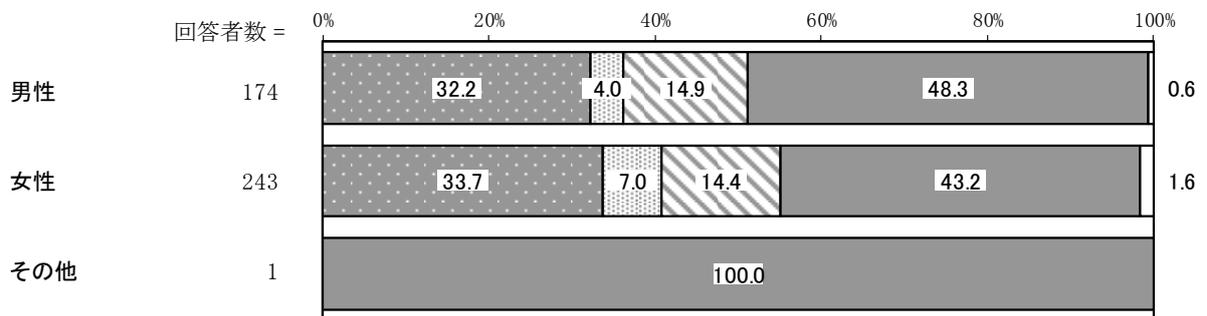
「どちらともいえない」の割合が45.5%と最も高く、次いで「ずっと可児市に住みたい」の割合が33.0%、「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が14.6%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降「ずっと可児市に住みたい」の割合が減少する傾向がみられます。



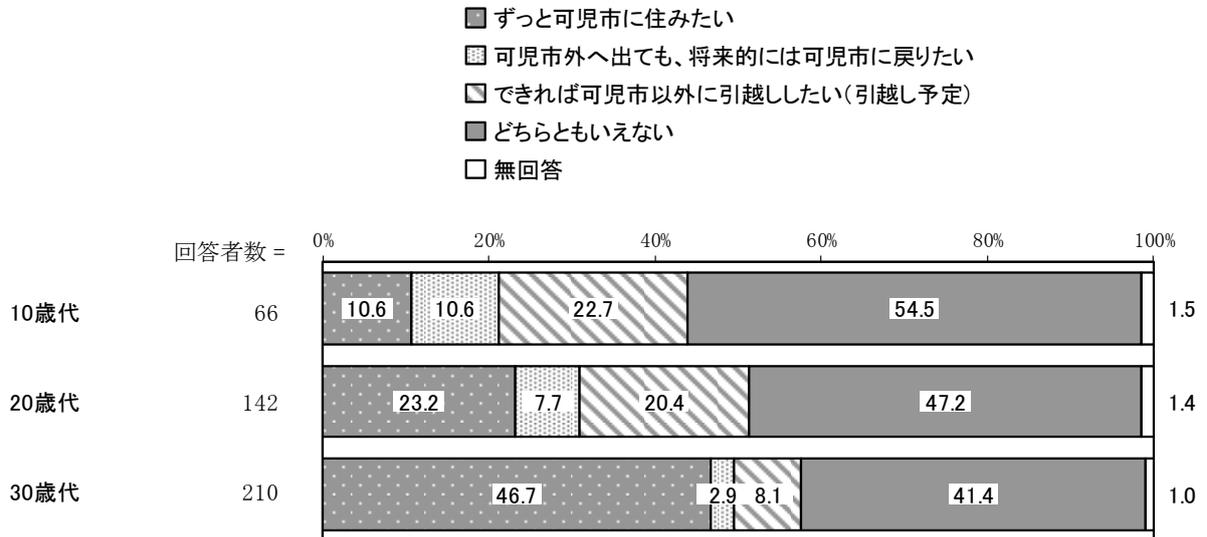
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「どちらともいえない」の割合が高く、5割近くとなっています。



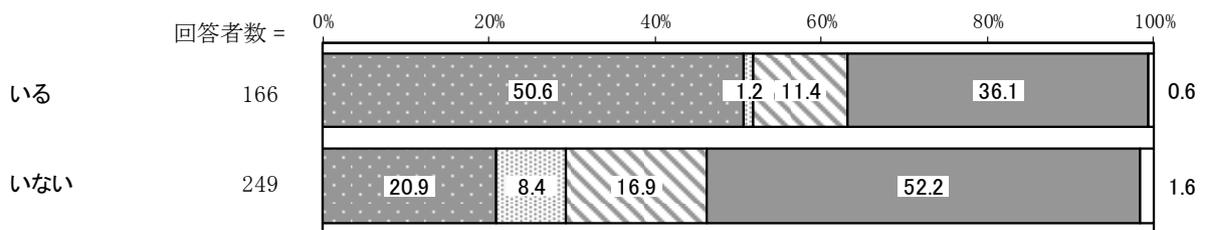
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「ずっと可児市に住みたい」の割合が高くなる傾向がみられ、30歳代で4割台半ばとなっています。また、年代が下がるにつれ「可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい」「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が高くなっています。



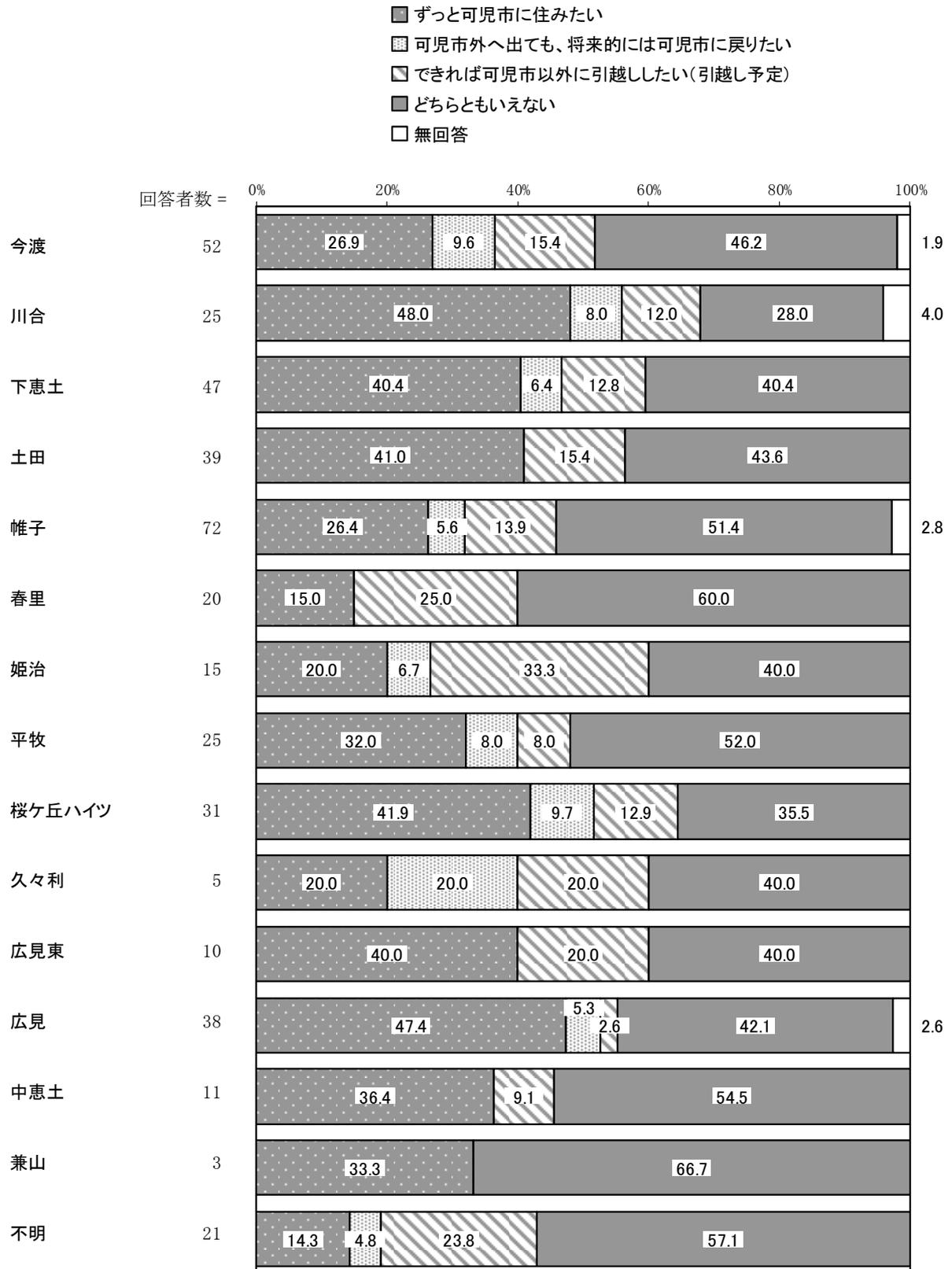
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、約5割となっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市外へ出ても、将来的には可児市に戻りたい」「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が高くなっています。



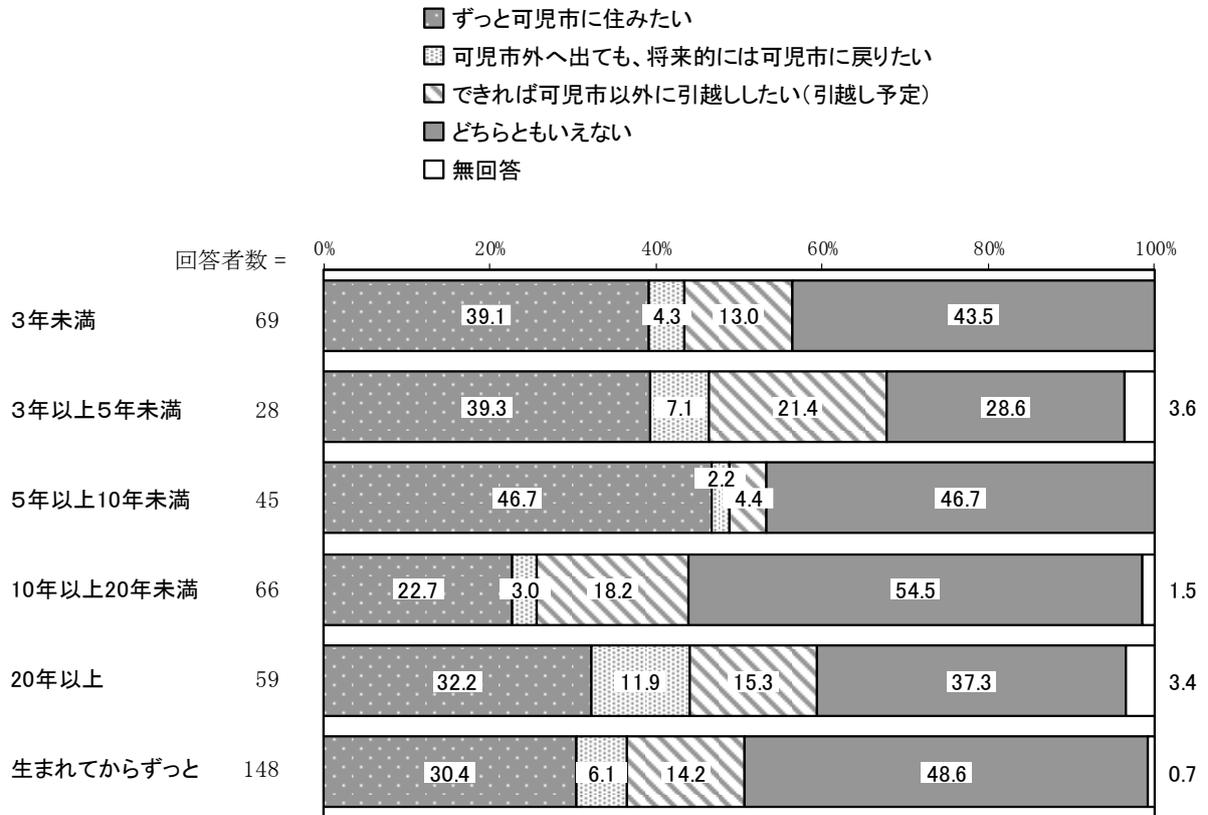
【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、川合、広見で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、5割近くとなっています。また、姫治で「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が高く、3割を超えています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、5割近くとなっています。

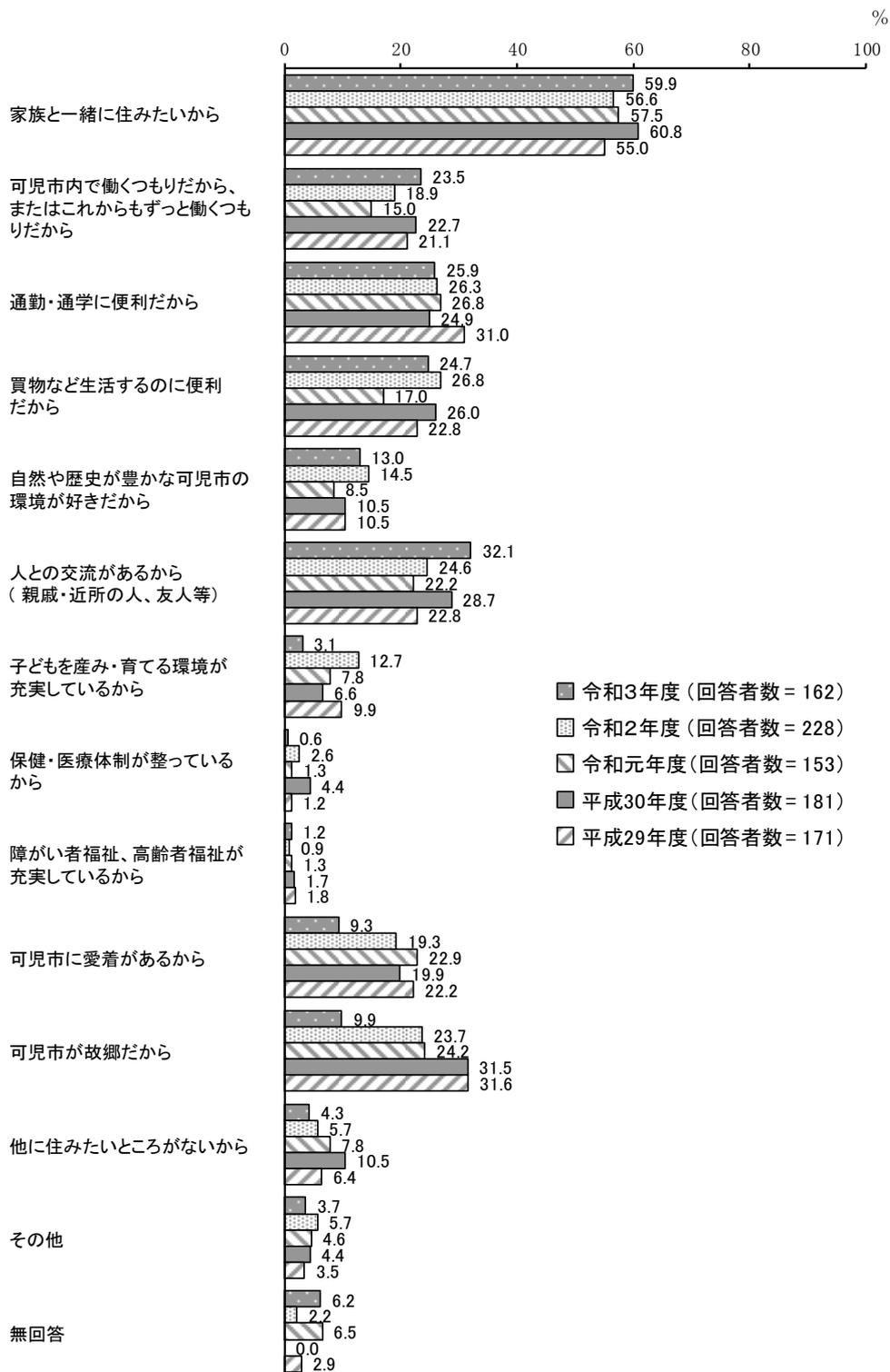


【問17で1または2(ずっと可児市に住みたい・可児市外へ出て、将来的には可児市に戻りたい)を選択された方に伺います】

問18 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

「家族と一緒に住みたいから」の割合が59.9%と最も高く、次いで「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が32.1%、「通勤・通学に便利だから」の割合が25.9%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、「可児市に愛着があるから」「可児市が故郷だから」の割合が減少する傾向がみられます。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「家族と一緒に住みたいから」「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）」「可児市に愛着があるから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が（親戚・近所の人、友人等）	人との交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
男性	63	66.7	28.6	46.0	23.8	17.5	28.6	3.2	—	1.6	4.8	11.1	—	—	—	
女性	99	55.6	20.2	13.1	25.3	10.1	34.3	3.0	1.0	1.0	12.1	9.1	7.1	6.1	10.1	
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「家族と一緒に住みたいから」の割合が、年代が下がるにつれ「可児市に愛着があるから」の割合が高くなっています。また、10歳代に比べ、20歳代、30歳代で「通勤・通学に便利だから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が（親戚・近所の人、友人等）	人との交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
10歳代	14	50.0	21.4	7.1	21.4	21.4	42.9	—	7.1	7.1	14.3	42.9	—	—	—	
20歳代	44	56.8	27.3	36.4	29.5	22.7	29.5	2.3	—	—	13.6	—	2.3	4.5	6.8	
30歳代	104	62.5	22.1	24.0	23.1	7.7	31.7	3.8	—	1.0	6.7	9.6	5.8	3.8	6.7	

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「家族と一緒に住みたいから」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「買物など生活するのに便利だから」「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから 自然や歴史が豊かな可児市の環境が	(親戚・近所の人、友人等)	子どもの交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
いる	86	70.9	19.8	25.6	19.8	7.0	30.2	5.8	—	1.2	7.0	7.0	7.0	5.8	4.7	
いない	73	45.2	26.0	27.4	30.1	19.2	35.6	—	1.4	1.4	12.3	13.7	1.4	—	8.2	

【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、姫治、広見東、中恵土で「家族と一緒に住みたいから」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、平牧で「人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）」の割合が高く、5割となっています。

単位：％

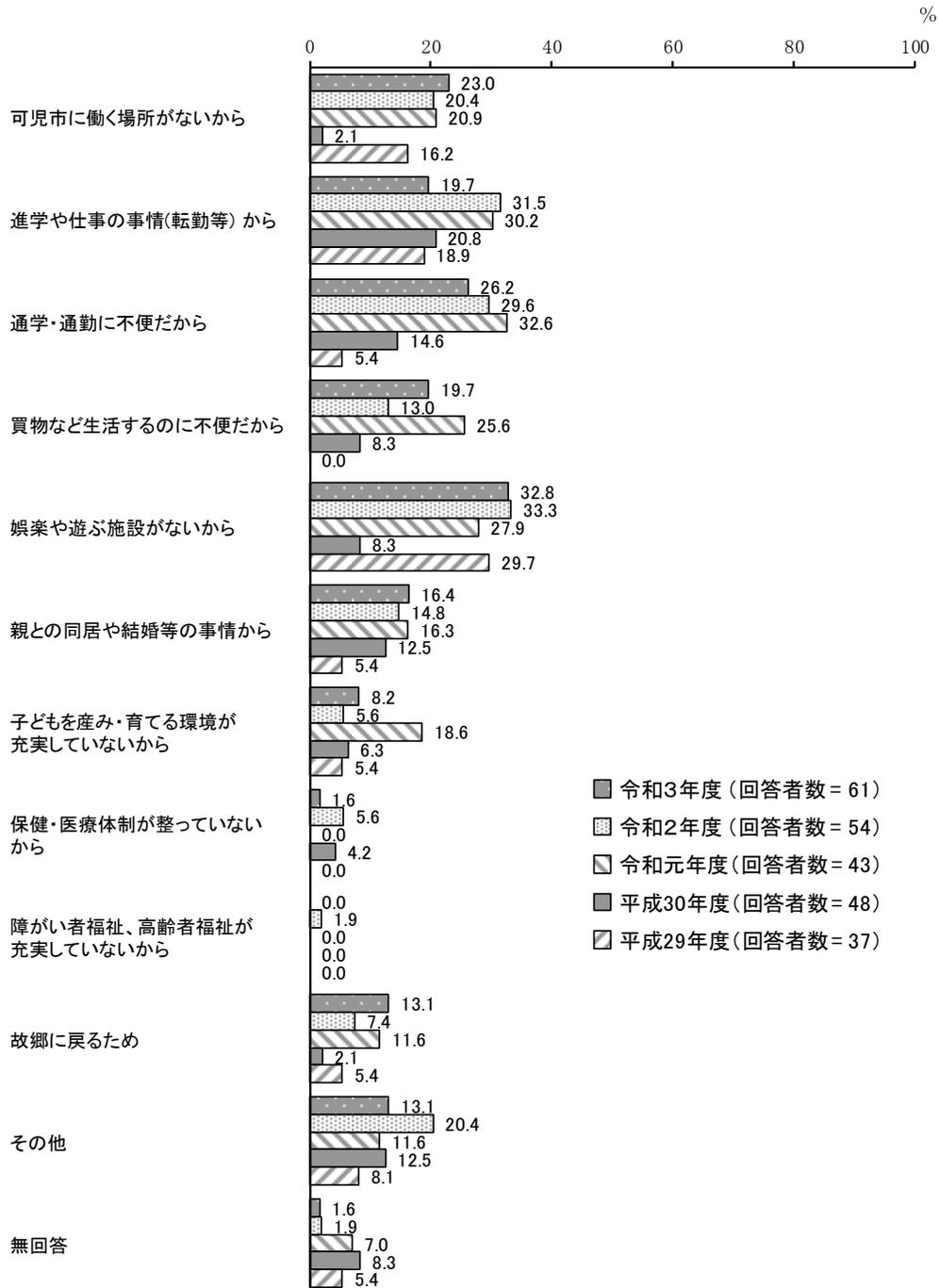
区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	好きだから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が(親戚・近所の人、友人等)	人との交流があるから	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
今渡	19	57.9	21.1	21.1	26.3	10.5	36.8	—	—	5.3	5.3	15.8	5.3	—	5.3	
川合	14	64.3	35.7	28.6	14.3	7.1	42.9	—	—	7.1	14.3	—	7.1	—	—	
下恵土	22	50.0	13.6	27.3	31.8	4.5	31.8	4.5	—	—	4.5	13.6	—	4.5	13.6	
土田	16	68.8	31.3	25.0	37.5	6.3	25.0	6.3	—	—	12.5	—	6.3	6.3	—	
帷子	23	47.8	13.0	21.7	17.4	17.4	30.4	—	—	—	17.4	17.4	8.7	4.3	13.0	
春里	3	33.3	33.3	—	33.3	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—	33.3	
姫治	4	75.0	—	25.0	—	25.0	25.0	—	—	—	25.0	25.0	—	—	—	
平牧	10	40.0	40.0	10.0	30.0	20.0	50.0	—	—	—	10.0	20.0	—	—	10.0	
桜ヶ丘 ハイツ	16	68.8	18.8	37.5	12.5	18.8	31.3	6.3	6.3	—	12.5	12.5	6.3	6.3	—	
久々利	2	50.0	—	—	100.0	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	
広見東	4	75.0	50.0	50.0	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
広見	20	70.0	30.0	35.0	25.0	10.0	25.0	10.0	—	—	5.0	—	—	10.0	—	
中恵土	4	75.0	—	25.0	25.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	25.0	
兼山	1	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
不明	4	75.0	50.0	—	—	25.0	75.0	—	—	—	—	25.0	25.0	—	—	

【問 17 で 3（できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)）を選択された方に伺います】

問 19 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が 32.8%と最も高く、次いで「通学・通勤に不便だから」の割合が 26.2%、「可児市に働く場所がないから」の割合が 23.0%となっています。

令和2年度調査と比較すると、「進学や仕事の事情(転勤等) から」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「可児市に働く場所がないから」「買物など生活するのに不便だから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「進学や仕事の事情（転勤等）から」「娯楽や遊ぶ施設がないから」「親との同居や結婚等の事情から」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	可児市に働く場所がないから	進学や仕事の事情（転勤等）から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
男性	26	26.9	15.4	30.8	30.8	26.9	11.5	7.7	—	—	11.5	15.4	—
女性	35	20.0	22.9	22.9	11.4	37.1	20.0	8.6	2.9	—	14.3	11.4	2.9
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

年代別では、年代が下がるにつれ「可児市に働く場所がないから」「進学や仕事の事情（転勤等）から」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が高く、5割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	可児市に働く場所がないから	進学や仕事の事情（転勤等）から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
10歳代	15	33.3	26.7	26.7	20.0	53.3	6.7	6.7	—	—	—	—	—
20歳代	29	24.1	20.7	31.0	13.8	31.0	20.7	6.9	3.4	—	13.8	10.3	3.4
30歳代	17	11.8	11.8	17.6	29.4	17.6	17.6	11.8	—	—	23.5	29.4	—

【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「故郷に戻るため」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「進学や仕事の事情(転勤等)から」「通学・通勤に不便だから」「娯楽や遊ぶ施設がないから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	可児市に働く場所がないから	進学や仕事の事情(転勤等)から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
いる	19	21.1	10.5	15.8	21.1	10.5	21.1	21.1	5.3	—	31.6	26.3	—
いない	42	23.8	23.8	31.0	19.0	42.9	14.3	2.4	—	—	4.8	7.1	2.4

【居住地区別】

居住地区別では、有効回答数が少ないため、コメントは控えます。

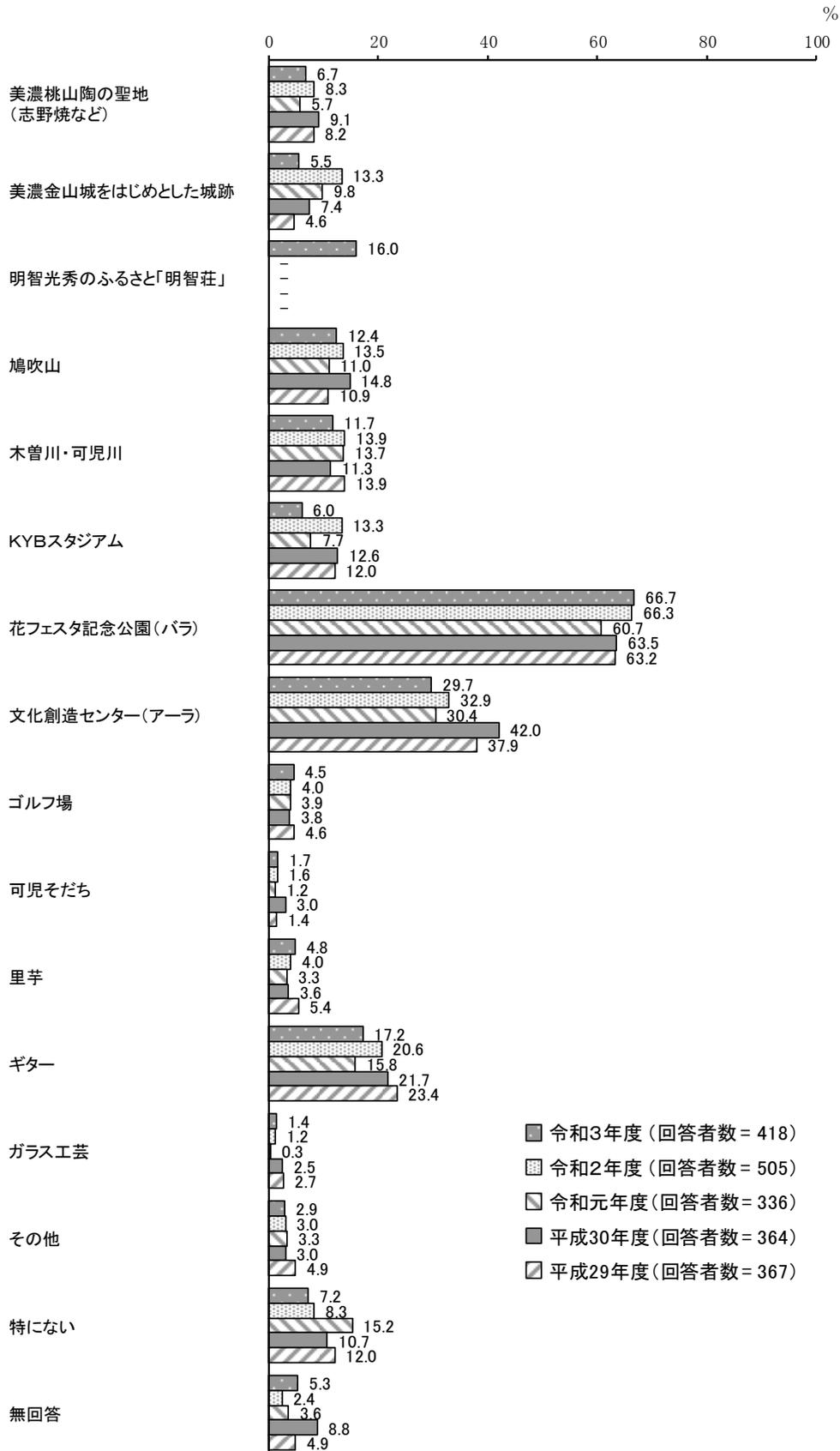
単位：％

区分	有効回答数(件)	可児市に働く場所がないから	進学や仕事の事情(転勤等)から	通学・通勤に不便だから	買物など生活するのに不便だから	娯楽や遊ぶ施設がないから	親との同居や結婚等の事情から	子どもを産み・育てる環境が充実していないから	保健・医療体制が整っていないから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから	故郷に戻るため	その他	無回答
今渡	8	12.5	25.0	12.5	12.5	37.5	25.0	12.5	12.5	—	12.5	25.0	—
川合	3	33.3	33.3	—	—	—	33.3	33.3	—	—	33.3	—	—
下恵土	6	33.3	—	16.7	33.3	50.0	16.7	16.7	—	—	—	—	—
土田	6	—	16.7	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	—	—	16.7	—	—
帷子	10	30.0	20.0	30.0	30.0	50.0	20.0	—	—	—	10.0	20.0	10.0
春里	5	20.0	20.0	60.0	—	20.0	—	—	—	—	—	40.0	—
姫治	5	40.0	—	60.0	—	—	20.0	—	—	—	—	—	—
平牧	2	50.0	—	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—	50.0	—
桜ヶ丘ハイツ	4	25.0	50.0	—	25.0	50.0	—	25.0	—	—	—	—	—
久々利	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
広見東	2	—	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—	50.0	—	—
広見	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
中恵土	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
兼山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
不明	5	—	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	—	—	—	40.0	20.0	—

問 20 可児市の自慢できる地域資源（観光施設・特産品など）はどれだと思いますか。
（〇は3つまで）

「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が66.7%と最も高く、次いで「文化創造センター（ア
ーラ）」の割合が29.7%、「ギター」の割合が17.2%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、「ギター」の割合が減少する傾向がみられます。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「KYBスタジアム」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高く、約7割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	美濃桃山陶の聖地(志野焼など)	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと「明智荘」	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園(バラ)	文化創造センター(アーラ)	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
男性	174	9.2	4.6	18.4	12.1	13.2	9.2	62.6	27.6	6.3	1.1	1.7	19.5	1.1	4.6	9.2	4.6
女性	243	4.9	6.2	14.4	12.8	10.3	3.7	69.5	30.9	3.3	2.1	7.0	15.6	1.6	1.6	5.8	5.8
その他	1	—	—	—	—	100.0	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「美濃金山城をはじめとした城跡」の割合が、年代が下がるにつれ「明智光秀のふるさと「明智荘」」「KYBスタジアム」「文化創造センター(アーラ)」「ギター」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「鳩吹山」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	美濃桃山陶の聖地(志野焼など)	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと「明智荘」	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園(バラ)	文化創造センター(アーラ)	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
10歳代	66	7.6	4.5	21.2	16.7	13.6	7.6	68.2	36.4	—	1.5	6.1	18.2	3.0	1.5	6.1	1.5
20歳代	142	5.6	5.6	17.6	11.3	7.7	6.3	69.0	29.6	7.7	2.1	7.0	17.6	1.4	3.5	6.3	4.9
30歳代	210	7.1	5.7	13.3	11.9	13.8	5.2	64.8	27.6	3.8	1.4	2.9	16.7	1.0	2.9	8.1	6.7

【居住地区別】

居住地区別でみると、他の地区に比べ、下恵土、平牧で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高くなっています。また、中恵土で「文化創造センター（アーラ）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと「明智荘」	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園（バラ）	文化創造センター（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特にない	無回答
今渡	52	—	3.8	13.5	15.4	26.9	3.8	65.4	28.8	9.6	—	5.8	5.8	1.9	3.8	9.6	1.9
川合	25	8.0	8.0	16.0	—	12.0	12.0	60.0	20.0	—	4.0	—	8.0	—	12.0	8.0	8.0
下恵土	47	6.4	2.1	14.9	6.4	21.3	8.5	76.6	42.6	2.1	2.1	—	23.4	—	—	—	4.3
土田	39	2.6	5.1	17.9	30.8	7.7	2.6	51.3	28.2	2.6	—	5.1	17.9	—	—	12.8	7.7
帷子	72	11.1	6.9	15.3	13.9	13.9	6.9	70.8	29.2	2.8	—	6.9	18.1	2.8	5.6	6.9	4.2
春里	20	10.0	—	10.0	15.0	5.0	5.0	55.0	30.0	20.0	5.0	5.0	15.0	5.0	—	5.0	5.0
姫治	15	—	6.7	13.3	26.7	—	26.7	66.7	26.7	6.7	—	13.3	40.0	6.7	—	—	—
平牧	25	16.0	8.0	20.0	8.0	12.0	4.0	76.0	24.0	—	8.0	4.0	32.0	4.0	—	—	4.0
桜ヶ丘 ハイツ	31	6.5	3.2	9.7	12.9	12.9	6.5	71.0	25.8	6.5	—	3.2	12.9	—	—	12.9	6.5
久々利	5	20.0	—	—	—	—	—	60.0	20.0	20.0	—	—	20.0	—	—	40.0	—
広見東	10	10.0	—	20.0	10.0	—	—	70.0	10.0	—	—	—	—	—	—	10.0	10.0
広見	38	7.9	7.9	28.9	10.5	—	2.6	71.1	28.9	2.6	2.6	10.5	18.4	—	5.3	5.3	5.3
中恵土	11	9.1	9.1	—	—	—	—	27.3	36.4	—	—	—	9.1	—	—	27.3	18.2
兼山	3	—	66.7	—	—	33.3	—	66.7	33.3	—	—	—	—	—	—	—	33.3
不明	21	—	4.8	23.8	4.8	—	4.8	76.2	33.3	4.8	4.8	4.8	19.0	—	4.8	—	4.8

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で「文化創造センター（アーラ）」の割合が高くなっています。また、3年以上5年未満、20年以上で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高くなっています。

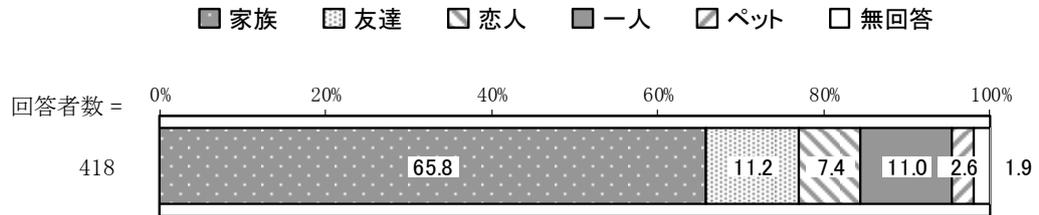
単位：%

区分	有効回答数（件）	美濃桃山陶の聖地（志野焼など）	美濃金山城をはじめとした城跡	明智光秀のふるさと「明智荘」	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園（バラ）	文化創造センター（アーラ）	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
3年未満	69	4.3	5.8	13.0	2.9	14.5	1.4	60.9	14.5	10.1	4.3	1.4	8.7	1.4	4.3	13.0	7.2
3年以上 5年未満	28	3.6	—	7.1	3.6	10.7	3.6	75.0	28.6	3.6	—	—	10.7	—	—	17.9	7.1
5年以上 10年未満	45	6.7	2.2	11.1	8.9	8.9	8.9	60.0	42.2	6.7	—	—	17.8	2.2	—	11.1	4.4
10年以上 20年未満	66	6.1	7.6	19.7	16.7	7.6	9.1	63.6	31.8	3.0	—	7.6	21.2	4.5	4.5	4.5	3.0
20年以上	59	8.5	5.1	16.9	15.3	10.2	6.8	76.3	33.9	3.4	—	6.8	18.6	—	3.4	3.4	5.1
生まれて からずっと	148	8.1	6.8	18.2	16.9	13.5	6.1	67.6	31.1	2.7	2.7	6.8	20.3	0.7	2.7	4.1	4.7

(5) 余暇の過ごし方について

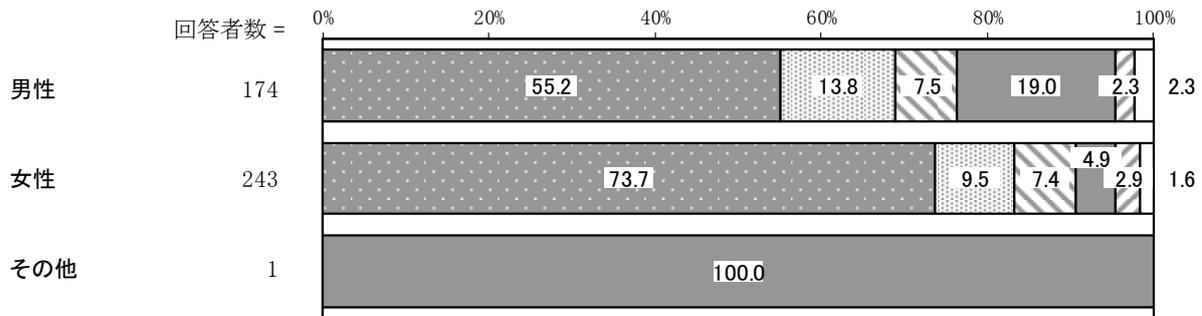
問 21 あなたは、休日（余暇）を誰と過ごすことが多いですか。（○は1つだけ）

「家族」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「友達」の割合が 11.2%、「一人」の割合が 11.0%となっています。



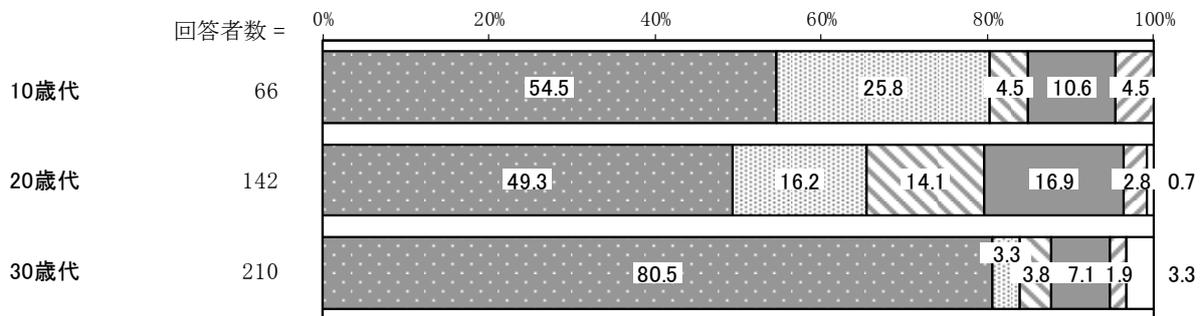
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「一人」の割合が高く、約2割となっています。また、男性に比べ、女性で「家族」の割合が高く、7割を超えています。



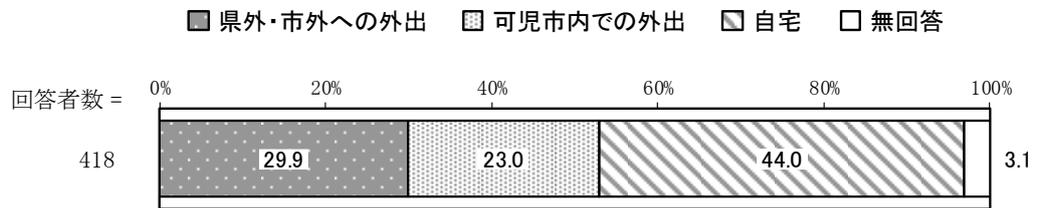
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、30歳代で「家族」の割合が高く、約8割となっています。また、10歳代で「友達」の割合が高くなっています。



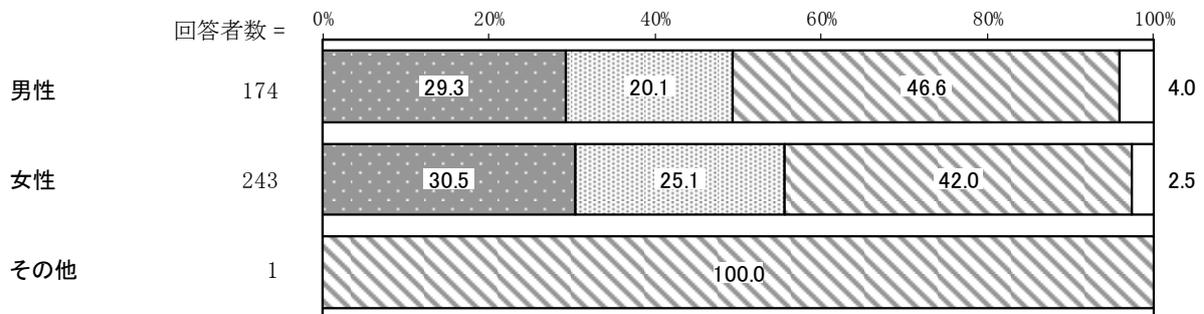
問 22 あなたは、休日（余暇）をどこで過ごすことが多いですか。

「自宅」の割合が44.0%と最も高く、次いで「県外・市外への外出」の割合が29.9%、「可児市内での外出」の割合が23.0%となっています。



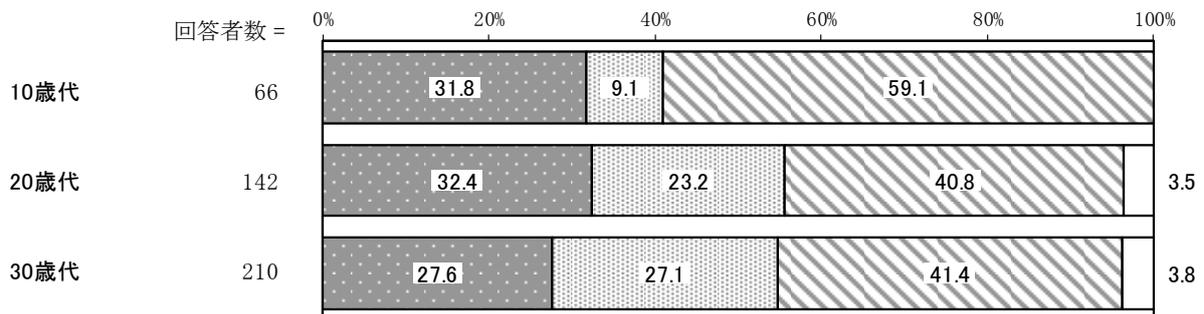
【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「自宅」の割合が高く、5割近くとなっています。また、男性に比べ、女性で「可児市内での外出」の割合が高くなっています。



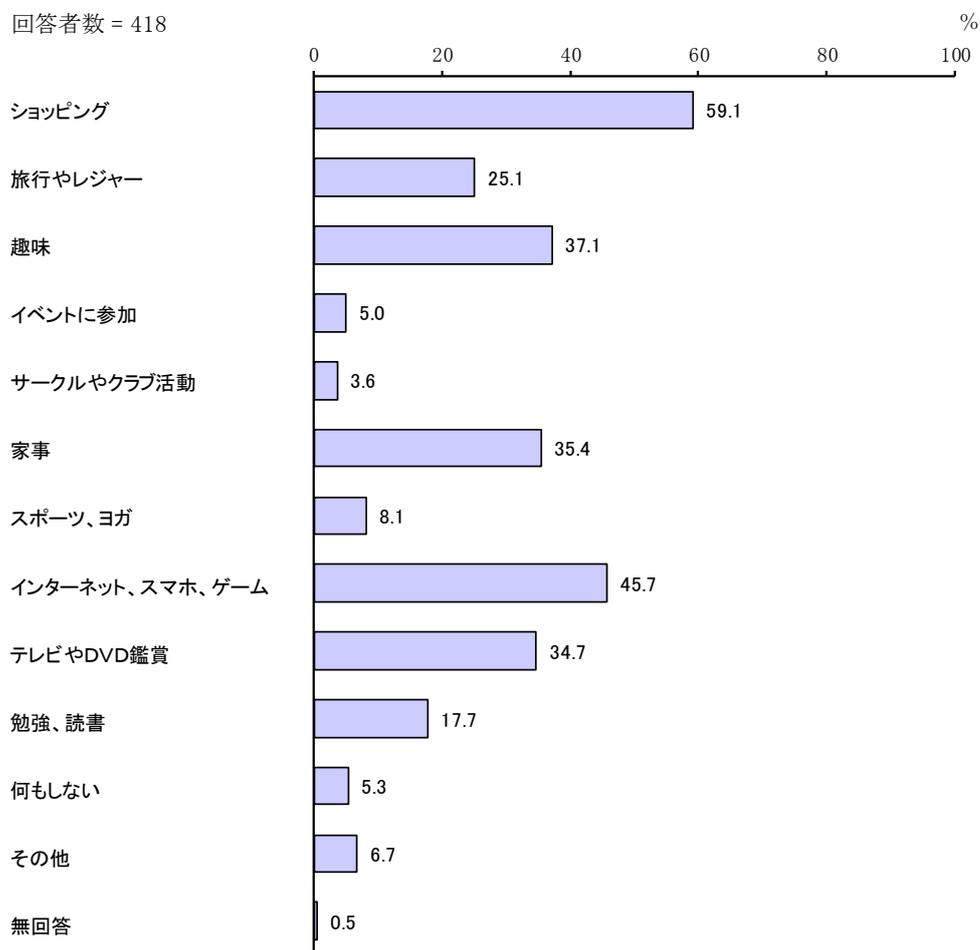
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「可児市内での外出」の割合が高くなっており、30歳代で3割近くとなっています。また、10歳代で「自宅」の割合が高く、約6割となっています。



問 23 あなたは、休日（余暇）に何をして過ごしますか。（回答複数可）

「ショッピング」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「インターネット、スマホ、ゲーム」の割合が 45.7%、「趣味」の割合が 37.1%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「趣味」「スポーツ、ヨガ」「インターネット、スマホ、ゲーム」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「ショッピング」「家事」「テレビやDVD鑑賞」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	ショッピング	旅行やレジャー	趣味	イベントに参加	サークルやクラブ活動	家事	スポーツ、ヨガ	インターネット、スマホ、ゲーム	テレビやDVD鑑賞	勉強、読書	何もしない	その他	無回答
男性	174	44.8	25.3	44.3	4.0	3.4	21.3	13.8	51.7	28.2	19.0	5.2	4.0	0.6
女性	243	69.5	25.1	31.7	5.8	3.7	45.7	4.1	41.2	39.5	16.9	5.3	8.6	0.4
その他	1	—	—	100.0	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—

【年代別】

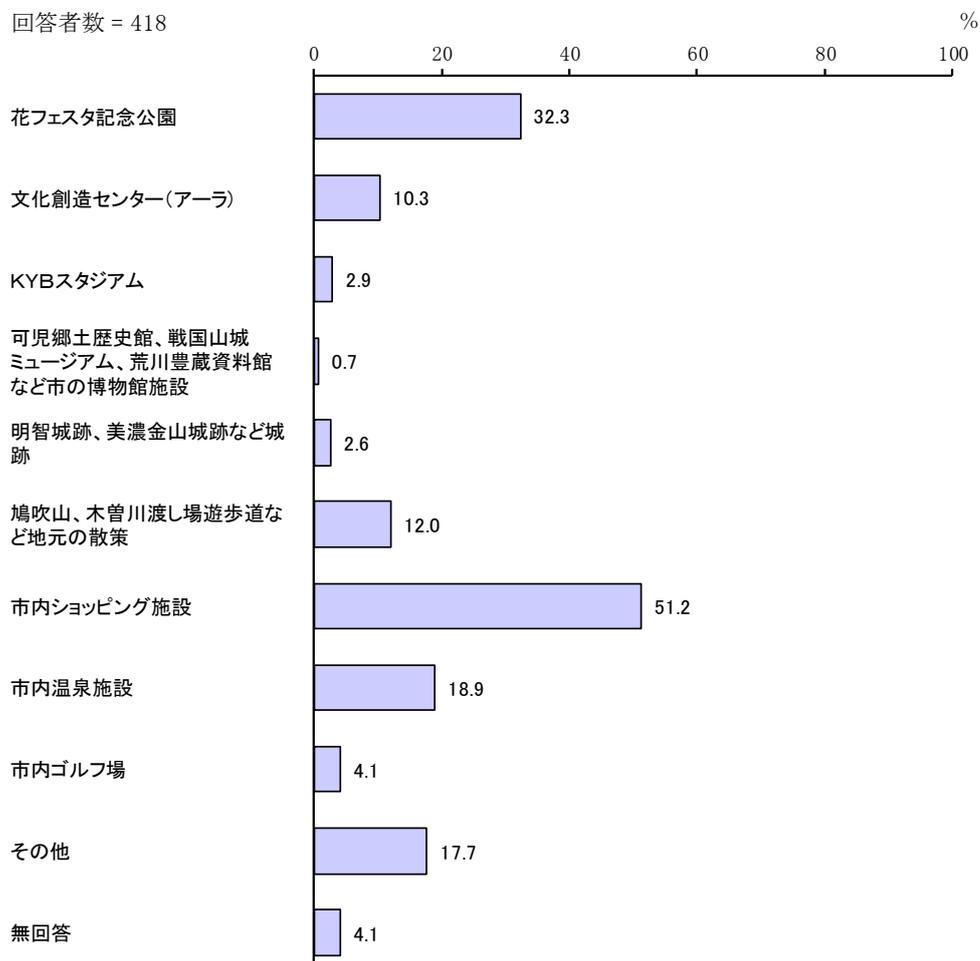
年代別でみると、年代が上がるにつれ「旅行やレジャー」「家事」の割合が、年代が下がるにつれ「サークルやクラブ活動」「インターネット、スマホ、ゲーム」「勉強、読書」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	ショッピング	旅行やレジャー	趣味	イベントに参加	サークルやクラブ活動	家事	スポーツ、ヨガ	インターネット、スマホ、ゲーム	テレビやDVD鑑賞	勉強、読書	何もしない	その他	無回答
10歳代	66	51.5	6.1	42.4	1.5	10.6	6.1	15.2	59.1	18.2	42.4	1.5	4.5	1.5
20歳代	142	66.2	26.8	42.3	6.3	2.1	23.9	4.9	51.4	38.7	18.3	3.5	6.3	—
30歳代	210	56.7	30.0	31.9	5.2	2.4	52.4	8.1	37.6	37.1	9.5	7.6	7.6	0.5

問 24 あなたは、市内での外出の場合どこに行きますか。(回答複数可)

「市内ショッピング施設」の割合が51.2%と最も高く、次いで「花フェスタ記念公園」の割合が32.3%、「市内温泉施設」の割合が18.9%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「市内温泉施設」の割合が高く、2割を超えています。また、男性に比べ、女性で「花フェスタ記念公園」「市内ショッピング施設」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	花フェスタ記念公園	文化創造センター(アーラ)	KYBスタジアム	可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、荒川豊蔵資料館など市の博物館施設	明智城跡、美濃金山城跡など城跡	鳩吹山、木曾川渡し場遊歩道など地元の散策	市内ショッピング施設	市内温泉施設	市内ゴルフ場	その他	無回答
男性	174	24.7	8.6	4.6	—	1.7	12.1	44.3	22.4	6.3	20.7	4.6
女性	243	37.4	11.5	1.6	1.2	3.3	11.9	56.4	16.5	2.5	15.6	3.7
その他	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「市内ショッピング施設」の割合が高くなっており、30歳代で6割近くとなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「文化創造センター(アーラ)」「KYBスタジアム」の割合が高くなっています。

単位：％

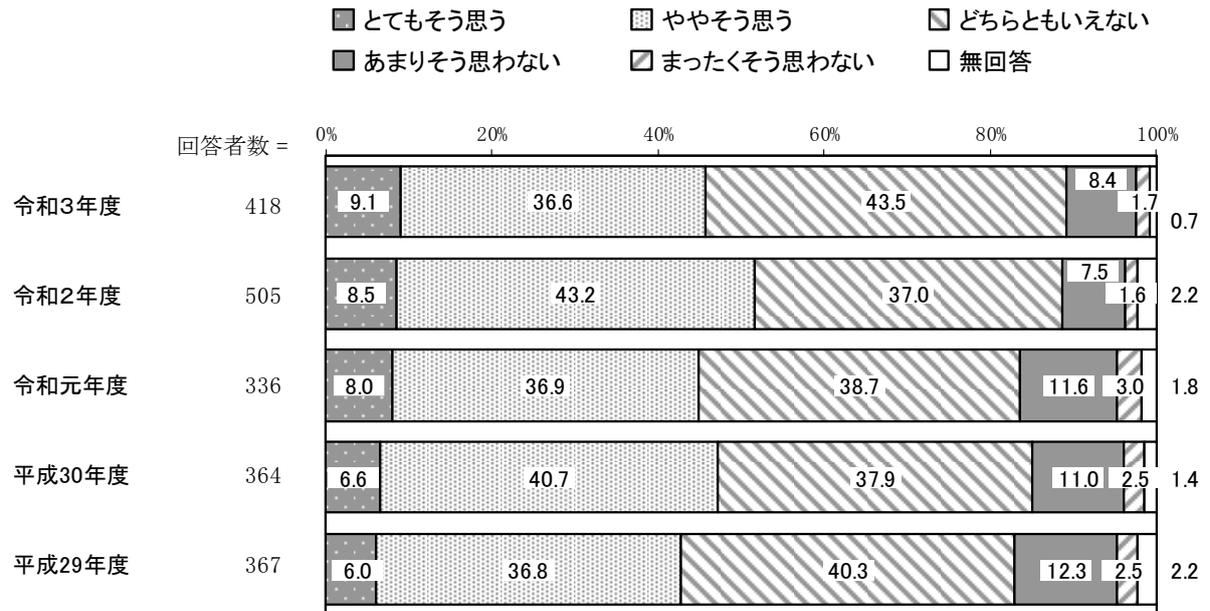
区分	有効回答数(件)	花フェスタ記念公園	文化創造センター(アーラ)	KYBスタジアム	可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、荒川豊蔵資料館など市の博物館施設	明智城跡、美濃金山城跡など城跡	鳩吹山、木曾川渡し場遊歩道など地元の散策	市内ショッピング施設	市内温泉施設	市内ゴルフ場	その他	無回答
10歳代	66	24.2	16.7	7.6	—	1.5	13.6	40.9	21.2	—	18.2	3.0
20歳代	142	30.3	9.9	2.1	—	3.5	11.3	46.5	25.4	4.9	16.9	4.9
30歳代	210	36.2	8.6	1.9	1.4	2.4	11.9	57.6	13.8	4.8	18.1	3.8

(6) 子育て環境について

問 25 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(〇は1つだけ)

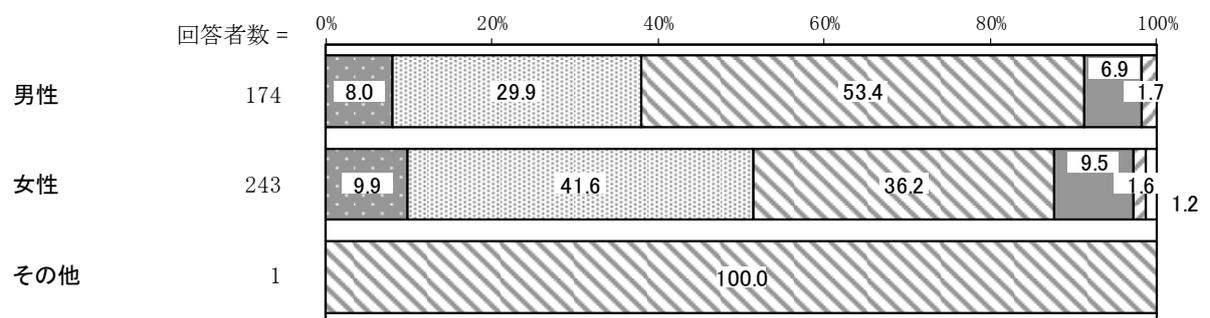
「とてもそう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が45.7%、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が10.1%となっています。

令和2年度以前の調査と比較すると、令和2年度から令和3年度にかけて“そう思う”の割合が減少しています。



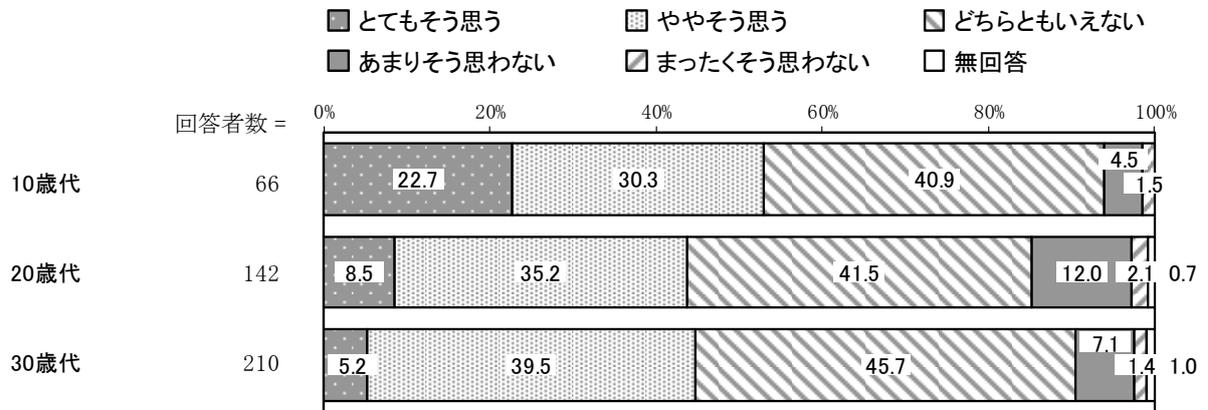
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、5割を超えています。



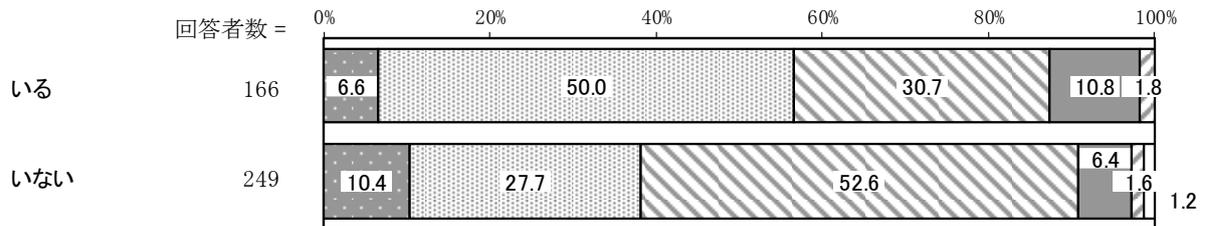
【年代別】

年代別でみると、10歳代で“そう思う”の割合が高く、5割を超えています。



【子どもの有無別】

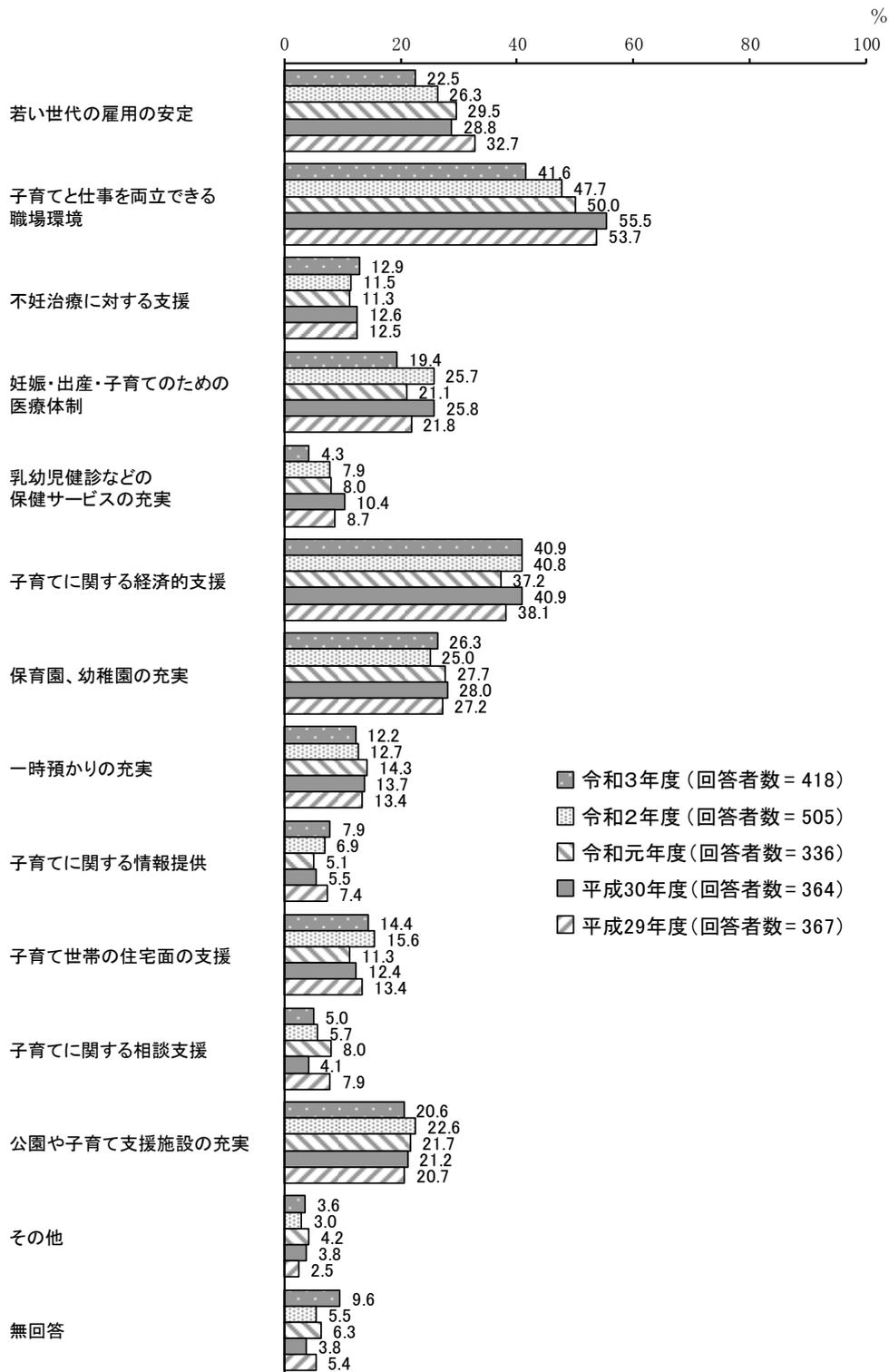
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“そう思う”の割合が高く、6割近くとなっています。



問 26 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が41.6%と最も高く、次いで「子育てに関する経済的支援」の割合が40.9%、「保育園、幼稚園の充実」の割合が26.3%となっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が減少する傾向がみられます。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「若い世代の雇用の安定」「子育てに関する経済的支援」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「子育てと仕事を両立できる職場環境」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
男性	174	27.6	32.8	9.8	19.0	2.3	46.0	24.7	12.6	10.9	19.0	5.2	15.5	2.3	8.0
女性	243	18.9	48.1	15.2	19.8	5.8	37.0	27.6	11.5	5.8	11.1	4.9	23.9	4.5	10.7
その他	1	—	—	—	—	—	100.0	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—

【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「不妊治療に対する支援」「子育て世帯の住宅面の支援」の割合が、年代が下がるにつれ「若い世代の雇用の安定」「妊娠・出産・子育てのための医療体制」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
10歳代	66	27.3	28.8	6.1	24.2	4.5	28.8	28.8	15.2	6.1	10.6	3.0	16.7	10.6	6.1
20歳代	142	24.6	43.0	12.0	19.0	4.9	43.7	28.2	12.7	6.3	12.0	6.3	16.2	3.5	8.5
30歳代	210	19.5	44.8	15.7	18.1	3.8	42.9	24.3	11.0	9.5	17.1	4.8	24.8	1.4	11.4

【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「子育てに関する経済的支援」「子育て世帯の住宅面の支援」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「若い世代の雇用の安定」「保育園、幼稚園の充実」「一時預かりの充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
いる	166	12.0	44.6	12.0	18.7	6.0	45.8	22.9	7.2	9.6	22.9	4.2	28.9	0.6	12.7
いない	249	29.3	39.8	13.3	19.3	3.2	37.3	28.5	15.7	6.8	8.4	5.6	15.3	5.6	7.6

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、アルバイト・パート、無職で「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が高くなっています。また、正社員・正職員、派遣社員で「子育てに関する経済的支援」の割合が高くなっています。

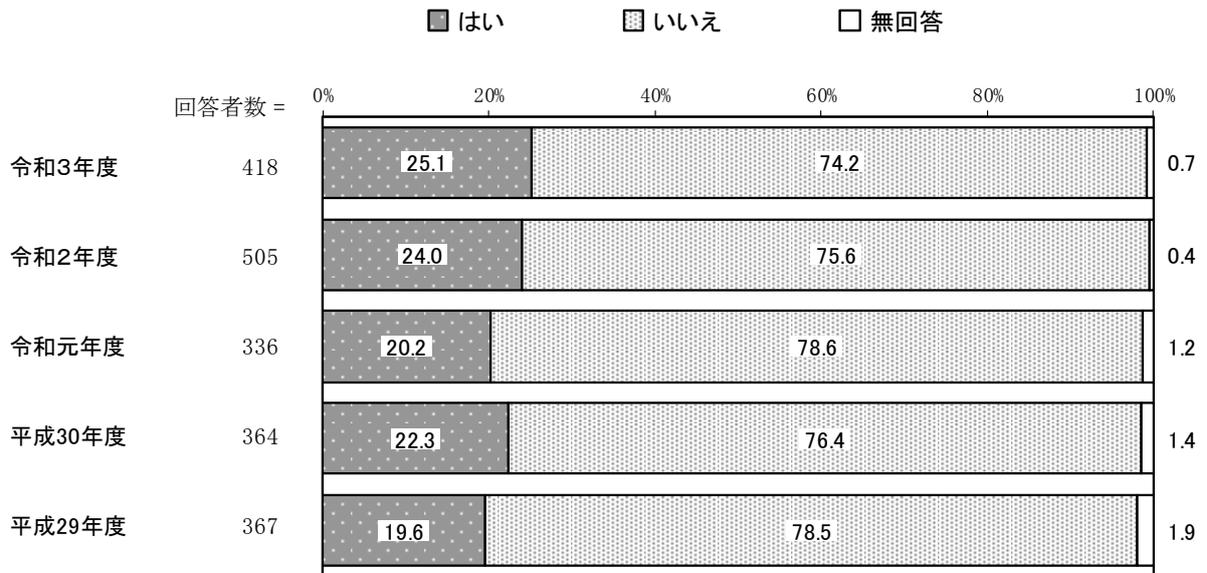
単位：％

区分	有効回答数(件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	医療体制	妊娠・出産・子育てのための	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
正社員・正職員	198	17.7	37.9	13.6	21.7	4.0	47.5	27.8	11.6	10.6	17.2	6.6	15.7	2.5	11.1	
アルバイト・パート	46	30.4	56.5	10.9	6.5	4.3	50.0	21.7	6.5	4.3	17.4	4.3	21.7	—	17.4	
派遣社員	7	28.6	28.6	28.6	14.3	—	42.9	28.6	14.3	—	—	14.3	—	—	—	
嘱託・契約社員	6	33.3	50.0	16.7	50.0	—	16.7	—	33.3	—	16.7	—	33.3	—	—	
自営業主(飲食店)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
自営業(飲食店以外)	12	25.0	25.0	25.0	33.3	—	33.3	25.0	8.3	8.3	16.7	8.3	33.3	—	—	
家事専業	37	8.1	48.6	13.5	16.2	8.1	29.7	27.0	10.8	8.1	16.2	—	43.2	2.7	13.5	
学生	89	30.3	41.6	6.7	22.5	4.5	32.6	28.1	16.9	5.6	7.9	3.4	20.2	10.1	1.1	
無職	14	35.7	57.1	21.4	7.1	7.1	28.6	21.4	7.1	7.1	14.3	7.1	28.6	—	7.1	
その他	6	33.3	33.3	33.3	—	—	33.3	16.7	16.7	—	—	—	—	—	33.3	

(7) 運動の推進について

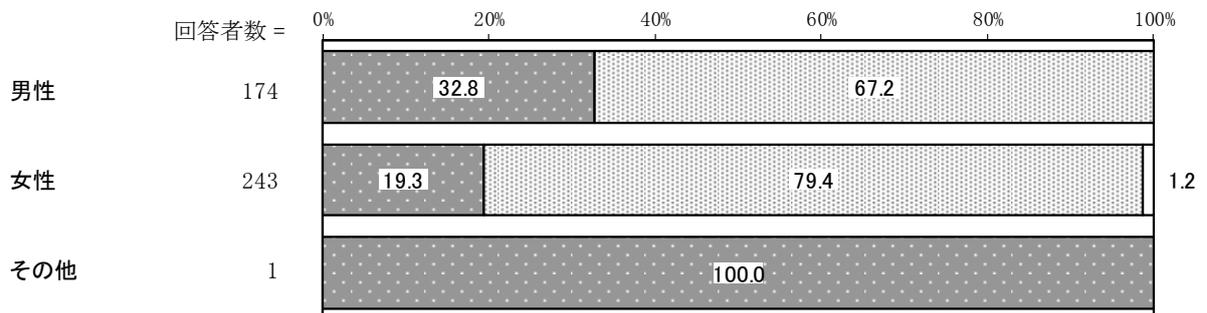
問 27 可児市では、1回30分週2回のウォーキングを推奨する『歩こう可児 302 運動』や1人の市民が少なくとも1つのスポーツに親しむ『一市民一スポーツ』を推進しています。あなたは、30分以上の運動を週2回以上、1年以上続けていますか。

「はい」の割合が25.1%、「いいえ」の割合が74.2%となっています。
令和2年度以前の調査と比較すると、大きな変化はみられません。



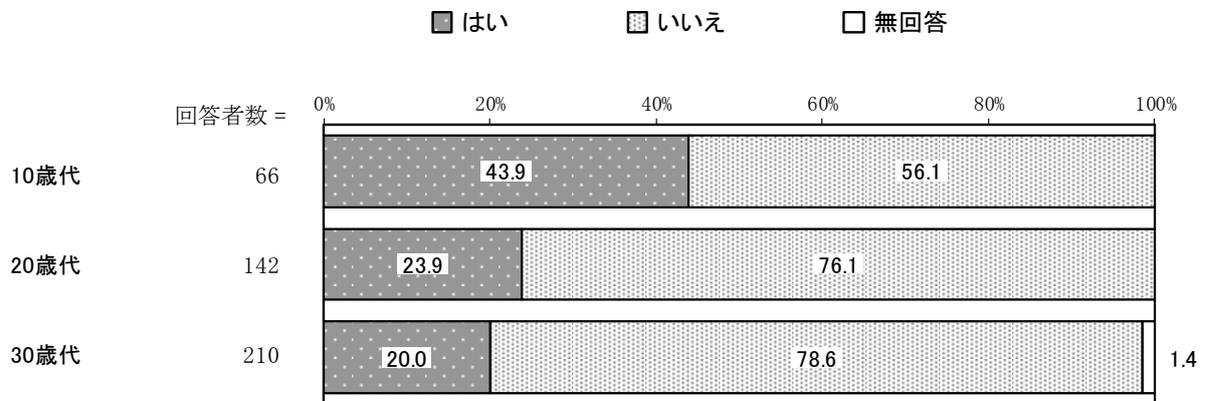
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高く、3割を超えています。また、男性に比べ、女性で「いいえ」の割合が高く、約8割となっています。



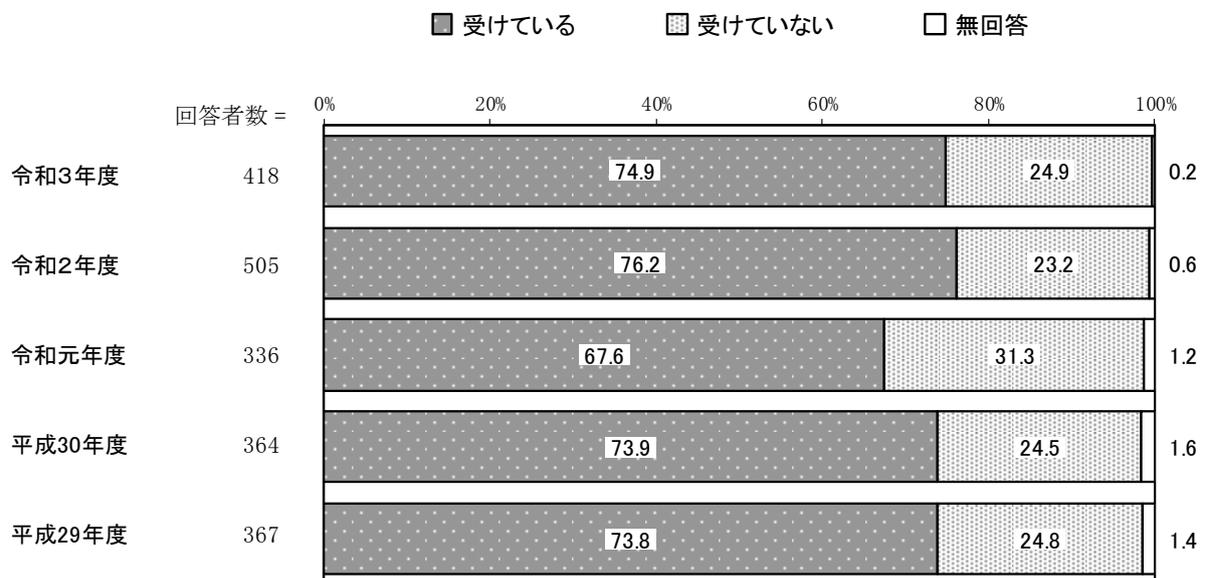
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「いいえ」の割合が高くなっており、30歳代で8割近くとなっています。



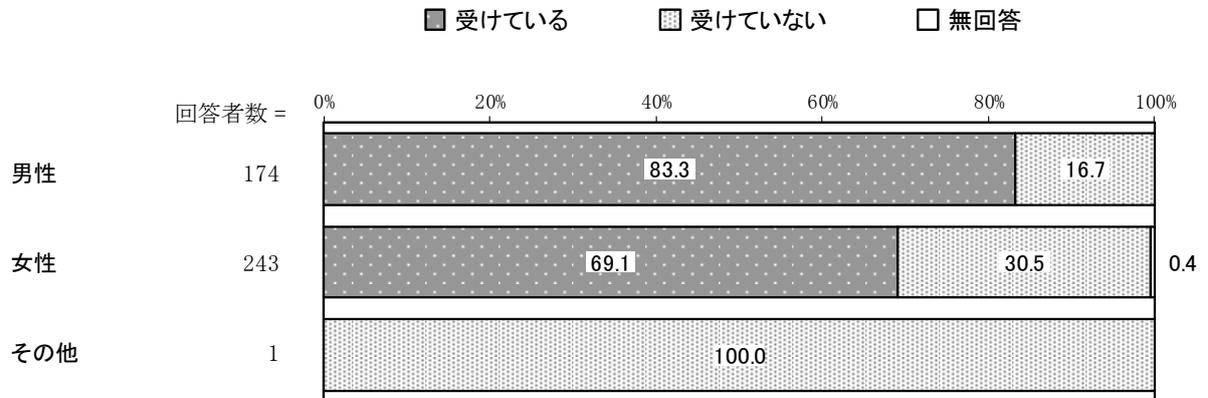
問 28 あなたは、定期的に健康診査を受けていますか。

「受けている」の割合が74.9%、「受けていない」の割合が24.9%となっています。令和元年度以前の調査と比較すると、増減はあるものの大きな差異はみられません。



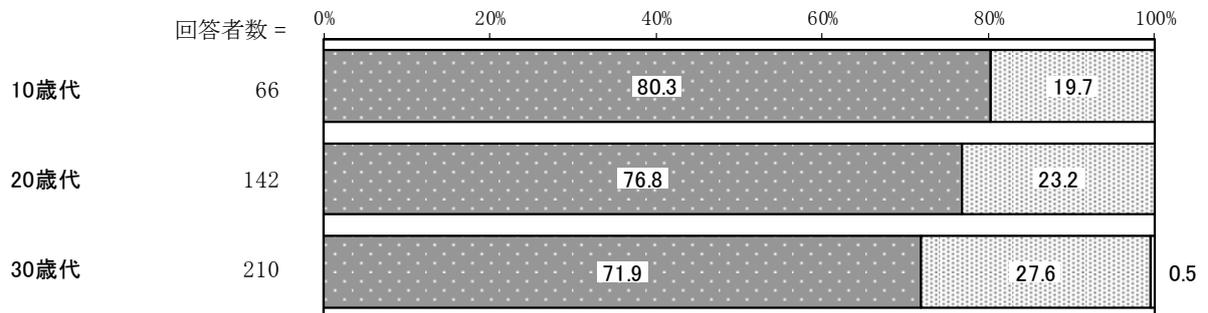
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「受けている」の割合が高く、8割を超えています。また、男性に比べ、女性で「受けていない」の割合が高く、約3割となっています。



【年代別】

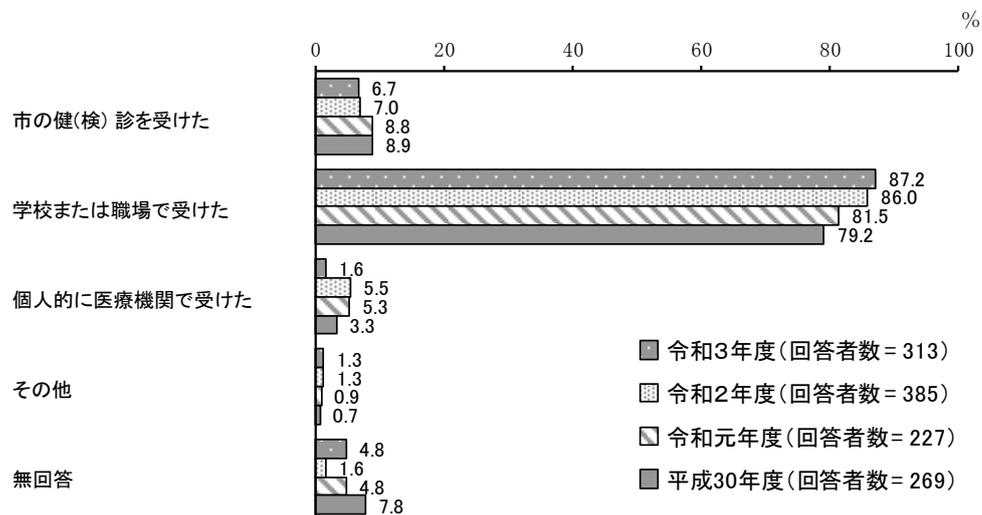
年代別でみると、年代が上がるにつれて「受けていない」の割合が増加し、年代が下がるにつれて「受けている」の割合が増加しています。



受診場所

「学校または職場で受けた」の割合が87.2%も高くなっています。

令和元年度以前の調査と比較すると、平成30年度以降「学校または職場で受けた」の割合が増加しています。



【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「学校または職場で受けた」の割合が高く、約9割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	市の健(検)診を受けた	学校または職場で受けた	個人的に医療機関で受けた	その他	無回答
男性	145	6.2	83.4	1.4	0.7	8.3
女性	168	7.1	90.5	1.8	1.8	1.8
その他	—	—	—	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、年代が下がるにつれ「学校または職場で受けた」の割合が高くなっており、10歳代で9割台半ばとなっています。

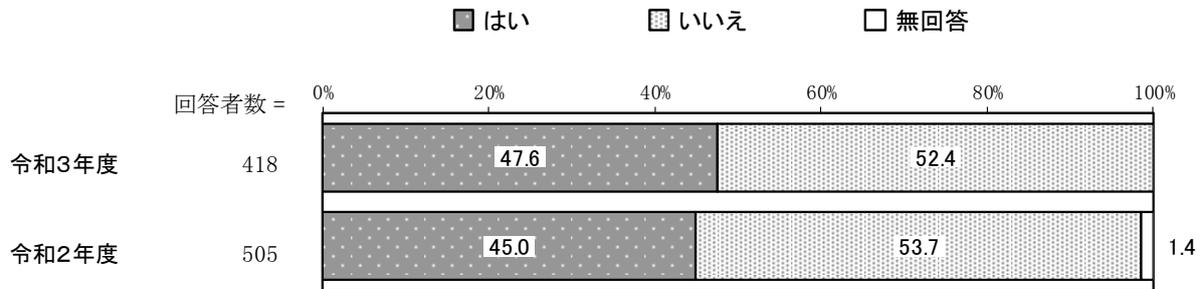
単位：％

区分	有効回答数 (件)	市の健(検)診を受けた	学校または職場で受けた	個人的に医療機関で受けた	その他	無回答
10歳代	53	—	94.3	—	—	5.7
20歳代	109	5.5	90.8	0.9	1.8	2.8
30歳代	151	9.9	82.1	2.6	1.3	6.0

(8) 教育や学習に関する施策について

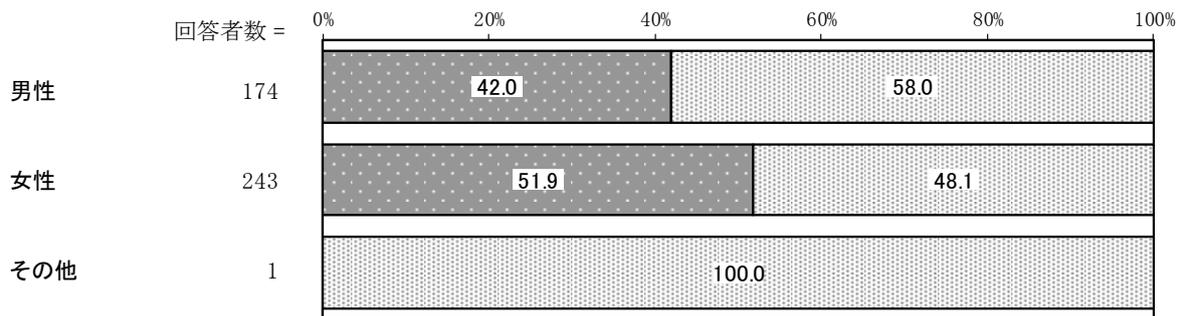
問 29 可児市では、子どものいじめの防止やいじめ問題の解消に重点的に取り組んでいます。あなたは、学校以外にも子どものいじめに関して相談することができる次のような市の窓口があることを知っていますか。

「はい」の割合が47.6%、「いいえ」の割合が52.4%となっています。
令和2年度調査と比較すると、「はい」の割合が増加しています。



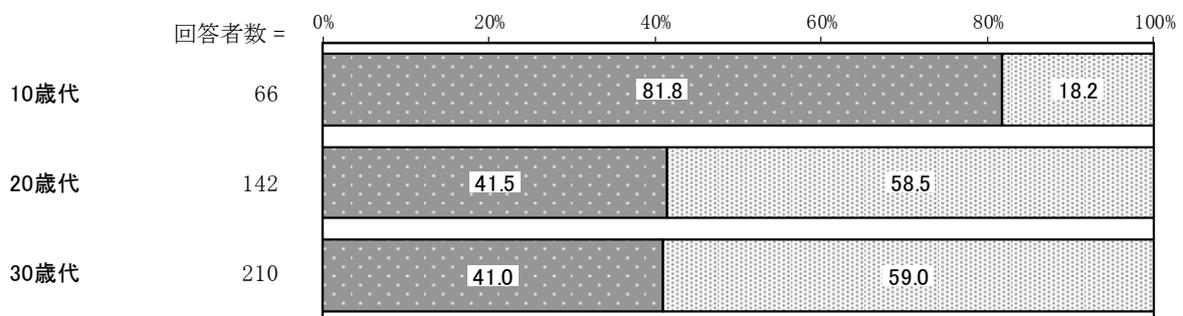
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「いいえ」の割合が高く、6割近くとなっています。



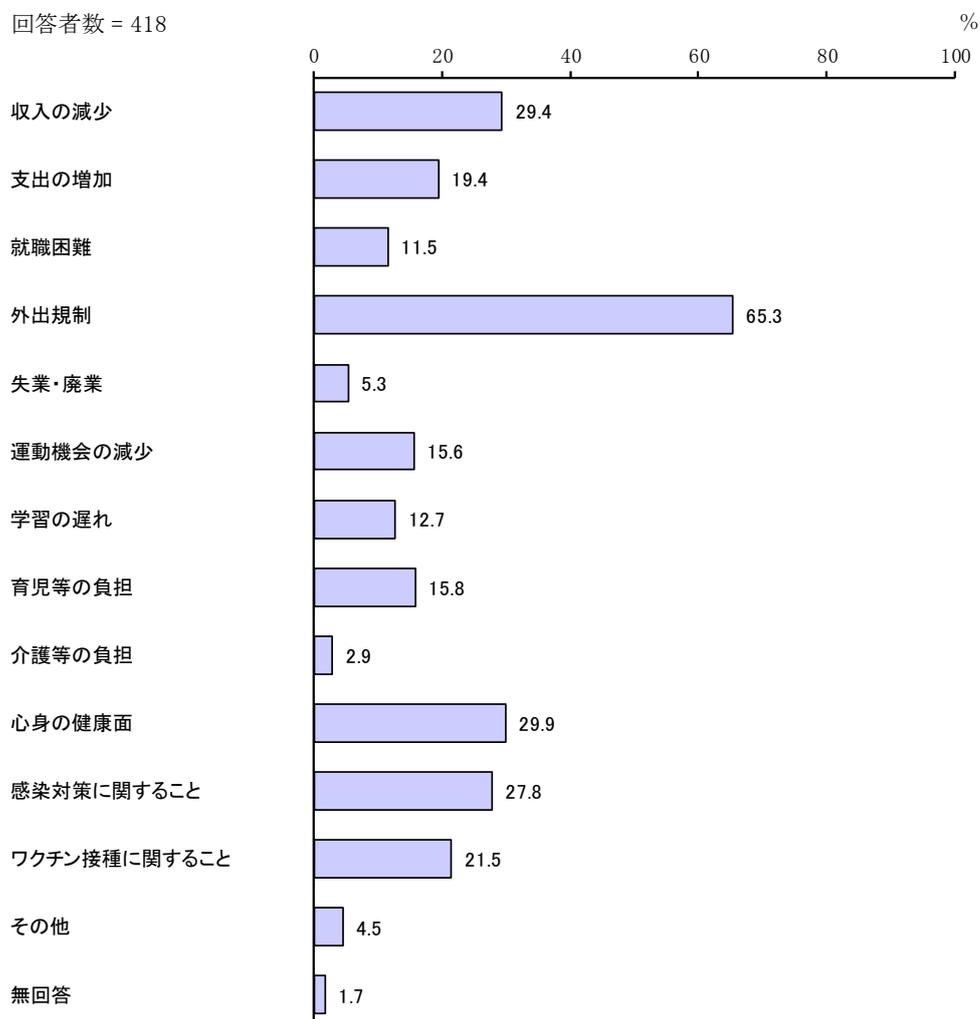
【年代別】

年代別でみると、10歳代で「はい」の割合が高く8割を超えています。



問 30 新型コロナウイルス感染症に関する困りごとは何ですか。(回答複数可)

「外出規制」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「心身の健康面」の割合が 29.9%、「収入の減少」の割合が 29.4%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「外出規制」「感染対策に関すること」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「心身の健康面」の割合が高く、3割を超えています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関すること	ワクチン接種に関すること	その他	無回答
男性	174	31.0	21.3	14.4	69.5	6.3	14.9	10.3	13.2	2.9	26.4	30.5	21.8	3.4	1.1
女性	243	28.4	18.1	9.5	62.6	4.5	15.6	14.4	17.7	2.9	32.5	25.9	21.4	5.3	2.1
その他	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—

【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「収入の減少」「支出の増加」「外出規制」「失業・廃業」「運動機会の減少」「育児の負担」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関すること	ワクチン接種に関すること	その他	無回答
10歳代	66	16.7	9.1	10.6	60.6	3.0	10.6	24.2	1.5	—	21.2	28.8	19.7	6.1	—
20歳代	142	27.5	12.0	16.9	65.5	5.6	14.8	8.5	7.0	4.2	31.0	26.1	24.6	3.5	1.4
30歳代	210	34.8	27.6	8.1	66.7	5.7	17.6	11.9	26.2	2.9	31.9	28.6	20.0	4.8	2.4

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、正社員・正職員で「外出規制」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、派遣社員で「ワクチン接種に関すること」の割合が、自営業（飲食店以外）で「収入の減少」の割合が、無職で「就職困難」の割合が、高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関すること	ワクチン接種に関すること	その他	無回答
正社員・正職員	198	24.7	19.7	4.0	75.8	4.0	17.2	3.5	17.7	3.5	31.8	31.8	23.2	4.5	1.0
アルバイト・パート	46	39.1	37.0	15.2	60.9	8.7	13.0	28.3	28.3	4.3	45.7	17.4	28.3	2.2	—
派遣社員	7	14.3	—	14.3	28.6	—	—	14.3	—	—	—	14.3	42.9	14.3	—
嘱託・契約社員	6	33.3	50.0	—	50.0	—	—	33.3	16.7	—	16.7	33.3	33.3	—	—
自営業主 (飲食店)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
自営業 (飲食店以外)	12	58.3	16.7	—	58.3	—	8.3	—	16.7	8.3	16.7	33.3	8.3	8.3	8.3
家事専業	37	32.4	27.0	10.8	59.5	10.8	24.3	8.1	32.4	—	29.7	35.1	27.0	8.1	5.4
学生	89	29.2	6.7	22.5	58.4	4.5	11.2	28.1	1.1	—	21.3	24.7	15.7	3.4	1.1
無職	14	28.6	14.3	42.9	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1	—	14.3	—	—	—	7.1
その他	6	50.0	33.3	16.7	83.3	—	50.0	16.7	16.7	33.3	83.3	33.3	16.7	16.7	—

【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で「心身の健康面」の割合が高くなっています。また、3年以上5年未満で「感染対策に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	収入の減少	支出の増加	就職困難	外出規制	失業・廃業	運動機会の減少	学習の遅れ	育児等の負担	介護等の負担	心身の健康面	感染対策に関すること	ワクチン接種に関すること	その他	無回答
3年未満	69	29.0	20.3	4.3	72.5	1.4	15.9	2.9	29.0	—	30.4	29.0	30.4	4.3	1.4
3年以上 5年未満	28	32.1	28.6	3.6	75.0	3.6	17.9	7.1	28.6	3.6	32.1	35.7	17.9	14.3	—
5年以上 10年未満	45	35.6	26.7	6.7	62.2	4.4	20.0	15.6	33.3	2.2	26.7	17.8	15.6	4.4	4.4
10年以上 20年未満	66	24.2	16.7	15.2	66.7	6.1	12.1	19.7	10.6	4.5	39.4	25.8	12.1	4.5	1.5
20年以上	59	35.6	23.7	16.9	74.6	6.8	20.3	10.2	10.2	3.4	22.0	28.8	16.9	5.1	—
生まれてか らずと	148	25.7	14.2	14.2	56.1	6.8	12.8	15.5	6.1	3.4	28.4	29.1	25.7	2.7	2.0

Ⅲ 調査票

1 全世代

令和3年度 住みごこち一番・可児を目指して

市民アンケート

～あなたの声をお届けください～

日頃は、可児市政にご協力いただきありがとうございます。

さて、可児市では、人口急減・超少子高齢化という全国的な大きな課題に対し、定住人口の維持・増加を図りながら、持続可能なまちづくりを進めていくため「可児市第2期総合戦略（以下、本計画という。）」を令和2年（2020年）10月に策定し、さまざまな施策について目標を設定しています。（本計画については裏面参照）

本アンケート調査は、施策の実施状況についての点検や検証、本計画の評価のための指標とする他、市民の皆さんの考えをお聞かせいただくために毎年度実施しています。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご記入いただいた調査票は **5月19日（水）** までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、投函してください。

Q 回答者はどうやって選んでいますか？

市民を対象に無作為に選んでいます。

可児市に住民登録があり、かつ16歳以上の方3,000人を対象として回答をお願いしています。

Q 回答はどう使われますか？

可児市の行っている施策の評価や、これからの施策の方向性の参考とします。

本計画で定められている施策の目標値への達成度の算出などを行ない、どれくらい施策が進んでいるかの評価をします。また、アンケートから見えてくる市民の皆さんの可児市への思いを、次の施策へと活かしていきます。

Q 回答すると個人が特定されませんか？

個人の情報が特定されることはありません。

アンケートは無記名で、回答も統計的に処理しますので、個人の情報が特定されることはありません。（ご本人の回答が困難な場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。）

Q 回答に時間がかかりますか？

所要時間は**15分**程度です。

設問は31問で、基本的に選択方式です。

☎ 0574-62-1111

可児市 総合政策課 総合政策係（内線 2301、2302）

担当：土田 村田 西澤

受付時間は平日9時から17時です

可児市人口ビジョン【改訂版】(概要)

【対象期間】 令和 42(2060)年までの 45 年間

【位置づけ】

今後目指すべき本市の将来の方向と人口の将来展望を提示するものとして策定。

【人口の現状分析】

(1)人口動向分析

可児市は、すでに人口減少段階にあり、老年人口が増加し、年少人口を上回る。

(2)将来人口の推計と分析

国立社会保障・人口問題研究所準拠の推計では、令和 22(2040)年に約 92,000 人、令和 42(2060)年に約 78,000 人まで減少すると予想されている。

(3)人口の変化が社会に与える影響

労働力の減少による経済的影響
高齢化の進展による社会保障費等の負担増加
人口の減少による社会サービス(公共・民間)の低下

【人口の将来展望】

(1) 市民アンケート調査から必要なこと

【定住】

- 魅力と住みやすさをアピール
- 就業の場の確保、自然の豊かさや生活の利便性などの住環境の向上
- 可児市に住みつづけたいと思うような意識づくり

【結婚・出産・子育て】

- 若い世代の経済的な安定や結婚の希望をかなえるためのきっかけづくり
- 子どもを望む人に対する支援
- 経済的な不安をなくし、子育て支援施設を充実

(2) 目指すべき将来の方向

自然減対策における基本方針

「結婚・出産・子育ての希望がかない、安心して暮らせるまちの実現」

社会減対策における基本方針

「魅力があり、住みたい・住みつづけたいと思う、元気のあるまちの実現」

(3) 人口の将来展望(住民基本台帳ベース)

令和 42(2060)年において人口 8.6 万人程度を目指す。
～令和 7(2025)年における人口は概ね 10 万人を維持する。～

可児市第 2 期総合戦略(概要) 令和 2 年 10 月策定

【対象期間】 令和 6(2025)年度までの 5 年間

【位置づけ】

「可児市人口ビジョン(改訂版)」を踏まえ、人口減少を覆やかにするための基本方針、基本目標、具体的な施策をまとめるものとして策定。

【推進・検討体制】

(1)PDCA サイクルの構築

- 計画策定後の検証の実施及びPDCAによる改善

(2)推進・検討体制

- 市・関係機関・団体等による施策実施、実施状況の点検
- 外部組織による検証、必要に応じた改定

【戦略の基本方針】住みごこち一番・可児 ～安心、元気、楽しいまち～ の推進

【基本目標・数値目標】	【主な施策】	【重要業績評価指標(KPI) R6】 ※参考値を除く
<p>【基本目標1】(元気) 安定した生活基盤を築ける「人と経済が元気なまち」を創る</p> <p>【数値目標(R6)】 市内の総生産額: 4,000 億円 製造品出荷額等: 5,300 億円</p>	<p>(1)企業の誘致・拡張と活動の支援 ①新たな企業立地を促進 ②市内企業の拡張・活動を支援</p> <p>(2)地域産業の活力づくり ①創業・起業を支援 ②消費を喚起し、市内産業の活力につなげる ③地域資源のブランド化を推進</p> <p>(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築 ①若者の地育地備を支援 ②仕事と育児の両立を支援 ③外国籍市民の安定した就労につながる、共生社会を創る</p>	<p>新規立地・拡張企業の操業開始時における新規雇用人数(累計): 245 人 創業・起業件数(累計): 150 件 可児市の自慢できる地域資源を回答した人の割合: 90% 市内高校生の市内企業への就職率: 25% 可児市わくわく Work プロジェ外登録企業数: 100 企業 ハローワークで求職した外国籍市民のうち、就職した人の割合: 12%</p>
<p>【基本目標2】(魅力) 市の魅力を向上・発信することにより、人を引き付ける「魅力とつながりのあるまち」を創る</p> <p>【数値目標(R6)】 観光交流人口: 432 万人 可児市に愛着がある人の割合: 65%</p>	<p>(1)シティプロモーションの推進 ①観光資源を掘り起こし、磨き上げ、魅力を伝えることで交流人口を増やす ②市の魅力や地域資源を PR</p> <p>(2)定住・移住の促進 ①定住・移住を促進するために都市機能や土地利用のポテンシャルを活かす ②定住・移住を促進するために住みよさを PR</p> <p>(3)地域と市民の元気づくり ①市民の文化的な活動を促進し、交流とのおいをもたらし ②市民のスポーツ活動を促進し、市民の元気をつくる ③市民の支え合い活動を支援</p> <p>(4)子どもたちのふるさとを愛する心を育む ①子どもたちにふるさとの良さを伝える</p>	<p>新たな交流人口の増加数: 75 万人 可児市に魅力を感じて転入した人数: 740 人 可児市にずっと住みたい人の割合: 63% 文化創造センター 劇場(主劇場・小劇場)稼働率: 58.9%以上(全国平均) 可児 UMC(ユニック)スポーツクラブ会員数: 2,170 人 地域支え変ポイント交換による K マネー 交付額: 450 万円 児童生徒が「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した人の割合: 80%</p>
<p>【基本目標3】(希望) 子育て世代が安心して、妊娠・出産・子育てができる「子育ての希望がかなうまち」を創る</p> <p>【数値目標(R6)】 「子育てしやすい」と感じている市民の割合: 57% 三次支援が必要な児童生徒の割合: 小学校 6.0%</p>	<p>(1)安心して子育てできる環境づくり ①子育て家庭と子育て支援をつなぐ ②子育ての大切さやノウハウを学ぶ ③地域のみんなで子ども・子育てに関わる ④子育てサポート拠点の充実 ⑤定住・移住を促進するための住みよさを PR(再掲)</p> <p>(2)学びを支援する環境づくり ①子どもの育ちと学びの流れをつなぐ ②いじめの防止・解決に取り組む</p> <p>(3)未来社会を切り開くための資質・能力の育成 ①コミュニケーション能力の向上を図る ②学校教育における ICT の活用を推進 ③外国籍児童・生徒の就学・進学を支援 ④子どもたちにふるさとの良さを伝える(再掲)</p>	<p>乳幼児健康診査受診率: 100% 家庭教育学級(乳幼児学級を含む)に参加した延べ人数: 8,971 人 子育て支援ボランティア活動に対する地域支え変ポイント付与数: 10,432 ポイント 可児市に魅力を感じて転入した人数(再掲): 740 人 可児市にずっと住みたい人の割合(再掲): 63% 幼保小連携推進会議に参加する幼保両施設の合計数: 75 施設 エコマタタワークショップを体験した児童生徒の満足度: 90% 授業での ICT 活用状況: 80% 日本語指導を必要とする児童生徒の教室 KAN 入室率: 100% 児童生徒が「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した人の割合: 80%</p>
<p>【基本目標4】(安心) 地域で安心して暮らし続けることのできる「健康と安心が実感できるまち」を創る</p> <p>【数値目標(R6)】 65 歳以上人口に占める要支援・要介護認定者の割合: 全国及び岐阜県の認定率以下 地域で安心して暮らせる感じている人の割合: 30%</p>	<p>(1)健康で暮らせる環境づくり ①運動や健康づくりに親しむ機会を提供</p> <p>(2)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり ①地域、医療、福祉が連携して安心な生活を確保 ②地域の支え合いの活動を支援</p> <p>(3)安全・安心に暮らせる生活環境づくり ①生活が守られ、暮らしの安全・安心を確保 ②公共交通により、より良い移動手段を確保 ③将来にわたり持続可能な公共施設を運営・管理</p>	<p>30 分以上の運動を週 2 回以上、1 年以上続けている人の割合: 39%以上 地域支え変活動団体登録数: 38 団体以上 地域支え変ポイント交換による K マネー 交付額(再掲): 450 万円 防災リーダー養成講座受講終了者数(累計): 509 人 国際交流ボランティア登録者数: 98 人 コミュニティバス利用者数: 86,031 人 地区センターの稼働率: 37%</p>

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | |
| 4. 40歳代 | 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代以上 |

問3 あなたには、子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

- | | | | |
|----------------|--------|----------|------------|
| 1. いる(複数選択可) → | (1)未就学 | (2)小・中学生 | (3)高校生・大学生 |
| | (4)社会人 | (5)その他 | |
| 2. いない | | | |

問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|------------|--------------|---------------|---------|
| 1. 正社員・正職員 | 2. アルバイト・パート | 3. 派遣社員 | |
| 4. 嘱託・契約社員 | 5. 自営業主(飲食店) | 6. 自営業(飲食店以外) | |
| 7. 家事専業 | 8. 学生 | 9. 無職 | 10. その他 |

問5 あなたは、どちらにお住まいですか。(自治連合会単位)

- | | | | |
|-----------|---------|-------------|--------|
| 1. 今渡 | 2. 川合 | 3. 下恵土 | 4. 土田 |
| 5. 帷子 | 6. 春里 | 7. 姫治 | 8. 平牧 |
| 9. 桜ヶ丘ハイツ | 10. 久々利 | 11. 広見東 | 12. 広見 |
| 13. 中恵土 | 14. 兼山 | 15. 不明(地区名) | |

問6 あなたは、お住まいの地区の自治会に加入していますか。

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない(その理由) |
|-----------|------------------|

問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|-----------------|-------------|
| 1. 戸建住宅(購入) | 2. 戸建住宅(相続) | 3. 戸建住宅(賃貸) |
| 4. 分譲マンション | 5. 賃貸マンション・アパート | 6. 公営住宅 |
| 7. 社宅等 | 8. その他() | |

問8 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 3年未満 | 2. 3年以上5年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上20年未満 | 5. 20年以上 | |
| 6. 生まれてからずっと | → 問11へ | |

【問8で1～5を選択された方に伺います】

問9 どのように可児市を転居先に選ばれましたか。(○は1つだけ)

- | |
|---|
| 1. 可児市以外の選択肢はなかった |
| 2. 他の市町村と比較した
(比較した市町村を3つまで記入してください。 _____ ・ _____ ・ _____) |

【問8で1～5を選択された方に伺います】

問10 可児市を選んだ理由は何ですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------------------------|---------------|---------------|
| 1. 地縁(出身地や親族がいるなど) | 2. 友人や知人がいた | |
| 3. 通勤や通学に都合がよかった | | |
| 4. 暮らしやすいと感じた(該当の項目に○を記入) | | |
| → (1)子育てや教育環境の充実 | (2)買物等の便利さ | (3)医療や福祉環境の充実 |
| (4)手頃な住宅価格や家賃 | (5)自然に恵まれた住環境 | (6)文化活動・施設の充実 |
| 5. 家族の事情(親の転勤など) | 6. その他() | |
| 7. 特にない | | |

問 11 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。(回答複数可)

1. 広報紙	2. ケーブルテレビ	3. コミュニティFM	4. ホームページ
5. SNS (インスタグラム、YouTube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど)			
6. 電子メール	7. 新聞	8. タウン誌 (フリーペーパー)	
9. 家族から	10. 知人から	11. 市職員から	
12. 自治会などの集まりや回覧	13. その他 ()		

問 12 あなたは、市の情報をどのように受け取りたいですか。(回答複数可)

1. 広報紙	2. ケーブルテレビ	3. コミュニティFM	4. ホームページ
5. SNS (インスタグラム、YouTube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど)			
6. 電子メール	7. 新聞	8. タウン誌 (フリーペーパー)	
9. 家族から	10. 知人から	11. 市職員から	
12. 自治会などの集まりや回覧	13. その他 ()		

問 13 あなたは、次のうちどのようなものに興味がありますか。(回答複数可)

1. 政策などの情報	2. 催しなどの情報	3. 月ごとのごみ・リサイクル日程
4. 無料相談	5. 市長からの発信	6. 議会からの発信
7. 防災情報	8. 子育て・教育情報	9. その他 ()

問 14 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。
5点満点で評価し、該当する数字を1つずつ〇で囲んでください。

可児市総合戦略の主な施策 (詳細については、別紙「案内文裏面」をご確認ください。)	重要度					満足度				
	重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	やや重要	重要	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	満足
(1)企業の誘致・拡張と活動の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)地域産業の活力づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4)シティプロモーションの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5)定住・移住の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6)地域と市民の元気づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7)子どもたちのふるさとを愛する心を育む	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8)安心して子育てできる環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

可児市総合戦略の主な施策 (詳細については、別紙「案内文裏面」をご確認ください。)	重要度					満足度				
	重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	やや重要	重要	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	満足
(9) 学びを支援する環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 健康で暮らせる環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 必要な医療サービスが受けられる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 15 可児市に愛着はありますか。

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| 1. 愛着がある | 2. 愛着はない | 3. どちらともいえない |
|----------|----------|--------------|

【問 15 で 1 (愛着がある) を選択された方に伺います】

問 16 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. 生まれ故郷だから | 2. 思い出があるから |
| 3. 生活の安全性が高いから(災害等) | 4. 生活の利便性が高いから(交通・買物等) |
| 5. 自然環境や景観が好きだから | 6. 人や地域が好きだから(人柄・つながり・地域活動等) |
| 7. 歴史・文化・芸術が好きだから | 8. 子育ての支援・環境が充実しているから |
| 9. 教育の質・環境が充実しているから | 10. 福祉の支援・環境が充実しているから(障がい・介護等) |
| 11. その他() | |

問 17 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いませんか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------------------|----------|
| 1. ずっと可児市に住みたい | → 問 18 へ |
| 2. 可児市外へ出て、将来的には可児市に戻りたい | |
| 3. できれば可児市以外に引越したい(引越し予定) | → 問 19 へ |
| 4. どちらともいえない | → 問 20 へ |

【問 17 で 1 または 2 (ずっと可児市に住みたい・可児市外へ出て、将来的には可児市に戻りたい) を選択された方に伺います】

問 18 その理由は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|-------------------------------------|--------|
| 1. 家族と一緒に住みたいから | |
| 2. 可児市内で働くつもりだから、またはこれからずっと働くつもりだから | |
| 3. 通勤・通学に便利だから | |
| 4. 買物など生活するのに便利だから | |
| 5. 自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから | |
| 6. 人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等) | 次頁に続く。 |

問 24 あなたは、市内での外出の場合どこに行きますか。(回答複数可)

1. 花フェスタ記念公園	2. 文化創造センター（アール）
3. KYBスタジアム	
4. 可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、荒川豊蔵資料館など市の博物館施設	
5. 明智城跡、美濃金山城跡など城跡	6. 鳩吹山、木曾川渡し場遊歩道など地元の散策
7. 市内ショッピング施設	8. 市内温泉施設
9. 市内ゴルフ場	10. その他
()	

問 25 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(〇は1つだけ)

1. とてもそう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない	5. まったくそう思わない	

問 26 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 若い世代の雇用の安定	2. 子育てと仕事を両立できる職場環境
3. 不妊治療に対する支援	4. 妊娠・出産・子育てのための医療体制
5. 乳幼児健診などの保健サービスの充実	6. 子育てに関する経済的支援
7. 保育園、幼稚園の充実	8. 一時預かりの充実
9. 子育てに関する情報提供	10. 子育て世帯の住宅面の支援
11. 子育てに関する相談支援	12. 公園や子育て支援施設の充実
13. その他 ()	

問 27 可児市では、1回30分週2回のウォーキングを推奨する『歩こう可児302運動』や1人の市民が少なくとも1つのスポーツに親しむ『一市民一スポーツ』を推進しています。あなたは、30分以上の運動を週2回以上、1年以上続けていますか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 28 あなたは、定期的に健康診査を受けていますか。

1. 受けている	→ (1)市の健(検)診を受けた	(2)学校または職場で受けた
	(3)個人的に医療機関で受けた	(4)その他
2. 受けていない		

問 29 可児市では、子どものいじめの防止やいじめ問題の解消に重点的に取り組んでいます。あなたは、学校以外にも子どものいじめに関して相談することができる次のような市の窓口があることを知っていますか。

- ・可児市いじめ防止専門委員会 相談室
(可児市役所子育て支援課内、子ども相談ダイヤルTEL0120-263-115)
- ・心の電話相談室(可児市教育研究所、TEL63-2444)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問 30 新型コロナウイルス感染症に関する困りごとはどれですか。（回答複数可）

- | | | | |
|------------------|---------------|----------------|-----------|
| 1. 収入の減少 | 2. 支出の増加 | 3. 就職困難 | 4. 外出規制 |
| 5. 失業・廃業 | 6. 運動機会の減少 | 7. 学習の遅れ | 8. 育児等の負担 |
| 9. 介護等の負担 | 10. 心身の健康面 | 11. 感染対策に関すること | |
| 10. ワクチン接種に関すること | 11. その他（
） | | |

【自由意見】

問 31 その他、可児市のこれからのまちづくりに関して、ご意見がありましたらお聞かせください。

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
アンケートは令和3年5月19日（水）までにご返送をお願いします。

2 若年層

令和3年度 住みごこち一番・可児を目指して

市民アンケート

～あなたの声をお届けください～

日頃は、可児市政にご協力いただきありがとうございます。

さて、可児市では、人口急減・超少子高齢化という全国的な大きな課題に対し、定住人口の維持・増加を図りながら、持続可能なまちづくりを進めていくため「可児市第2期総合戦略（以下、本計画という。）」を令和2年（2020年）10月に策定し、さまざまな施策について目標を設定しています。（本計画については裏面参照）

本アンケート調査は、施策の実施状況についての点検や検証、本計画の評価のための指標とする他、市民の皆さんの考えをお聞かせいただくために毎年度実施しています。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご記入いただいた調査票は **5月19日（水）** までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、投函してください。

Q 回答者はどうやって選んでいますか？

市民を対象に無作為に選んでいます。

可児市に住民登録があり、かつ16歳以上の方3,000人を対象として回答をお願いしています。

Q 回答はどのように使われますか？

可児市に行っている施策の評価や、これからの施策の方向性の参考とします。

本計画で定められている施策の目標値への達成度の算出などを行ない、どれくらい施策が進んでいるかの評価をします。また、アンケートから見えてくる市民の皆さんの可児市への思いを、次の施策へと活かしていきます。

Q 回答すると個人が特定されませんか？

個人の情報が特定されることはありません。

アンケートは無記名で、回答も統計的に処理しますので、個人の情報が特定されることはありません。（ご本人の回答が困難な場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。）

Q 回答に時間がかかりますか？

所要時間は**15分**程度です。

設問は31問で、基本的に選択方式です。

☎ 0574-62-1111

可児市 総合政策課 総合政策係（内線 2301、2302）

担当：土田 村田 西澤

受付時間は平日9時から17時です

可児市人口ビジョン【改訂版】(概要)

【対象期間】 令和 42(2060)年までの 45 年間

【位置づけ】
今後目指すべき本市の将来の方向と人口の将来展望を提示するものとして策定。

【人口の現状分析】

(1)人口動向分析
可児市は、すでに人口減少段階にあり、老年人口が増加し、年少人口を上回る。

(2)将来人口の推計と分析
国立社会保障・人口問題研究所準拠の推計では、令和 22(2040)年に約 92,000 人、令和 42(2060)年に約 78,000 人まで減少すると予想されている。

(3)人口の変化が社会に与える影響
労働力の減少による経済的影響
高齢化の進展による社会保障費等の負担増加
人口の減少による社会サービス(公共・民間)の低下

【人口の将来展望】

(1) 市民アンケート調査から必要なこと
【定住】
・ 魅力と住みやすさをアピール
・ 就業の場の確保、自然の豊かさや生活の利便性などの住環境の向上
・ 可児市に住みつづけたいと思うような意識づくり
【結婚・出産・子育て】
・ 若い世代の経済的な安定や結婚の希望をかなえるためのきっかけづくり
・ 子どもを望む人に対する支援
・ 経済的な不安をなくし、子育て支援施設を充実

(2) 目指すべき将来の方向
自然減対策における基本方針
「結婚・出産・子育ての希望がかない、安心して暮らせるまちの実現」
社会減対策における基本方針
「魅力があり、住みたい・住みづづけたいと思う、元気のあるまちの実現」

(3) 人口の将来展望(住民基本台帳ベース)
令和 42(2060)年において人口 8.6 万人程度を目指す。
～令和 7(2025)年における人口は概ね 10 万人を維持する。～

可児市第 2 期総合戦略(概要) 令和 2 年 10 月策定

【対象期間】 令和 6(2025)年度までの 5 年間

【位置づけ】
「可児市人口ビジョン(改訂版)」を踏まえ、人口減少を緩やかにするための基本方針、基本目標、具体的な施策をまとめるものとして策定。

【推進・検討体制】

- (1)PDCA サイクルの構築
・ 計画策定後の検証の実施及びPDCAによる改善
- (2)推進・検討体制
・ 市・関係機関・団体等による施策実施、実施状況の点検・外部組織による検証、必要に応じた改定

【戦略の基本方針】 住みごころ一番・可児 ～安心、元気、楽しいまち～ の推進

【基本目標・数値目標】	【主な施策】	【重要業績評価指標(KPI) R6】 ※参考値を除く
<p>【基本目標1】(元気) 安定した生活基盤を築ける「人と経済が元気なまち」を創る</p> <p>【数値目標(R6)】 市内の総生産額: 4,000 億円 製造品出荷額等: 5,300 億円</p>	<p>(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援 ① 新たな企業立地を促進 ② 市内企業の拡張・活動を支援</p> <p>(2) 地域産業の活力づくり ① 創業・起業を支援 ② 消費を喚起し、市内産業の活力につなげる ③ 地域資源のブランド化を推進</p> <p>(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築 ① 若者の地育地働を支援 ② 仕事と育児の両立を支援 ③ 外国籍市民の安定した就労につながる、共生社会を創る</p>	<p>新規立地・拡張企業の操業開始時における新規雇用人数(累計): 245 人 創業・起業件数(累計): 150 件 可児市の自慢できる地域資源を回答した人の割合: 90% 市内高校生の市内企業への就職率: 25% 可児市わくわく Work プロジェクト登録企業数: 100 企業 ハローワークで求職した外国籍市民のうち、就職した人の割合: 12%</p>
<p>【基本目標2】(魅力) 市の魅力を向上・発信することにより、人を引き付ける「魅力とつながりのあるまち」を創る</p> <p>【数値目標(R6)】 観光交流人口: 432 万人 可児市に愛着がある人の割合: 85%</p>	<p>(1) シティプロモーションの推進 ① 観光資源を掘り起こし、磨き上げ、魅力を伝えることで交流人口を増やす ② 市の魅力や地域資源を PR</p> <p>(2) 定住・移住の促進 ① 定住・移住を促進するために都市機能や土地利用のポテンシャルを活かす ② 定住・移住を促進するために住みよさを PR</p> <p>(3) 地域と市民の元気づくり ① 市民の文化的な活動を促進し、交流とのおいをもたらし ② 市民のスポーツ活動を促進し、市民の元気をつくる ③ 市民の支え合い活動を支援</p> <p>(4) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む ① 子どもたちにふるさとの良さを伝える</p>	<p>新たな交流人口の増加数: 75 万人 可児市に魅力を感じて転入した人数: 740 人 可児市にずっと住みたい人の割合: 63% 文化創造センター・劇場(主劇場・小劇場)稼働率: 58.9%以上(全国平均) 可児 UMC(ユニック)スポーツクラブ会員数: 2,170 人 地域支え愛ポイント交換による K マネー交付額: 450 万円 児童生徒が「今住んでいる地位の行事に参加している」と回答した人の割合: 80%</p>
<p>【基本目標3】(希望) 子育て世代が安心して、妊娠・出産・子育てができる「子育ての希望がかなうまち」を創る</p> <p>【数値目標(R6)】 「子育てしやすい」と感じている市民の割合: 57% 三次支援が必要な児童生徒の割合: 小学校・中学校 6.0%</p>	<p>(1) 安心して子育てできる環境づくり ① 子育て家庭と子育て支援をつなぐ ② 子育ての大切さやノウハウを学ぶ ③ 地域のみんなで子ども・子育てに関わる ④ 子育てサポート拠点の充実 ⑤ 定住・移住を促進するための住みよさを PR(再掲)</p> <p>(2) 学びを支援する環境づくり ① 子どもの育ちと学びの流れをつなぐ ② いじめの防止・解決に取り組む</p> <p>(3) 未来社会を切り開くための資質・能力の育成 ① コミュニケーション能力の向上を図る ② 学校教育における ICT の活用を推進 ③ 外国籍児童・生徒の就学・進学を支援 ④ 子どもたちにふるさとの良さを伝える(再掲)</p>	<p>乳幼児健康診査受診率: 100% 家庭教育学級(乳幼児学級を含む)に参加した延べ人数: 8,971 人 子育て支援ボランティア活動に対する地域支え愛ポイント付与数: 10,432 ポイント 可児市に魅力を感じて転入した人数(再掲): 740 人 可児市にずっと住みたい人の割合(再掲): 63% 幼保小連携推進会議に参加する幼保育園施設の合計数: 75 施設 エコトカラダワークショップを体験した児童生徒の満足度: 90% 授業での ICT 活用状況: 80% 日本語指導を必要とする児童生徒の仮教室 KAN 入室率: 100% 児童生徒が「今住んでいる地位の行事に参加している」と回答した人の割合: 80%</p>
<p>【基本目標4】(安心) 地域で安心して暮らし続けることのできる「健康と安心が実感できるまち」を創る</p> <p>【数値目標(R6)】 65 歳以上人口に占める要介護・要介護認定者の割合: 全国及び岐阜県の認定率以下 地域で安心して暮らせたいと感じている人の割合: 30%</p>	<p>(1) 健康で暮らせる環境づくり ① 運動や健康づくりに親しむ機会を提供</p> <p>(2) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり ① 地域、医療、福祉が連携して安心な生活を確保 ② 地域の支え合いの活動を支援</p> <p>(3) 安全・安心に暮らせる生活環境づくり ① 生活が守られ、暮らすの安全・安心を確保 ② 公共交通により、より良い移動手段を確保 ③ 将来にわたり持続可能な公共施設を運営・管理</p>	<p>30 分以上の運動を週 2 回以上、1 年以上続けている人の割合: 39%以上 地域支え合い活動団体登録数: 38 団体以上 地域支え愛ポイント交換による K マネー交付額(再掲): 450 万円 防災リーダー養成講座受講終了者数(累計): 509 人 国際交流ボランティア登録者数: 98 人 コミュニティバス利用者数: 86,031 人 地区センターの稼働率: 37%</p>

問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1. 10歳代 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 |
|---------|---------|---------|

問3 あなたには、子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

- | | | | |
|----------------|--------|----------|------------|
| 1. いる(複数選択可) → | (1)未就学 | (2)小・中学生 | (3)高校生・大学生 |
| | (4)社会人 | (5)その他 | |
| 2. いない | | | |

問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|------------|--------------|---------------|
| 1. 正社員・正職員 | 2. アルバイト・パート | 3. 派遣社員 |
| 4. 嘱託・契約社員 | 5. 自営業主(飲食店) | 6. 自営業(飲食店以外) |
| 7. 家事専業 | 8. 学生 | 9. 無職 |
| | | 10. その他 |

問5 あなたは、どちらにお住まいですか。(自治連合会単位)

- | | | | |
|-----------|---------|-------------|--------|
| 1. 今渡 | 2. 川合 | 3. 下恵土 | 4. 土田 |
| 5. 帷子 | 6. 春里 | 7. 姫治 | 8. 平牧 |
| 9. 桜ヶ丘ハイツ | 10. 久々利 | 11. 広見東 | 12. 広見 |
| 13. 中恵土 | 14. 兼山 | 15. 不明(地区名) | |

問6 あなたは、お住まいの地区の自治会に加入していますか。

- | | |
|-----------|------------------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない(その理由) |
|-----------|------------------|

問7 お住まいの形態は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-------------|-----------------|-------------|
| 1. 戸建住宅(購入) | 2. 戸建住宅(相続) | 3. 戸建住宅(賃貸) |
| 4. 分譲マンション | 5. 賃貸マンション・アパート | 6. 公営住宅 |
| 7. 社宅等 | 8. その他() | |

問8 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。

- | | | |
|---------------|-------------|--------------|
| 1. 3年未満 | 2. 3年以上5年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上20年未満 | 5. 20年以上 | |
| 6. 生まれてからずっと | → 問11へ | |

【問8で1～5を選択された方に伺います】

問9 どのように可児市を転居先に選ばれましたか。(〇は1つだけ)

- | |
|---|
| 1. 可児市以外の選択肢はなかった |
| 2. 他の市町村と比較した
(比較した市町村を3つまで記入してください。 _____ ・ _____ ・ _____) |

【問8で1～5を選択された方に伺います】

問10 可児市を選んだ理由は何ですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. 地縁(出身地や親族がいるなど) | 2. 友人や知人がいた |
| 3. 通勤や通学に都合がよかった | |
| 4. 暮らしやすいと感じた(該当の項目に〇を記入) | |
| → (1)子育てや教育環境の充実 | (2)買物等の便利さ |
| (3)医療や福祉環境の充実 | |
| (4)手頃な住宅価格や家賃 | (5)自然に恵まれた住環境 |
| (6)文化活動・施設の充実 | |
| 5. 家族の事情(親の転勤など) | 6. その他() |
| 7. 特にない | |

問 11 あなたは日頃、市の情報をどのように収集していますか。(回答複数可)

1. 広報紙	2. ケーブルテレビ	3. コミュニティFM	4. ホームページ
5. SNS (インスタグラム、YouTube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど)			
6. 電子メール	7. 新聞	8. タウン誌 (フリーペーパー)	
9. 家族から	10. 知人から	11. 市職員から	
12. 自治会などの集まりや回覧		13. その他 ()	

問 12 あなたは、市の情報をどのように受け取りたいですか。(回答複数可)

1. 広報紙	2. ケーブルテレビ	3. コミュニティFM	4. ホームページ
5. SNS (インスタグラム、YouTube、フェイスブック、ツイッター、LINEなど)			
6. 電子メール	7. 新聞	8. タウン誌 (フリーペーパー)	
9. 家族から	10. 知人から	11. 市職員から	
12. 自治会などの集まりや回覧		13. その他 ()	

問 13 あなたは、次のうちどのようなものに興味がありますか。(回答複数可)

1. 政策などの情報	2. 催しなどの情報	3. 月ごとのごみ・リサイクル日程		
4. 無料相談	5. 市長からの発信	6. 議会からの発信	7. 防災情報	
8. 子育て・教育情報		9. その他 ()		

問 14 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。
5点満点で評価し、該当する数字を1つずつ〇で囲んでください。

可児市総合戦略の主な施策 (詳細については、別紙「案内文裏面」をご確認ください。)	重要度					満足度				
	重要ではない	あまり重要ではない	どちらでもない	やや重要	重要	不満	やや不満	どちらでもない	やや満足	満足
(1)企業の誘致・拡張と活動の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2)地域産業の活力づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4)シティプロモーションの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(5)定住・移住の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6)地域と市民の元気づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7)子どもたちのふるさとを愛する心を育む	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8)安心して子育てできる環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 24 あなたは、市内での外出の場合どこに行きますか。(回答複数可)

- | | |
|--|-------------------------|
| 1. 花フェスタ記念公園 | 2. 文化創造センター（アール） |
| 3. KYBスタジアム | |
| 4. 可児郷土歴史館、戦国山城ミュージアム、荒川豊蔵資料館など市の博物館施設 | |
| 5. 明智城跡、美濃金山城跡など城跡 | 6. 鳩吹山、木曾川渡し場遊歩道など地元の散策 |
| 7. 市内ショッピング施設 | 8. 市内温泉施設 |
| 9. 市内ゴルフ場 | 10. その他 |
| () | |

問 25 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. とてもそう思う | 2. ややそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. まったくそう思わない | |

問 26 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 若い世代の雇用の安定 | 2. 子育てと仕事を両立できる職場環境 |
| 3. 不妊治療に対する支援 | 4. 妊娠・出産・子育てのための医療体制 |
| 5. 乳幼児健診などの保健サービスの充実 | 6. 子育てに関する経済的支援 |
| 7. 保育園、幼稚園の充実 | 8. 一時預かりの充実 |
| 9. 子育てに関する情報提供 | 10. 子育て世帯の住宅面の支援 |
| 11. 子育てに関する相談支援 | 12. 公園や子育て支援施設の充実 |
| 13. その他 () | |

問 27 可児市では、1回30分週2回のウォーキングを推奨する『歩こう可児302運動』や1人の市民が少なくとも1つのスポーツに親しむ『一市民一スポーツ』を推進しています。あなたは、30分以上の運動を週2回以上、1年以上続けていますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 28 あなたは、定期的に健康診査を受けていますか。

- | | | |
|-----------|------------------|----------------|
| 1. 受けている | → (1)市の健(検)診を受けた | (2)学校または職場で受けた |
| | (3)個人的に医療機関で受けた | (4)その他 |
| 2. 受けていない | | |

問 29 可児市では、子どものいじめの防止やいじめ問題の解消に重点的に取り組んでいます。あなたは、学校以外にも子どものいじめに関して相談することができる次のような市の窓口があることを知っていますか。

- ・可児市いじめ防止専門委員会 相談室
(可児市役所子育て支援課内、子ども相談ダイヤルTel0120-263-115)
- ・心の電話相談室(可児市教育研究所、Tel63-2444)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 30 新型コロナウイルス感染症に関する困りごとはどれですか。（回答複数可）

- | | | | |
|------------------|---------------|----------------|-----------|
| 1. 収入の減少 | 2. 支出の増加 | 3. 就職困難 | 4. 外出規制 |
| 5. 失業・廃業 | 6. 運動機会の減少 | 7. 学習の遅れ | 8. 育児等の負担 |
| 9. 介護等の負担 | 10. 心身の健康面 | 11. 感染対策に関すること | |
| 10. ワクチン接種に関すること | 11. その他（
） | | |

【自由意見】

問 31 その他、可児市のこれからのまちづくりに関して、ご意見がありましたらお聞かせください。

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
アンケートは令和3年5月19日（水）までにご返送をお願いします。